

大阪府
子どもの生活に関する実態調査

平成 29 年 3 月

公立大学法人 大阪府立大学

表紙裏

目次

はじめに.....	2
I 調査概要.....	3
1. 調査の目的.....	3
2. 調査方法.....	3
3. 調査内容 巻末の調査票参照.....	3
4. 調査対象者.....	3
5. 調査実施日.....	3
6. 調査配布・回収率(数).....	3
7. 調査実施主体.....	4
8. 研究者一覧.....	4
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い.....	5
II 調査結果.....	6
1. 回答者の属性.....	6
(1) 小学生・中学生.....	6
(2) 保護者.....	8
2. 単純集計.....	9
(1) 経済状況.....	9
(2) 生活環境.....	40
(3) 教育環境.....	94
(4) 社会環境.....	100
3. クロス集計および分析結果.....	121
3-1. 基本情報.....	121
(1) 経済状況.....	121
(2) 家庭状況(制度等).....	143
3-2. 雇用.....	160
3-3. 健康.....	169
3-4. 家庭生活、学習.....	198
3-5. 対人関係.....	249
III 課題と方向性.....	273
1) 経済的資本の欠如.....	274
2) ヒューマンキャピタルの欠如.....	277
3) ソーシャルキャピタルの欠如.....	282
4) まとめ.....	284
IV 資料編.....	293

はじめに

子どもの貧困対策を総合的に推進するために講ずべき施策の基本となる事項その他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が、第183回国会において成立し、2014年1月に施行された。これを受けて、政府が定めるべき大綱について、子どもの貧困対策に関し優れた見識を有する者等の関係者の意見を聴取し、その案の作成に資するため、子どもの貧困対策に関する検討会が立ち上がり、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が出された。「貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成、子供に視点を置いた切れ目のない施策の実施、子供の貧困の実態を踏まえた対策の推進、子供の貧困に関する指標を設定しその改善に向けて取り組む」など4点を中心に方針が明記され、教育の支援、生活の支援、保護者の就労支援、経済的支援が打ち出された。学校を中心にした施策として、学校プラットフォームという言葉も打ち出された。同時に、世間でもかなり話題になり、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつある。

これらの政府の動きを受けて、各自治体において子どもの貧困対策が議論され、すでに各自治体によってさまざまな方策が打ち出され始めている。大阪では、大阪府内の自治体で共同して実施をすることを大阪府が呼びかけ、大阪府立大学と協働して、別途予算化した大阪市と府内12自治体、そして残りの府内30自治体を網羅する形で大阪府が調査実施した。調査受託機関である大阪府立大学においても、この調査を進める当初の説明会から、各自治体からの調査票への意見、結果分析への意見を聞き、調整のための会議を複数回開催し、このプロセスに自治体も共同して進めてきた。調査票については、すでに実施した自治体がホームページに挙げている調査票等を参考に議論した*。府内をすべて網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。共同実施してきたことの意味は大きい。

このプロセスの当初の調査設計のための会議も複数回開催し、子どもの貧困については以下の考えを明確化した。現在、多く用いられている相対的貧困率は、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指している。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用している。その意味でも60%のラインも見えるように困窮度に分けて検討することにした。

子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。その理解の上で、内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえることとした。日本では、貧困を「飢え」や「住宅の欠如」など「絶対的貧困」レベルで理解する傾向があるが、国際的には、貧困は相対的に把握されるべきものと理解されており、本調査もこの立場に立って把握しようとしたものである。

※○足立区子どもの健康・生活実態調査

○阿部彩・埋橋孝文・矢野裕俊 (2014)「大阪子ども調査 結果の概要」文部科学省科学研究費補助金

「貧困に対する子どものコンピテンシーをはぐくむ福祉・教育プログラム開発 報告書」(研究代表者：埋橋孝文)

○横浜市子どものいる世帯の生活状況等に関する調査

○横浜市子ども・若者のいる世帯の生活状況及び就業に関する調査

I 調査概要

1. 調査の目的

大阪府では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施している中、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するために調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

2. 調査方法

13市町*を除く住民基本台帳より無作為抽出した8,000世帯に対して、調査票を郵送し、郵送にて回収を得たもの。

*13市町：大阪市、門真市、八尾市、豊中市、吹田市、能勢町、枚方市、交野市、柏原市、富田林市、大阪狭山市、和泉市、泉佐野市

3. 調査内容 巻末の調査票参照

4. 調査対象者

小学5年生・その保護者（4,000世帯） 中学2年生・その保護者（4,000世帯）

5. 調査実施日

大阪府：平成28年7月1日～平成28年7月19日

大阪府内全自治体：平成28年6月27日～平成28年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表 1. 調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
大阪府 30 市町村	小学5年生	35.0	1,400	4,000
	小学5年生の保護者	35.1	1,404	4,000
	中学2年生	31.3	1,251	4,000
	中学2年生の保護者	31.4	1,256	4,000
	小学5年生・中学2年生合計	33.1	2,651	8,000
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	33.3	2,660	8,000
	計	33.2	5,311	16,000
大阪府内全自治体	小学5年生	66.1	26,540	40,137
	小学5年生の保護者	65.6	26,342	40,137
	中学2年生	58.9	23,558	39,993
	中学2年生の保護者	58.3	23,323	39,993
	小学5年生・中学2年生合計	62.5	50,106	80,130
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	62.0	49,703	80,130
	計	62.3	99,809	160,260

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計・小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども8件、保護者38件）。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布学校回収	小学5年生	81.3	20,008	24,598
	小学5年生の保護者	80.5	19,790	24,598
	中学2年生	73.3	18,265	24,931
	中学2年生の保護者	72.1	17,979	24,931
	小学5年生・中学2年生合計	77.3	38,281	49,529
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	76.3	37,807	49,529
学校配布郵送回収	小学5年生	48.2	3,789	7,864
	小学5年生の保護者	48.2	3,793	7,864
	中学2年生	39.0	2,891	7,407
	中学2年生の保護者	39.2	2,907	7,407
	小学5年生・中学2年生合計	43.7	6,680	15,271
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	43.9	6,700	15,271
郵送配布郵送回収	小学5年生	35.7	2,743	7,675
	小学5年生の保護者	35.9	2,759	7,675
	中学2年生	31.4	2,402	7,655
	中学2年生の保護者	31.8	2,437	7,655
	小学5年生・中学2年生合計	33.6	5,145	15,330
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	33.9	5,196	15,330

※学校配布学校回収小学5年生・中学2年生合計・小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども8件、保護者38件）。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の4自治体において実施した。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、24,216、回収数は18,001、回収率74.3%であった。

7. 調査実施主体

大阪府

調査研究業務受託者

公立大学法人 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

教授 山野 則子（業務責任者）

准教授 嵯峨 嘉子

特認助教 駒田 安紀

協力者 公立大学法人大阪市立大学大学院 生活科学研究科

教授 所 道彦

研究補助者 大阪府立大学研究員 小林 智之 山下 剛徳

大阪府立大学人間社会システム研究科 加藤 暁子 太田 祥貴 藤岡 佳

大阪府立大学教育福祉学類 地域保健学域 教育福祉学類

鈴木 建太郎 土家 彩香 石田 まり

同志社大学大学院 心理学研究科 博士前期課程 久禮 まゆ

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 後期博士課程 松溪 智恵

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、大阪府内全自治体と大阪府 30 市町村のデータをそれぞれ掲載している。大阪府 30 市町村のデータについては既に「I. 調査方法 2～9」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府 30 市町村のデータに「2. 調査方法」で列記した共同実施 13 市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生 27 問、保護者 28 問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で 1～2 問の独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施 13 市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象 8000 件への配布を行いその約 30%～35%からの回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは 90%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1 点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の 2 種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2 点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「大阪府 30 市町村」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 小学生・中学生

子ども-1. 学年

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村では 2,651 名が有効サンプルで内訳として「小学 5 年生」が 1,400 名で 52.8%、「中学 2 年生」が 1,251 名で 47.2%である。

なお、大阪府内全自治体は 50,106 名が有効サンプルで「小学 5 年生」が 26,540 名で 53.0%、「中学 2 年生」が 23,558 名で 47.0%である。

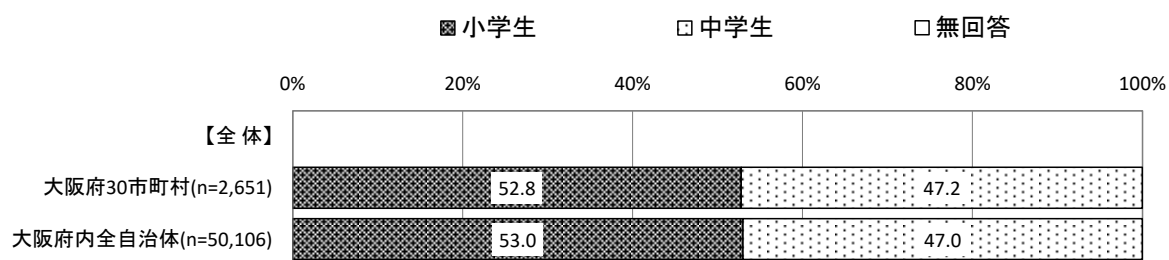


図 1. 学年

子ども-25. 性別

問 25 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「男子」が 46.3%、「女子」が 51.6%、「その他」が 0.1%、「答えたくない」が 0.9%、「無回答」が 1.0%である。

小学 5 年生では、「男子」が 44.4%、「女子」が 53.2%、「その他」が 0.1%、「答えたくない」が 1.0%、「無回答」が 1.2%である。

中学 2 年生では、「男子」が 48.4%、「女子」が 49.9%、「その他」が 0.1%、「答えたくない」が 0.9%、「無回答」が 0.7%である。

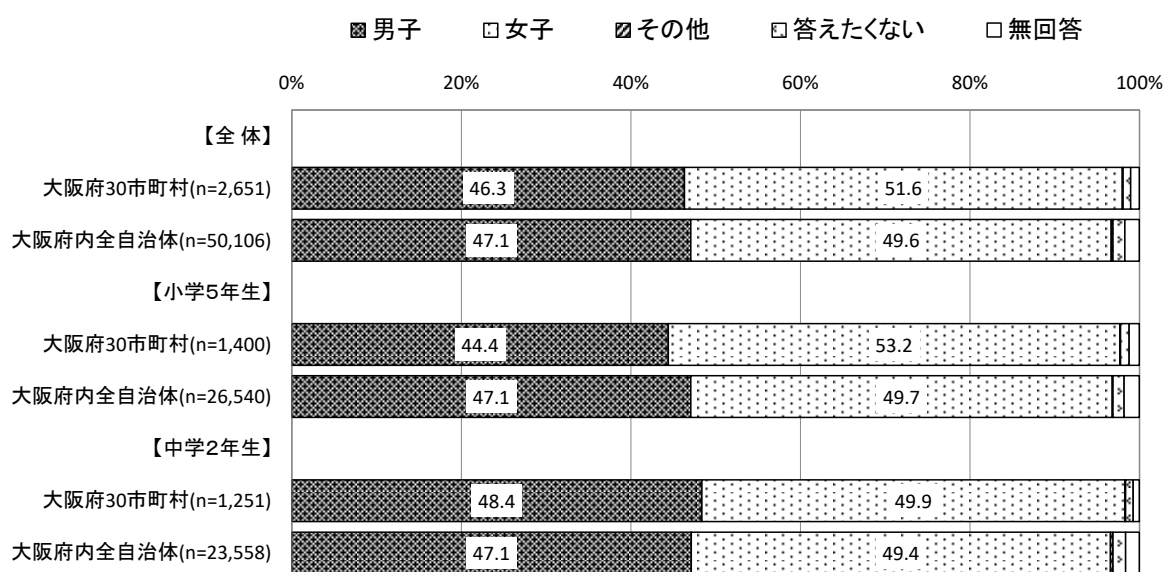


図 2. 子どもの性別

(2) 保護者

保護者-1. 回答者の続柄

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「お母さん」が85.5%、「お父さん」が10.6%、「おばあさん・おじいさん」が0.3%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.3%、「その他の人」が0.1%、「無回答」が3.2%である。

小学5年生の保護者では、「お母さん」が85.6%、「お父さん」が10.4%、「おばあさん・おじいさん」が0.4%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.2%、「その他の人」が0.1%、「無回答」が3.3%である。

中学2年生の保護者では、「お母さん」が85.4%、「お父さん」が10.9%、「おばあさん・おじいさん」が0.3%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が0.3%、「その他の人」が該当なし、「無回答」が3.1%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「お母さん」は9割弱になっている。

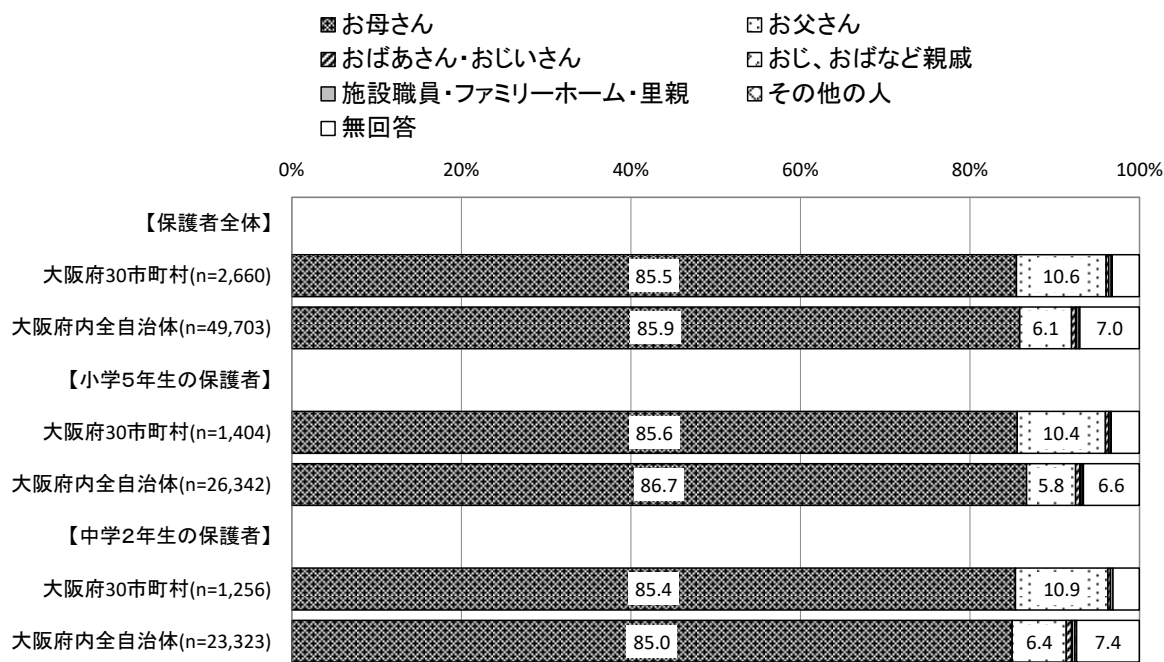


図 3. 回答者の続柄

2. 単純集計

(1) 経済状況

保護者-27-4. 世帯収入額

問 27 (4) 前年(2015年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「550～600 万円未満」が 7.0%で最も高く、「400～450 万円未満」が 6.7%、「500～550 万円未満」が 6.5%、「450～500 万円未満」が 6.3%の順に高くなっている。

小学 5 年生の保護者では、「400～450 万円未満」が 7.5%で最も高く、「500～550 万円未満」が 7.0%、「350～400 万円未満」、「450～500 万円未満」、「550～600 万円未満」がそれぞれ 6.8%の順に高くなっている。

中学 2 年生の保護者では、「550～600 万円未満」が 7.3%で最も高く、「500～550 万円未満」が 6.1%、「450～500 万円未満」、「600～650 万円未満」がそれぞれ 5.8%の順に高くなっている。

以上のことから、小学 5 年生の保護者では「400～450 万円未満」から「550～600 万円未満」が高く、中学 2 年生の保護者では「550～600 万円未満」が最も高くなっている。

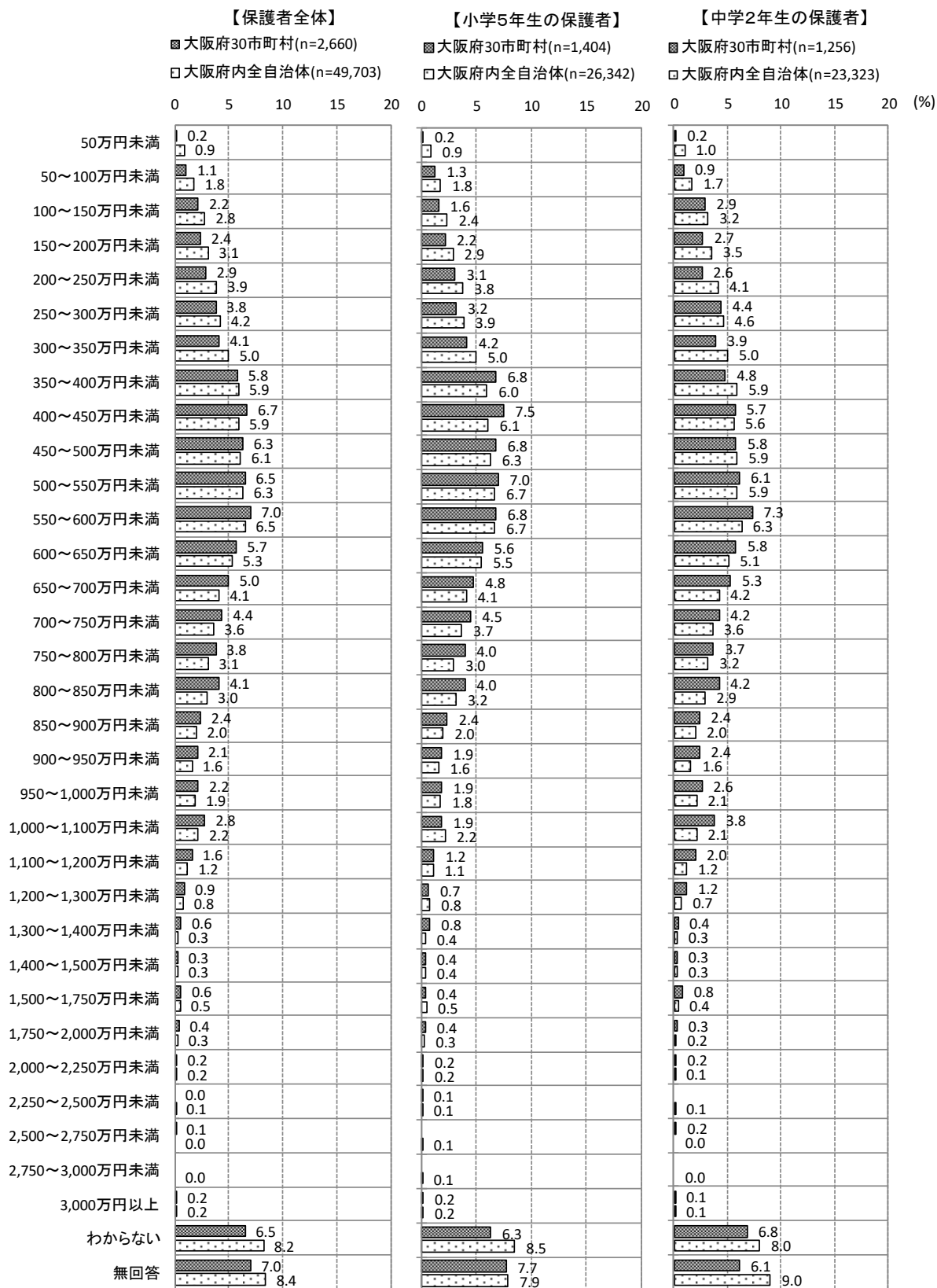


図 4. 世帯収入額

世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があり、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

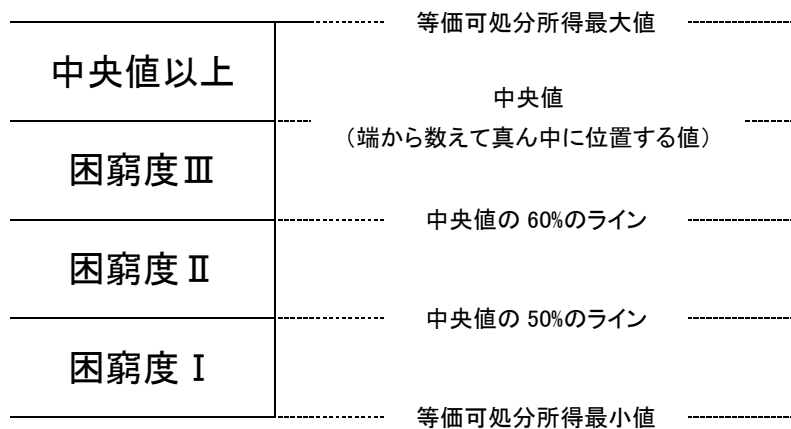


図 5. 困窮度の分類と基準

等価可処分所得に基づく困窮度の分類

表 2. 大阪府 30 市町村 困窮度別人数

困窮度分類	人数	%
中央値以上	1152	50.1
困窮度Ⅲ	701	30.5
困窮度Ⅱ	162	7.0
困窮度Ⅰ	286	12.4
合計	2301	100

中央値は 274 万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は 12.4%であった。

なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は 14.9%であった。

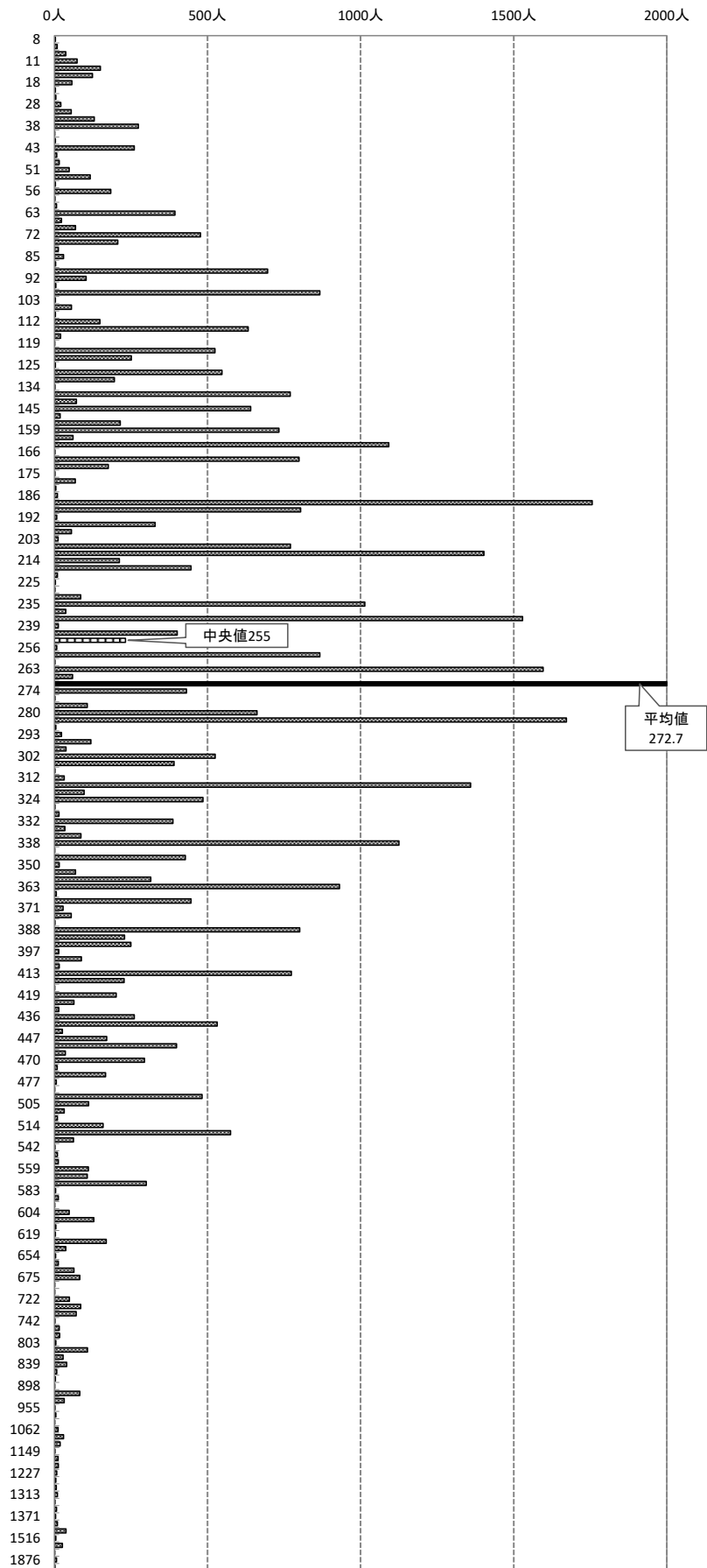


図 6 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者-7. 経済的な理由による経験

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が47.8%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が44.1%、「食費を切りつめた」が38.8%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が32.9%、「冷暖房の使用を控えた」が30.8%の順に高く、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が26.2%になっている。

小学5年生の保護者では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が47.1%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が44.4%、「食費を切りつめた」が39.0%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が32.5%、「冷暖房の使用を控えた」が30.1%の順に高く、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が26.3%になっている。

中学2年生の保護者では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が48.6%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が43.7%、「食費を切りつめた」が38.5%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が33.3%、「冷暖房の使用を控えた」が31.4%の順に高く、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が26.2%になっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「趣味やレジャーの出費を減らした」が5割弱、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が4割強を占め、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」は3割弱になっている。

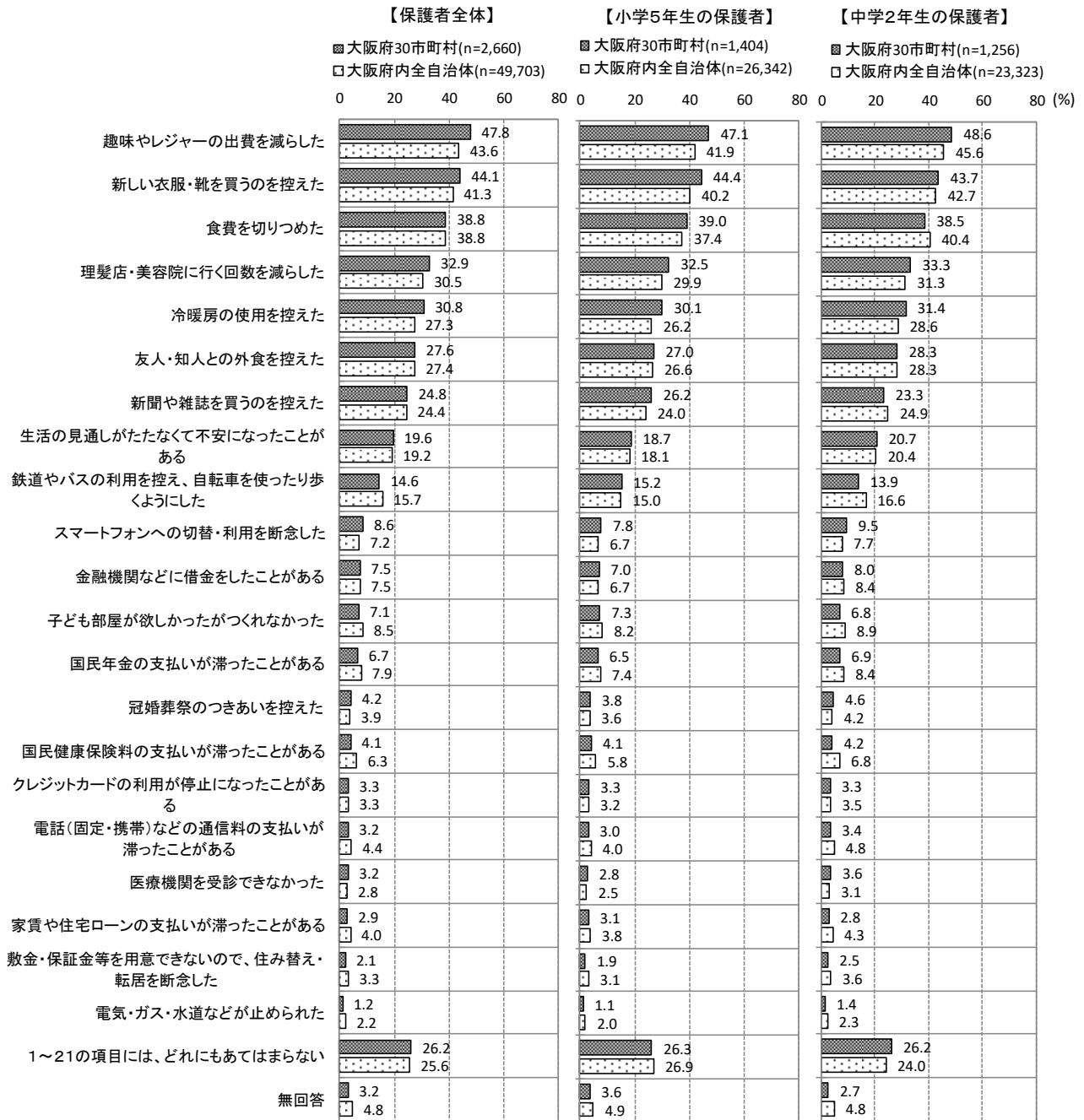


図 7. 経済的な理由による経験

保護者-13. 子どもへの経済的な理由による経験

問 13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「1～14 の項目には、どれにもあてはまらない」が 59.4%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が 19.5%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が 12.0%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が 11.3%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が 9.3%の順に高くなっている。

小学 5 年生の保護者では、「1～14 の項目には、どれにもあてはまらない」が 60.4%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が 18.9%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が 11.8%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が 11.5%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が 9.4%の順に高くなっている。

中学 2 年生の保護者では、「1～14 の項目には、どれにもあてはまらない」が 58.2%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が 20.3%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が 12.5%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が 10.7%、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」が 10.0%の順に高くなっている。

このことから、「1～14 の項目には、どれにもあてはまらない」は小学 5 年生の保護者で 6 割、中学 2 年生の保護者で 6 割弱になり、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」は小学 5 年生の保護者で 2 割弱、中学 2 年生の保護者で 2 割になっている。



図 8. 子どもへの経済的な理由による経験

子ども-22. 持っているもの、使うことができるもの

問 22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「自転車」が93.7%、「ゲーム機」が83.0%、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が78.8%、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が78.5%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が78.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「自転車」が94.1%、「ゲーム機」が85.4%、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が80.3%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が80.0%、「テレビ」が76.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「自転車」が93.3%、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が83.0%、「ゲーム機」が80.3%、「マンガ・雑誌」が78.7%、「テレビ」が77.5%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生、中学2年生ともに「自転車」が9割強で最も高くなっている。次いで小学5年生では「ゲーム機」が9割弱、中学2年生では「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が8割強になっている。

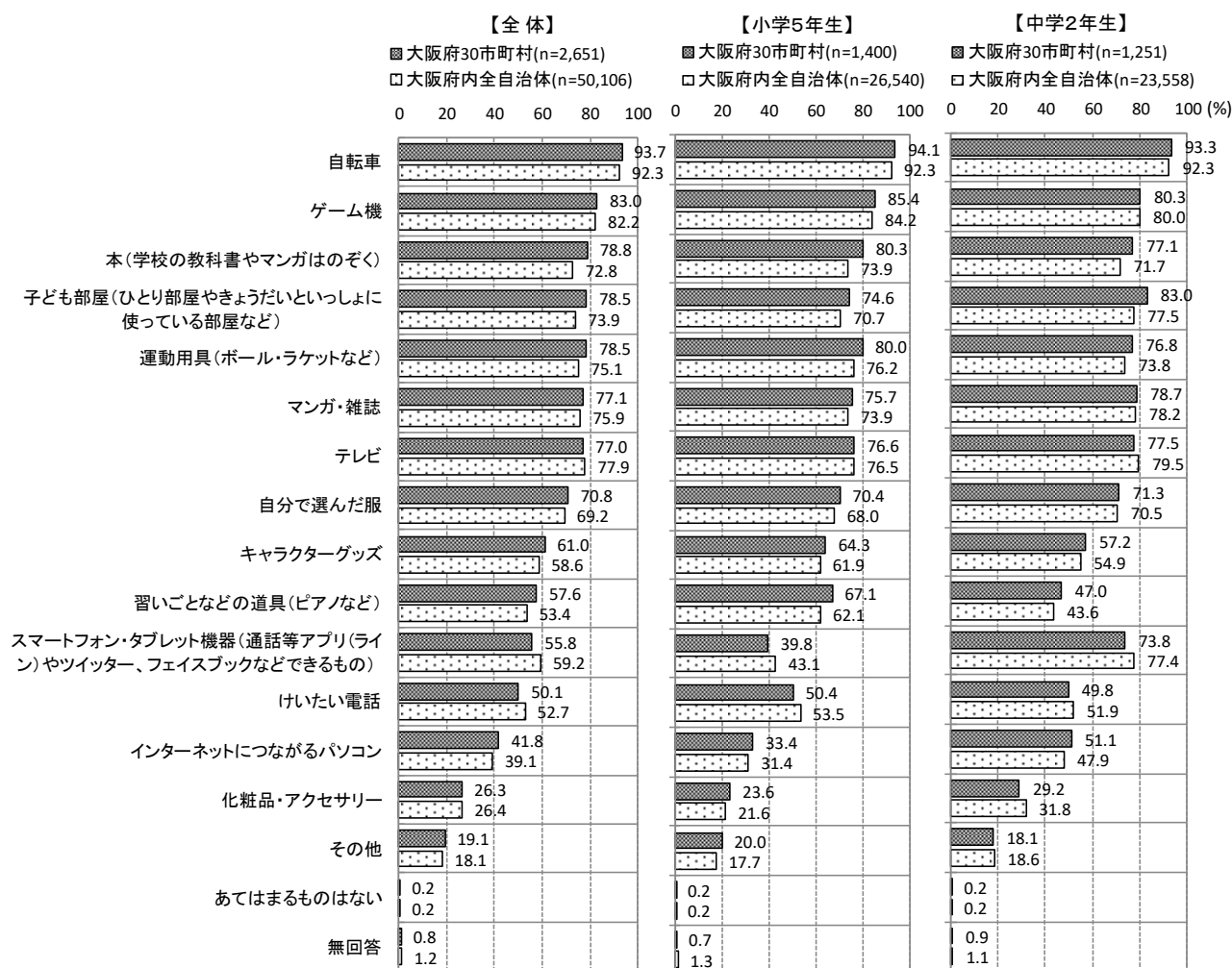


図 9. 持っているもの、使うことができるもの

保護者-6-1. 家計状況

問6(1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

大阪府30市町村の保護者全体では、「貯蓄ができています」が40.2%、「赤字である」が25.1%、「赤字でもなく黒字でもない」が30.2%、「わからない」が3.9%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生の保護者では、「貯蓄ができています」が40.8%、「赤字である」が25.6%、「赤字でもなく黒字でもない」が29.2%、「わからない」が4.0%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「貯蓄ができています」が39.5%、「赤字である」が24.5%、「赤字でもなく黒字でもない」が31.3%、「わからない」が3.8%、「無回答」が0.9%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「貯蓄ができています」は4割前後で、「赤字である」は小学5年生の保護者が3割弱、中学2年生の保護者が2割強になっている。

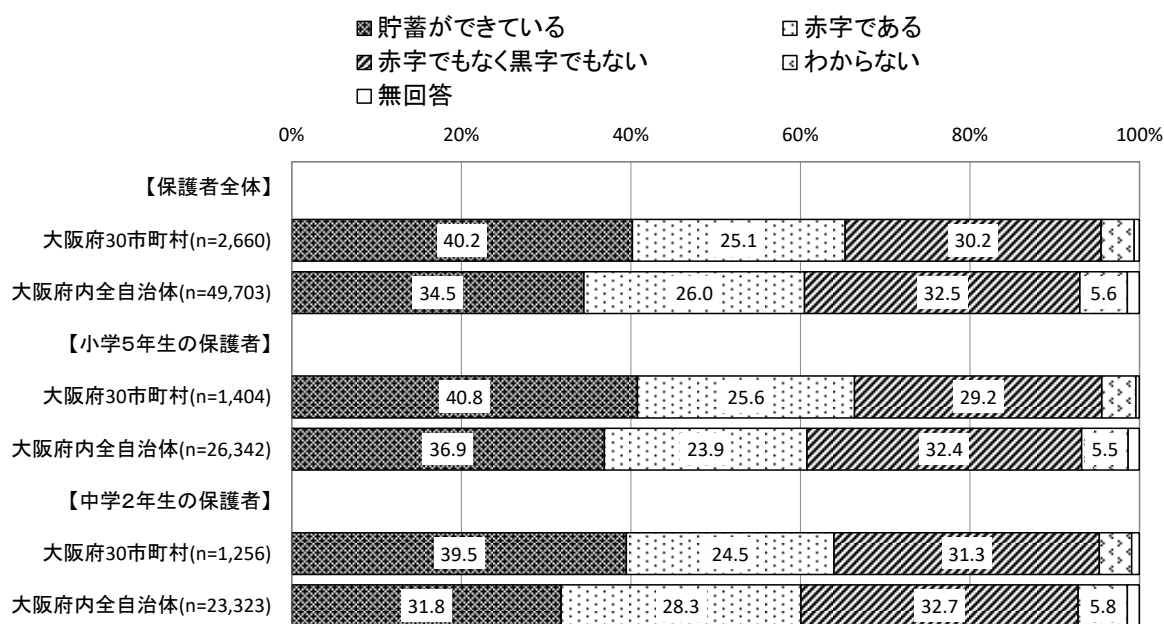


図 10. 家計状況

保護者-6-2. 赤字の場合の対処

問6(2) 問6(1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合はどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「貯金、預金のとりくずし」が66.3%、「親や親族などからの仕送り」が9.6%、「金融機関等からの借入」が16.6%、「その他」が7.5%である。

小学5年生の保護者では、「貯金、預金のとりくずし」が68.8%、「親や親族などからの仕送り」が8.4%、「金融機関等からの借入」が14.5%、「その他」が8.4%である。

中学2年生の保護者では、「貯金、預金のとりくずし」が63.3%、「親や親族などからの仕送り」が11.0%、「金融機関等からの借入」が19.2%、「その他」が6.5%である。

このことから、「貯金、預金のとりくずし」は小学5年生の保護者が7割弱、中学2年生の保護者が6割強になっている。

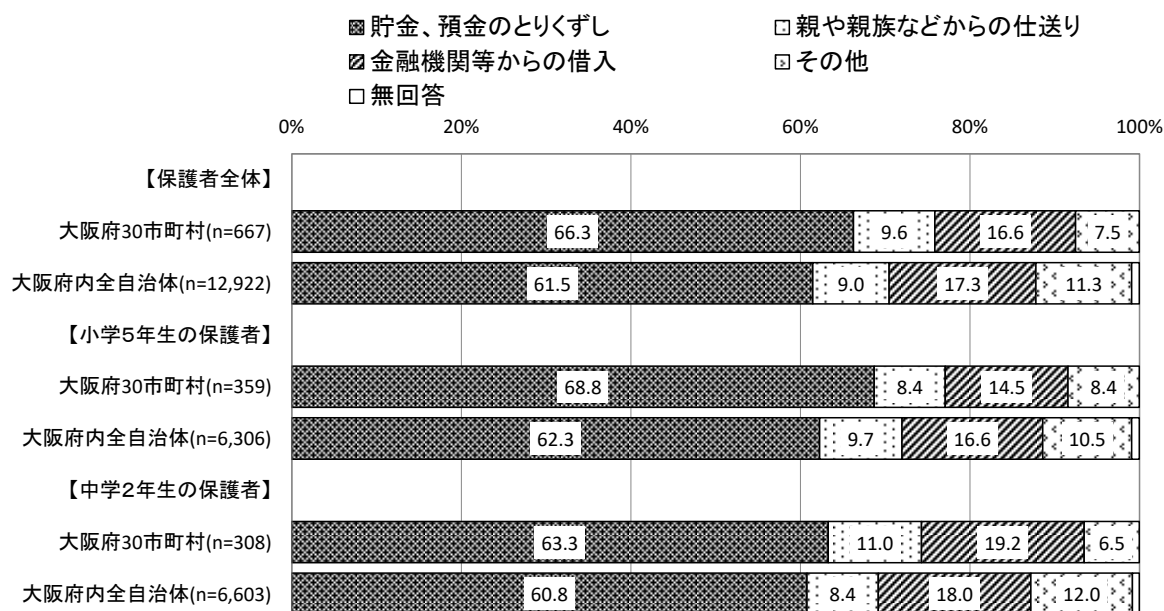


図 11. 赤字の場合の対処

保護者-6-3. 子どもの貯蓄

問 6 (3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「貯蓄をしている」が 63.3%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 35.6%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.4%、「無回答」が 0.7%である。

小学 5 年生の保護者では、「貯蓄をしている」が 64.2%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 34.7%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.6%、「無回答」が 0.5%である。

中学 2 年生の保護者では、「貯蓄をしている」が 62.3%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 36.6%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.2%、「無回答」が 0.9%である。

以上のことから、「貯蓄をしている」は小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者ともに 6 割強になっている。

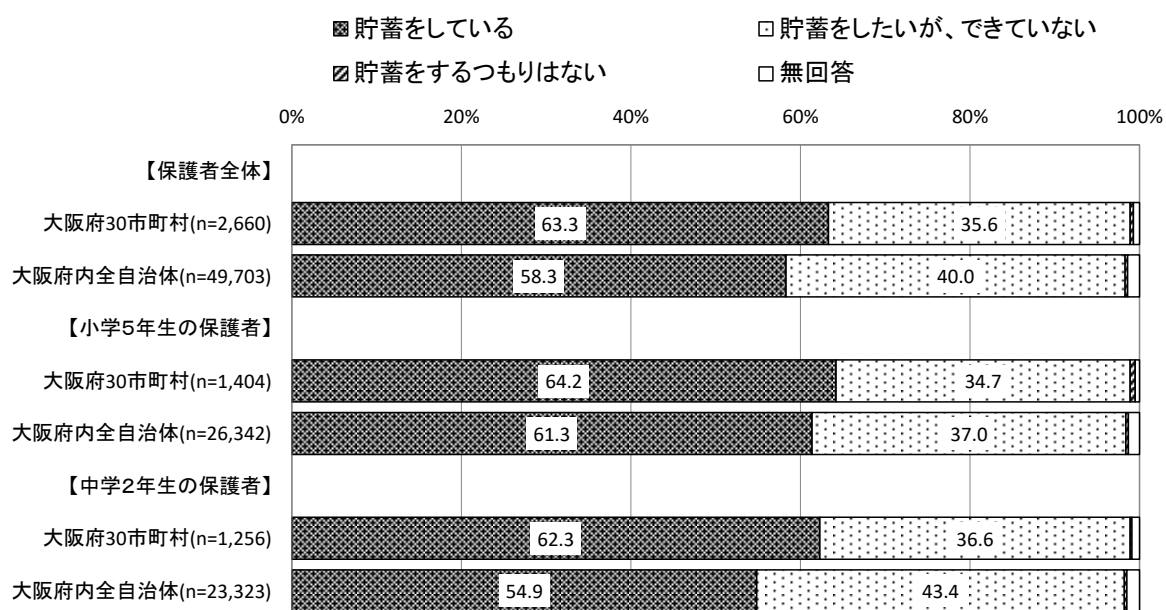


図 12. 子どもの貯蓄

保護者-27-3-1. 児童手当

問 27 (3) ① 児童手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 90.6%、「受けたことがある」が 2.1%、「受けたことはない」が 4.4%、「無回答」が 2.9%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 91.5%、「受けたことがある」が 1.8%、「受けたことはない」が 3.8%、「無回答」が 2.8%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 89.6%、「受けたことがある」が 2.5%、「受けたことはない」が 4.9%、「無回答」が 2.9%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けている」が 9 割前後になっている。

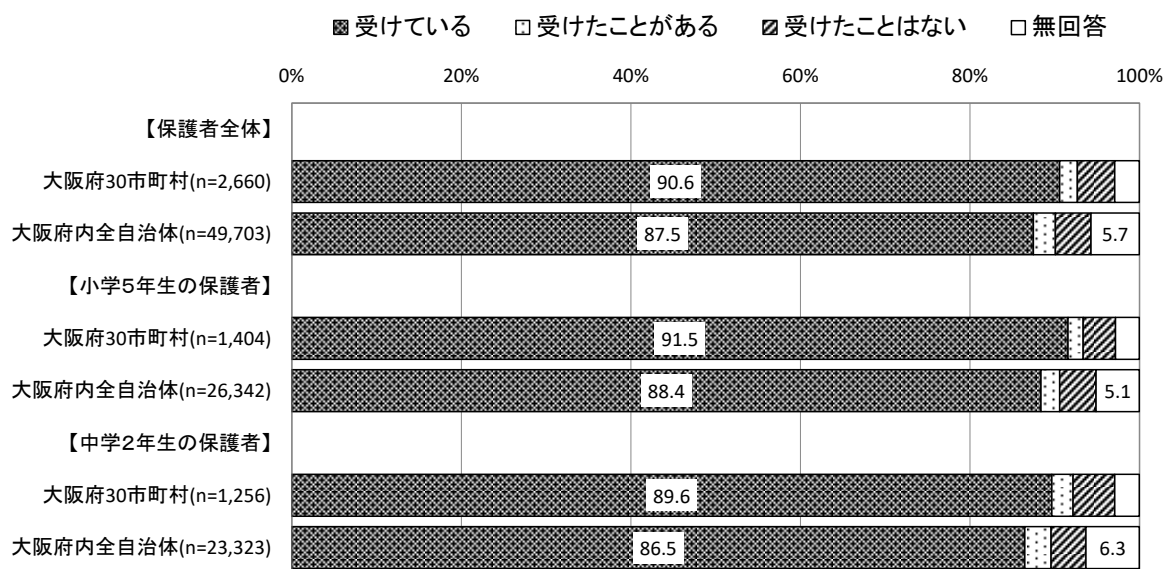


図 13. 児童手当

保護者-27-3-2. 就学援助費

問 27 (3) ② 就学援助費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 13.3%、「受けたことがある」が 5.4%、「受けたことはない」が 58.2%、「無回答」が 23.2%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 12.2%、「受けたことがある」が 4.8%、「受けたことはない」が 59.7%、「無回答」が 23.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 14.5%、「受けたことがある」が 6.1%、「受けたことはない」が 56.4%、「無回答」が 22.9%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 6 割弱になっている。

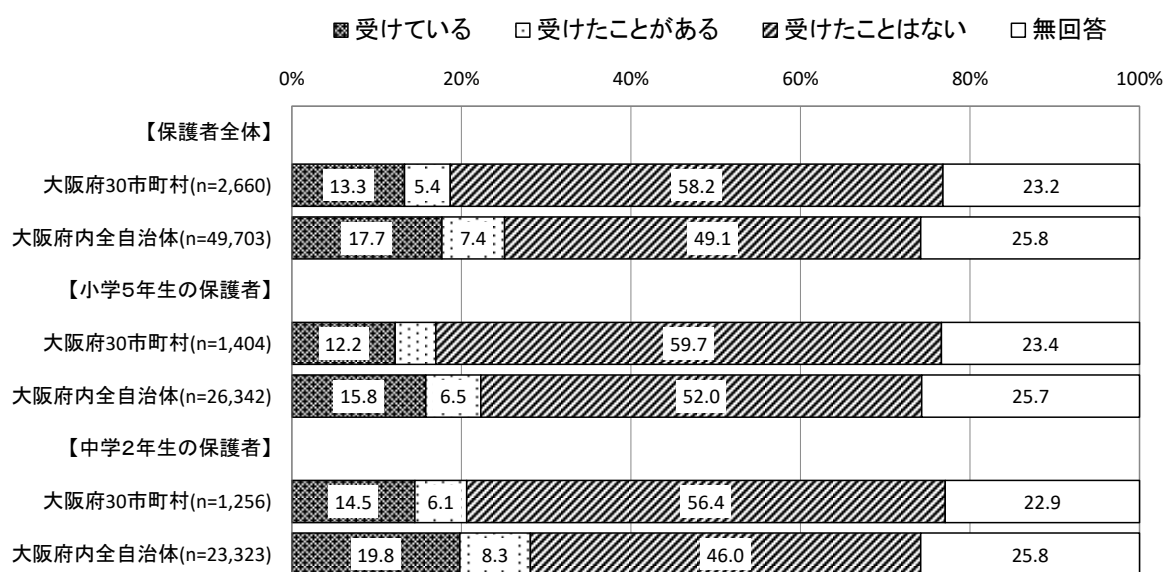


図 14. 就学援助費

保護者-27-3-3. 児童扶養手当

問 27 (3) ③ 児童扶養手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 8.9%、「受けたことがある」が 1.9%、「受けたことはない」が 63.7%、「無回答」が 25.5%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 9.0%、「受けたことがある」が 1.6%、「受けたことはない」が 64.0%、「無回答」が 25.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 8.7%、「受けたことがある」が 2.3%、「受けたことはない」が 63.4%、「無回答」が 25.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 6 割強になっている。

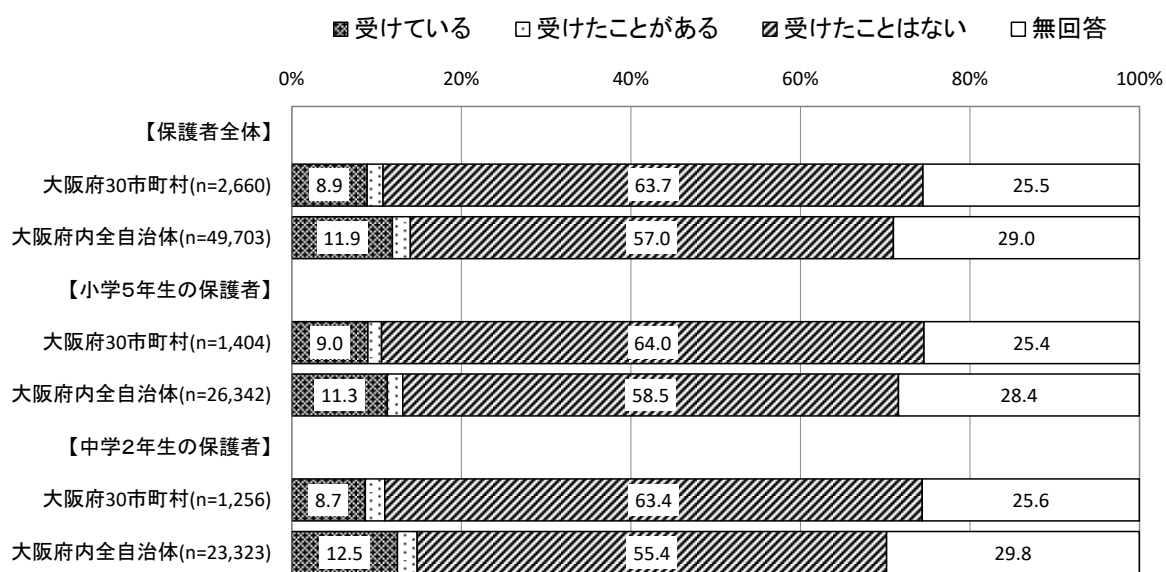


図 15. 児童扶養手当

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（ひとり親世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 45.6%、「受けたことがある」が 7.5%、「受けたことはない」が 27.1%、「無回答」が 19.8%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 46.7%、「受けたことがある」が 5.5%、「受けたことはない」が 25.3%、「無回答」が 22.5%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 44.5%、「受けたことがある」が 9.4%、「受けたことはない」が 28.8%、「無回答」が 17.3%である。

このことから、「受けている」が小学 5 年生の保護者で 5 割弱、中学 2 年生の保護者で 4 割強になっている。

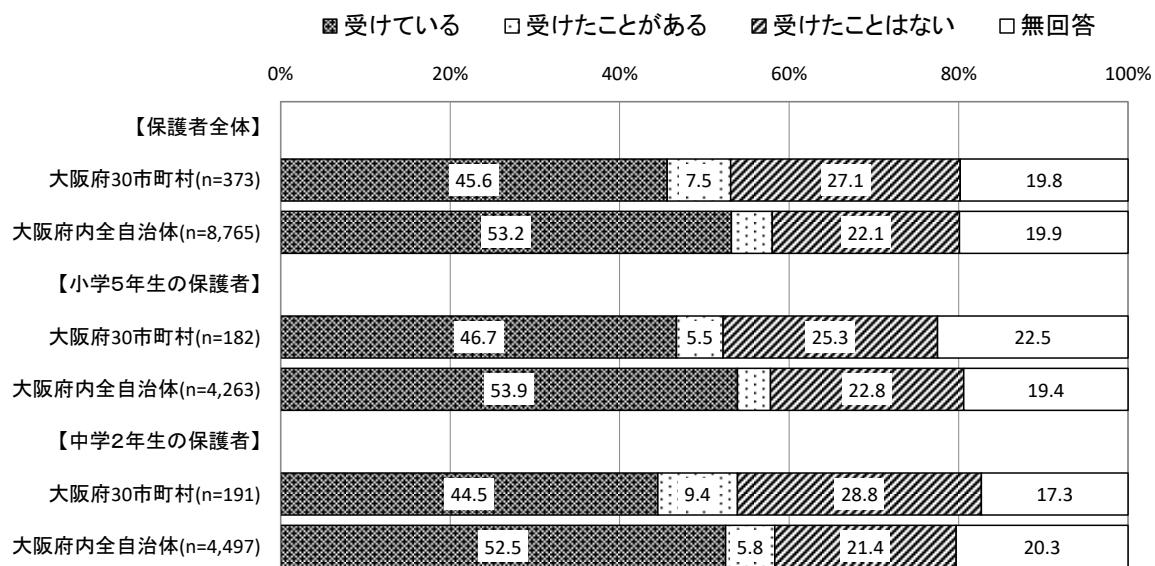


図 16. 児童扶養手当（ひとり親世帯）

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（母子世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 50.0%、「受けたことがある」が 8.2%、「受けたことはない」が 24.1%、「無回答」が 17.7%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 51.3%、「受けたことがある」が 5.8%、「受けたことはない」が 22.4%、「無回答」が 20.5%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 48.8%、「受けたことがある」が 10.6%、「受けたことはない」が 25.6%、「無回答」が 15.0%である。

このことから、「受けている」が小学 5 年生の保護者で 5 割強、中学 2 年生の保護者で 5 割弱になっている。

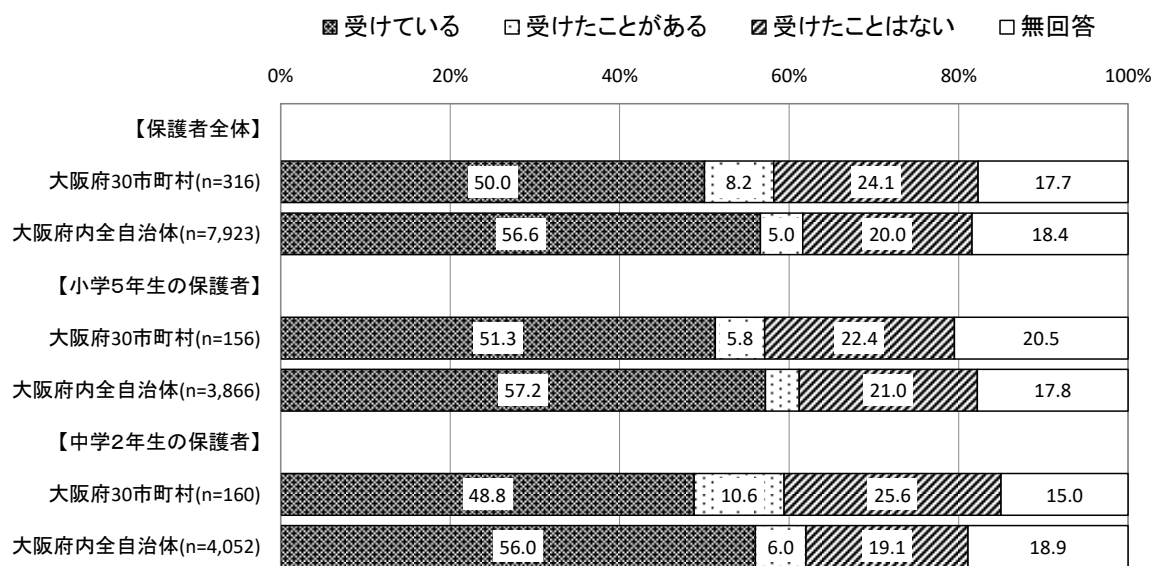


図 17. 児童扶養手当（母子世帯）

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（父子世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 21.1%、「受けたことがある」が 3.5%、「受けたことはない」が 43.9%、「無回答」が 31.6%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 19.2%、「受けたことがある」が 3.8%、「受けたことはない」が 42.3%、「無回答」が 34.6%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 22.6%、「受けたことがある」が 3.2%、「受けたことはない」が 45.2%、「無回答」が 29.0%である。

このことから、「受けている」が小学 5 年生の保護者で 2 割弱、中学 2 年生の保護者で 2 割強になっている。

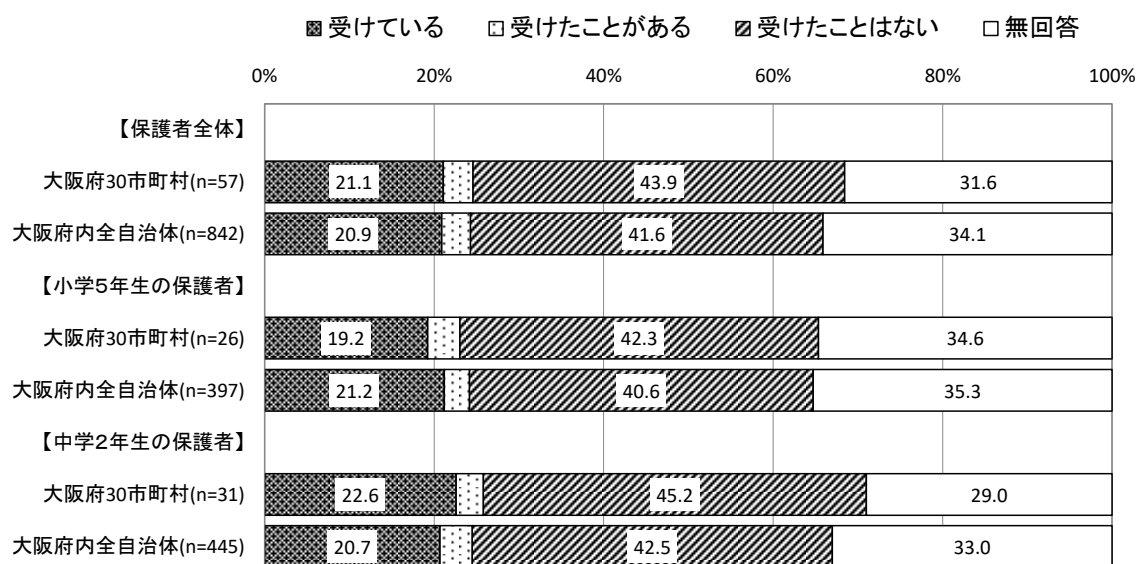


図 18. 児童扶養手当（父子世帯）

保護者-27-3-4. 障がいや難病の手当

問 27 (3) ④ 障がいや難病の手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 3.2%、「受けたことがある」が 0.4%、「受けたことはない」が 69.3%、「無回答」が 27.1%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 3.2%、「受けたことがある」が 0.3%、「受けたことはない」が 69.7%、「無回答」が 26.9%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 3.1%、「受けたことがある」が 0.6%、「受けたことはない」が 68.9%、「無回答」が 27.4%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 7 割弱になっている。

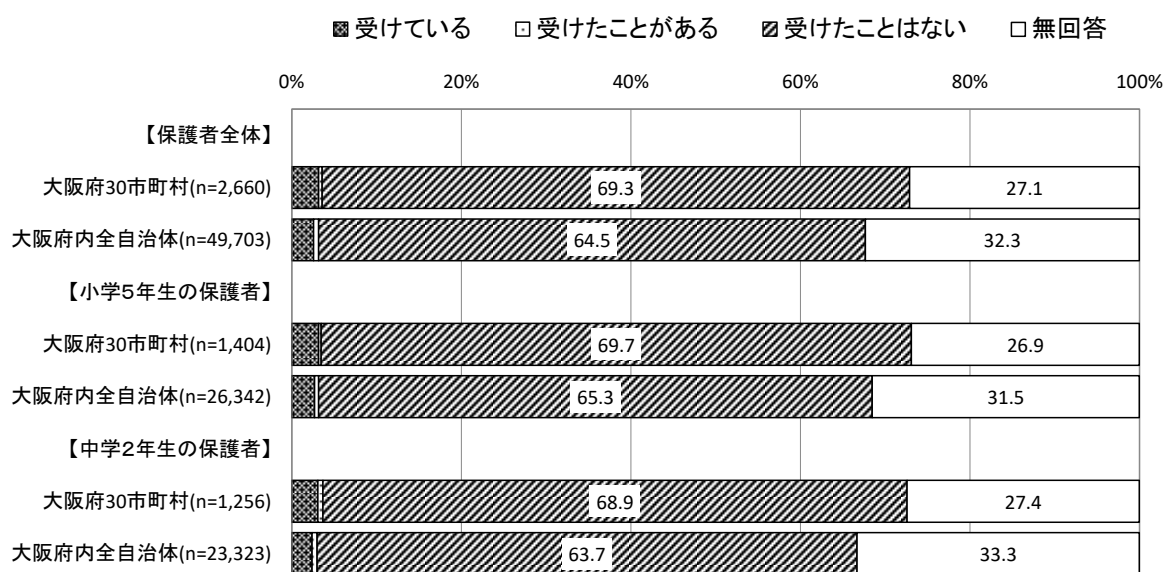


図 19. 障がいや難病の手当

保護者-27-3-5. 生活保護

問 27 (3) ⑤ 生活保護 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 1.1%、「受けたことがある」が 0.3%、「受けたことはない」が 71.1%、「無回答」が 27.6%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 1.0%、「受けたことがある」が 0.4%、「受けたことはない」が 71.3%、「無回答」が 27.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 1.3%、「受けたことがある」が 0.2%、「受けたことはない」が 70.8%、「無回答」が 27.8%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 7 割になっている。

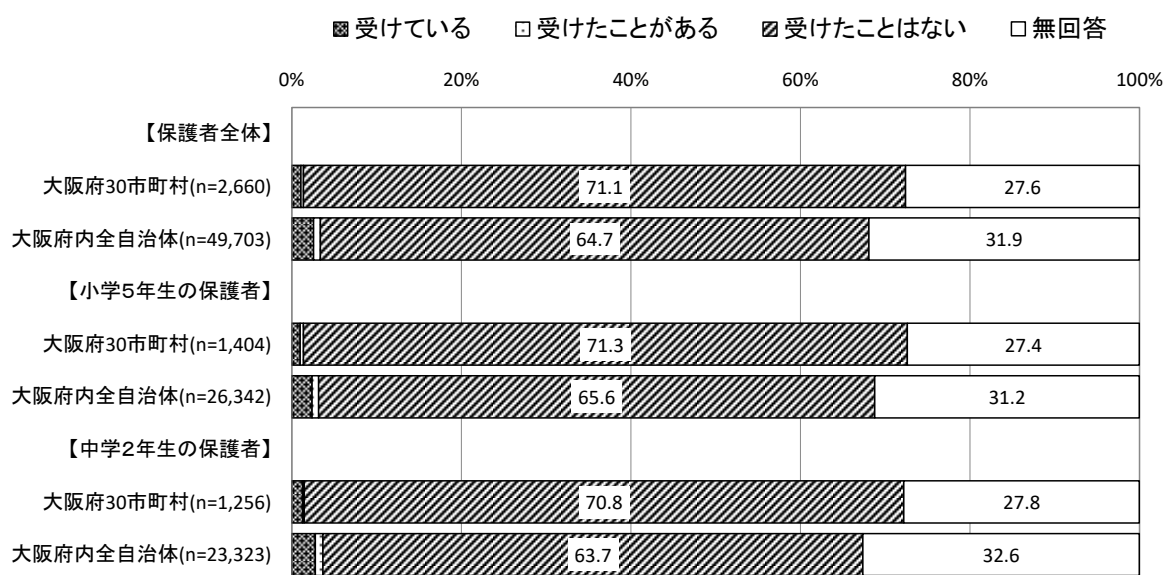


図 20. 生活保護

保護者-27-3-6. 公的年金（老齢年金）

問 27 (3) ⑥ 公的年金（老齢年金）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 3.6%、「受けたことがある」が 0.2%、「受けたことはない」が 69.3%、「無回答」が 27.0%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 3.3%、「受けたことがある」が 0.1%、「受けたことはない」が 69.6%、「無回答」が 26.9%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 3.9%、「受けたことがある」が 0.2%、「受けたことはない」が 68.9%、「無回答」が 27.0%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 7 割弱になっている。

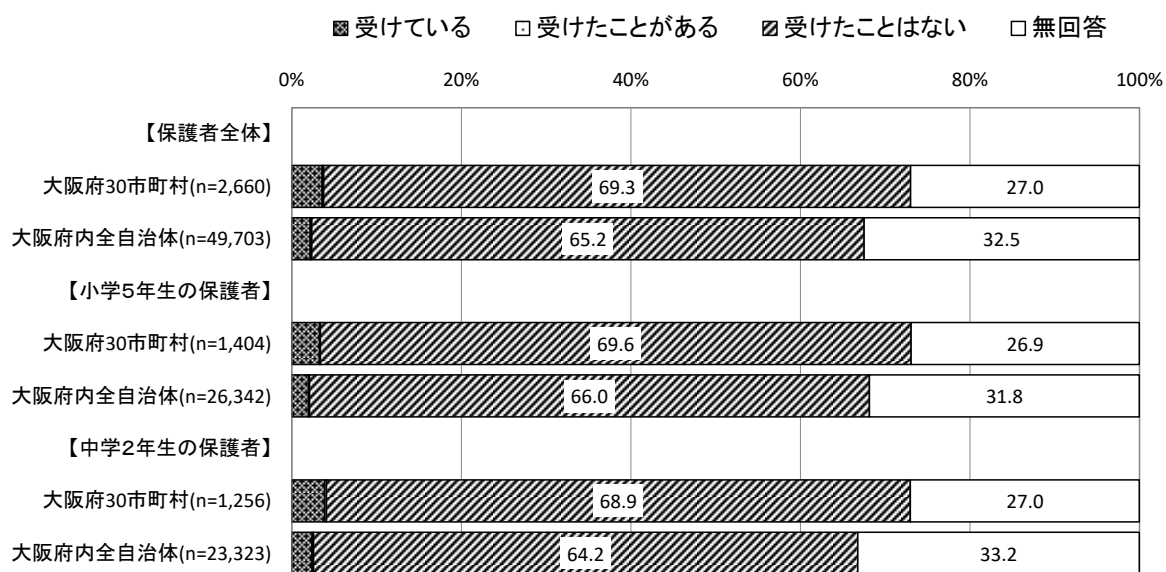


図 21. 公的年金（老齢年金）

保護者-27-3-7. 公的年金（遺族年金、障がい年金）

問 27 (3) ⑦ 公的年金（遺族年金、障がい年金）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 2.1%、「受けたことがある」が 0.2%、「受けたことはない」が 69.8%、「無回答」が 27.9%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 1.9%、「受けたことがある」が 0.1%、「受けたことはない」が 70.2%、「無回答」が 27.8%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 2.5%、「受けたことがある」が 0.3%、「受けたことはない」が 69.3%、「無回答」が 27.9%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも 7 割前後が「受けたことはない」になっている。

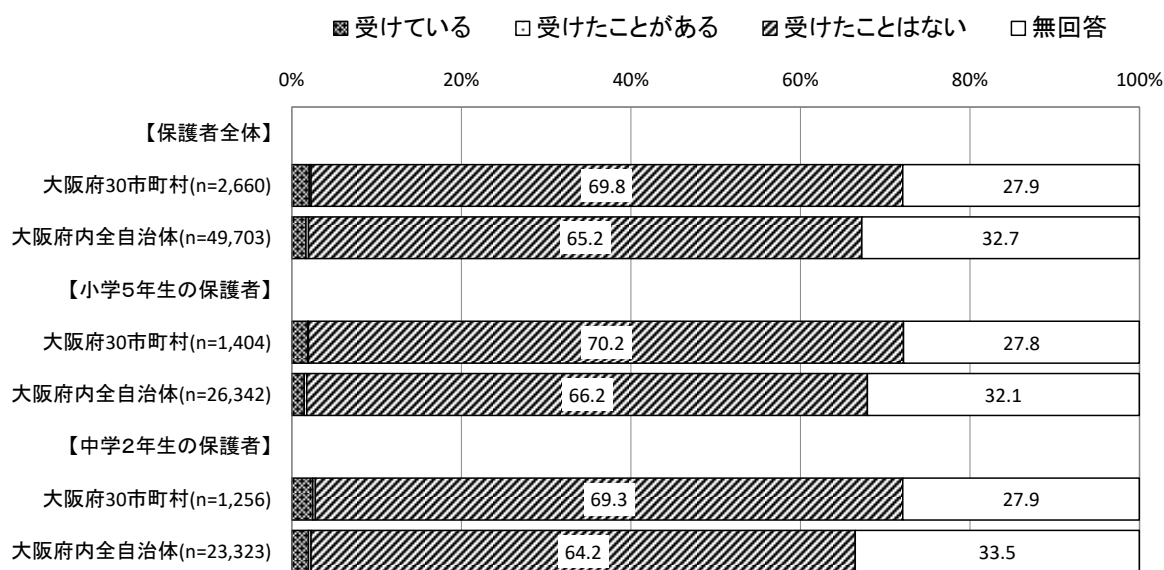


図 22. 公的年金（遺族年金、障がい年金）

保護者-27-3-8. 雇用保険（失業保険）

問 27 (3) ⑧ 雇用保険（失業保険）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 1.1%、「受けたことがある」が 16.4%、「受けたことはない」が 55.2%、「無回答」が 27.3%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 0.7%、「受けたことがある」が 17.0%、「受けたことはない」が 55.1%、「無回答」が 27.2%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 1.5%、「受けたことがある」が 15.8%、「受けたことはない」が 55.2%、「無回答」が 27.5%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも 6 割弱が「受けたことはない」になっている。

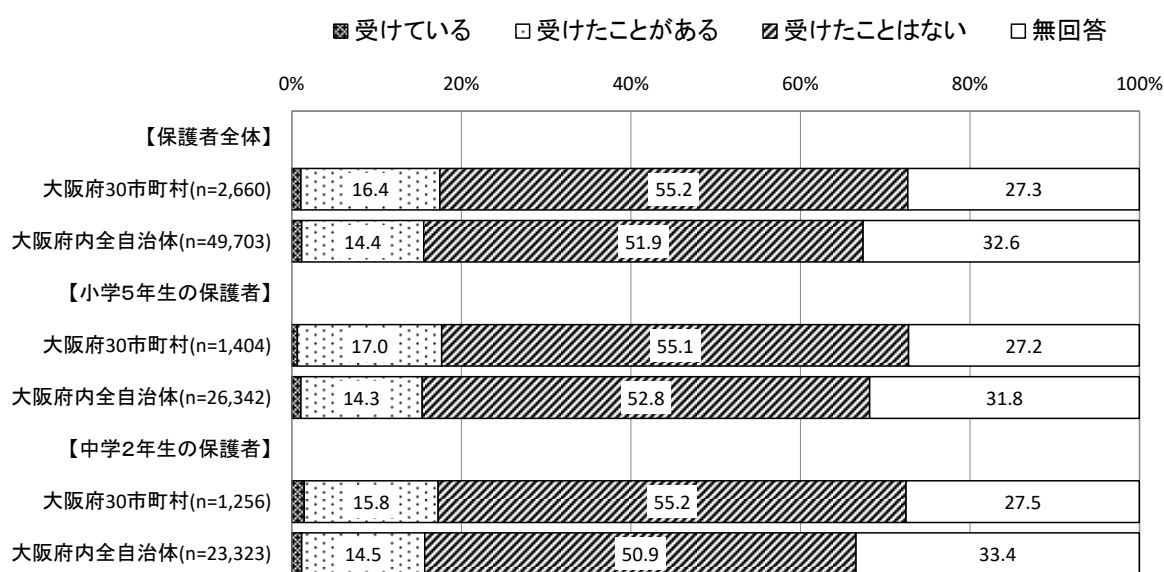


図 23. 雇用保険（失業保険）

保護者-27-3-9. 養育費

問 27 (3) ⑨ 養育費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 2.1%、「受けたことがある」が 1.2%、「受けたことはない」が 69.3%、「無回答」が 27.4%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 2.0%、「受けたことがある」が 1.6%、「受けたことはない」が 69.2%、「無回答」が 27.3%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 2.3%、「受けたことがある」が 0.8%、「受けたことはない」が 69.4%、「無回答」が 27.5%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 7 割弱になっている。

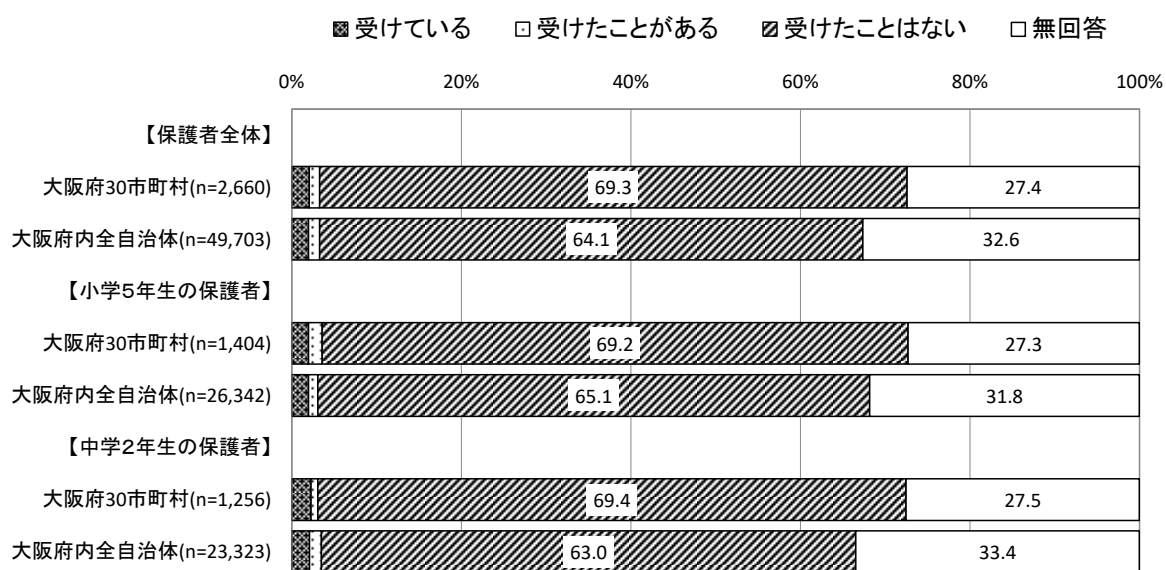


図 24. 養育費

保護者-27-3-9. 養育費（ひとり親世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 13.1%、「受けたことがある」が 6.2%、「受けたことはない」が 49.9%、「無回答」が 30.8%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 14.3%、「受けたことがある」が 7.1%、「受けたことはない」が 46.2%、「無回答」が 32.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 12.0%、「受けたことがある」が 5.2%、「受けたことはない」が 53.4%、「無回答」が 29.3%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 5 割前後になっている。

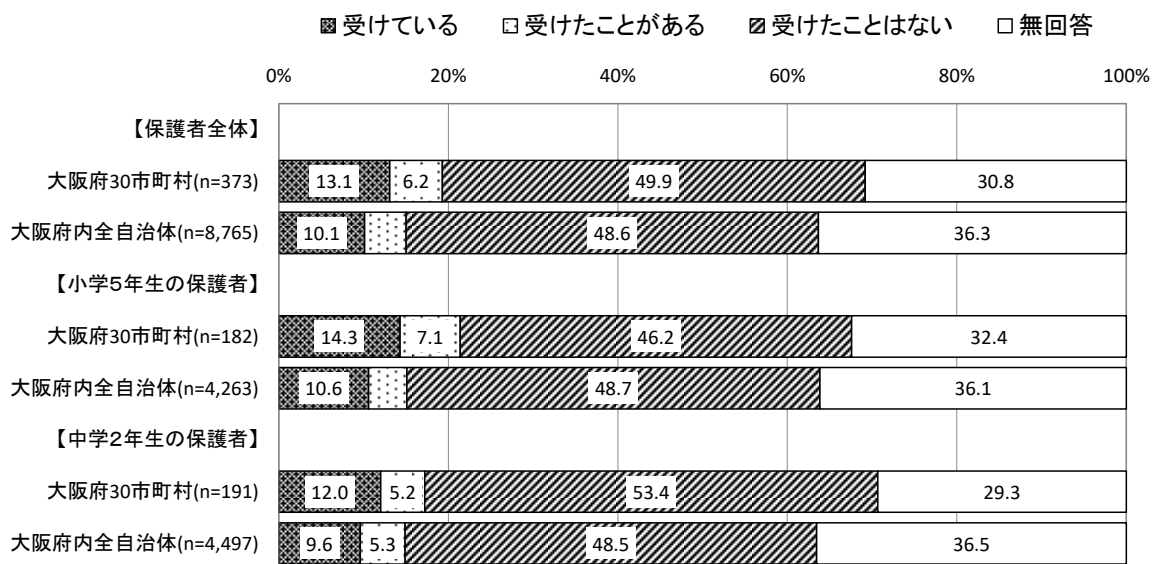


図 25. 養育費（ひとり親世帯）

保護者-27-3-9. 養育費（母子世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 15.2%、「受けたことがある」が 7.0%、「受けたことはない」が 48.1%、「無回答」が 29.7%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 16.0%、「受けたことがある」が 8.3%、「受けたことはない」が 44.9%、「無回答」が 30.8%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 14.4%、「受けたことがある」が 5.6%、「受けたことはない」が 51.3%、「無回答」が 28.8%である。

このことから、「受けたことはない」が小学 5 年生の保護者で 4 割強、中学 2 年生の保護者で 5 割強になっている。

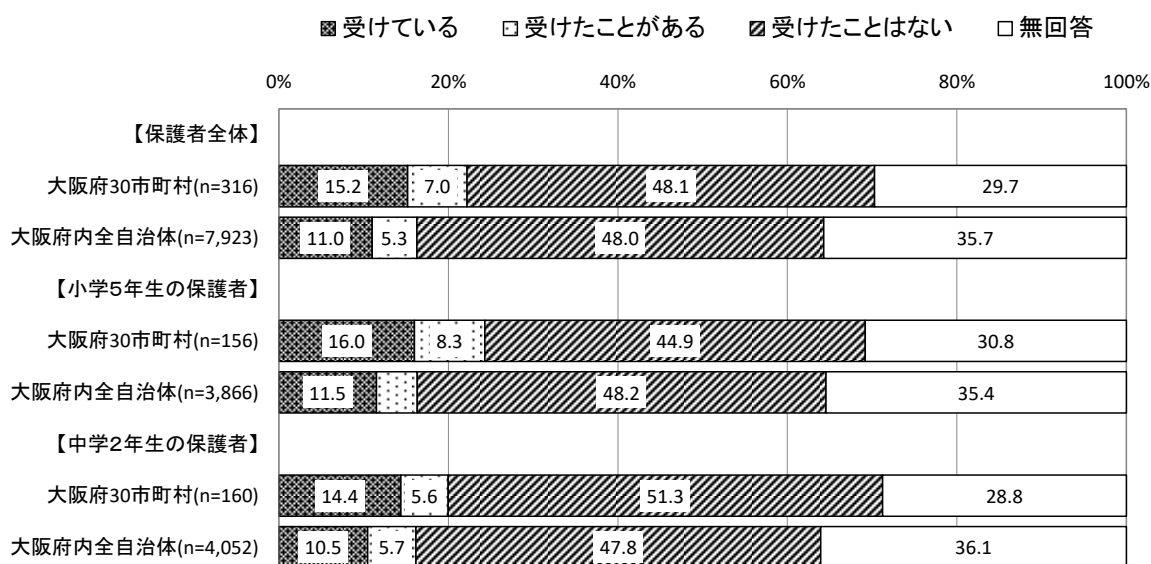


図 26. 養育費（母子世帯）

保護者-27-3-9. 養育費（父子世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 1.8%、「受けたことがある」が 1.8%、「受けたことはない」が 59.6%、「無回答」が 36.8%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 3.8%、「受けたことがある」が該当なし、「受けたことはない」が 53.8%、「無回答」が 42.3%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が該当なし、「受けたことがある」が 3.2%、「受けたことはない」が 64.5%、「無回答」が 32.3%である。

このことから、「受けたことはない」は小学 5 年生の保護者で 5 割強、中学 2 年生の保護者で 6 割強になっている。

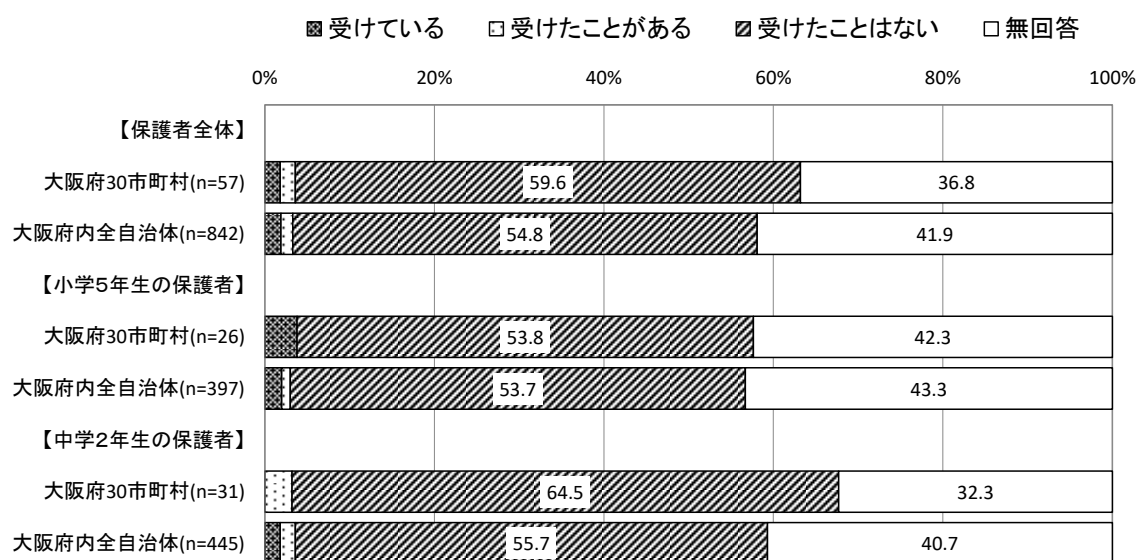


図 27. 養育費（父子世帯）

保護者-27-3-10. 親・親族からの仕送り

問 27 (3) ⑩ 親・親族からの仕送り（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 2.1%、「受けたことがある」が 8.9%、「受けたことはない」が 61.8%、「無回答」が 27.1%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 1.9%、「受けたことがある」が 8.8%、「受けたことはない」が 62.2%、「無回答」が 27.1%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 2.5%、「受けたことがある」が 9.0%、「受けたことはない」が 61.4%、「無回答」が 27.1%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 6 割強になっている。

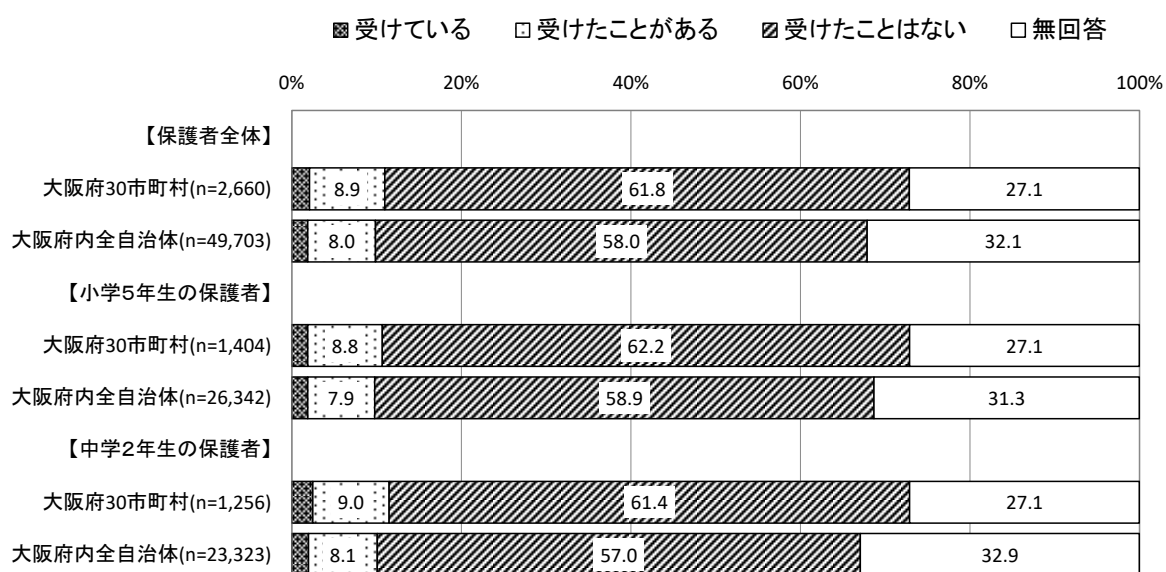


図 28. 親・親族からの仕送り

保護者-27-3-11. 退職金

問 27 (3) ⑪ 退職金 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 0.4%、「受けたことがある」が 13.2%、「受けたことはない」が 58.3%、「無回答」が 28.0%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 0.4%、「受けたことがある」が 13.2%、「受けたことはない」が 58.3%、「無回答」が 28.0%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 0.4%、「受けたことがある」が 13.2%、「受けたことはない」が 58.4%、「無回答」が 28.0%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「受けたことはない」が 6 割弱になっている。

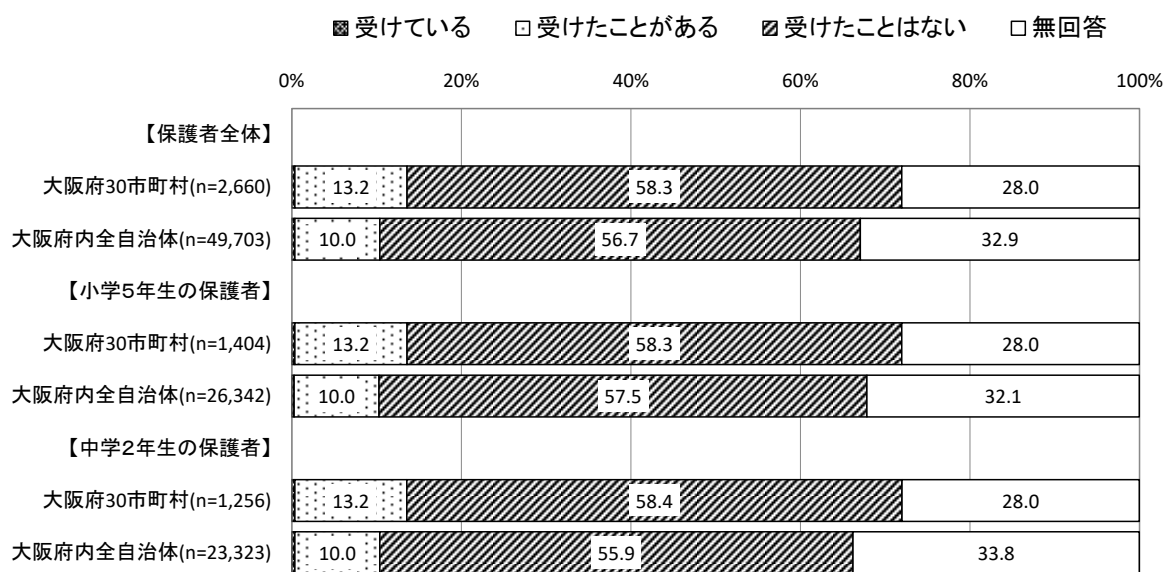


図 29. 退職金

保護者-27-3-12. その他、株式配当などの副収入

問 27 (3) ⑫ その他、株式配当などの副収入（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「受けている」が 5.6%、「受けたことがある」が 7.6%、「受けたことはない」が 60.2%、「無回答」が 26.6%である。

小学 5 年生の保護者では、「受けている」が 6.4%、「受けたことがある」が 7.3%、「受けたことはない」が 59.6%、「無回答」が 26.7%である。

中学 2 年生の保護者では、「受けている」が 4.6%、「受けたことがある」が 8.0%、「受けたことはない」が 60.9%、「無回答」が 26.4%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも 6 割前後が「受けたことはない」になっている。

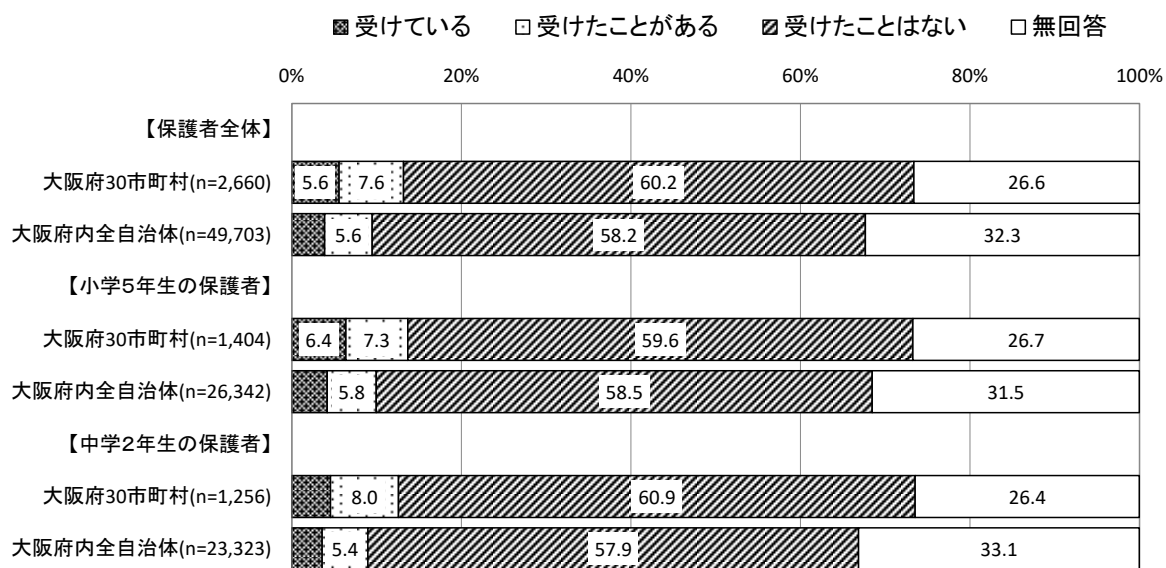


図 30. その他、株式配当などの副収入

表 3. 就労状況別人数

就労状況	人数	%
正規群	1964	81.2
自営群	288	11.9
非正規群	119	4.9
無業	28	1.2
その他	21	0.9
合計	2420	100

なお、分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）無業。
 上記以外がその他 となる。

ここでの無業とは、

「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。

クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

(2) 生活環境

保護者-3-1-1. 世帯員の人数

問3 (1) ① 世帯員の人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「2人」が2.0%、「3人」が13.3%、「4人」が47.8%、「5人」が24.5%、「6人」が8.4%、「7人」が2.7%、「8人」が0.5%、「9人」が0.2%、「10人以上」が0.3%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生の保護者では、「2人」が1.9%、「3人」が11.7%、「4人」が48.6%、「5人」が25.4%、「6人」が8.5%、「7人」が2.4%、「8人」が0.5%、「9人」が0.2%、「10人以上」が0.4%、「無回答」が0.3%である。

中学2年生の保護者では、「2人」が2.1%、「3人」が15.0%、「4人」が46.9%、「5人」が23.5%、「6人」が8.3%、「7人」が3.2%、「8人」が0.4%、「9人」が0.2%、「10人以上」が0.1%、「無回答」が0.3%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「4人」が5割弱で最も高くなっている。

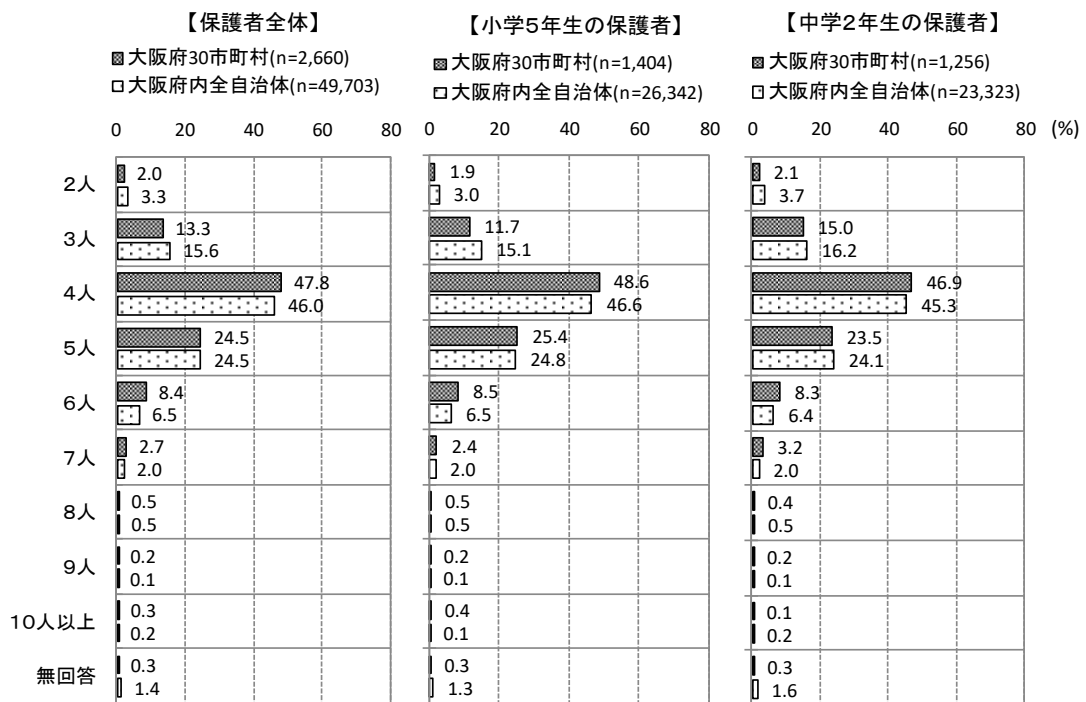


図 31. 世帯員の人数

保護者-3-1-2. 介護または介助の必要な方

問3 (1) ② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「いる」が4.5%、「いない」が94.5%、「無回答」が1.0%である。
 小学5年生の保護者では、「いる」が3.9%、「いない」が95.2%、「無回答」が0.9%である。
 中学2年生の保護者では、「いる」が5.2%、「いない」が93.7%、「無回答」が1.1%である。
 このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「いない」が9割を超えている。

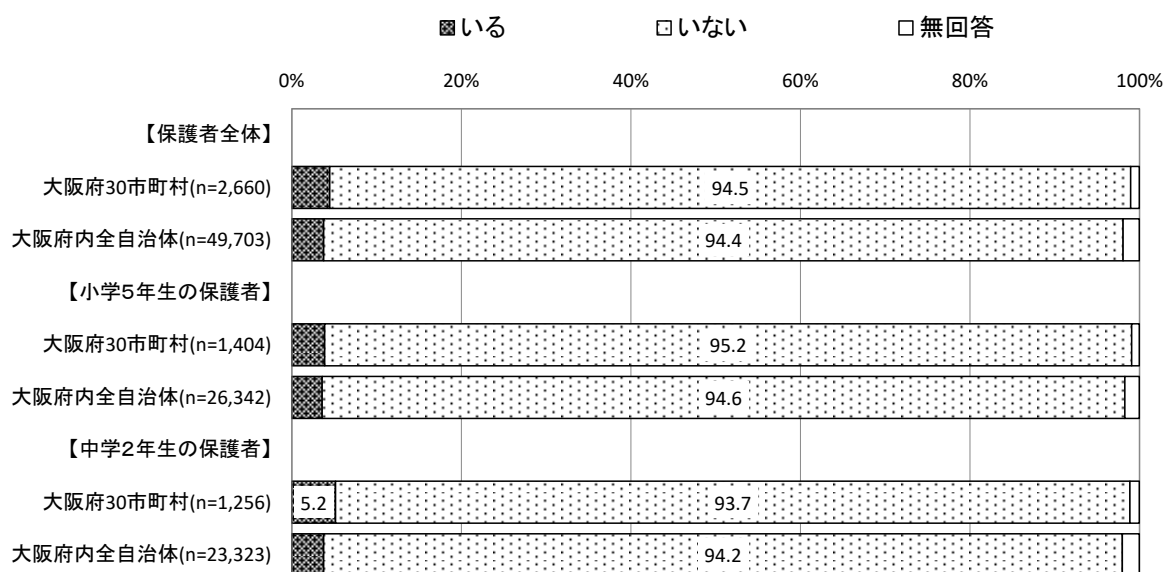


図 32. 介護または介助の必要な方

保護者-3-1-3. 子どもの人数

問3 (1) ③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子供の人数をすべてお答えください。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「1人」が13.9%、「2人」が53.0%、「3人」が26.5%、「4人」が4.7%、「5人」が1.0%、「6人」が0.3%、「7人」が0.1%、「8人」が0.1%、「9人」が0.1%、「10人以上」が0.1%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生の保護者では、「1人」が12.5%、「2人」が53.6%、「3人」が27.1%、「4人」が4.8%、「5人」が1.3%、「6人」が0.1%、「7人」が0.1%、「8人」が0.1%、「9人」が0.1%、「10人以上」が0.1%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生の保護者では、「1人」が15.5%、「2人」が52.3%、「3人」が25.8%、「4人」が4.5%、「5人」が0.6%、「6人」が0.5%、「7人」が0.1%、「8人」が0.1%、「9人」が該当なし、「10人以上」が0.1%、「無回答」が0.5%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「2人」が5割強で最も高くなっている。

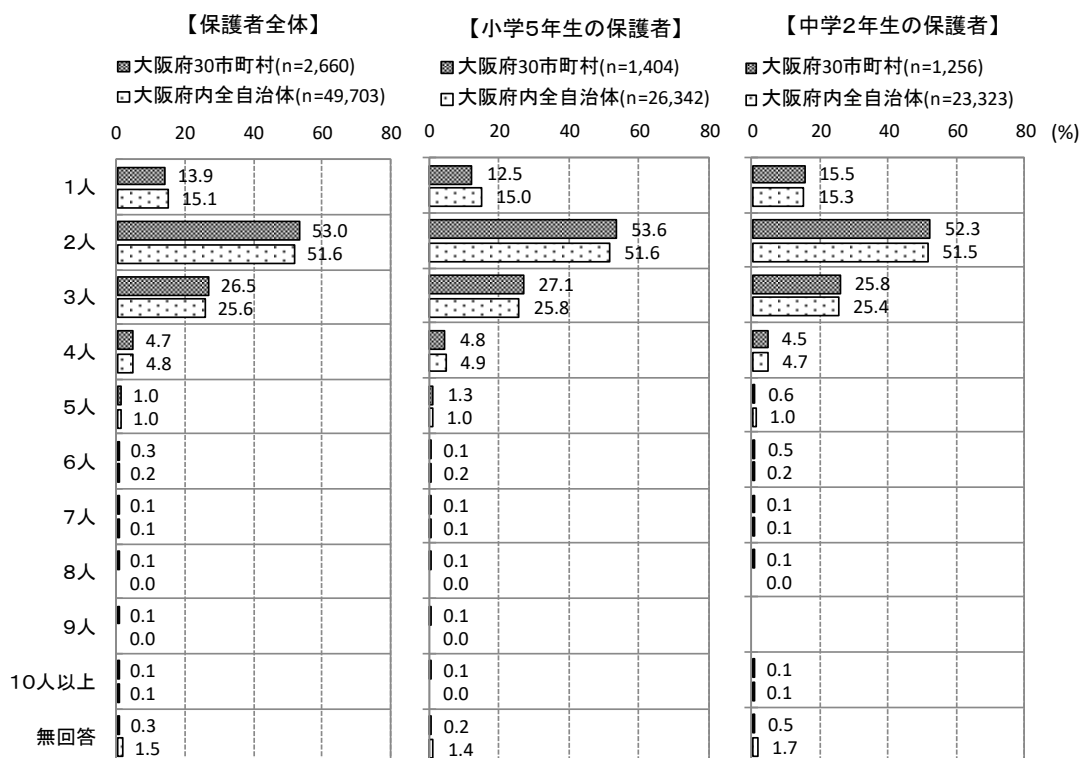


図 33. 子どもの人数

保護者-3-1-4. 小学校入学前の子どもの人数

問3 (1) ④ 世帯員の子供のうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「いない」が85.0%、「1人」が12.5%、「2人」が1.6%、「3人」が0.3%、「4人」が0.1%、「5人以上」が0.0%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生の保護者では、「いない」が78.8%、「1人」が17.9%、「2人」が2.4%、「3人」が0.5%、「4人」が0.1%、「5人以上」が0.1%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生の保護者では、「いない」が91.9%、「1人」が6.5%、「2人」が0.7%、「3人」が0.1%、「4人」が0.1%、「5人以上」が0.0%、「無回答」が0.7%である。

このことから、「いない」は小学5年生の保護者では8割弱、中学2年生の保護者では9割強になっている。

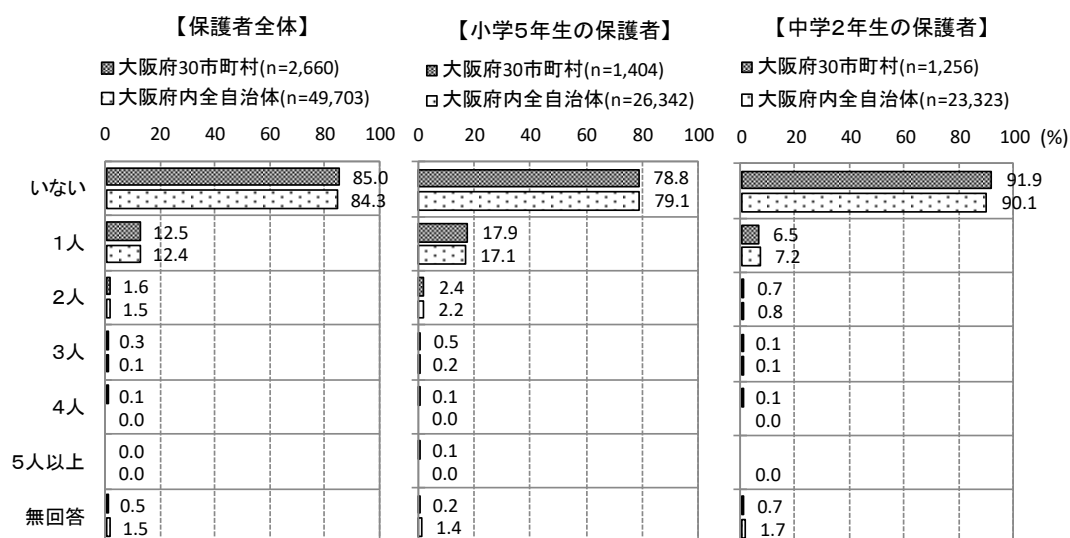


図 34. 小学校入学前の子どもの人数

保護者-3-1-5. 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

問3(1)⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「1人」が23.2%、「2人」が56.9%、「3人」が17.2%、「4人」が1.9%、「5人以上」が0.4%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「1人」が21.4%、「2人」が59.3%、「3人」が17.0%、「4人」が1.7%、「5人以上」が0.5%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生の保護者では、「1人」が25.3%、「2人」が54.2%、「3人」が17.5%、「4人」が2.1%、「5人以上」が0.3%、「無回答」が0.6%である。

このことから、「2人」は小学5年生の保護者では6割強、中学2年生の保護者では5割強になっている。

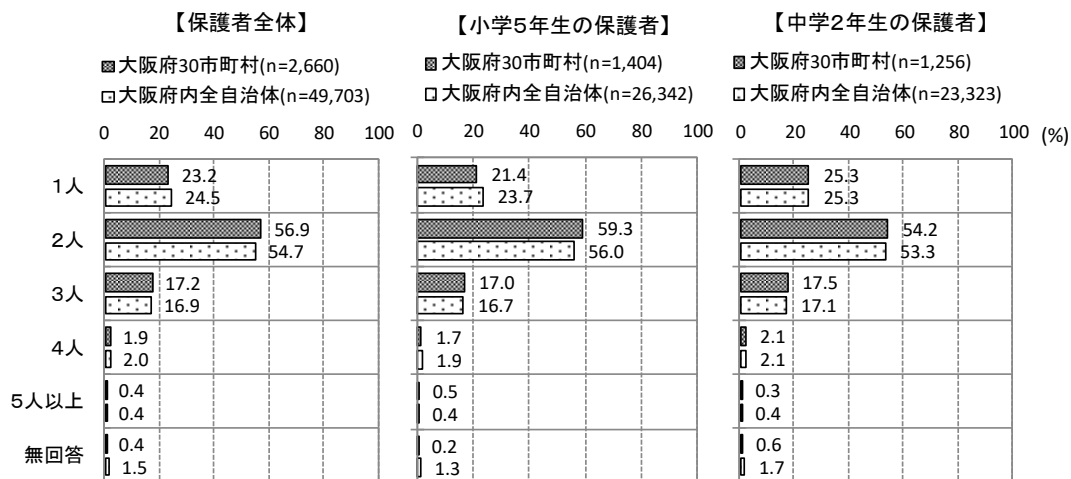


図 35. 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

保護者-3-1-6. 18歳以上の子どもの人数

問3 (1) ⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「いない」が87.3%、「1人」が8.9%、「2人」が2.6%、「3人」が0.3%、「4人」が0.1%、「5人以上」が0.1%、「無回答」が0.8%である。

小学5年生の保護者では、「いない」が92.2%、「1人」が4.4%、「2人」が2.1%、「3人」が0.4%、「4人」が0.1%、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.8%である。

中学2年生の保護者では、「いない」が81.8%、「1人」が14.0%、「2人」が3.1%、「3人」が0.2%、「4人」が該当なし、「5人以上」が0.2%、「無回答」が0.8%である。

このことから、「いない」は小学5年生の保護者では9割強、中学2年生の保護者では8割強になっている。

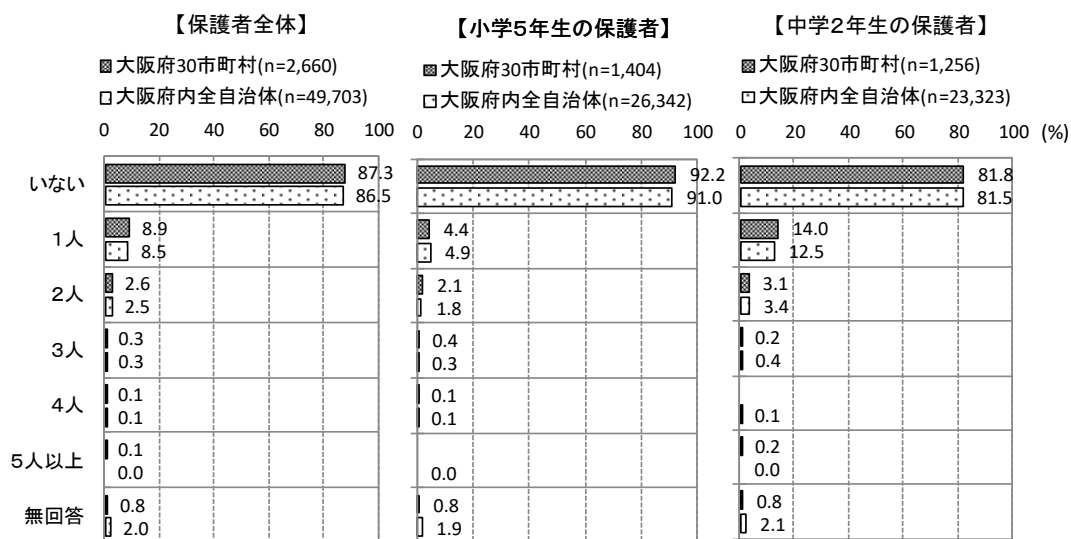


図 36. 18歳以上の子どもの人数

保護者-3-2. 世帯員の構成

問3 (2) 世帯員をすべて選んでください。

(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が96.7%、「お父さん」が86.9%、「弟・妹」が47.6%、「兄・姉」が46.7%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が97.2%、「お父さん」が88.0%、「弟・妹」が50.5%、「兄・姉」が44.9%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が96.0%、「お父さん」が85.7%、「兄・姉」が48.7%、「弟・妹」が44.4%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「お母さん」がほぼ10割、「お父さん」が9割弱になっている。

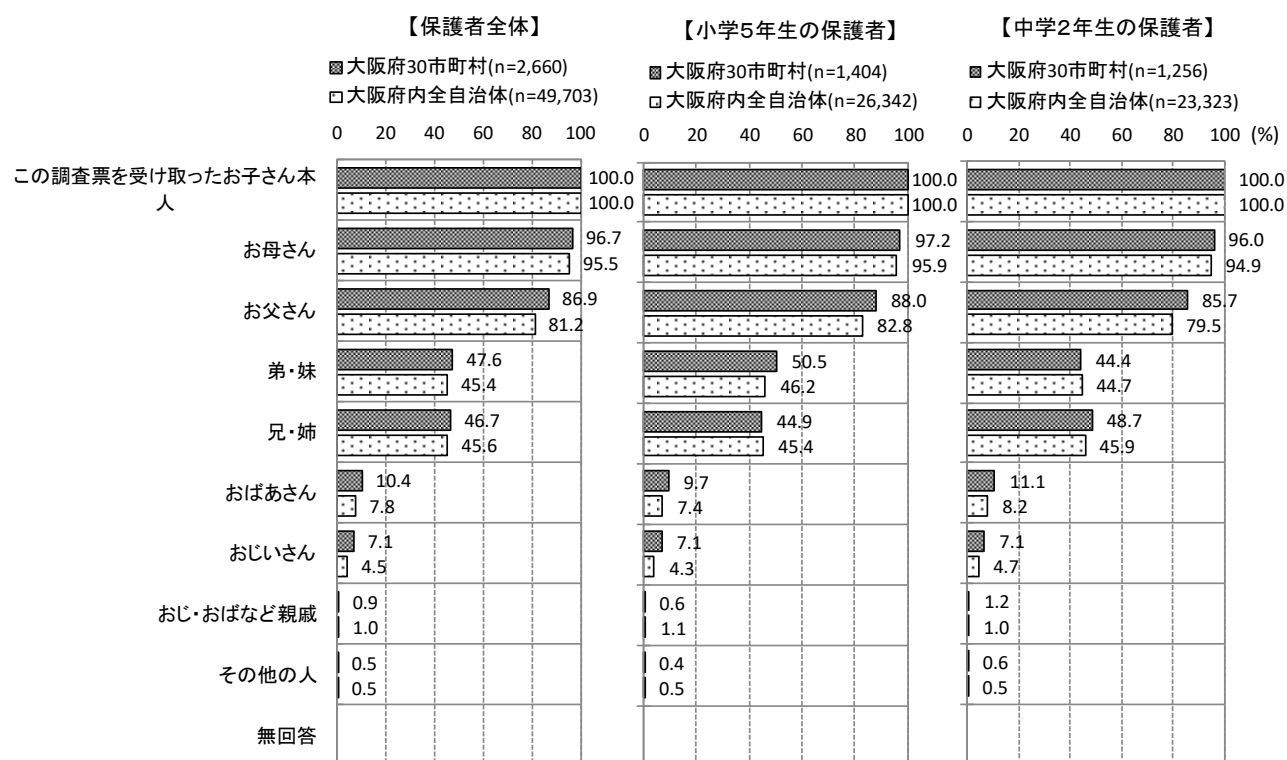


図 37. 世帯員の構成

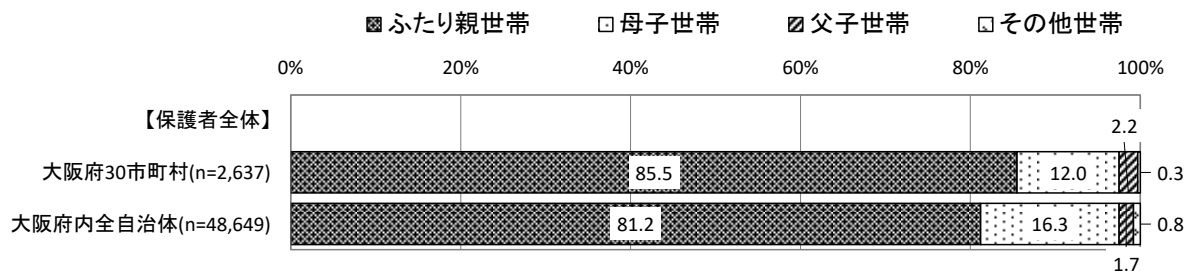


図 38. 世帯構成まとめ

問 3-2 より、上の図のようにまとめた。

ふたり親世帯：お父さん・お母さんのいる世帯

父子世帯：お父さんがおり、お母さんのいない世帯

母子世帯：お母さんがおり、お父さんのいない世帯

その他世帯：上記以外の世帯

保護者-4. 住居

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が84.5%、「府営・市営の住宅」が2.3%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.4%、「民間の賃貸住宅」が9.7%、「官舎・社宅」が1.2%、「その他」が0.7%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生の保護者では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が84.3%、「府営・市営の住宅」が2.7%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.6%、「民間の賃貸住宅」が9.3%、「官舎・社宅」が1.1%、「その他」が0.9%、「無回答」が0.1%である。

中学2年生の保護者では、「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」が84.7%、「府営・市営の住宅」が1.8%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.2%、「民間の賃貸住宅」が10.2%、「官舎・社宅」が1.2%、「その他」が0.5%、「無回答」が0.4%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「持ち家(親・きょうだいの名義を含む)」は8割強になっている。

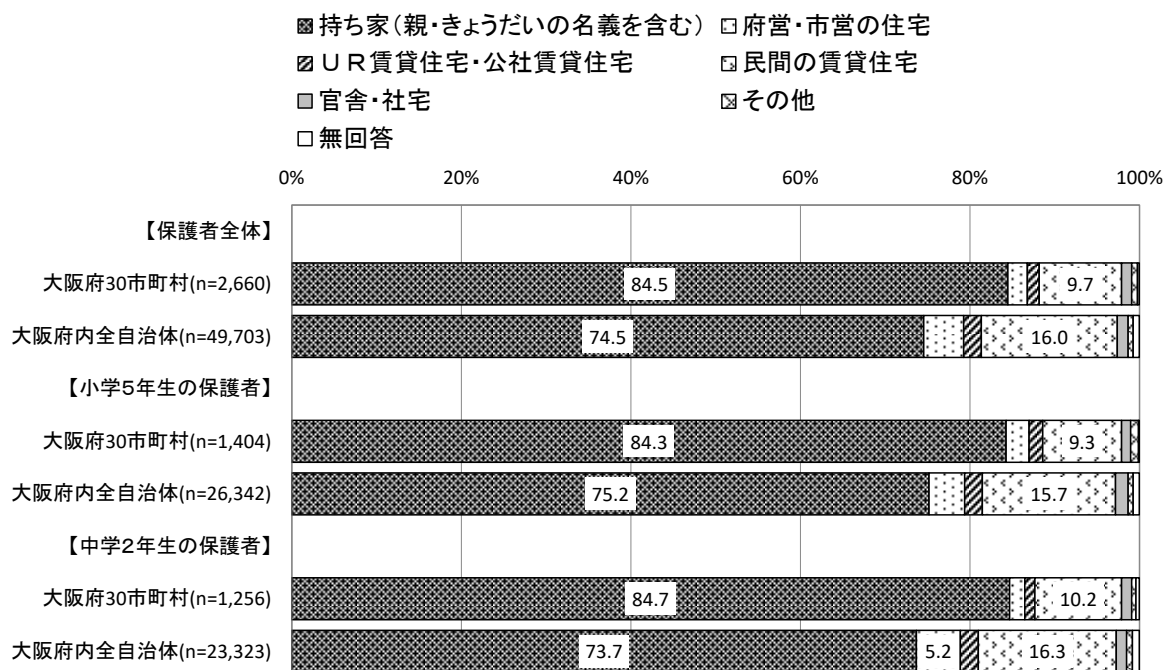


図 39. 住居

保護者-10. 保護者の在宅時間

問 10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 60.0%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 30.1%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 5.9%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 0.3%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 2.2%、「その他」が 0.9%、「無回答」が 0.5%である。

小学 5 年生の保護者では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 62.3%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 28.8%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 5.1%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 0.4%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 2.1%、「その他」が 0.9%、「無回答」が 0.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 57.5%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 31.6%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 6.8%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 0.2%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 2.4%、「その他」が 0.9%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者ともに「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 6 割前後、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 3 割前後になっている。

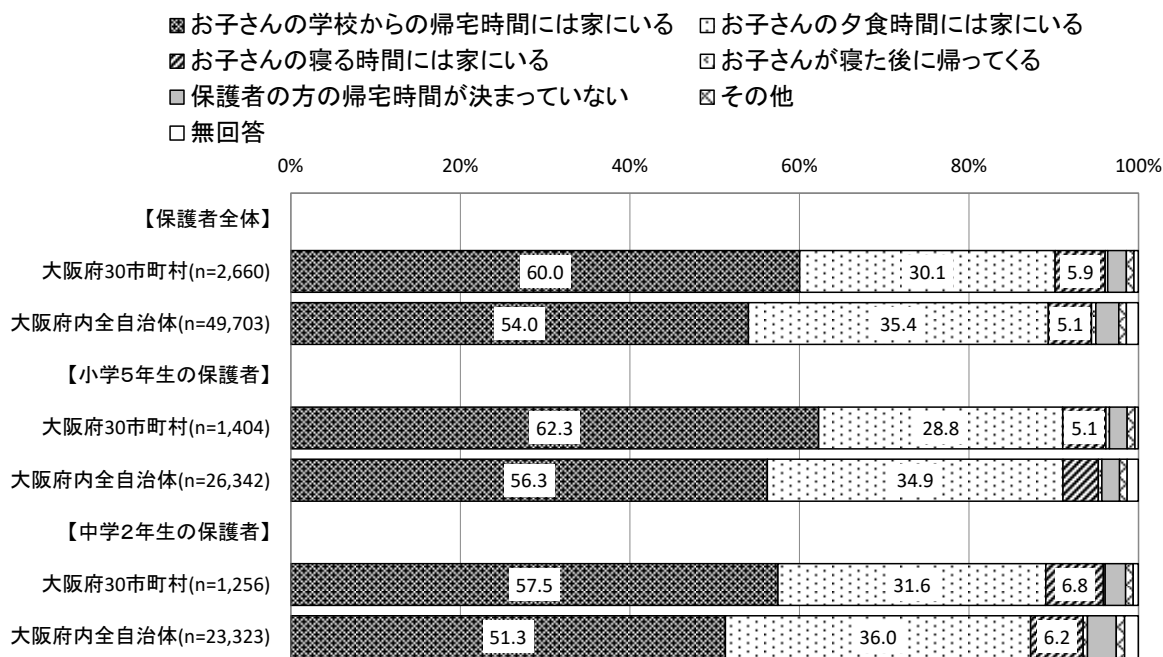


図 40. 保護者の在宅時間

保護者-11. 子どもと過ごす時間が長い人

問 11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「お母さん」が 86.2%、「弟・妹」が 32.4%、「兄・姉」が 24.8%、「お父さん」が 13.6%、「おばあさん」が 13.5%の順で高くなっている。

小学 5 年生の保護者では、「お母さん」が 86.3%、「弟・妹」が 35.6%、「兄・姉」が 25.3%、「おばあさん」が 14.0%、「お父さん」が 12.0%の順で高くなっている。

中学 2 年生の保護者では、「お母さん」が 86.0%、「弟・妹」が 28.8%、「兄・姉」が 24.3%、「お父さん」が 15.4%、「おばあさん」が 13.0%の順で高くなっている。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「お母さん」が 9 割弱で最も高い。

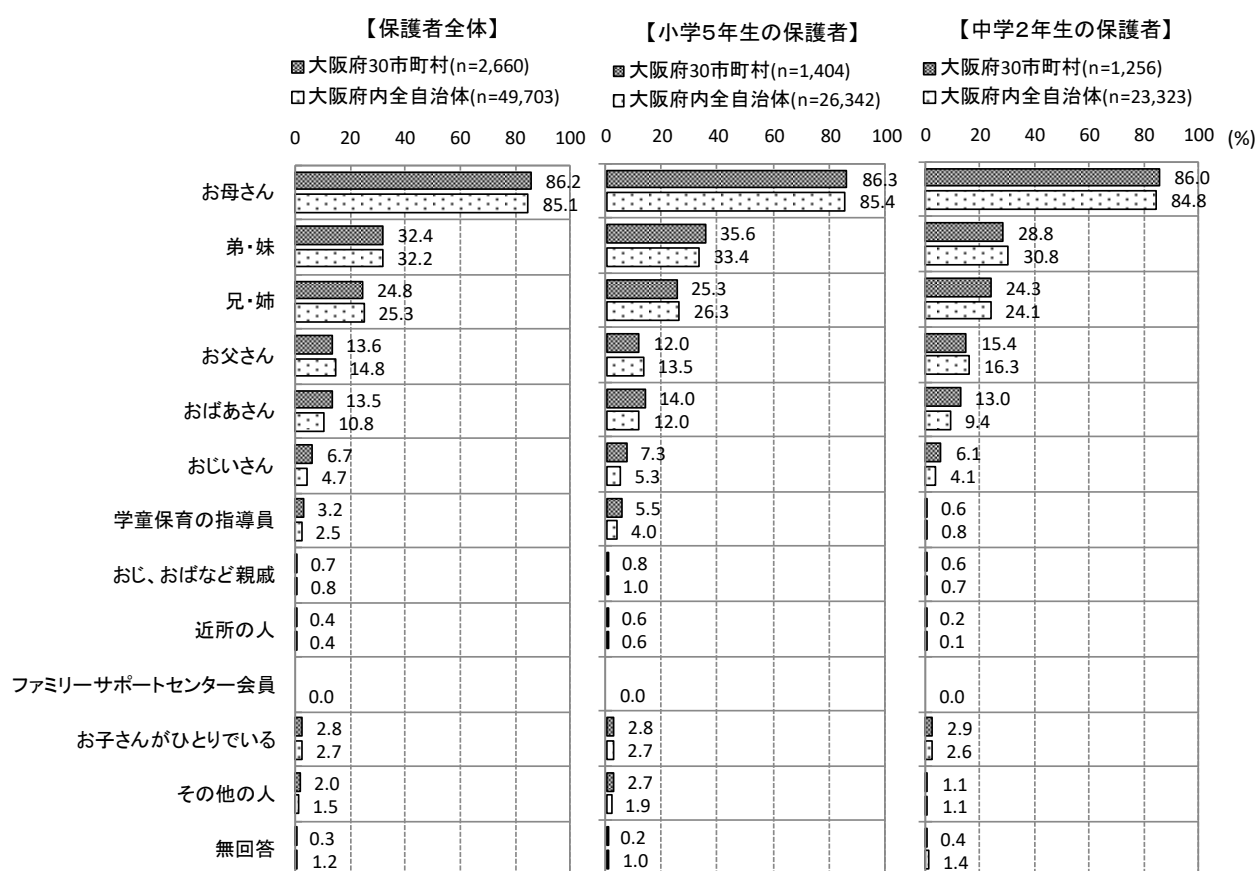


図 41. 子どもと過ごす時間が長い人

保護者-12. 子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有

問 12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「持っている」が 2.3%、「持っていない」が 97.3%、「無回答」が 0.5%である。

小学 5 年生の保護者では、「持っている」が 1.8%、「持っていない」が 97.9%、「無回答」が 0.3%である。

中学 2 年生の保護者では、「持っている」が 2.8%、「持っていない」が 96.6%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「持っていない」はほぼ 10 割である。

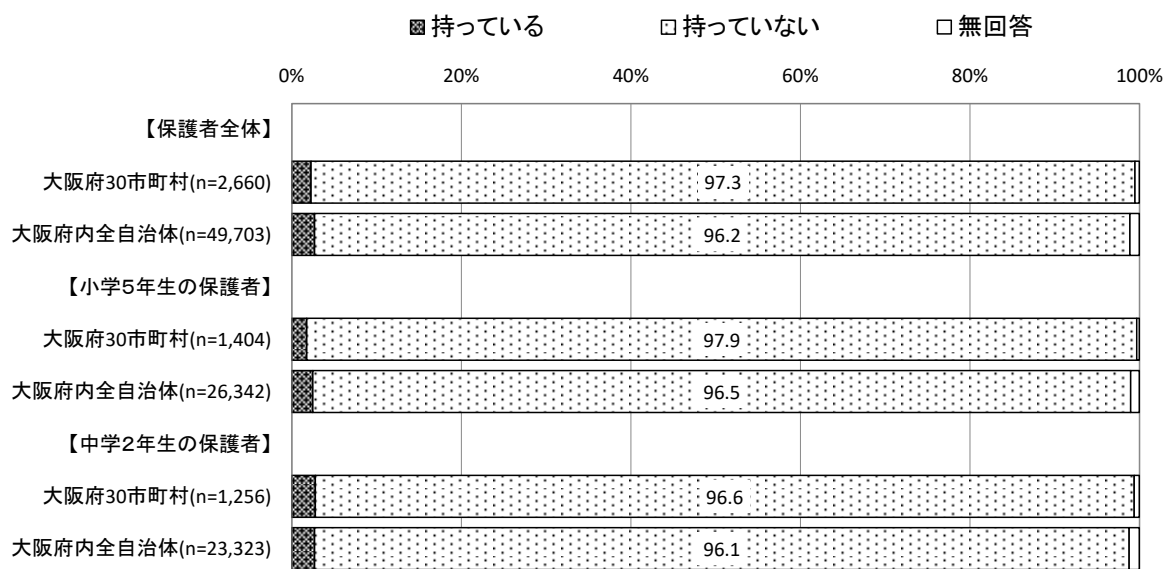


図 42. 子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有

保護者-14-1. 子どもへの信頼度

問 14 (1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「とても信頼している」が 51.0%、「信頼している」が 45.3%、「あまり信頼していない」が 3.2%、「信頼していない」が 0.2%、「無回答」が 0.3%となり、「とても信頼している」+「信頼している」=『信頼している』が 96.3%、「あまり信頼していない」+「信頼していない」=『信頼していない』が 3.4%となっている。

小学 5 年生の保護者では、「とても信頼している」が 53.9%、「信頼している」が 43.2%、「あまり信頼していない」が 2.4%、「信頼していない」が 0.2%、「無回答」が 0.4%となり、『信頼している』が 97.1%、『信頼していない』が 2.6%となっている。

中学 2 年生の保護者では、「とても信頼している」が 47.7%、「信頼している」が 47.7%、「あまり信頼していない」が 4.1%、「信頼していない」が 0.2%、「無回答」が 0.3%となり、『信頼している』が 95.4%、『信頼していない』が 4.3%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも『信頼している』がほぼ 10 割になっておる。

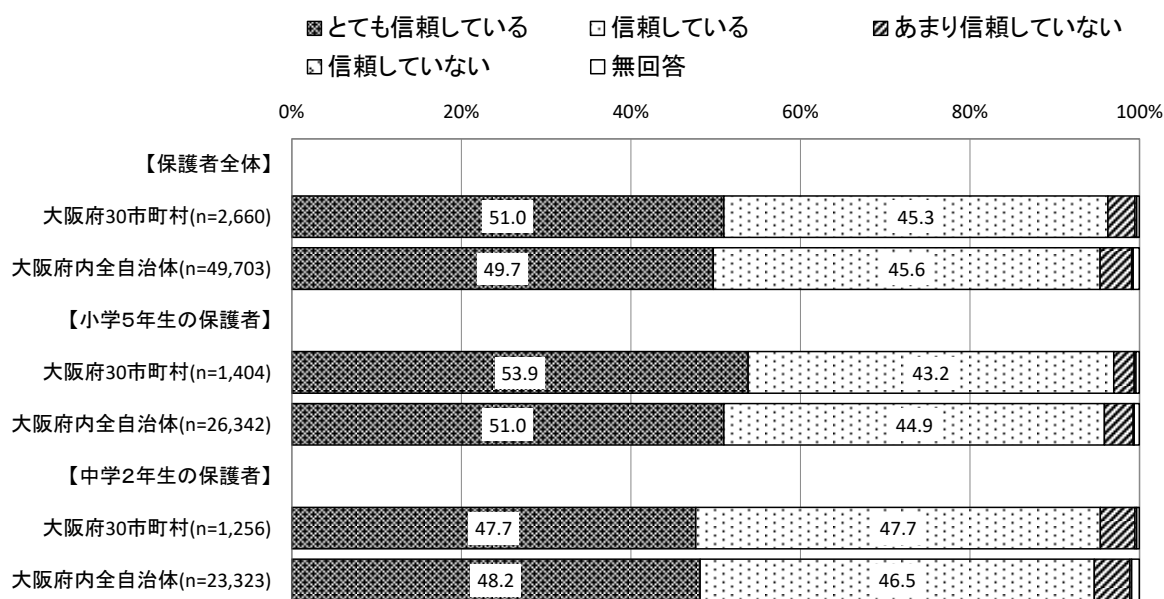


図 43. 子どもへの信頼度

保護者-14-2. 子どもとの会話

問 14 (2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「よくする」が 67.1%、「する」が 29.7%、「あまりしない」が 2.8%、「しない」が 0.1%、「無回答」が 0.3%となり、「よくする」+「する」=『する』が 96.8%、「あまりしない」+「しない」=『しない』が 2.9%となっている。

小学 5 年生の保護者では、「よくする」が 70.2%、「する」が 27.7%、「あまりしない」が 1.6%、「しない」が 0.2%、「無回答」が 0.3%となり、『する』が 97.9%、『しない』が 1.8%となっている。

中学 2 年生の保護者では、「よくする」が 63.7%、「する」が 31.8%、「あまりしない」が 4.1%、「しない」が該当なし、「無回答」が 0.3%となり、『する』が 95.5%、『しない』が 4.1%となっている。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも『する』はほぼ 10 割である。

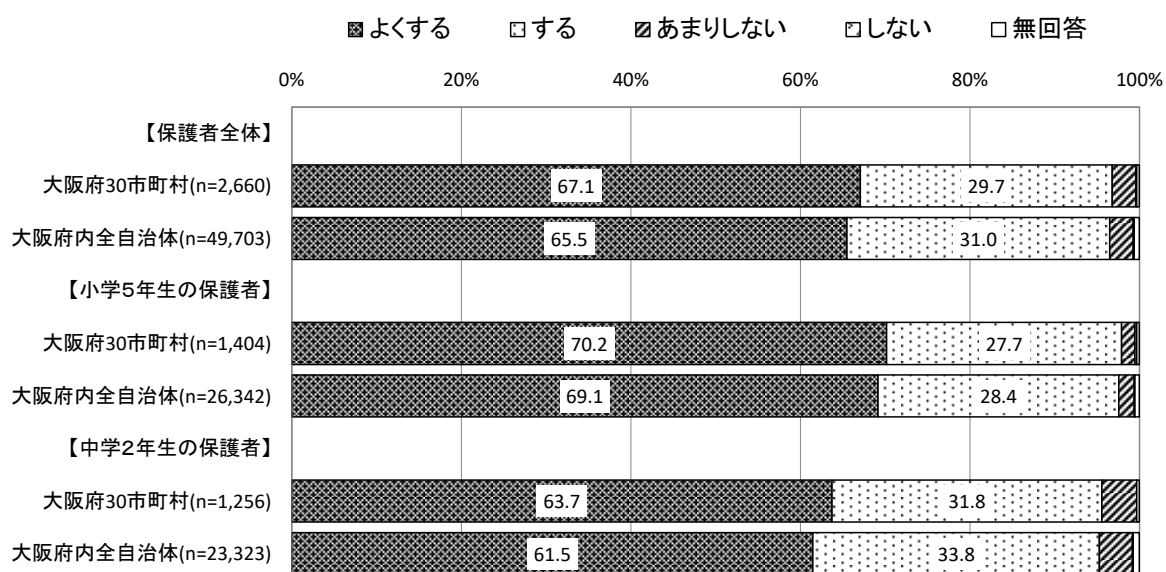


図 44. 子どもとの会話

保護者-14-3. 子どもと一緒にいる時間（平日）

問 14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（平日）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の保護者全体では、「0～15分未満」が3.2%、「15分～30分未満」が8.3%、「30分～1時間未満」が18.0%、「1時間～2時間未満」が24.6%、「2時間～3時間未満」が17.6%、「3時間～4時間未満」が12.8%、「4時間以上」が12.5%、「無回答」が3.1%である。

小学5年生の保護者では、「0～15分未満」が3.2%、「15分～30分未満」が7.3%、「30分～1時間未満」が17.2%、「1時間～2時間未満」が21.9%、「2時間～3時間未満」が17.5%、「3時間～4時間未満」が14.0%、「4時間以上」が15.5%、「無回答」が3.6%である。

中学2年生の保護者では、「0～15分未満」が3.2%、「15分～30分未満」が9.4%、「30分～1時間未満」が18.9%、「1時間～2時間未満」が27.7%、「2時間～3時間未満」が17.7%、「3時間～4時間未満」が11.5%、「4時間以上」が9.1%、「無回答」が2.6%である。

このことから、「1時間～2時間未満」は小学5年生の保護者が2割強、中学2年生の保護者が3割弱で最も高い。

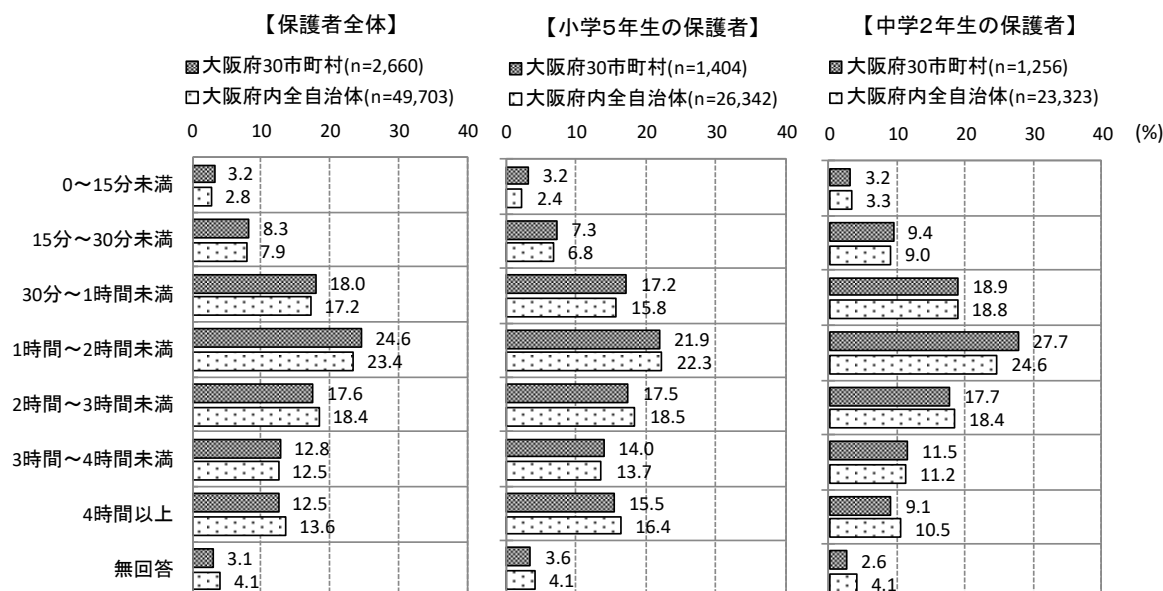


図 45. 子どもと一緒にいる時間（平日）

保護者-14-3. 子どもと一緒にいる時間（休日）

問 14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（休日）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の保護者全体では、「2時間未満」が11.8%、「2時間～4時間未満」が17.3%、「4時間～6時間未満」が14.7%、「6時間～8時間未満」が10.0%、「8時間～10時間未満」が6.8%、「10時間以上」が14.7%、「無回答」が24.7%である。

小学5年生の保護者では、「2時間未満」が8.0%、「2時間～4時間未満」が14.7%、「4時間～6時間未満」が14.8%、「6時間～8時間未満」が11.1%、「8時間～10時間未満」が8.4%、「10時間以上」が19.6%、「無回答」が23.4%である。

中学2年生の保護者では、「2時間未満」が15.9%、「2時間～4時間未満」が20.3%、「4時間～6時間未満」が14.6%、「6時間～8時間未満」が8.8%、「8時間～10時間未満」が4.9%、「10時間以上」が9.3%、「無回答」が26.1%である。

このことから、小学5年生の保護者では「10時間以上」、中学2年生の保護者では「2時間～4時間未満」が2割前後で高くなっている。

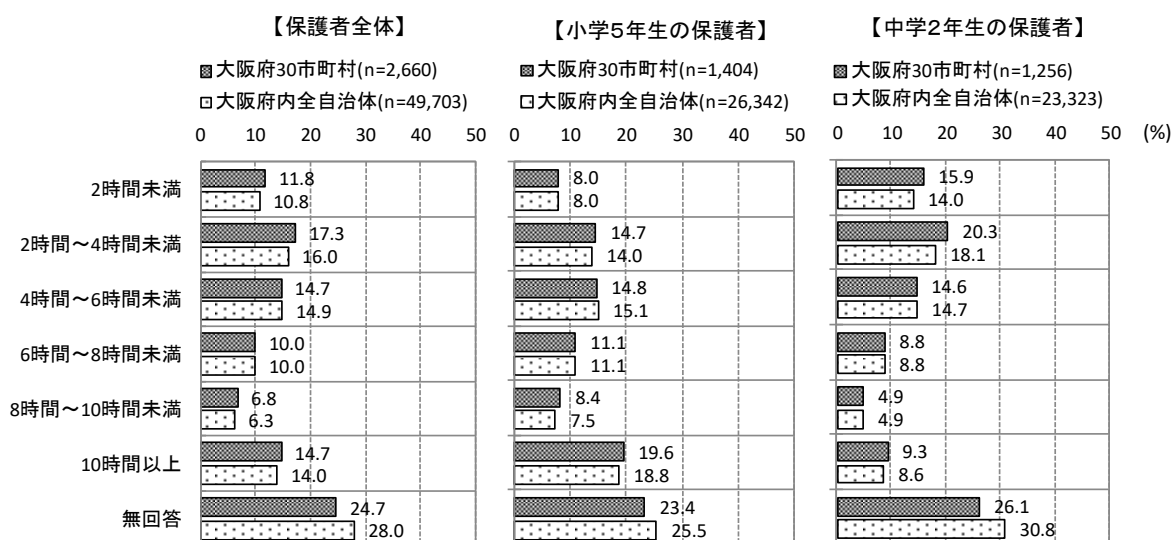


図 46. 子どもと一緒にいる時間（休日）

保護者-14-4. 子どもの将来への期待

問 14 (4) お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「とても期待している」が 22.9%、「期待している」が 63.5%、「あまり期待していない」が 11.5%、「期待していない」が 1.3%、「無回答」が 0.8%となり、「とても期待している」+「期待している」=『期待している』が 86.4%、「あまり期待していない」+「期待していない」=『期待していない』が 12.9%となっている。

小学 5 年生の保護者では、「とても期待している」が 23.9%、「期待している」が 64.4%、「あまり期待していない」が 10.0%、「期待していない」が 1.1%、「無回答」が 0.6%となり、『期待している』が 88.3%、『期待していない』が 11.0%となっている。

中学 2 年生の保護者では、「とても期待している」が 21.7%、「期待している」が 62.5%、「あまり期待していない」が 13.3%、「期待していない」が 1.6%、「無回答」が 0.9%となり、『期待している』が 84.2%、『期待していない』が 14.9%となっている。

このことから、『期待している』は小学 5 年生の保護者が 9 割弱、中学 2 年生の保護者が 8 割強になっている。

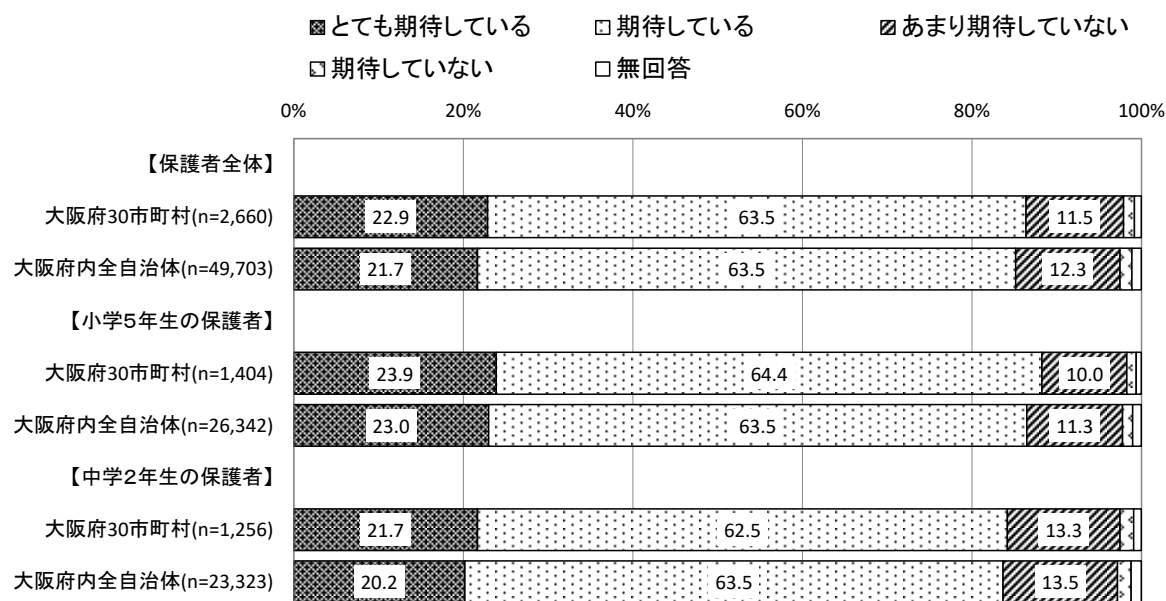


図 47. 子どもの将来への期待

保護者-19. 初めて親となった年齢

問 19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「10代」が1.7%、「20～23歳」が8.5%、「24～26歳」が21.0%、「27～30歳」が37.9%、「31～34歳」が20.5%、「35～39歳」が6.8%、「40歳以上」が3.1%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「10代」が2.3%、「20～23歳」が8.3%、「24～26歳」が19.9%、「27～30歳」が36.4%、「31～34歳」が21.4%、「35～39歳」が7.8%、「40歳以上」が3.3%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生の保護者では、「10代」が1.0%、「20～23歳」が8.8%、「24～26歳」が22.2%、「27～30歳」が39.6%、「31～34歳」が19.6%、「35～39歳」が5.6%、「40歳以上」が2.9%、「無回答」が0.2%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「27～30歳」が4割弱で高くなっている。

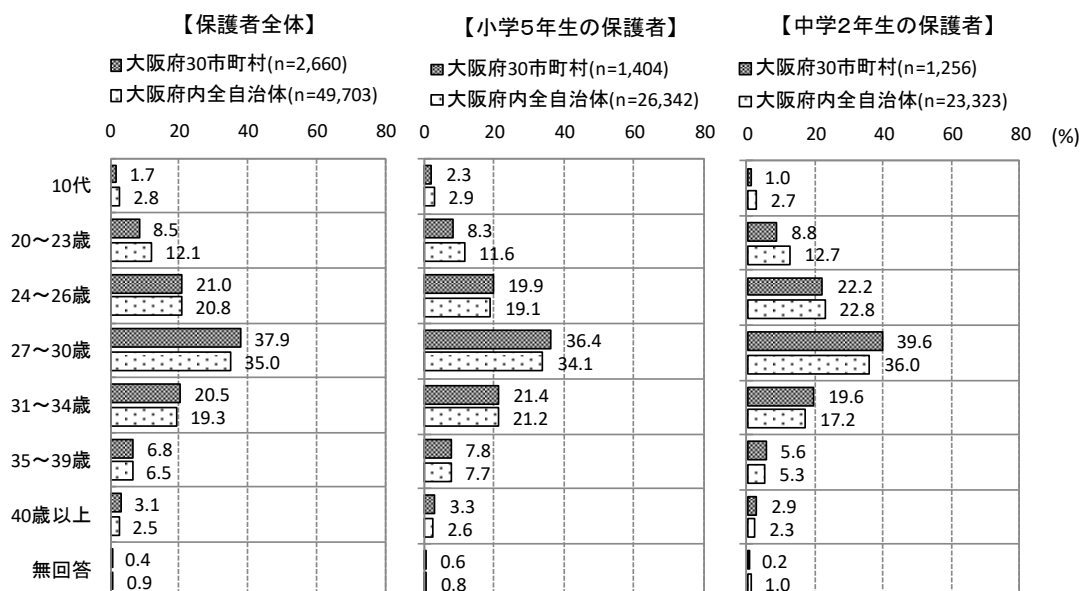


図 48. 初めて親となった年齢

子ども-2. 起床時間の規則性

問2 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の全体では、「起きている」が67.9%、「どちらかといえば、起きている」が24.2%、「あまり、起きていない」が5.5%、「起きていない」が1.2%、「無回答」が1.1%となり、「起きている」+「どちらかといえば、起きている」=『起きている』が92.2%、「あまり、起きていない」+「起きていない」=『起きていない』が6.8%になっている。

小学5年生では、「起きている」が67.3%、「どちらかといえば、起きている」が24.8%、「あまり、起きていない」が5.3%、「起きていない」が1.3%、「無回答」が1.4%となり、『起きている』が92.1%、『起きていない』が6.6%である。

中学2年生では、「起きている」が68.7%、「どちらかといえば、起きている」が23.6%、「あまり、起きていない」が5.8%、「起きていない」が1.1%、「無回答」が0.8%となり、『起きている』が92.2%、『起きていない』が7.0%となっている。

このことから、小学5年生、中学2年生とも『起きている』が9割強になっている。

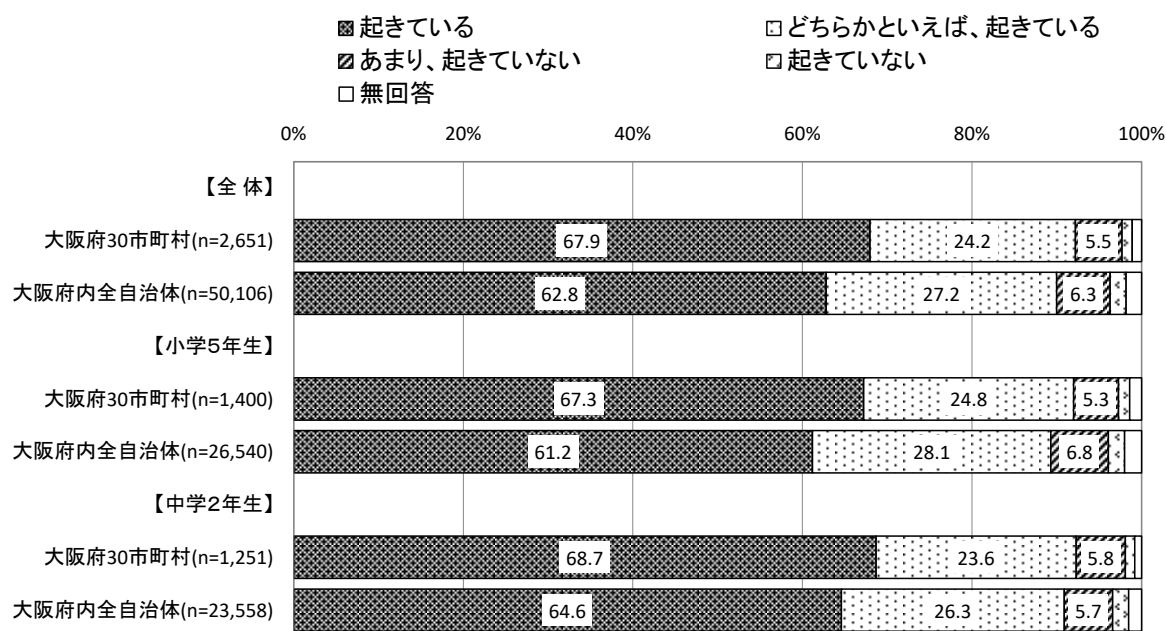


図 49. 起床時間の規則性

子ども-3. 就寝時間

問3 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の全体では、「午後9時より前」が1.9%、「午後9時台」が19.4%、「午後10時台」が33.8%、「午後11時台」が24.0%、「午前0時台」が8.1%、「午前1時より後」が1.6%、「きまっていない」が10.2%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生では、「午後9時より前」が3.4%、「午後9時台」が33.3%、「午後10時台」が41.7%、「午後11時台」が11.4%、「午前0時台」が1.5%、「午前1時より後」が0.4%、「きまっていない」が7.1%、「無回答」が1.3%である。

中学2年生では、「午後9時より前」が0.2%、「午後9時台」が3.8%、「午後10時台」が24.9%、「午後11時台」が38.2%、「午前0時台」が15.5%、「午前1時より後」が2.9%、「きまっていない」が13.7%、「無回答」が0.7%である。

このことから、小学5年生では「午後10時台」が4割強、中学2年生では「午後11時台」が4割弱でそれぞれ高くなっている。

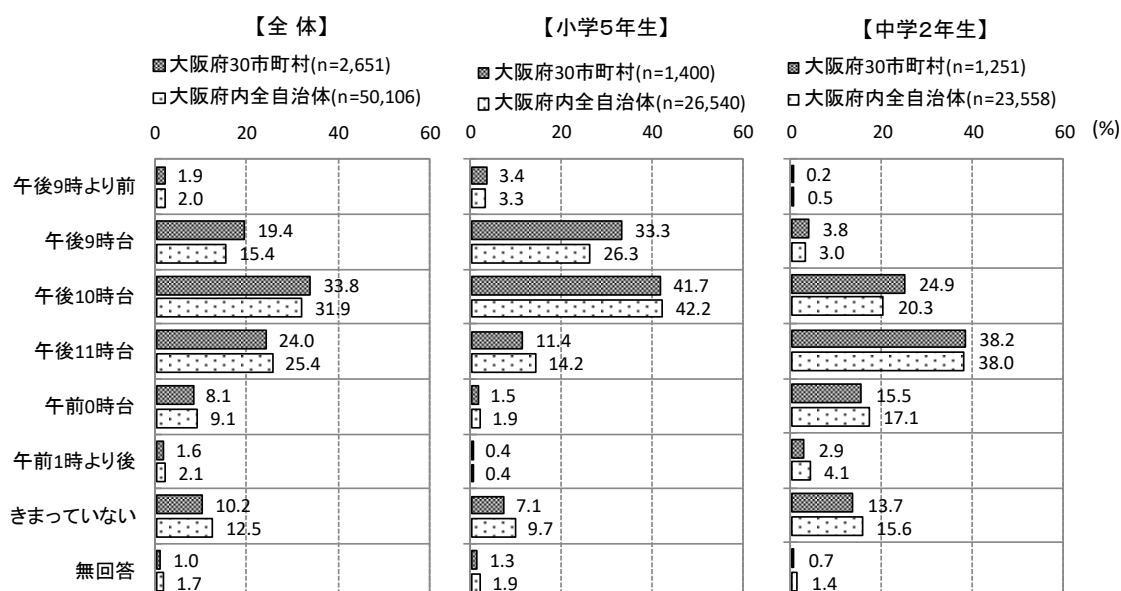


図 50. 就寝時間

子ども-4. 睡眠時間

問4 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。（睡眠時間）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の全体では、「5時間59分より短い」が1.3%、「6時間～6時間59分」が10.9%、「7時間～7時間59分」が25.3%、「8時間～8時間59分」が33.1%、「9時間～9時間59分」が20.4%、「10時間より長い」が2.1%、「きまっていない」が5.8%、「無回答」が1.1%である。

小学5年生では、「5時間59分より短い」が0.3%、「6時間～6時間59分」が4.6%、「7時間～7時間59分」が13.1%、「8時間～8時間59分」が39.6%、「9時間～9時間59分」が33.5%、「10時間より長い」が3.5%、「きまっていない」が4.1%、「無回答」が1.3%である。

中学2年生では、「5時間59分より短い」が2.5%、「6時間～6時間59分」が17.9%、「7時間～7時間59分」が39.0%、「8時間～8時間59分」が25.8%、「9時間～9時間59分」が5.8%、「10時間より長い」が0.5%、「きまっていない」が7.7%、「無回答」が0.8%である。

この結果から、小学5年生は「8時間～8時間59分」、中学2年生は「7時間～7時間59分」が4割弱で高くなっている。

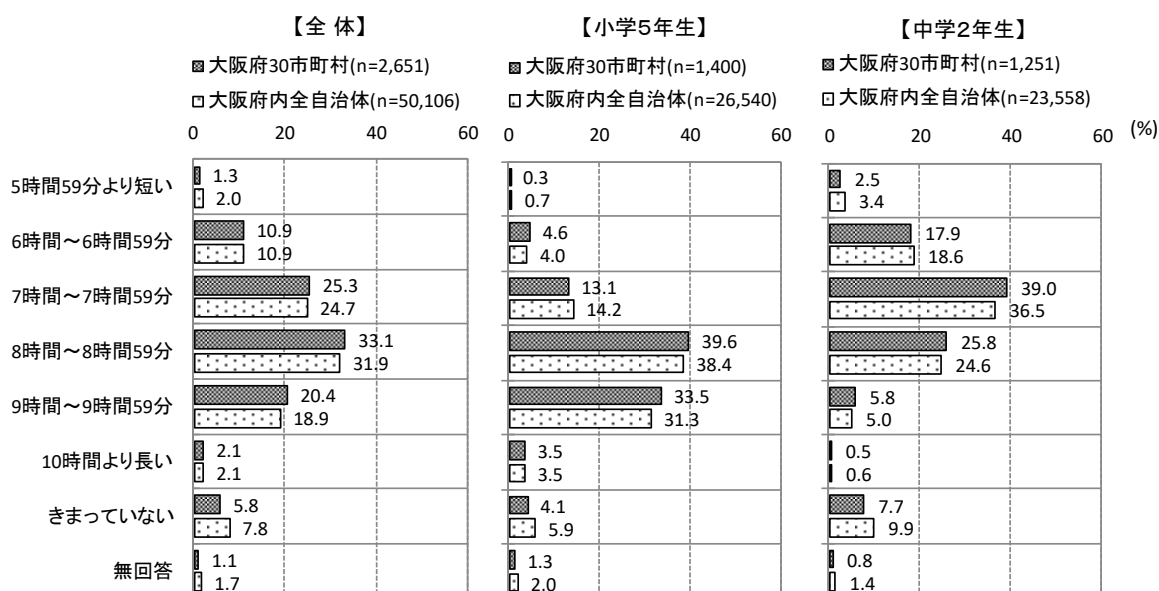


図 51. 睡眠時間

子ども-5-1. 朝食の頻度

問5 (1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が92.0%、「週に4～5回」が3.3%、「週に2～3回」が2.5%、「週に1回程度」が0.8%、「食べない」が1.3%、「無回答」が0.2%である。「毎日またはほとんど毎日」以外を合計すると、7.8%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が94.0%、「週に4～5回」が2.8%、「週に2～3回」が1.9%、「週に1回程度」が0.6%、「食べない」が0.6%、「無回答」が0.1%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が89.8%、「週に4～5回」が3.9%、「週に2～3回」が3.2%、「週に1回程度」が1.0%、「食べない」が2.0%、「無回答」が0.2%である。

このことから、小学5年生、中学2年生は9割前後が「毎日またはほとんど毎日」になっている。

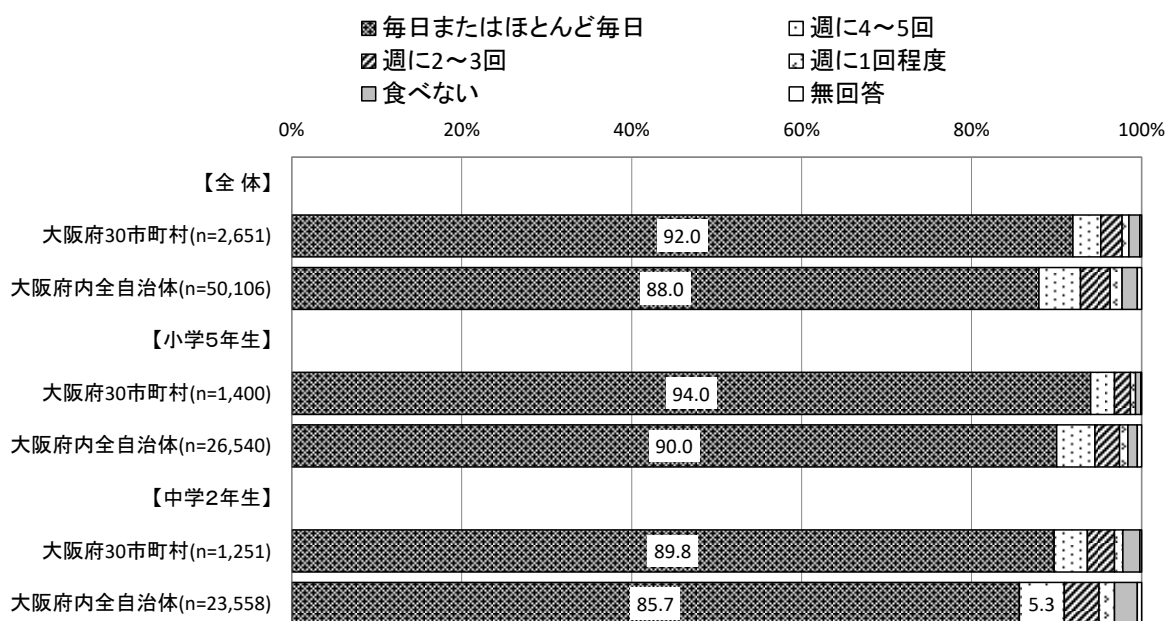


図 52. 朝食の頻度

子ども-5-2. 朝食を食べない理由

問 5 (2) あなたが朝食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「時間がない」が 34.1%、「おなかがすいていない」が 37.0%、「用意されていない」が 4.8%、「食べる習慣がない」が 5.8%、「わからない」が 7.7%、「無回答」が 10.6%である。

小学 5 年生では、「時間がない」が 34.1%、「おなかがすいていない」が 37.8%、「用意されていない」が 3.7%、「食べる習慣がない」が 7.3%、「わからない」が 6.1%、「無回答」が 11.0%である。

中学 2 年生では、「時間がない」が 34.1%、「おなかがすいていない」が 36.5%、「用意されていない」が 5.6%、「食べる習慣がない」が 4.8%、「わからない」が 8.7%、「無回答」が 10.3%である。

このことから、小学 5 年生と中学 2 年生はともに「時間がない」が 3 割強、「おなかがすいていない」が 4 割弱になっている。

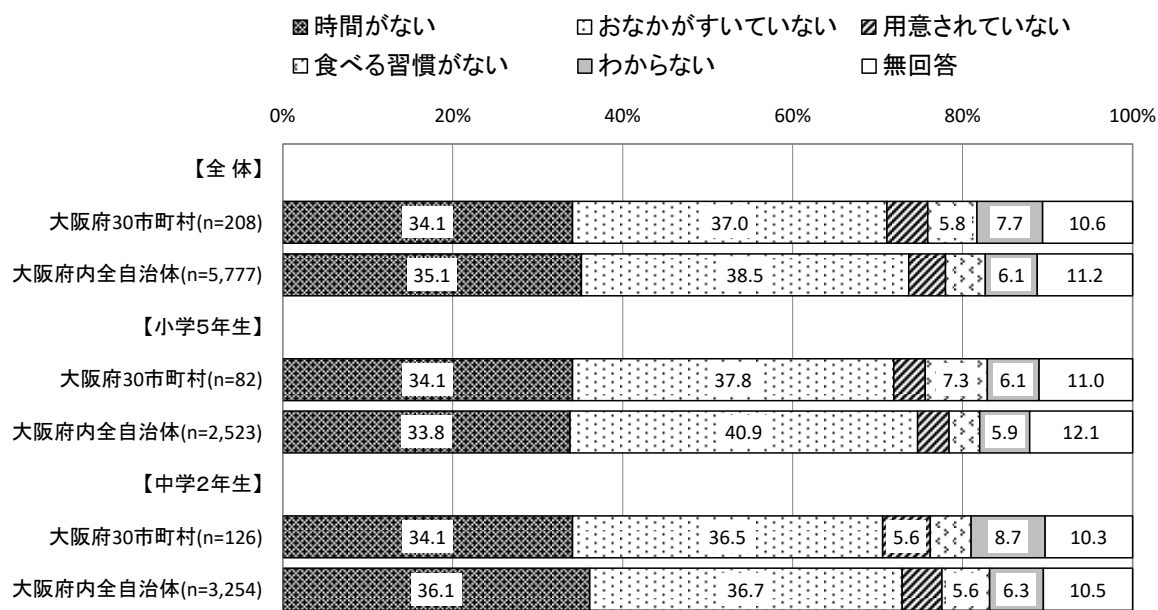


図 53. 朝食を食べない理由

子ども-6-1. 夕食の頻度

問6 (1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が99.1%、「週に4~5回」が0.5%、「週に2~3回」が0.0%、「週に1回程度」が0.0%、「食べない」が0.0%、「無回答」が0.3%である。「毎日またはほとんど毎日」以外を合計すると、0.6%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が99.1%、「週に4~5回」が0.4%、「週に2~3回」が該当なし、「週に1回程度」が0.1%、「食べない」が0.1%、「無回答」が0.3%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が99.0%、「週に4~5回」が0.6%、「週に2~3回」が0.1%、「週に1回程度」と「食べない」が該当なし、「無回答」が0.3%である。

このことから、小学5年生、中学2年生とも「毎日またはほとんど毎日」はほぼ10割になっている。

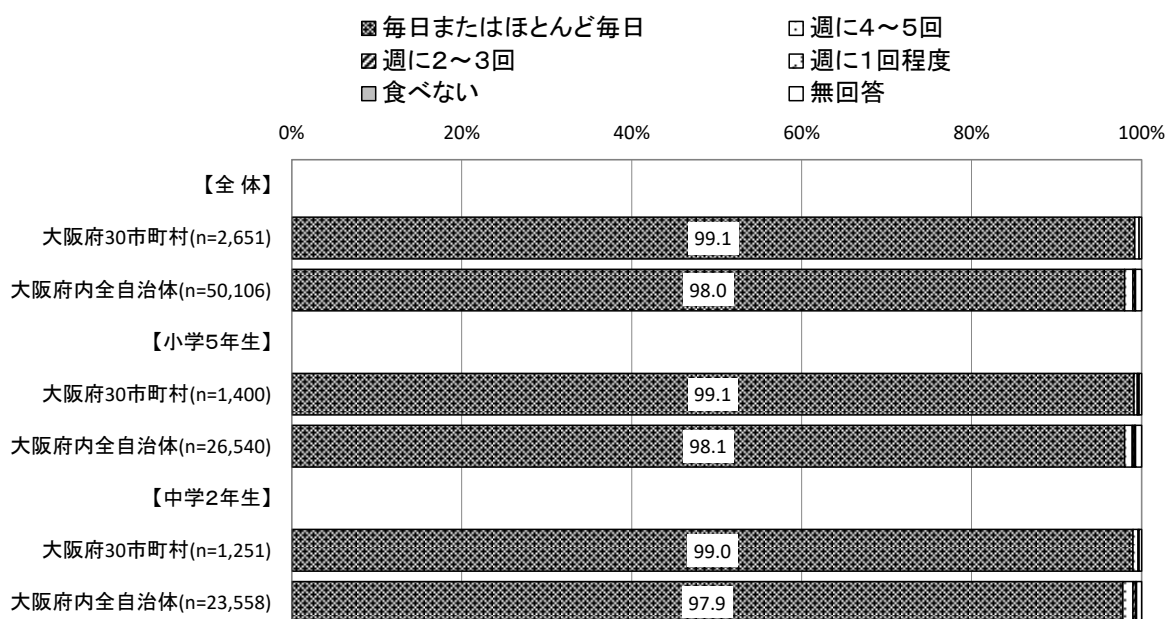


図 54. 夕食の頻度

子ども-6-2. 夕食を食べない理由

問6 (2) あなたが夕食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体(サンプル数16件)では、「時間がない」が該当なし、「おなかがすいていない」が37.5%、「用意されていない」が12.5%、「食べる習慣がない」が6.3%、「わからない」が12.5%、「無回答」が31.3%である。

小学5年生(サンプル数8件)では、「時間がない」が該当なし、「おなかがすいていない」が37.5%、「用意されていない」が12.5%、「食べる習慣がない」と「わからない」が該当なし、「無回答」が50.0%である。

中学2年生(サンプル数8件)では、「時間がない」が該当なし、「おなかがすいていない」が37.5%、「用意されていない」が12.5%、「食べる習慣がない」が12.5%、「わからない」が25.0%、「無回答」が12.5%である。

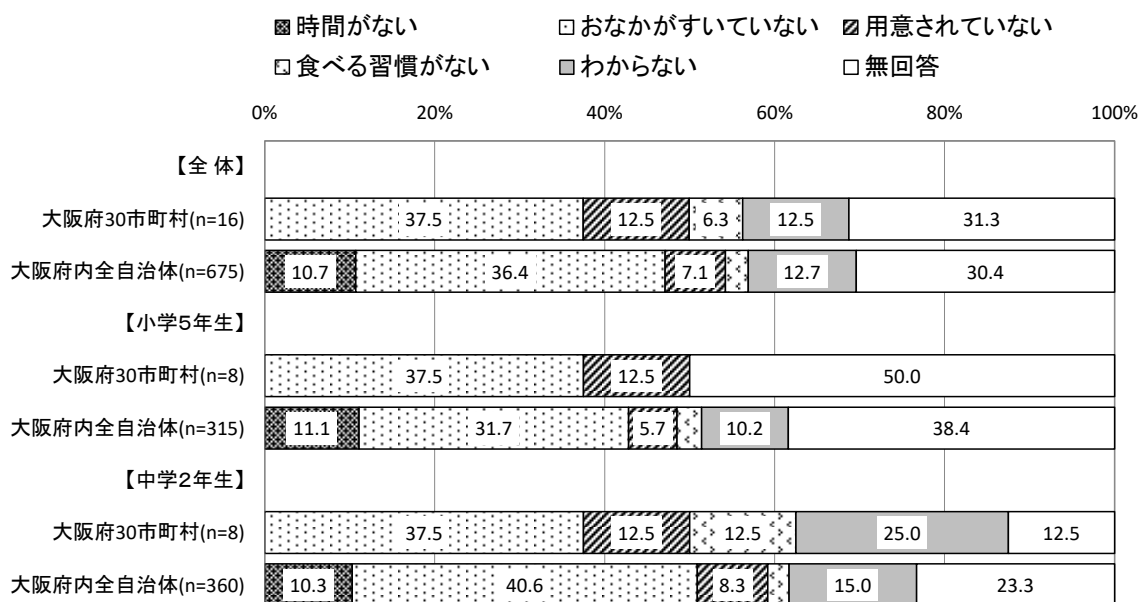


図 55. 夕食を食べない理由

子ども-9. 学校への遅刻

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が4.1%、「週に4~5回」が0.5%、「週に2~3回」が1.5%、「週に1回程度」が3.2%、「遅刻はしない」が87.4%、「無回答」が3.2%である。「遅刻はしない」以外を合計すると、9.4%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が4.4%、「週に4~5回」が0.4%、「週に2~3回」が1.6%、「週に1回程度」が3.1%、「遅刻はしない」が87.9%、「無回答」が2.6%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が3.8%、「週に4~5回」が0.6%、「週に2~3回」が1.4%、「週に1回程度」が3.4%、「遅刻はしない」が86.9%、「無回答」が4.0%である。

このことから、小学5年生と中学2年生ともに「遅刻はしない」は9割弱である。

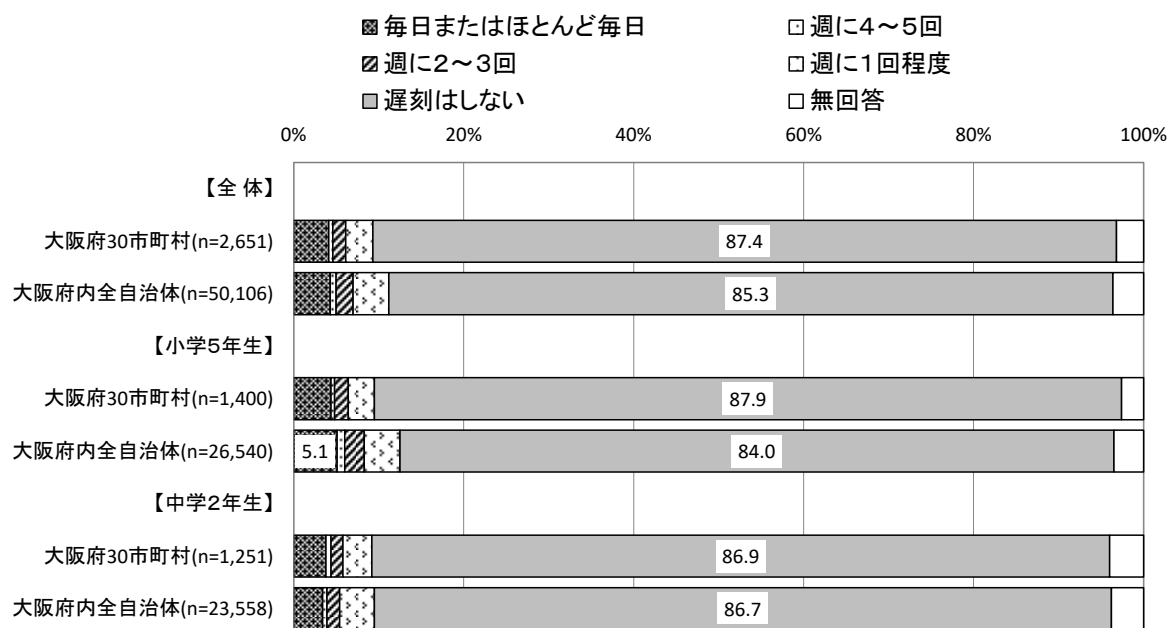


図 56. 学校への遅刻

子ども-10-1. おうちの大人と朝食を食べるか

問 10 ① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が53.3%、「週に4～5回」が6.1%、「週に2～3回」が9.4%、「週に1回程度」が5.7%、「月に1～2回」が13.8%、「ほとんどない」が8.9%、「まったくない」が8.9%、「無回答」が0.7%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が59.9%、「週に4～5回」が5.3%、「週に2～3回」が9.8%、「週に1回程度」が5.4%、「月に1～2回」が11.1%、「ほとんどない」が6.0%、「まったくない」が6.0%、「無回答」が0.7%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が45.9%、「週に4～5回」が7.1%、「週に2～3回」が9.0%、「週に1回程度」が6.0%、「月に1～2回」が16.9%、「ほとんどない」が12.2%、「まったくない」が12.2%、「無回答」が0.6%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生が6割弱、中学2年生が5割弱で最も高い。

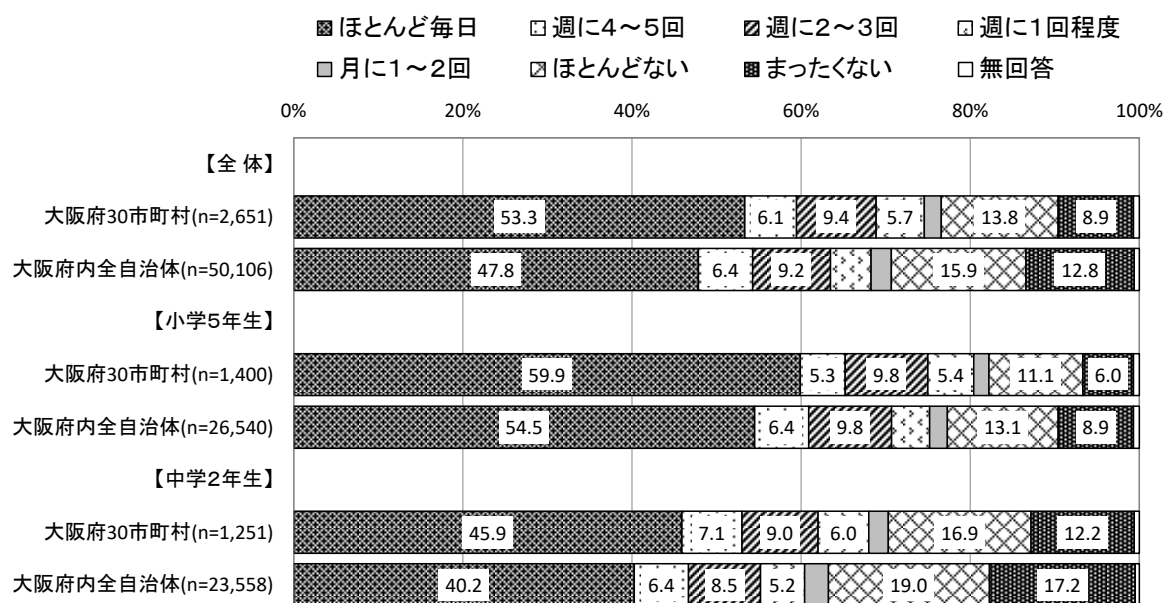


図 57. おうちの大人と朝食を食べるか

子ども-10-2. おうちの大人と夕食を食べるか

問 10 ② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が82.0%、「週に4~5回」が7.7%、「週に2~3回」が5.4%、「週に1回程度」が1.5%、「月に1~2回」が0.3%、「ほとんどない」が1.8%、「まったくない」が0.7%、「無回答」が0.5%である。「週に4~5回」以下を合計すると、17.5%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が86.9%、「週に4~5回」が5.1%、「週に2~3回」が4.5%、「週に1回程度」が0.9%、「月に1~2回」が0.2%、「ほとんどない」が1.2%、「まったくない」が0.6%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が76.4%、「週に4~5回」が10.6%、「週に2~3回」が6.5%、「週に1回程度」が2.1%、「月に1~2回」が0.5%、「ほとんどない」が2.6%、「まったくない」が0.9%、「無回答」が0.5%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生で9割弱、中学2年生では8割弱になっている。

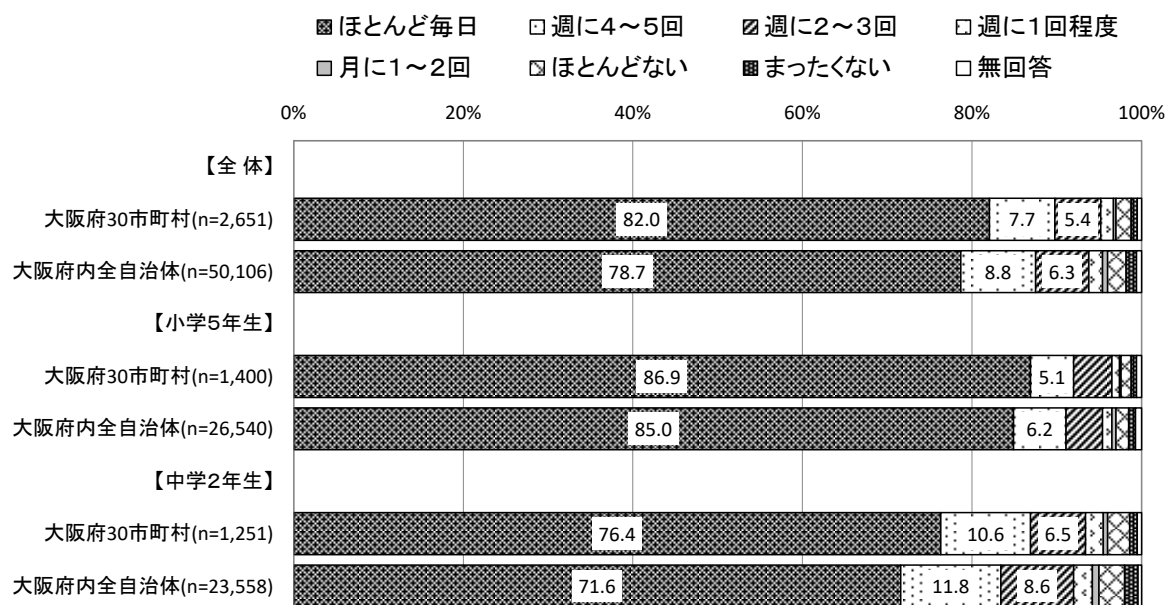


図 58. おうちの大人と夕食を食べるか

子ども-10-3. おうちの大人に朝、起こされるか

問 10 ③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が46.7%、「週に4～5回」が10.8%、「週に2～3回」が10.6%、「週に1回程度」が4.3%、「月に1～2回」が3.2%、「ほとんどない」が13.4%、「まったくない」が10.5%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が46.8%、「週に4～5回」が10.9%、「週に2～3回」が10.4%、「週に1回程度」が4.6%、「月に1～2回」が3.1%、「ほとんどない」が13.2%、「まったくない」が10.5%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が46.6%、「週に4～5回」が10.7%、「週に2～3回」が10.7%、「週に1回程度」が4.1%、「月に1～2回」が3.4%、「ほとんどない」が13.6%、「まったくない」が10.6%、「無回答」が0.4%である。

このことから、小学5年生、中学2年生とも「ほとんど毎日」が5割弱になっている。

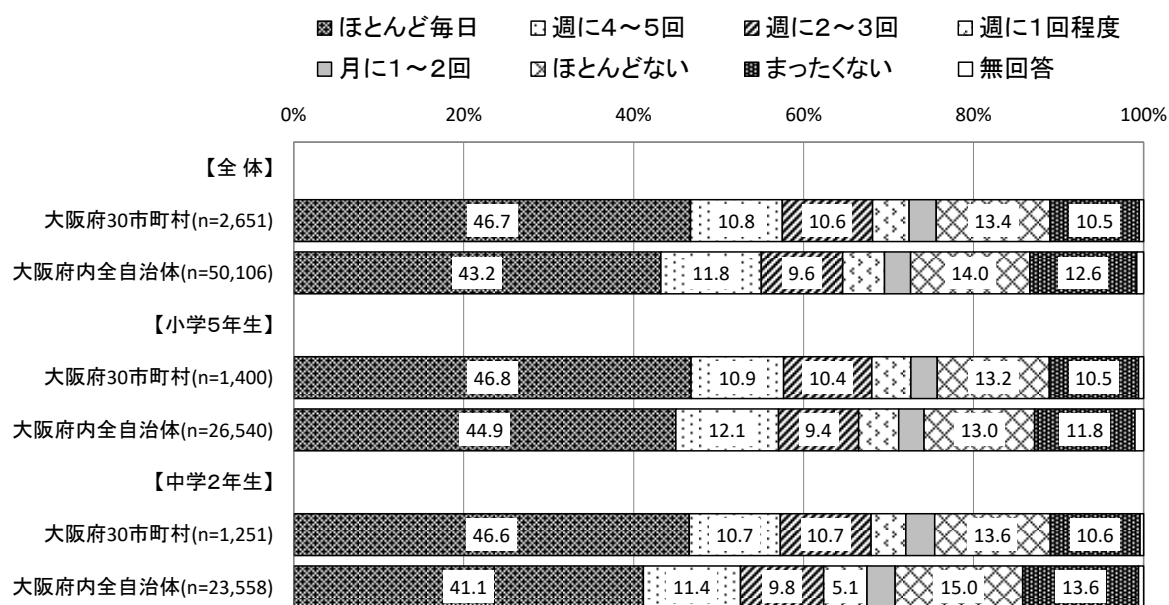


図 59. おうちの大人に朝、起こされるか

子ども-10-4. 家の手伝いをするか

問 10 ④ おうちの手伝いをしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「ほとんど毎日」が 24.2%、「週に 4～5 回」が 12.2%、「週に 2～3 回」が 18.9%、「週に 1 回程度」が 12.7%、「月に 1～2 回」が 9.7%、「ほとんどない」が 15.1%、「まったくない」が 6.5%、「無回答」が 0.7%である。

小学 5 年生では、「ほとんど毎日」が 26.4%、「週に 4～5 回」が 12.6%、「週に 2～3 回」が 20.6%、「週に 1 回程度」が 13.1%、「月に 1～2 回」が 9.7%、「ほとんどない」が 12.6%、「まったくない」が 4.1%、「無回答」が 0.8%である。

中学 2 年生では、「ほとんど毎日」が 21.7%、「週に 4～5 回」が 11.8%、「週に 2～3 回」が 17.0%、「週に 1 回程度」が 12.2%、「月に 1～2 回」が 9.8%、「ほとんどない」が 17.9%、「まったくない」が 9.0%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生では「ほとんど毎日」が 3 割弱、「週に 2～3 回」が 2 割になり、中学 2 年生では「ほとんど毎日」が 2 割強、「週に 2～3 回」と「ほとんどない」が 2 割弱になっている。

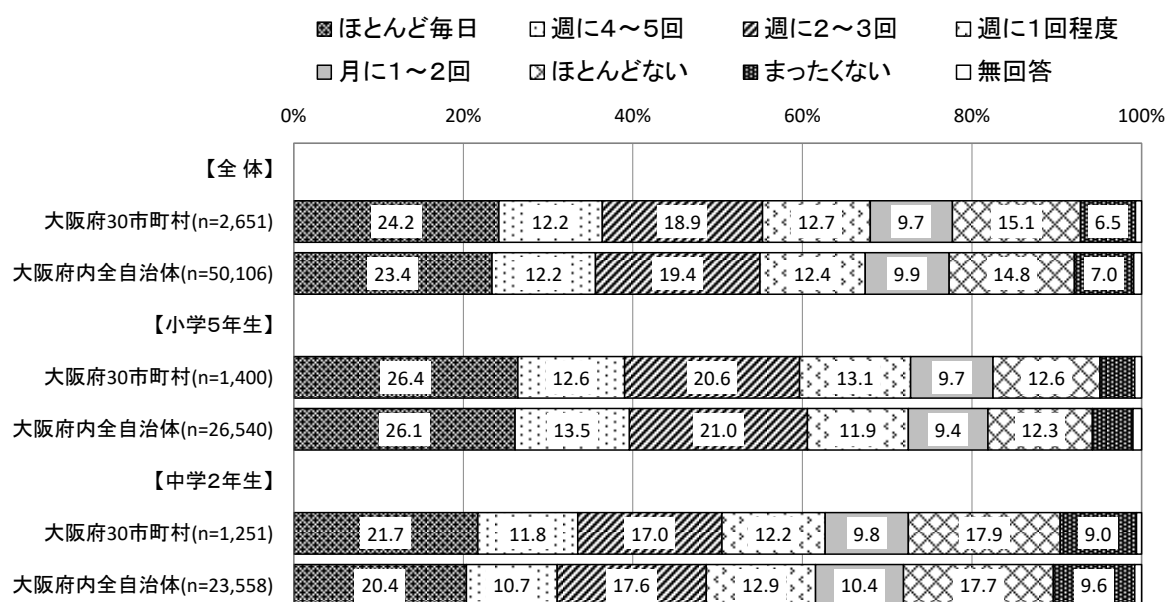


図 60. 家の手伝いをするか

子ども-10-5. おうちの大人に宿題をみてもらうか

問 10 ⑤ おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が14.9%、「週に4～5回」が6.7%、「週に2～3回」が8.9%、「週に1回程度」が7.8%、「月に1～2回」が8.3%、「ほとんどない」が27.6%、「まったくない」が24.7%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が23.4%、「週に4～5回」が10.1%、「週に2～3回」が12.2%、「週に1回程度」が8.4%、「月に1～2回」が5.1%、「ほとんどない」が23.6%、「まったくない」が15.8%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が5.4%、「週に4～5回」が2.8%、「週に2～3回」が5.1%、「週に1回程度」が7.3%、「月に1～2回」が12.0%、「ほとんどない」が32.1%、「まったくない」が34.7%、「無回答」が0.6%である。

このことから、小学5年生では「ほとんど毎日」と「ほとんどない」が2割強、中学2年生では「まったくない」と「ほとんどない」が3割強になっている。

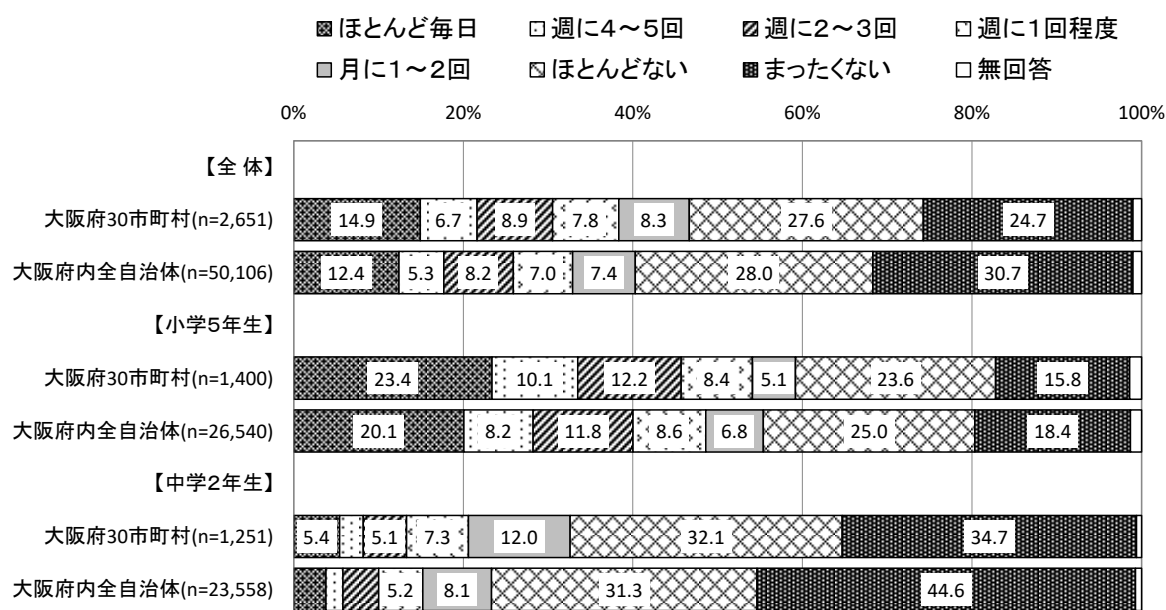


図 61. おうちの大人に宿題をみてもらうか

子ども-10-6. おうちの大人と学校の話をするか

問 10 ⑥ おうちの大人の人と学校のできごとについて話しますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が45.2%、「週に4～5回」が17.2%、「週に2～3回」が14.1%、「週に1回程度」が6.8%、「月に1～2回」が3.9%、「ほとんどない」が7.8%、「まったくない」が4.0%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が51.0%、「週に4～5回」が16.0%、「週に2～3回」が13.1%、「週に1回程度」が5.0%、「月に1～2回」が3.5%、「ほとんどない」が7.0%、「まったくない」が3.1%、「無回答」が1.3%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が38.6%、「週に4～5回」が18.5%、「週に2～3回」が15.1%、「週に1回程度」が8.9%、「月に1～2回」が4.4%、「ほとんどない」が8.8%、「まったくない」が5.0%、「無回答」が0.7%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生で5割強、中学2年生では4割弱になっている。

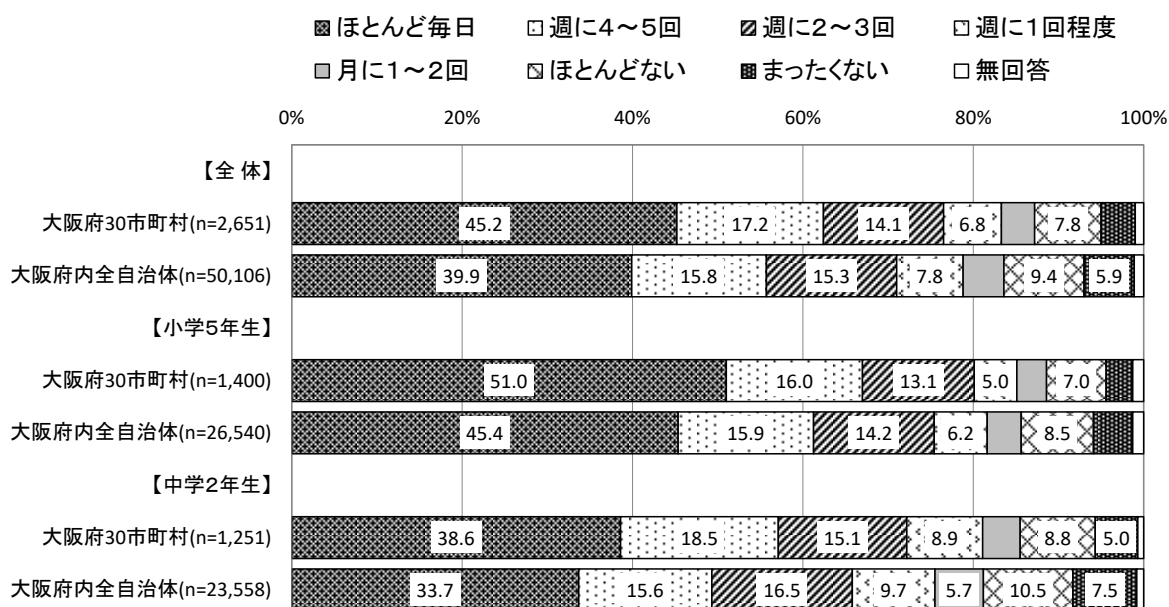


図 62. おうちの大人と学校の話をするか

子ども-10-7. おうちの大人と遊んだり、体を動かすか

問 10 ⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が14.4%、「週に4~5回」が5.6%、「週に2~3回」が11.7%、「週に1回程度」が12.9%、「月に1~2回」が14.4%、「ほとんどない」が25.3%、「まったくない」が14.4%、「無回答」が1.2%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が19.4%、「週に4~5回」が7.5%、「週に2~3回」が16.2%、「週に1回程度」が16.6%、「月に1~2回」が13.6%、「ほとんどない」が17.4%、「まったくない」が7.6%、「無回答」が1.6%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が8.9%、「週に4~5回」が3.4%、「週に2~3回」が6.6%、「週に1回程度」が8.9%、「月に1~2回」が15.3%、「ほとんどない」が34.1%、「まったくない」が22.0%、「無回答」が0.8%である。

このことから、小学5年生では1割台が多く、中学2年生では「ほとんどない」と「まったくない」を合わせると6割弱になっている。

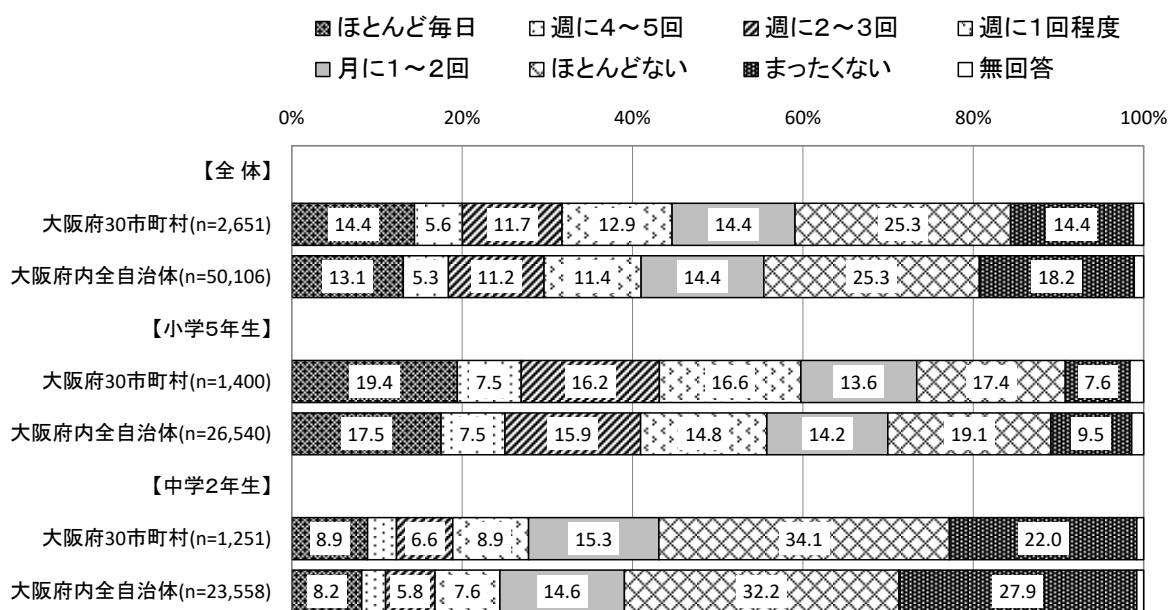


図 63. おうちの大人と遊んだり、体を動かすか

子ども-10-8. おうちの大人と社会のできごとを話すか

問 10 ⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体で見ると、「ほとんど毎日」が 17.4%、「週に 4～5 回」が 11.1%、「週に 2～3 回」が 18.8%、「週に 1 回程度」が 12.6%、「月に 1～2 回」が 9.2%、「ほとんどない」が 19.2%、「まったくくない」が 10.6%、「無回答」が 1.1%である。

小学 5 年生では、「ほとんど毎日」が 18.9%、「週に 4～5 回」が 10.6%、「週に 2～3 回」が 17.7%、「週に 1 回程度」が 12.3%、「月に 1～2 回」が 8.9%、「ほとんどない」が 19.2%、「まったくくない」が 10.9%、「無回答」が 1.4%である。

中学 2 年生では、「ほとんど毎日」が 15.8%、「週に 4～5 回」が 11.7%、「週に 2～3 回」が 20.0%、「週に 1 回程度」が 12.9%、「月に 1～2 回」が 9.4%、「ほとんどない」が 19.3%、「まったくくない」が 10.3%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生、中学 2 年生は各項目とも 1 割台が多く回答がばらついている。

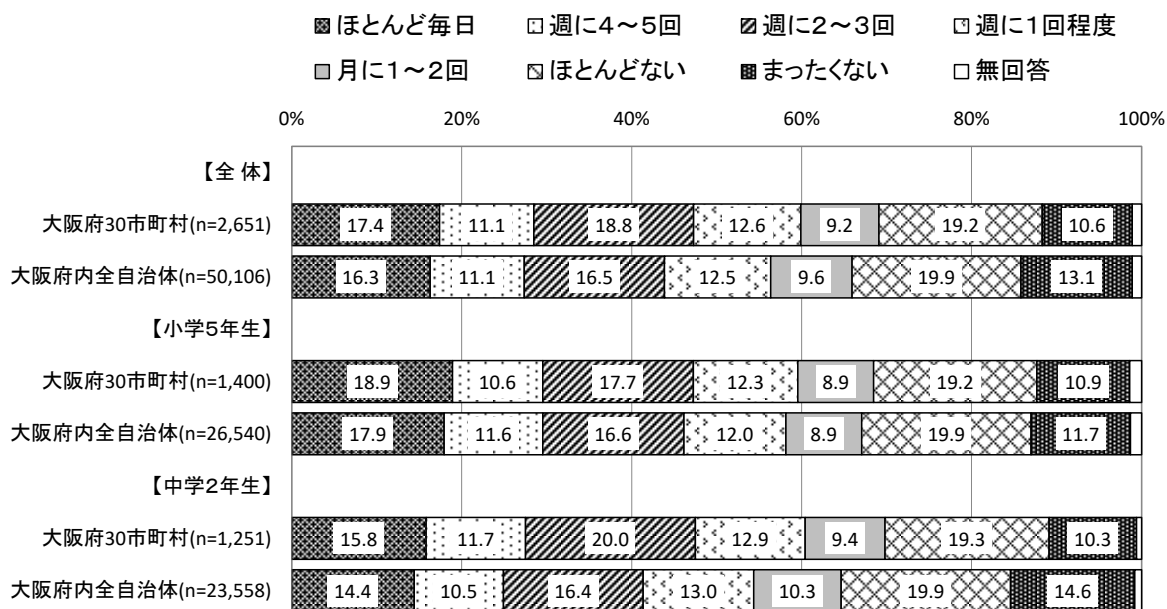


図 64. おうちの大人と社会のできごとを話すか

子ども-10-9. おうちの大人と文化活動をするか

問 10 ⑨ おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の全体では、「ほとんど毎日」が 3.0%、「週に 4～5 回」が 0.5%、「週に 2～3 回」が 1.5%、「週に 1 回程度」が 5.0%、「月に 1～2 回」が 24.4%、「ほとんどない」が 41.5%、「まったくない」が 23.3%、「無回答」が 0.7%である。

小学 5 年生では、「ほとんど毎日」が 3.6%、「週に 4～5 回」が 0.6%、「週に 2～3 回」が 2.1%、「週に 1 回程度」が 7.4%、「月に 1～2 回」が 29.7%、「ほとんどない」が 39.9%、「まったくない」が 16.0%、「無回答」が 0.6%である。

中学 2 年生では、「ほとんど毎日」が 2.3%、「週に 4～5 回」が 0.4%、「週に 2～3 回」が 0.8%、「週に 1 回程度」が 2.4%、「月に 1～2 回」が 18.5%、「ほとんどない」が 43.2%、「まったくない」が 31.6%、「無回答」が 0.8%である。

このことから、小学 5 年生、中学 2 年生とも「ほとんどない」は 4 割前後で最も高く、中学 2 年生は「まったくない」と合わせると 7 割を超えている。

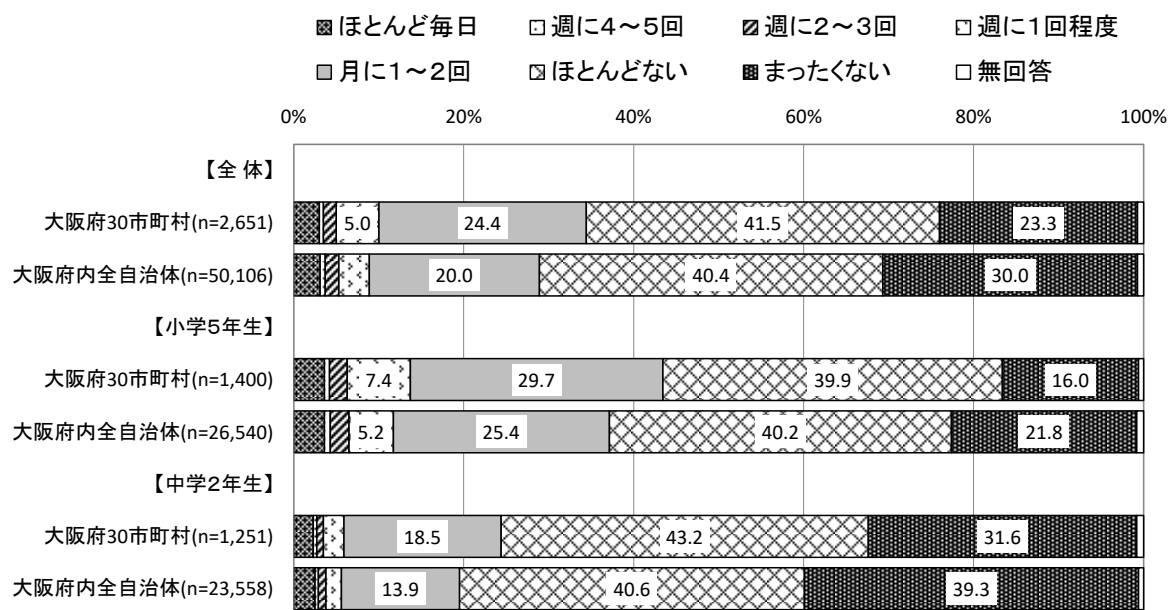


図 65. おうちの大人と文化活動をするか

子ども-10-10. おうちの大人と一緒に外出するか

問 10 ⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか。(散歩する・買い物に出かける・外食をするなど)
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ほとんど毎日」が11.2%、「週に4～5回」が8.0%、「週に2～3回」が25.5%、「週に1回程度」が28.3%、「月に1～2回」が21.6%、「ほとんどない」が4.1%、「まったくない」が0.8%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が14.0%、「週に4～5回」が10.8%、「週に2～3回」が32.4%、「週に1回程度」が28.0%、「月に1～2回」が11.5%、「ほとんどない」が2.4%、「まったくない」が0.4%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が8.2%、「週に4～5回」が4.8%、「週に2～3回」が17.7%、「週に1回程度」が28.7%、「月に1～2回」が32.9%、「ほとんどない」が6.2%、「まったくない」が1.3%、「無回答」が0.3%である。

このことから、小学5年生では「週に2～3回」、中学2年生では「月に1～2回」がそれぞれ3割強で高くなっている。

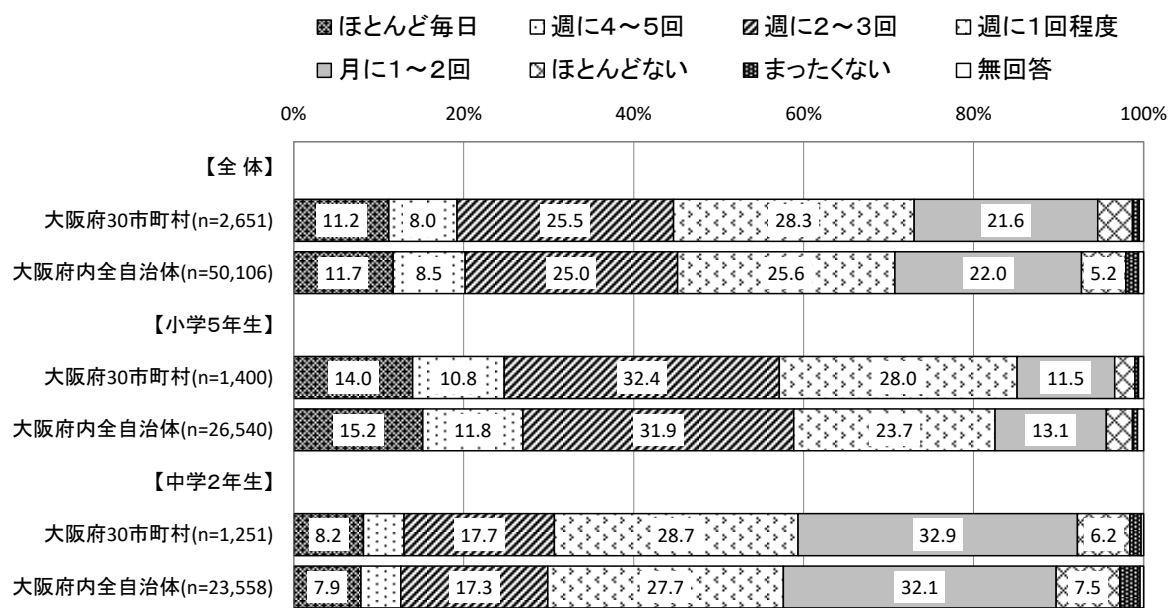


図 66. おうちの大人と一緒に外出するか

子ども-11. 毎日の生活で楽しいこと

問 11 毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 83.9%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 65.4%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 61.7%、「ひとりで過ごしているとき」が 36.4%、「塾や習いごとで過ごしているとき」が 28.5%の順に高く、「特に楽しいと思うときはない」は 0.6%になっている。

小学 5 年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 84.5%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 77.3%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 60.4%、「塾や習いごとで過ごしているとき」が 38.5%、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」が 29.6%の順に高く、「特に楽しいと思うときはない」は 0.3%になっている。

中学 2 年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 83.3%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 63.1%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 52.0%、「ひとりで過ごしているとき」が 46.9%、「塾や習いごとで過ごしているとき」が 17.3%となり、「特に楽しいと思うときはない」が 1.0%になっている。

このことから、小学 5 年生、中学 2 年生ともに「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 8 割強で最も高い。その他にも小学 5 年生で「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 8 割弱、中学 2 年生で「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 6 割強で高くなっている。

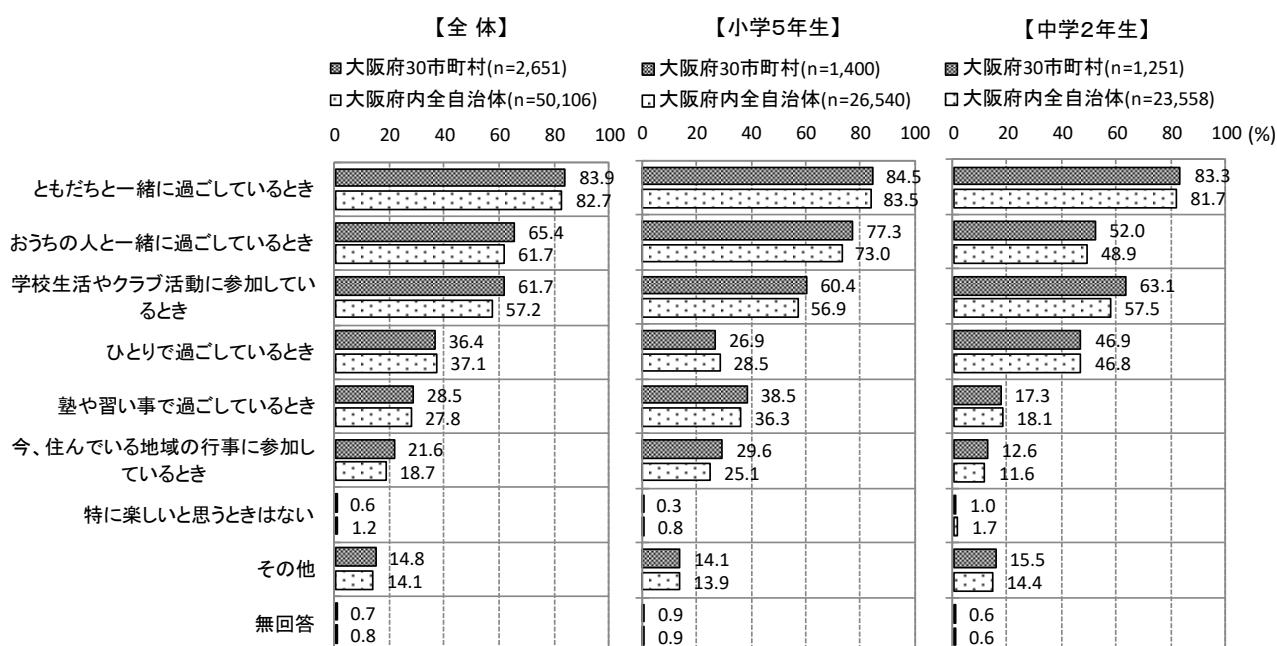


図 67. 毎日の生活で楽しいこと

子ども-12. 放課後一緒に過ごす人

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪府30市町村の全体では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が64.1%、「学校のともだち」が56.1%、「きょうだい」が48.2%、「クラブ活動の仲間」が35.8%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が21.3%の順で高いのに対して「ひとりでのいる」が16.8%である。

小学5年生では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が70.8%、「学校のともだち」が68.4%、「きょうだい」が56.6%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が25.5%に続いて、「ひとりでのいる」が16.6%となっている。

中学2年生では、「クラブ活動の仲間」が68.5%、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が56.5%、「学校のともだち」が42.2%、「きょうだい」が38.8%となり、「ひとりでのいる」は17.0%である。

このことから、小学5年生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」、中学2年生では「クラブ活動の仲間」がそれぞれ7割前後で高くなっている。

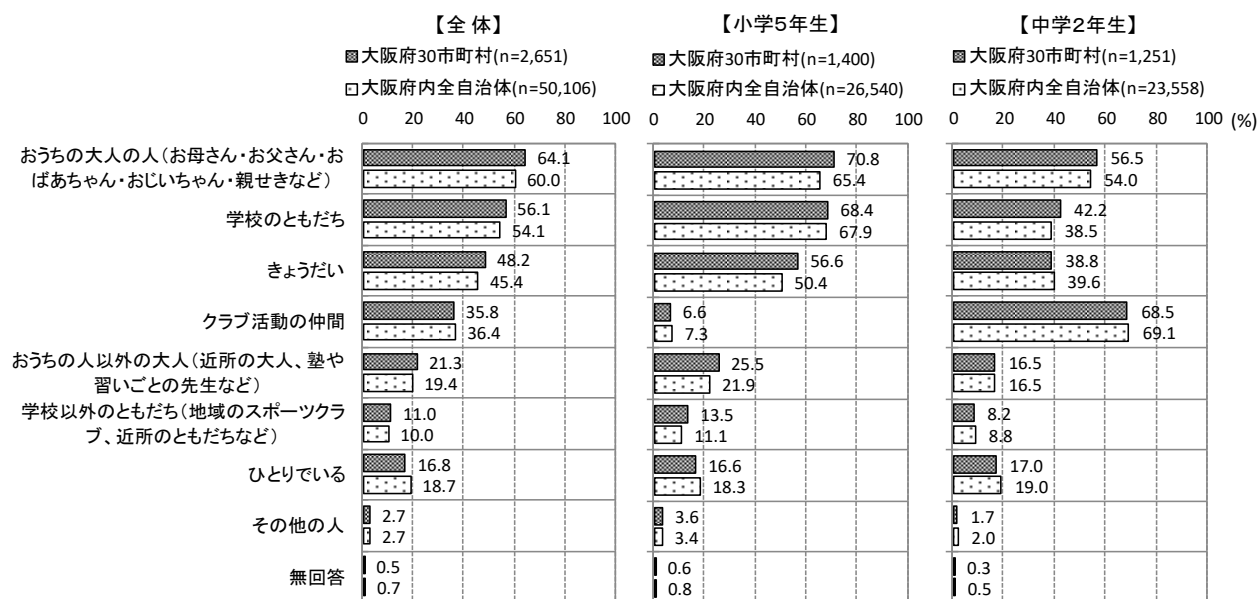


図 68. 放課後一緒に過ごす人

子ども-21. 自分の体や気持ちで気になること（子ども）

問 21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の全体では、「とくに気になるところはない」が 28.9%で最も高く、気なる項目では「イライラする」が 23.7%、「やる気が起きない」が 23.0%、「よくかゆくなる」が 20.8%、「よくおなかがいたくなる」が 17.2%の順で高くなっている。

小学 5 年生では、「とくに気になるところはない」が 31.4%、「よくかゆくなる」が 25.0%、「イライラする」が 22.7%、「やる気が起きない」が 18.2%、「不安な気持ちになる」が 16.1%の順で高くなっている。

中学 2 年生では、「やる気が起きない」が 28.4%、「とくに気になるところはない」が 26.1%、「イライラする」が 24.9%、「よくおなかがいたくなる」が 19.5%、「まわりが気になる」が 16.9%の順で高くなっている。

このことから、「とくに気になるところはない」は小学 5 年生が 3 割強、中学 2 年生が 3 割弱で一定の割合をしている。気なる項目では小学 5 年生が「よくかゆくなる」、中学 2 年生が「やる気が起きない」が 3 割弱で最も高くなっている。



図 69. 自分の体や気持ちで気になること

保護者-23. 自分の体や気持ちで気になること（保護者）

問 23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「よく肩がこる」が 42.0%、「イライラする」が 34.8%、「よく腰がいたくなる」が 27.1%、「不安な気持ちになる」が 26.9%、「よく頭がいたくなる」が 22.0%の順で高くなっている。

小学 5 年生の保護者では、「よく肩がこる」が 43.3%、「イライラする」が 36.1%、「不安な気持ちになる」が 26.2%、「よく腰がいたくなる」が 25.9%、「よく頭がいたくなる」が 22.8%の順で高くなっている。

中学 2 年生の保護者では、「よく肩がこる」が 40.6%、「イライラする」が 33.3%、「よく腰がいたくなる」が 28.3%、「不安な気持ちになる」が 27.7%、「よく頭がいたくなる」が 21.2%の順で高くなっている。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「よく肩がこる」が 4 割強で最も高く、「イライラする」も小学 5 年生の保護者が 4 割弱、中学 2 年生の保護者が 3 割強で高い。

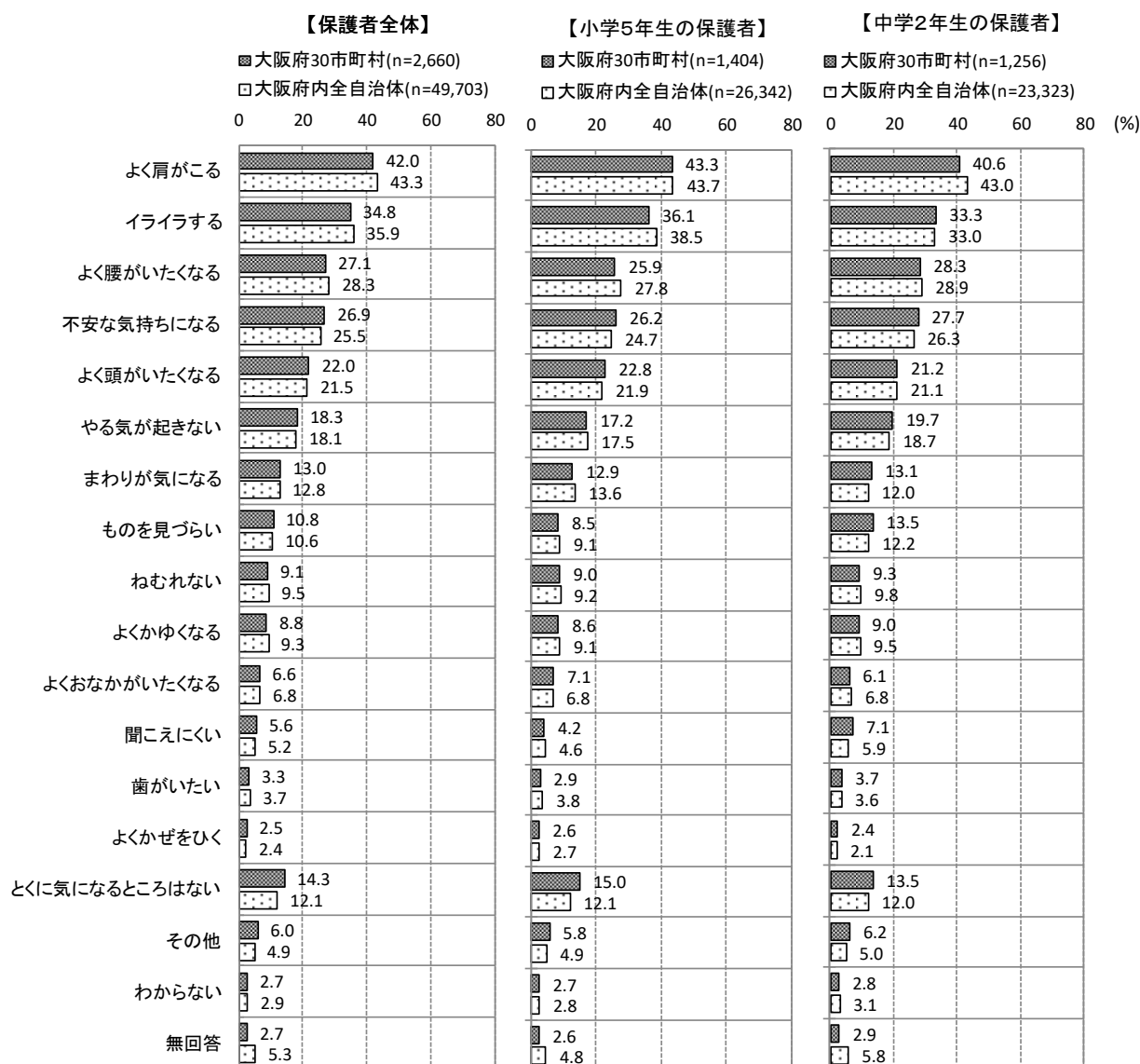


図 70. 自分の体や気持ちで気になること

保護者-24. 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

問 24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「よくある」が8.7%、「時々ある」が62.7%、「ほとんどない」が22.3%、「ない」が4.0%、「わからない」が1.5%、「無回答」が0.8%となり、「よくある」+「時々ある」=『ある』が71.4%、「ほとんどない」+「ない」=『ない』が26.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「よくある」が10.3%、「時々ある」が65.2%、「ほとんどない」が19.7%、「ない」が3.2%、「わからない」が1.0%、「無回答」が0.7%となり、『ある』が75.4%、『ない』が22.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「よくある」が6.9%、「時々ある」が60.0%、「ほとんどない」が25.2%、「ない」が4.9%、「わからない」が2.1%、「無回答」が1.0%となり、『ある』が66.9%、『ない』が30.1%となっている。

このことから、『ある』は小学5年生の保護者で8割弱、中学2年生の保護者で7割弱になっている。

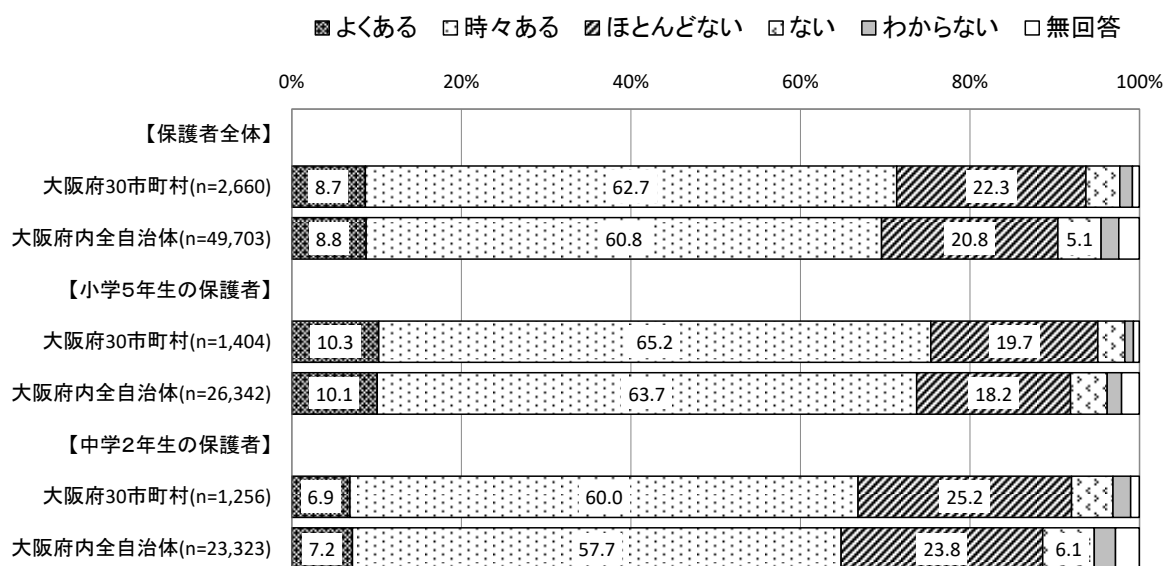


図 71. 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

保護者-25. 定期的な健康診断の受診

問 25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「はい」が 64.7%、「いいえ」が 34.8%、「無回答」が 0.5%である。

小学 5 年生の保護者では、「はい」が 64.1%、「いいえ」が 35.5%、「無回答」が 0.4%である。

中学 2 年生の保護者では、「はい」が 65.3%、「いいえ」が 34.2%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「はい」が 6 割に対して、「いいえ」が 3 割になっている。

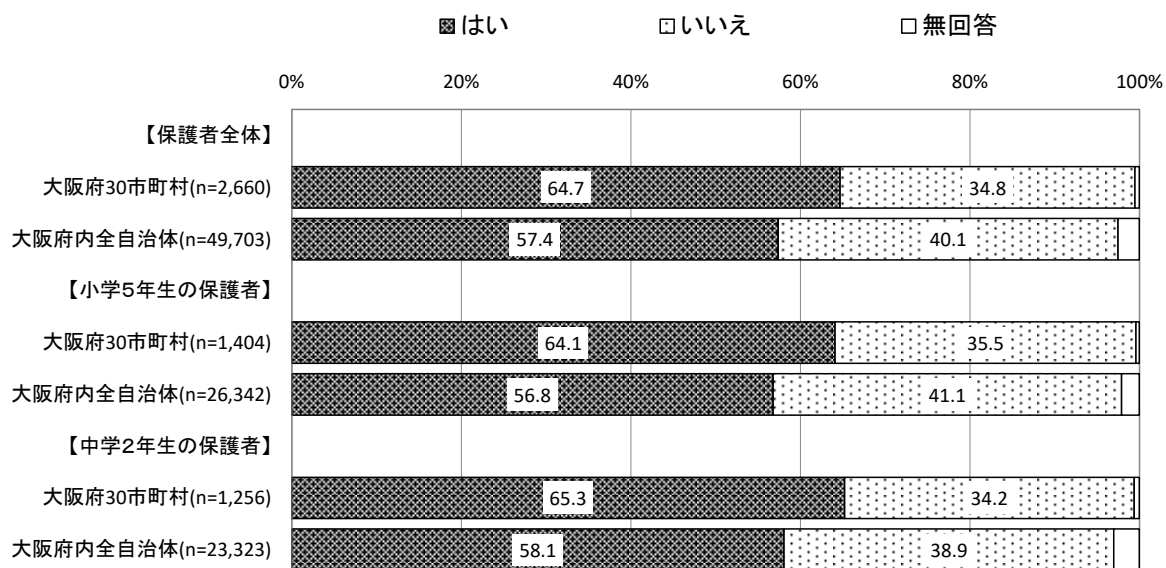


図 72. 定期的な健康診断の受診

保護者-26-1. 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

問 26 ① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「そう思う」が7.7%、「まあそう思う」が51.9%、「あまり思わない」が30.2%、「思わない」が6.3%、「わからない」が3.2%、「無回答」が0.7%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が59.6%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が36.5%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が8.1%、「まあそう思う」が51.8%、「あまり思わない」が29.8%、「思わない」が6.5%、「わからない」が3.1%、「無回答」が0.7%となり、『そう思う』が59.9%、『思わない』が36.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が7.3%、「まあそう思う」が52.0%、「あまり思わない」が30.7%、「思わない」が6.1%、「わからない」が3.3%、「無回答」が0.7%となり、『そう思う』が59.3%、『思わない』が36.7%となっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも『そう思う』が6割弱になっている。

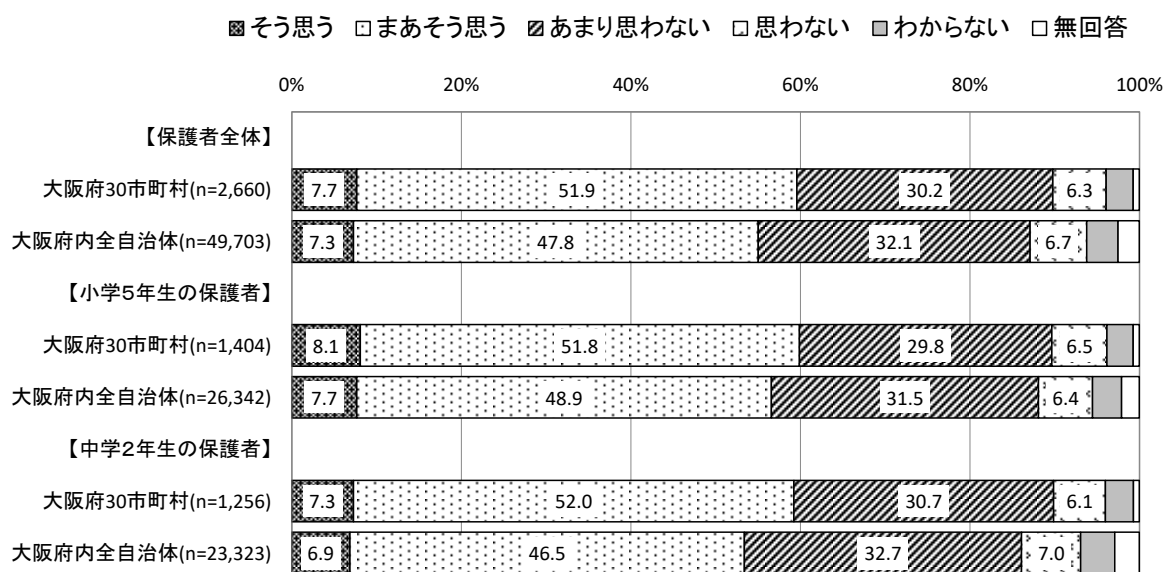


図 73. 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

保護者-26-2. はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

問 26 ② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「そう思う」が14.7%、「まあそう思う」が55.8%、「あまり思わない」が20.3%、「思わない」が4.5%、「わからない」が3.8%、「無回答」が0.9%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が70.5%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が24.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が15.2%、「まあそう思う」が56.0%、「あまり思わない」が19.8%、「思わない」が4.4%、「わからない」が3.6%、「無回答」が0.9%となり、『そう思う』が71.2%、『思わない』が24.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が14.2%、「まあそう思う」が55.6%、「あまり思わない」が20.9%、「思わない」が4.5%、「わからない」が4.0%、「無回答」が0.8%となり、『そう思う』が69.7%、『思わない』が25.5%となっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも『そう思う』が7割前後になっている。

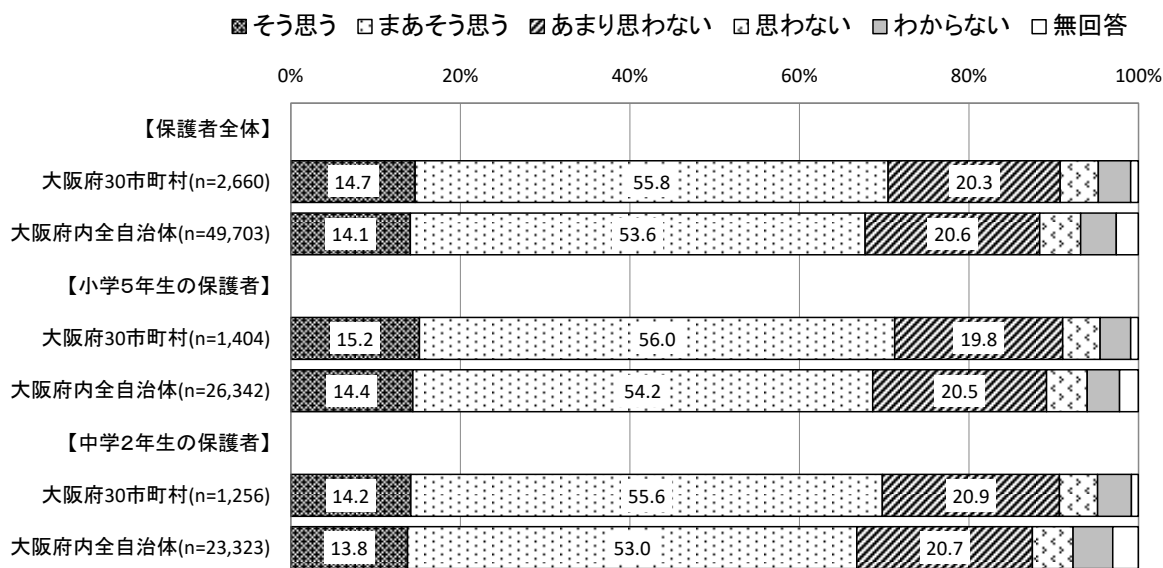


図 74. はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

保護者-26-3. 人の集まりの中では、うまくふるまえない

問 26 ③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「そう思う」が 8.9%、「まあそう思う」が 21.3%、「あまり思わない」が 38.0%、「思わない」が 27.4%、「わからない」が 3.5%、「無回答」が 0.9%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が 30.2%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が 65.4%となっている。

小学 5 年生の保護者では、「そう思う」が 8.8%、「まあそう思う」が 21.5%、「あまり思わない」が 38.3%、「思わない」が 26.5%、「わからない」が 4.1%、「無回答」が 0.8%となり、『そう思う』が 30.3%、『思わない』が 64.8%となっている。

中学 2 年生の保護者では、「そう思う」が 9.1%、「まあそう思う」が 21.1%、「あまり思わない」が 37.6%、「思わない」が 28.5%、「わからない」が 2.8%、「無回答」が 1.0%となり、『そう思う』が 30.2%、『思わない』が 66.1%となっている。

このことから、『思わない』は小学 5 年生の保護者が 6 割強、中学 2 年生の保護者が 7 割弱になっている。

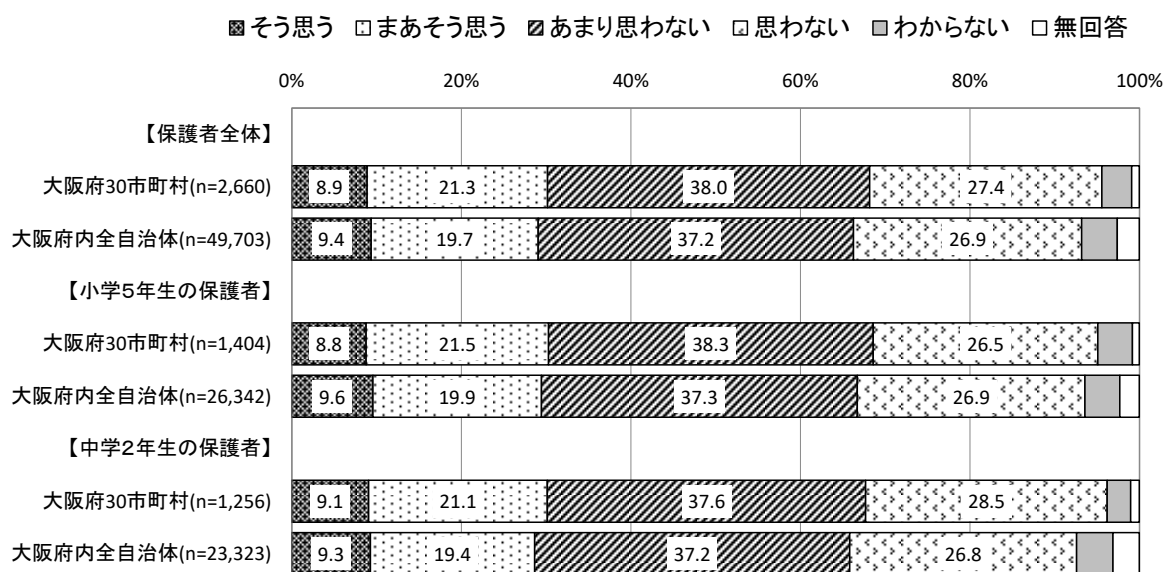


図 75. 人の集まりの中では、うまくふるまえない

保護者-26-4. 私は自分から友だちを作るのがうまい

問 26 ④ 私は自分から友だちを作るのがうまい（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の保護者全体では、「そう思う」が5.9%、「まあそう思う」が28.2%、「あまり思わない」が40.5%、「思わない」が19.4%、「わからない」が5.3%、「無回答」が0.7%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が34.1%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が59.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が5.8%、「まあそう思う」が27.0%、「あまり思わない」が41.1%、「思わない」が20.2%、「わからない」が5.2%、「無回答」が0.6%となり、『そう思う』が32.8%、『思わない』が61.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が5.9%、「まあそう思う」が29.6%、「あまり思わない」が39.7%、「思わない」が18.5%、「わからない」が5.5%、「無回答」が0.8%となり、『そう思う』が35.5%、『思わない』が58.2%となっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも『思わない』が6割前後になっている。

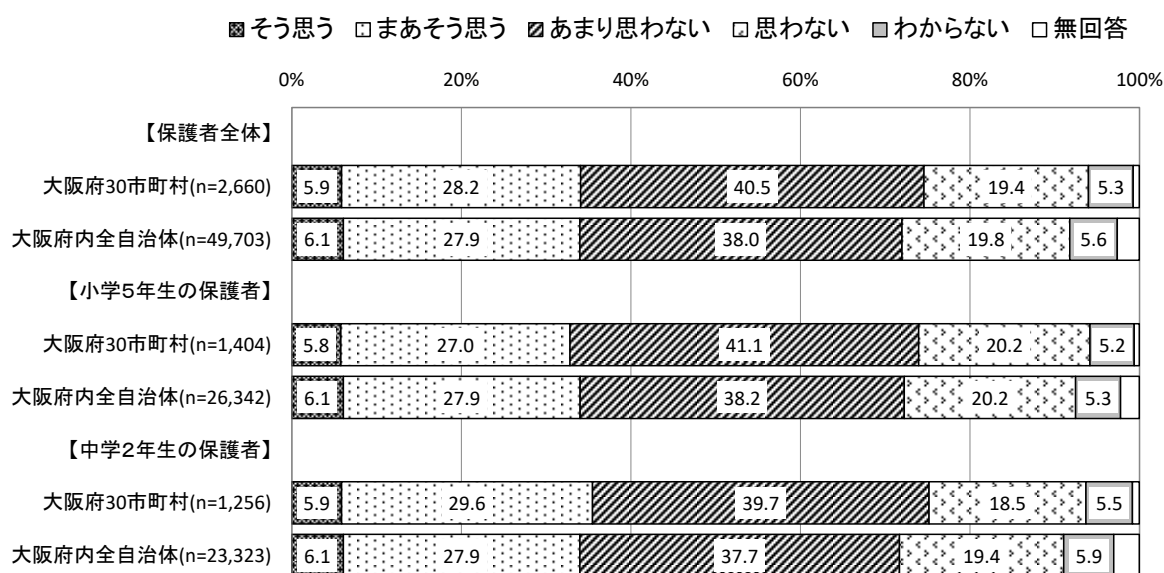


図 76. 私は自分から友だちを作るのがうまい

保護者-26-5. 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

問 26 ⑤ 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「そう思う」が4.5%、「まあそう思う」が13.7%、「あまり思わない」が43.0%、「思わない」が29.2%、「わからない」が8.4%、「無回答」が1.1%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が18.2%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が72.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が4.4%、「まあそう思う」が13.7%、「あまり思わない」が44.1%、「思わない」が28.3%、「わからない」が8.4%、「無回答」が1.1%となり、『そう思う』が18.1%、『思わない』が72.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が4.6%、「まあそう思う」が13.8%、「あまり思わない」が41.9%、「思わない」が30.3%、「わからない」が8.4%、「無回答」が1.1%となり、『そう思う』が18.4%、『思わない』が72.1%となっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも『思わない』が7割強になっている。



図 77. 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

子ども-23-1. 自分に自信がある

問 23 (1) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「ある」が 20.3%、「どちらかというところある」が 39.4%、「どちらかというところない」が 26.2%、「ない」が 12.5%、「無回答」が 1.6%となり、「ある」+「どちらかというところある」=『ある』が 59.8%、「どちらかというところない」+「ない」=『ない』が 38.7%となっている。

小学 5 年生では、「ある」が 25.4%、「どちらかというところある」が 44.5%、「どちらかというところない」が 19.6%、「ない」が 9.2%、「無回答」が 1.4%となり、『ある』が 69.9%、『ない』が 28.8%となっている。

中学 2 年生では、「ある」が 14.7%、「どちらかというところある」が 33.7%、「どちらかというところない」が 33.6%、「ない」が 16.1%、「無回答」が 1.8%となり、『ある』が 48.4%、『ない』が 49.7%となっている。

このことから、小学 5 年生では『ある』は 7 割弱、中学 2 年生では『ある』と『ない』は 5 割弱で拮抗している。

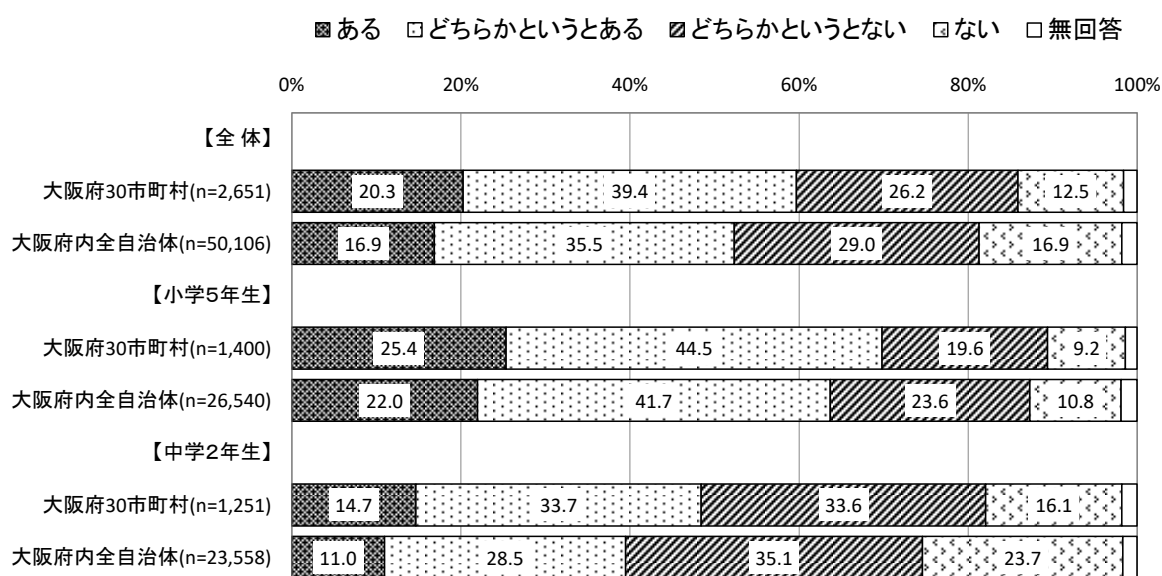


図 78. 自分に自信がある

子ども-23-2. 考えを相手に伝えることができる

問 23 (2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「できる」が28.5%、「どちらかというところできる」が38.4%、「どちらかというところできない」が24.7%、「できない」が7.4%、「無回答」が1.1%となり、「できる」+「どちらかというところできる」=『できる』が66.8%、「どちらかというところできない」+「できない」=『できない』が32.1%となっている。

小学5年生では、「できる」が29.6%、「どちらかというところできる」が39.2%、「どちらかというところできない」が22.8%、「できない」が7.5%、「無回答」が0.9%となり、『できる』が68.8%、『できない』が30.3%となっている。

中学2年生では、「できる」が27.3%、「どちらかというところできる」が37.4%、「どちらかというところできない」が26.9%、「できない」が7.2%、「無回答」が1.2%となり、『できる』が64.7%、『できない』が34.1%となっている。

このことから、『できる』は小学5年生が7割弱、中学2年生が6割強になっている。

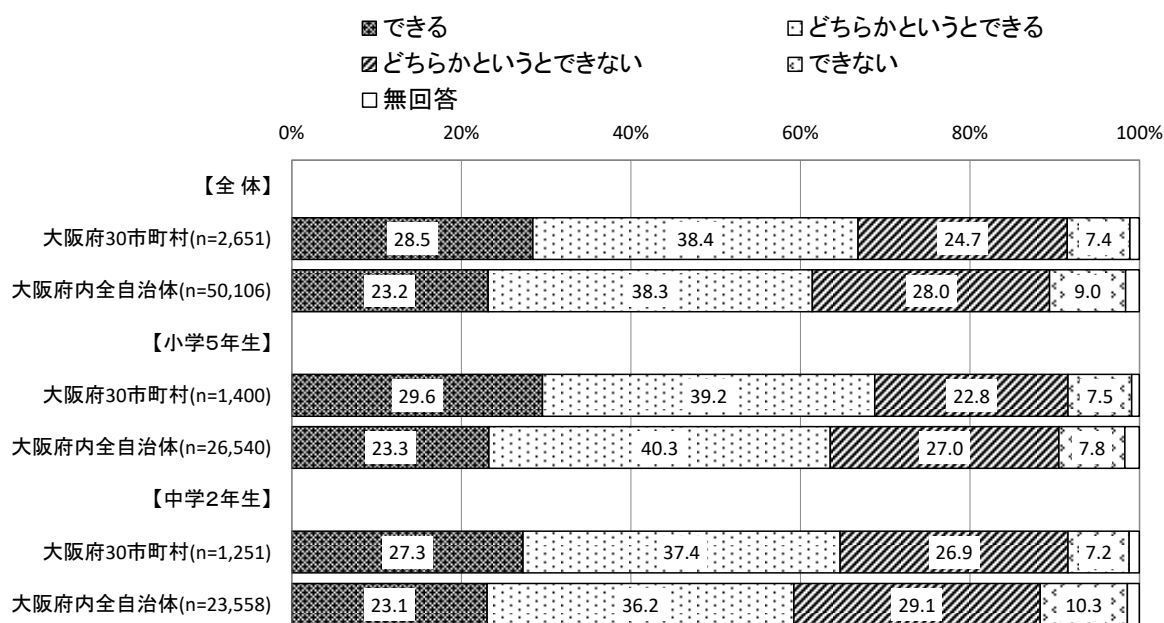


図 79. 考えを相手に伝えることができる

子ども-23-3. 大人は信用できる

問 23 (3) 大人は信用できる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「そう思う」が 30.5%、「どちらかというと思う」が 45.7%、「どちらかというと思わない」が 15.2%、「そう思わない」が 7.1%、「無回答」が 1.5%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が 76.2%、「どちらかというと思わない」+「そう思わない」=『そう思わない』が 22.3%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が 41.0%、「どちらかというと思う」が 42.6%、「どちらかというと思わない」が 11.1%、「そう思わない」が 3.9%、「無回答」が 1.4%となり、『そう思う』が 83.6%、『そう思わない』が 15.0%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が 18.7%、「どちらかというと思う」が 49.1%、「どちらかというと思わない」が 19.7%、「そう思わない」が 10.7%、「無回答」が 1.8%となり、『そう思う』が 67.8%、『そう思わない』が 30.5%となっている。

このことから、『そう思う』は小学5年生で8割強、中学2年生では7割弱になっている。

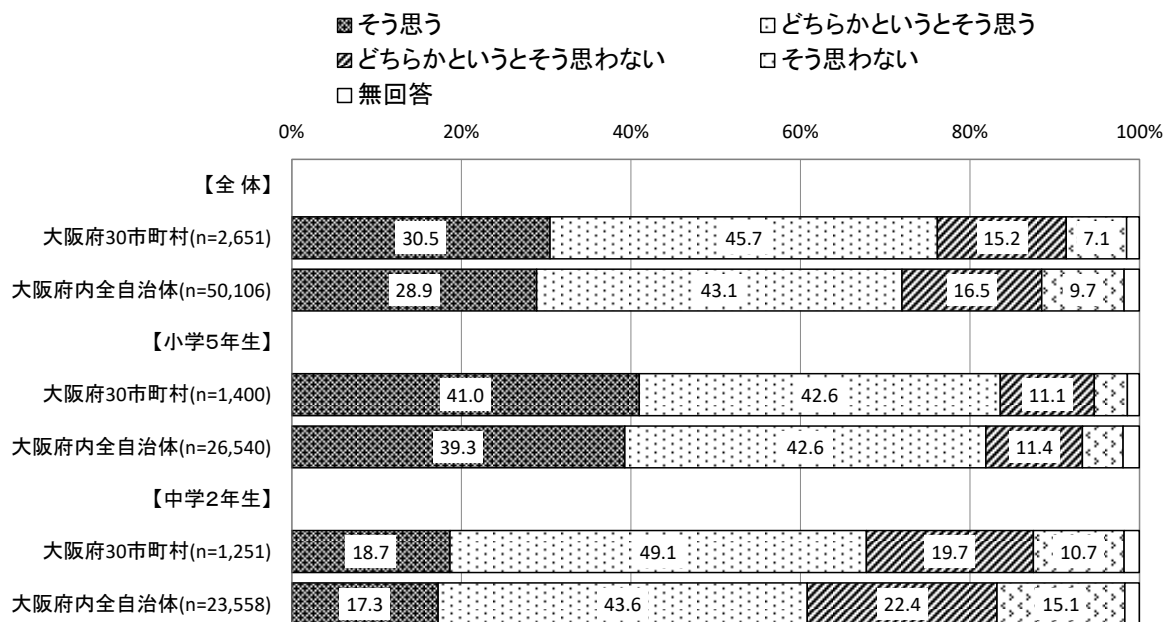


図 80. 大人は信用できる

子ども-23-4. 将来の夢や目標を持っている

問 23 (4) 自分の将来の夢や目標を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「持っている」が 55.1%、「どちらかというを持っている」が 21.8%、「どちらかというを持っていない」が 11.8%、「持っていない」が 9.9%、「無回答」が 1.4%となり、「持っている」+「どちらかというを持っている」=『持っている』が 76.9%、「どちらかというを持っていない」+「持っていない」=『持っていない』が 21.7%となっている。

小学 5 年生では、「持っている」が 66.8%、「どちらかというを持っている」が 17.1%、「どちらかというを持っていない」が 8.3%、「持っていない」が 6.1%、「無回答」が 1.7%となり、『持っている』が 83.9%、『持っていない』が 14.4%となっている。

中学 2 年生では、「持っている」が 42.0%、「どちらかというを持っている」が 27.1%、「どちらかというを持っていない」が 15.8%、「持っていない」が 14.1%、「無回答」が 1.0%となり、『持っている』が 69.1%、『持っていない』が 29.9%となっている。

このことから、『持っている』をみると小学 5 年生では 8 割強、中学 2 年生では 7 割弱となっている。

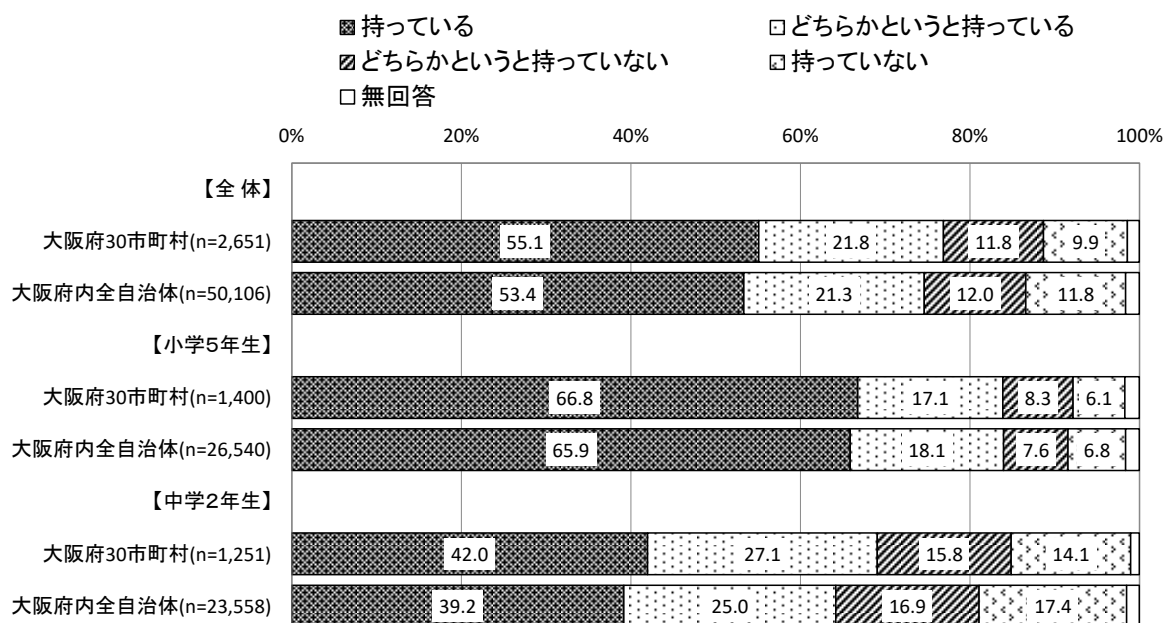


図 81. 将来の夢や目標を持っている

子ども-23-5. 将来のためにも、今、頑張りたい

問 23 (5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「そう思う」が 59.1%、「どちらかというと思う」が 29.3%、「どちらかというと思わない」が 6.1%、「そう思わない」が 4.1%、「無回答」が 1.4%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が 88.4%、「どちらかというと思わない」+「そう思わない」=『思わない』が 10.2%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が 63.0%、「どちらかというと思う」が 25.9%、「どちらかというと思わない」が 5.9%、「そう思わない」が 3.6%、「無回答」が 1.6%となり、『そう思う』が 88.9%、『思わない』が 9.5%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が 54.7%、「どちらかというと思う」が 33.2%、「どちらかというと思わない」が 6.3%、「そう思わない」が 4.6%、「無回答」が 1.2%となり、『そう思う』が 87.8%、『思わない』が 11.0%となっている。

このことから、小学5年生、中学2年生とも『そう思う』が9割弱になっている。

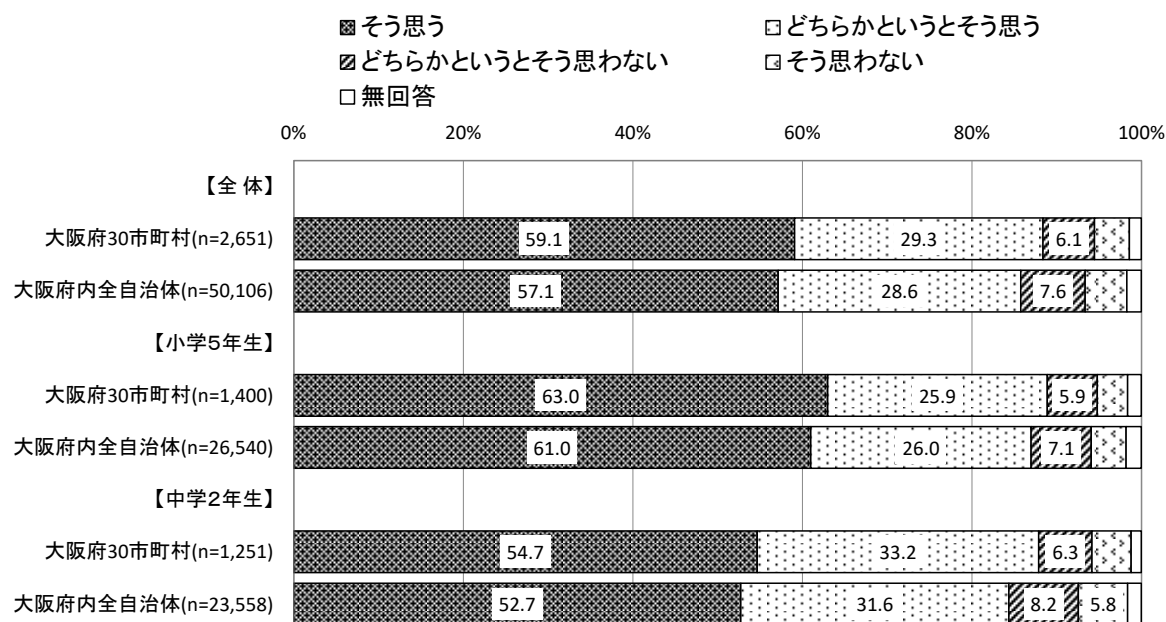


図 82. 将来のためにも、今、頑張りたい

子ども-23-6. 将来、働きたい

問 23 (6) 将来、働きたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「そう思う」が 83.2%、「どちらかというと思う」が 11.7%、「どちらかというと思わない」が 1.8%、「そう思わない」が 1.8%、「無回答」が 1.4%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が 94.9%、「どちらかというと思わない」+「そう思わない」=『思わない』が 3.6%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が 82.0%、「どちらかというと思う」が 12.4%、「どちらかというと思わない」が 2.1%、「そう思わない」が 1.6%、「無回答」が 1.9%となり、『そう思う』が 94.4%、『思わない』が 3.8%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が 84.6%、「どちらかというと思う」が 11.0%、「どちらかというと思わない」が 1.5%、「そう思わない」が 1.9%、「無回答」が 1.0%となり、『そう思う』が 95.6%、『思わない』が 3.4%となっている。

このことから、小学5年生、中学2年生ともに『そう思う』は9割を超えている。

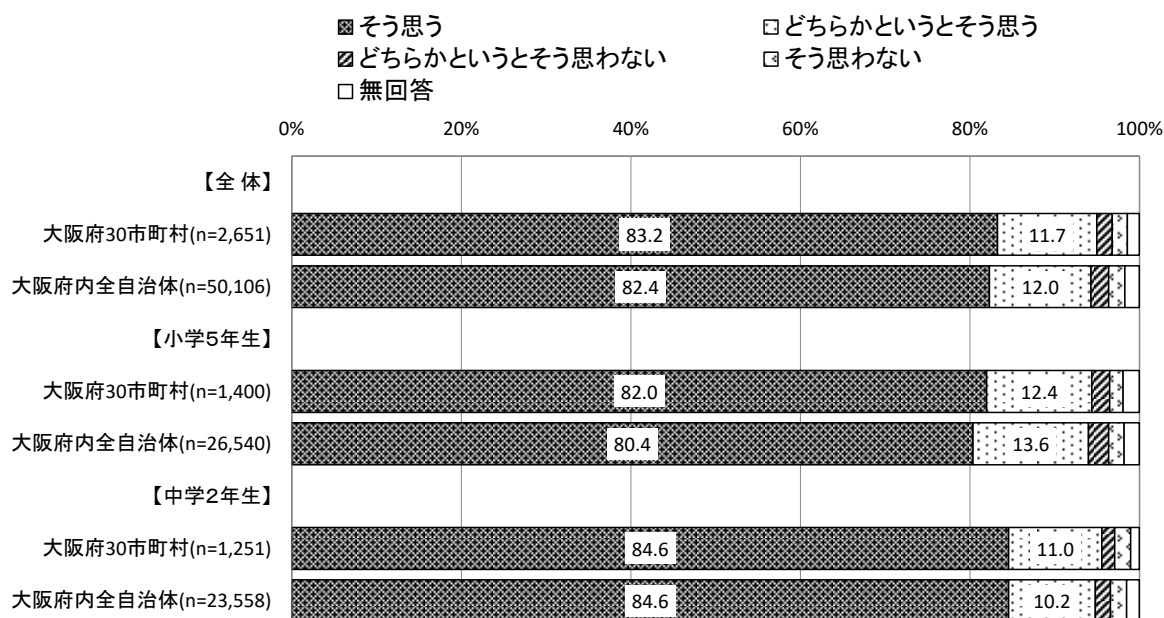


図 83. 将来、働きたい

保護者-5. 自家用車の所有

問5 あなた（世帯の方を含む）は自家用車を持っていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府30市町村の保護者全体では、「持っている」が91.3%、「持っていない」が8.5%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生の保護者では、「持っている」が91.4%、「持っていない」が8.6%である。

中学2年生の保護者では、「持っている」が91.2%、「持っていない」が8.4%、「無回答」が0.3%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも自家用車を「持っている」は9割強である。

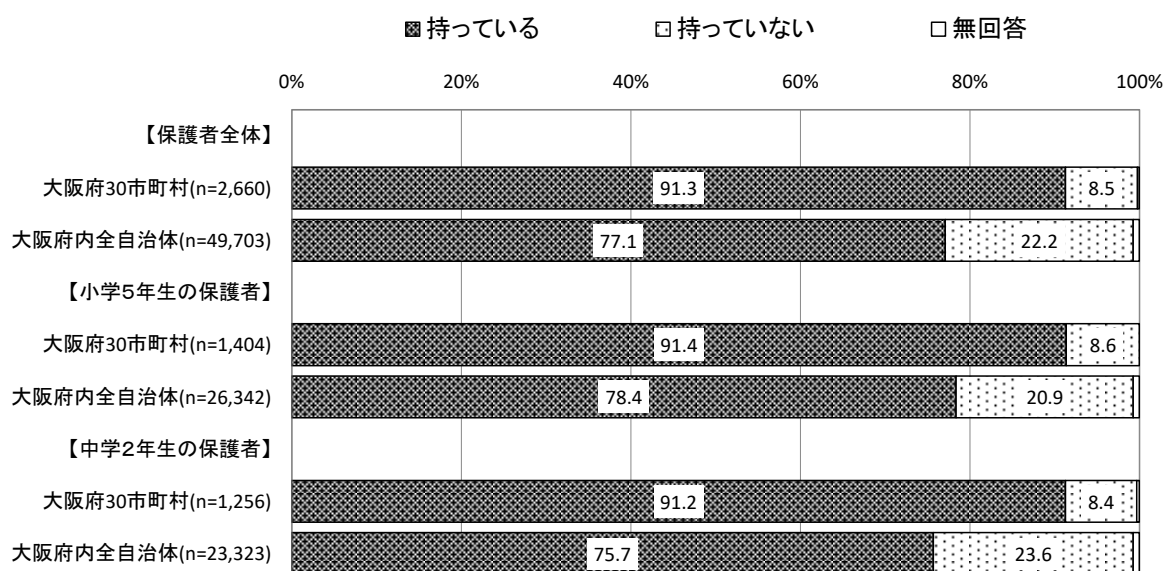


図 84. 自家用車の所有

(3) 教育環境

保護者-8. 母親の最終学歴

問8 お子さんのお母さんの最後に通った学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「中学校卒業」が1.6%、「高等学校中途退学」が1.7%、「高等学校卒業」が26.8%、「高専、短大、専門学校等卒業」が44.1%、「大学卒業」が19.5%、「大学院修了」が1.1%、「その他の教育機関卒業」が0.6%、「答えたくない」が0.3%、「無回答」が4.5%である。

小学5年生の保護者では、「中学校卒業」が1.4%、「高等学校中途退学」が1.6%、「高等学校卒業」が24.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」が44.6%、「大学卒業」が20.4%、「大学院修了」が1.3%、「その他の教育機関卒業」が0.6%、「答えたくない」が0.5%、「無回答」が4.6%である。

中学2年生の保護者では、「中学校卒業」が1.8%、「高等学校中途退学」が1.7%、「高等学校卒業」が28.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」が43.6%、「大学卒業」が18.4%、「大学院修了」が0.8%、「その他の教育機関卒業」が0.5%、「答えたくない」が0.1%、「無回答」が4.3%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「高専、短大、専門学校等卒業」が4割強になっている。

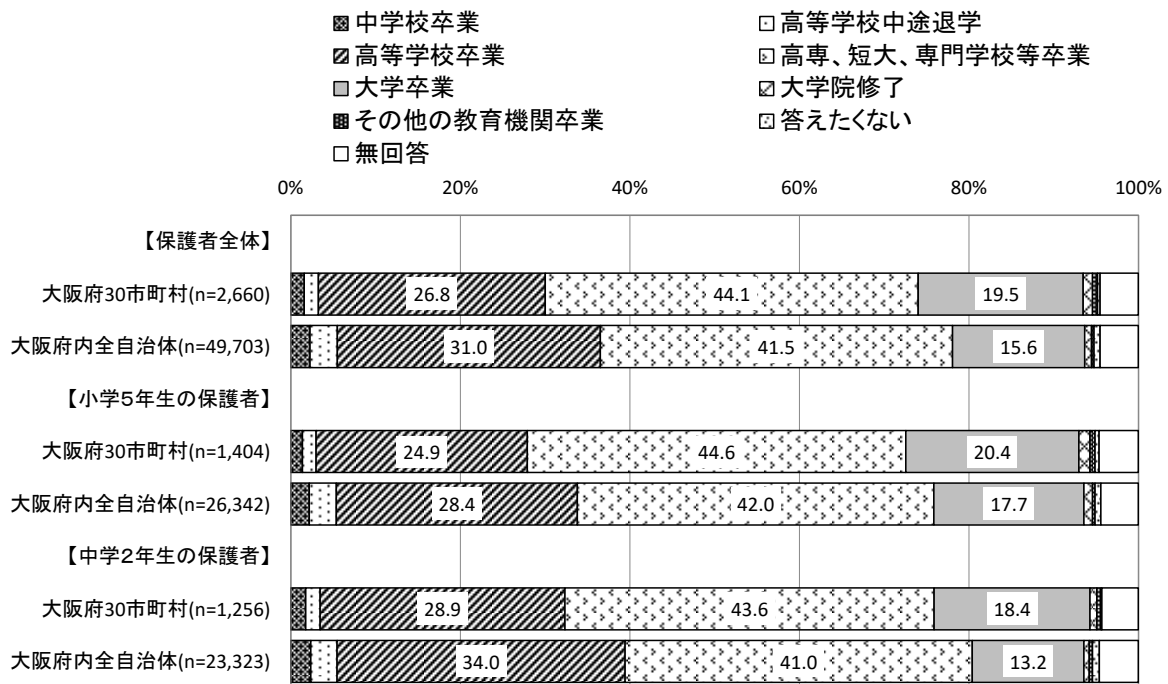


図 85. 母親の最終学歴

保護者-8. 父親の最終学歴

問8 お子さんのお父さんの最後に通った学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「中学校卒業」が2.4%、「高等学校中途退学」が3.0%、「高等学校卒業」が27.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.9%、「大学卒業」が34.3%、「大学院修了」が5.0%、「その他の教育機関卒業」が0.5%、「答えたくない」が0.7%、「無回答」が12.0%である。

小学5年生の保護者では、「中学校卒業」が2.3%、「高等学校中途退学」が3.1%、「高等学校卒業」が25.8%、「高専、短大、専門学校等卒業」が15.2%、「大学卒業」が35.4%、「大学院修了」が5.0%、「その他の教育機関卒業」が0.5%、「答えたくない」が0.9%、「無回答」が11.9%である。

中学2年生の保護者では、「中学校卒業」が2.5%、「高等学校中途退学」が2.9%、「高等学校卒業」が28.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.5%、「大学卒業」が33.1%、「大学院修了」が5.1%、「その他の教育機関卒業」が0.4%、「答えたくない」が0.5%、「無回答」が12.2%である。

このことから、「大学卒業」は小学5年生の保護者が4割弱、中学2年生の保護者が3割強で最も高く、次いで「高等学校卒業」がそれぞれ3割弱になっている。

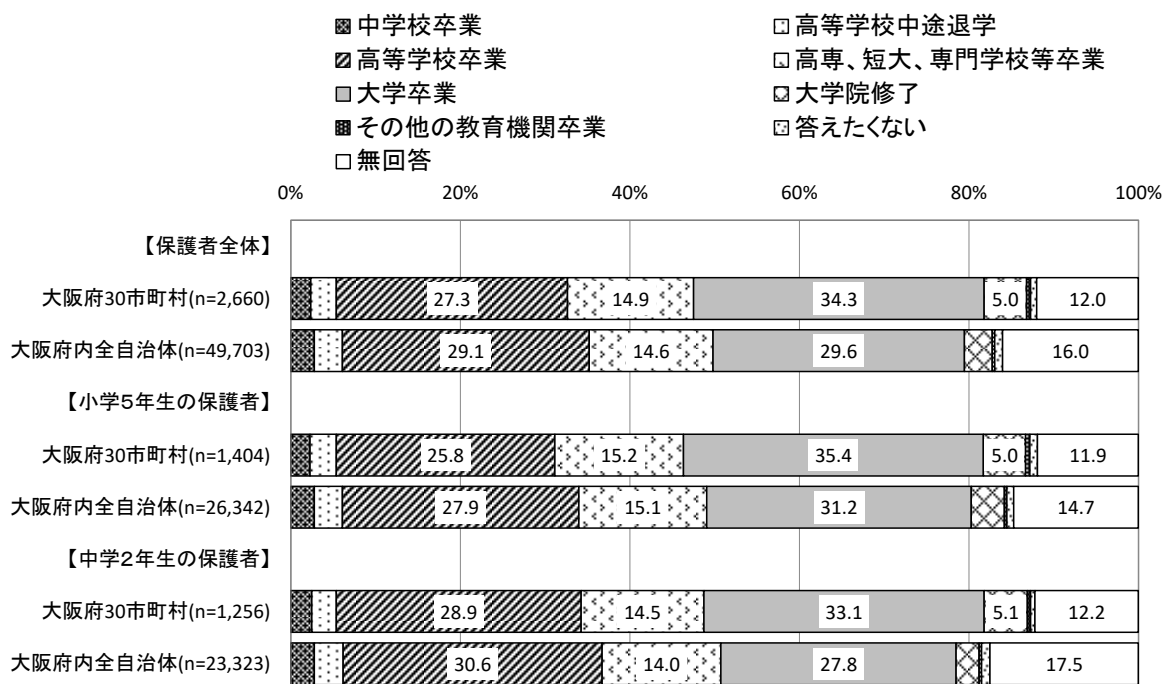


図 86. 父親の最終学歴

子ども-14. 授業以外の勉強時間

問 14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「まったくしない」が6.2%、「30分より少ない」が12.6%、「30分以上、1時間より少ない」が26.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が28.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が12.7%、「3時間以上」が8.0%、「わからない」が5.3%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「まったくしない」が3.1%、「30分より少ない」が11.4%、「30分以上、1時間より少ない」が32.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が29.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が9.6%、「3時間以上」が8.0%、「わからない」が5.4%、「無回答」が0.7%である。

中学2年生では、「まったくしない」が9.8%、「30分より少ない」が13.8%、「30分以上、1時間より少ない」が19.6%、「1時間以上、2時間より少ない」が27.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が16.1%、「3時間以上」が7.9%、「わからない」が5.2%、「無回答」が0.4%である。

このことから、小学5年生では「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」が3割前後、中学2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が3割弱で高くなっている。

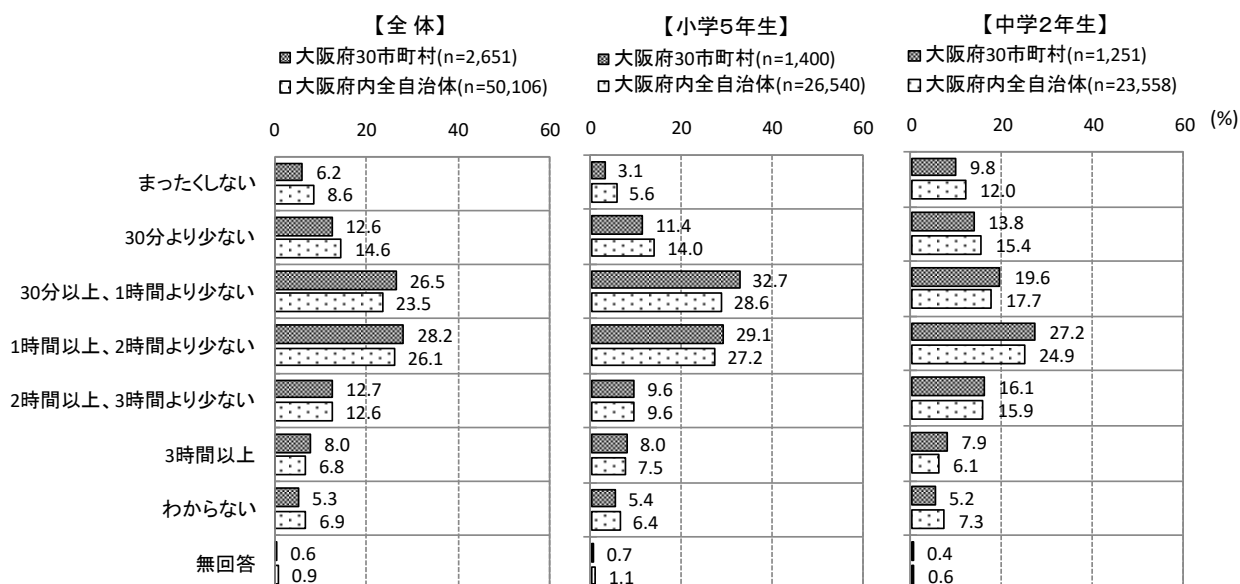


図 87. 授業以外の勉強時間

子ども-15. 学校の勉強で気持ちに近いもの

問 15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「よくわかる」が27.9%、「だいたいわかる」が55.5%、「あまりわからない」が10.2%、「ほとんどわからない」が2.9%、「わからない」が2.3%、「無回答」が1.2%となり、「よくわかる」+「だいたいわかる」=『わかる』が83.4%、「あまりわからない」+「ほとんどわからない」+「わからない」=『わからない』が15.4%となっている。

小学5年生では、「よくわかる」が36.6%、「だいたいわかる」が51.8%、「あまりわからない」が6.9%、「ほとんどわからない」が1.5%、「わからない」が1.7%、「無回答」が1.6%となり、『わかる』が88.4%、『わからない』が10.1%となっている。

中学2年生では、「よくわかる」が18.1%、「だいたいわかる」が59.7%、「あまりわからない」が14.0%、「ほとんどわからない」が4.5%、「わからない」が2.9%、「無回答」が0.8%となり、『わかる』が77.9%、『わからない』が21.3%となっている。

このことから、「よくわかる」をみると小学5年生では4割弱、中学2年生では2割弱になっている。

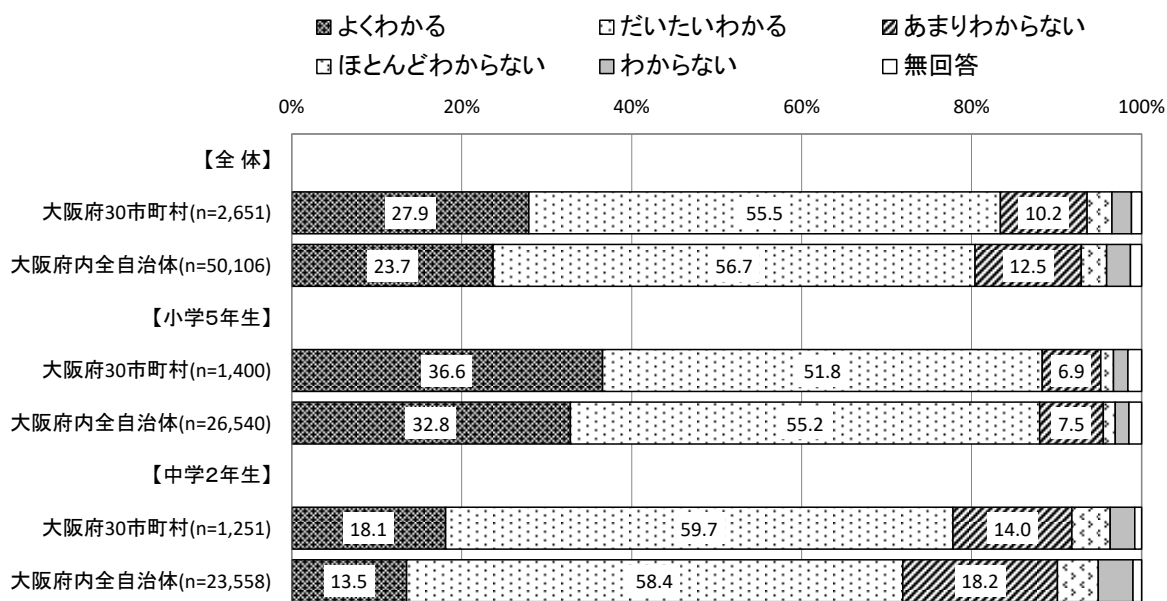


図 88. 学校の勉強で気持ちに近いもの

子ども-16. 授業以外の読書時間

問 16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「まったくしない」が27.4%、「30分より少ない」が35.9%、「30分以上、1時間より少ない」が19.4%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.1%、「3時間以上」が2.0%、「わからない」が5.0%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生では、「まったくしない」が22.1%、「30分より少ない」が38.1%、「30分以上、1時間より少ない」が23.1%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.1%、「3時間以上」が1.6%、「わからない」が4.6%、「無回答」が1.2%である。

中学2年生では、「まったくしない」が33.4%、「30分より少ない」が33.6%、「30分以上、1時間より少ない」が15.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が7.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.1%、「3時間以上」が2.4%、「わからない」が5.5%、「無回答」が0.7%である。

このことから、小学5年生では「30分より少ない」が4割強で最も高く、中学2年生では「30分より少ない」と「まったくしない」が3割強で高くなっている。

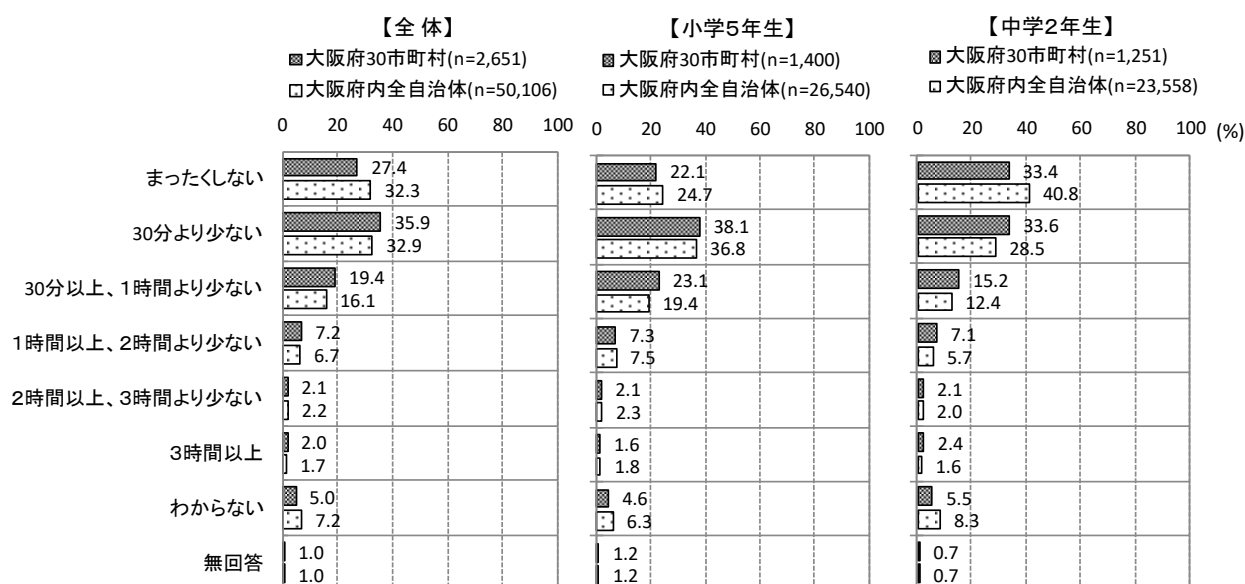


図 89. 授業以外の読書時間

子ども-24. 希望する進学先

問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「中学校」が0.8%、「高校」が12.3%、「大学・短期大学」が45.3%、「大学院」が4.7%、「留学」が4.2%、「専門学校」が13.6%、「考えたことがない」が9.4%、「わからない」が8.2%、「無回答」が1.4%である。

小学5年生では、「中学校」が1.0%、「高校」が11.7%、「大学・短期大学」が41.6%、「大学院」が4.3%、「留学」が3.4%、「専門学校」が15.5%、「考えたことがない」が12.4%、「わからない」が8.6%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生では、「中学校」が0.6%、「高校」が12.9%、「大学・短期大学」が49.5%、「大学院」が5.2%、「留学」が5.1%、「専門学校」が11.5%、「考えたことがない」が6.1%、「わからない」が7.8%、「無回答」が1.3%である。

このことから、「大学・短期大学」は小学5年生が4割強、中学2年生が5割弱で最も高くなっている。

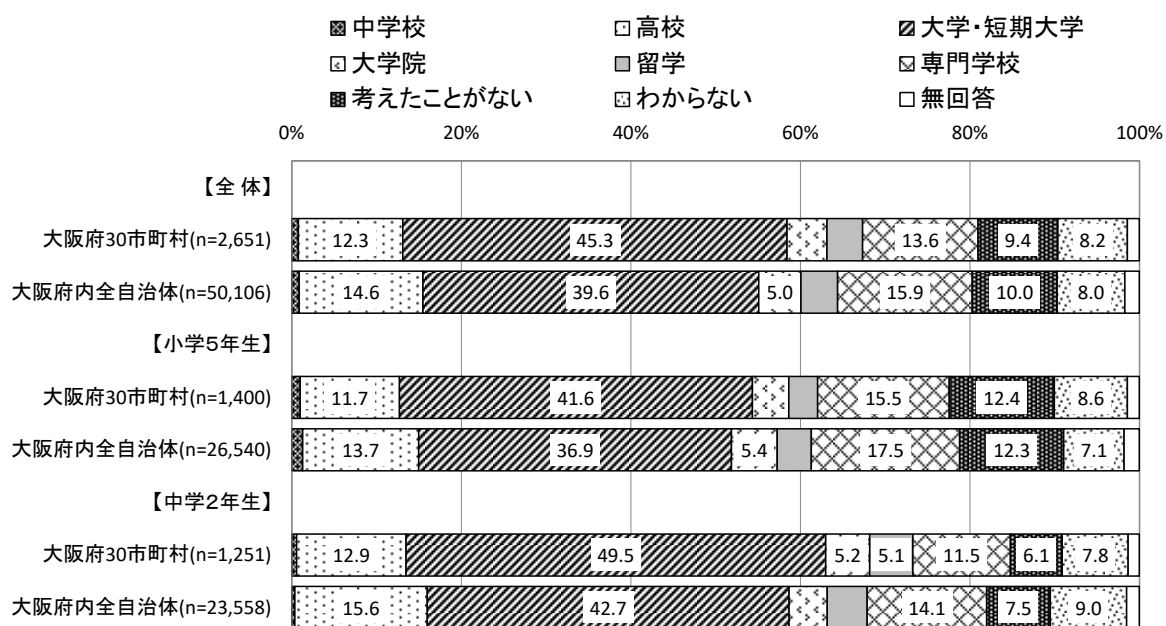


図 90. 希望する進学先

(4) 社会環境

保護者-20-1. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

問 20 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 87.7%、「いない」が 6.4%、「わからない」が 5.3%、「無回答」が 0.6%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 87.7%、「いない」が 6.2%、「わからない」が 5.3%、「無回答」が 0.7%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 87.6%、「いない」が 6.6%、「わからない」が 5.3%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者ともに「いる」が 9 割弱になっている。

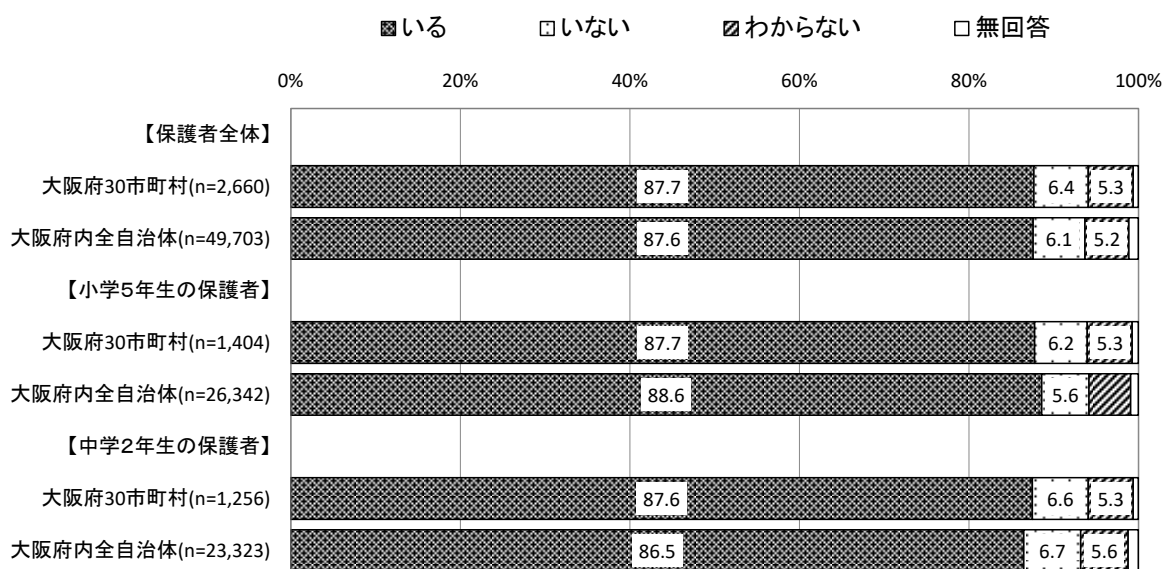


図 91. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者-20-2. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

問 20 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 80.8%、「いない」が 8.6%、「わからない」が 9.9%、「無回答」が 0.8%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 81.0%、「いない」が 8.8%、「わからない」が 9.4%、「無回答」が 0.9%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 80.5%、「いない」が 8.4%、「わからない」が 10.4%、「無回答」が 0.7%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 8 割強になっている。

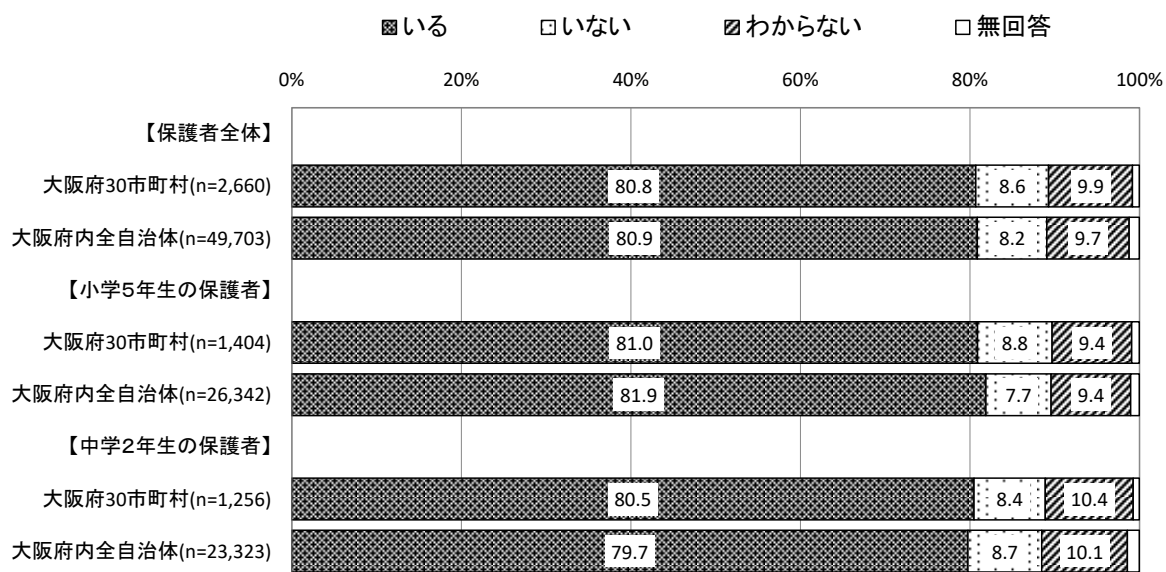


図 92. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

保護者-20-3. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

問 20 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 80.3%、「いない」が 11.2%、「わからない」が 7.7%、「無回答」が 0.9%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 80.2%、「いない」が 10.8%、「わからない」が 7.9%、「無回答」が 1.1%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 80.4%、「いない」が 11.5%、「わからない」が 7.4%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 8 割になっている。

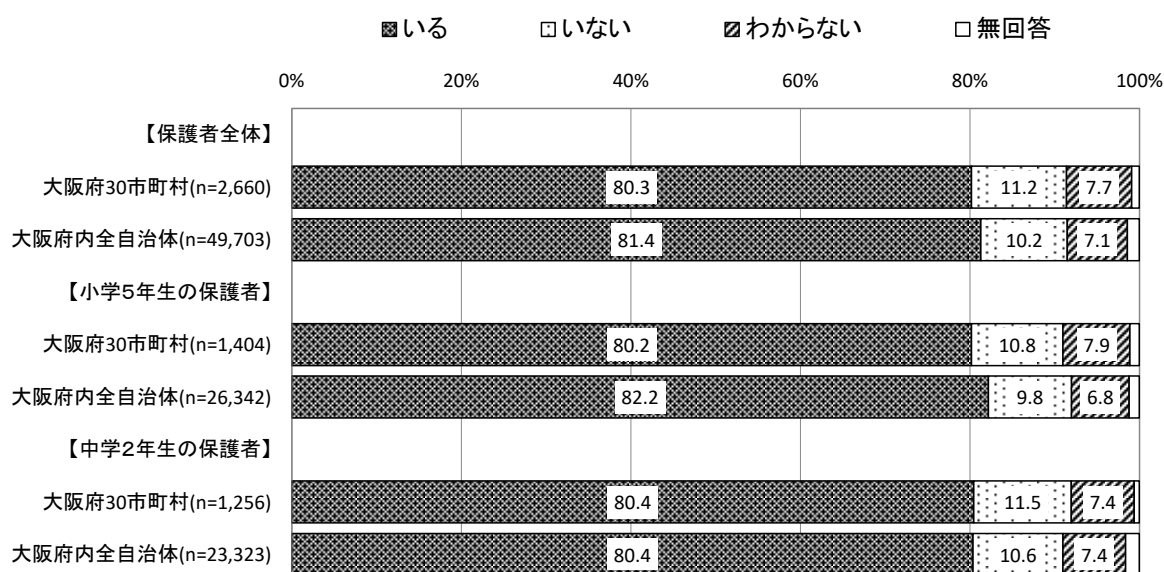


図 93. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者-20-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

問 20 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 79.2%、「いない」が 9.7%、「わからない」が 10.0%、「無回答」が 1.1%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 80.6%、「いない」が 9.0%、「わからない」が 9.1%、「無回答」が 1.3%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 77.8%、「いない」が 10.4%、「わからない」が 11.1%、「無回答」が 0.8%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 8 割前後になっている。

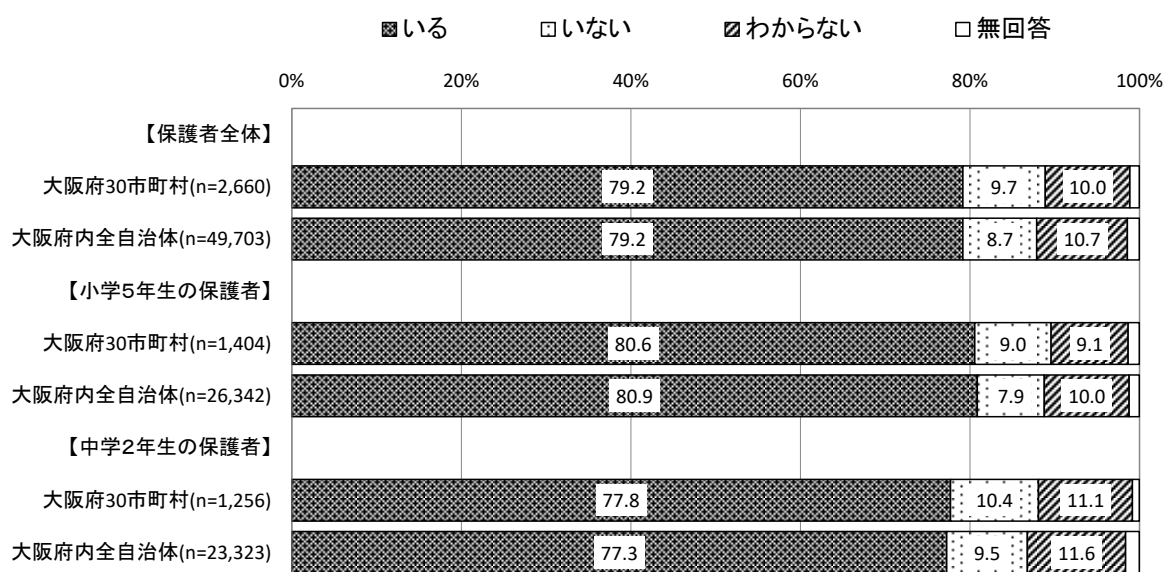


図 94. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-20-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

問 20 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 70.1%、「いない」が 14.2%、「わからない」が 14.7%、「無回答」が 1.0%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 72.5%、「いない」が 12.5%、「わからない」が 14.0%、「無回答」が 1.1%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 67.4%、「いない」が 16.1%、「わからない」が 15.6%、「無回答」が 0.9%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 7 割前後になっている。

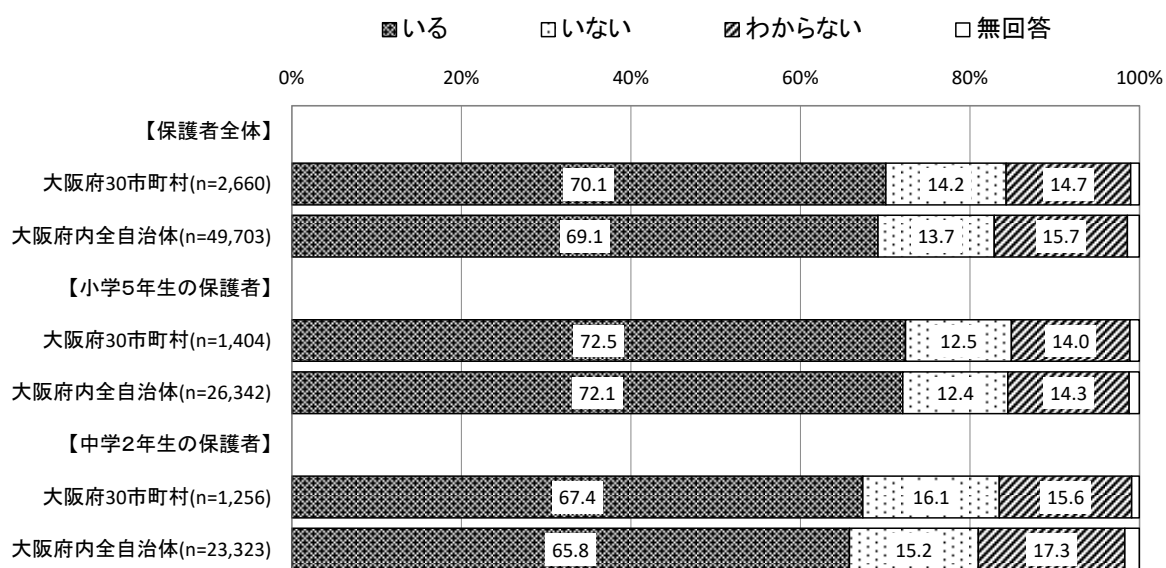


図 95. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-20-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

問 20 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 72.1%、「いない」が 23.2%、「わからない」が 3.9%、「無回答」が 0.8%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 72.2%、「いない」が 22.3%、「わからない」が 4.5%、「無回答」が 1.0%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 71.9%、「いない」が 24.1%、「わからない」が 3.3%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 7 割強になっている。

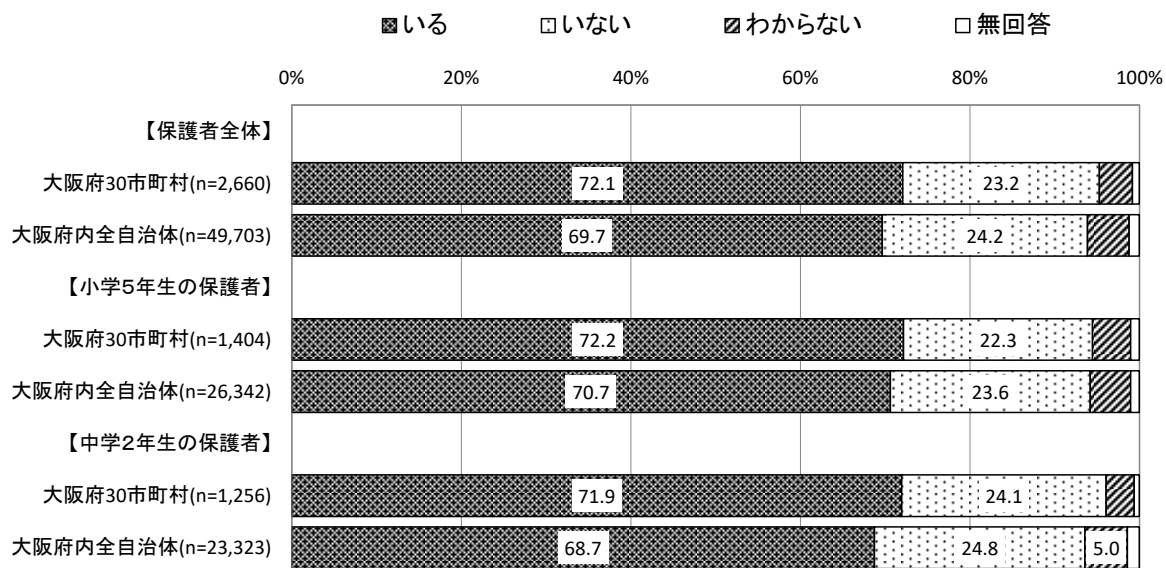


図 96. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-20-7. 留守を頼める人

問 20 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の保護者全体では、「いる」が 67.8%、「いない」が 27.0%、「わからない」が 4.3%、「無回答」が 0.9%である。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 69.4%、「いない」が 25.4%、「わからない」が 4.2%、「無回答」が 1.0%である。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 66.0%、「いない」が 28.8%、「わからない」が 4.5%、「無回答」が 0.7%である。

このことから、小学 5 年生の保護者、中学 2 年生の保護者とも「いる」が 7 割弱になっている。

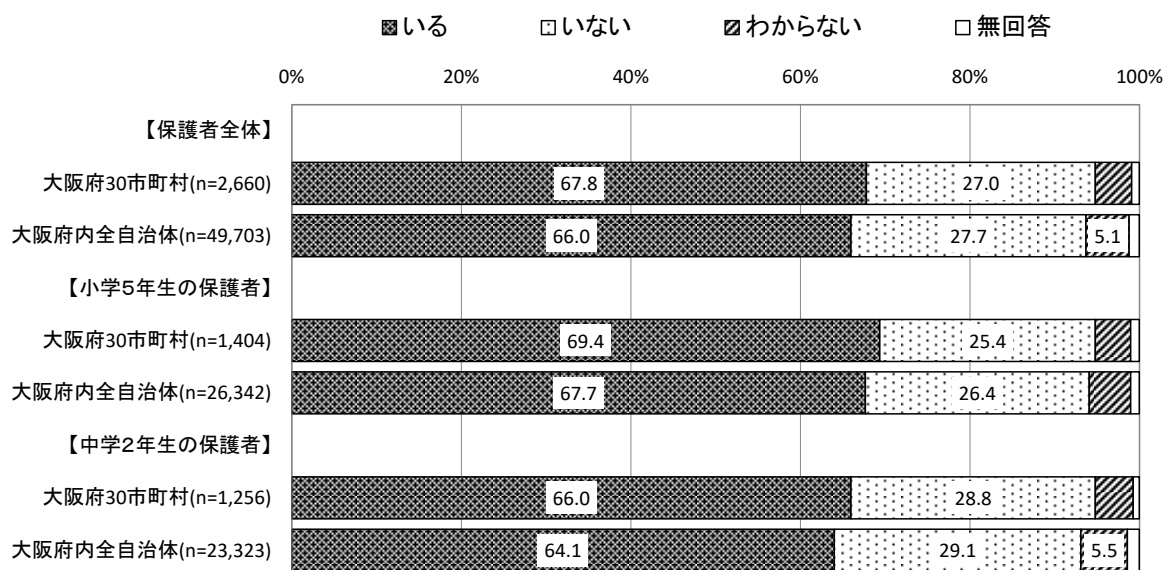


図 97. 留守を頼める人

保護者-21. 困ったときの相談先

問 21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の保護者全体では、「配偶者・パートナー」が76.3%、「自分の親」が68.7%、「近隣に住む知人や友人」が46.1%、「きょうだい・その他の親戚」が36.9%、「配偶者・パートナーの親」が22.5%の順に高くなる。一方、「相談できる相手がない」は2.3%である。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が77.3%、「自分の親」が70.7%、「近隣に住む知人や友人」が46.9%、「きょうだい・その他の親戚」が35.7%、「配偶者・パートナーの親」が24.2%の順に高くなっている。一方、「相談できる相手がない」は2.4%である。

中学2年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が75.2%、「自分の親」が66.4%、「近隣に住む知人や友人」が45.1%、「きょうだい・その他の親戚」が38.3%、「配偶者・パートナーの親」が20.6%の順に高くなっている。「相談できる相手がない」は2.3%である。

このことから、「配偶者・パートナー」、「自分の親」が7割前後を占めている。また、「相談できる相手がない」は2%に留まっている。

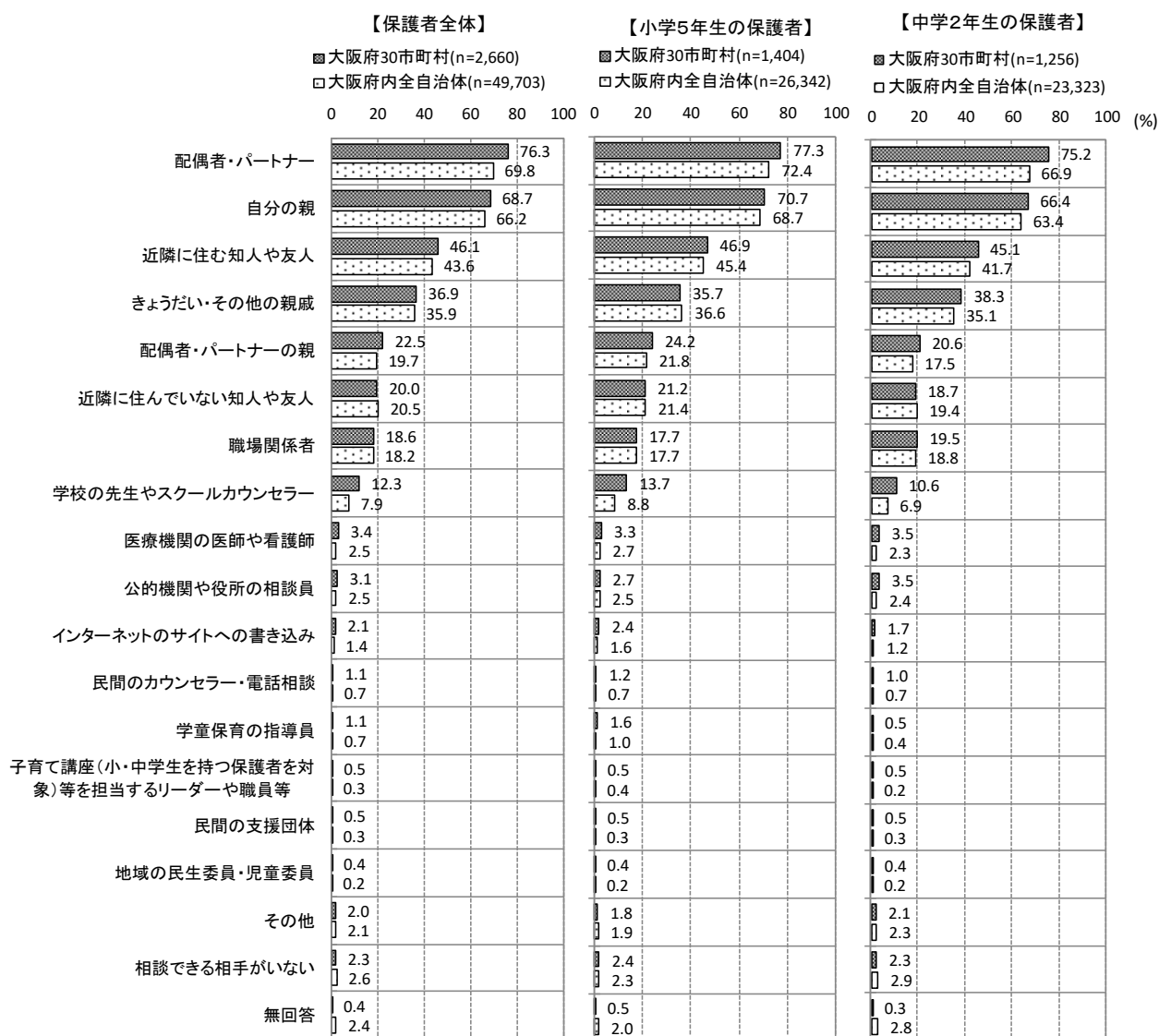


図 98. 困ったときの相談先

子ども-19. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

問 19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか（だれに話しますか。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪府 30 市町村の全体では、相談相手を高い順にみると「親」が 65.8%、「学校のともだち」が 51.2%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 19.2%、「きょうだい」が 16.7%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 11.4%となり、反対に「だれにも相談できない」が 3.3%、「だれにも相談したくない」が 9.6%になっている。

小学 5 年生では、相談相手は「親」が 73.4%、「学校のともだち」が 46.6%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 23.8%、「きょうだい」が 17.6%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 15.1%の順で高く、「だれにも相談できない」が 3.6%、「だれにも相談したくない」が 7.6%になっている。

中学 2 年生では、「親」が 57.4%、「学校のともだち」が 56.4%、「きょうだい」が 15.7%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 14.1%、「だれにも相談したくない」が 11.8%の順に高く、「だれにも相談できない」は 3.0%になっている。

このことから、小学 5 年生では「親」が 7 割強で高く、中学 2 年生では「親」と「学校のともだち」が 6 割弱で高くなっている。

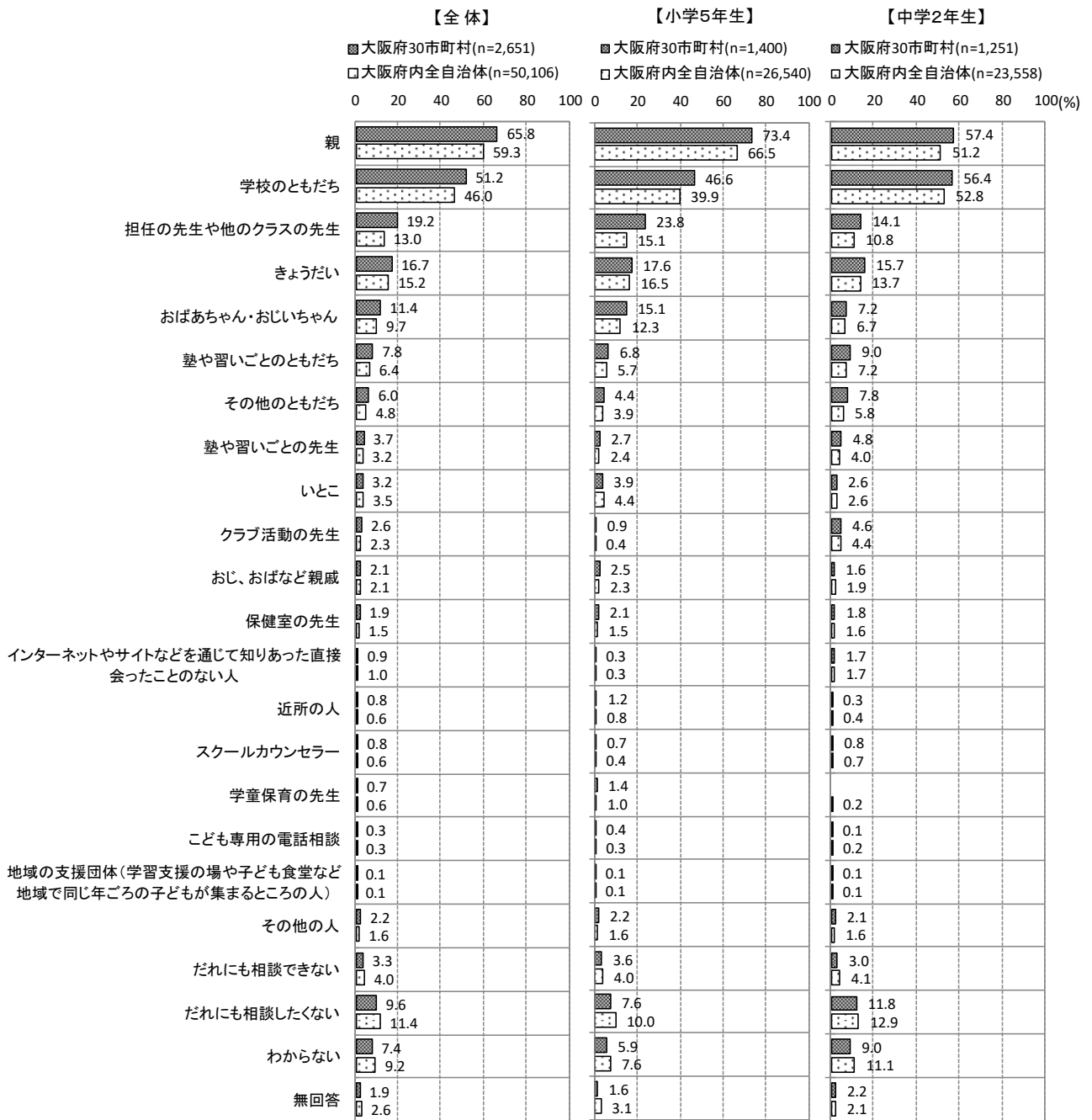


図 99. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども-20-1. 失敗したときに助けてくれる人

問 20 ① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「お母さん」が76.7%、「ともだち」が66.4%、「お父さん」が54.6%、「おじいさん・おばあさん」が32.3%、「きょうだい」が30.6%の順に高く、「誰もいない」は1.5%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が82.1%、「ともだち」が63.9%、「お父さん」が59.7%、「おじいさん・おばあさん」が34.3%、「きょうだい」が32.4%の順に高く、「誰もいない」は1.5%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が70.6%、「ともだち」が69.1%、「お父さん」が48.9%、「おじいさん・おばあさん」が30.0%、「きょうだい」が28.5%の順に高く、「誰もいない」は1.5%になっている。

このことから、小学5年生で「お母さん」が8割強、中学2年生では「お母さん」と「ともだち」が7割前後で高くなっている。

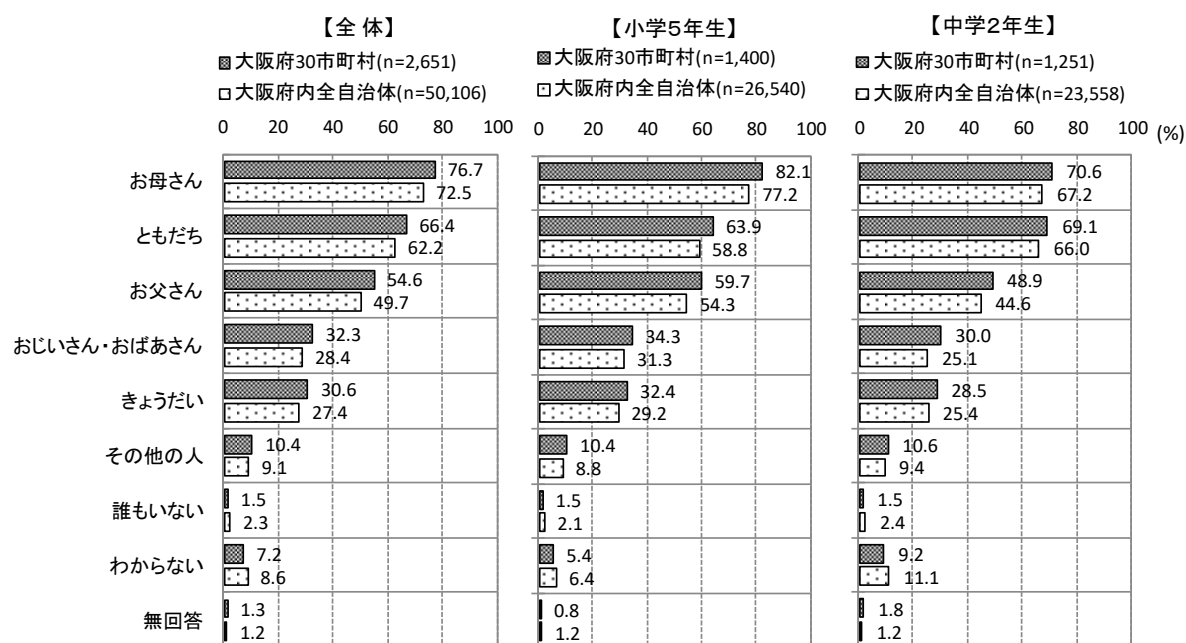


図 100. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-20-2. 頑張ったときにほめてくれる人

問 20 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「お母さん」が 82.0%、「お父さん」が 64.3%、「おじいさん・おばあさん」が 49.3%、「ともだち」が 47.6%、「きょうだい」が 25.0%の順に高く、「誰もいない」は 2.2%になっている。

小学 5 年生では、「お母さん」が 85.4%、「お父さん」が 69.2%、「おじいさん・おばあさん」が 53.2%、「ともだち」が 43.4%、「きょうだい」が 25.6%の順に高く、「誰もいない」は 1.9%になっている。

中学 2 年生では、「お母さん」が 78.2%、「お父さん」が 58.8%、「ともだち」が 52.3%、「おじいさん・おばあさん」が 44.9%、「きょうだい」が 24.4%の順に高く、「誰もいない」は 2.5%になっている。

このことから、「お母さん」は小学 5 年生が 9 割弱、中学 2 年生が 8 割弱で最も高くなっている。

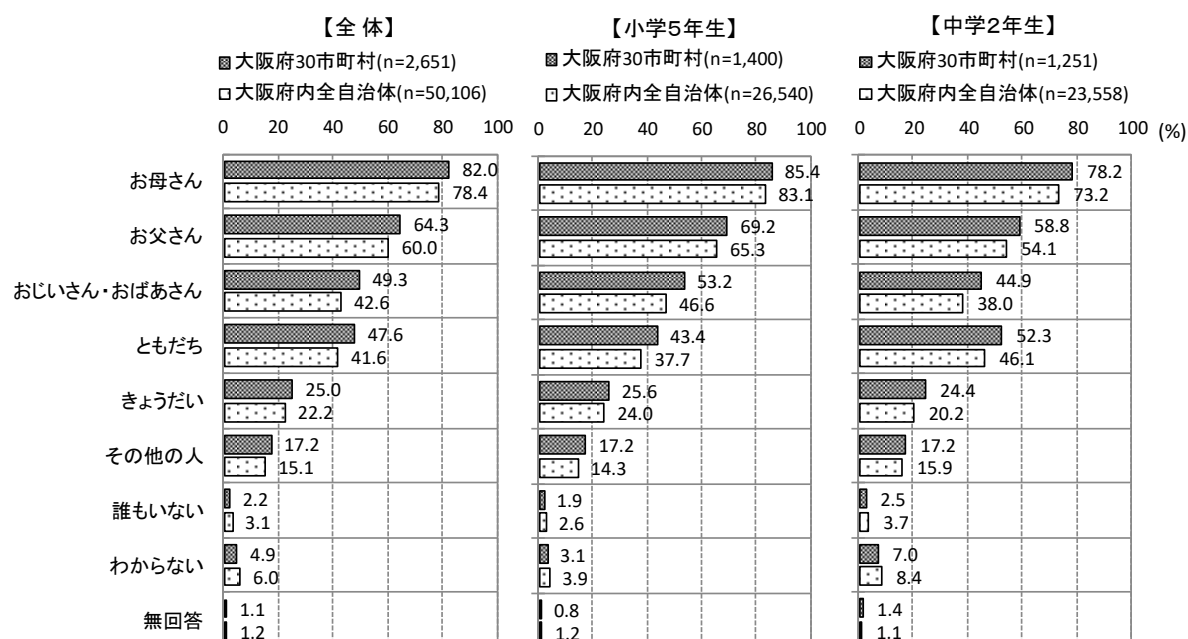


図 101. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども-20-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

問 20 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「ともだち」が65.1%、「お母さん」が65.0%、「お父さん」が46.0%、「おじいさん・おばあさん」が30.0%、「きょうだい」が28.2%の順に高く、「誰もいない」は2.3%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が71.6%、「ともだち」が63.5%、「お父さん」が52.2%、「おじいさん・おばあさん」が33.2%、「きょうだい」が30.1%の順に高く、「誰もいない」は2.1%になっている。

中学2年生では、「ともだち」が66.9%、「お母さん」が57.6%、「お父さん」が39.0%、「おじいさん・おばあさん」が26.4%、「きょうだい」が26.1%の順に高く、「誰もいない」は2.5%になっている。

このことから、小学5年生では「お母さん」が7割強、中学2年生では「ともだち」が7割弱で高くなっている。

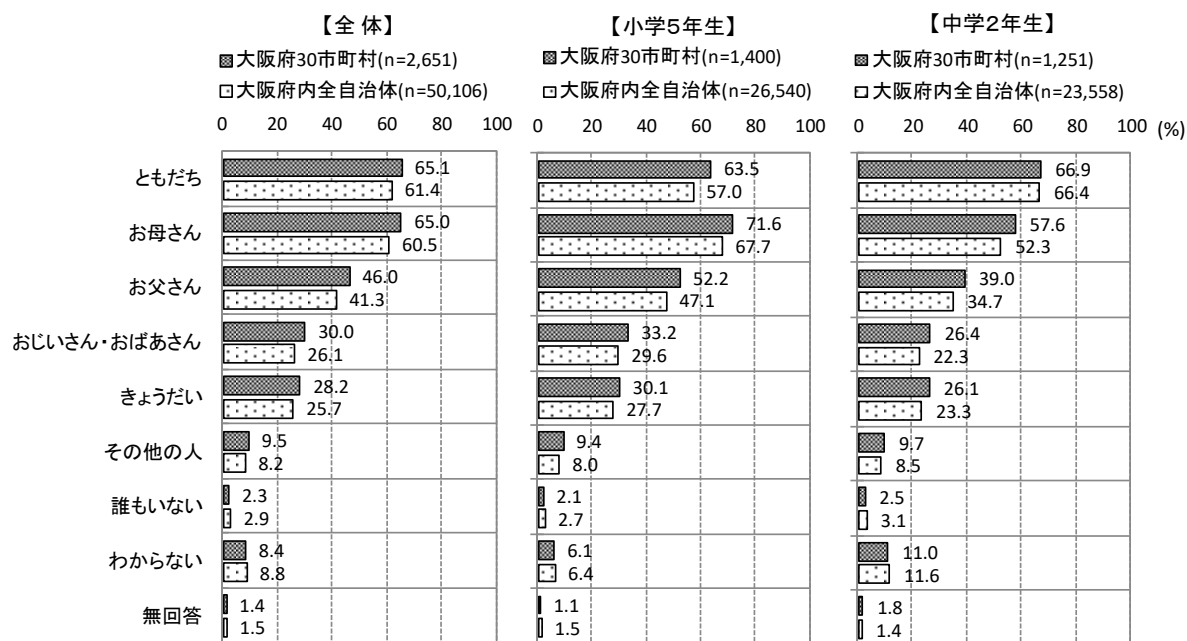


図 102. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-20-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

問 20 ④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「お母さん」が 72.4%、「ともだち」が 49.9%、「お父さん」が 48.5%、「おじいさん・おばあさん」が 33.4%、「きょうだい」が 28.8%の順に高く、「誰もいない」は 3.2%になっている。

小学 5 年生では、「お母さん」が 80.3%、「お父さん」が 55.8%、「ともだち」が 46.0%、「おじいさん・おばあさん」が 38.5%、「きょうだい」が 30.6%の順に高く、「誰もいない」は 3.1%になっている。

中学 2 年生では、「お母さん」が 63.5%、「ともだち」が 54.3%、「お父さん」が 40.4%、「おじいさん・おばあさん」が 27.7%、「きょうだい」が 26.8%の順に高く、「誰もいない」は 3.4%になっている。

このことから、「お母さん」が小学 5 年生で 8 割、中学 2 年生が 6 割強で高くなっている。

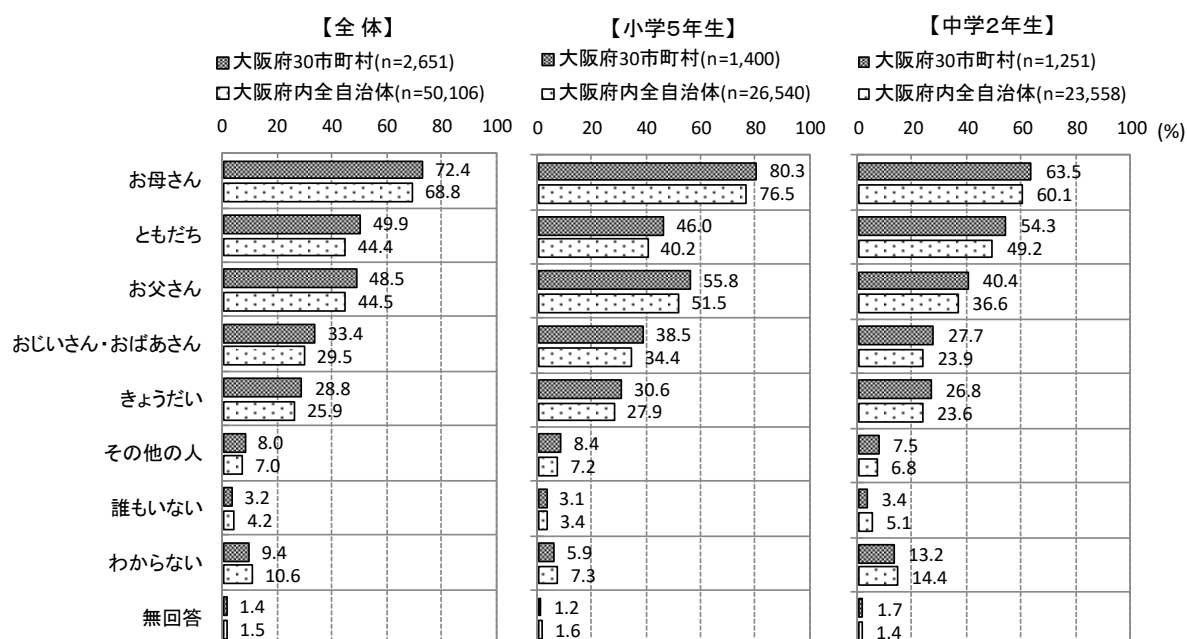


図 103. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-20-5. あなたのことを信じてくれる人

問 20 ⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「お母さん」が 73.4%、「お父さん」が 57.9%、「ともだち」が 48.0%、「おじいさん・おばあさん」が 44.2%、「きょうだい」が 30.4%の順に高く、「誰もいない」が 2.4%である。

小学 5 年生では、「お母さん」が 78.6%、「お父さん」が 62.5%、「おじいさん・おばあさん」が 49.1%、「ともだち」が 46.9%、「きょうだい」が 30.9%の順に高く、「誰もいない」が 2.1%である。

中学 2 年生では、「お母さん」が 67.6%、「お父さん」が 52.7%、「ともだち」が 49.2%、「おじいさん・おばあさん」が 38.8%、「きょうだい」が 29.9%の順に高く、「誰もいない」が 2.7%である。

このことから、「お母さん」は小学 5 年生が 8 割弱、中学 2 年生が 7 割弱で最も高くなっている。

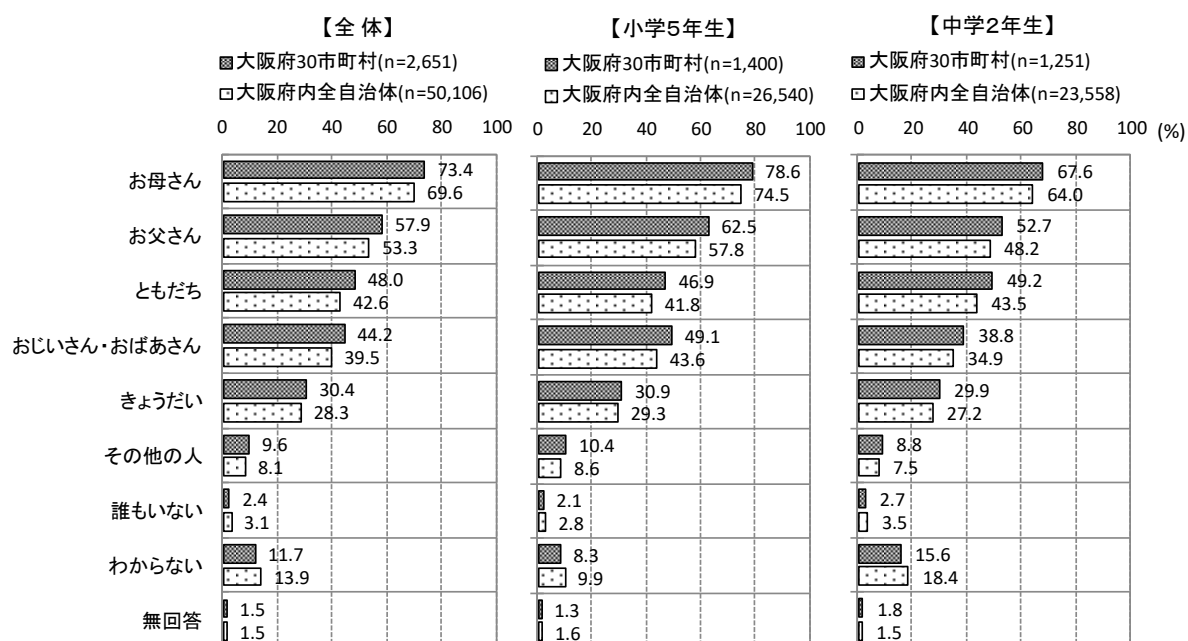


図 104. あなたのことを信じてくれる人

子ども-20-6. 悩んだときの対処を教えてください

問 20 ⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「お母さん」が73.1%、「お父さん」が49.8%、「ともだち」が49.3%、「おじいさん・おばあさん」が29.8%、「きょうだい」が23.3%の順に高く、「誰もいない」が2.8%である。

小学5年生では、「お母さん」が79.7%、「お父さん」が56.6%、「ともだち」が45.6%、「おじいさん・おばあさん」が33.9%、「きょうだい」が24.4%の順に高く、「誰もいない」が2.5%である。

中学2年生では、「お母さん」が65.7%、「ともだち」が53.4%、「お父さん」が42.0%、「おじいさん・おばあさん」が25.3%、「きょうだい」が22.2%の順に高く、「誰もいない」が3.1%である。

このことから、「お母さん」は小学5年生が8割弱、中学2年生が7割弱で最も高く、次いで高いのは小学5年生では「お父さん」、中学2年生では「ともだち」になっている。

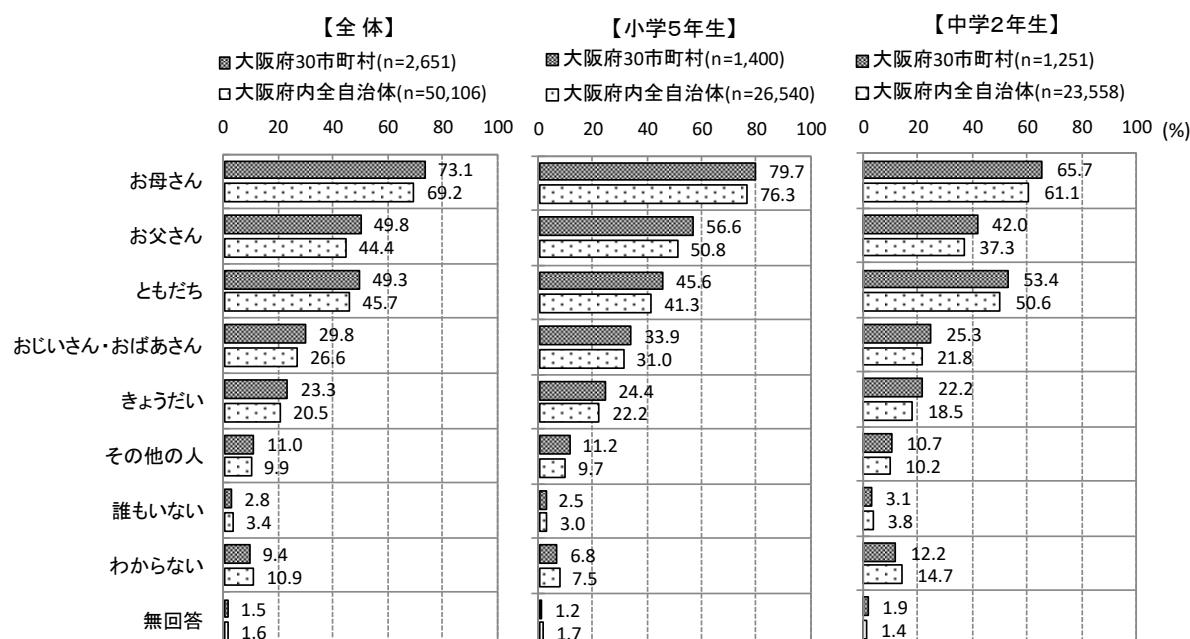


図 105. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-20-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

問 20 ⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府30市町村の全体では、「お母さん」が81.1%、「お父さん」が62.5%、「ともだち」が48.5%、「おじいさん・おばあさん」が39.8%、「きょうだい」が32.7%の順に高く、「誰もいない」が1.4%である。

小学5年生では、「お母さん」が86.1%、「お父さん」が67.7%、「おじいさん・おばあさん」が43.8%、「ともだち」が43.1%、「きょうだい」が33.2%の順に高く、「誰もいない」が1.1%である。

中学2年生では、「お母さん」が75.4%、「お父さん」が56.8%、「ともだち」が54.4%、「おじいさん・おばあさん」が35.3%、「きょうだい」が32.1%の順に高く、「誰もいない」が1.8%である。

このことから、「お母さん」は小学5年生が9割弱、中学2年生が8割弱で高くなっている。

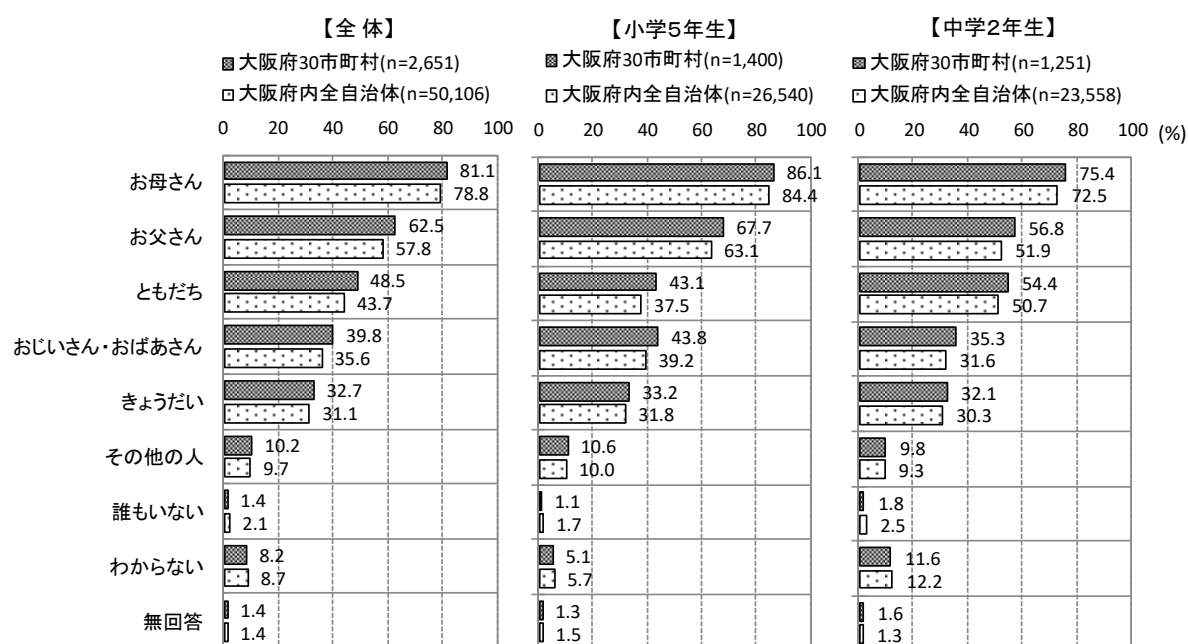


図 106. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども-20-8. あなたのことを大切にしてくれる人

問 20 ⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪府 30 市町村の全体では、「お母さん」が 85.5%、「お父さん」が 74.6%、「おじいさん・おばあさん」が 62.0%、「ともだち」が 53.6%、「きょうだい」が 43.9%の順に高く、「誰もいない」が 0.8%である。

小学5年生では、「お母さん」が 90.6%、「お父さん」が 80.6%、「おじいさん・おばあさん」が 67.9%、「ともだち」が 51.9%、「きょうだい」が 46.9%の順に高く、「誰もいない」が 0.4%である。

中学2年生では、「お母さん」が 79.7%、「お父さん」が 67.8%、「ともだち」が 55.6%、「おじいさん・おばあさん」が 55.4%、「きょうだい」が 40.5%の順に高く、「誰もいない」が 1.2%である。

このことから、小学5年生の「お母さん」が9割、「お父さん」が8割で高く、中学2年生では「お母さん」が8割弱で高くなっている。

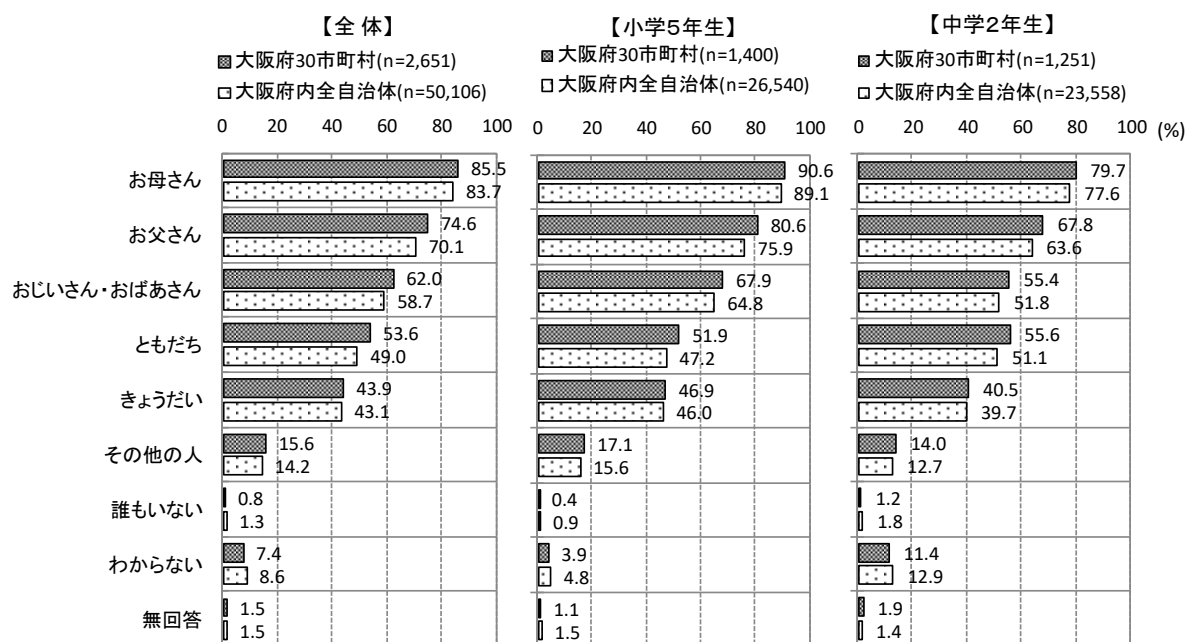


図 107. あなたのことを大切にしてくれる人

裏

色紙

色紙裏

3. クロス集計および分析結果

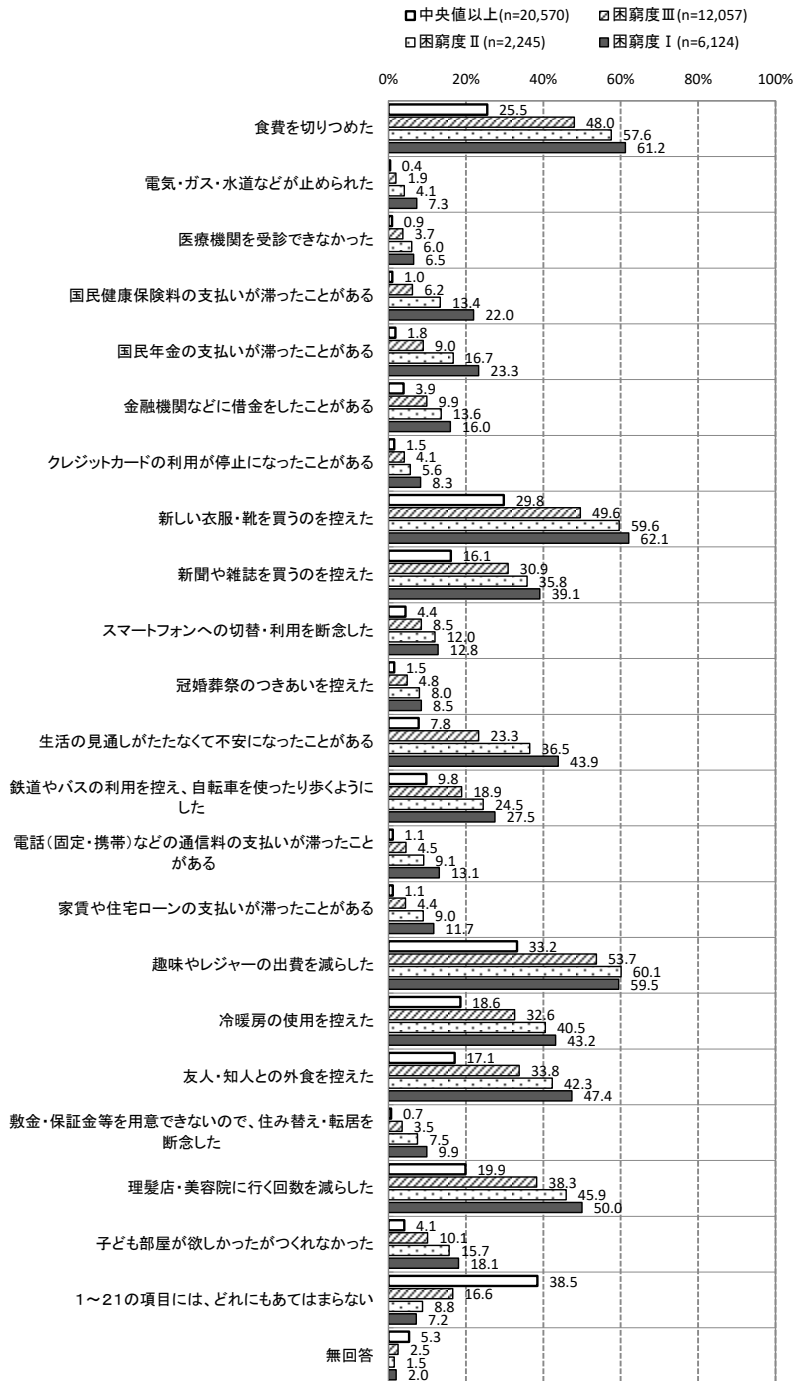
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

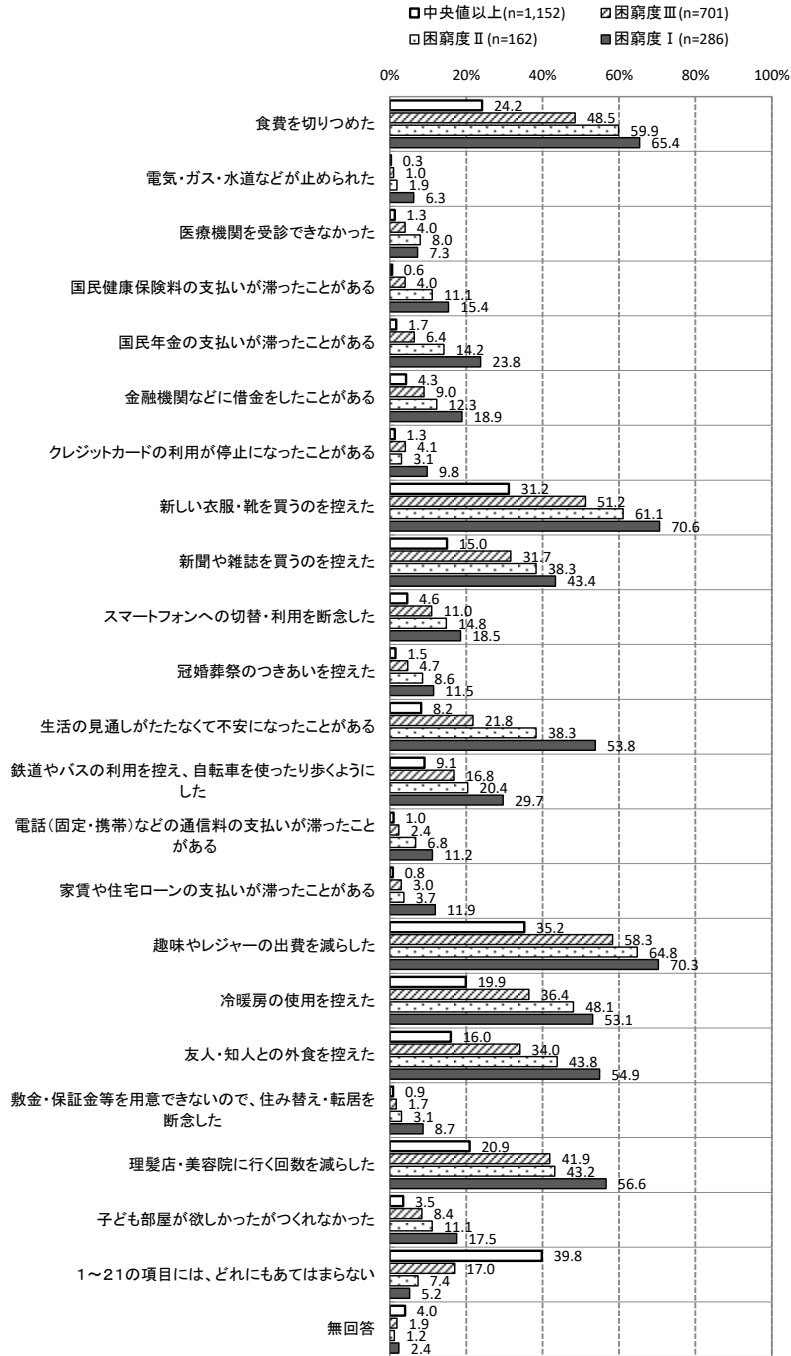


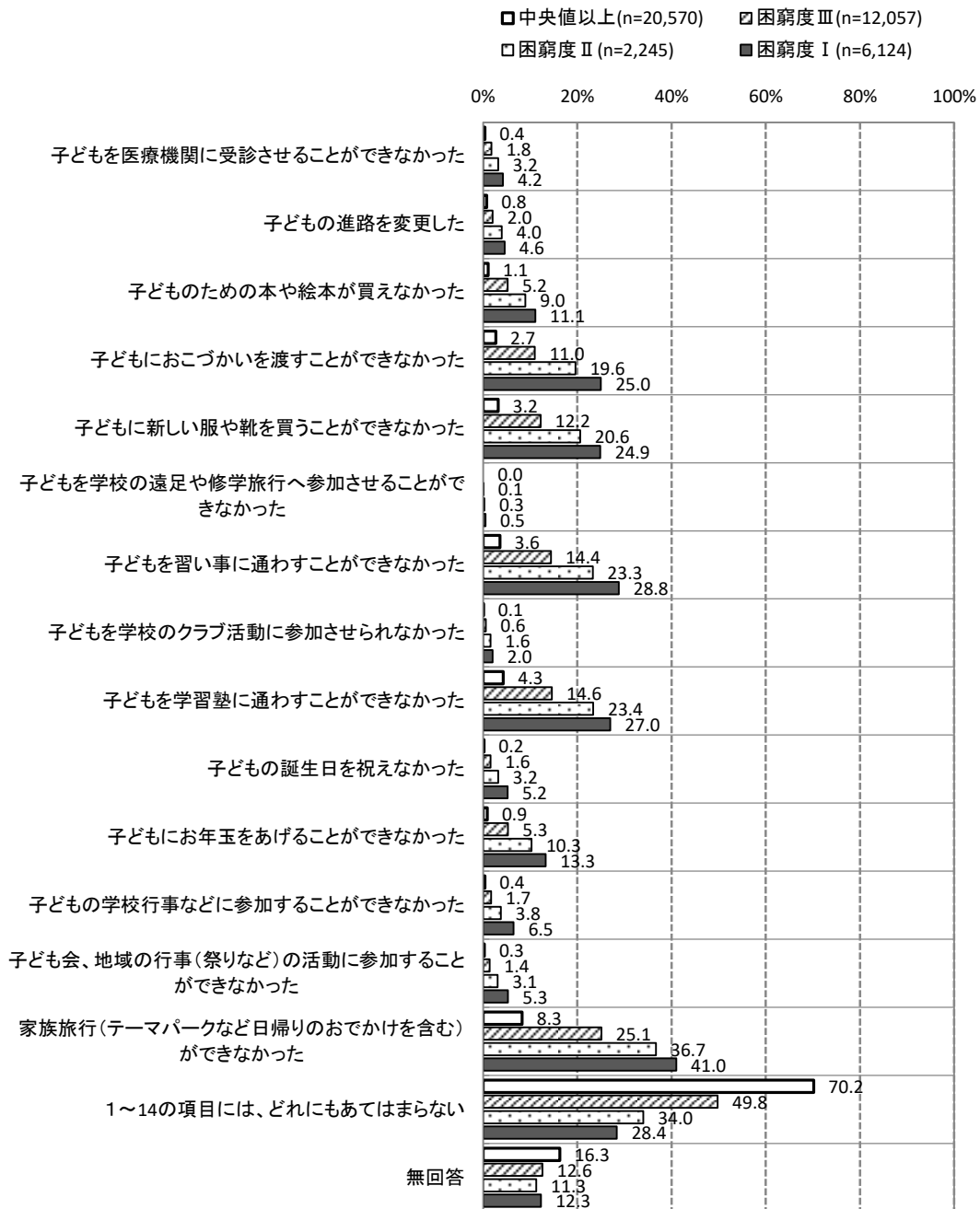
図 108. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※「困窮度」については、図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」15.4%（中央値以上群に対して、25.3倍）、「電気・ガス・水道などが止められた」6.3%（同じく24.2倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」11.9%（同じく15.2倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で39.8%なのに対して、困窮度Ⅰ群において5.2%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 13）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

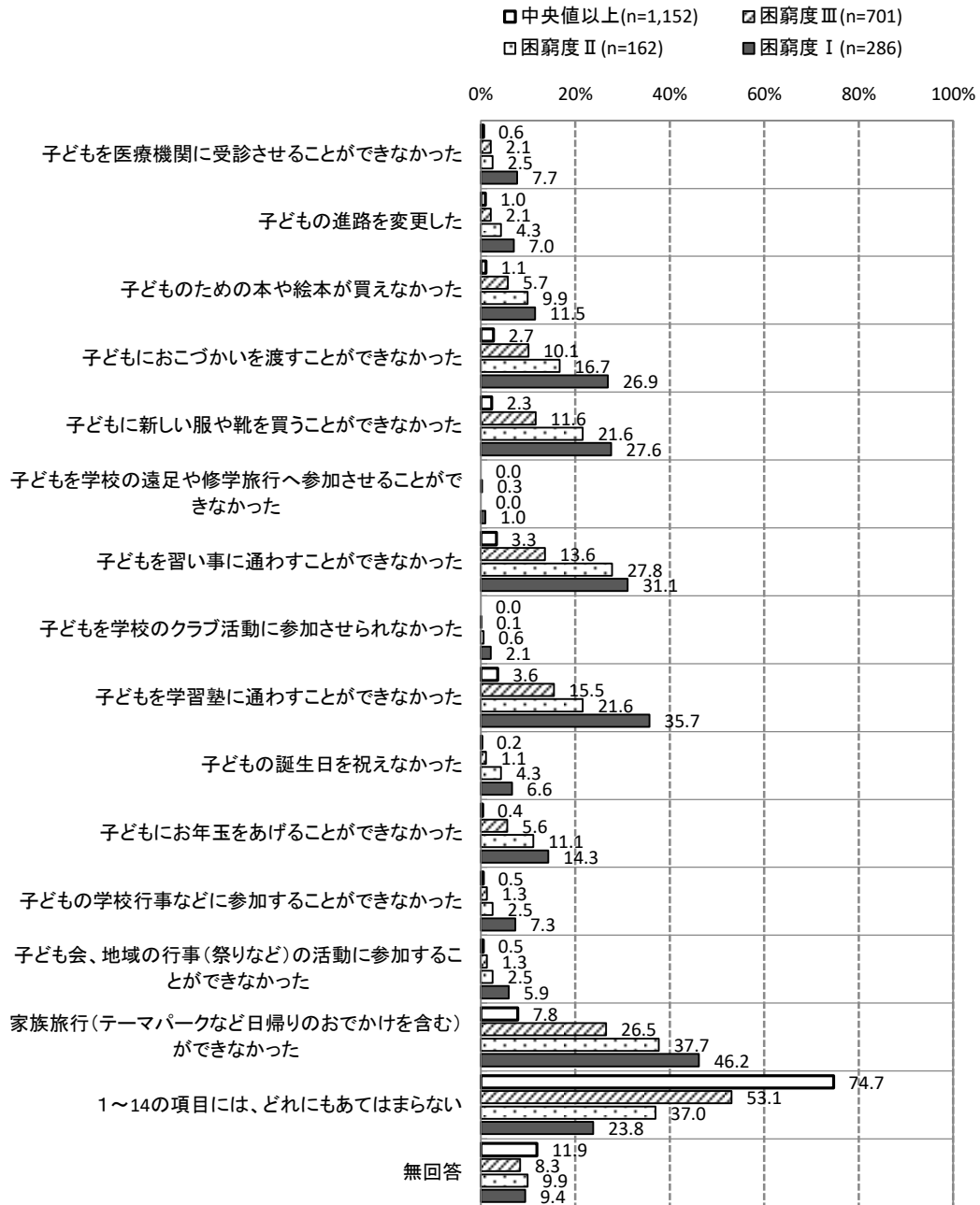
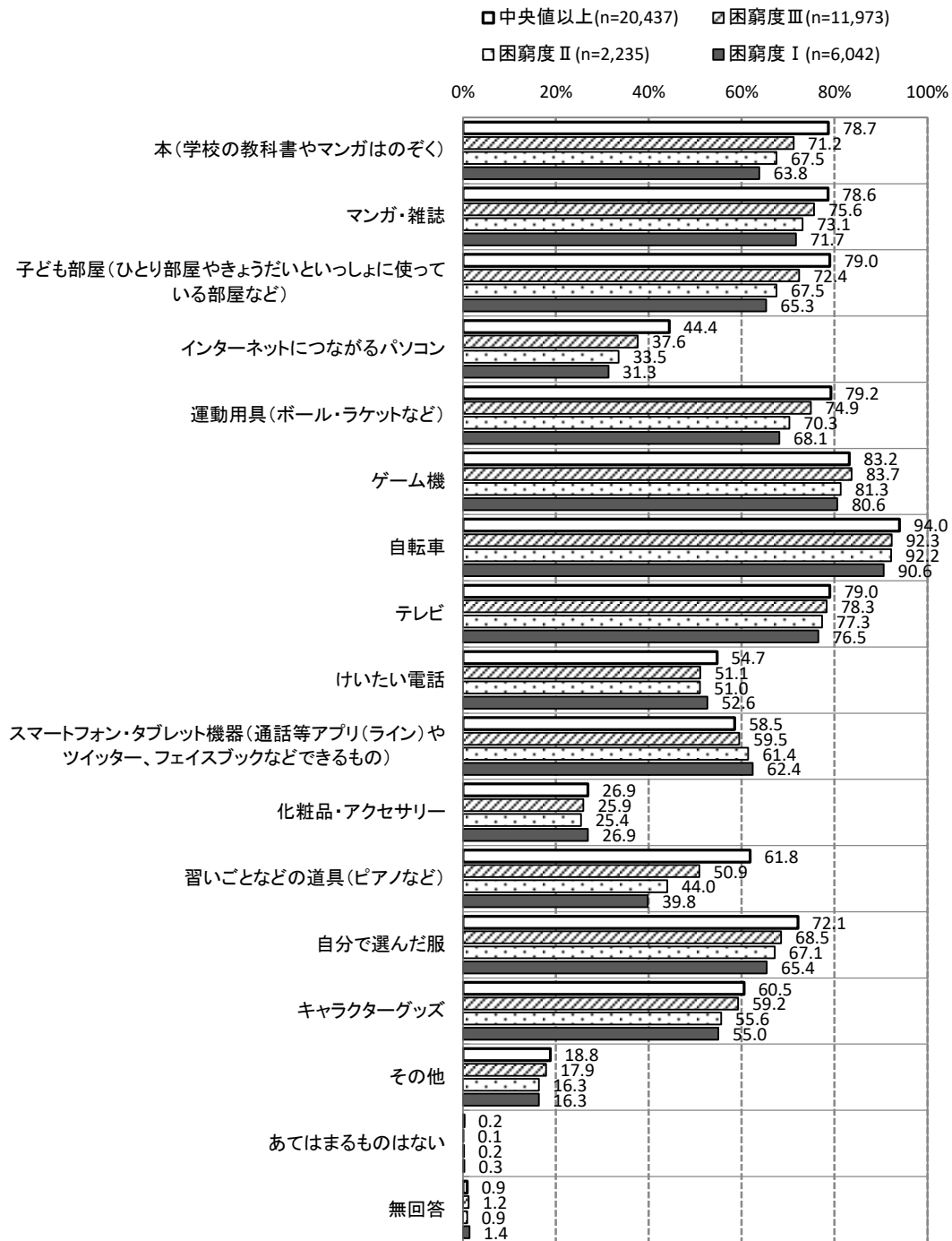


図 109. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子どもの誕生日を祝えなかった」6.6%（中央値以上群に対して、38.3倍）、「子どもにお年玉をあげることができなかった」14.3%（同じく、33.0倍）、「子どもの学校行事などに参加することができなかった」7.3%（同じく14.1倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。子どもを医療機関に受診させることができないことは、子どもの発育や生命にも関係する項目が高いことは無視できない。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 22）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

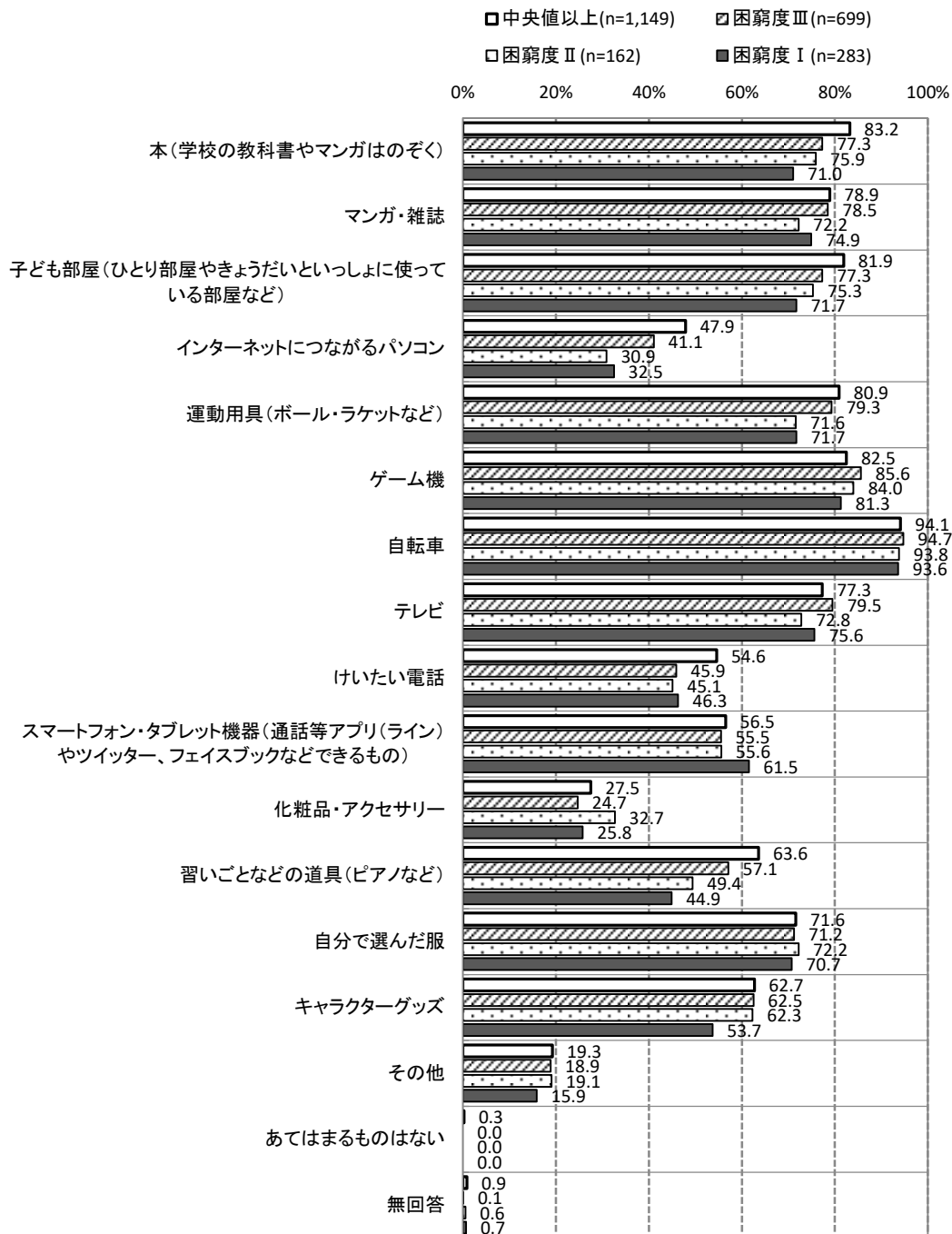
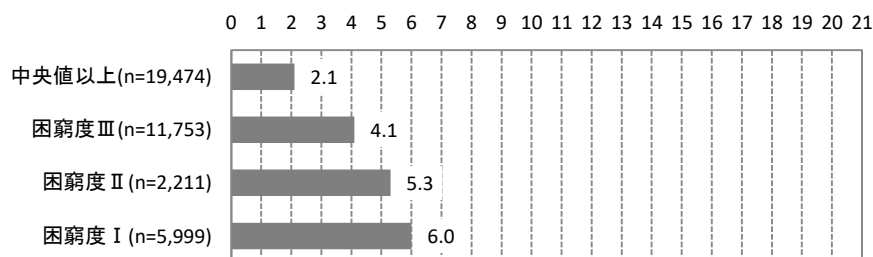


図 110. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「インターネットにつながるパソコン」47.9% (困窮度Ⅰ群に対して、1.5倍)、「習い事などの道具(ピアノなど)」63.6%(同じく1.4倍)となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 7）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

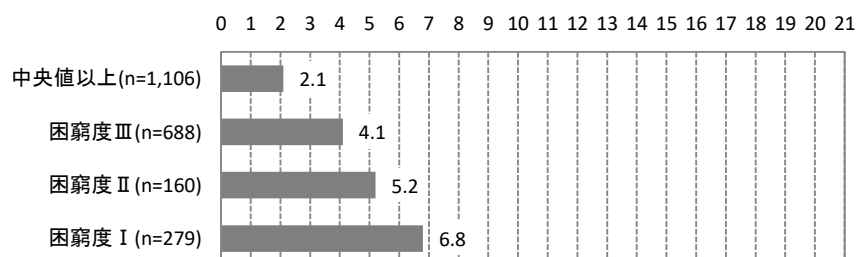


図 111. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

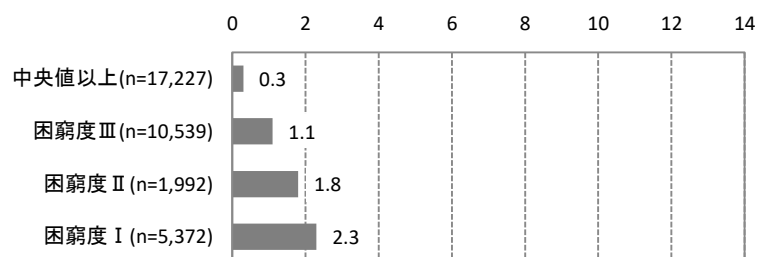
経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6 個に該当、7 個以上に該当、の 3 群に分けることができた。図 159 および図 161 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの 1 つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 13）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

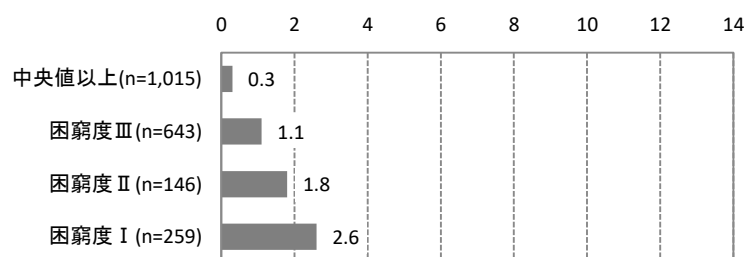


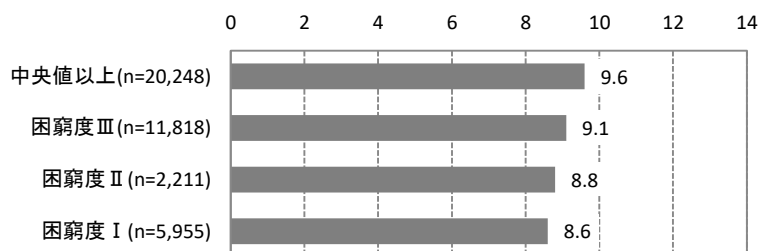
図 112. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 22）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

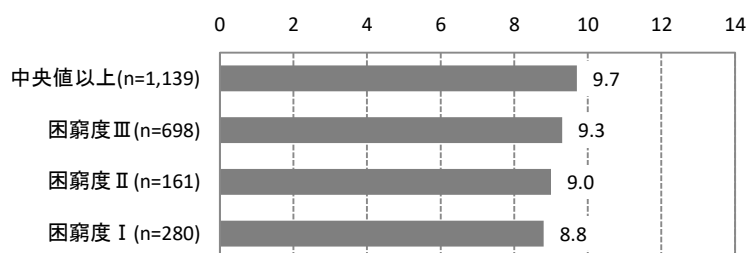


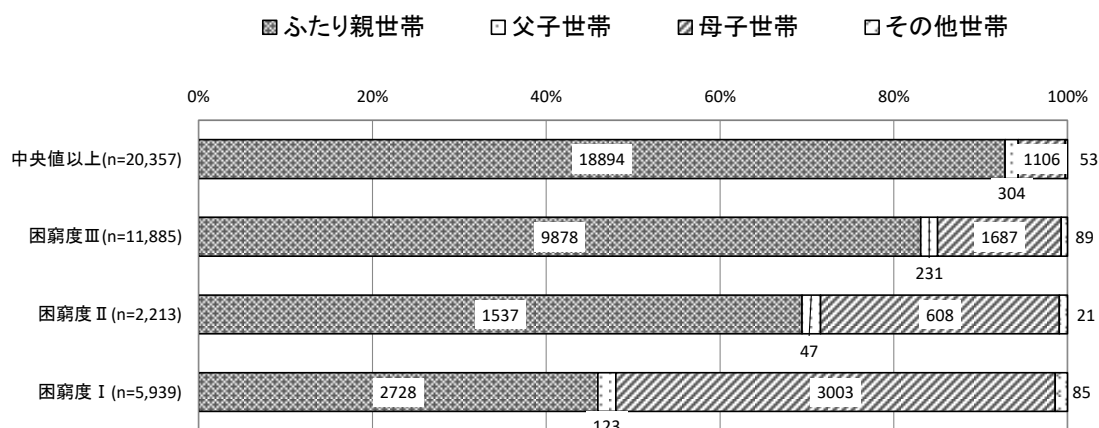
図 113. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度によって子どもの持ちもの、使えるものの該当数に大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問 3-2 より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

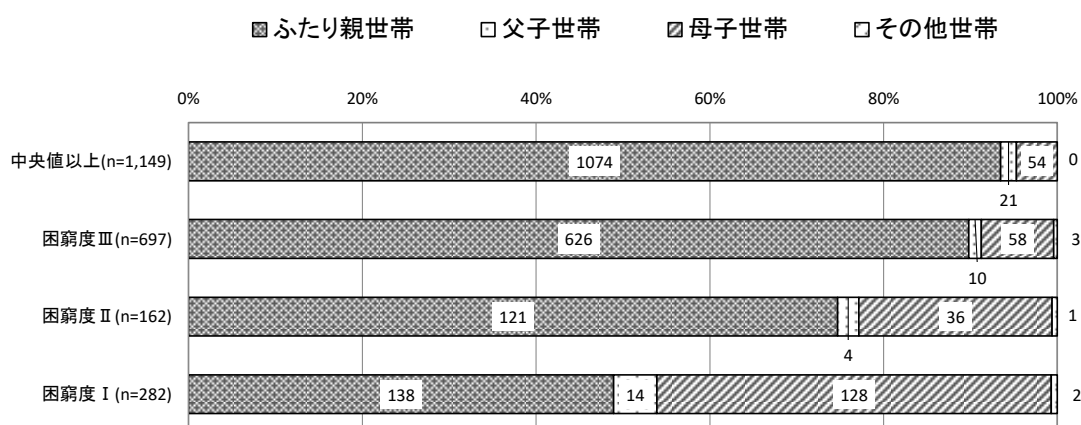
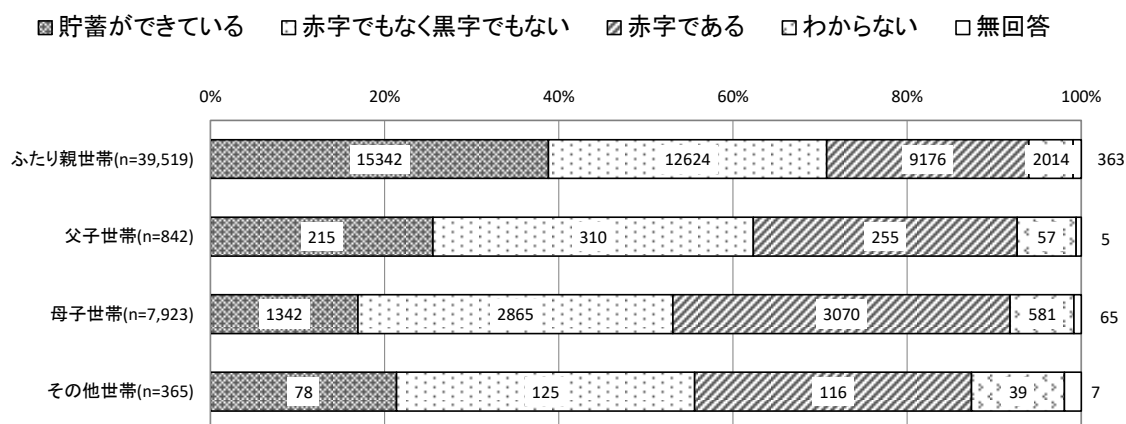


図 114. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 93.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 48.9%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 4.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 45.4%だった。

世帯構成別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

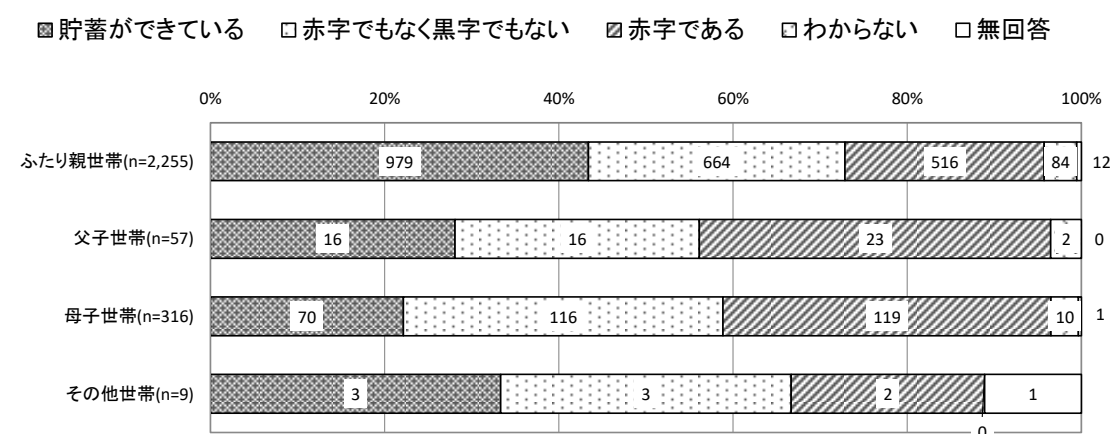
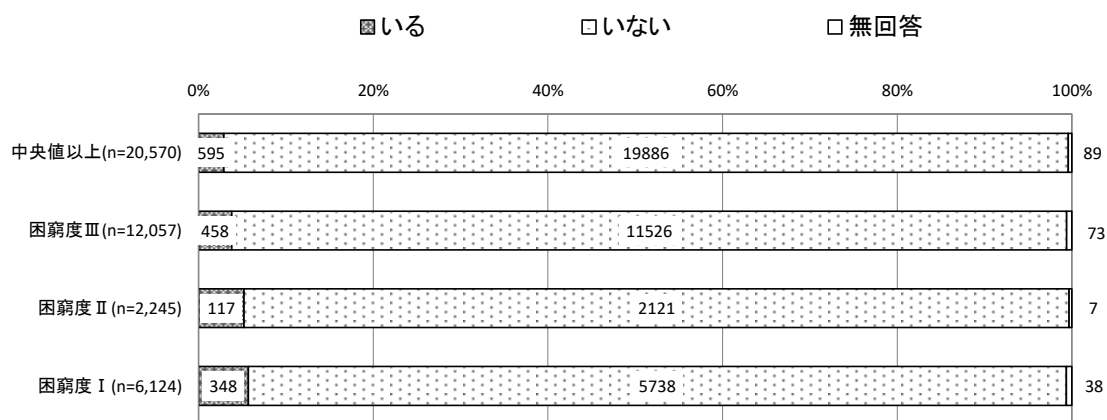


図 115. 世帯構成別に見た家計状況

世帯構成別に見た家計状況を見ると、「貯蓄ができています」と回答したのは、ふたり親世帯が 43.4%なのに対して、母子世帯は 22.2%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が 22.9%なのに対して、母子世帯は 37.7%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票問 3-1-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

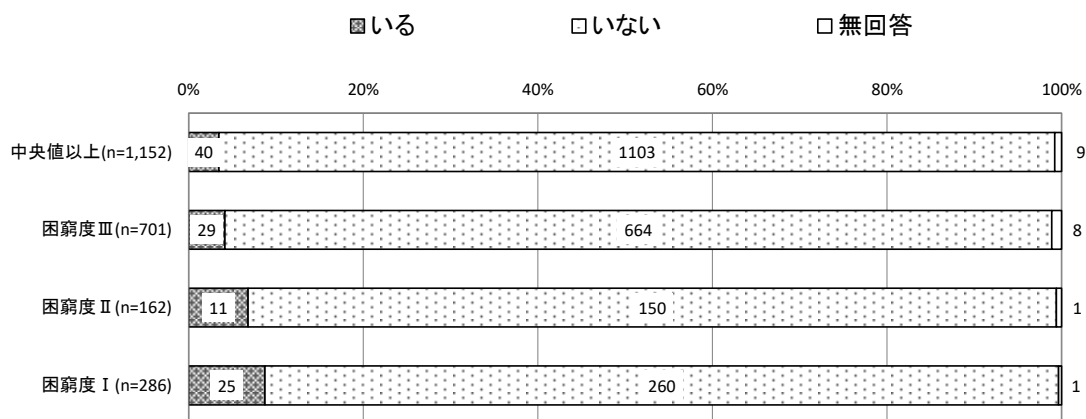
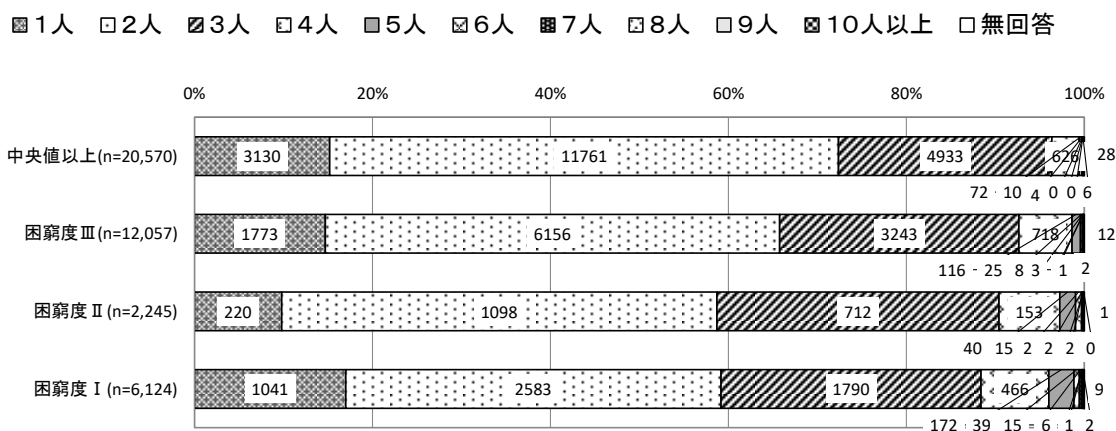


図 116. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、困窮度が高くなるにつれ、介護・介助の必要な方がいる割合が高くなっている。

困窮度別に見た、子ども的人数（保護者票問 3-1-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

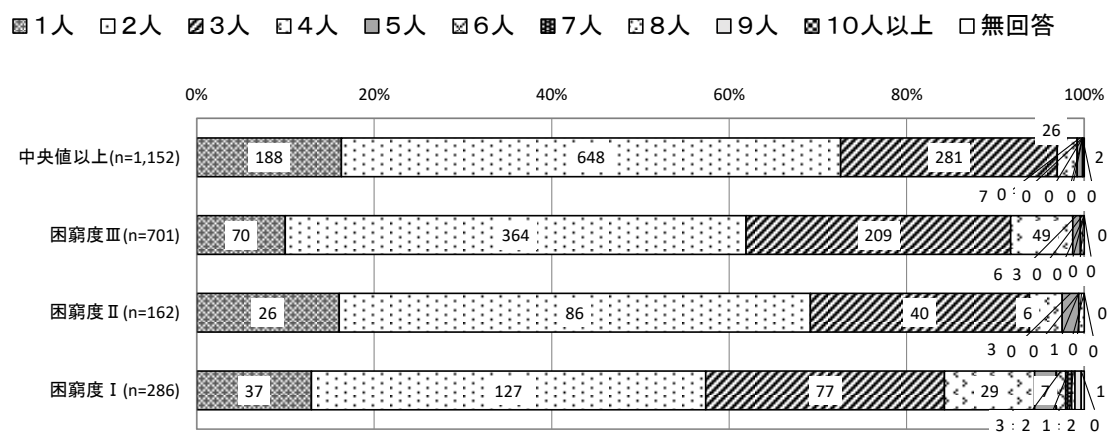
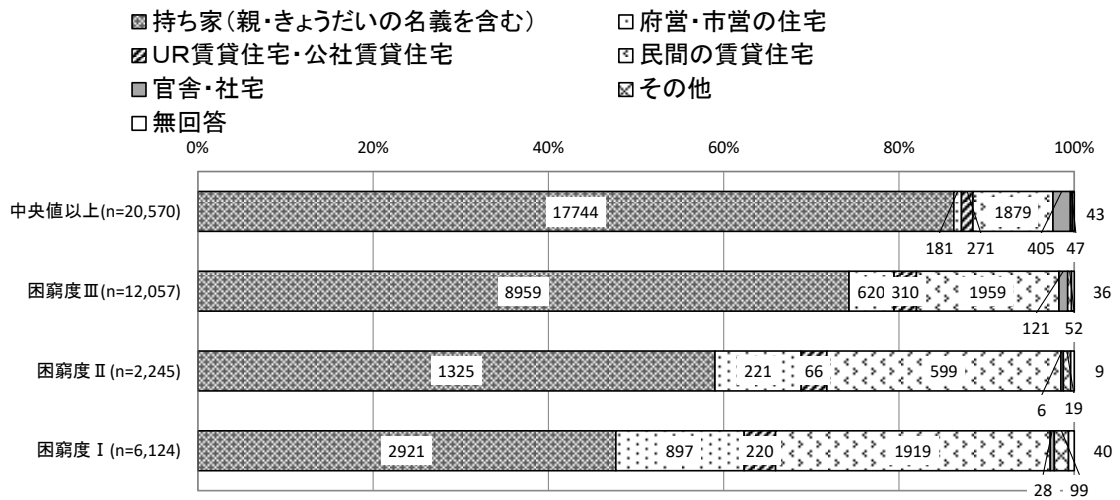


図 117. 困窮度別に見た、子ども的人数

困窮度別に子ども的人数を見ると、中央値以上群において3人以上が27.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、42.1%と高くなっている。

困窮度別に見た住居（保護者票問 4）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

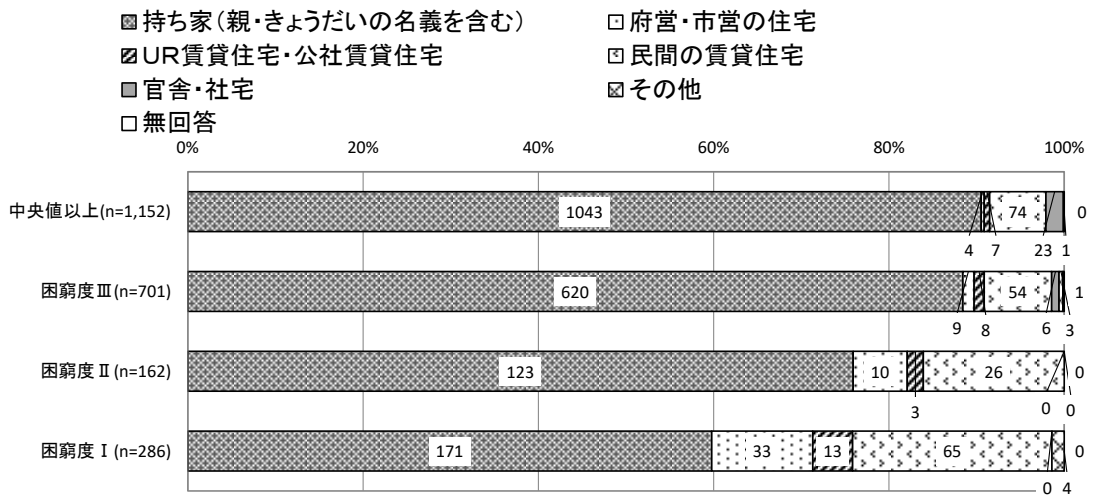
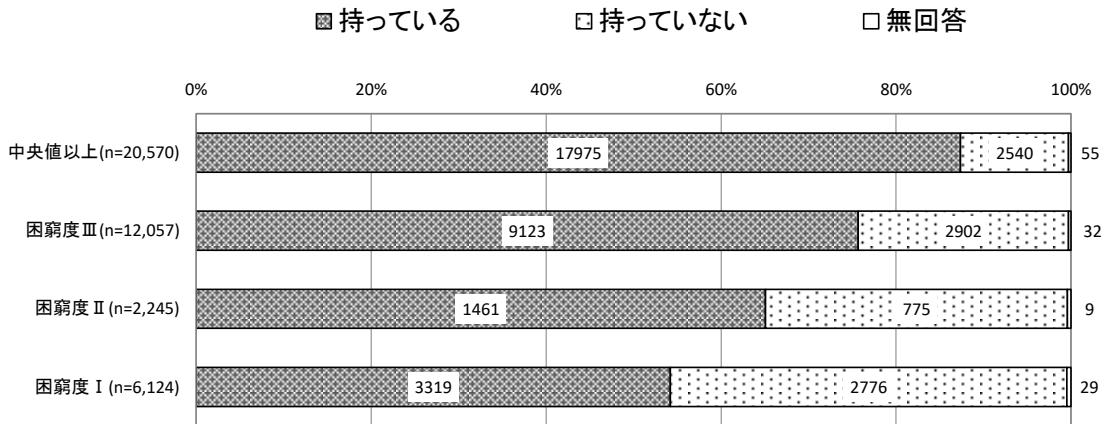


図 118. 困窮度別に見た住居

困窮度別に住居を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は 90.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、59.8%にとどまっている。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票問 5）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

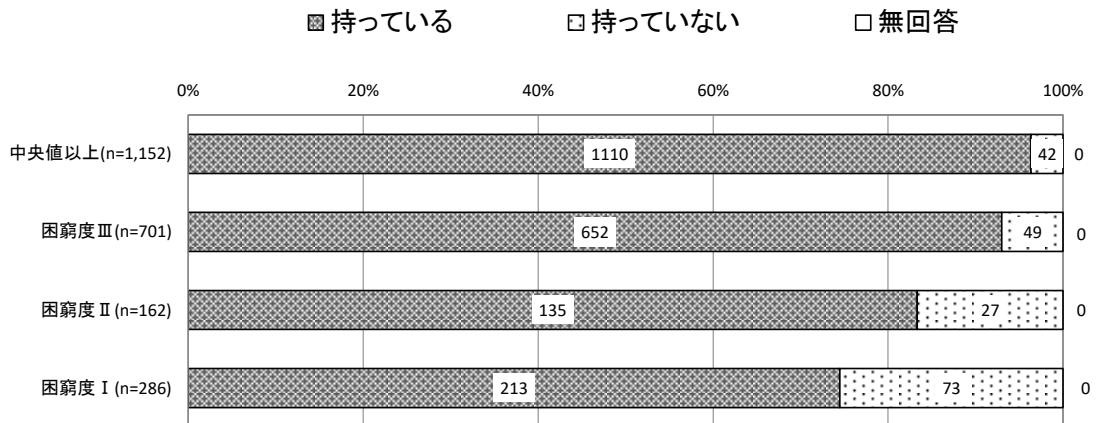
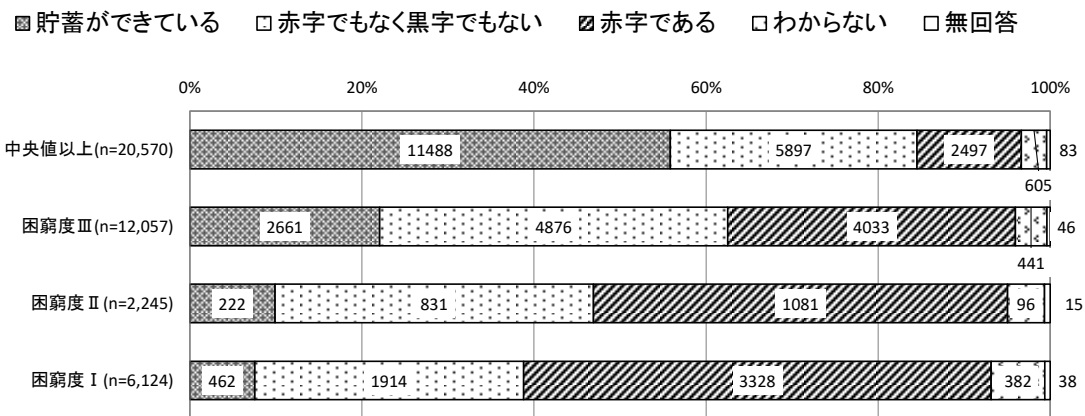


図 119. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、困窮度が高まるにつれて、車の所有率が低くなっている。中央値以上群では、車を所有している世帯が 96.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では 74.5%にとどまっている。

困窮度別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

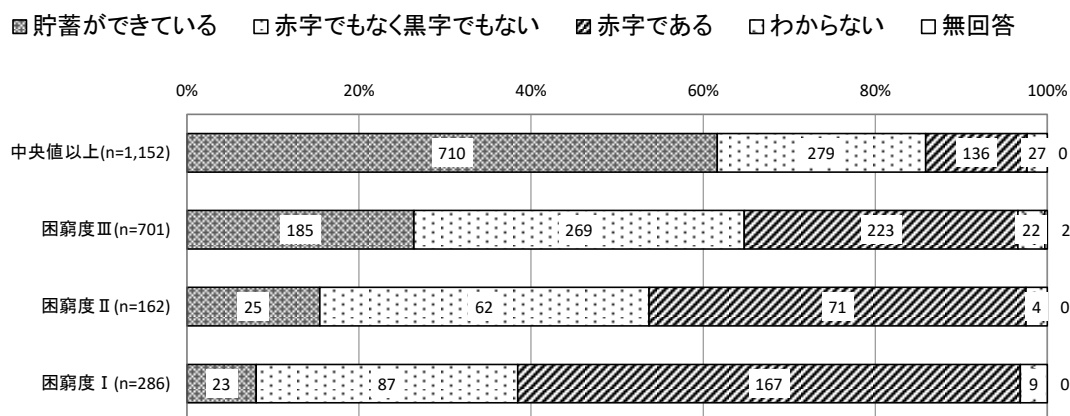
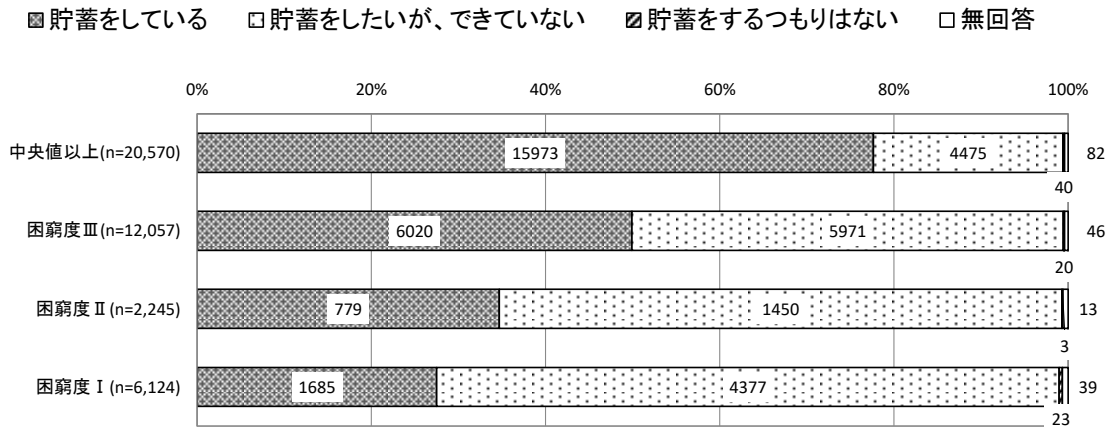


図 120. 困窮度別に見た家計状況

困窮度別に見た家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができている」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、11.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、58.4%となり、約6割を占めた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（保護者票問 6-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

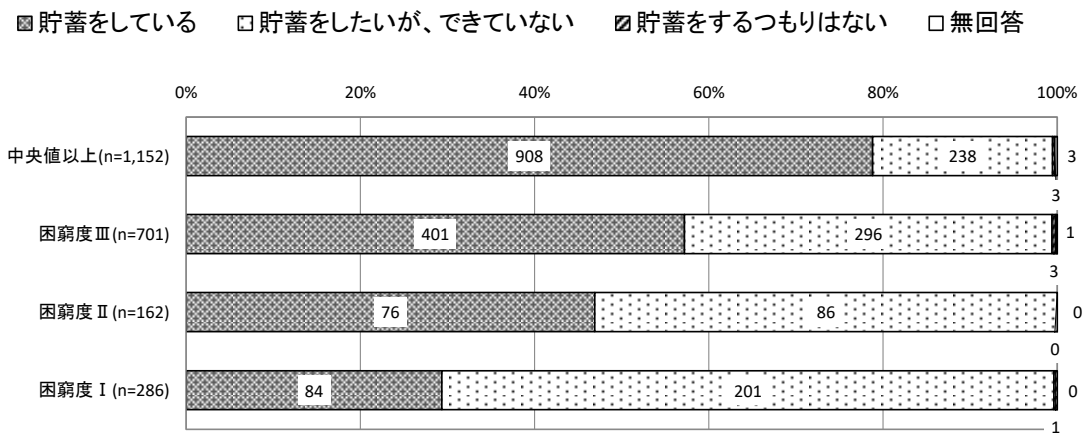


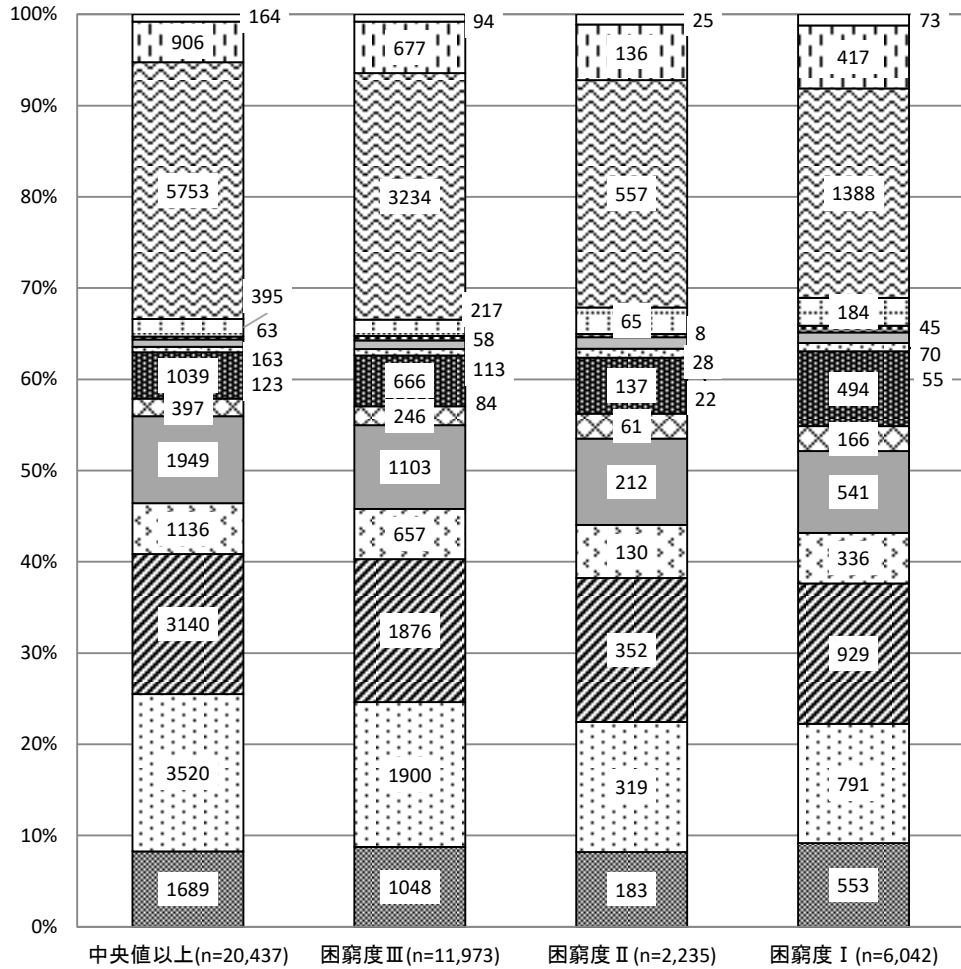
図 121. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度別に子どものための貯蓄を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が78.8%を占めたが、困窮度Ⅰ群では29.4%にとどまり、約3割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、おこづかいの金額分布（子ども票問 17-1）

<大阪府内全自治体>

- 500円より少ない
- 1500～1999円
- 3000～3499円
- 4500～4999円
- わからない
- 500～999円
- 2000～2499円
- 3500～3999円
- 5000円以上
- 無回答
- 1000～1499円
- 2500～2999円
- 4000～4499円
- もらっていない



<大阪府 30 市町村>

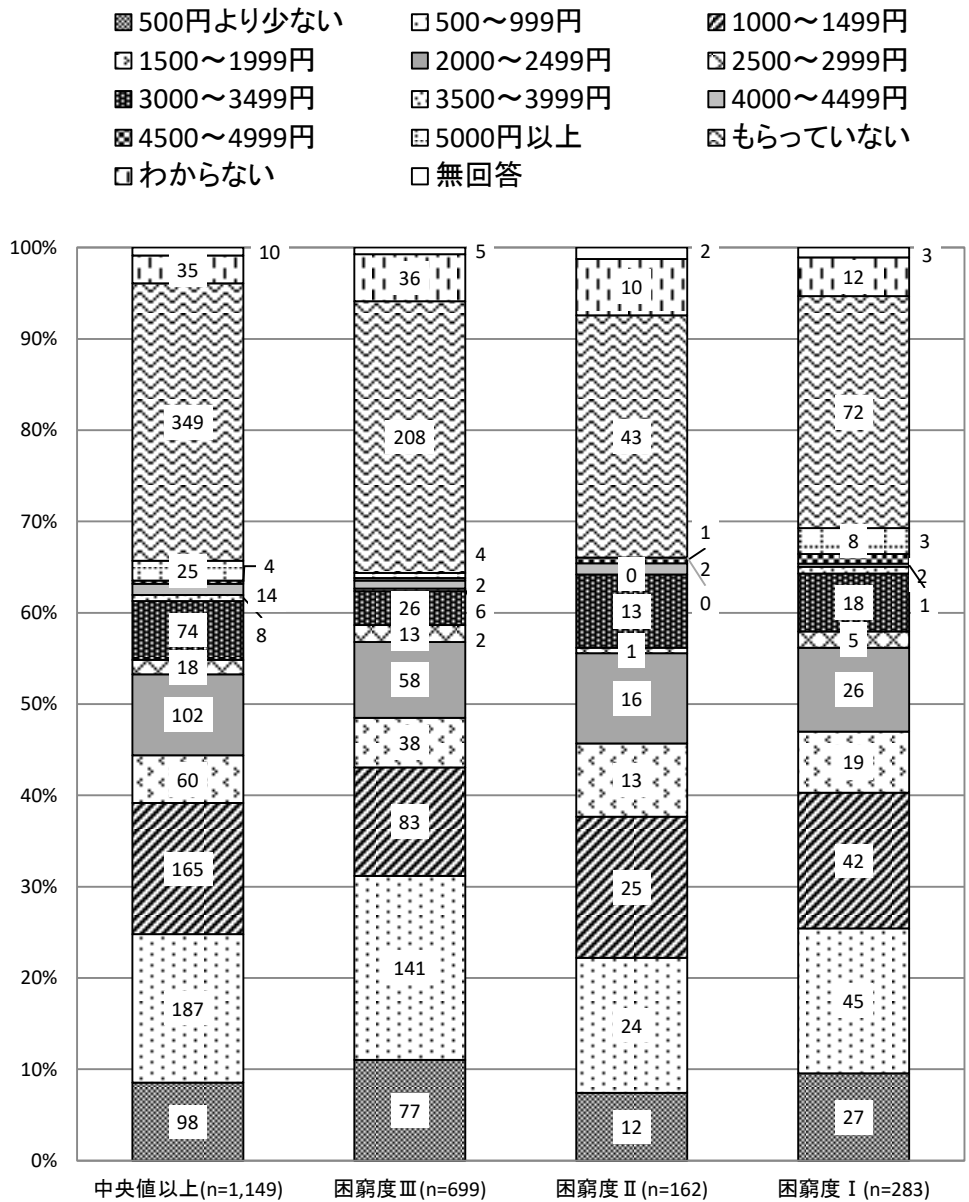
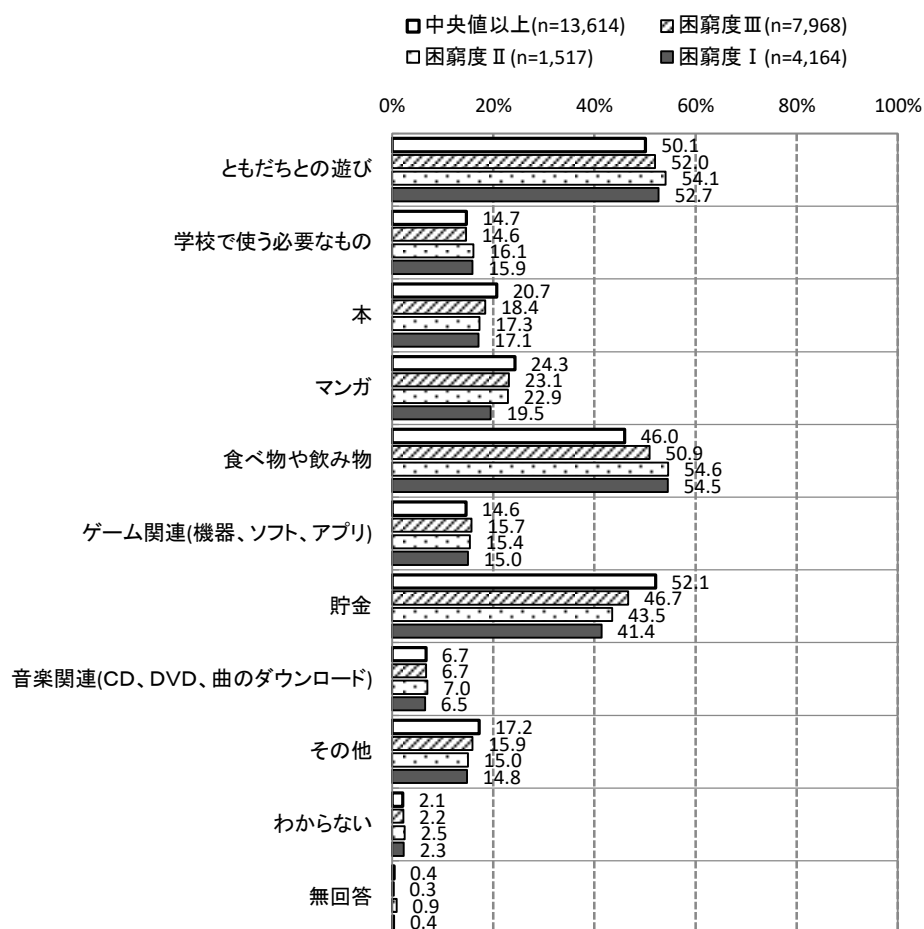


図 122. 困窮度別に見た、おこづかいの金額分布

困窮度別におこづかいの金額分布を見ると、困窮度による大きな違いは見られない。おこづかいをもらっているが、その用途や必要な物は親に購入してもらっているか、など詳細をみる必要がある。

困窮度別に見た、おこづかいの使い方（子ども票問 17-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

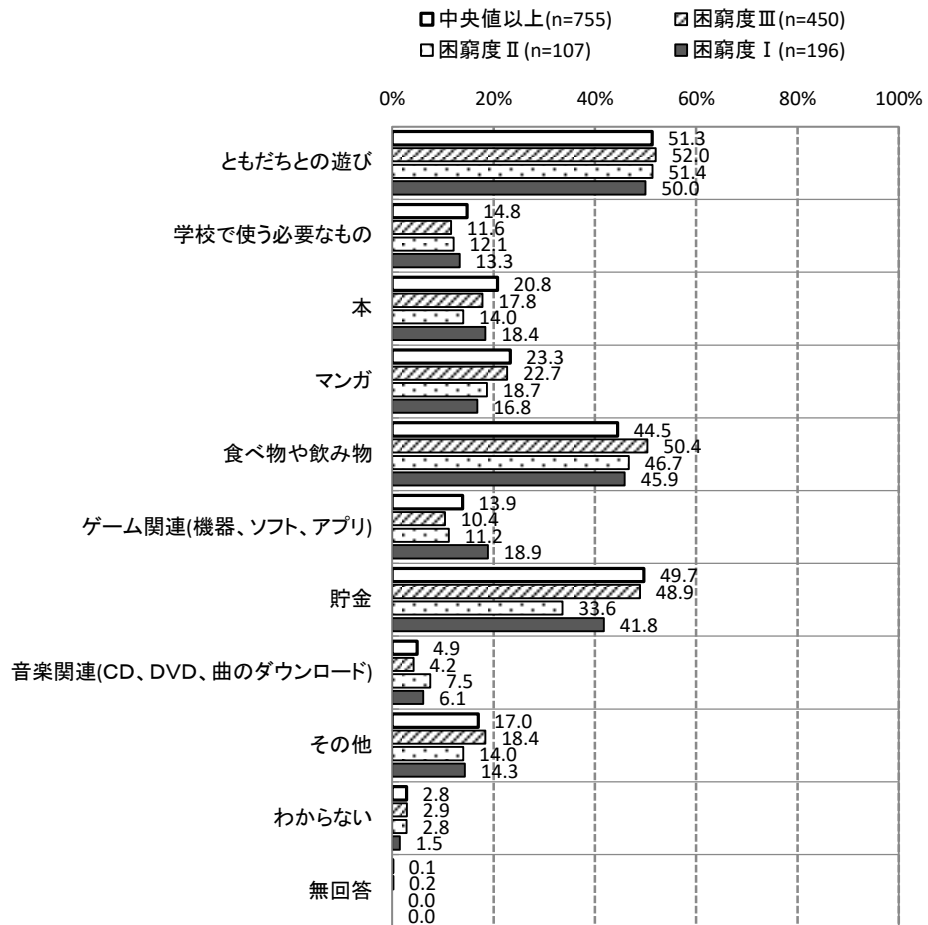


図 123. 困窮度別に見た、おこづかいの使い方

困窮度別におこづかいの使い方を見ると、「貯金」が中央値以上群、困窮度Ⅲ群では、それぞれ、49.7%、48.9%であるのに対して、困窮度Ⅱ群、困窮度Ⅰ群では、それぞれ、33.6%、41.8%と低くなっている。

<経済状況に関する考察>

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれにも当てはまらない」という回答は、その水準にあることを示すものであるが、中央値以上の層で39.8%に対して、困窮度Ⅰの群では5.2%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、困窮度Ⅰの群では、「電気・ガス・水道などが止められた」という回答が6.3%、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」は11.9%、「電話など通信料の支払いが滞ったことがある」は11.2%となっている。中央値以上の群では、これらの回答の割合は、1%程度かそれ以下であり、生活面で大きな格差が存在する。また、「国民年金の支払いが滞ったことがある」という回答が、困窮度Ⅰの群で23.8%となっている。子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータであり、看過できないものである。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響している。「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」という回答は、中央値以上の群が8.2%であるのに対し、困窮度Ⅰでは53.8%となっている。

世帯の経済状況は、子どもの生活にも影響を与えていることが確認できる。主な項目をあげると、困窮度Ⅰの群では、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」という回答が7.7%、「子どもの進路を変更した」が、困窮度Ⅰの群で7.0%となっている、中央値以上の群では、こういったことを体験している世帯は1%以下であり、子どもを取り巻く状況の格差が示されていると言える。

調査では、所得の差が学習面での機会の差となって現れることが示されている。「子どもを習い事に通わすことができなかった」が、中央値以上の群で3.3%に対して、困窮度Ⅰの群では31.1%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が、中央値以上の群で3.6%に対して、困窮度Ⅰの群では35.7%と、それぞれ10倍近い差となっている。学力などヒューマンキャピタルの面で子どもの将来に影響を与えることが予想される。

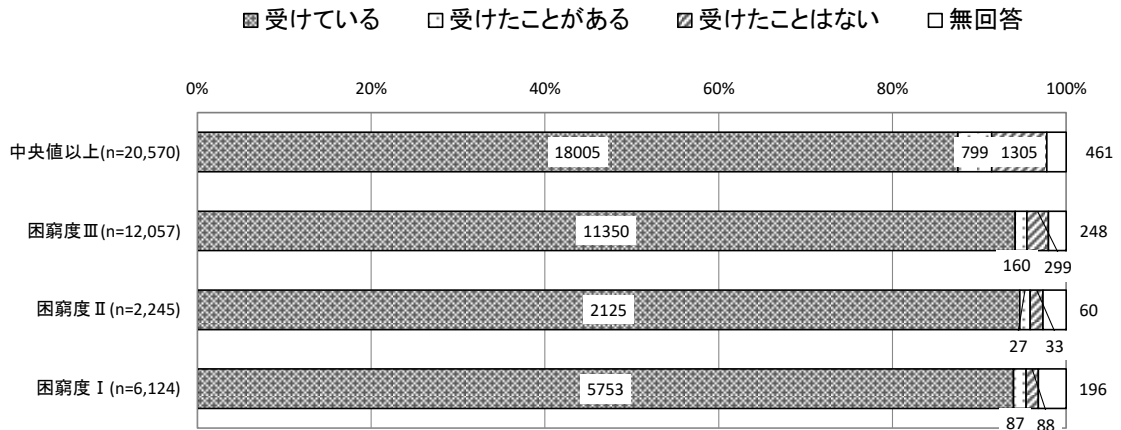
同様に、学校外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験に格差があることが示された。たとえば、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」という回答は、中央値以上の群で7.8%に対して、困窮度Ⅰの群では46.2%に達している。その一方、「どれにも当てはまらない」が、中央値以上の群では74.7%に達している。子どもに対して困難なく資源や機会が提供できている世帯も多数いるという点にも留意する必要があるだろう。

「子どものために貯蓄をしているか」という問に対して、中央値以上の群では、78.8%が「している」と回答したのに対し、困窮度Ⅰの群では70.3%が「貯蓄をしたいができていない」と回答しており、大きな差があることが確認できる。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た児童手当（保護者票問 27-3-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

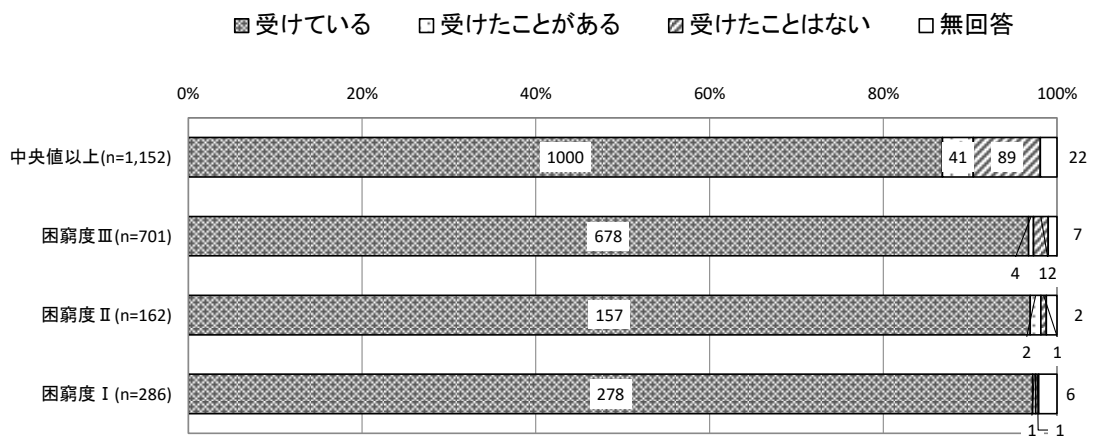
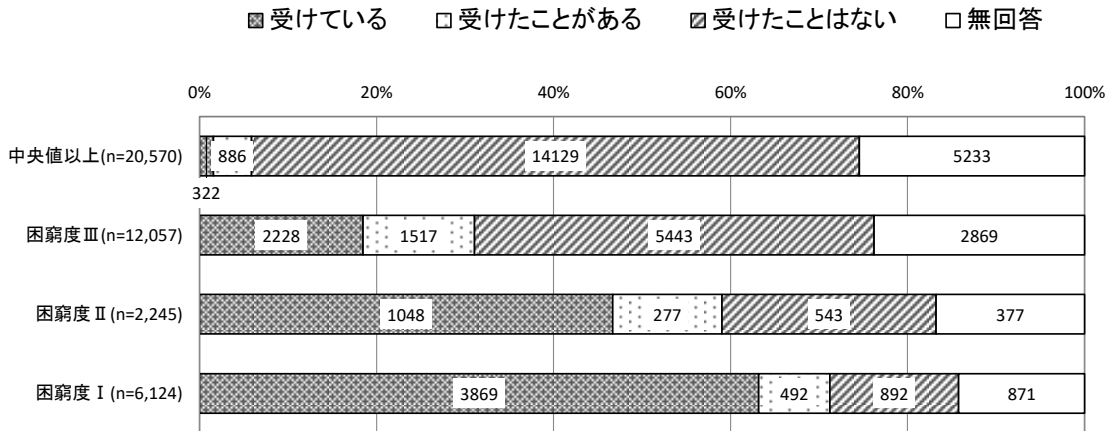


図 124. 困窮度別に見た児童手当

児童手当は多くの世帯が受給していた。困窮度別に児童手当の受給率を見ると、困窮度Ⅰ～Ⅲ群において、とりわけ多くの世帯（96.7%～97.2%）が「受けている」に回答した。

困窮度別に見た就学援助費（保護者票問 27-3-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

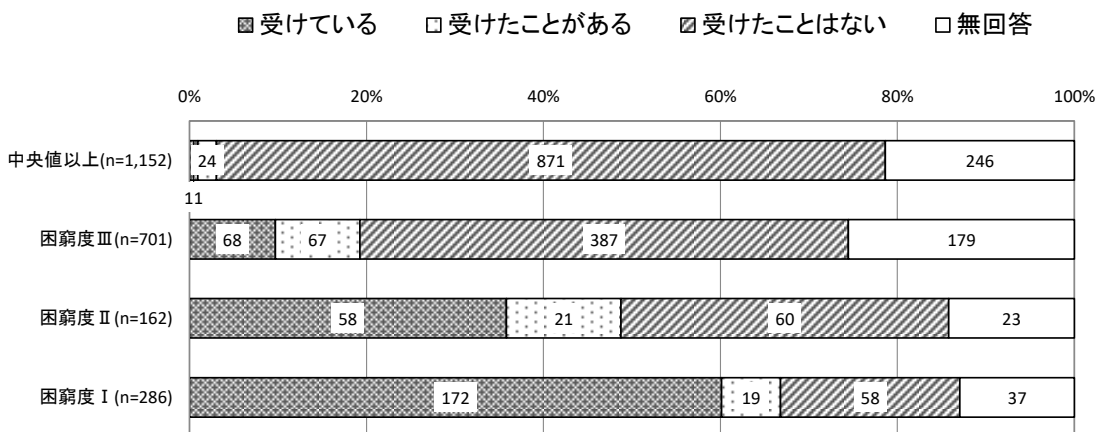
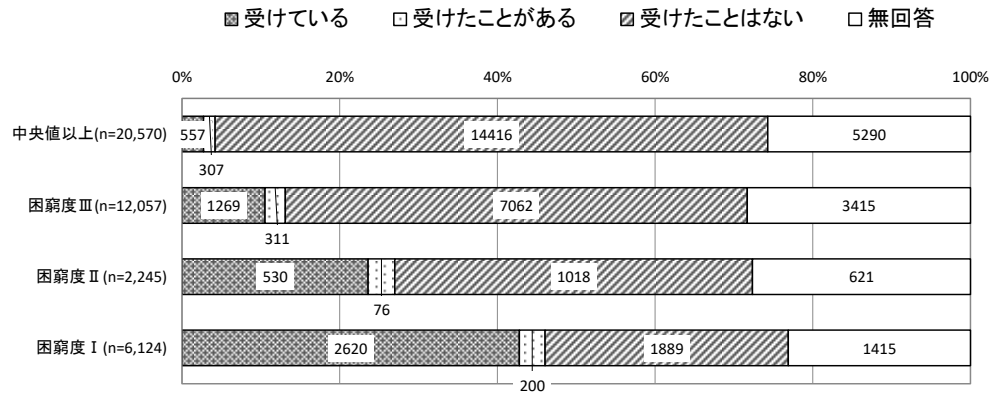


図 125. 困窮度別に見た就学援助費

困窮度別に就学援助費の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。

困窮度別に見た児童扶養手当（保護者票問 27-3-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

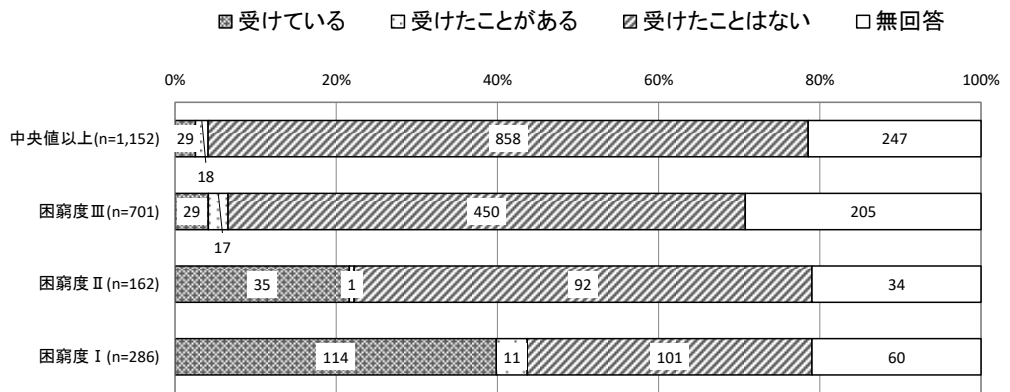
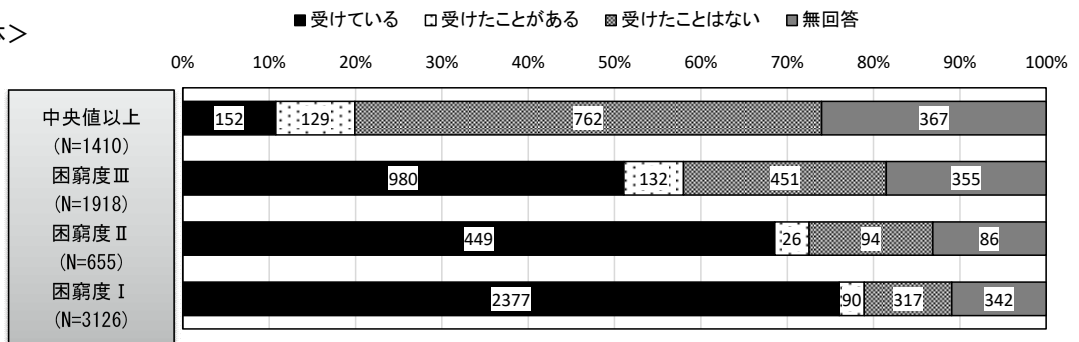


図 126. 困窮度別に見た児童扶養手当

困窮度別に児童扶養手当の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。さらに、以下に、ひとり親世帯のなかでの児童扶養手当の受給状況を示す。困窮度Ⅰでも「受けたことがない」が 13.4%を占め、無回答が 9.9%存在する。

<大阪府内全自治体>

(ひとり親)



<大阪府 30 市町村>

(ひとり親)

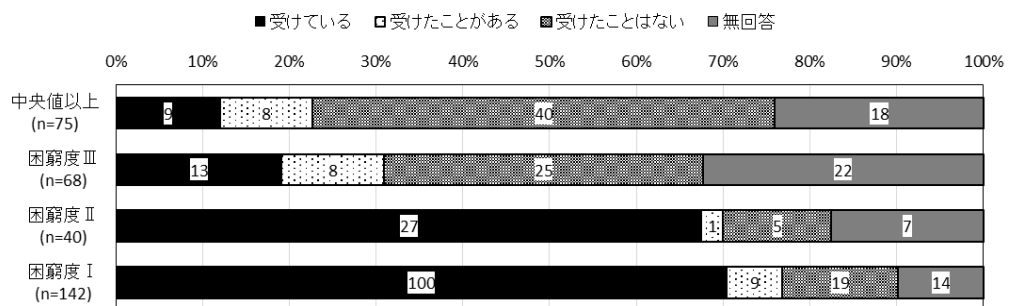
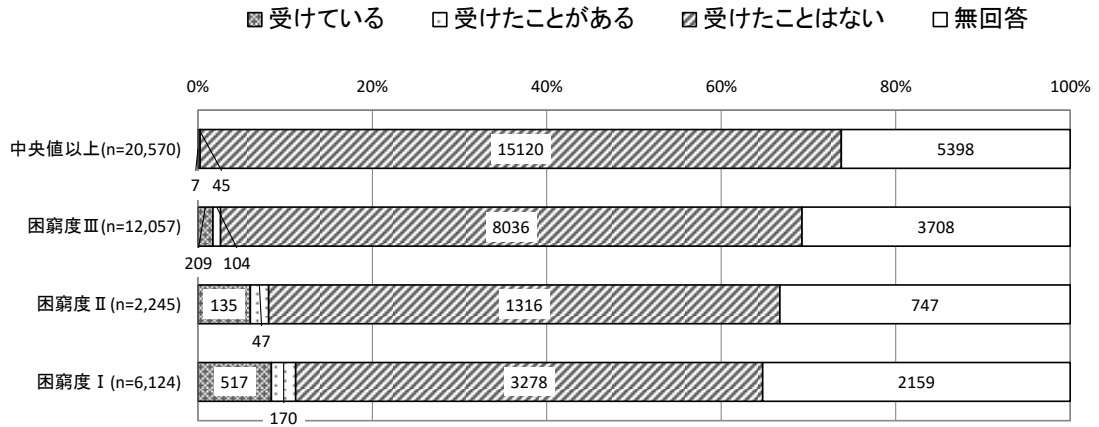


図 126 の補足図. 困窮度別に見た児童扶養手当（ひとり親）

困窮度別に見た生活保護（保護者票問 27-3-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

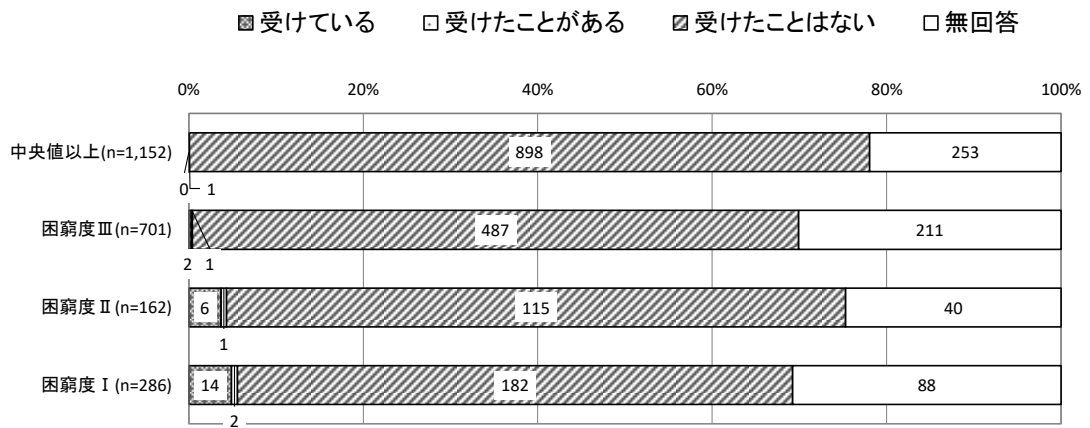
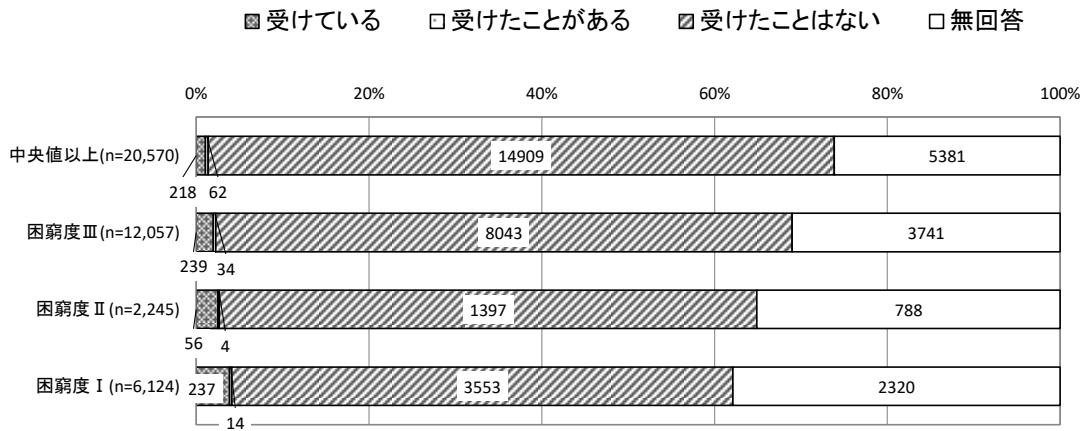


図 127. 困窮度別に見た生活保護

困窮度別に生活保護の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は4.9%であった。困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。

困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）（保護者票問 27-3-7）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

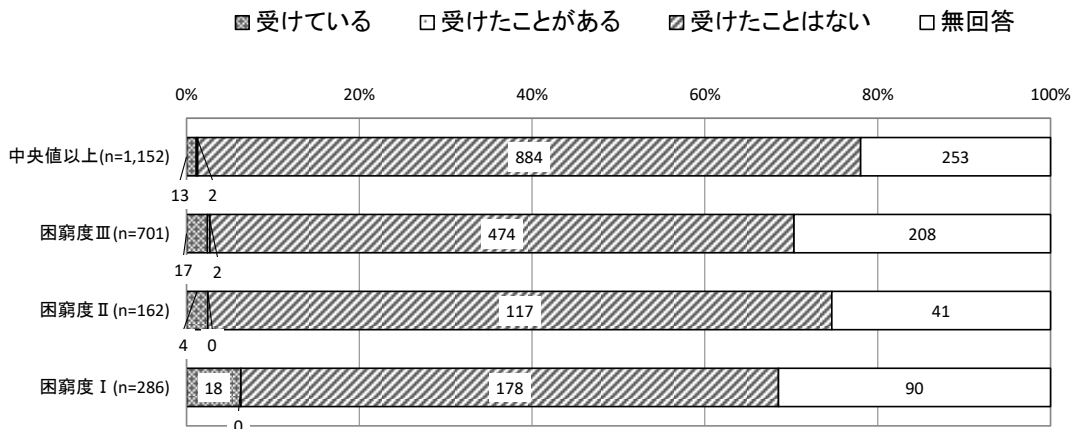
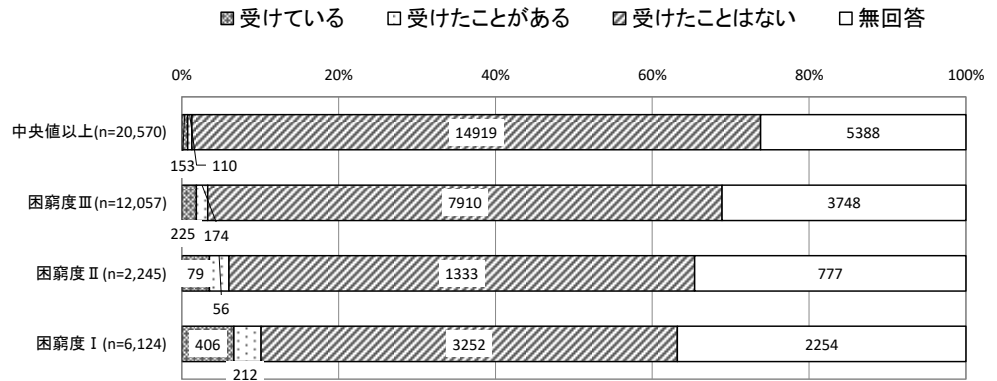


図 128. 困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度別に遺族年金や障がい年金といった公的年金の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は6.3%であった。

困窮度別に見た養育費（保護者票問 27-3-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

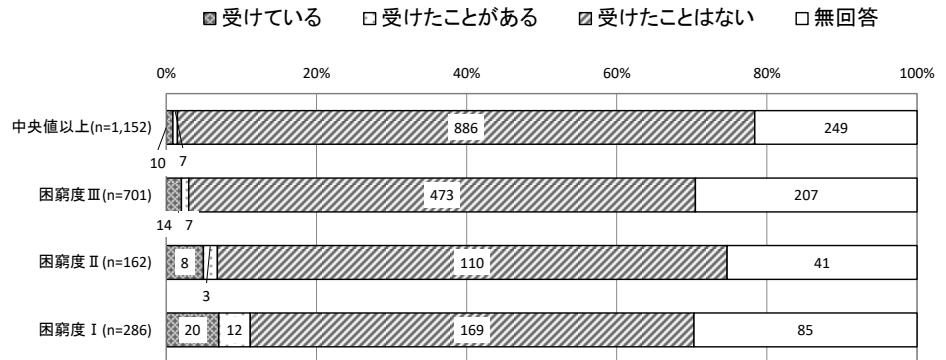
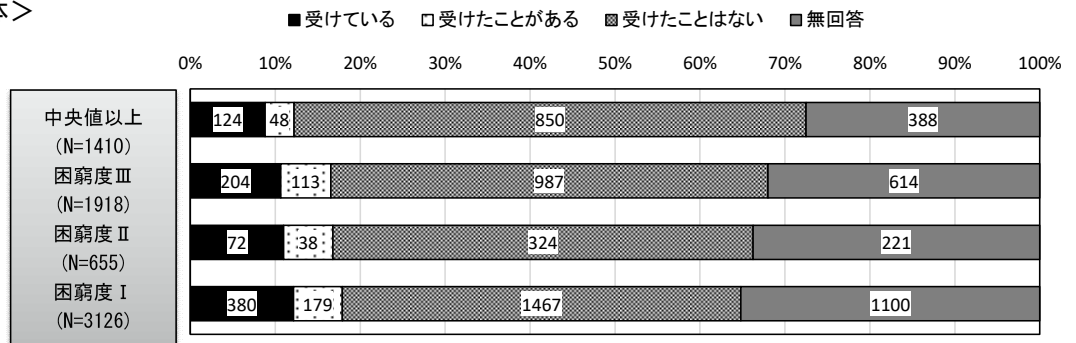


図 129. 困窮度別に見た養育費

困窮度別に養育費の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は7.0%であった。さらに、以下に、ひとり親世帯のなかでの養育費の受給状況を示す。困窮度Ⅰでも「受けたことがない」が54.2%を占め、無回答が25.4%も占める。

<大阪府内全自治体>

(ひとり親)



<大阪府 30 市町村>

(ひとり親)

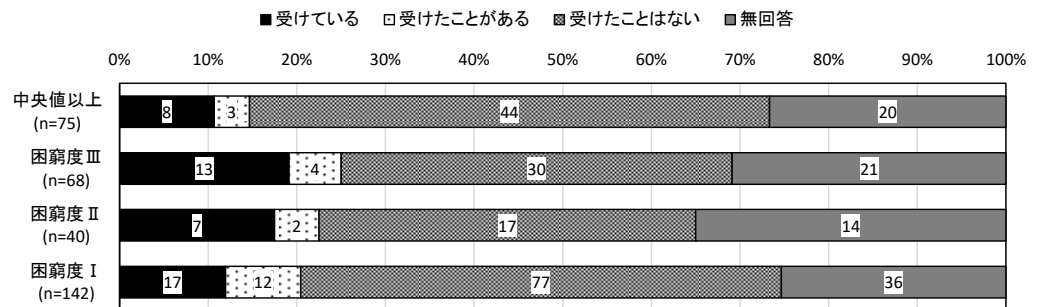
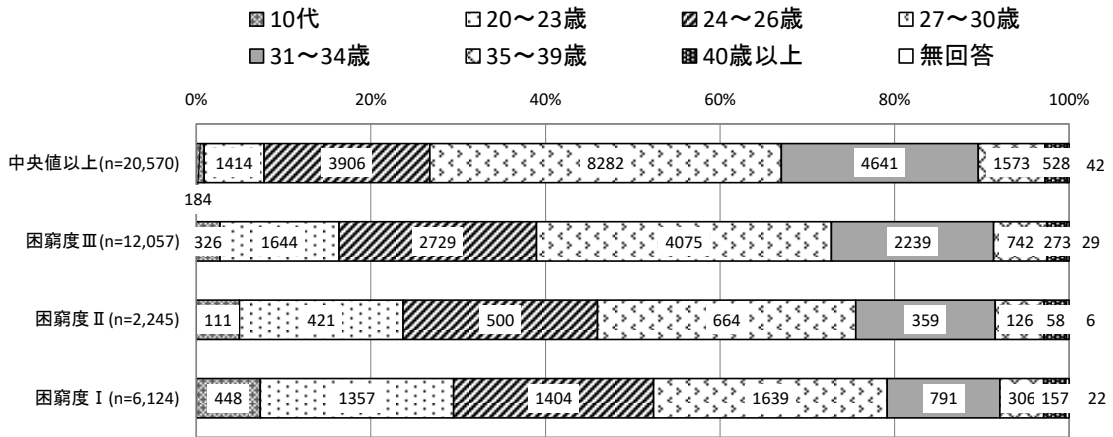


図 129 の補足図. 困窮度別に見た、養育費（ひとり親）

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 19）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

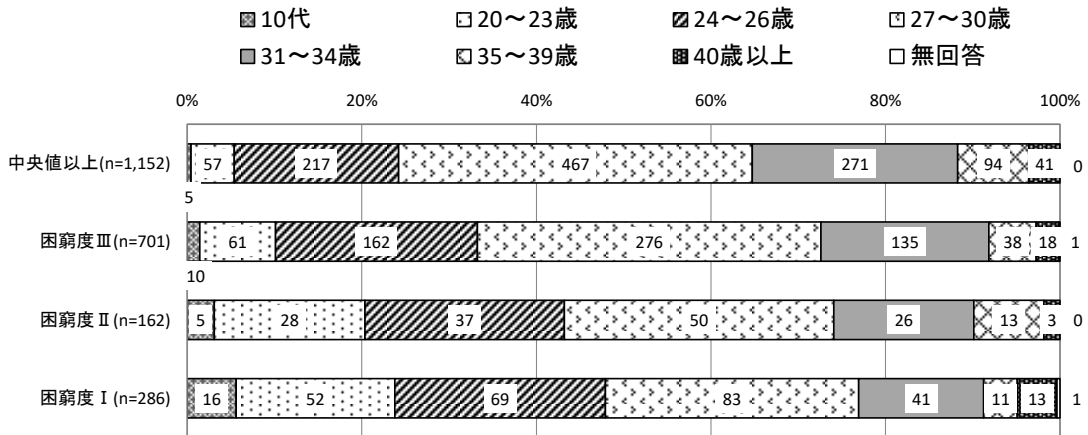
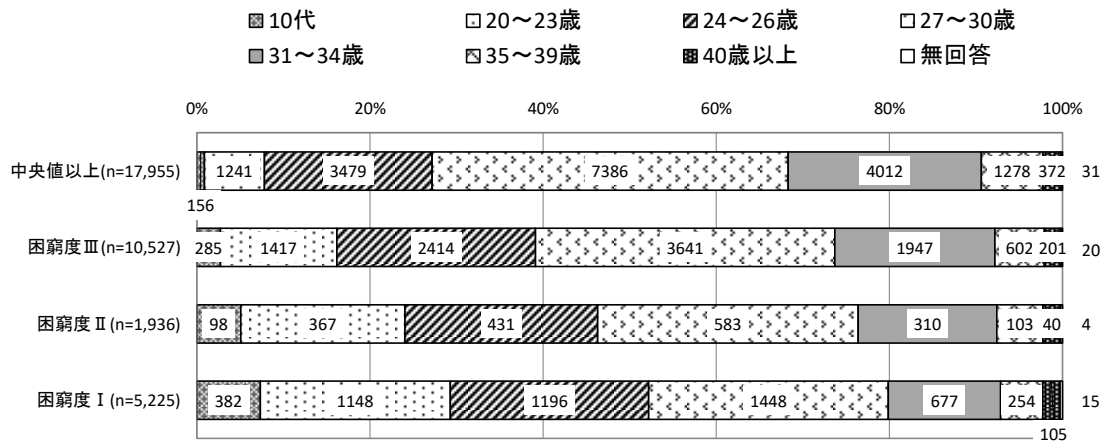


図 130. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 19）※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

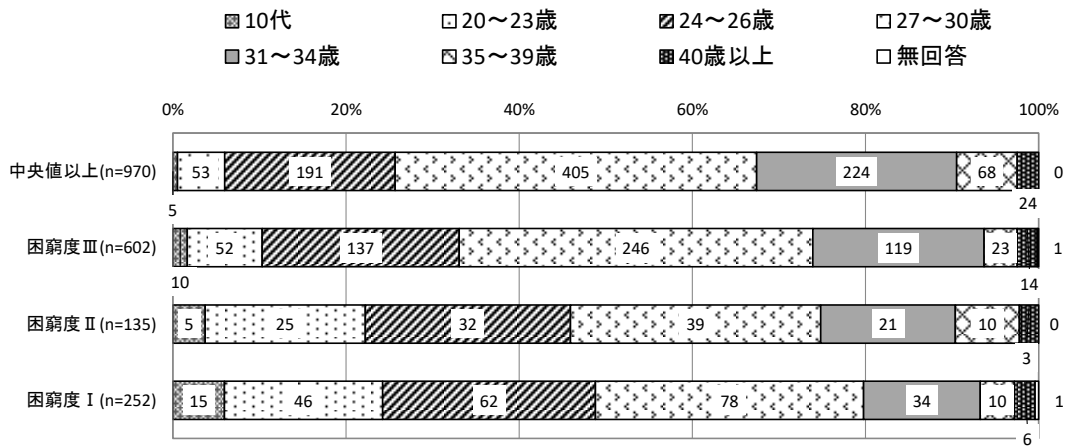


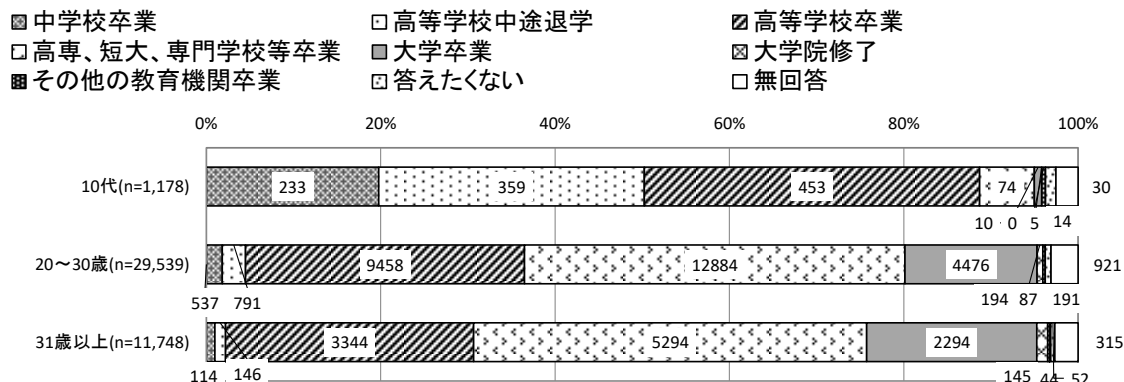
図 131. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（保護者票問 19×保護者票問 8）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

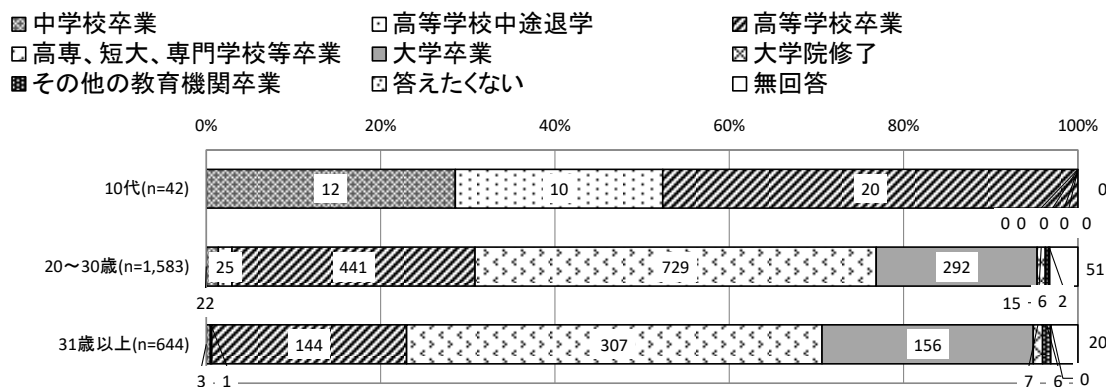


図 132. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢ではじめて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢ではじめて親となった平均以上群（30歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に母親自身の最終学歴を見ると、10代群において「中学校卒業」または「高等学校中途退学」と回答した割合が高かった。

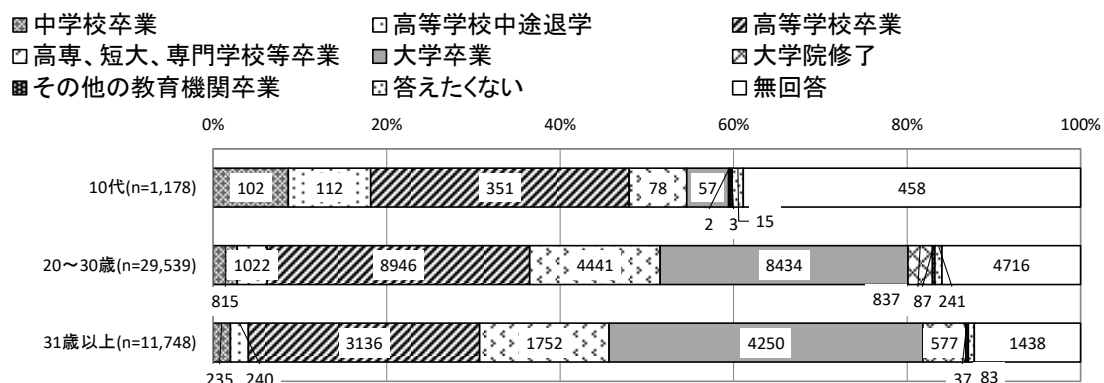
平均出産年齢：

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（保護者票問 19×保護者票問 8）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

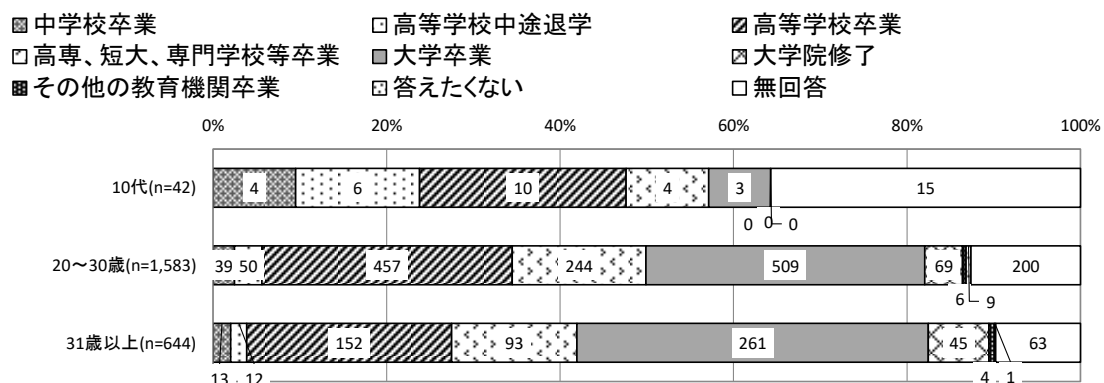


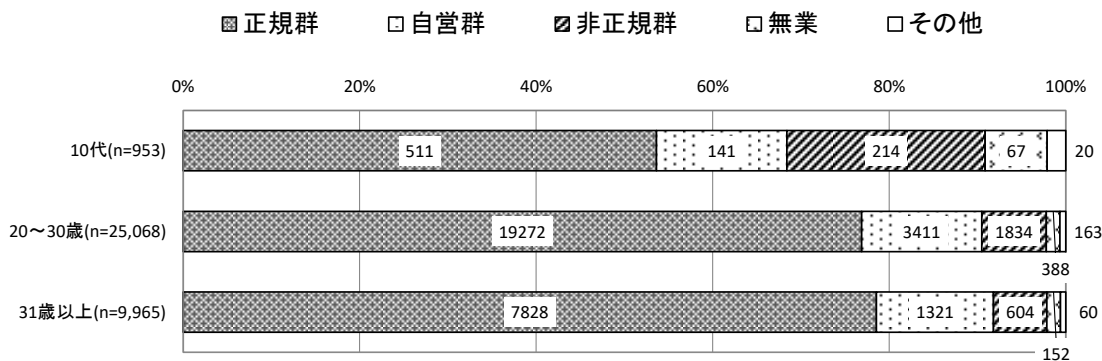
図 133. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に父親の最終学歴を見ると、10代群において「中学校卒業」または「高等学校中途退学」と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た就労状況（保護者票問 19×保護者票問 9 より）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

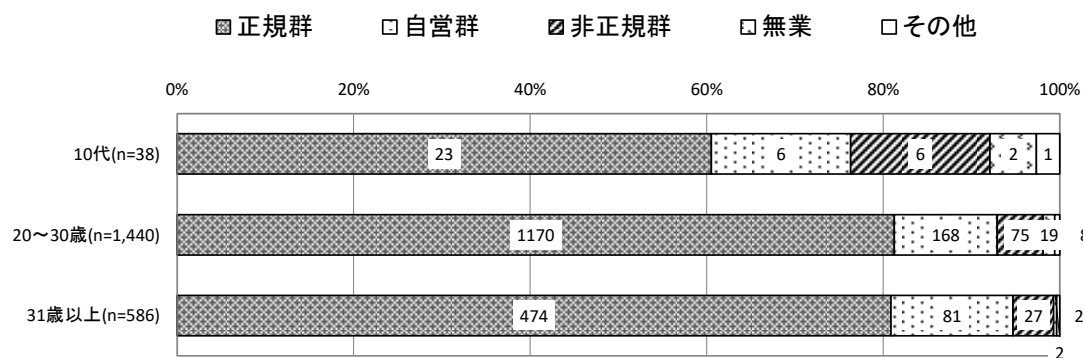
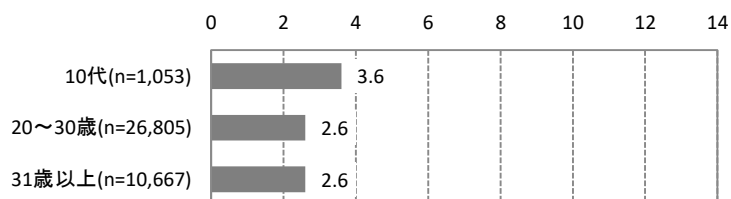


図 134. 初めて親となった年齢別に見た就労状況

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に就労状況を見ると、10代群は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「非正規群」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 19×保護者票問 23）
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

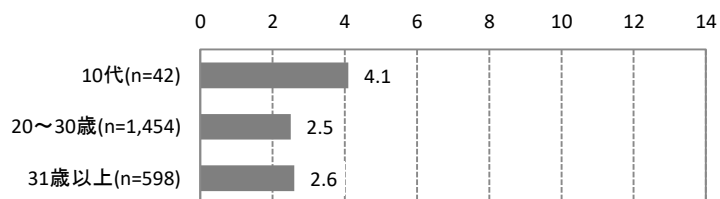
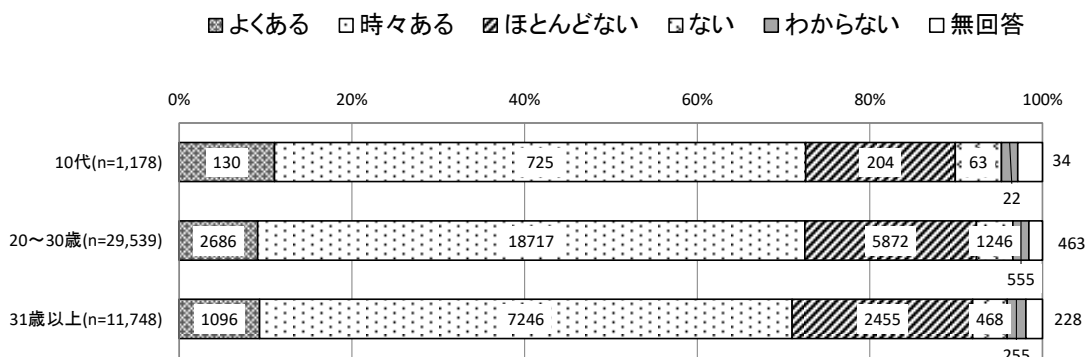


図 135. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代群は、他の群と比較して、自分の体や気持ちで気になると回答したことの数が多かった。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと
 (保護者票問 19×保護者票問 24) ※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

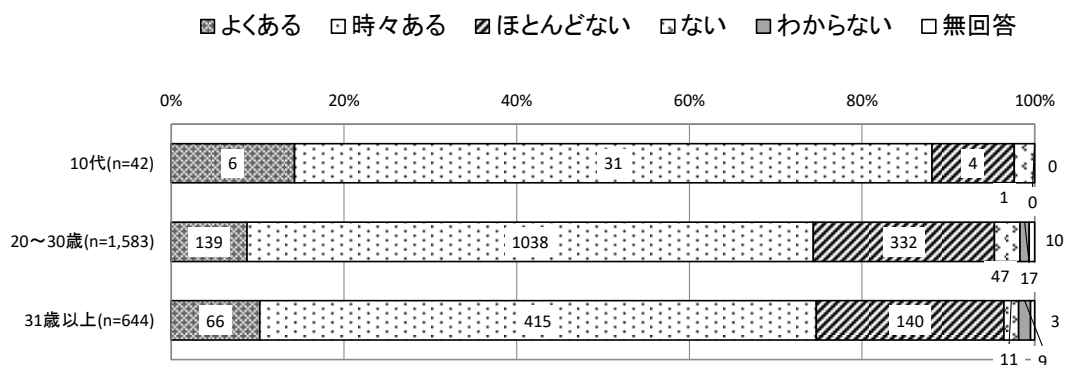
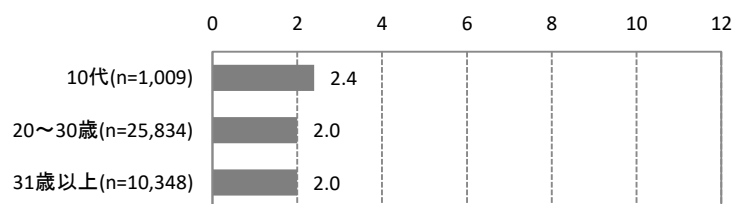


図 136. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことを見ると、10代群は、他の群と比較して、「よくある」と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 19×子ども票問 21) ※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

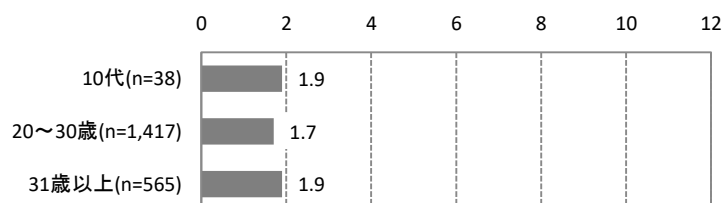
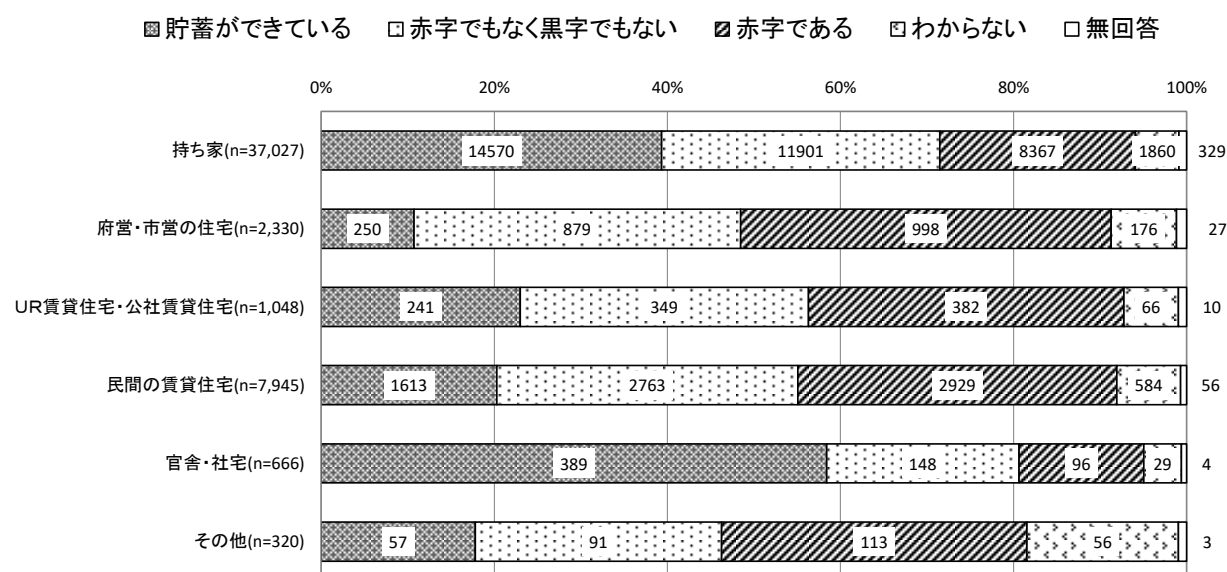


図 137. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、群間で大きな差は見られなかった。

住居別に見た家計状況（保護者票問4×保護者票問6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

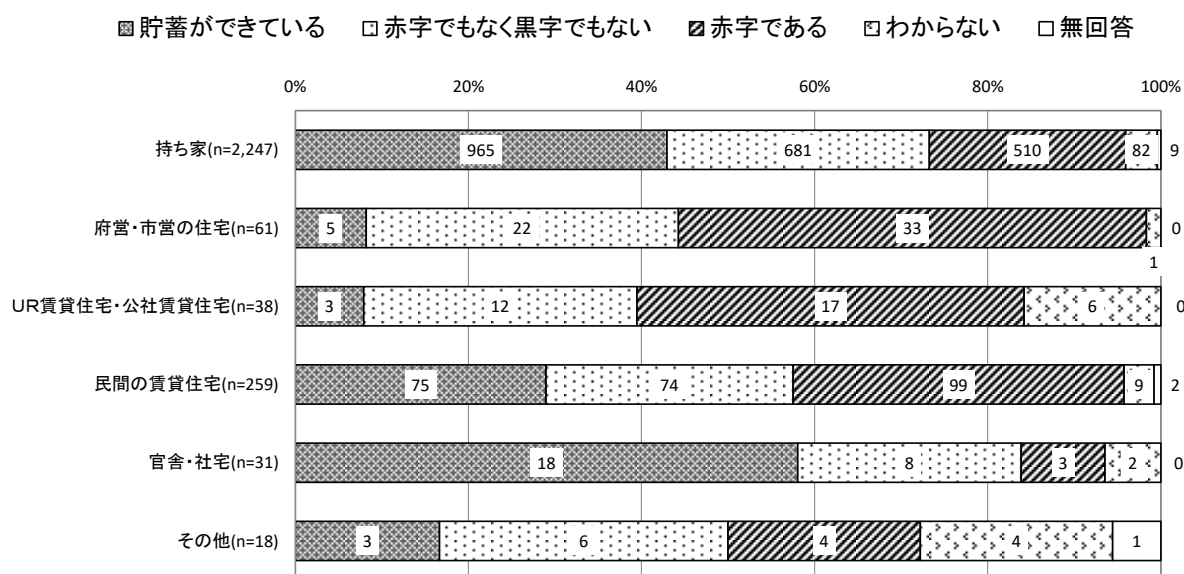


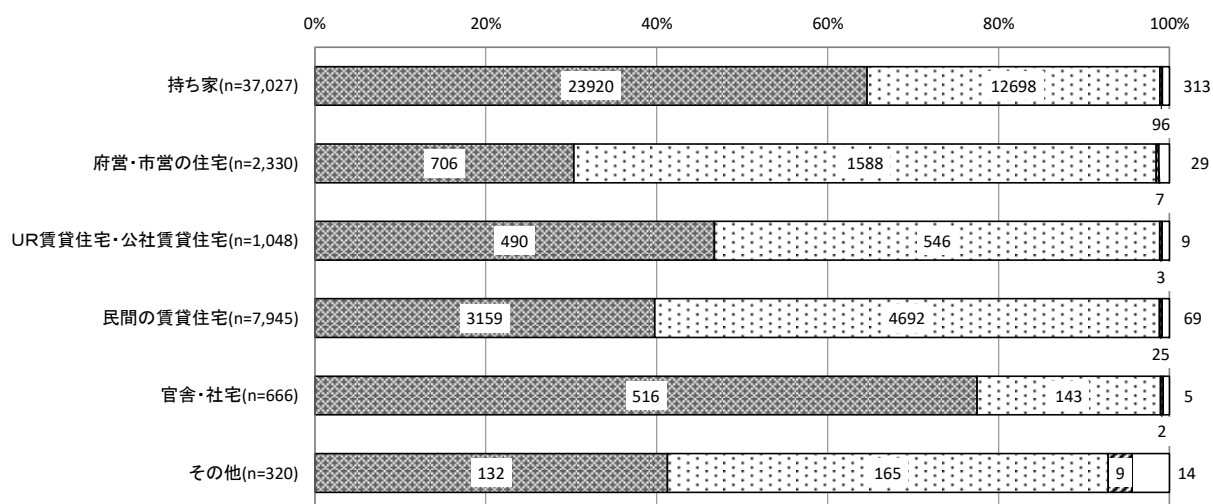
図 138. 住居別に見た家計状況

住居別到家計状況を見ると、府営・市営の住宅（54.1%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（44.7%）、民間の賃貸住宅（38.2%）に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は22.7%であった。

住居別に見た、子どものための貯蓄（保護者票問4×保護者票問6-3）

<大阪府内全自治体>

■貯蓄をしている □貯蓄をしたいが、できていない ▨貯蓄をするつもりはない □無回答



<大阪府 30 市町村>

■貯蓄をしている □貯蓄をしたいが、できていない ▨貯蓄をするつもりはない □無回答

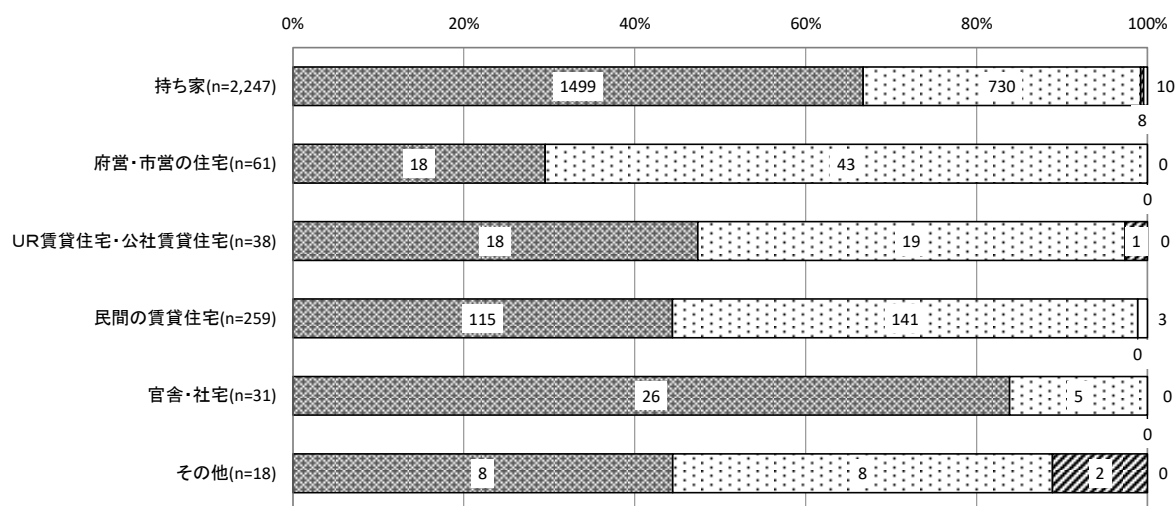


図 139. 住居別に見た、子どものための貯蓄

住居別に子どものための貯金を見ると、府営・市営の住宅(70.5%)、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅(50.0%)、民間の賃貸住宅(54.4%)に住む人で、「貯蓄したいが、できていない」と回答した割合が高かった。

<家庭状況に関する考察>

社会保障給付の受給割合について、とりわけ子どもに関連する社会保障給付に着目すると、「児童手当」、「児童扶養手当」、「就学援助制度」、「生活保護制度」それぞれ、困窮度が高まるにつれて、受給率が高くなる傾向が見られるのは当然のことではあるものの、しかし、困窮度Ⅰ群について各制度の現在の受給率に着目すると、「児童手当」97.2%、「就学援助制度」60.1%、「児童扶養手当」70.4%、「生活保護制度」4.9%と、児童手当以外の制度では、低い受給率にとどまっている。就学援助制度は自治体独自の適用基準を有するため単純には判断できないが、生活保護制度も含めて、制度の捕捉率を上げる施策が求められているといえる。

公的な社会保障給付ではないが、特にひとり親世帯にとって重要な養育費についてみると、困窮度Ⅰ群の受給率は約1割にとどまった。養育費についても、受給率を高める施策が求められている。

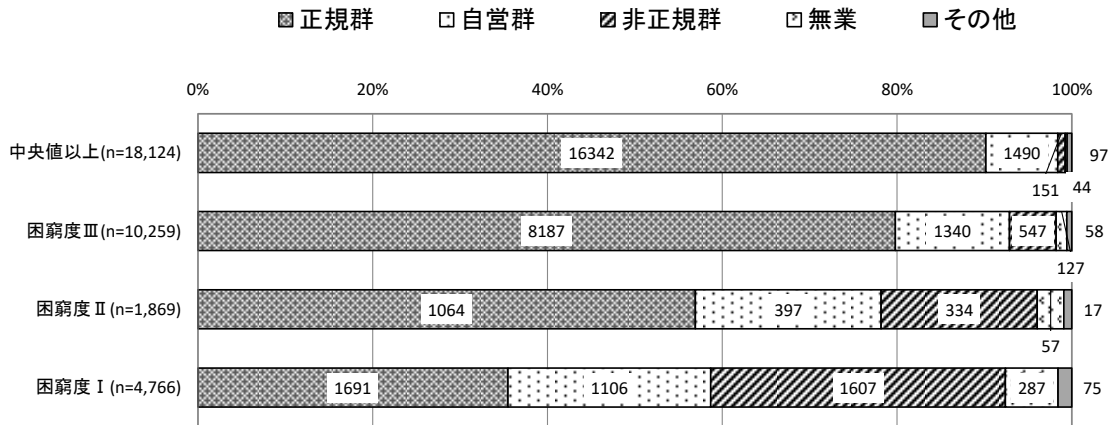
はじめて親となった年齢についてとりわけ10代、20～23歳の割合を困窮度別にみると、困窮度が高まるにつれて10代、および20～23歳の割合が高まる傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、10代、および20～23歳をあわせると、約25%と4人に1人の割合となり、低年齢出産と生活困窮との関連性が示された。母親の最終学歴について初めて親となった年齢別にみると、10代出産の母親について中卒が約3割と他の年齢群に比べ高い割合を示した。また、10代群の特徴として、就労状況において非正規の割合の高さ、保護者自身の気になることの多さなどが挙げられる。出産以降の長期的なフォローの必要性が示されている。

家計を住居の所有状況別にみると、「府営・市営の住宅」において、赤字の割合が54.1%、子どものために「貯蓄したいが、できていない」割合が約7割と他の住居群に比べて家計の厳しさが示された。

3-2. 雇用

困窮度別に見た就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

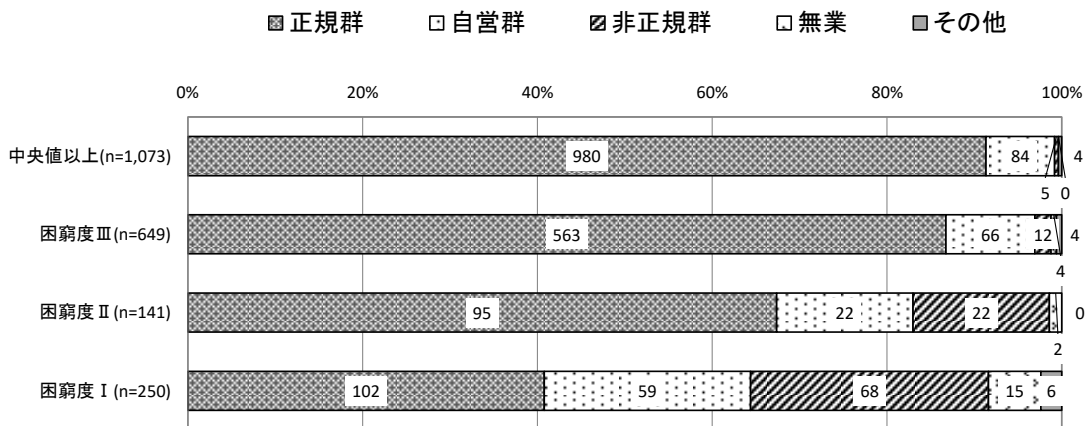


図 140. 困窮度別に見た就労状況

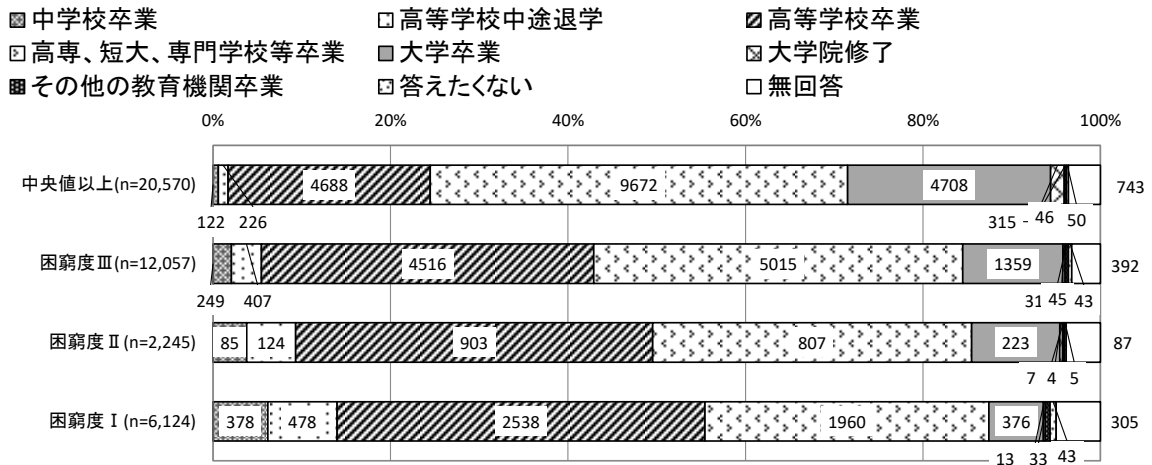
困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」・「非正規群」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」・「無業」の割合がやや高く、それぞれ27.2%、6.0%となっている。

※就労形態は以下のように分類している。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）無業、
 上記以外がその他 となる。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

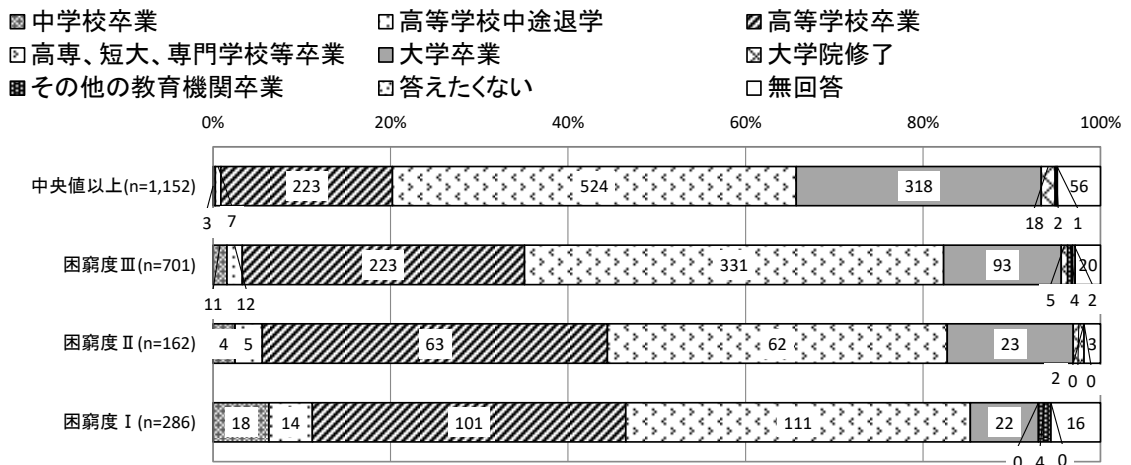
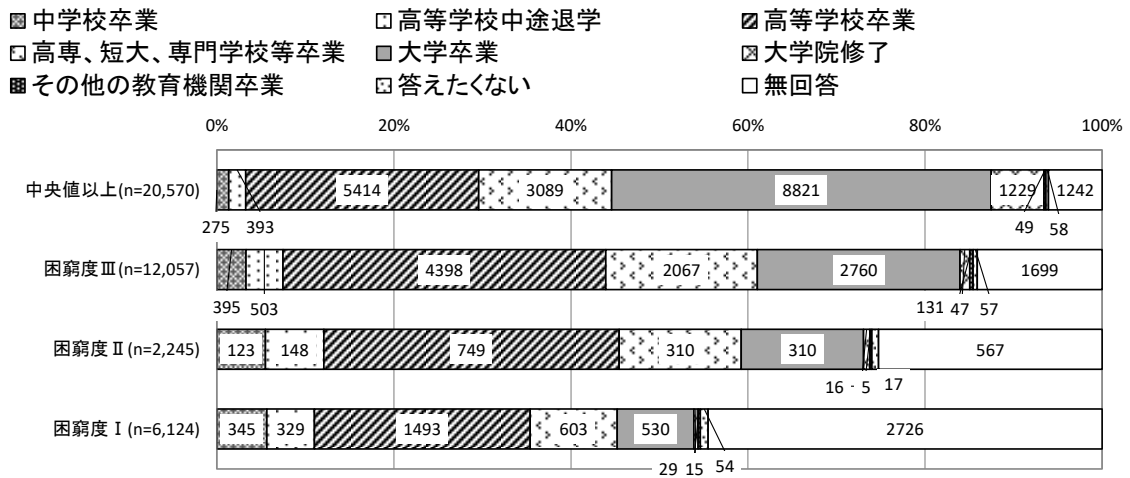


図 141. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」、「高等学校卒業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

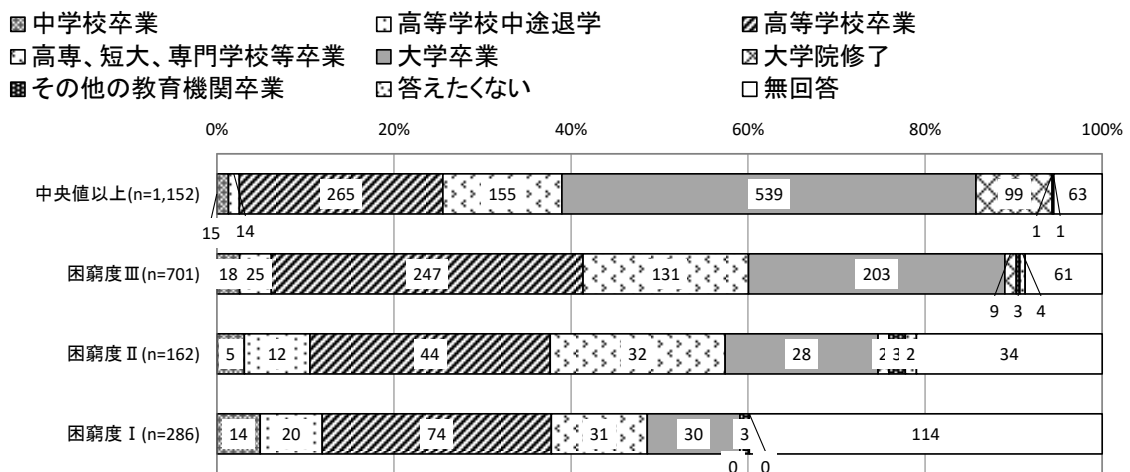
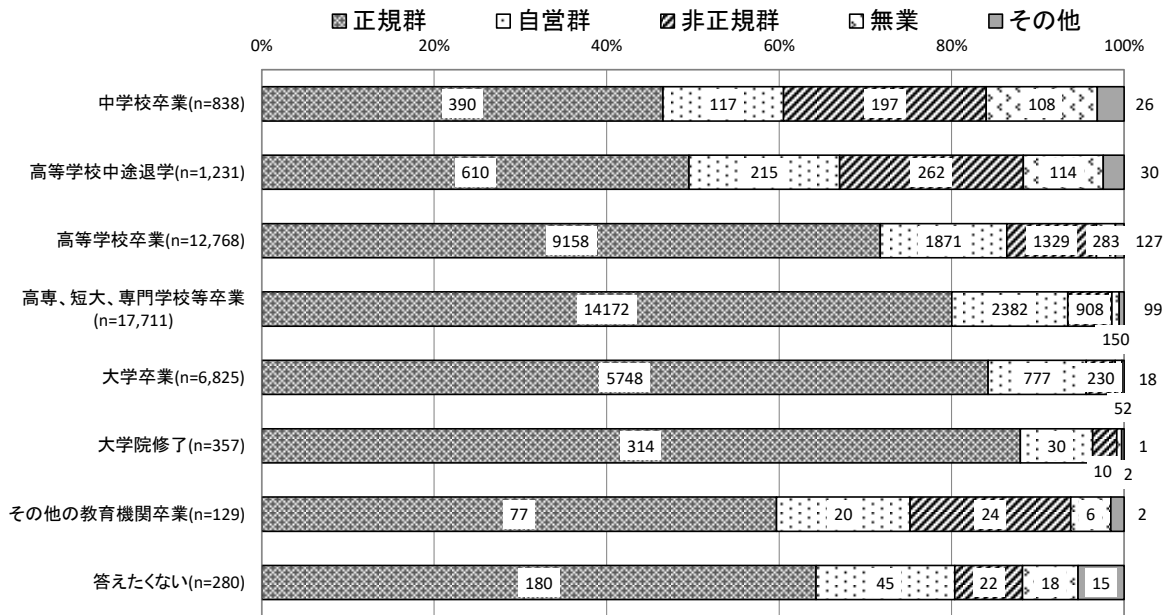


図 142. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ 4.9%、7.0%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答の割合も高い（39.9%）。

母親の最終学歴別に見た就労状況（保護者票問 8×保護者票問 9 より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

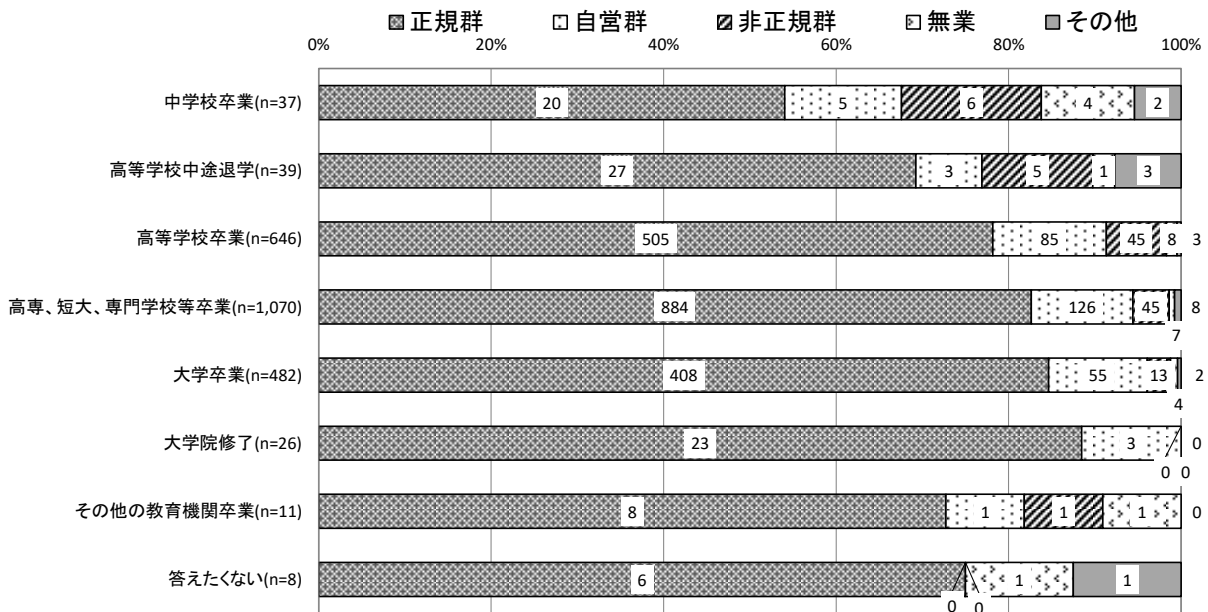
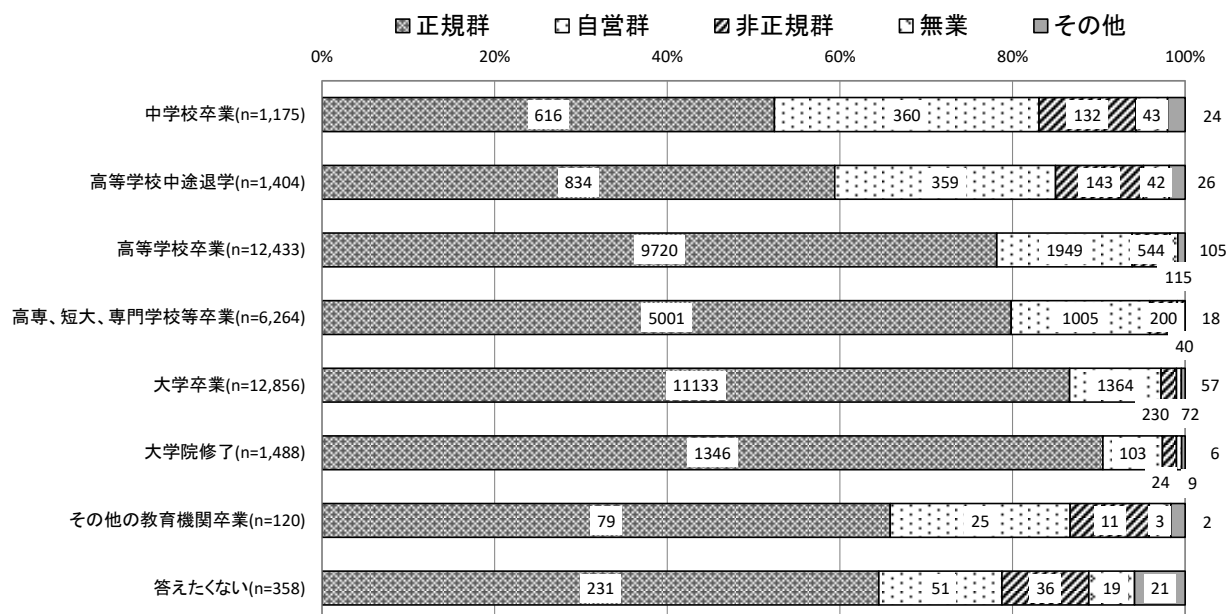


図 143. 母親の最終学歴別に見た就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た就労状況（保護者票問8×保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

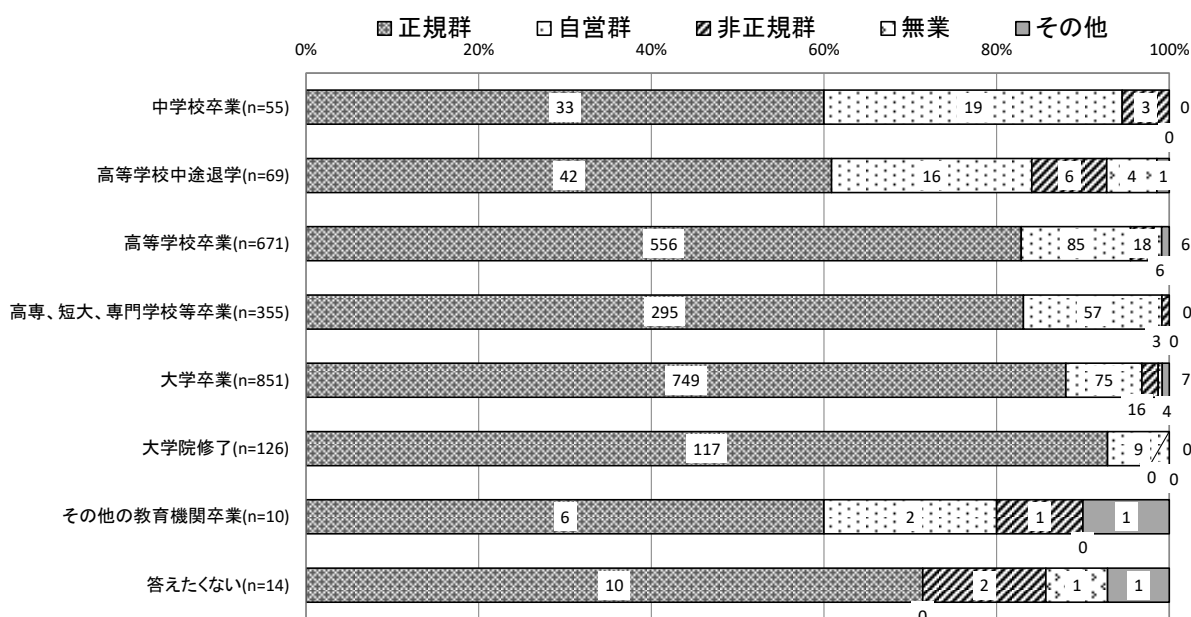
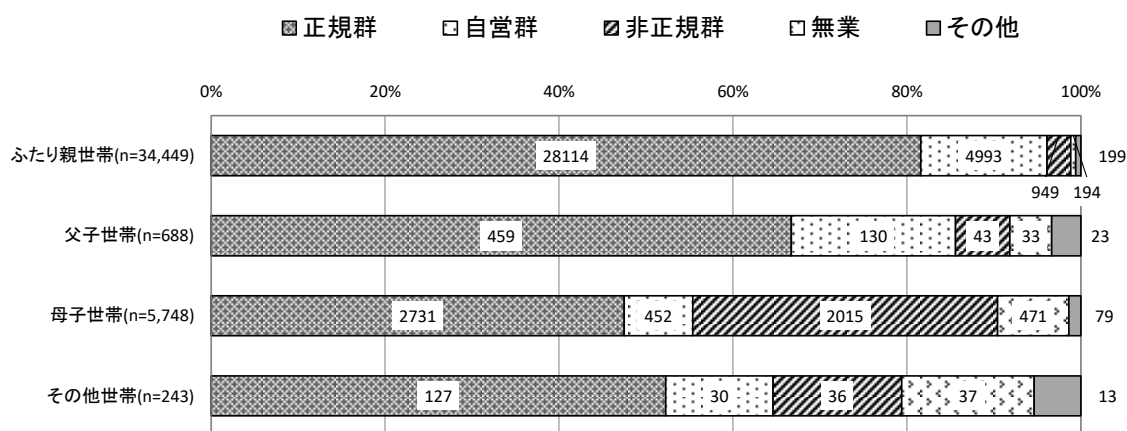


図 144. 父親の最終学歴別に見た就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「父親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

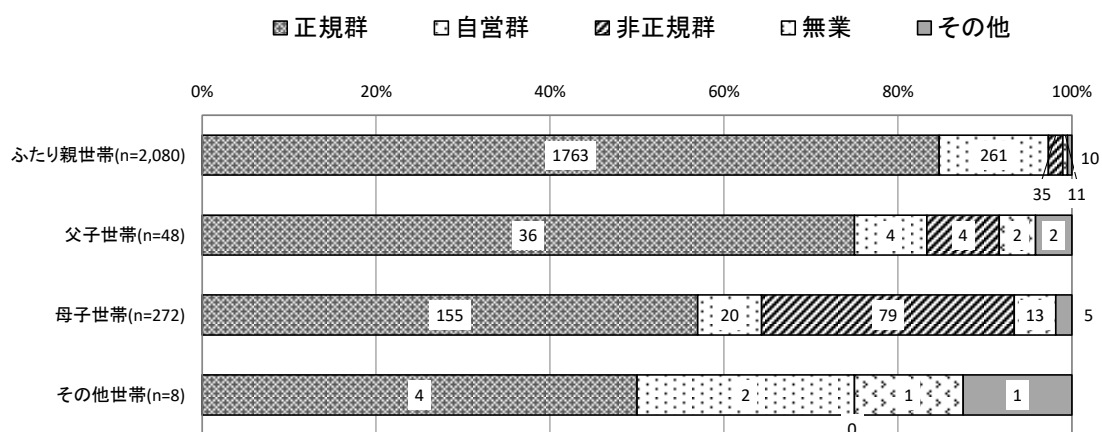
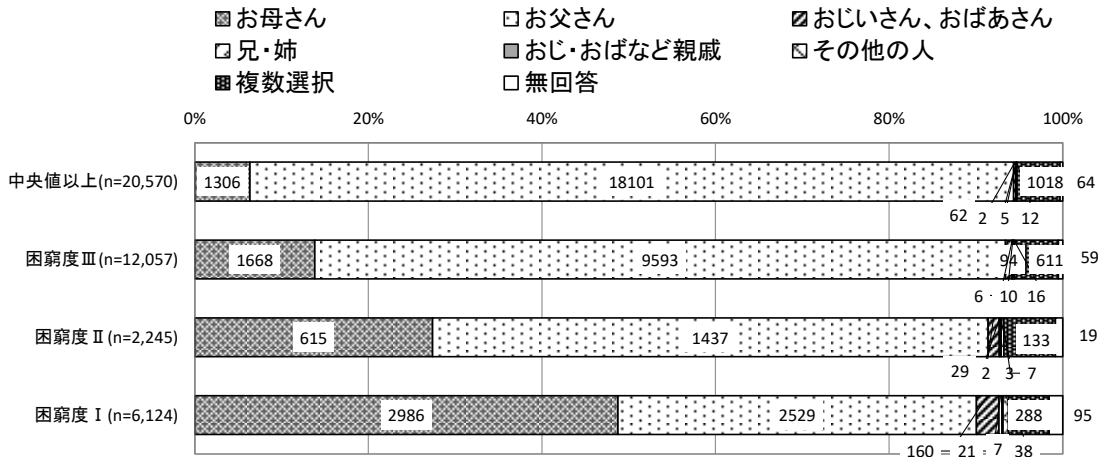


図 145. 世帯構成別に見た就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が 84.8%であるが、「父子世帯」では 75.0%、「母子世帯」では 57.0%と低くなる。「非正規群」は、「父子世帯」では 8.3%、「母子世帯」では 29.0%となっている。

困窮度別に見た、生計の支えとなる人（保護者票問 27-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

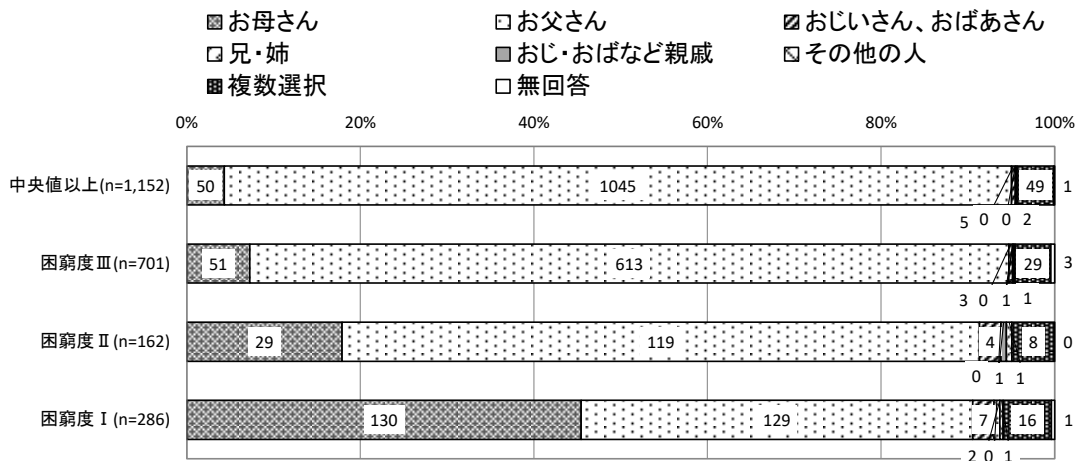
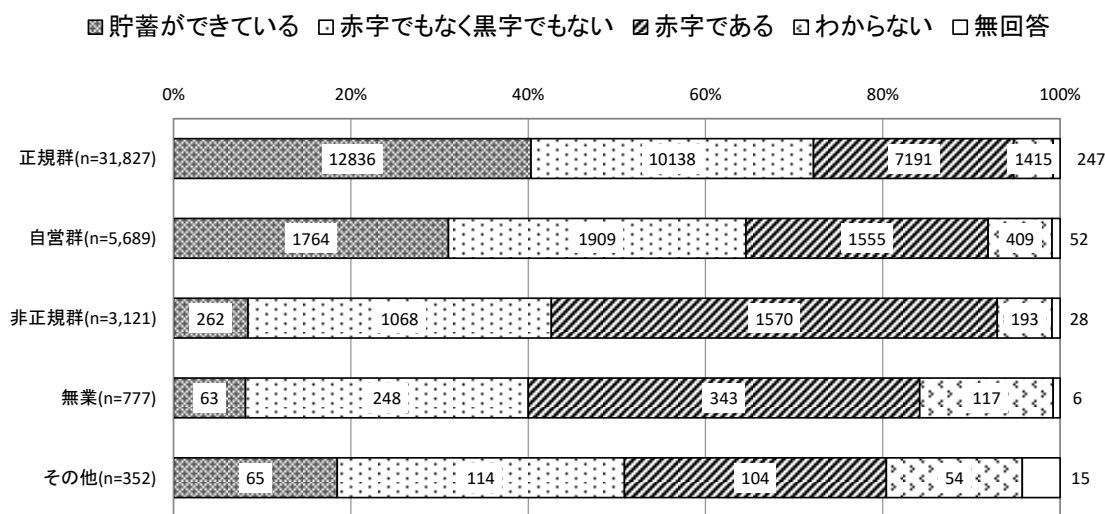


図 146. 困窮度別に見た、生計の支えとなる人

困窮度別に生計の支えとなる人を見ると、中央値以上群では「お父さん」という回答が多く、90.7%である。困窮度が高まるにつれ、「お母さん」という回答が多くなっている。困窮度Ⅱ群では「お母さん」という回答は17.9%、困窮度Ⅰ群では45.5%である。

就労状況別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

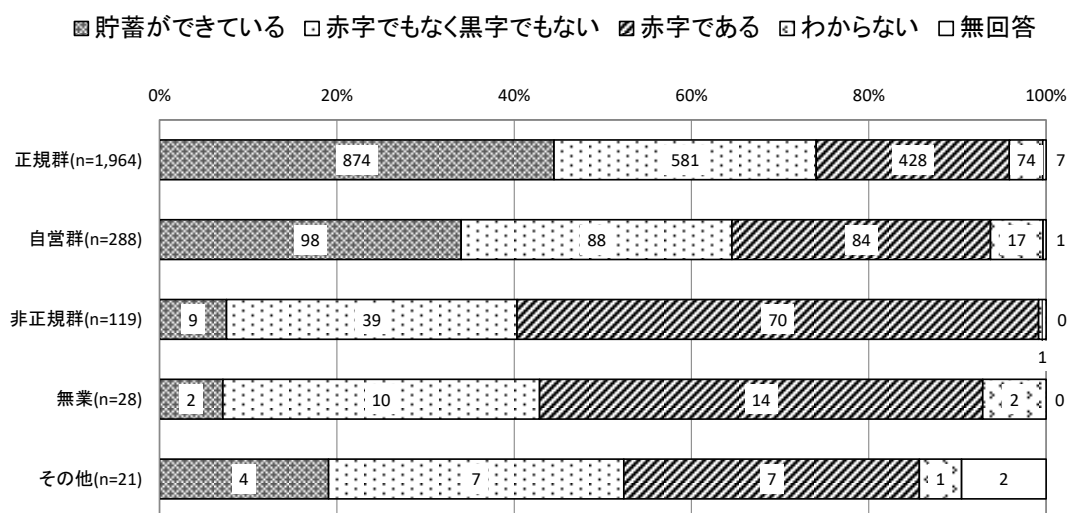


図 147. 就労状況別に見た家計状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」・「自営群」では貯蓄ができている割合がそれぞれ、44.5%、34.0%である。「非正規群」では「赤字である」と回答した人が58.8%にのぼっている。「赤字でもなく黒字でもない」群に大きな差は見られない。

<雇用に関する考察>

本調査では、雇用形態が、所得階層の分布に反映されていることが示されている。すなわち、中央値以上の群では、正規雇用が90%以上を占めるのに対して、困窮度Ⅰの群では、約40%にとどまっている。なお、正規雇用であるにもかかわらず困窮度Ⅰの群になるという点は、いわゆるワーキングプアの問題として注意する必要がある。

また、困窮度が高い群ほど学歴が低い傾向にある。母親の学歴を見ると中央値以上の群では中学校卒業、高校中退がそれぞれ0.3%、0.6%であるのに対して、困窮度Ⅰの群では、6.3%、4.9%となる。父親の学歴を見ると、中央値以上の群では、中学校卒業、高校中退が、1.3%、1.2%であるのに対して、困窮度Ⅰの群ではそれぞれ、4.9%、7.0%となっている。学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高くなる。世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が高くなる。困窮度Ⅰの群では、主たる生計維持者が母親である割合が高く、45.5%となっている。

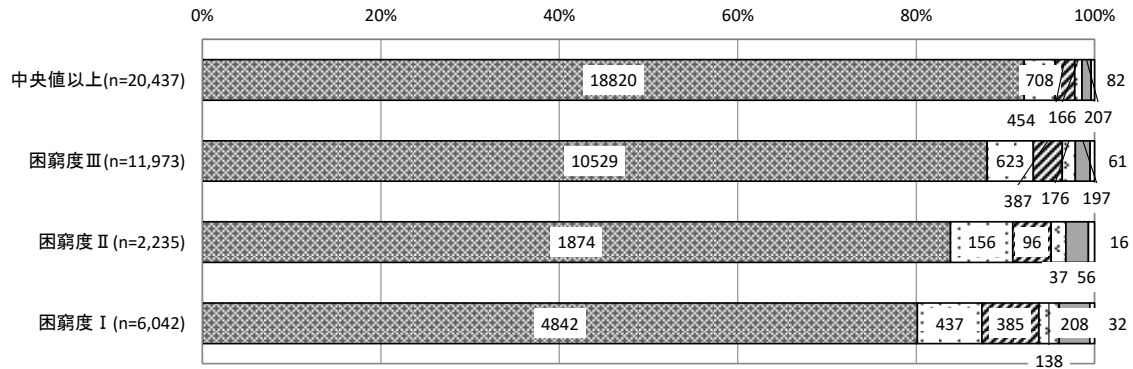
さらに、正規雇用の世帯の群の44.5%では、貯蓄ができるなど、生活が安定している傾向にあるが、非正規の群では、約60%が赤字となっている。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問 5-1）

<大阪府内全自治体>

■ 毎日またはほとんど毎日 □ 週に4~5回 ▨ 週に2~3回 □ 週に1回程度 ■ 食べない □ 無回答



<大阪府 30 市町村>

■ 毎日またはほとんど毎日 □ 週に4~5回 ▨ 週に2~3回 □ 週に1回程度 ■ 食べない □ 無回答

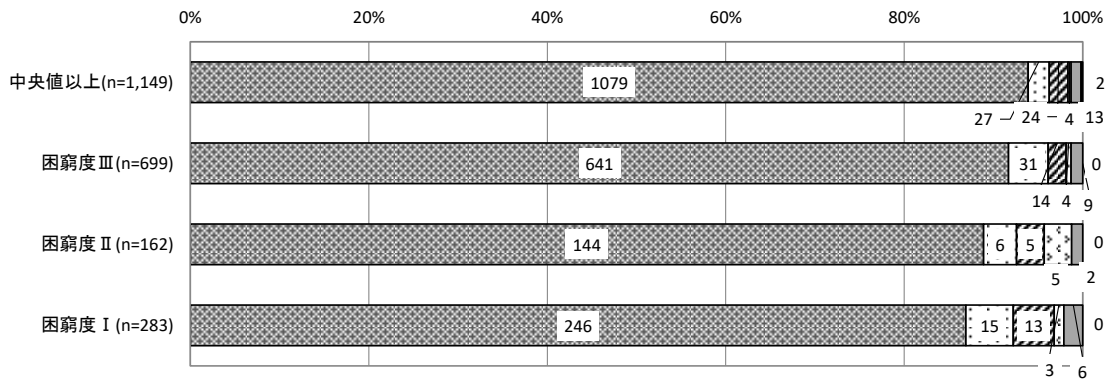
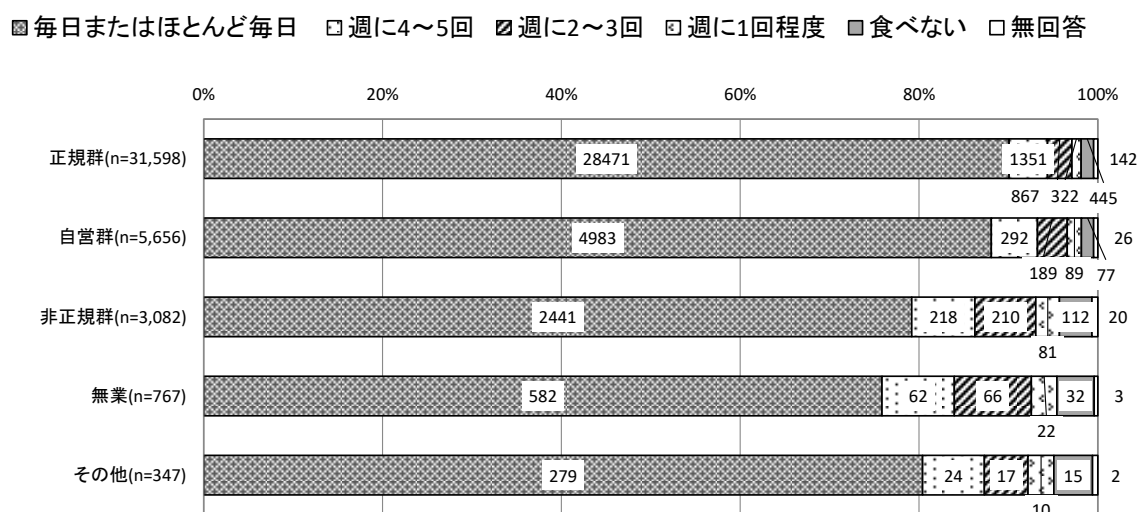


図 148. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高くなるにしたがって、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、13.1%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答した。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問 5-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

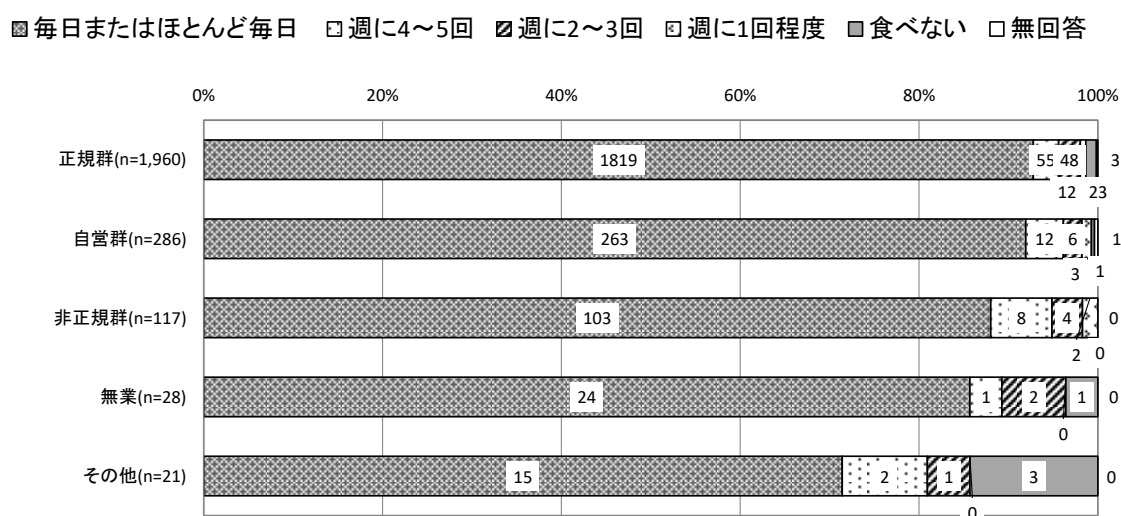


図 149. 就労状況別に見た、朝食の頻度

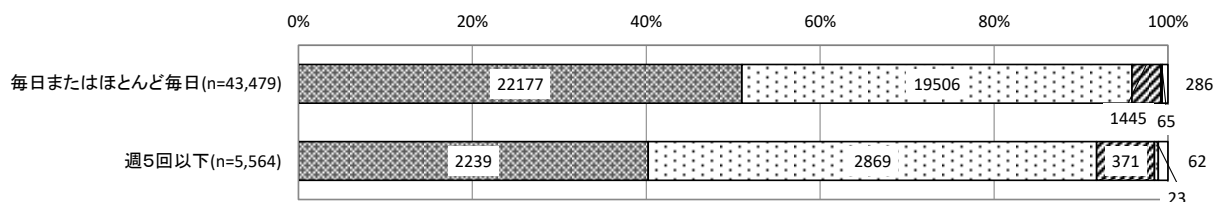
就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」が最も高く、次いで、「自営業」、「非正規群」、「無業」、「その他」の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

（子ども票 5-1×保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>

■ とも信頼している □ 信頼している ■ あまり信頼していない □ 信頼していない □ 無回答



<大阪府 30 市町村>

■ とも信頼している □ 信頼している ■ あまり信頼していない □ 信頼していない □ 無回答

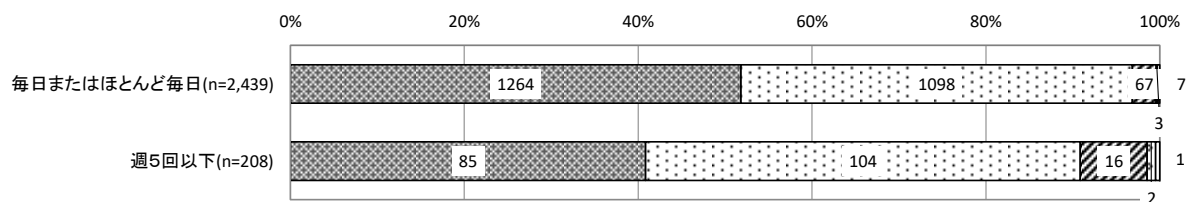


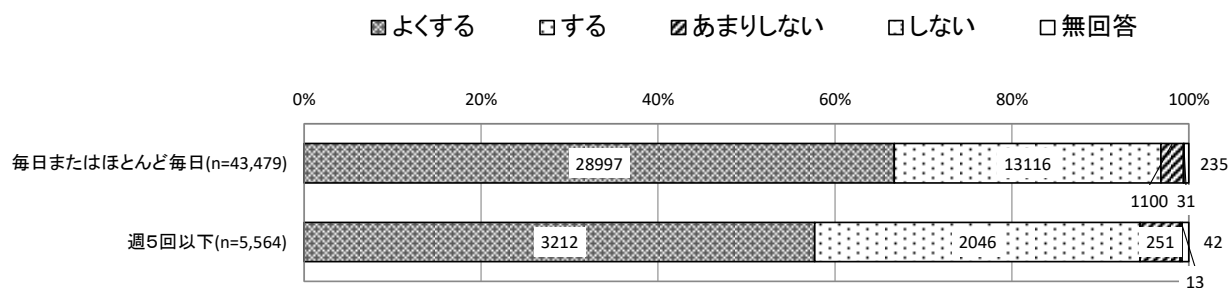
図 150. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とも信頼している」との回答が 51.8%であるのに対し、「週 5 回以下」では、「とも信頼している」と回答した人は 40.9%と低い。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

（子ども票 5-1 × 保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

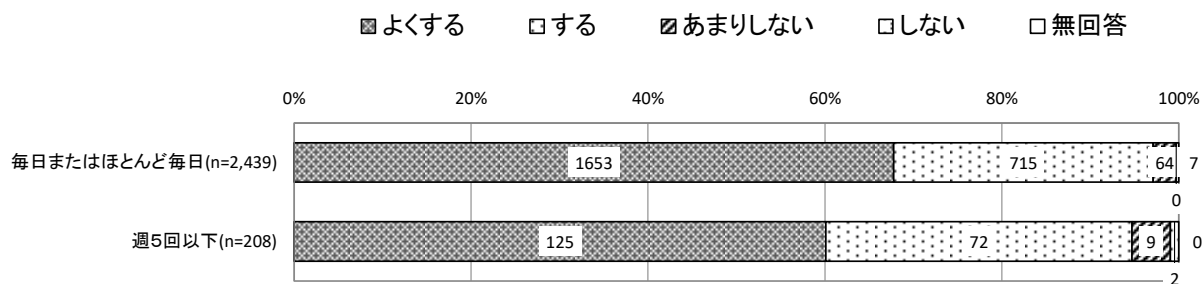
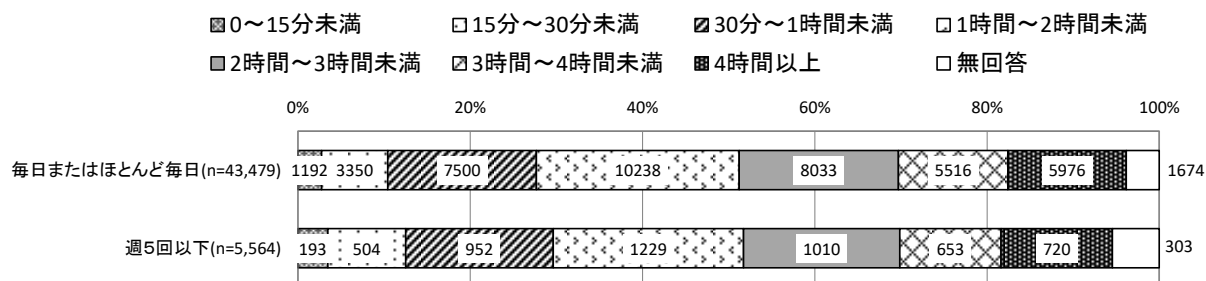


図 151. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもと「よく会話をする」との回答が 67.8%であり、「週 5 回以下」では、「よく会話をする」と回答した人は 60.1%と、「毎日またはほとんど毎日」の人のほうがよく会話をする割合が高くなっている。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
（子ども票 5-1×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

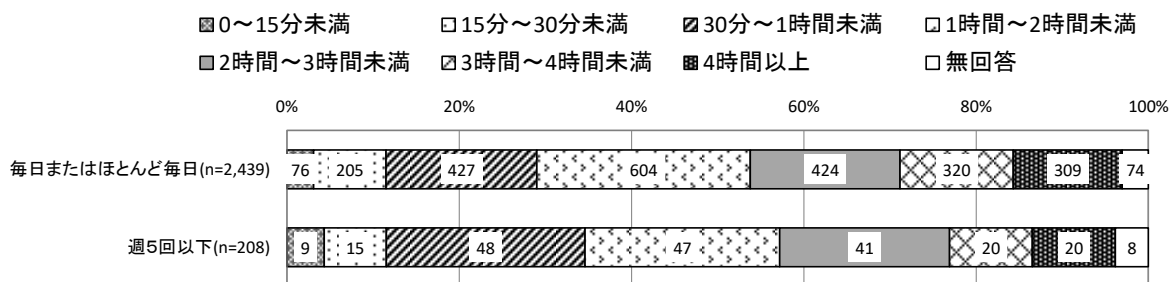
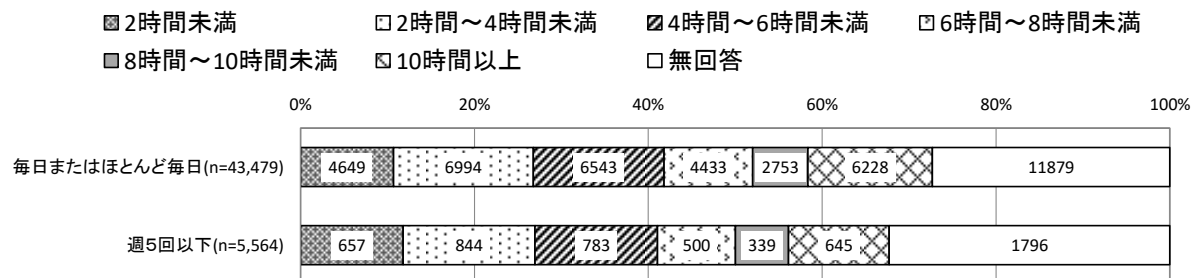


図 152. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「週5回以下」の人よりも平日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））
 （子ども票 5-1×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

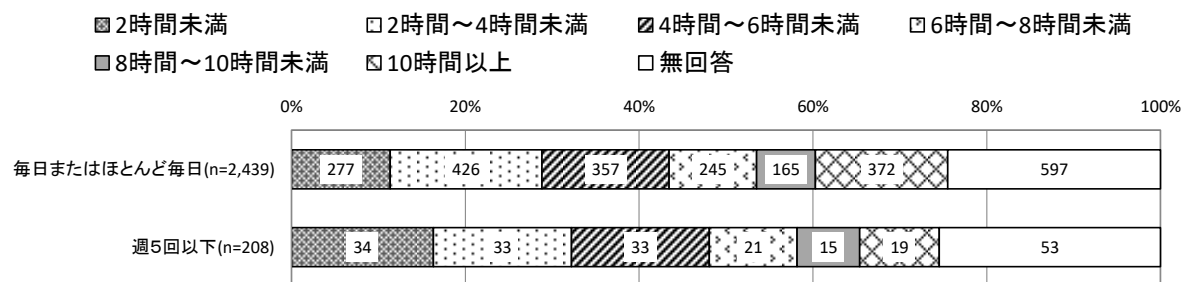


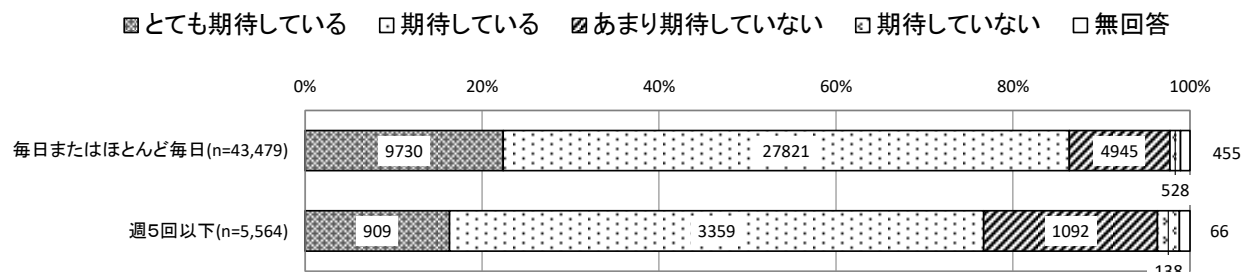
図 153. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが、「週 5 回以下」の人よりも休日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

（子ども票 5-1×保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

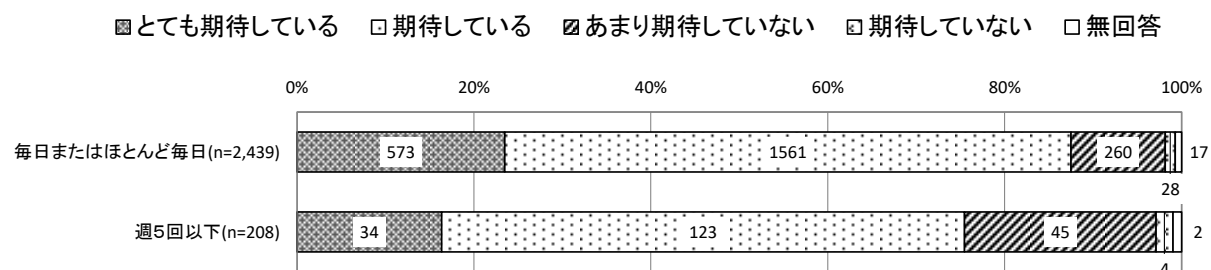


図 154. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

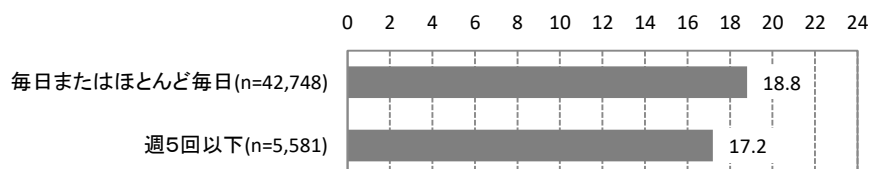
朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、87.5%であるのに対して、「週5回以下」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて75.5%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「週5回以下」の人より、子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

（子ども票 5-1×子ども票問 23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人は信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の6項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

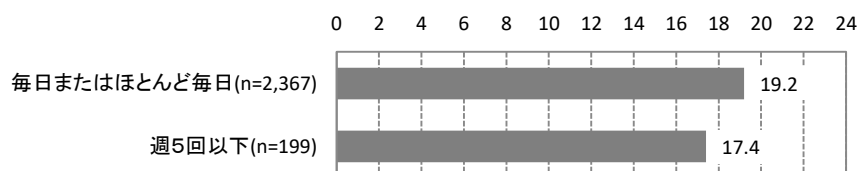


図 155. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

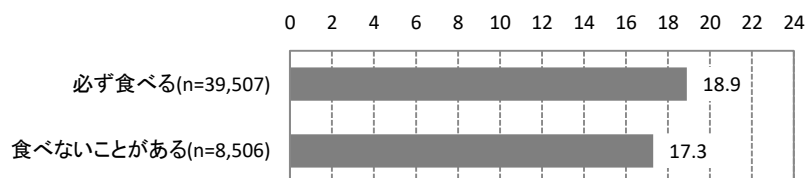
朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、19.2点であるのに対して、「週5回以下」では、17.4点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが「週5回以下」の人よりも子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

（子ども票 7×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

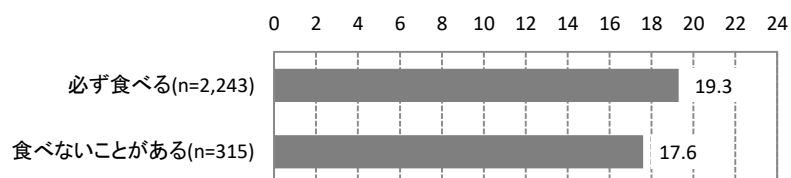


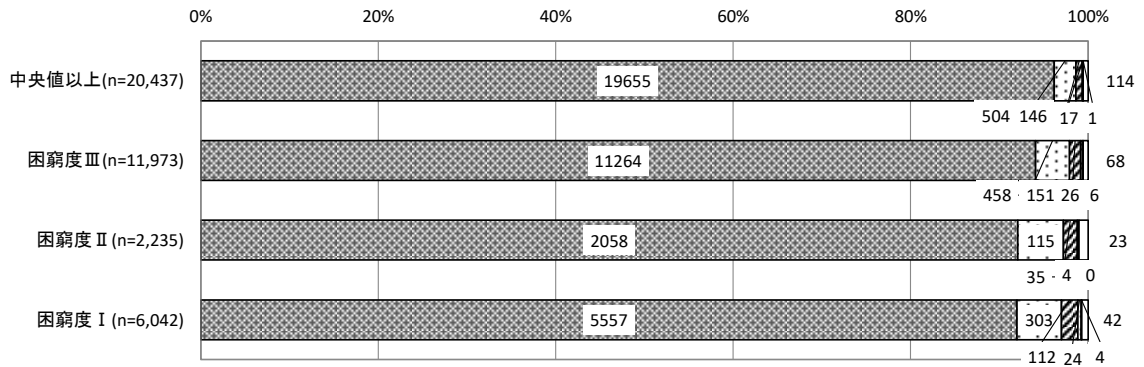
図 156. 昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が 19.3 であるのに対して、「食べないことがある」と回答した人は 17.6 と昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た入浴頻度（子ども票問 8）

<大阪府内全自治体>

■ 毎日またはほとんど毎日 □ 週に4~5回 ▨ 週に2~3回 ▩ 週に1回程度 ■ 入らない □ 無回答



<大阪府 30 市町村>

■ 毎日またはほとんど毎日 □ 週に4~5回 ▨ 週に2~3回 ▩ 週に1回程度 ■ 入らない □ 無回答

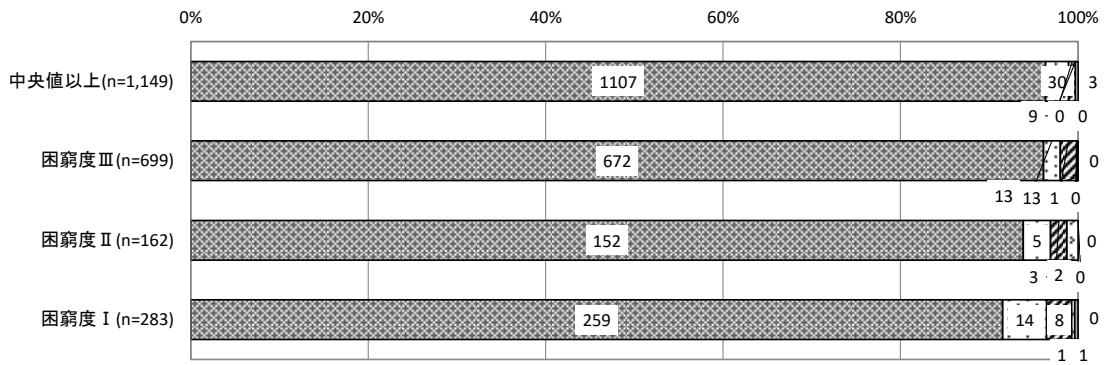
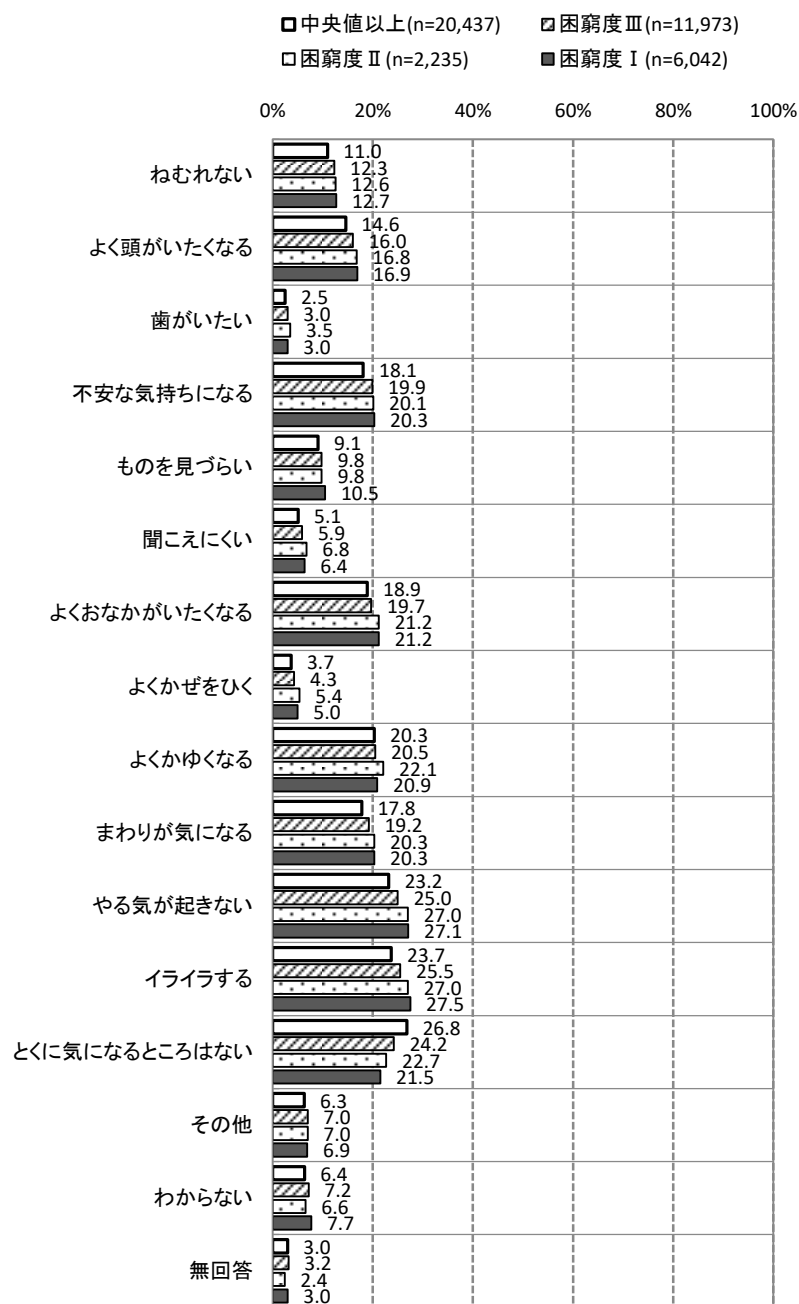


図 157. 困窮度別に見た入浴頻度

困窮度別に入浴頻度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「毎日またはほとんど毎日」と回答する割合が低くなっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（子ども票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

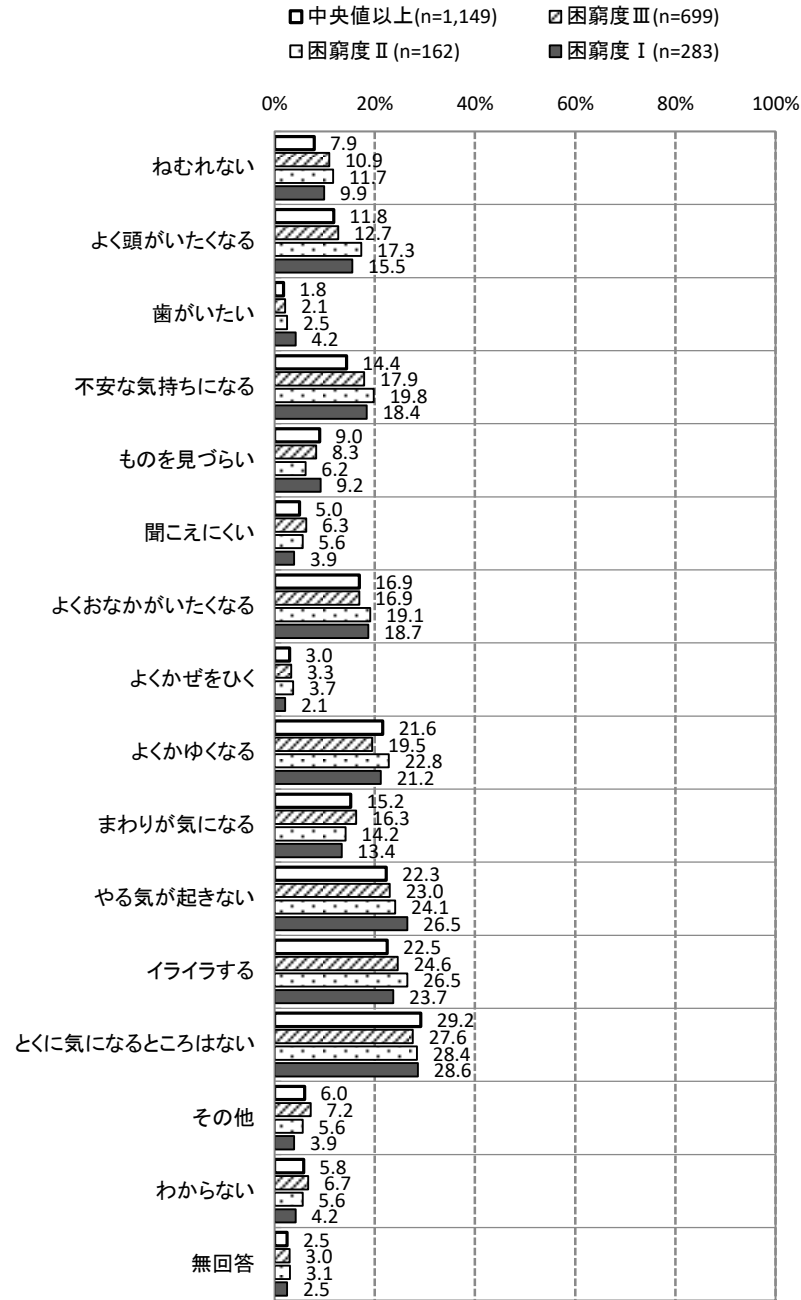
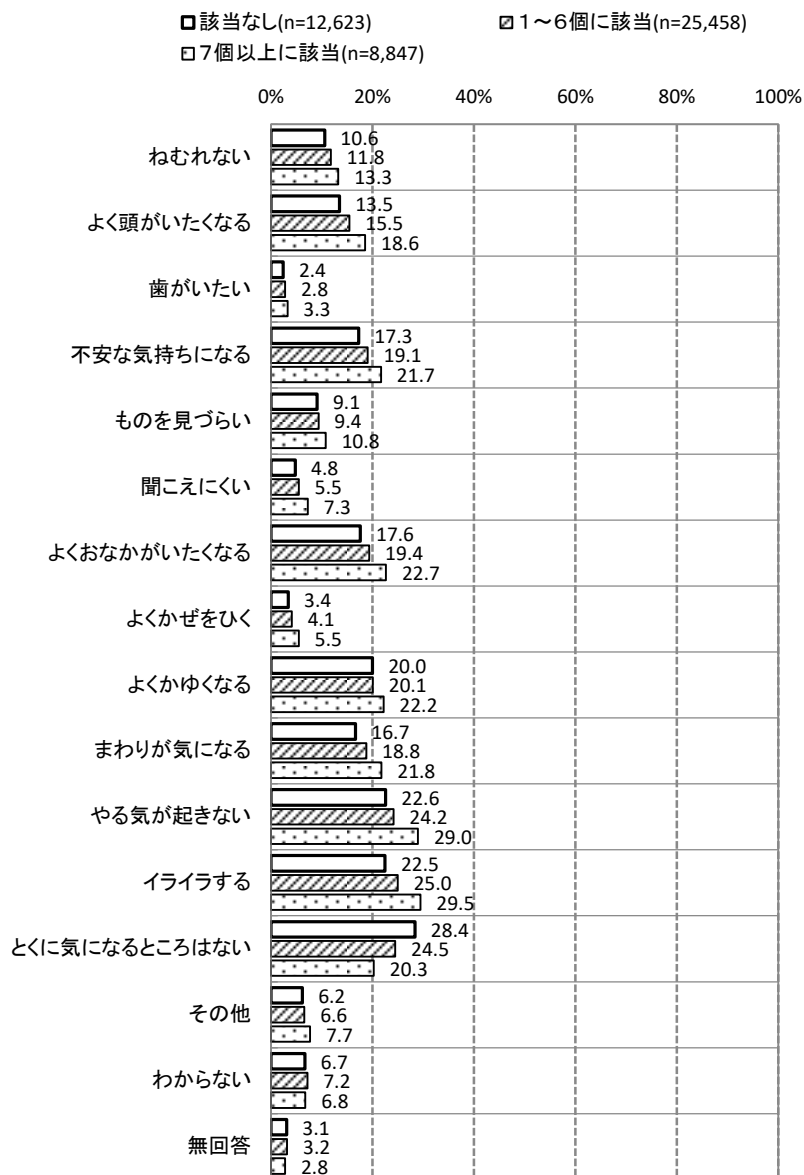


図 158. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「歯がいたい」4.2%（中央値以上群に対して、2.3倍）、「よく頭がいたくなる」15.5%（1.3倍）、「不安な気持ちになる」18.4%（1.3倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。さらに、中央値以上群と上記の項目ほどの差はないものの、困窮度Ⅰ群では、「やる気が起きない」26.5%、「イライラする」23.7%など、心理的・精神的症状を示す項目での割合の高さも無視できない。

経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者問 7×子ども票問 21)

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

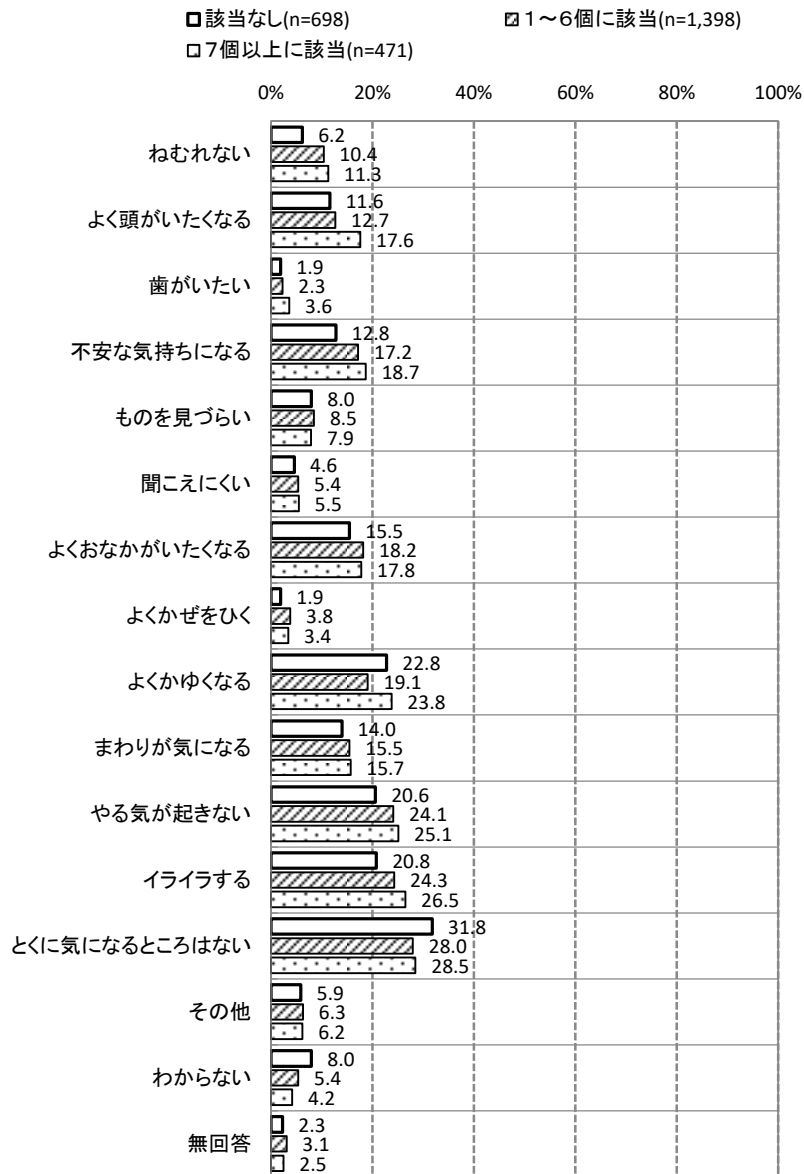
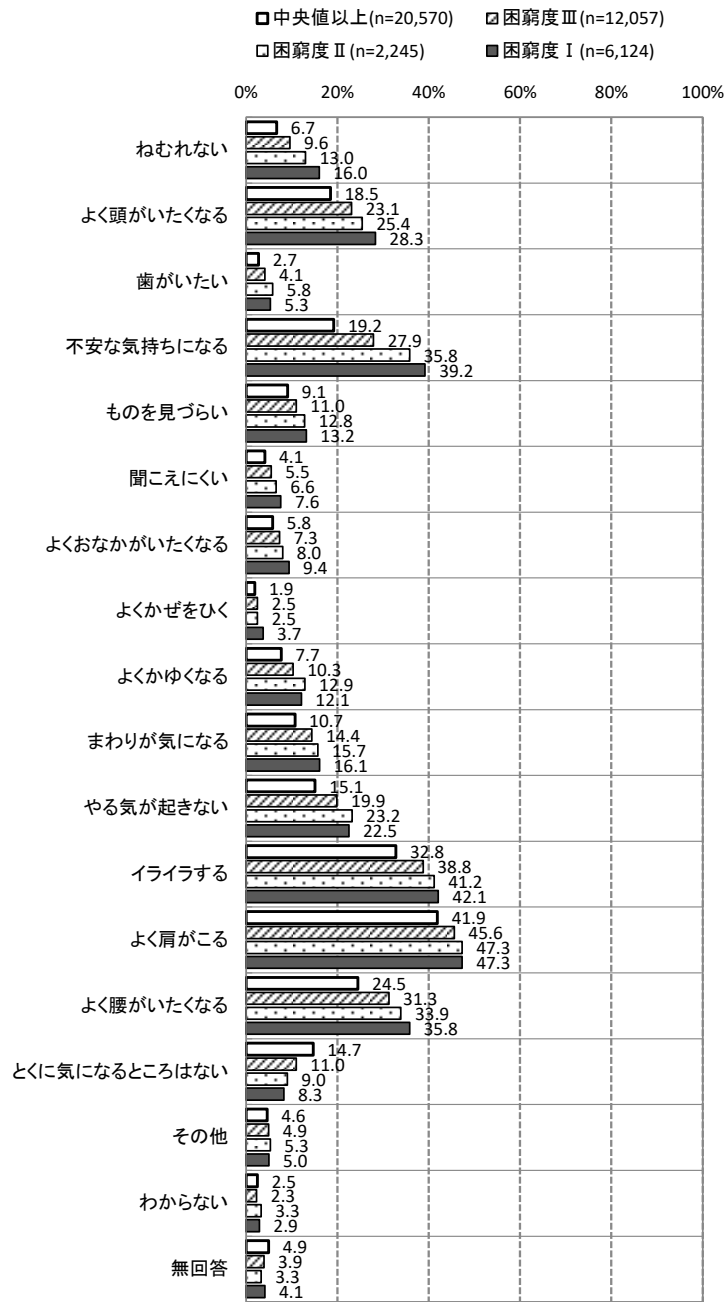


図 159. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、「該当なし」と「7個以上に該当」と回答した人との差が大きい項目に着目しながら、「7個以上該当」群の数値を挙げると、「歯がいたい」3.6%（「該当なし」に対し1.9倍）、「ねむれない」11.3%（1.8倍）、「よいかぜをひく」3.4%（1.8倍）となっている。さらに、「該当なし」と上記の項目ほどの差はないものの、「7個以上に該当」と回答した人では、「イライラする」26.5%（1.3倍）、「やる気が起きない」25.1%（同じく1.2倍）など、ここでも心理的・精神的状況を示す項目での割合の高さが示された。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 23）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

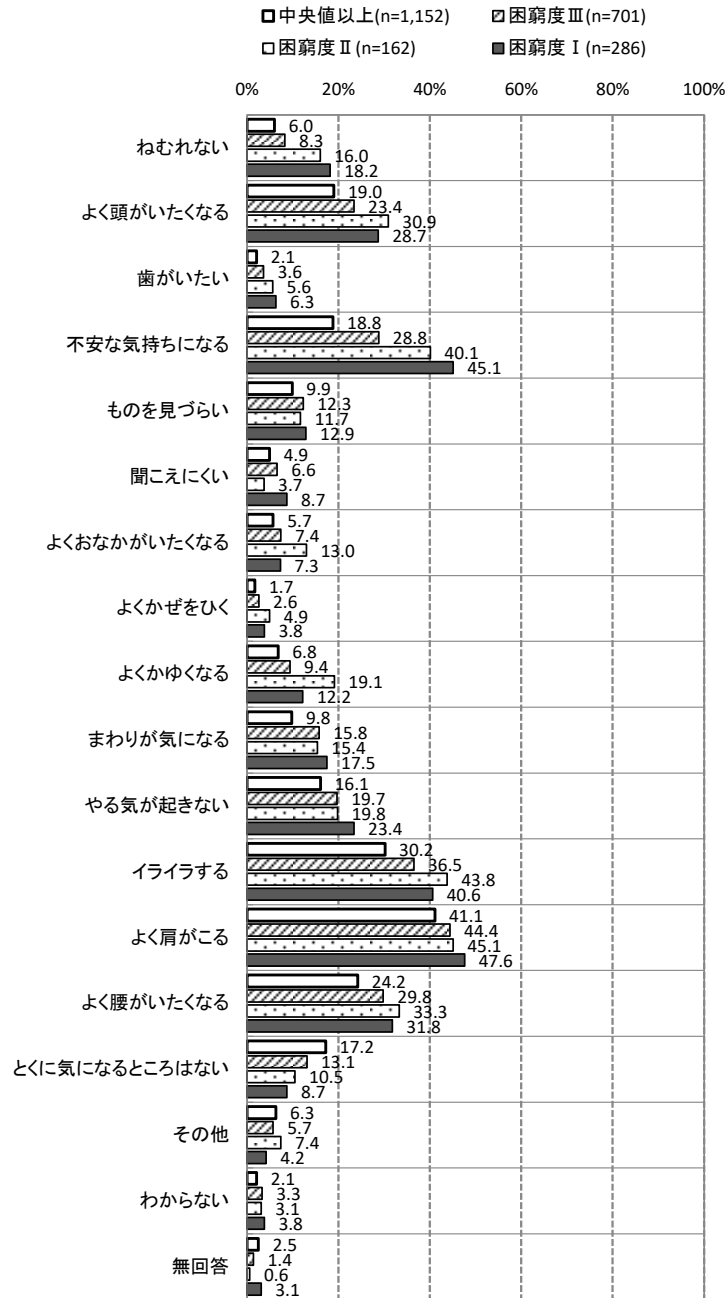
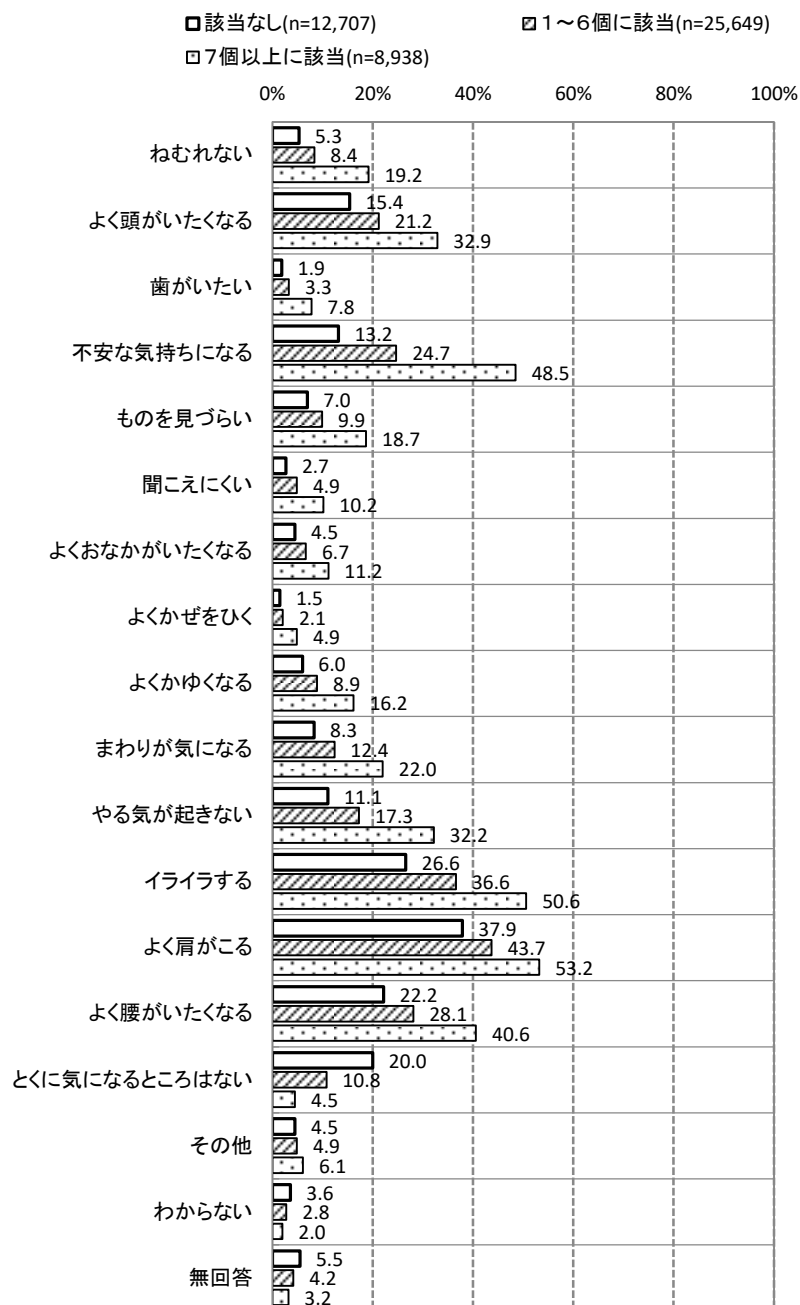


図 160. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「ねむれない」18.2%（中央値以上群に対し3.0倍）、「歯がいたい」6.3%（3.0倍）、「不安な気持ちになる」45.1%（2.4倍）となっている。つづいて、「まわりが気になる」17.5%（1.8倍）、「やる気が起きない」23.4%（1.5倍）、「イライラする」40.6%（1.3倍）と心理的・精神的状況への影響もみられた。

経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 7×保護者票問 23)

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

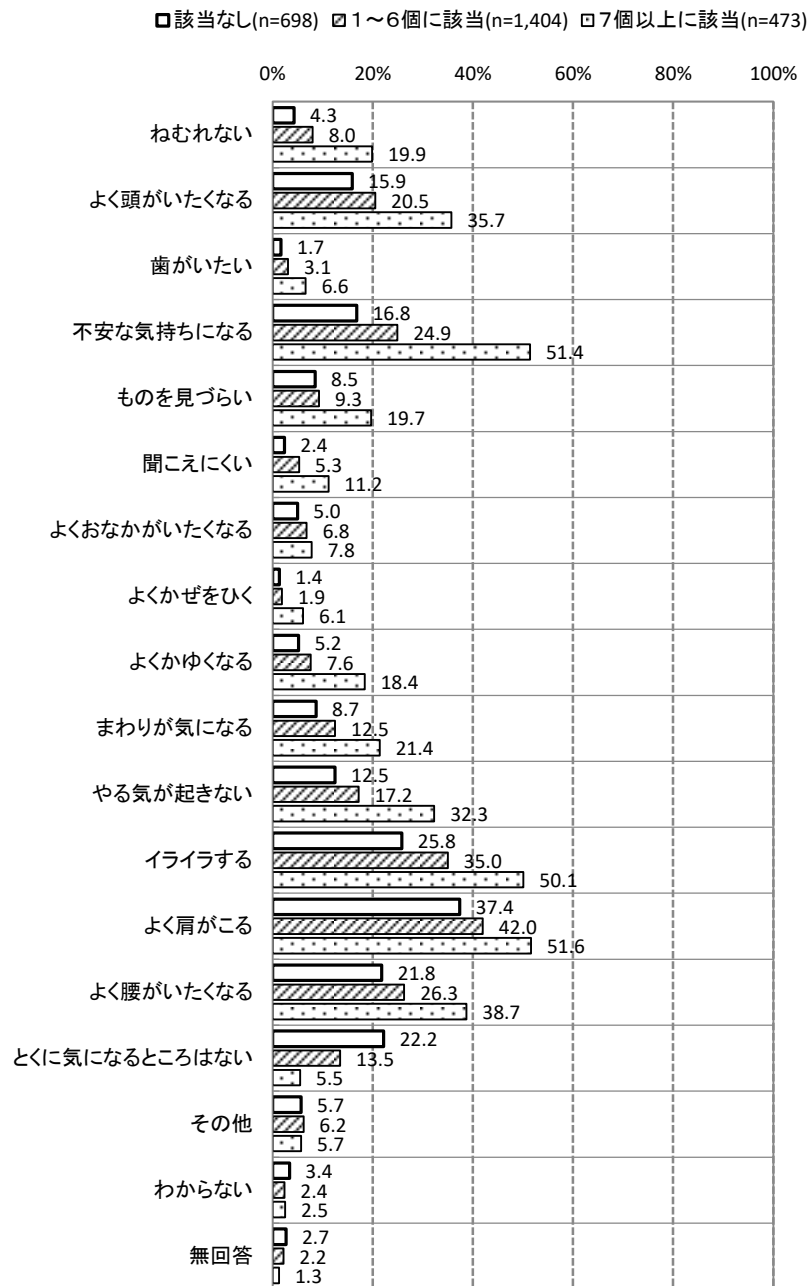
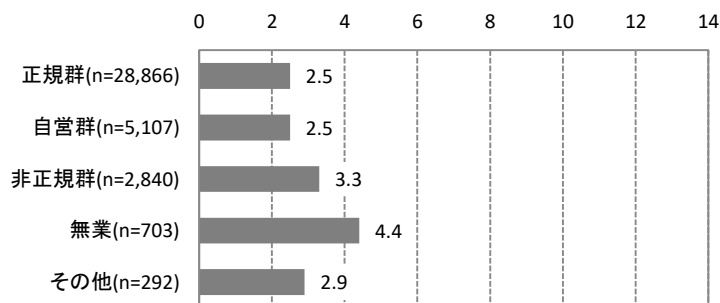


図 161. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験（保護者）の該当数別に、自分の体や気持ちで気になることを見ると、すべての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「ねむれない」19.9%（「該当なし」に対して4.6倍）、「聞こえにくい」11.2%（4.6倍）、「よくかぜをひく」6.1%（4.3倍）となっている。特に、上記の「ねむれない」「不安な気持ちになる」に加えて、「やる気がおきない」32.3%（2.6倍）、「まわりが気になる」21.4%（2.4倍）、「イライラする」50.1%（1.9倍）といった心理的・精神的症状にも影響があらわれている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 23）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

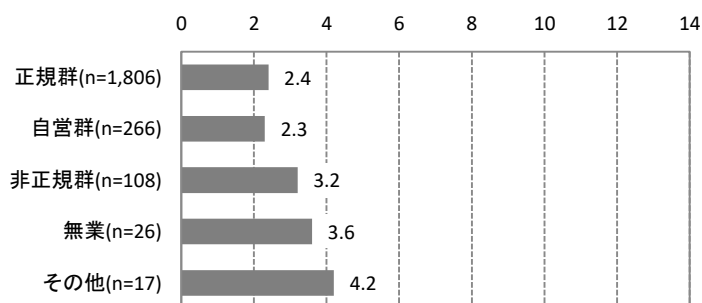


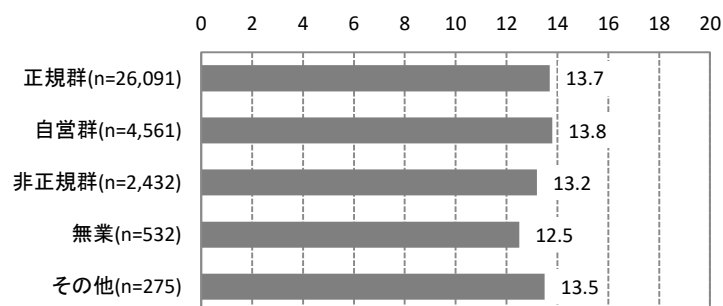
図 162. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営業」に対して、「非正規群」、「無業」、「その他」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー（保護者票問 26）

※成田・下仲・中里他（1995）の特性的自己効力感尺度より「自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある」、「はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける」、「人の集まりの中では、うまくふるまえない」、「私は自分から友達を作るのがうまい」、「人生で起きる問題の多くは自分では解決できない」の5項目を抽出して使用した。それぞれの項目について、「そう思う」～「思わない」までの4段階で評価させ、5項目の合計得点を大人のセルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

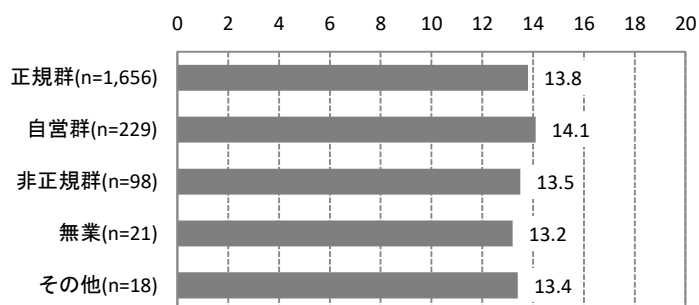


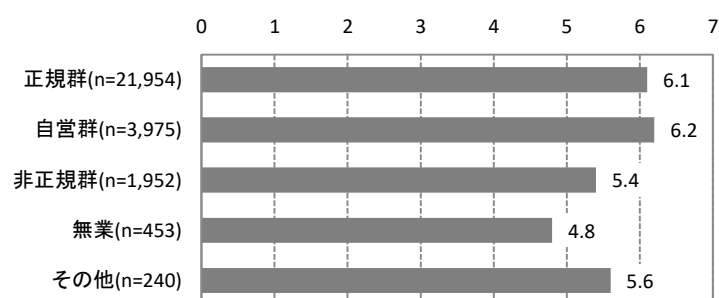
図 163. 就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー

就労状況別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、就労状況による大きな違いは見られなかった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問 20）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

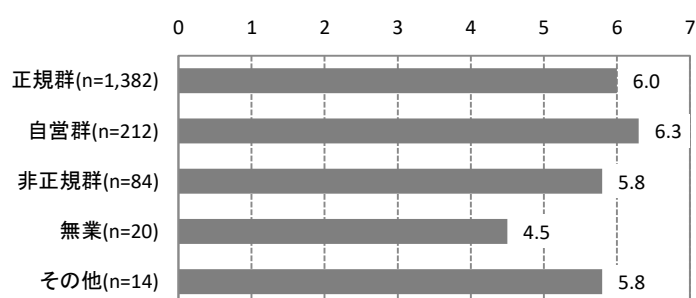


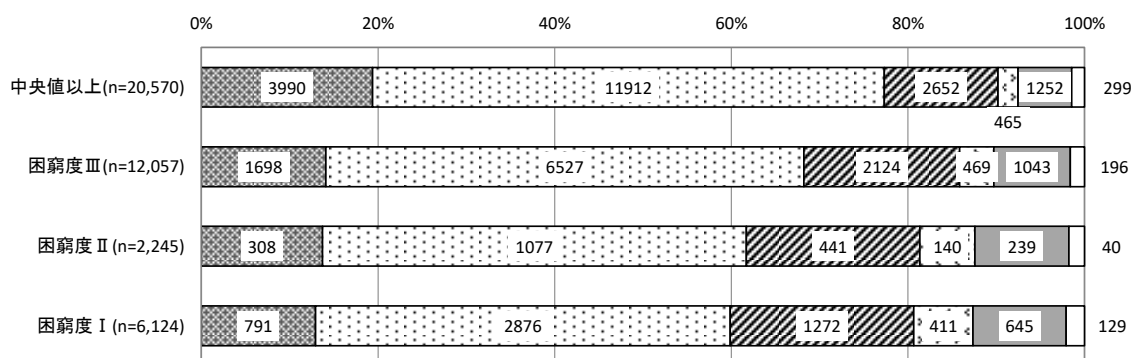
図 164. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(6.0)、「自営業」(6.3)が高く、非正規群で、5.8とわずかに低下し、「無業」で4.5ともっとも低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 22-1）

<大阪府内全自治体>

■とても楽しんでいる □楽しんでいる ■あまり楽しんでいない □楽しんでいない ■わからない □無回答



<大阪府 30 市町村>

■とても楽しんでいる □楽しんでいる ■あまり楽しんでいない □楽しんでいない ■わからない □無回答

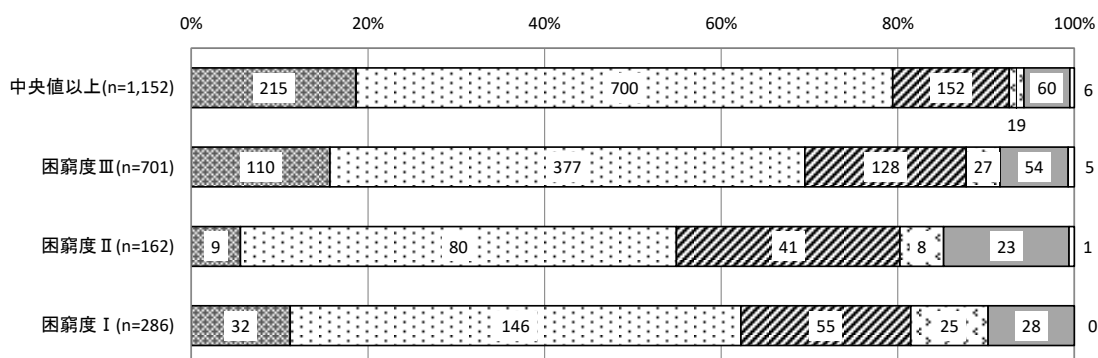
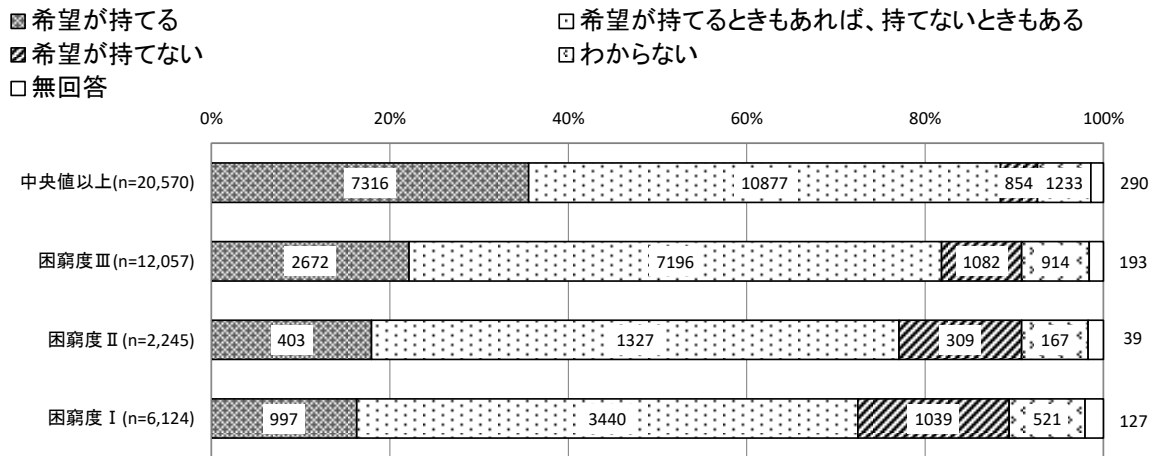


図 165. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらか「楽しんでいる」割合では、中央値以上群で 79.4%ともっとも高く、それ以外の群では、なんらか「楽しんでいる」割合が低くなった。続いて困窮度Ⅲ群で 69.5%、ここでは、困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が 62.2%、困窮度Ⅱ群において、54.9%ともっとも低くなった。逆に、「楽しんでいない」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて多くなっている。中央値以上群が 1.6%ともっとも低く、ついで、困窮度Ⅲ群で 3.9%、困窮度Ⅱ群で 4.9%、困窮度Ⅰ群で 8.7%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）（保護者票問 22-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

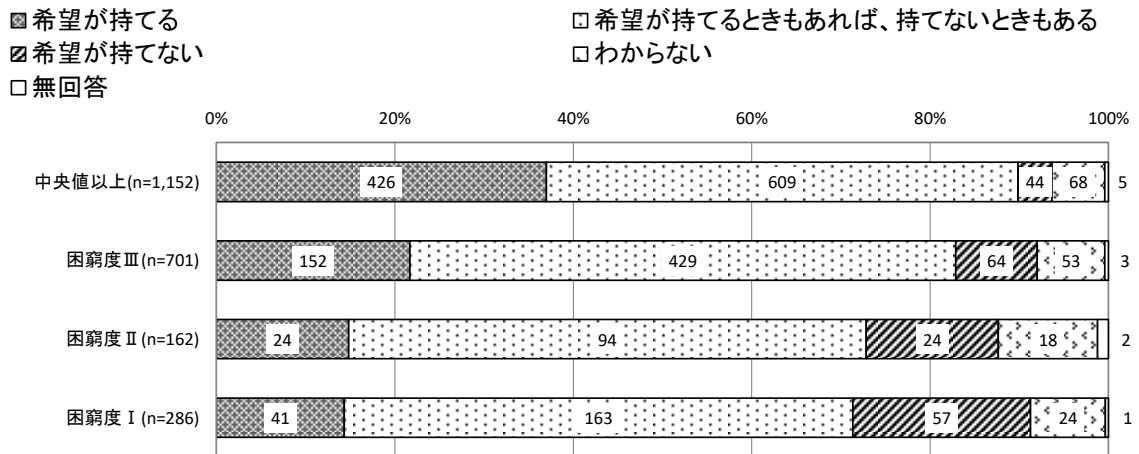
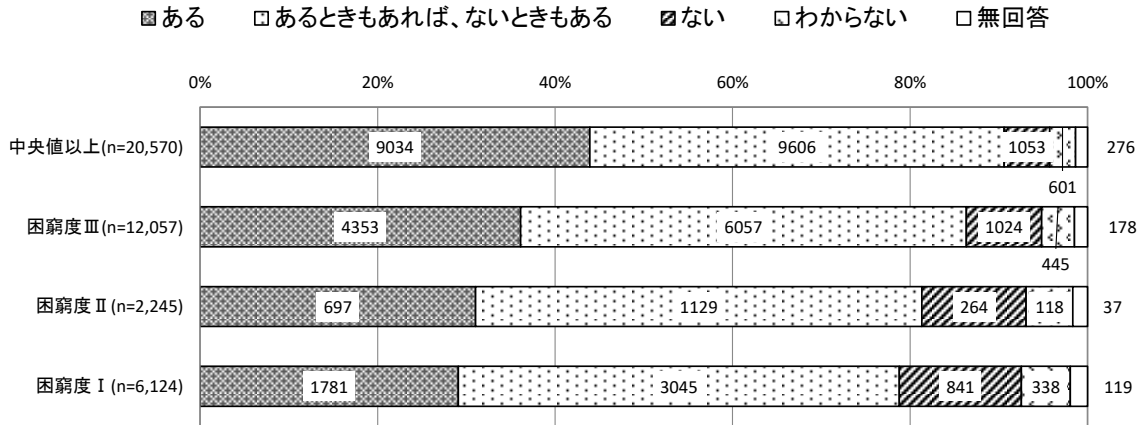


図 166. 困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）

困窮度別に将来への希望を見ると、困窮度が高まるにつれ、「希望が持てる」と回答する割合が低くなっている。中央値以上群では、37.0%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では、21.7%、困窮度Ⅱ群では14.8%、困窮度Ⅰ群では、14.3%という結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）（保護者票問 22-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

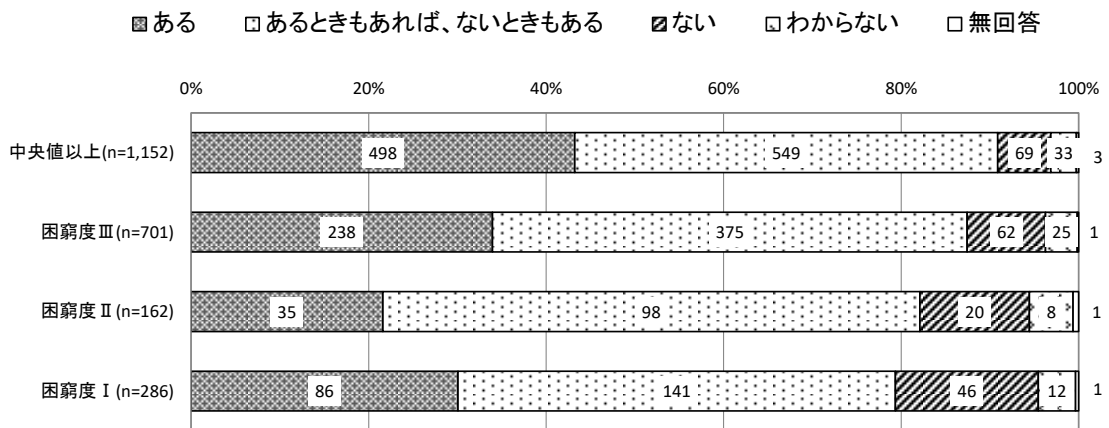
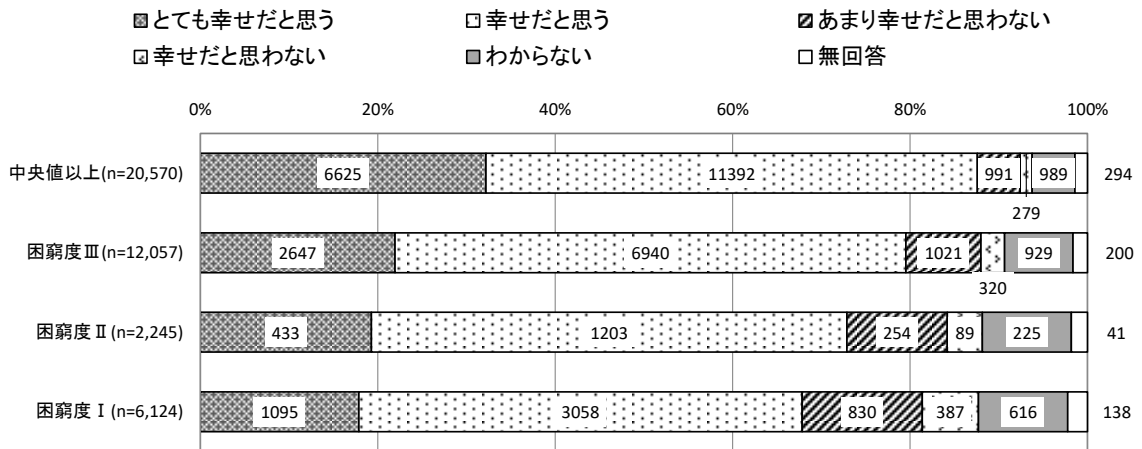


図 167. 困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度が高まるにつれて、「ない」と回答する割合が高くなっている。中央値以上群では、6.0%でもっとも低く、困窮度Ⅲ群 8.8%、困窮度Ⅱ群 12.3%、困窮度Ⅰ群 16.1%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）（保護者票問 22-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

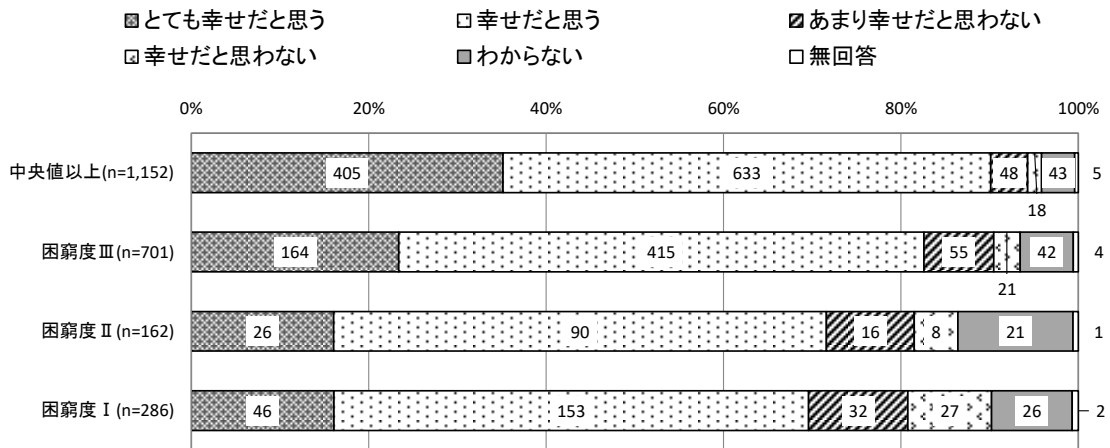
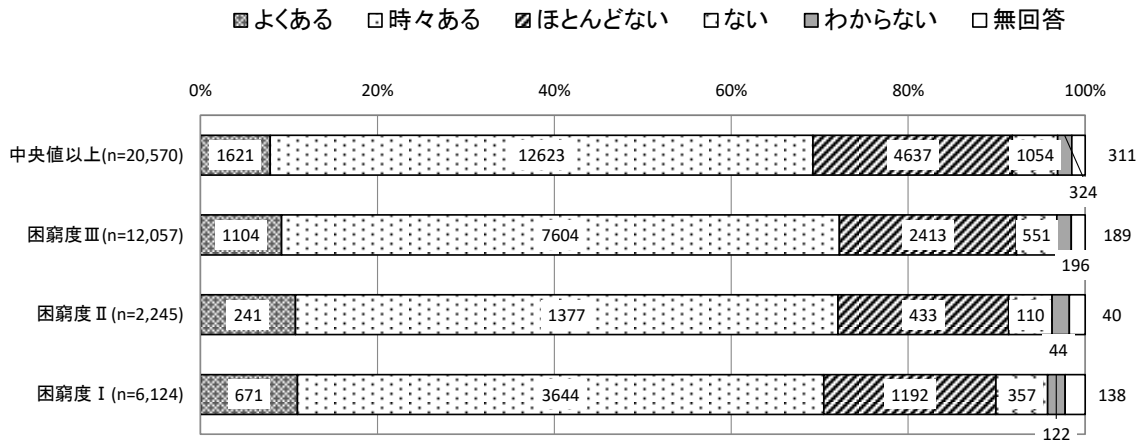


図 168. 困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せと思う」「幸せだと思う」あわせて、なんらか「幸せと思う」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて低くなり、逆に、なんらか「幸せではない」と回答する割合が高くなる。なんらか「幸せではない」と回答する割合は、中央値以上群で 5.7%にとどまるのに対して、困窮度Ⅲ群で 10.8%、困窮度Ⅱ群で 14.8%、困窮度Ⅰ群で 20.6%となっている。

困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと（保護者票問 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

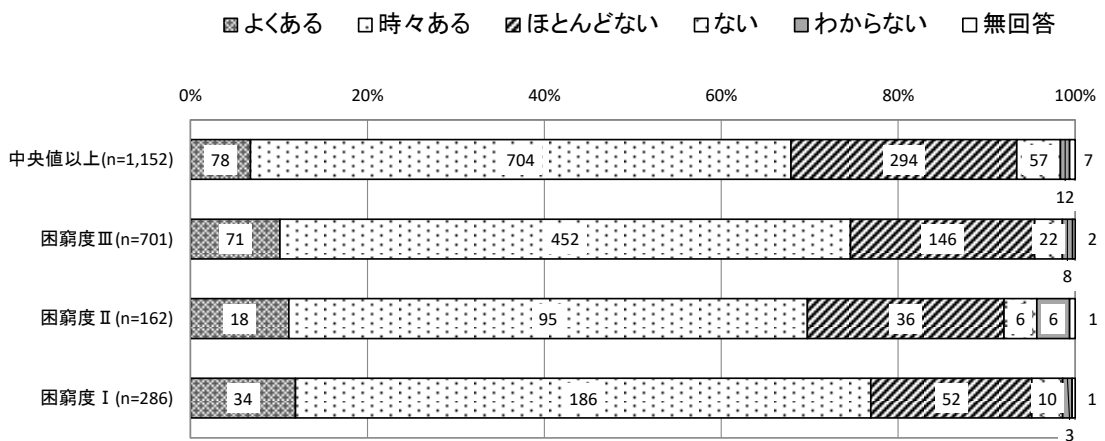
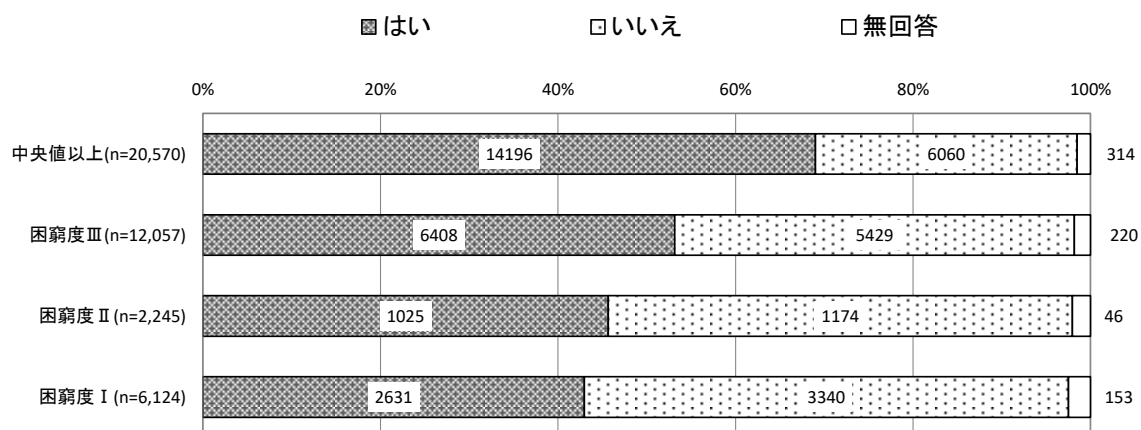


図 169. 困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

困窮度別に不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことを見ると、困窮度による大きな差は見られないものの、中央値以上群では、「よくある」「時々ある」あわせて 67.9%であるのに対し、困窮度Ⅰ群では 76.9%と困窮度Ⅰ群のほうが高くなった。

困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診（保護者票問 25）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

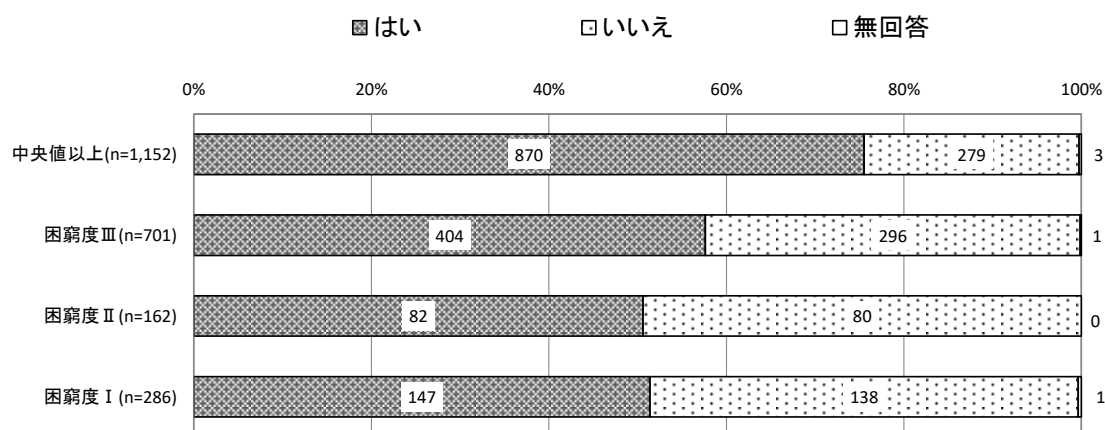
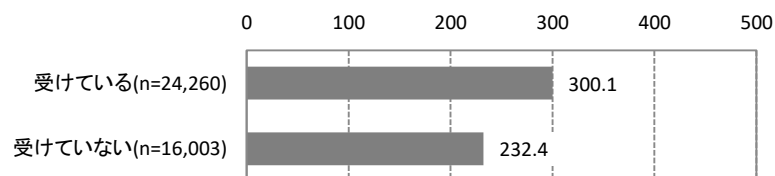


図 170. 困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診

困窮度別に保護者の定期的な健康診断の受診を見ると、「受診あり」の回答の割合は中央値以上群がもっとも高く、それ以外は、低くなっている。

定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値（単位：万円）
（保護者票問 25×保護者票問 27-4 より）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

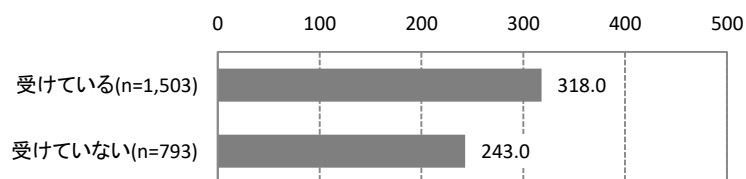


図 171. 定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値

定期的な健康診断の受診別に等価の可処分所得額を算出すると、「受診あり」では 318.0 万円、「受診なし」では 243.0 万円と等価可処分所得について差が見られた。

<健康に関する考察>

困窮度別に朝食の頻度をみると、困窮度が深刻化するほど、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。困窮度は、保護者の就労状況を反映していると想定されるが、保護者の就労状況が不安定化するにつれて、朝食の頻度も低くなっている。朝食および休日の昼食の頻度が高いグループのほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果が示された。

子どもの心身の状況についてみると、困窮度によって子どもの心身の状況に深刻な影響が出ていることが明らかとなった。特に、「歯がいたい」、「よく頭がいたくなる」、「不安な気持ちになる」、「ねむれない」の項目は、「中央値以上」群に対し「困窮度Ⅰ群」において高い割合を示した。身体的な症状だけではなく、困窮度が高くなると、「ねむれない」、「不安な気持ちになる」、「やる気が起きない」、「イライラする」といった心理的・精神的状況に関する項目も高くなり、これら心身の状況の問題が学習状況にも影響を与えていることが予測される。

保護者の心身の状況についても困窮度が深刻化するにつれ保護者の心身の状況が悪化していることが明らかとなった。「中央値以上」群と「困窮度Ⅰ」群との差は、子ども以上に大きく開いている。両者の格差が大きい項目は、「ねむれない」「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」等である。特に、「困窮度Ⅰ」群では、「ねむれない」18.2%、「不安な気持ちになる」45.1%、「まわりが気になる」17.5%、「やる気が起きない」23.4%、「イライラする」40.6%と心理・精神的状況にも深刻な影響を与えていることが明らかとなった。

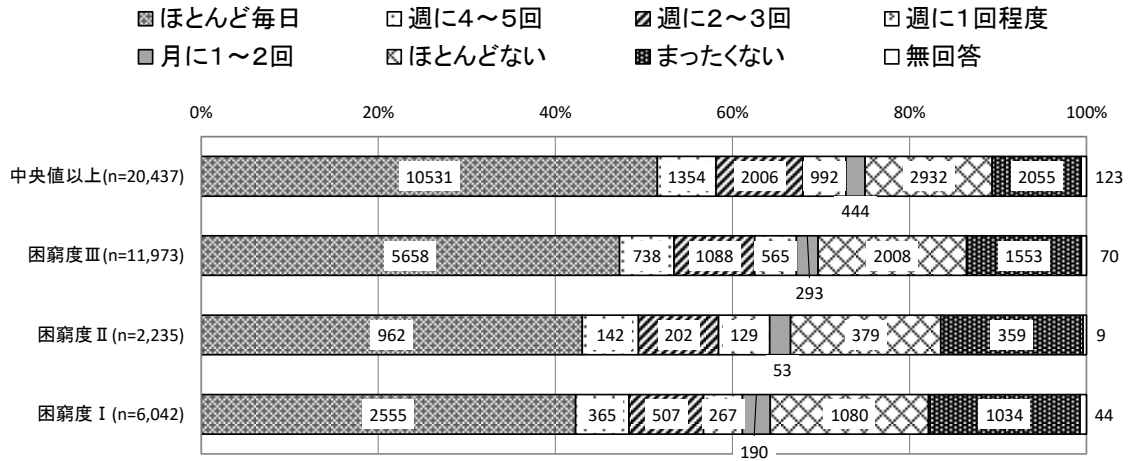
非正規や無業など、保護者の就労状況が不安定化するにつれ、心身の気になることの項目数が増えることも明らかとなった。定期的に健康診断を受診している割合は、就労状況が不安定化するにつれ、低くなっている。健康診断を容易に受診できる雇用状況、時間的余裕などが受診率の差に現れていると想定される。

困窮度が深刻化するにつれ、保護者の「将来の希望」「幸せだと思う」「生活を楽しむ」などの回答が低くなる傾向が見られた。現在の生活状況の不安定さが幸福感にも影響を与えていることが明らかとなっている。保護者自身の生活の不安感、幸福度の低さなどが子どもにも何らかの影響を与えていると推測される。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）（子ども票問 10-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

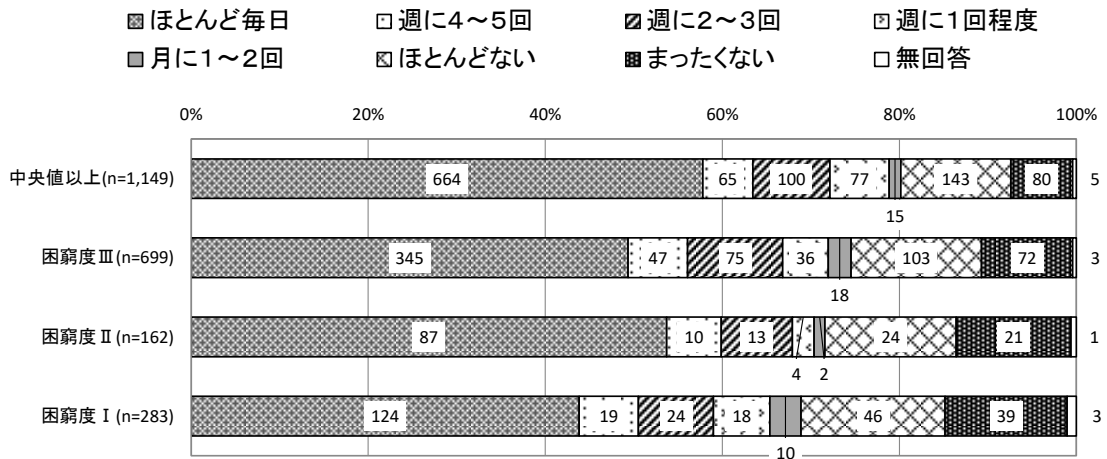
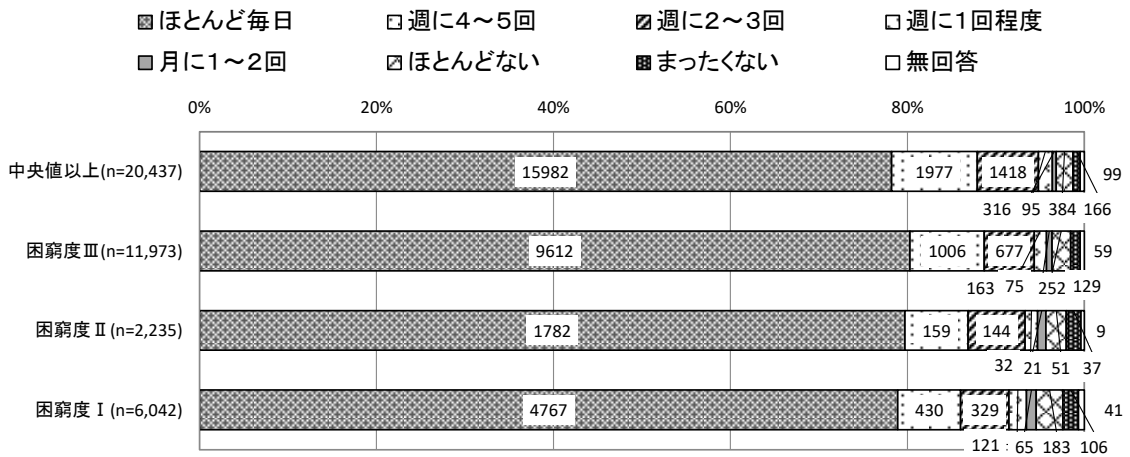


図 172. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくない」と回答した人の割合が高くなる。困窮度Ⅰ群では、「まったくない」が 13.8%、「ほとんどない」が 16.3%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）（子ども票問 10-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

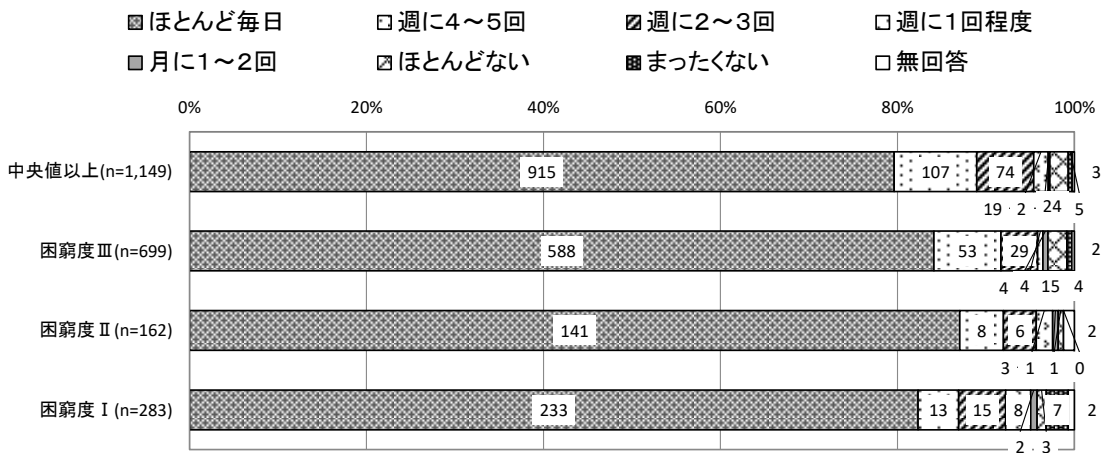
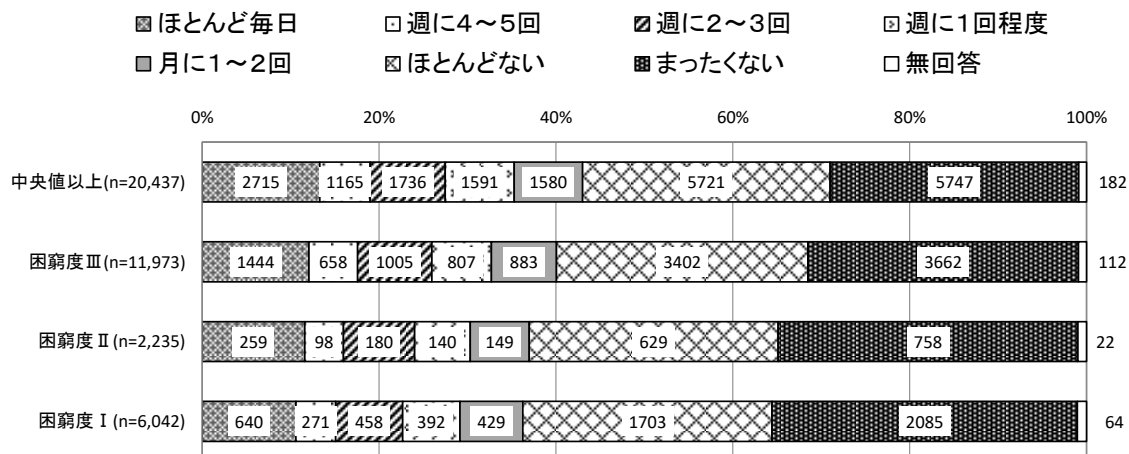


図 173. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が 87.0%と高くなっている。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）
（子ども票問 10-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

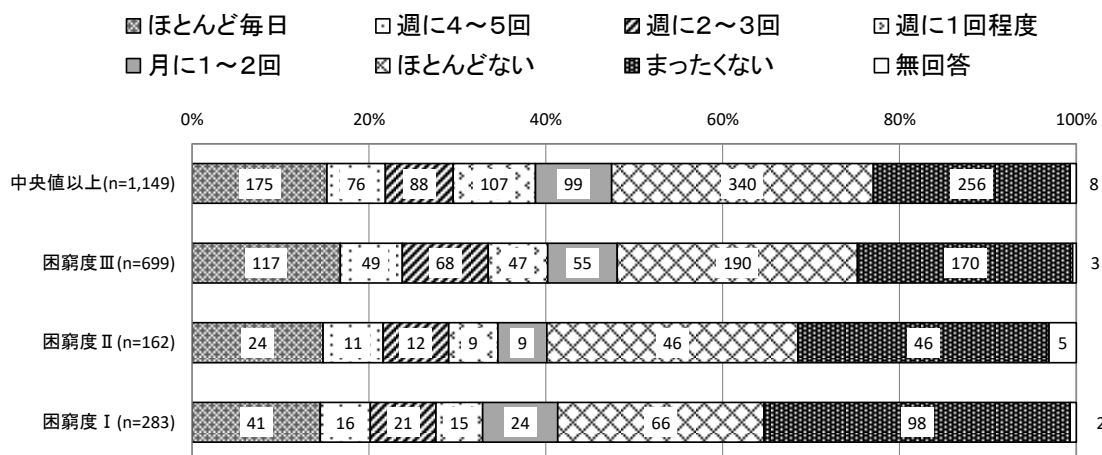
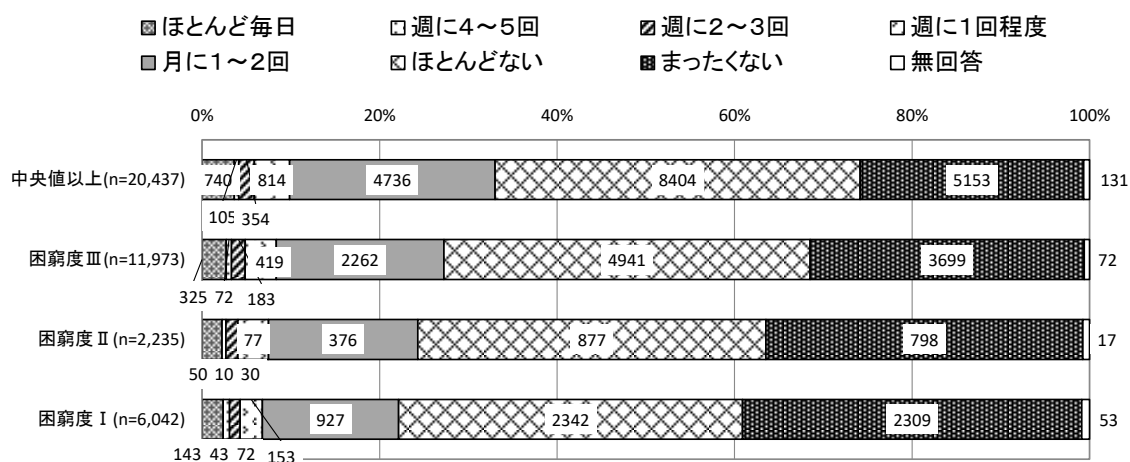


図 174. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくない」と回答した人は34.6%である。また、困窮度Ⅲ群において、「ほとんど毎日」・「週に4~5回」・「週に2~3回」の割合がやや高い。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）（子ども票問 10-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

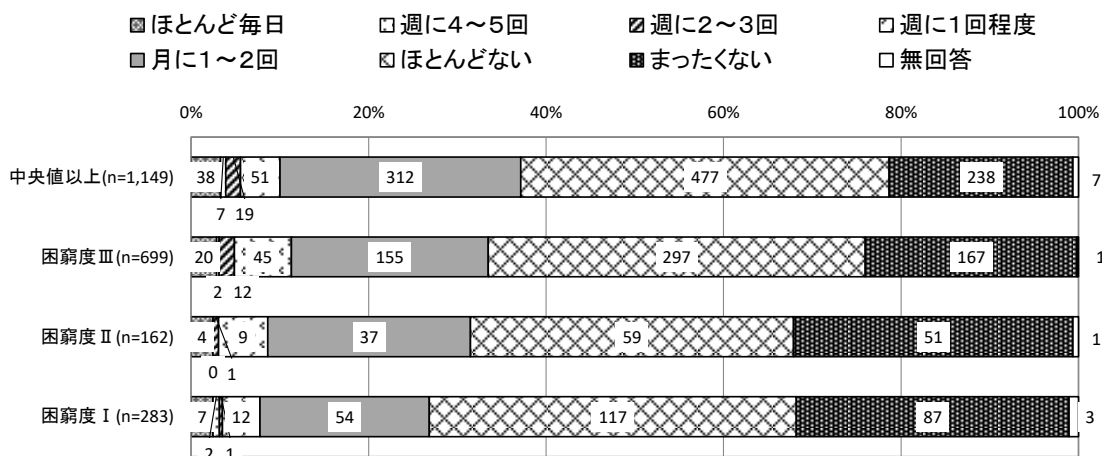


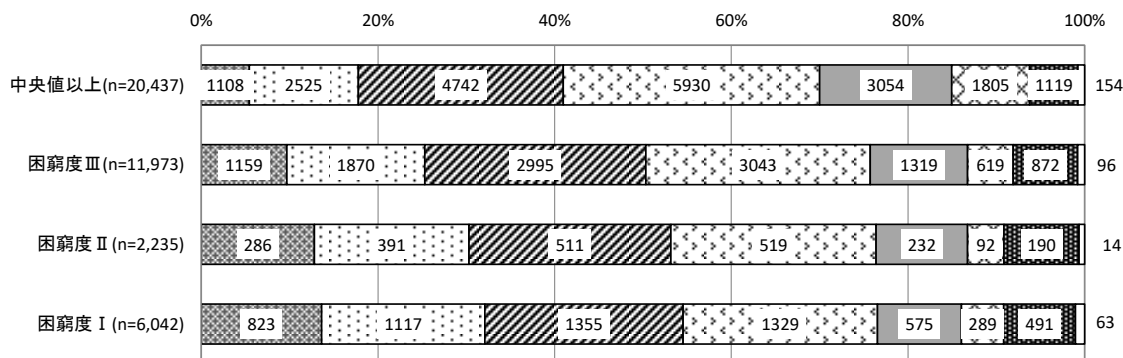
図 175. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「ほとんどない」・「まったくない」と回答した人の割合が高い。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどない」と回答した人は41.3%、「まったくない」と回答した人は30.7%である。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問 14）

<大阪府内全自治体>

- まったくしない
- 30分より少ない
- ▨ 30分以上、1時間より少ない
- ▤ 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- ▧ 3時間以上
- わからない
- 無回答



<大阪府 30 市町村>

- まったくしない
- 30分より少ない
- ▨ 30分以上、1時間より少ない
- ▤ 1時間以上、2時間より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- ▧ 3時間以上
- わからない
- 無回答

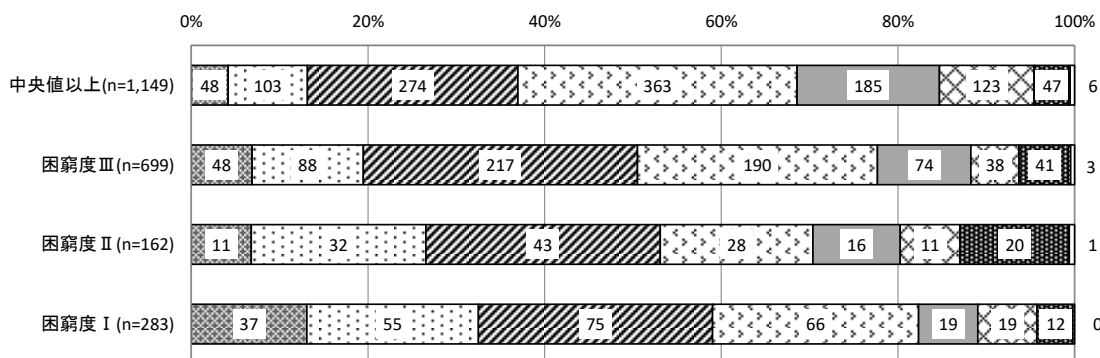


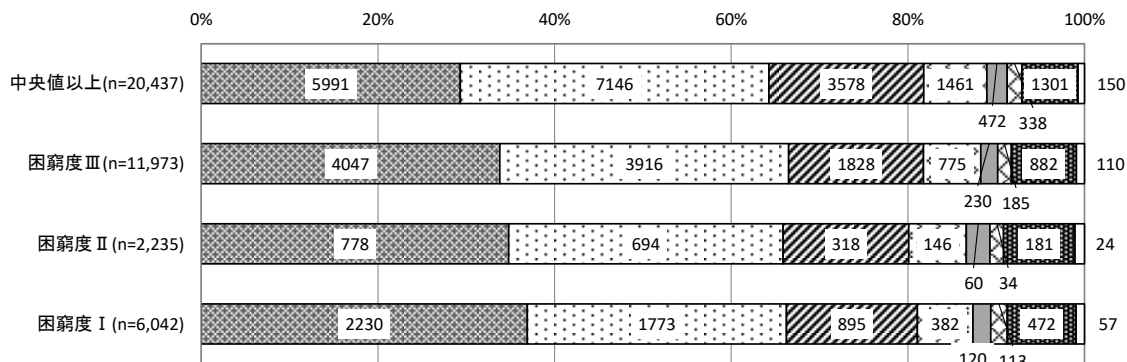
図 176. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間

困窮度別の授業以外の勉強時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」・「30分より少ない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は13.1%である。また、困窮度Ⅱ群において「わからない」と回答した人の割合が高い。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 16）

<大阪府内全自治体>

- まったくしない
- ▨ 1時間以上、2時間より少ない
- わからない
- ▨ 30分より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 無回答
- ▨ 30分以上、1時間より少ない
- ▨ 3時間以上



<大阪府 30 市町村>

- まったくしない
- ▨ 1時間以上、2時間より少ない
- わからない
- ▨ 30分より少ない
- 2時間以上、3時間より少ない
- 無回答
- ▨ 30分以上、1時間より少ない
- ▨ 3時間以上

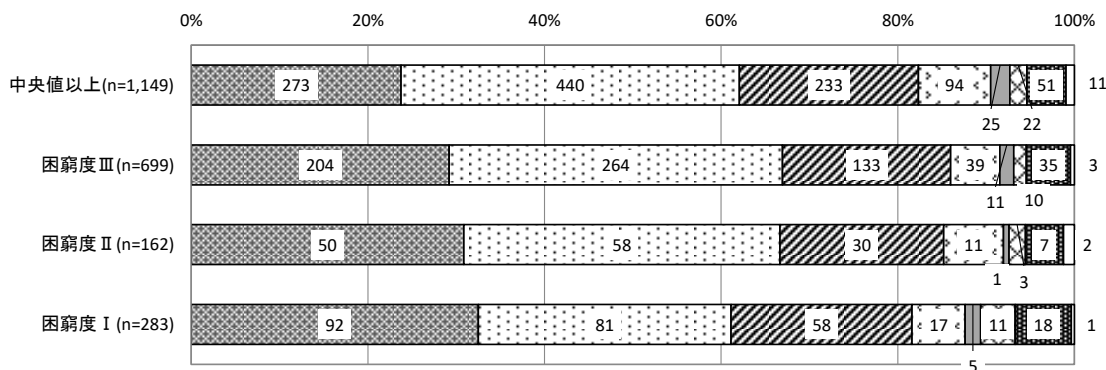
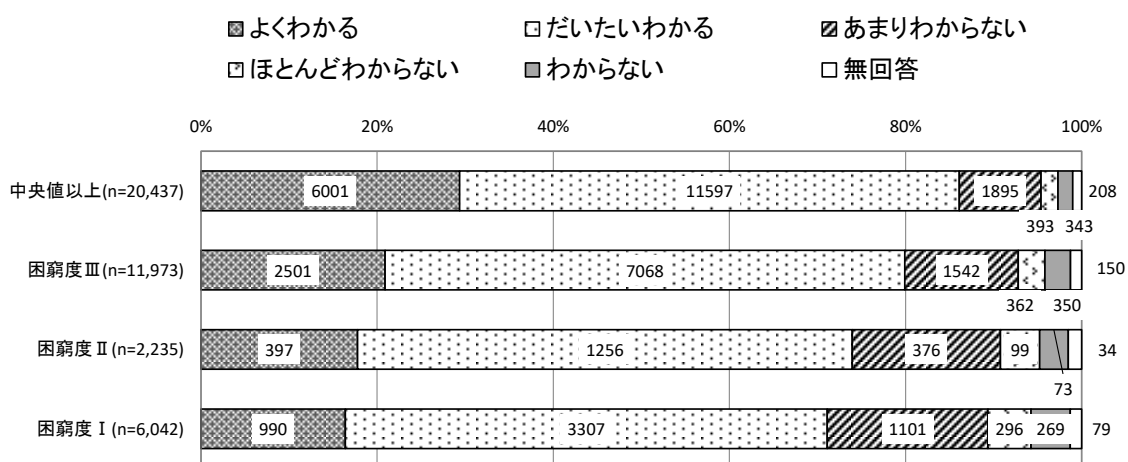


図 177. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別の授業以外の読書時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は32.5%である。

困窮度別に見た、学習理解度（子ども票問 15）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

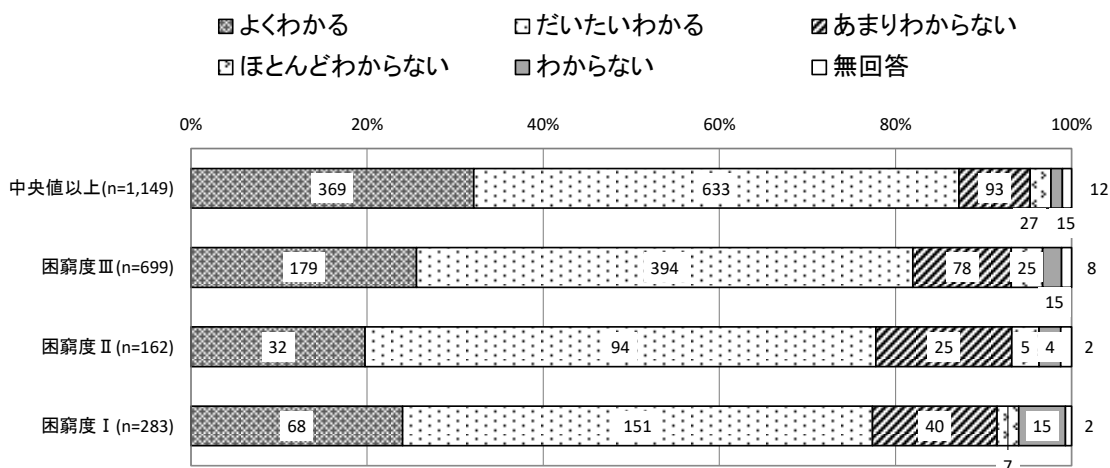


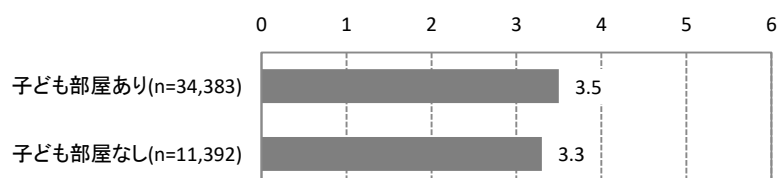
図 178. 困窮度別に見た、学習理解度

困窮度別の学習理解度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「あまりわからない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「あまりわからない」と回答した人は 14.1%である。また、「よくわかる」と回答した人は中央値以上群で最も高く、32.1%である。

子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値（子ども票 22×子ども票間 14）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

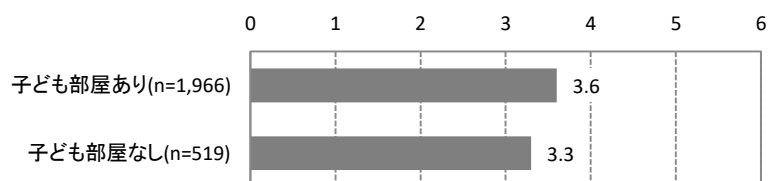
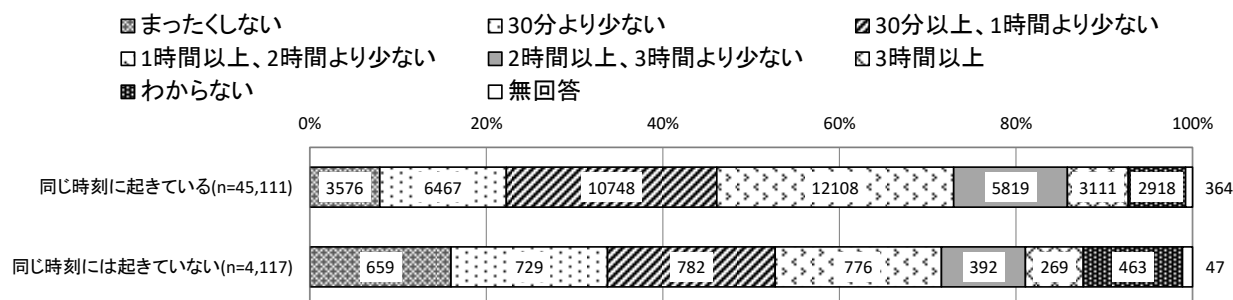


図 179. 子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値

子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問2×子ども票問14）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

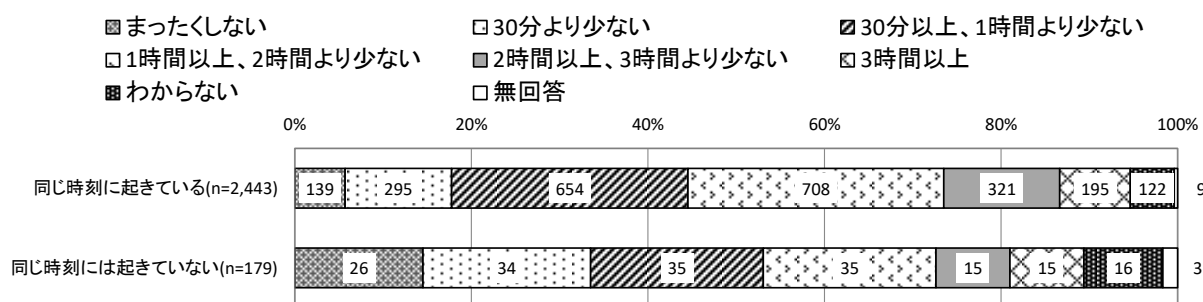


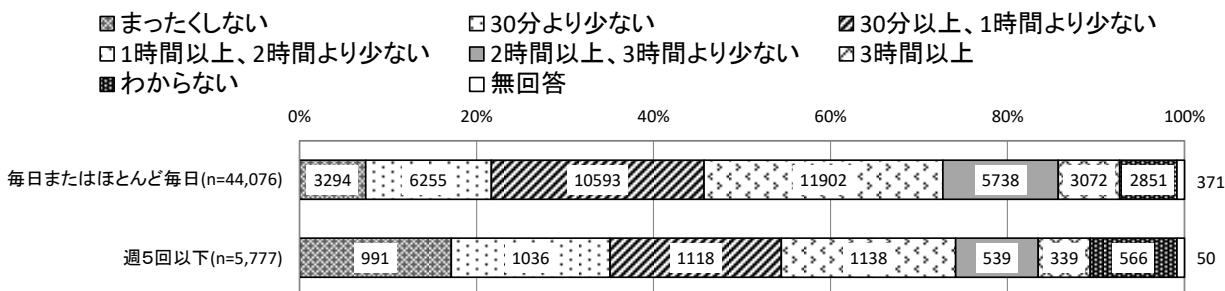
図 180. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問2において「起きている」「どちらかと言えば、起きている」と回答した子どもを「同じ時刻に起きている」、「あまり、起きていない」「起きていない」と回答した子どもを「同じ時刻には起きていない」としている。

起床時間の規則性別に授業以外の勉強時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」、「2時間以上、3時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は14.5%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問 5-1×子ども票問 14）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

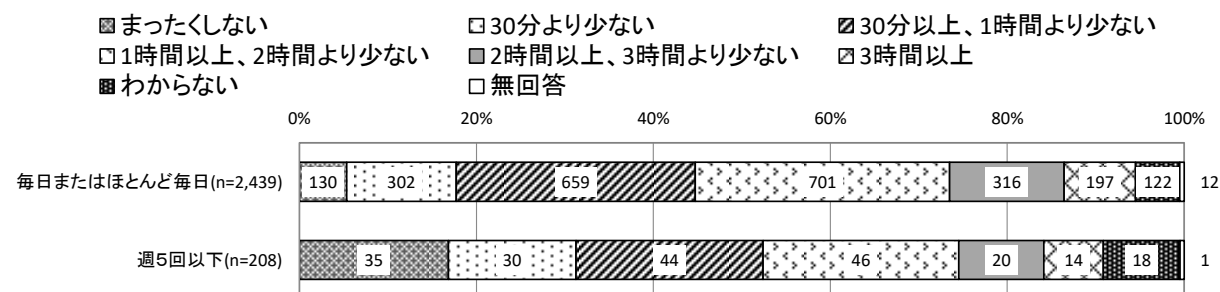


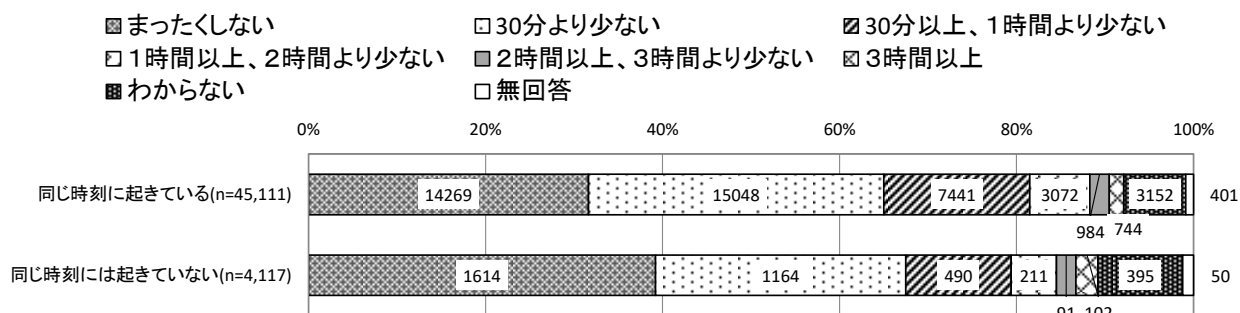
図 181. 朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問 5 において「毎日またはほとんど毎日」と回答した子どもを「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週 5 回以下」としている。

朝食の頻度別に授業以外の勉強時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 5.3%であり「週 5 回以下」の子どもよりも少ない。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30 分以上、1 時間より少ない」「1 時間以上、2 時間より少ない」「2 時間以上、3 時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 27.0%、28.7%、13.0%であり、「週 5 回以下」朝食をとる子どもよりも割合が高い。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問16）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

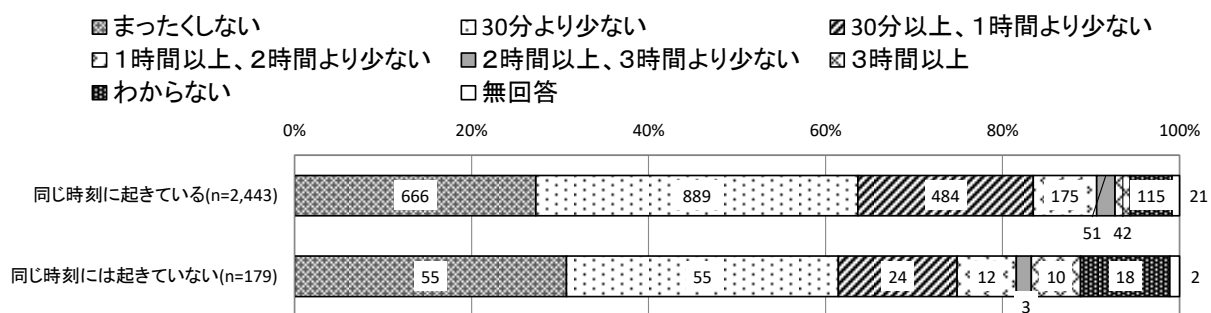
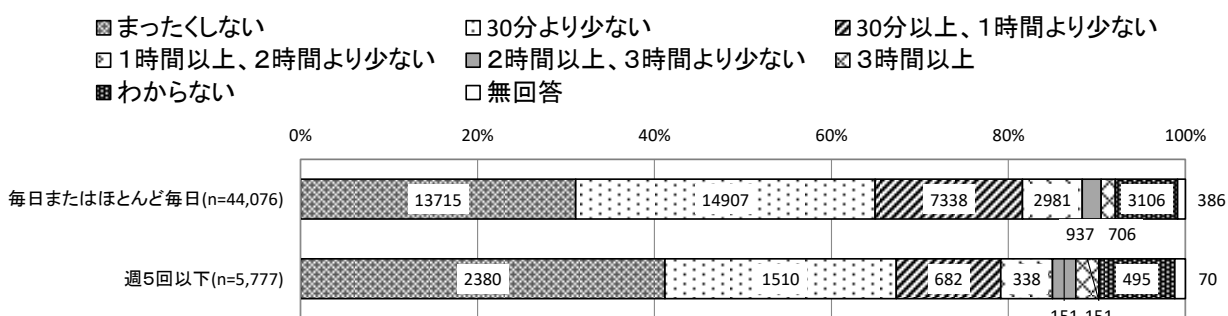


図 182. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は30.7%とわずかに割合が高い。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 5-1×子ども票問 16）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

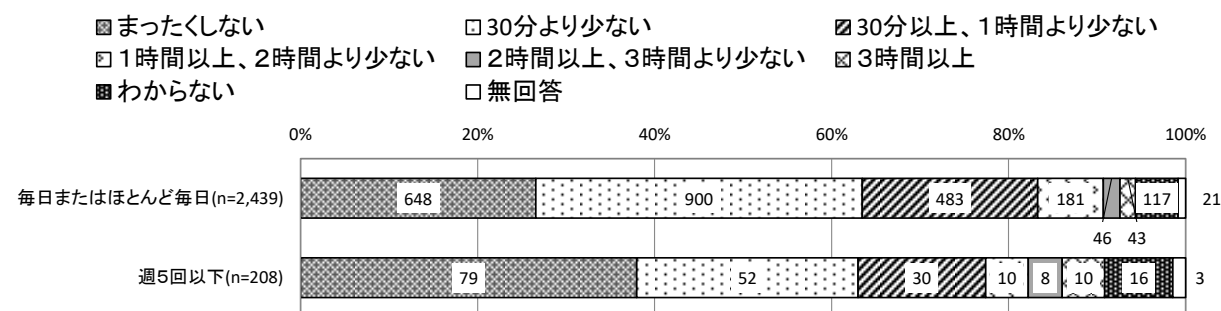


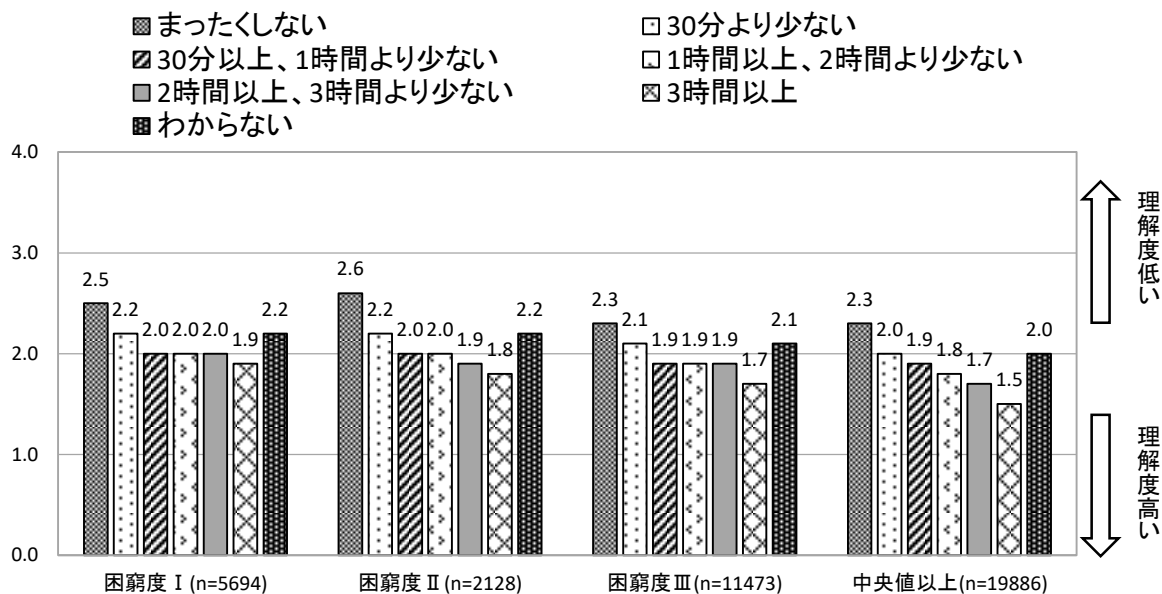
図 183. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 26.6%であり「週5回以下」の子どもよりも少ない。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 36.9%、19.8%であり、「週5回以下」朝食をとる子どもよりも割合が高い。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連（子ども票問 14&子ども票問 15）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで4項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

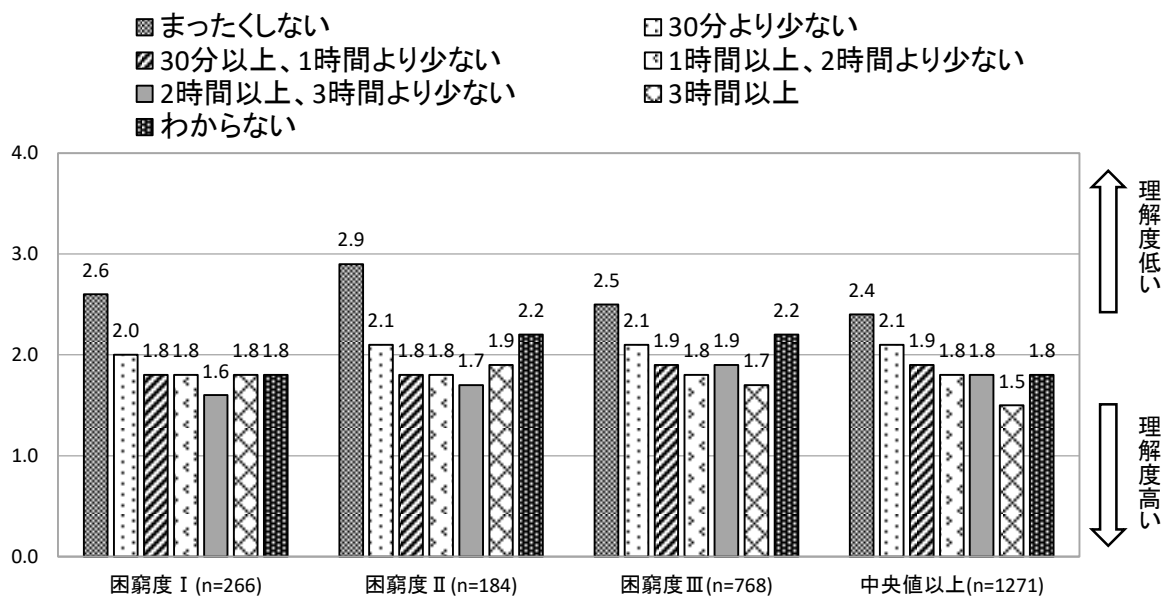
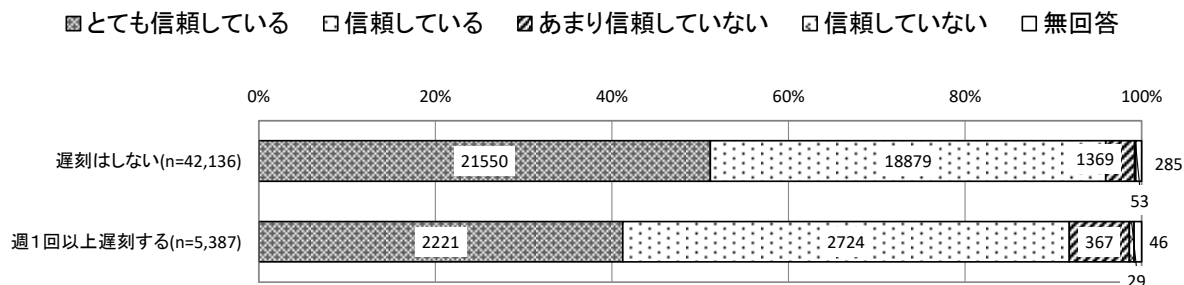


図 184. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連

困窮度別の授業以外の勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まるが、それ以外の群の子どもは「まったくしない」の学習理解度はほかに比べて下がるが、学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

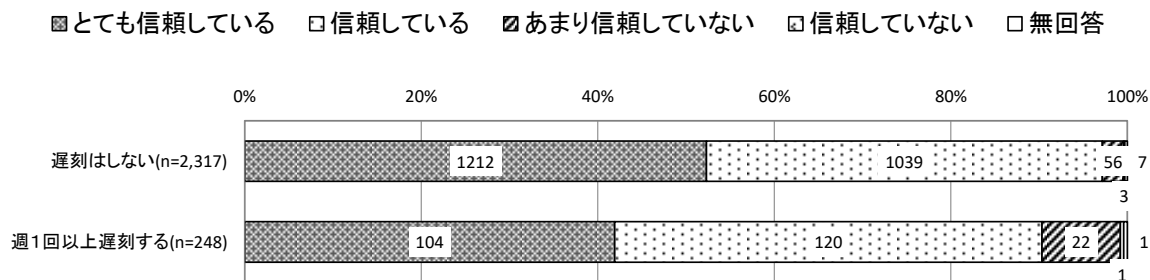


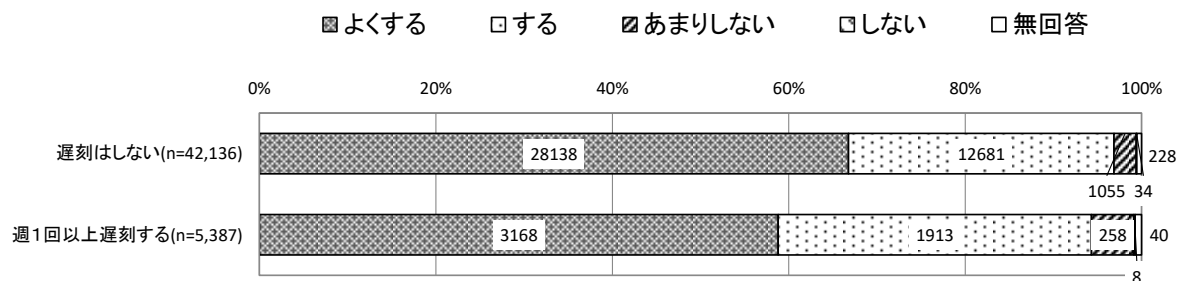
図 185. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

ここでは、子ども票問9において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週1回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が高く、52.3%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が高く、8.9%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

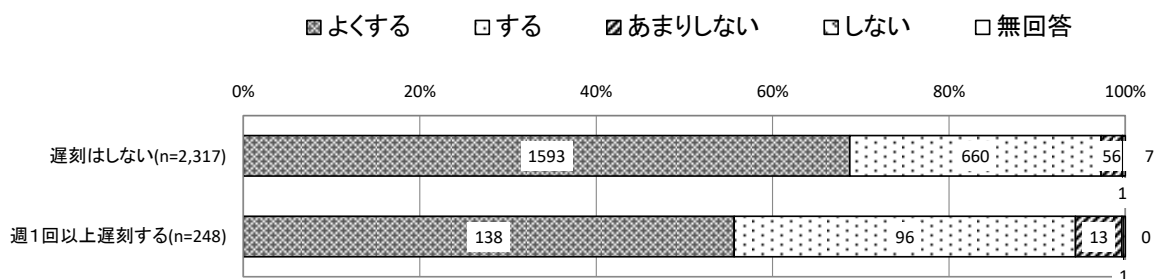


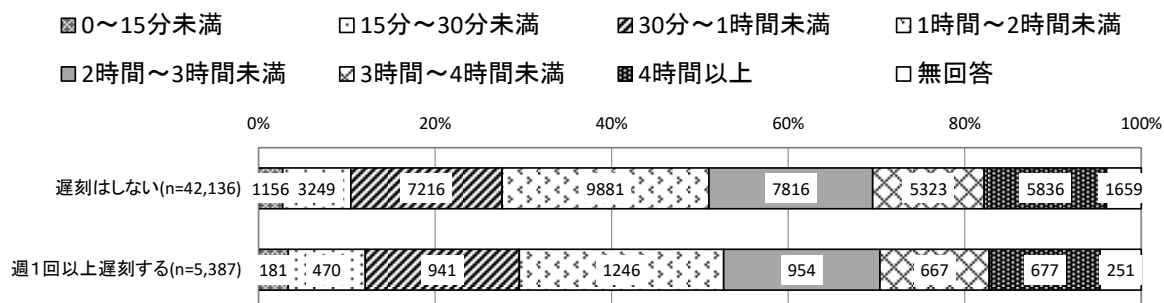
図 186. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

ここでは、子ども票問9において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週1回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は会話を「よくする」割合が高く、68.8%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、保護者は会話を「あまりしない」割合が高く、5.2%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
 （子ども票問 9×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

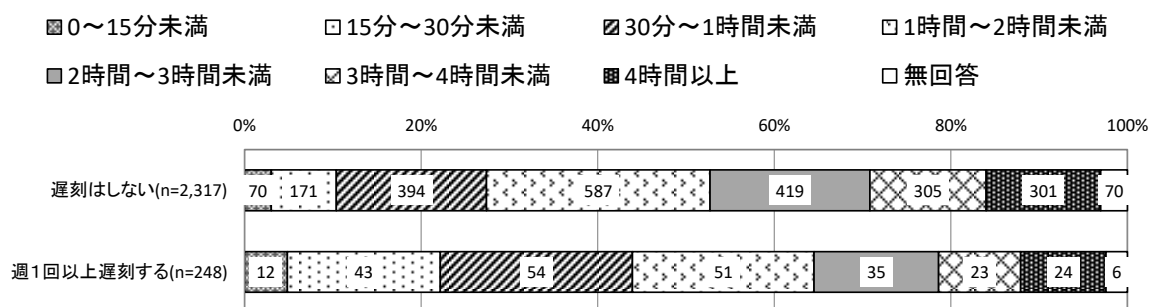
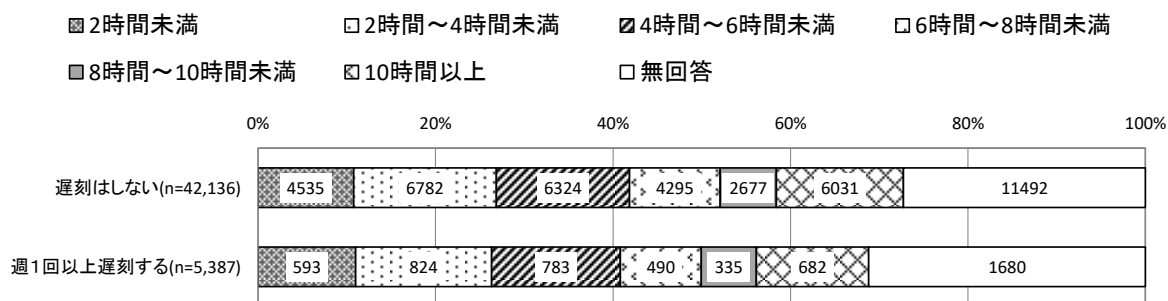


図 187. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」の割合が高く、それぞれ 25.3%、18.1%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、「15分～30分未満」「30分～1時間未満」の割合が高く、それぞれ 17.3%、21.8%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））
 （子ども票問 9 × 保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

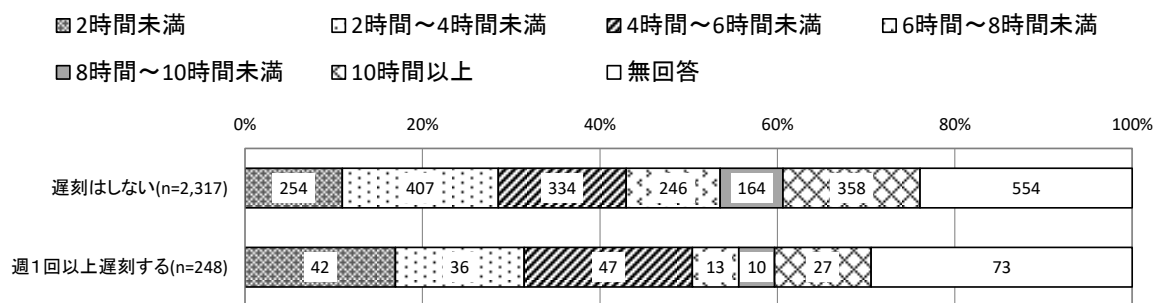
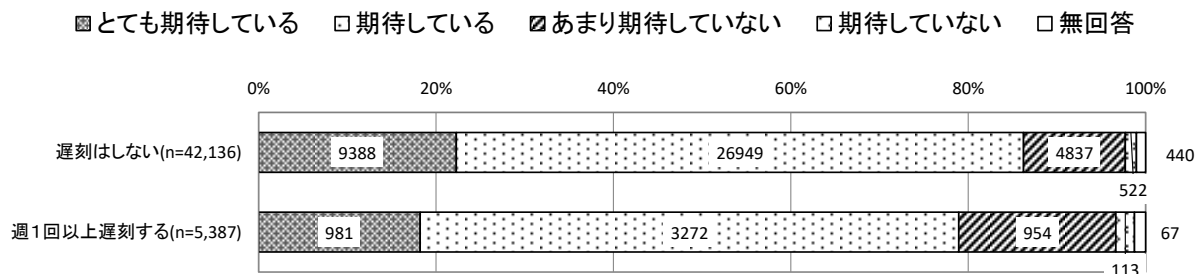


図 188. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「2時間～4時間未満」「6時間～8時間未満」「8時間～10時間以上」「10時間以上」の割合が高く、それぞれ17.6%、10.6%、7.1%、15.5%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、「2時間未満」の割合が高く、16.9%である。また、いずれも無回答の割合が高い。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

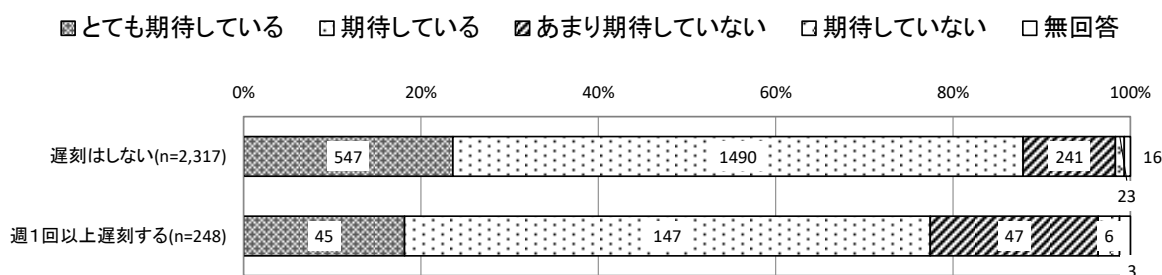
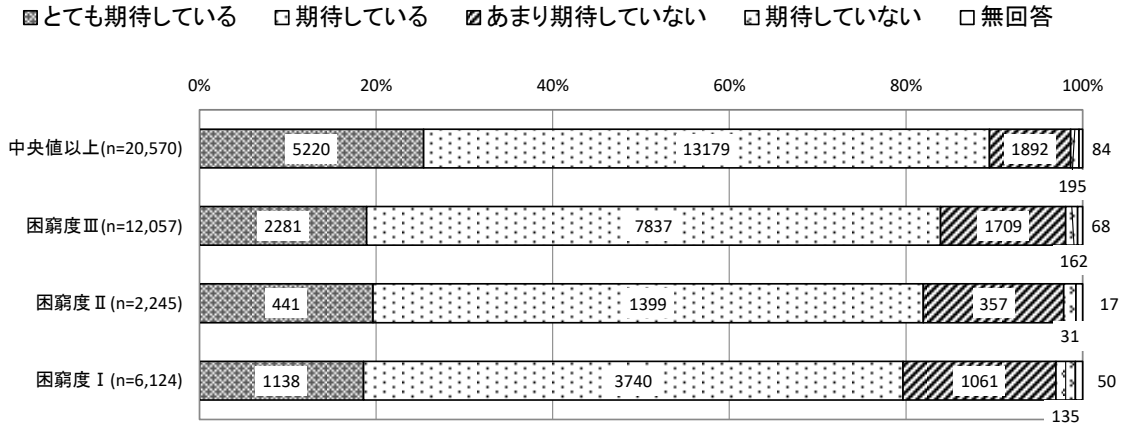


図 189. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は子どもの将来に「とても期待している」割合が高く、23.6%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、「あまり期待していない」の割合が高く、19.0%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの将来への期待）（保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

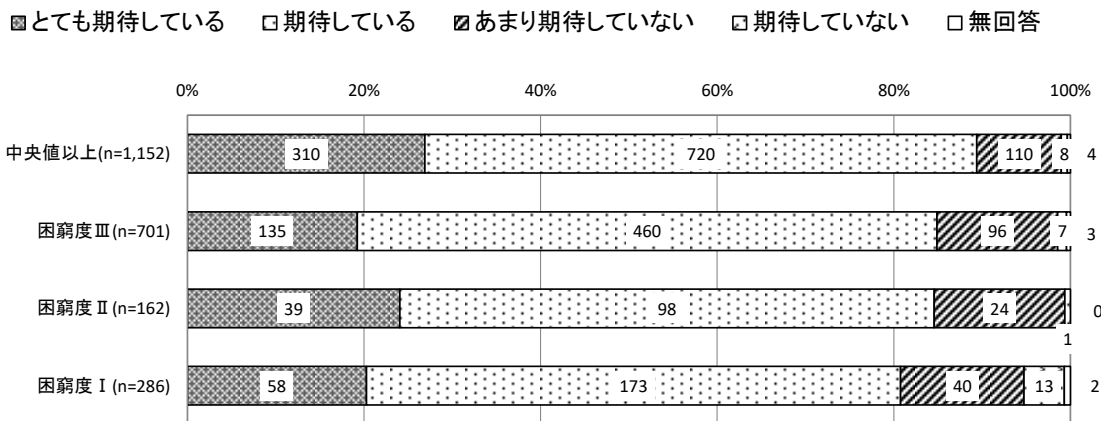
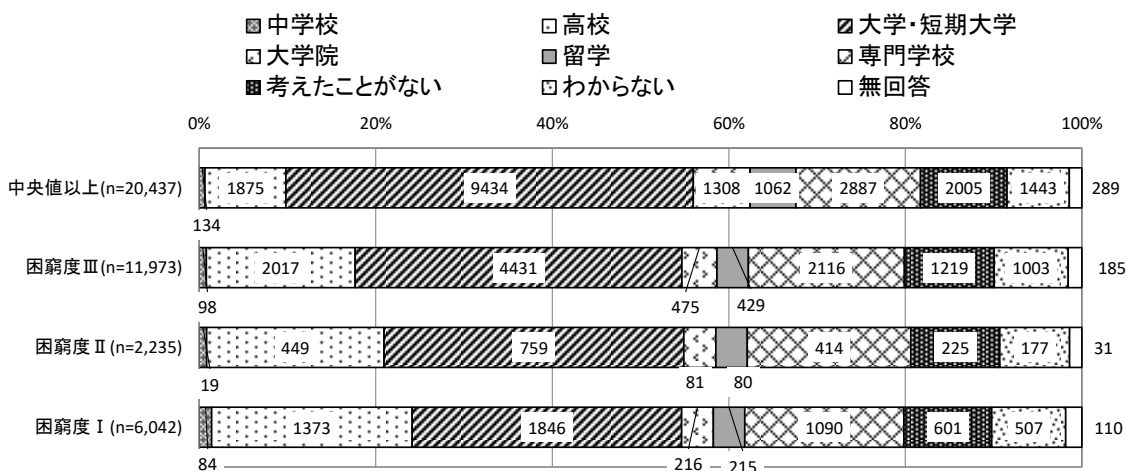


図 190. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの将来への期待）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「あまり期待していない」「期待していない」が増えている。困窮度Ⅰ群では、「あまり期待していない」「期待していない」を合計すると 18.5%である。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

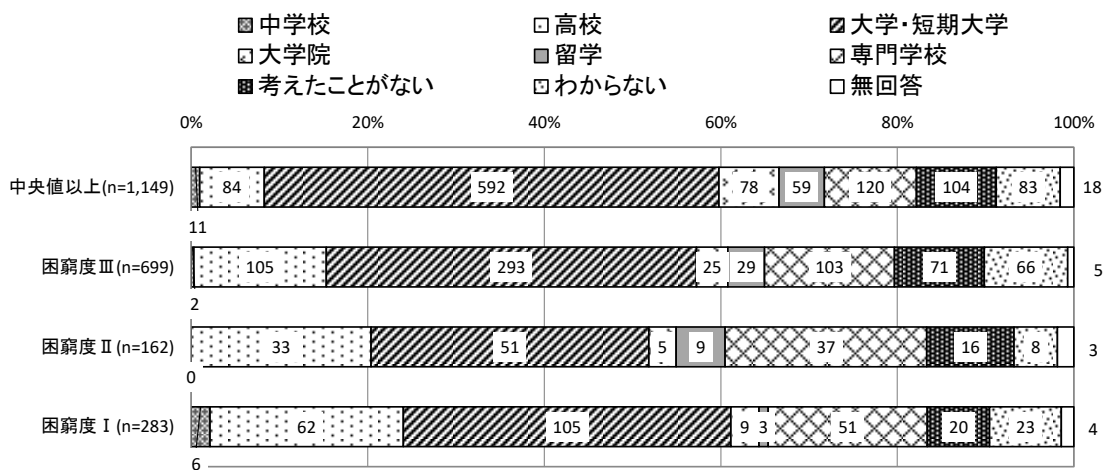
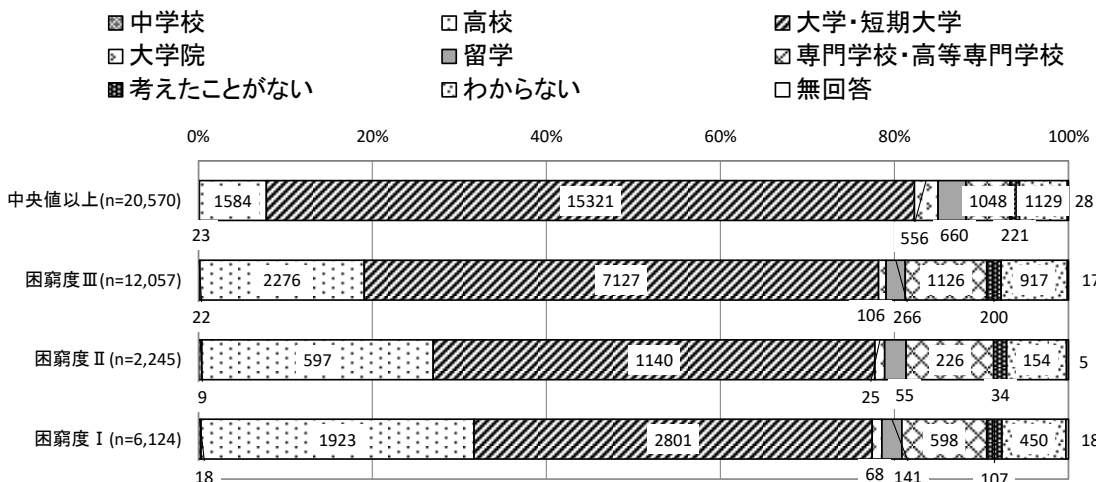


図 191. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合と「専門学校」と回答した子どもの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計 24.0%、「専門学校」と回答した子どもは 18.0%である。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は高く、51.5%である。

困窮度別に見た、子どもの進学予測（保護者票問 15）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

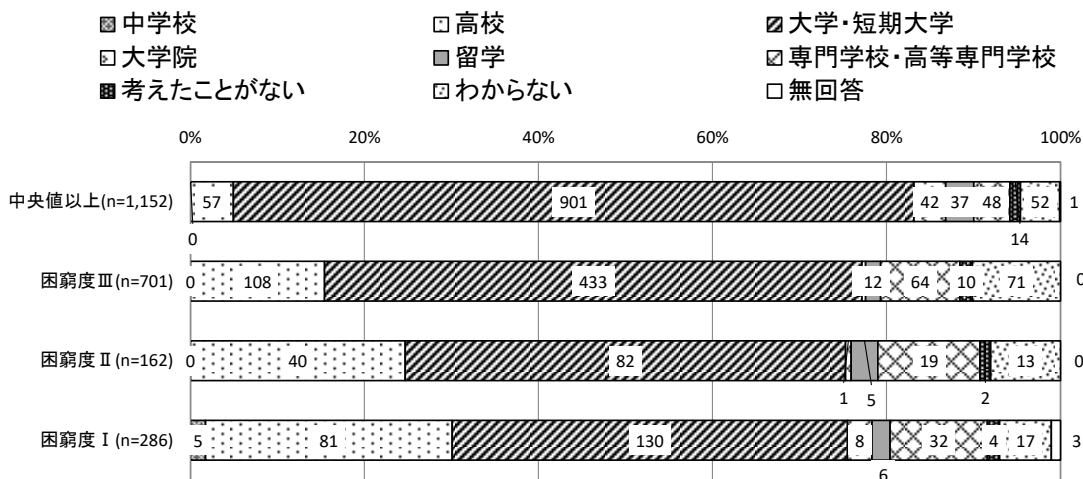
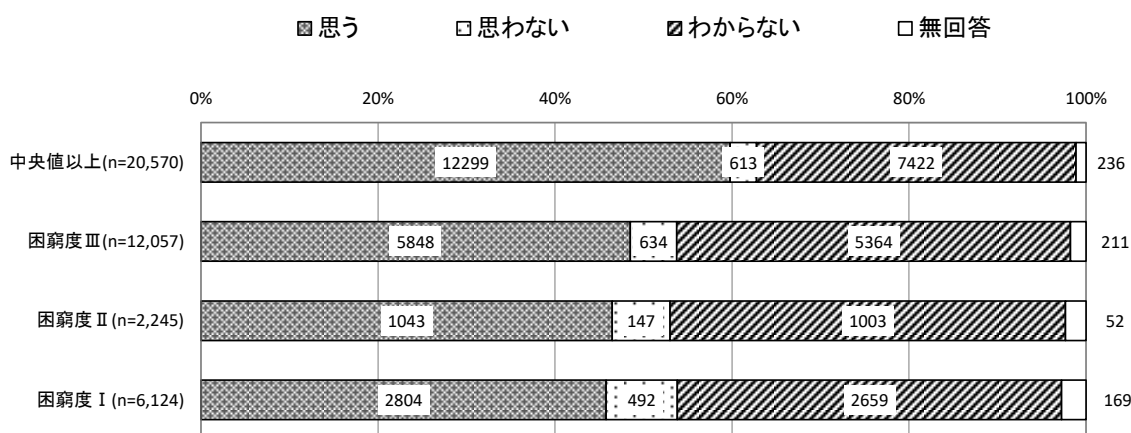


図 192. 困窮度別に見た、子どもの進学予測

困窮度別に子どもの進学予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合と「専門学校」と回答した子どもの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した人は合計 30.1%、「専門学校」と回答した人は 11.2%である。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は高く、78.2%である。

困窮度別に見た、子どもの進学達成予測（保護者票問 16）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

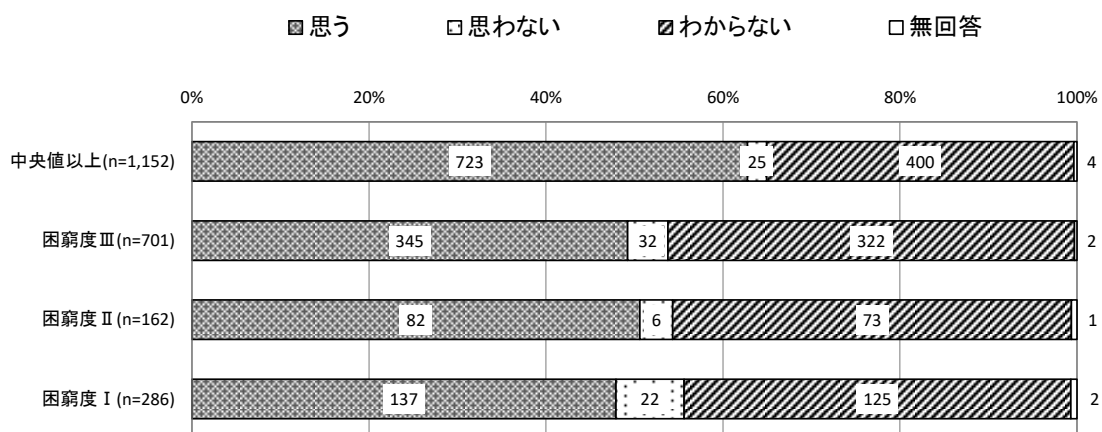
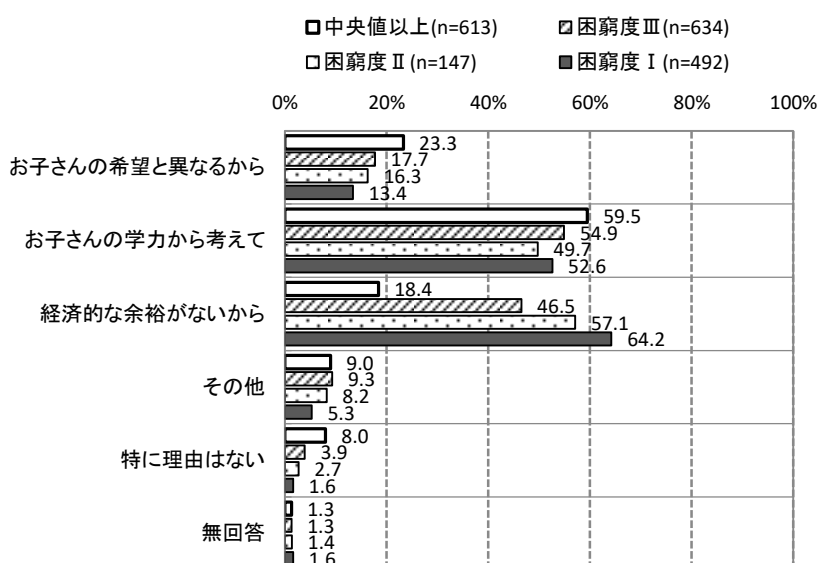


図 193. 困窮度別に見た、子どもの進学達成予測

困窮度別に子どもの進学達成予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「思わない」と回答した保護者の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「思わない」と回答した人は合計 7.7%である。中央値以上群において「思う」と回答した割合は高く、62.8%である。

困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由（保護者票問 17）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

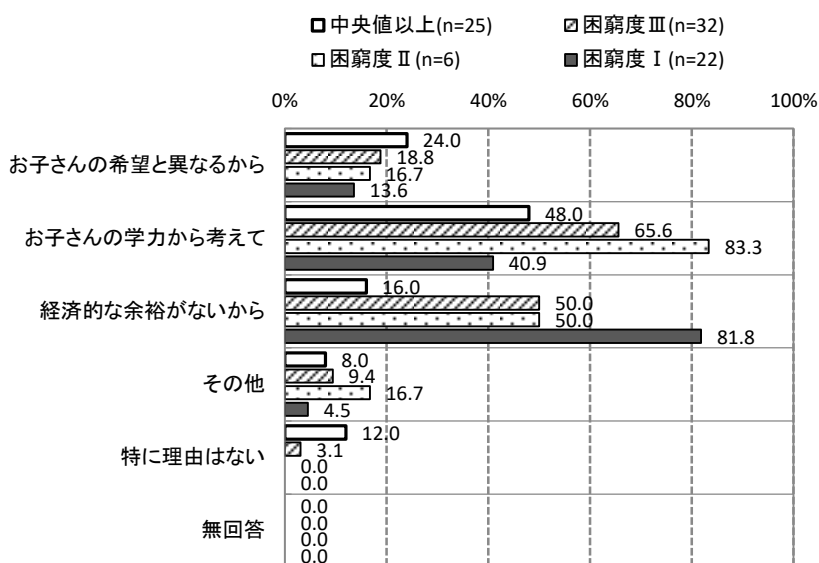
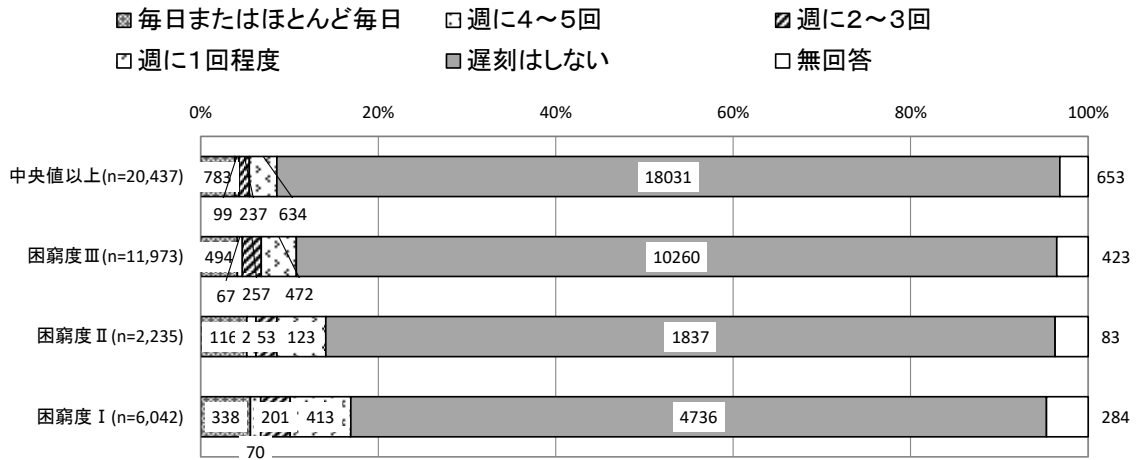


図 194. 困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由

困窮度別に子どもの進学達成「思わない」理由（保護者による）を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群とで最も差が大きいのは「経済的な余裕がないから」、次いで「お子さんの学力から考えて」である。困窮度Ⅰ群において「経済的な余裕がないから」と回答した人は81.8%である。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問9）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

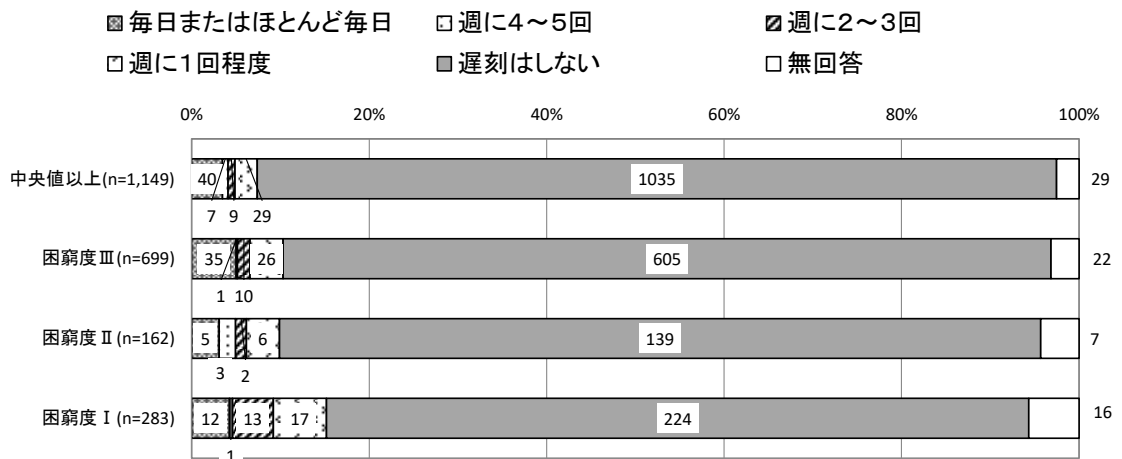
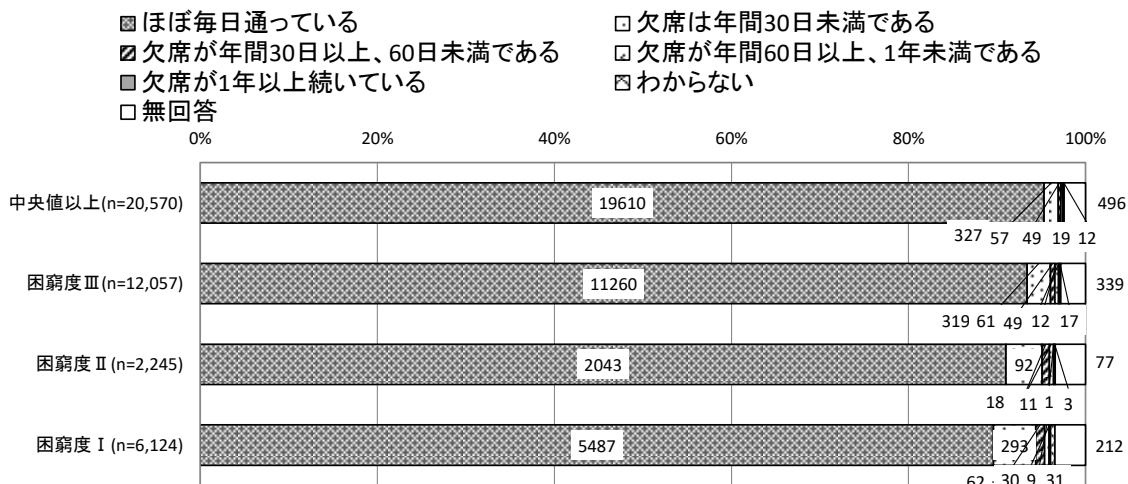


図 195. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、困窮度が高まるにつれ、週に1回以上遅刻をする子どもの割合が増える。困窮度Ⅰ群では、週に1回以上遅刻をする割合は15.2%である。また、困窮度が高まるにつれ、無回答の割合も高くなる。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

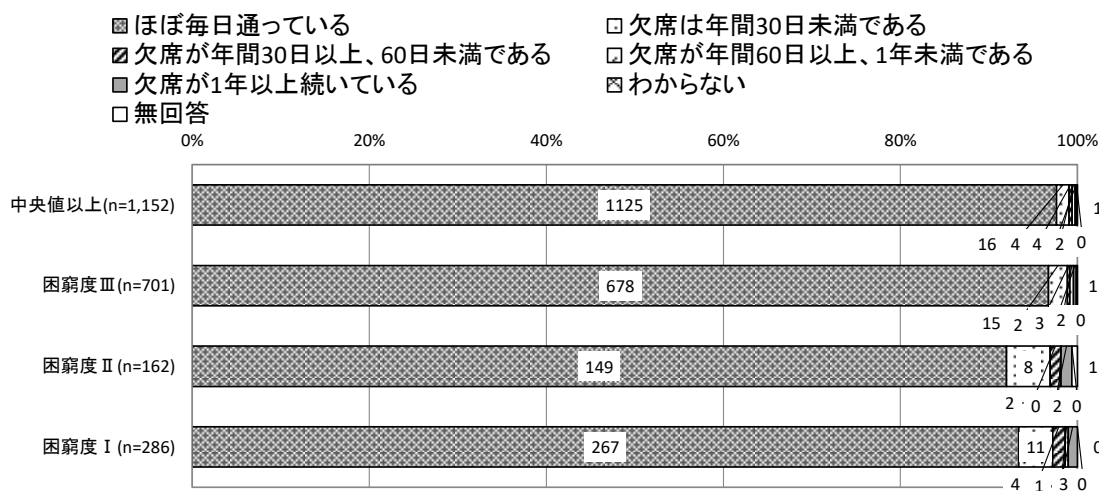
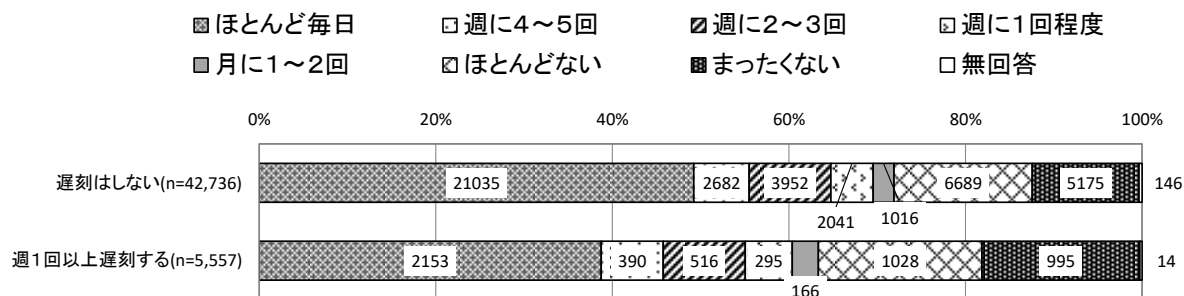


図 196. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、中央値以上群・困窮度Ⅲ群と、困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅰ群との間で「ほぼ毎日通っている」に差が見られる。困窮度Ⅱ群、困窮度Ⅰ群では、年間30日以上欠席している割合は2.5%、2.8%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

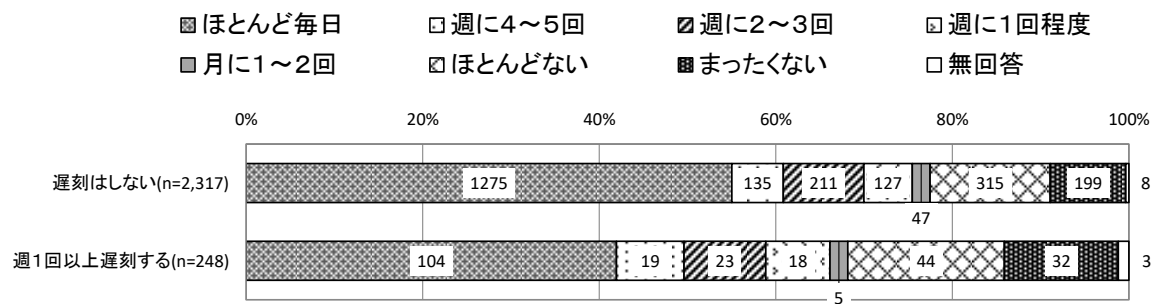
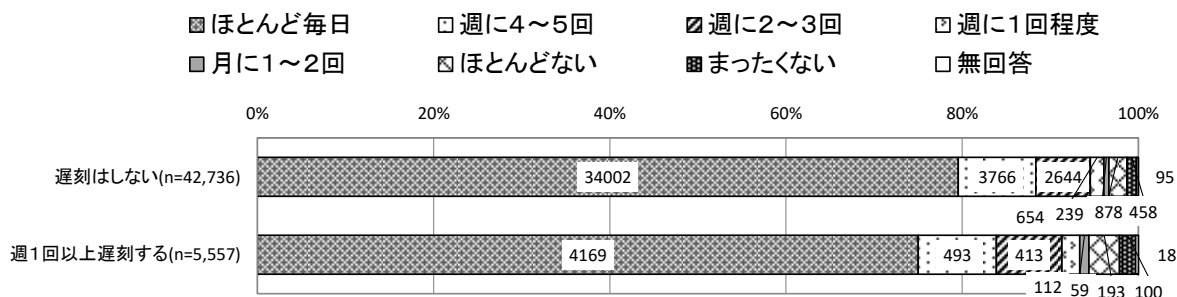


図 197. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が低く、41.9%である。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると30.6%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

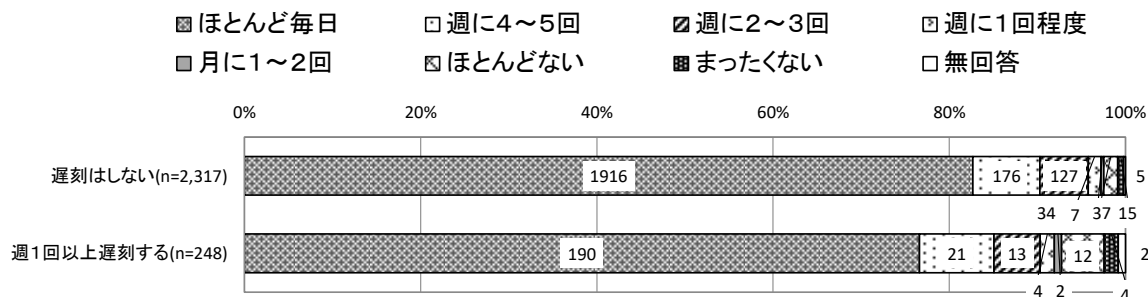
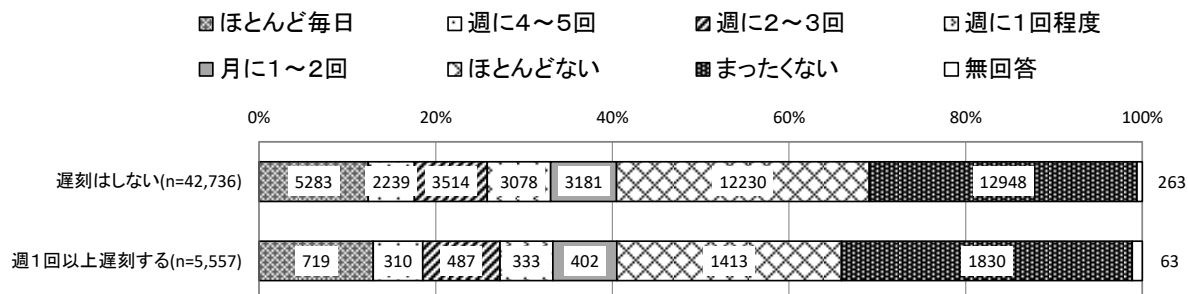


図 198. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が低く、76.6%である。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると6.5%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）
（子ども票問 9×子ども票問 10-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

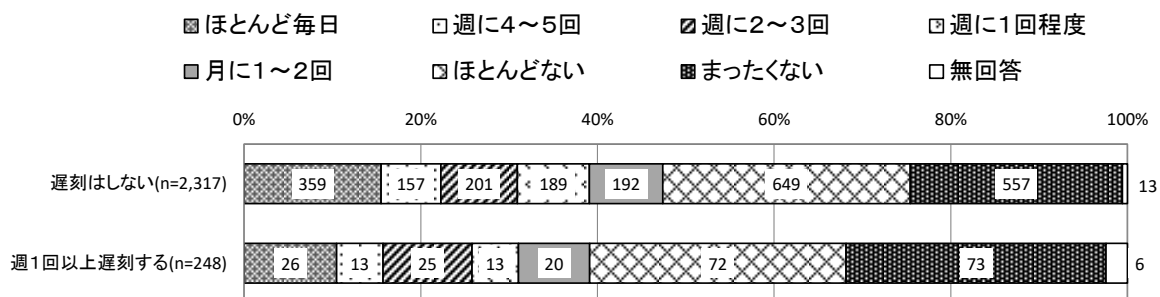
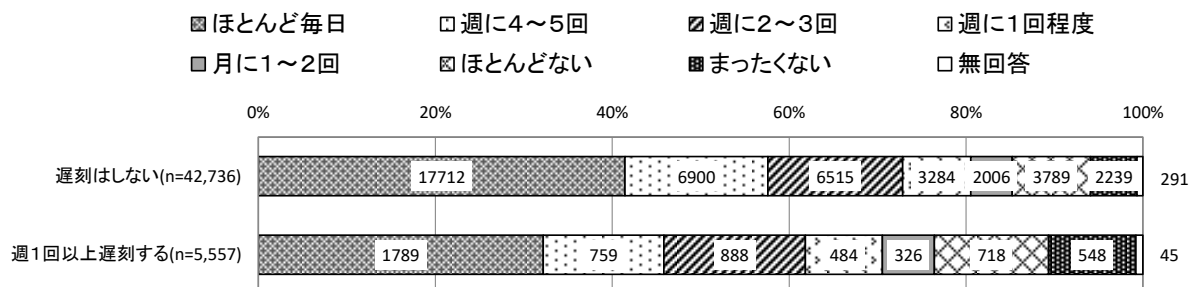


図 199. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると 58.5% である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-6）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

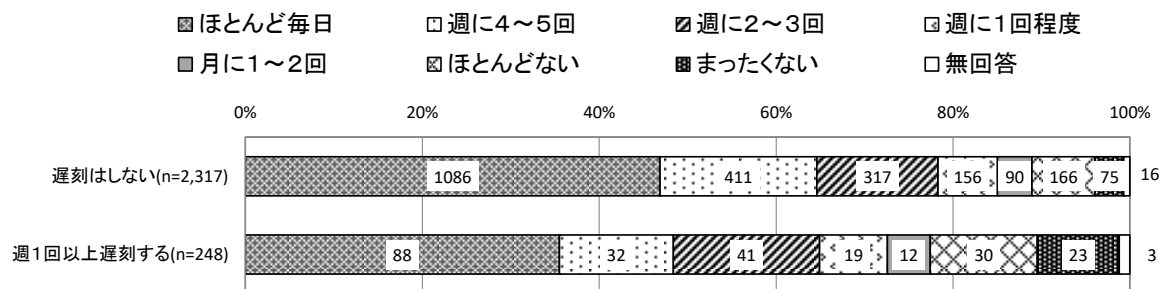
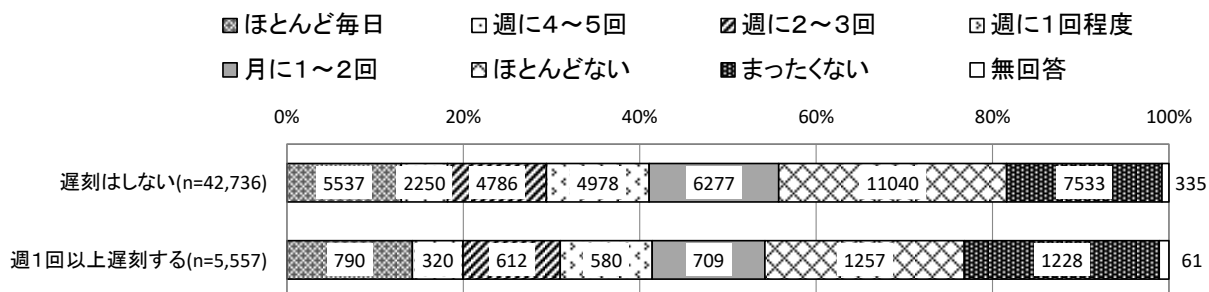


図 200. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると 21.4%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-7）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

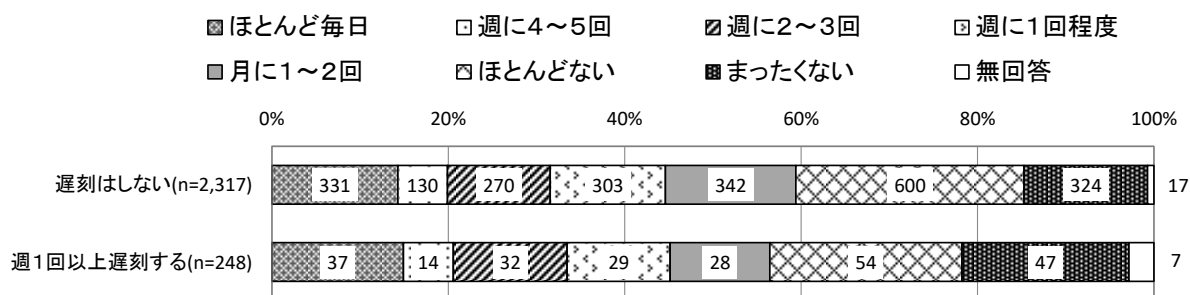
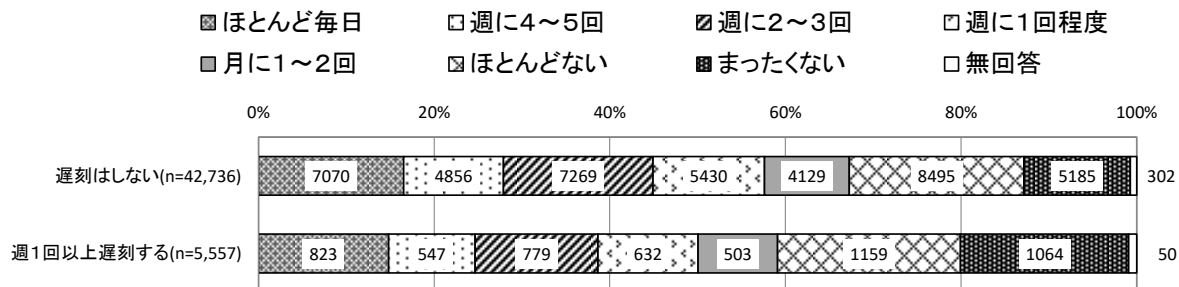


図 201. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が高く、19.0%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）
（子ども票問 9×子ども票問 10-8）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

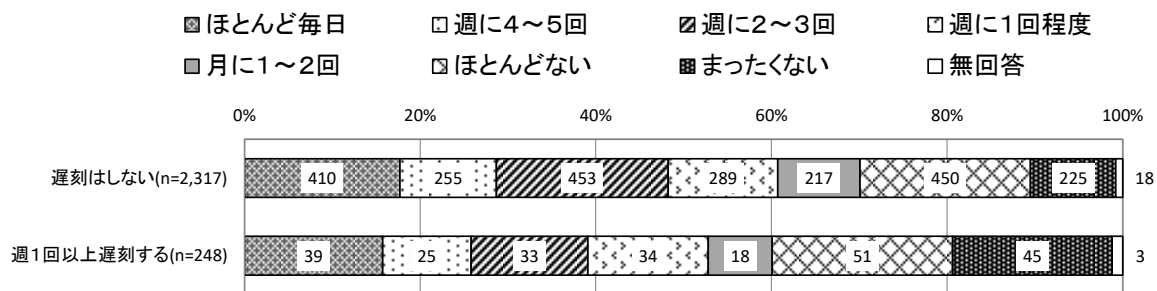
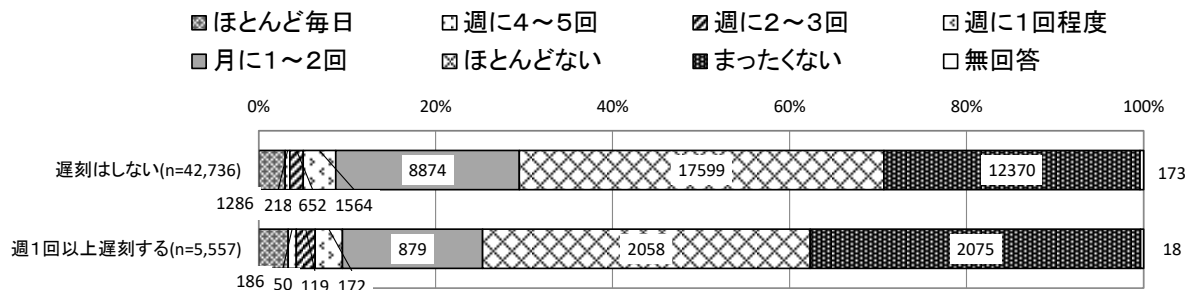


図 202. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が高く、18.1%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

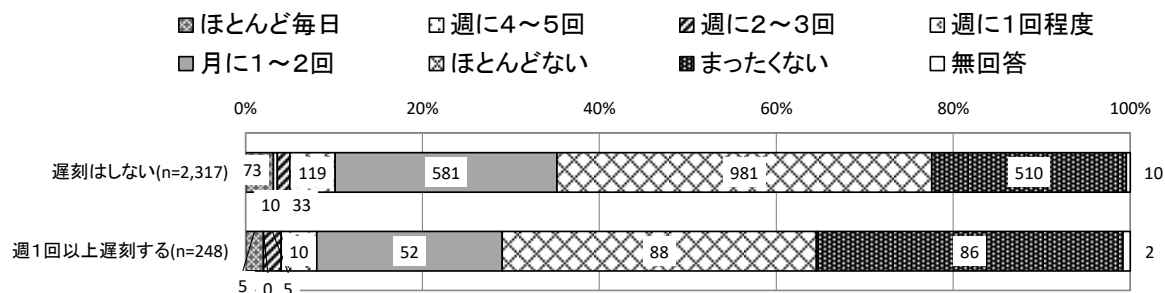
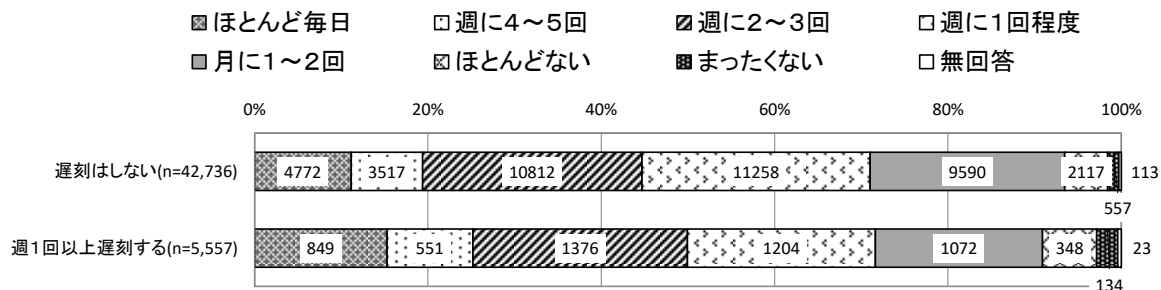


図 203. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が高く、34.7%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-10）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

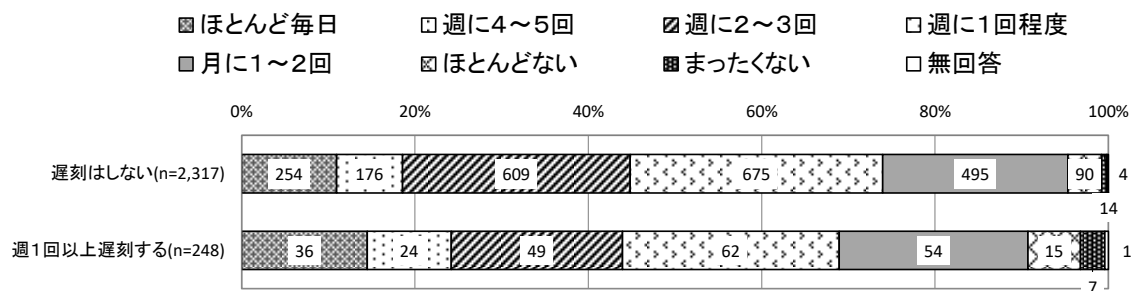
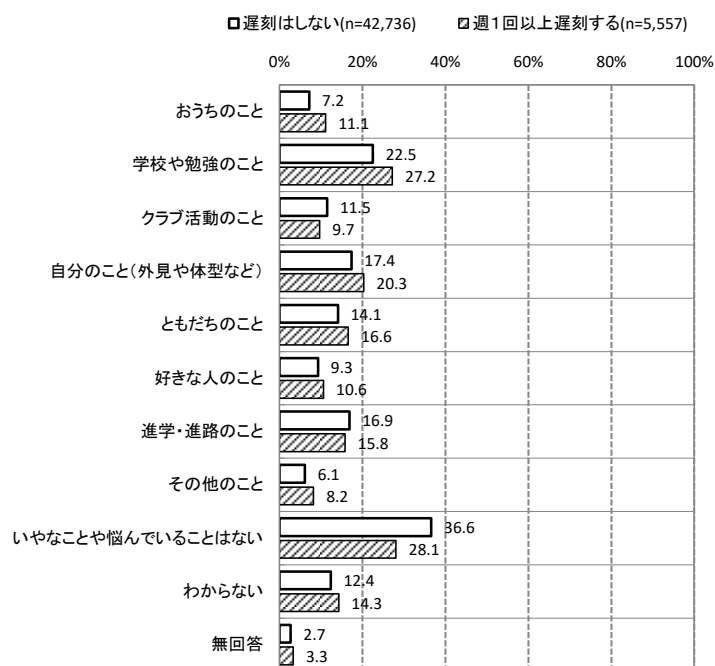


図 204. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が高く、14.5%である。

学校への遅刻別に見た、悩んでいること（子ども票問 9×子ども票問 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

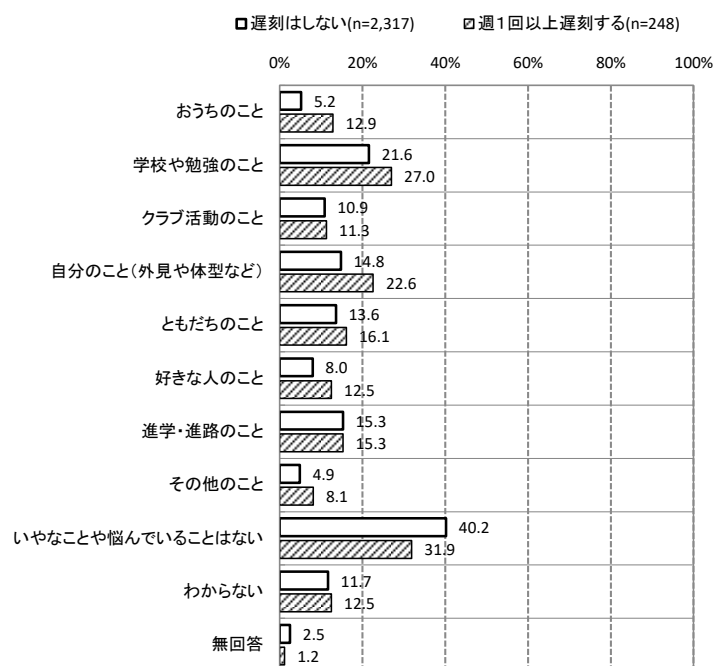
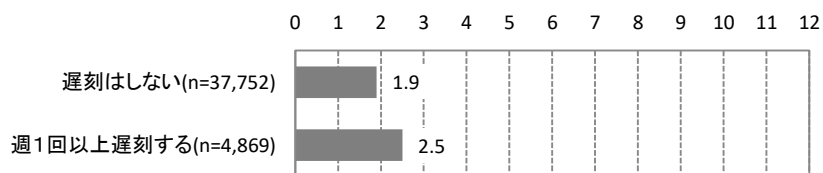


図 205. 学校への遅刻別に見た、悩んでいること

学校への遅刻別に子どもが悩んでいることを見ると、「週1回以上遅刻する」子どもの方が「遅刻はしない」子どもよりも、「自分のこと（外見や体型など）」では7.8ポイント、「おうちのこと」では7.7ポイント、「学校や勉強のこと」では5.4ポイント、回答した割合が高い。また、「遅刻はしない」子どもにおいては、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が40.2%に上った。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
 (子ども票問 9×子ども票問 21)

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

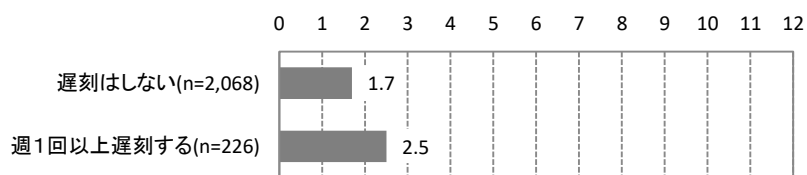


図 206. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

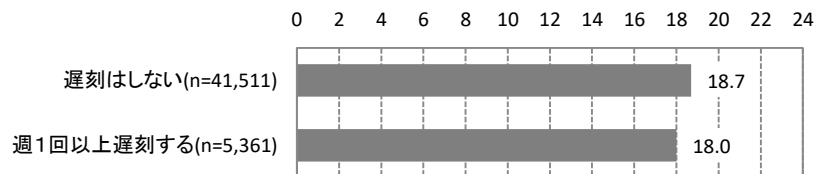
学校への遅刻別に子どもが自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、自分の体や気持ちで気になることが平均2.5個該当している。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

（子ども票問 9×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

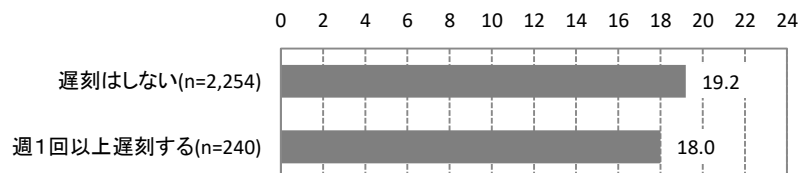
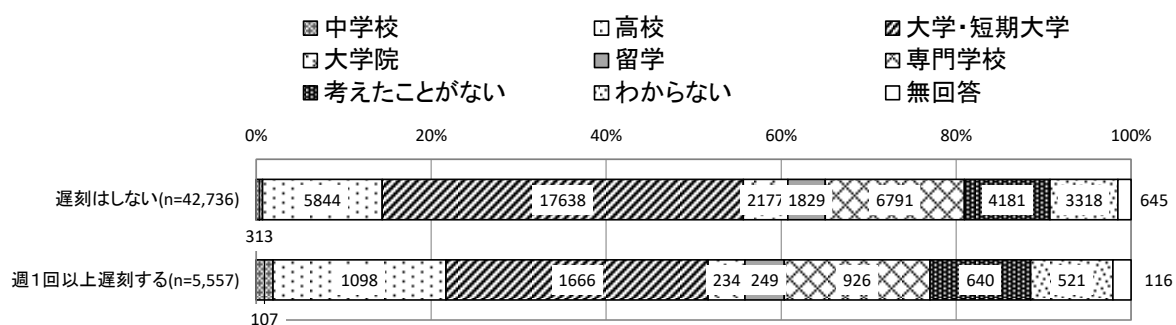


図 207. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問9×子ども票問24）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

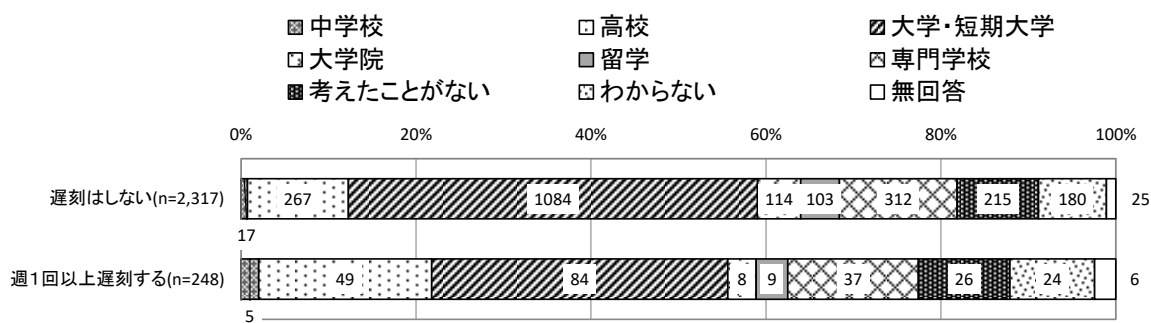


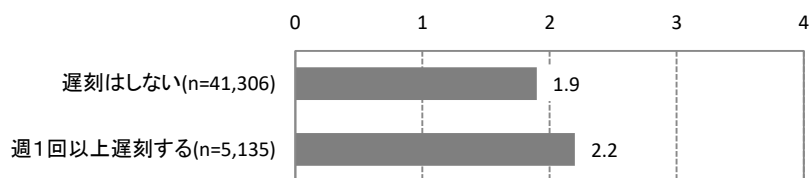
図 208. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に子どもの希望する進学先を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「中学校」「高校」と回答した割合が高く、合計すると 21.8%である。「遅刻はしない」子どもは、「大学・短期大学」と回答した割合が高く、46.8%である。

学校への遅刻別に見た、学習理解度（子ども票問9×子ども票問15）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで4項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

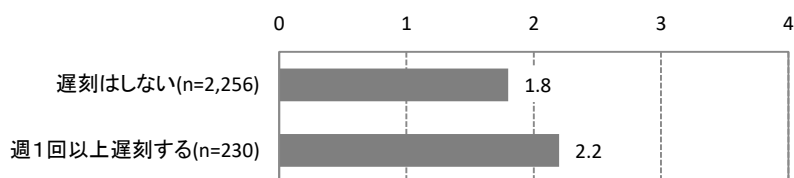
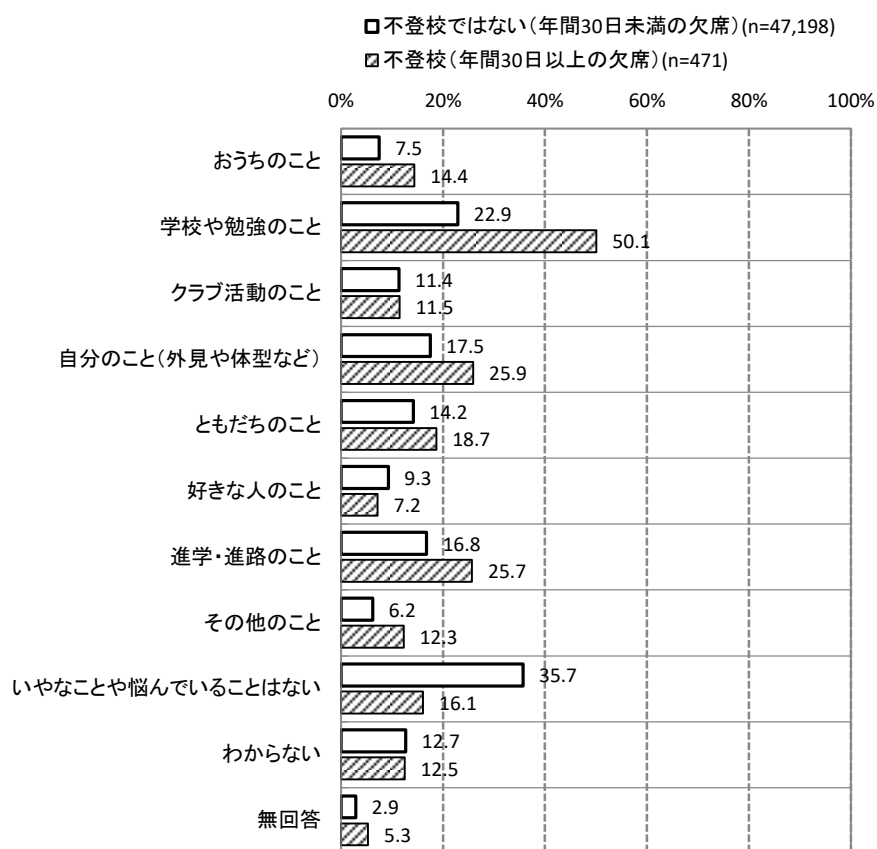


図 209. 学校への遅刻別に見た、学習理解度

学校への遅刻別に子どもの学習理解度を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「遅刻はしない」子どもよりも学習理解度が低い。

登校状況別に見た、悩んでいること（保護者票問18×子ども票問18）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

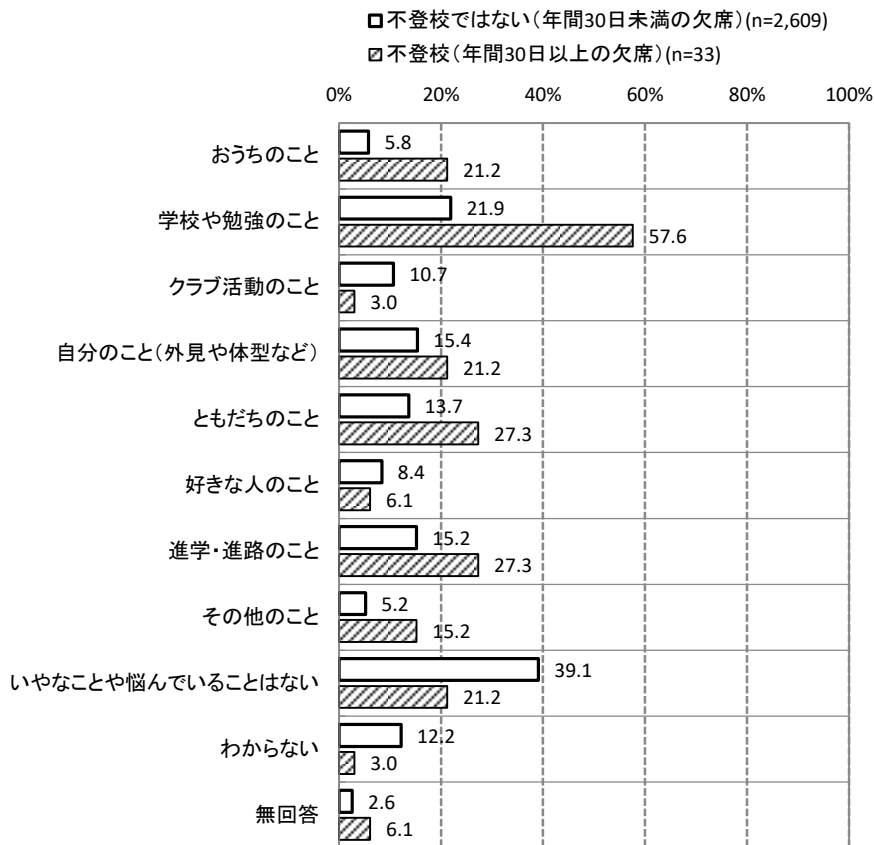


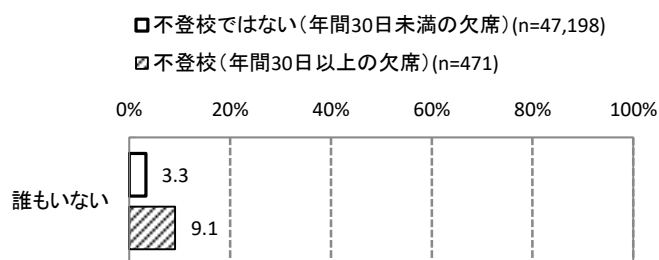
図 210. 登校状況別に見た、悩んでいること

ここでは、保護者票問 18 において「ほぼ毎日通っている」「欠席は年間 30 日未満である」を「不登校ではない」、「欠席が年間 30 日以上、60 日未満である」「欠席が年間 60 日以上、1 年未満である」「欠席が 1 年以上続いている」を「不登校」としている。

登校状況別に子どもの悩んでいることを見ると、「おうちのこと」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 3.7 倍、「学校や勉強のこと」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 2.6 倍、「ともだちのこと」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 2.0 倍となっている。また、「不登校でない」において、「いやなことや悩んでいることはない」に該当するのは 39.1%であった。

登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合
 (保護者票問 18×子ども票問 20-6)

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

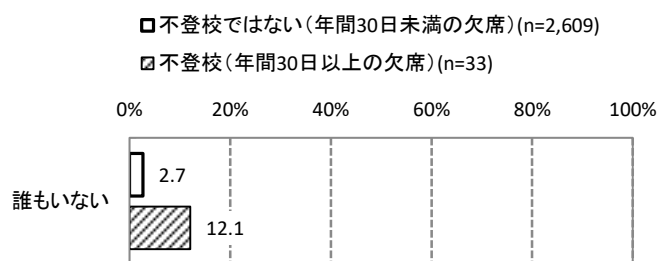
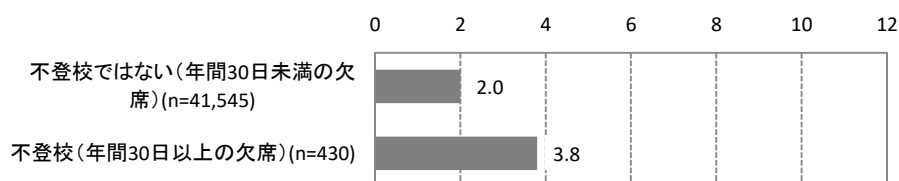


図 211. 登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合

登校状況別に子どもの「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合を見ると、「不登校」では12.1%であり、「不登校ではない」の4.5倍である。

登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 18×子ども票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

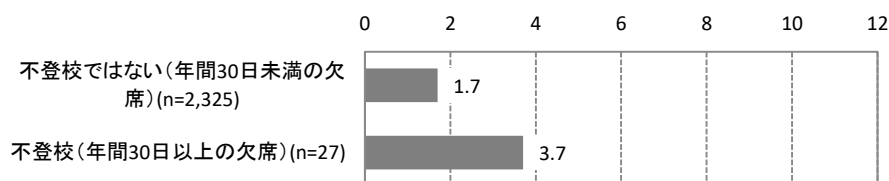


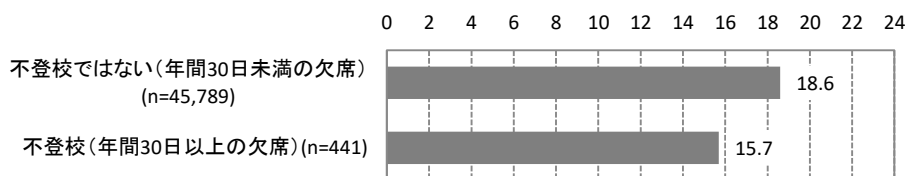
図 212. 登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

登校状況別に子どもの自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「不登校」では平均 3.7 個であり、「不登校ではない」の約 2 倍である。

登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（保護者票問 18×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

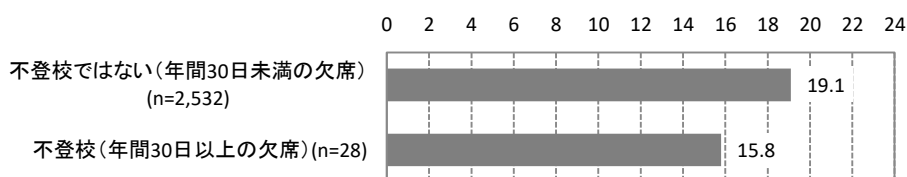
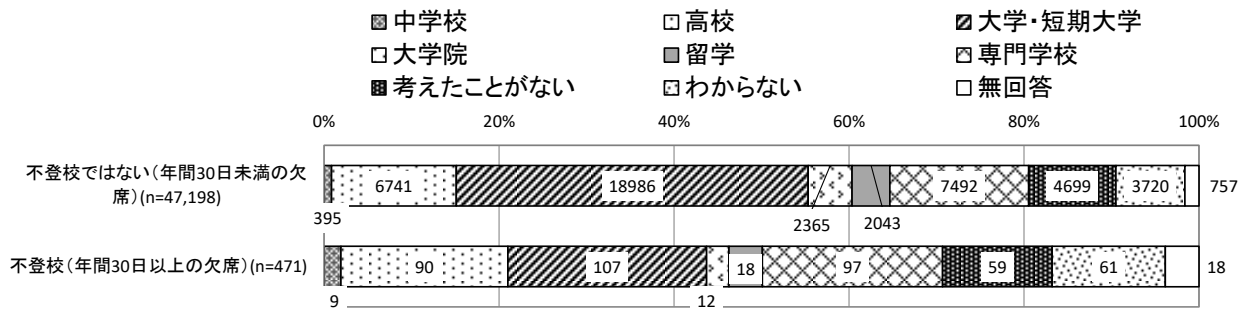


図 213. 登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

登校状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「不登校」では平均 15.8 点であり、「不登校ではない」よりも約 3 点低い。

登校状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 18×子ども票問 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

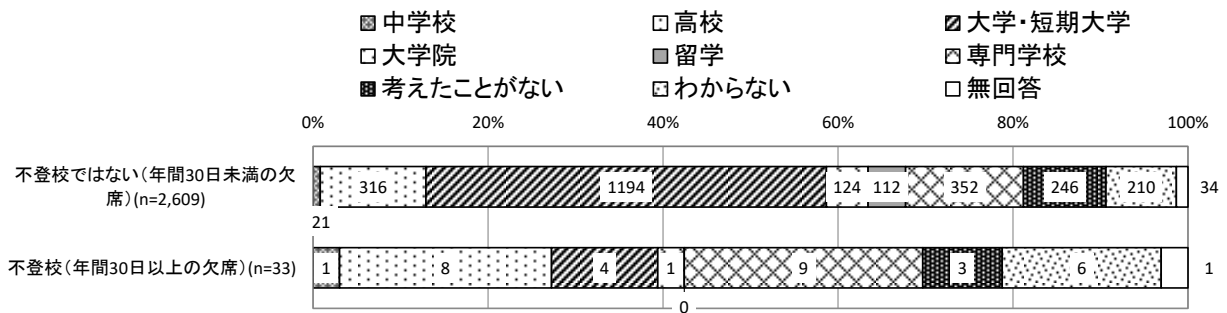
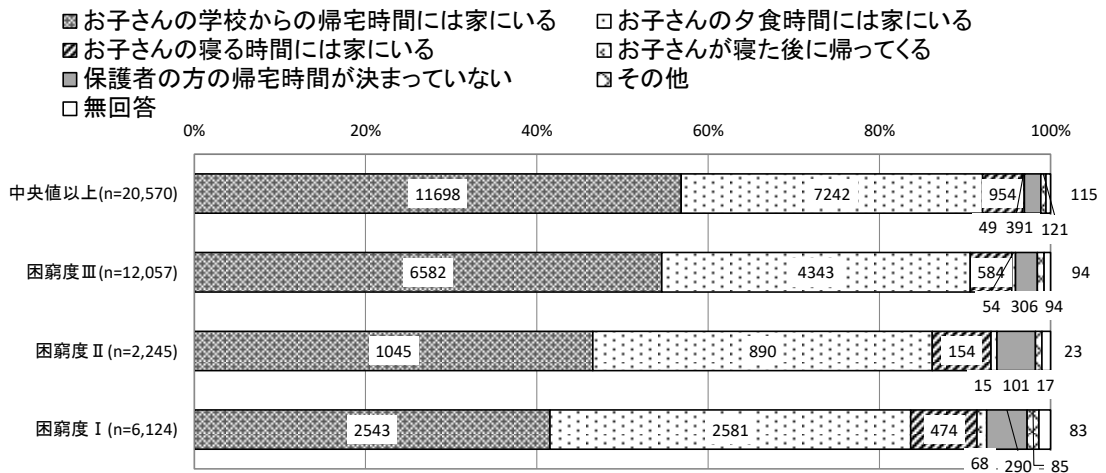


図 214. 登校状況別に見た、希望する進学先

登校状況別に子どもの希望する進学先を見ると、「不登校」では「中学校」「高校」と回答し割合が高く、合計すると 27.2%である。「不登校ではない」では、「大学・短期大学」と回答した割合が高く、45.8%である。

困窮度別に見た、保護者の在宅時間（保護者票問 10）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

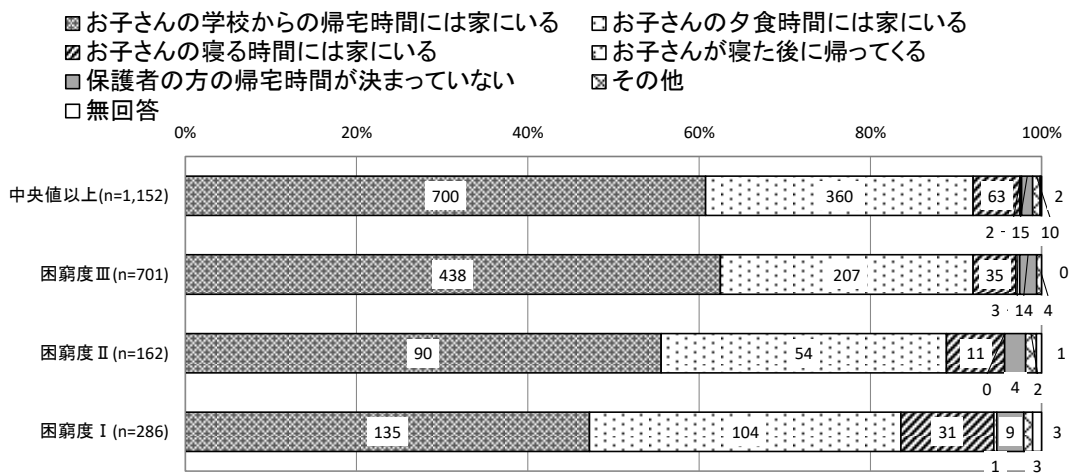
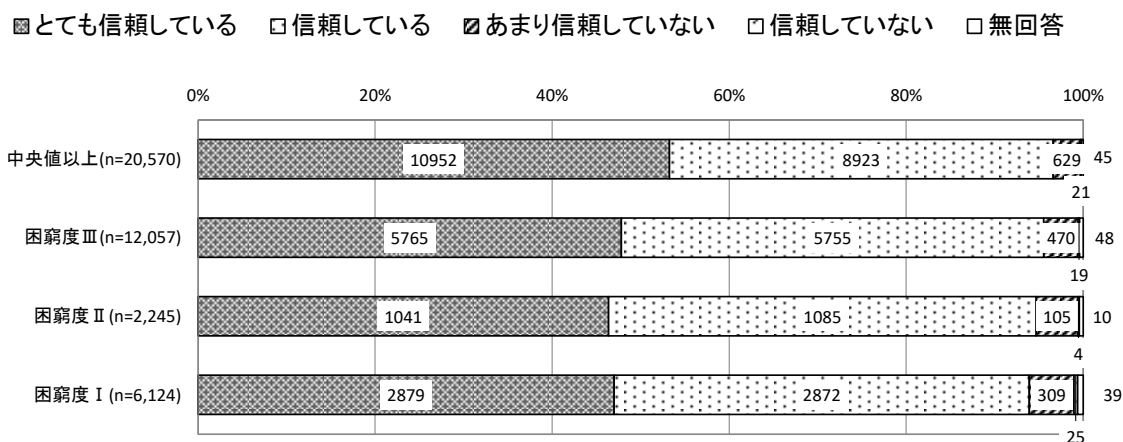


図 215. 困窮度別に見た、保護者の在宅時間

困窮度別に保護者の在宅時間を見ると、中央値以上群・困窮度Ⅲ群の方が、困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時には家にいる」と回答した割合が高い。また、困窮度Ⅰ群では「お子さんの寝る時には家にいる」と回答した割合が高く、10.8%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）（保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

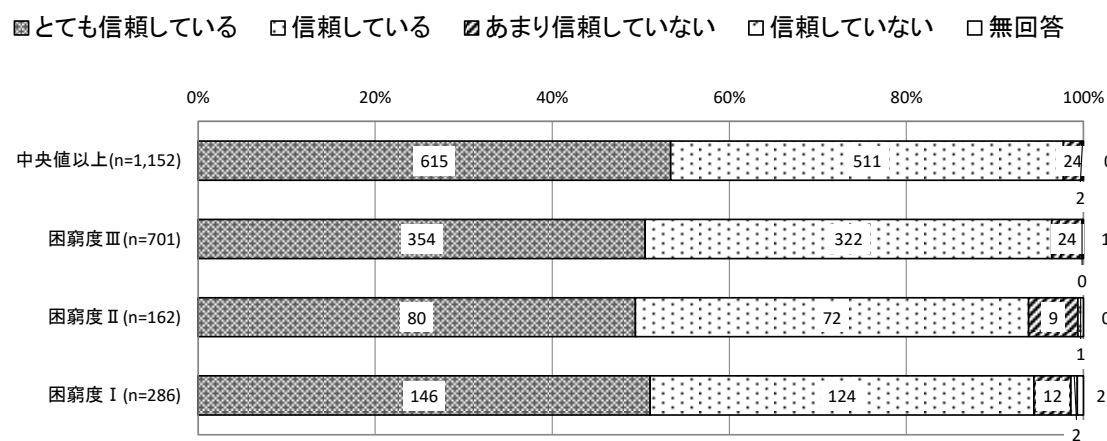
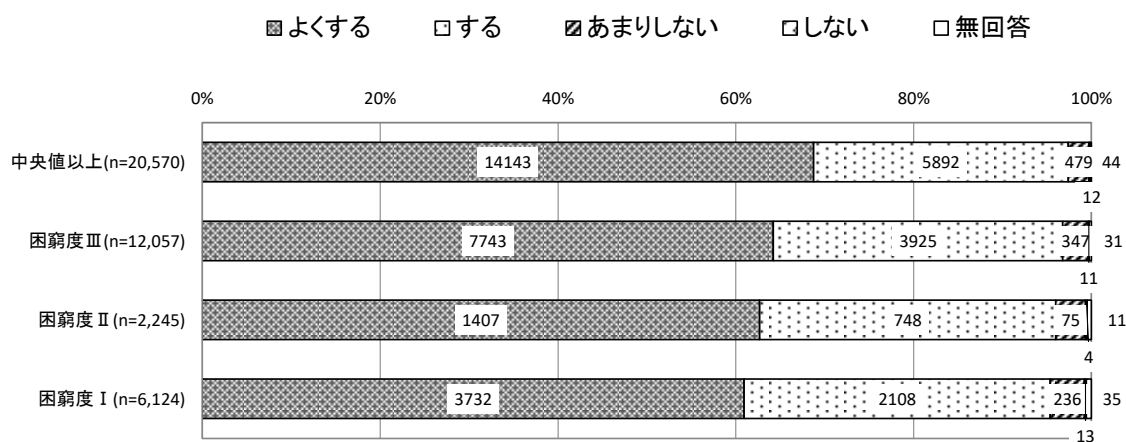


図 216. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）（保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

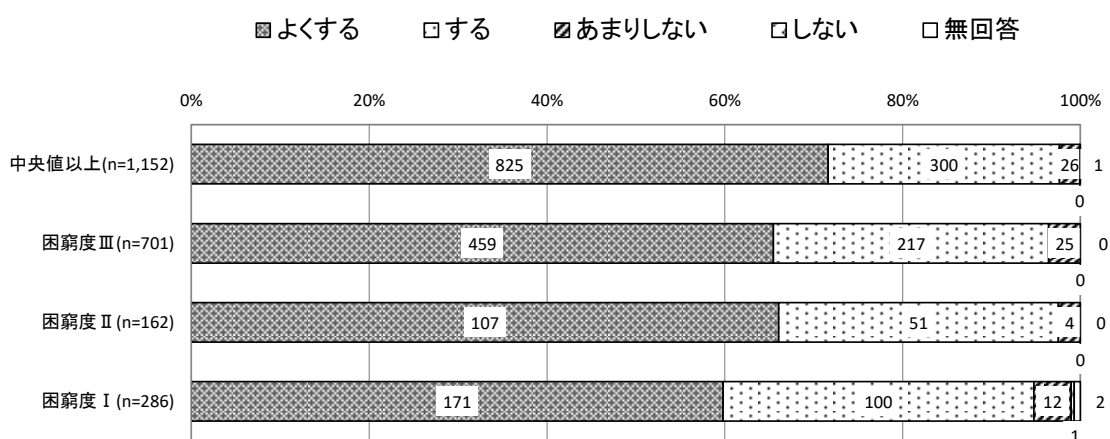
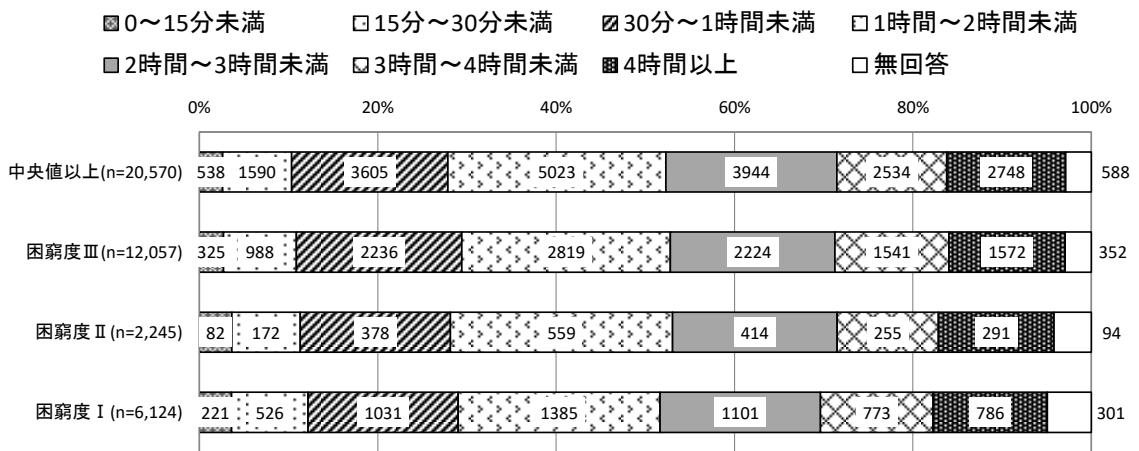


図 217. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が低く、59.8%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））（保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

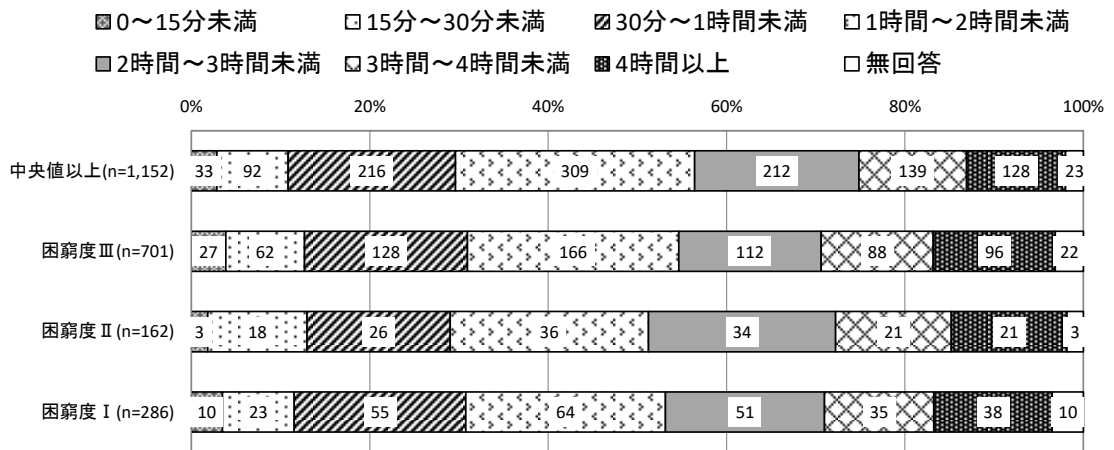
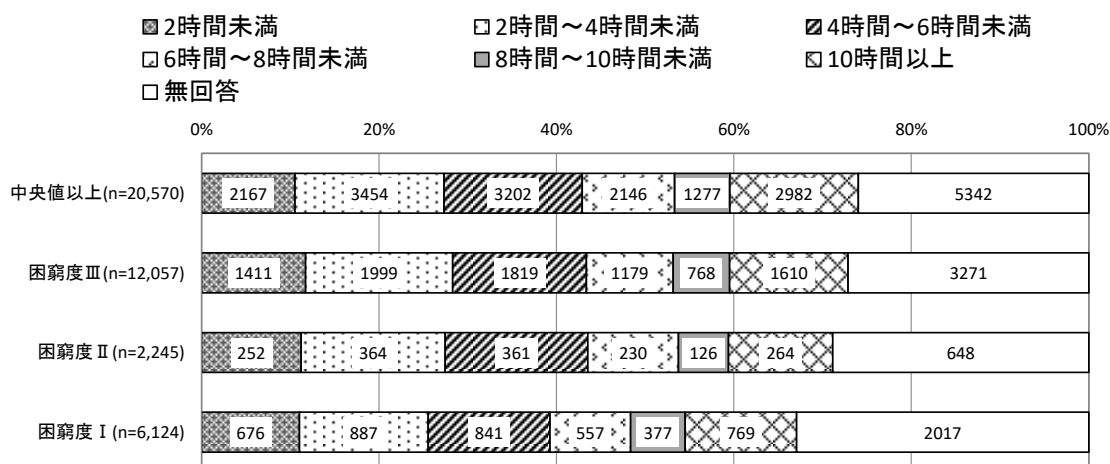


図 218. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））（保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

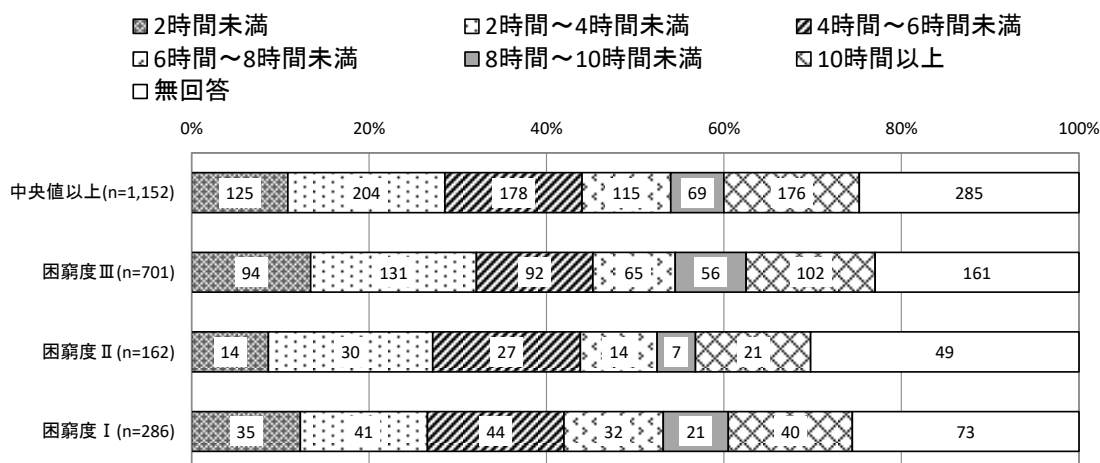


図 219. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

<家庭生活・学習に関する考察>

以下すべて困窮度別にみる。大阪府内自治体の傾向はさらに明確である。

まず、おうちの大人とのかかわりの分析を示す。困窮度が高まるにつれ、おうちの大人の人と一緒に朝食を取る頻度、夕食を取る頻度が下がる。同様に、おうちの大人の人に宿題をみてもらう頻度、大人と文化活動をする頻度が下がり、困窮度Ⅰでは前者の宿題を見てもらわない子どもが3分の1を占め、文化活動を「ほとんどしない」あるいは「まったくしない」子どもが7割を占める。中央値以上と10%ほどの差がある。

勉強時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、30分以内の割合が増え、困窮度Ⅰ群では3分の1を占める。同じく読書時間も同様の傾向で、困窮度Ⅰ群では全くしない人は3分の1を占める。これらの結果として、学習理解度は、困窮度が高まるにつれ、「あまりわからない」「ほとんどわからない」「わからない」人が増え、困窮度Ⅰ群では、2割ほどを占める。そして、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長いという結果を考えると、勉強時間が経済的環境に影響されていることも考えられる。

同じ時刻に起床しない、朝食を毎日とらないなど生活習慣が確立していない子どものほうが勉強や読書を「まったくしない」傾向がある。これらの生活習慣は、困窮度が高くなると確立していない傾向がみられる。困窮度別の学習時間と学習理解度との関係を見ると、困窮度が高まるにつれ、学習理解度が低くなり、大阪府内全自治体の中央値以上群ではきれいに勉強時間と理解度が比例するが、困窮度Ⅰ群ではあまり明確でない。つまり、中央値以上群では努力が成果につながるが、経済的に厳しいほど努力だけではない結果が見える。このことは全国学力テストから示された先行研究（耳塚 2014）を裏付けるものであった。

子どもの将来に関して、困窮度Ⅰ群では、約2割の保護者があまり期待していない。子ども自身の進学希望と進学予測では、困窮度が高まるにつれ、「中学校」「高校」と回答した子どもが増え、困窮度Ⅰ群では、その値が進学希望24.0%、進学予測30.0%となる。つまり、子ども自身が希望は高校卒業までではないが、あきらめてそこまでと思っている子どもが6.0%いることがわかる。保護者の方も困窮度が高まるにつれ、子どもの進学達成をあきらめており、その理由が経済的理由である割合が81.8%と高くなる。

週1回以上遅刻する子どもは、遅刻をしない子どもと比べて、関わる時間には差がみられないが、おうちの大人と朝食をほとんど毎日とっているのが約4割に過ぎず、夕食では76.6%と低くなり、学校のできごとについて話すこと、社会のできごとを話すことなどが低くなっている。また週1回以上遅刻する子どもの方が毎日おうちの人と出かける割合が高く、子どもが大人の生活パターンになっていることも考えられる。

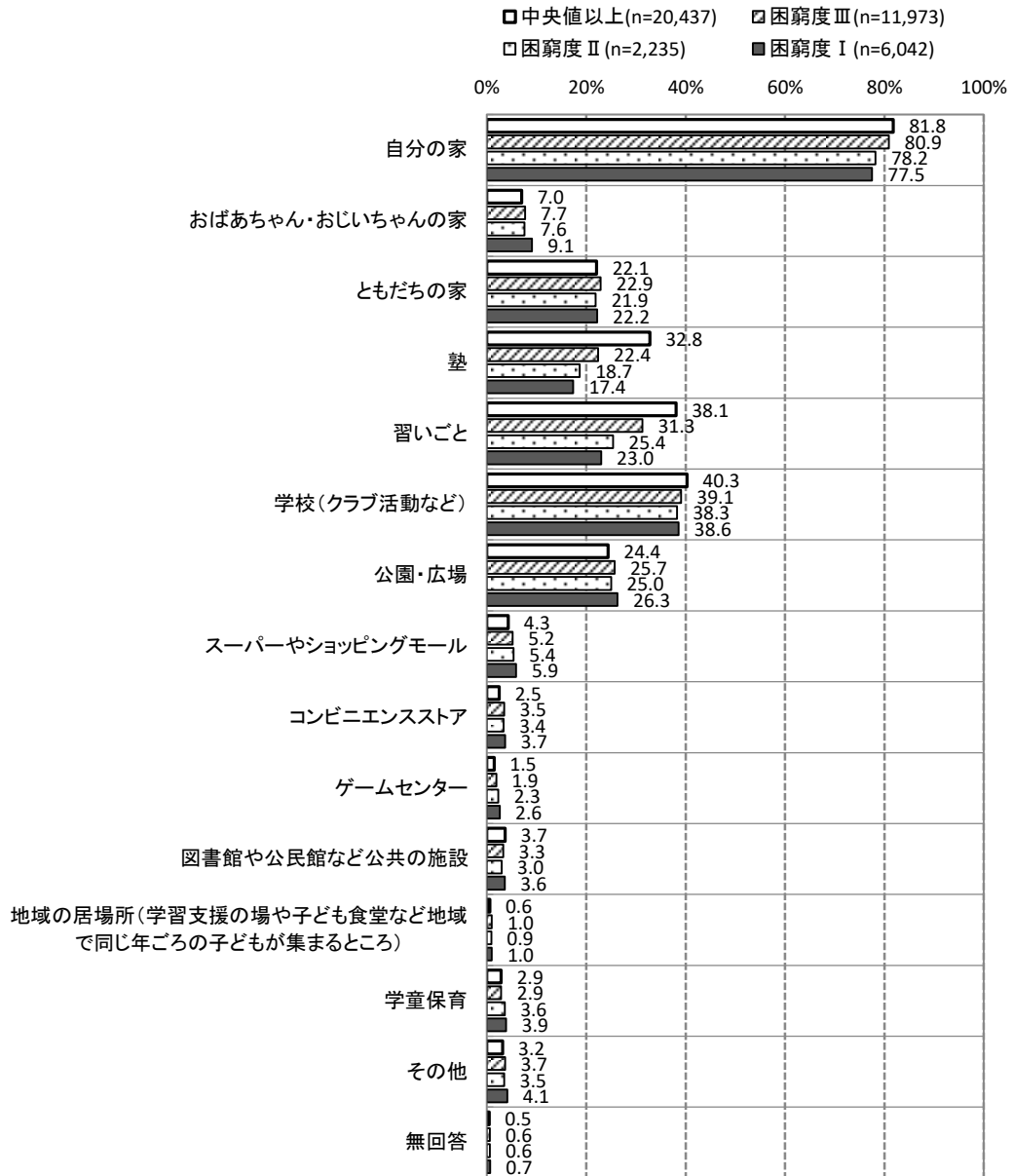
週1回以上遅刻する子どもの方が遅刻はしない子どもよりも、心身の気になることも多く、何らかの悩みを抱えている。また、週1回以上遅刻する子どもは進学希望が「中学校」「高校」と回答した割合が高く約2割、遅刻はしない子どもは、「大学・短期大学」と回答した割合が高く約半数である。遅刻をする子どもの方が、セルフ・エフィカシーが低く、学習理解が低い。不登校は困窮度による差は特にみられなかった。

子どもが保護者といえる時間や信頼は経済的状況による違いはないが、会話になると経済的に厳しい状況の子どもが会話量が少なくなり、保護者に余裕がなくなることがうかがえる。

3-5. 対人関係

困窮度別、放課後に過ごす場所（子ども票問13）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

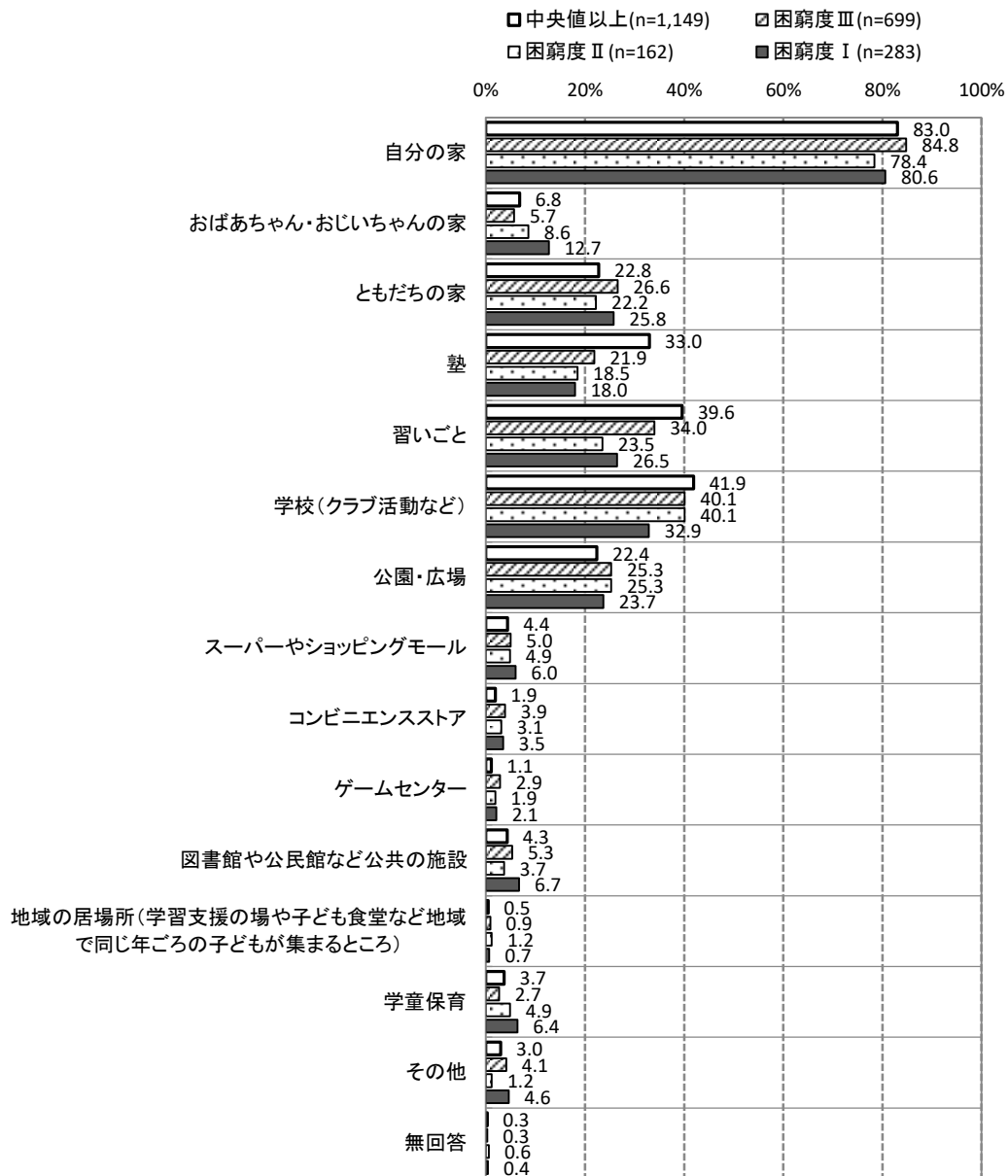
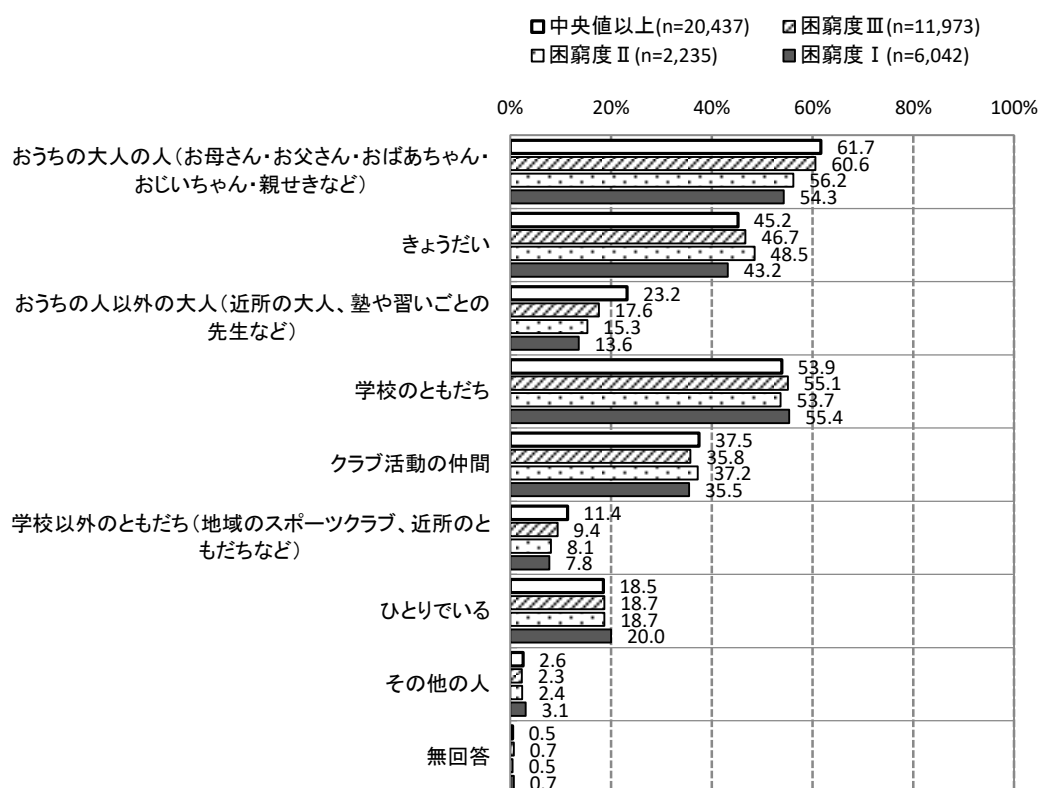


図 220. 困窮度別、放課後に過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」12.7%（中央値以上群に対して、1.9倍）、「ゲームセンター」2.1%（同じく1.9倍）、「コンビニエンスストア」3.5%（同じく1.8倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。また、中央値以上群では「塾」33.0%（困窮度Ⅰ群に対して、1.8倍）、「習いごと」39.6%（同じく1.5倍）、「学校（クラブ活動など）」41.9%（同じく1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人（子ども票問 12）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

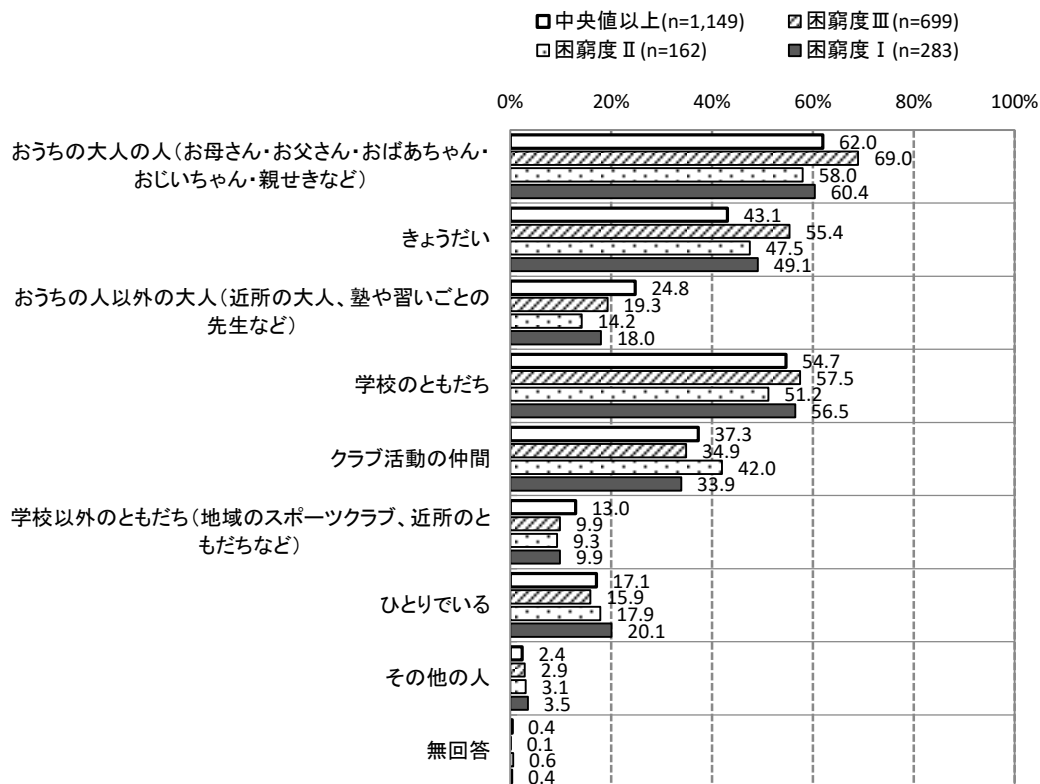
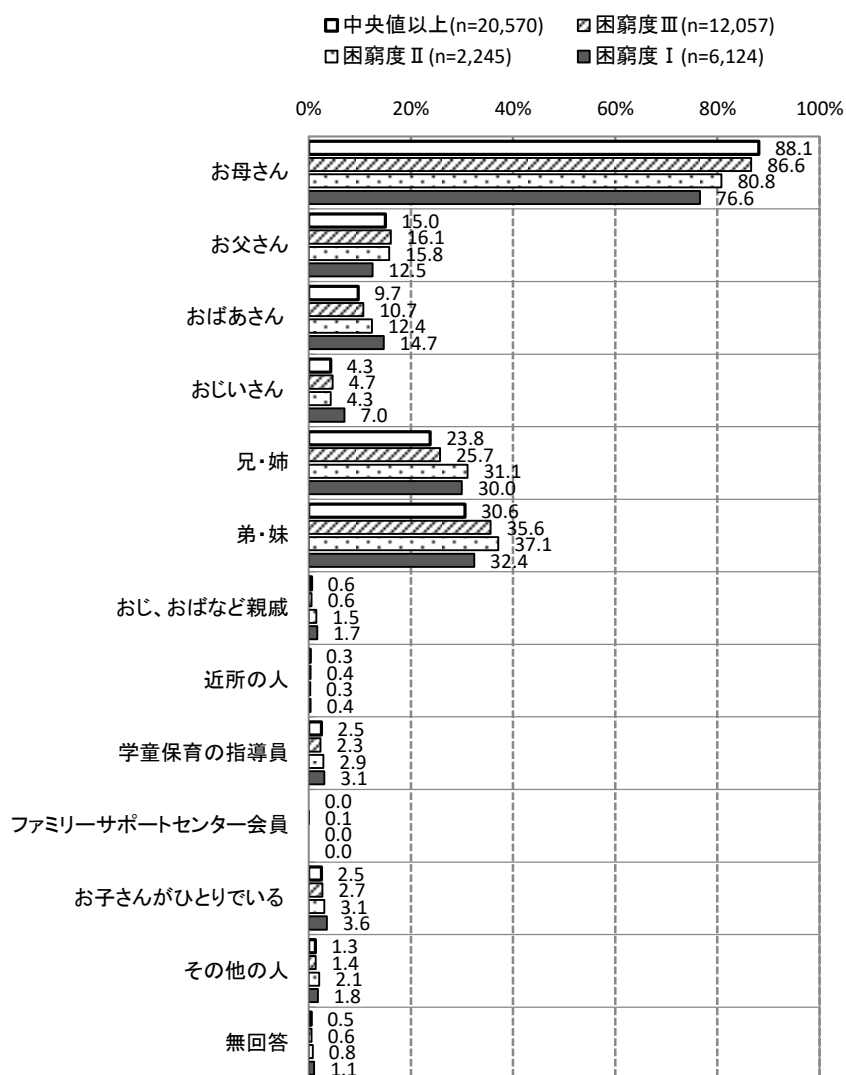


図 221. 困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「ひとりている」20.1%（中央値以上群に対して、1.2倍）、「きょうだい」49.1%（同じく1.1倍）、「学校のともだち」56.5%（同じく1.0倍）が高く、中央値以上群では「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」24.8%（困窮度Ⅰ群に対して、1.4倍）、「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」13.0%（同じく1.3倍）、「クラブ活動の仲間」37.3%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人（保護者票問 11）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

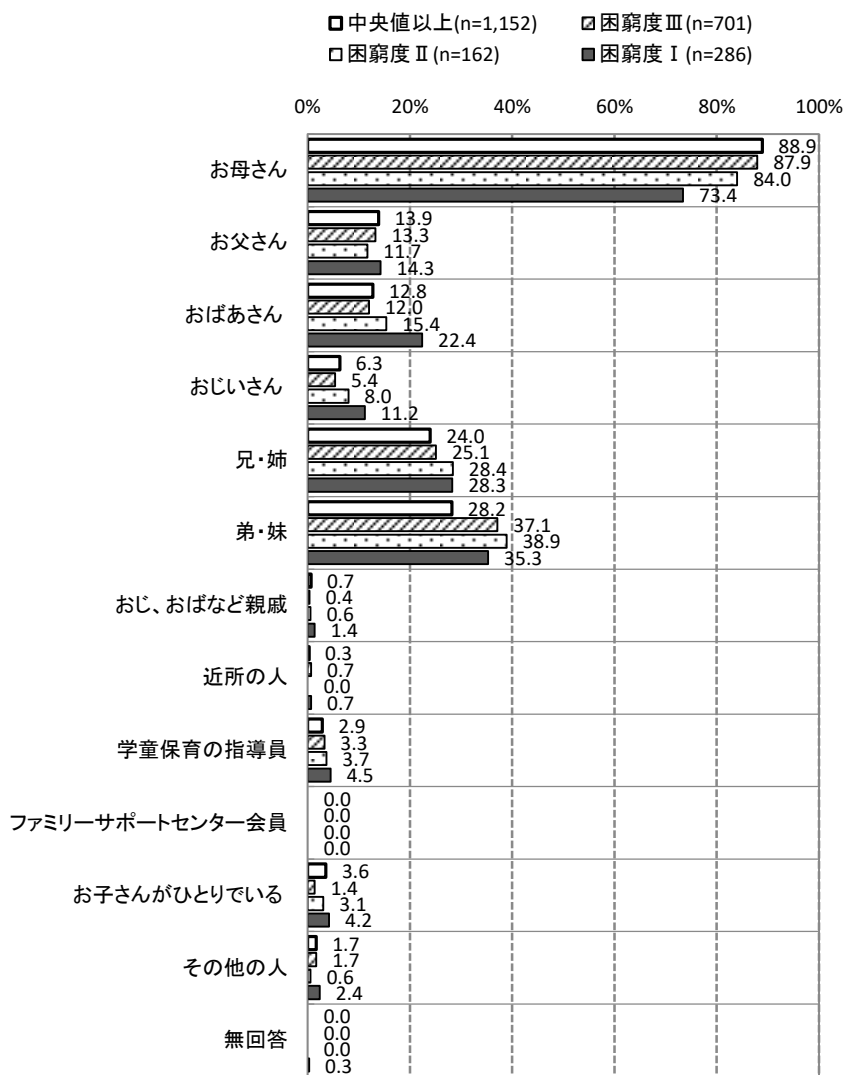
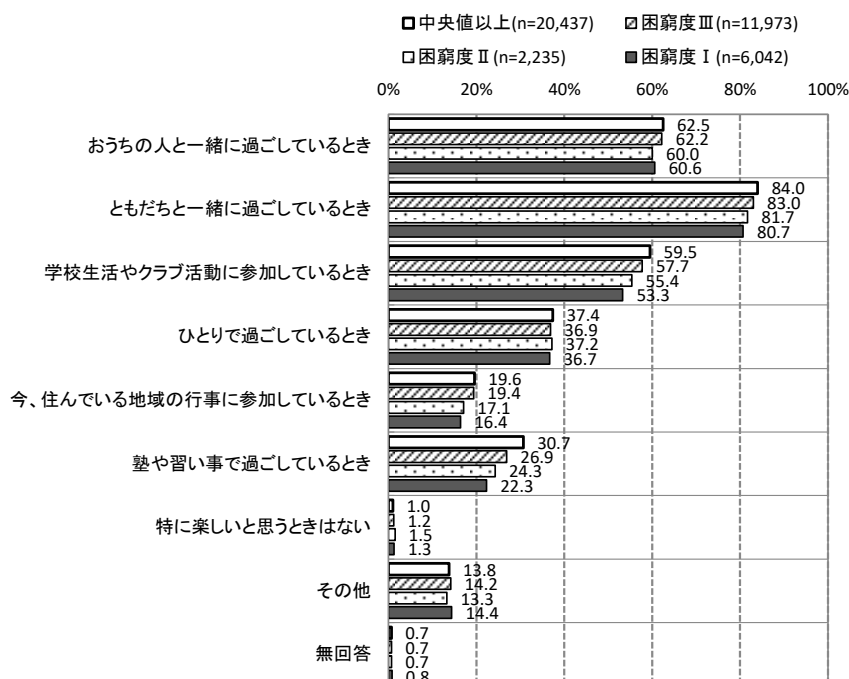


図 222. 困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人

困窮度別に保護者が放課後に子どもと過ごす時間が長い人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「おじ、おばなど親戚」1.4%（中央値以上群に対して、2.0倍）、「近所の人」0.7%（同じく2.0倍）、「おじいさん」11.2%（同じく1.8倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問 11）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

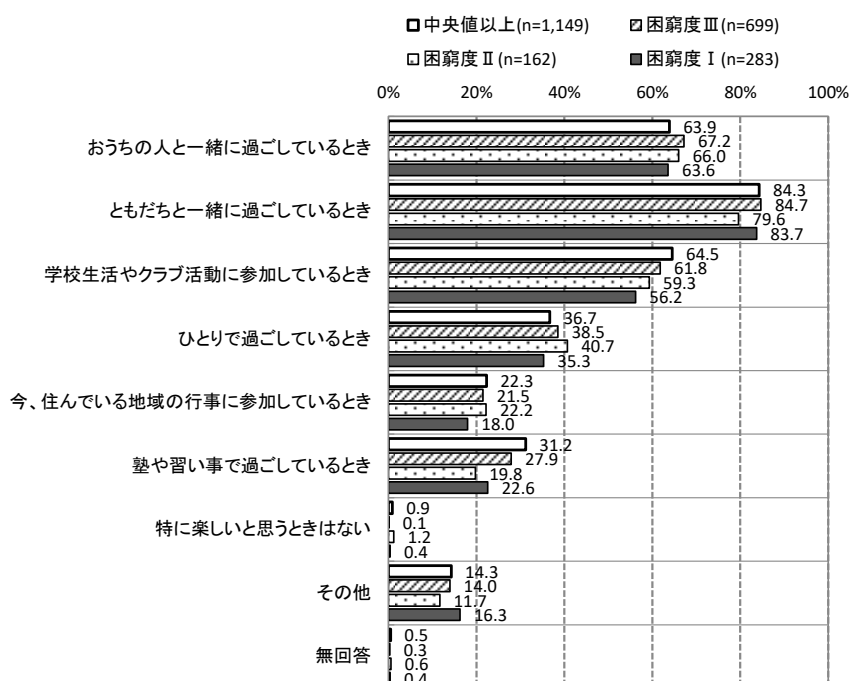
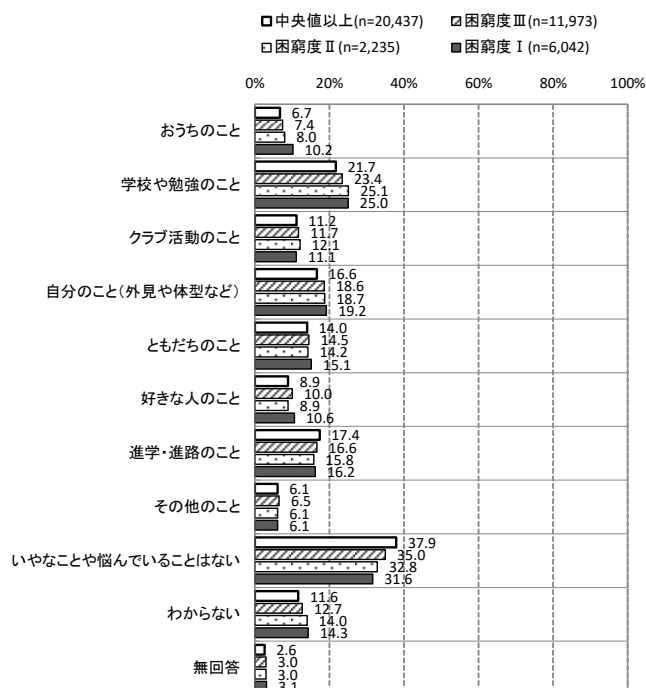


図 223. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「特に楽しいと思うときはない」0.9%（困窮度Ⅰ群に対して、2.5倍）、「塾や習い事で過ごしているとき」31.2%（同じく1.4倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」22.3%（同じく1.2倍）が高かった。

困窮度別に見た、悩んでいること（子ども票問 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

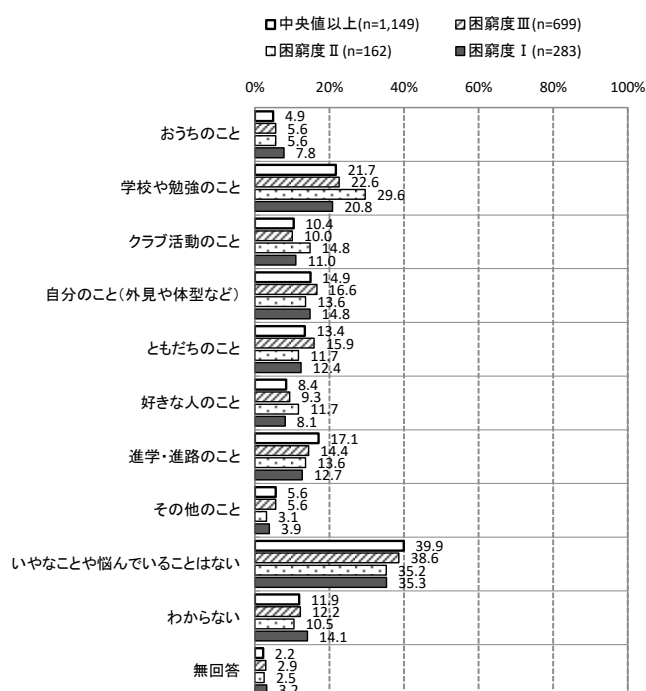
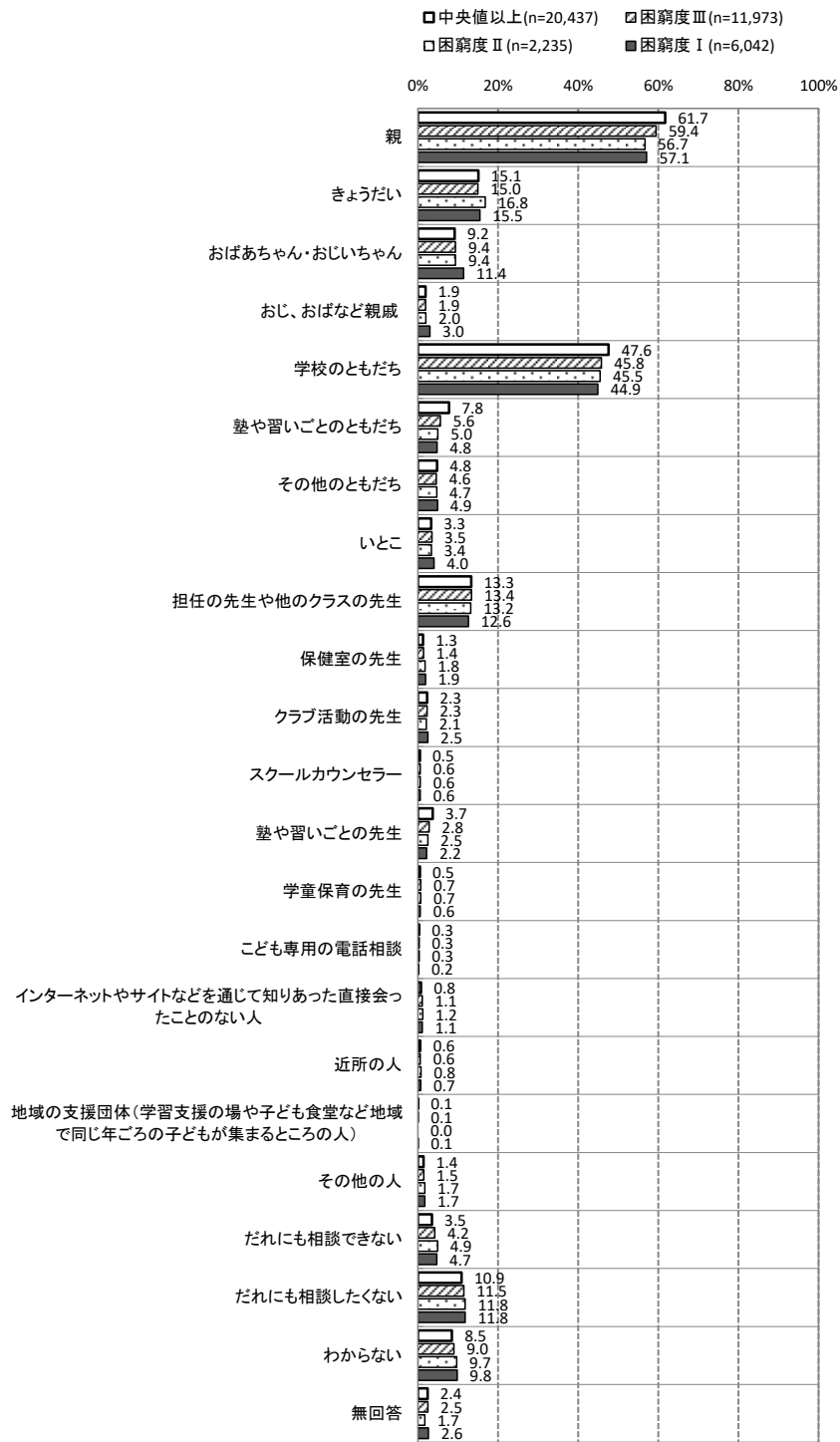


図 224. 困窮度別に見た、悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「おうちのこと」7.8%（中央値以上群に対して、1.6倍）、「クラブ活動のこと」11.0%（同じく1.0倍）、自分のこと（外見や体型など）14.8%（同じく1.0倍）が高く、中央値以上群では「進学・進路のこと」17.1%（困窮度Ⅰ群に対して、1.3倍）、「ともだちのこと」13.4%（同じく1.1倍）、「いやなことや悩んでいることはない」39.9%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 19）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

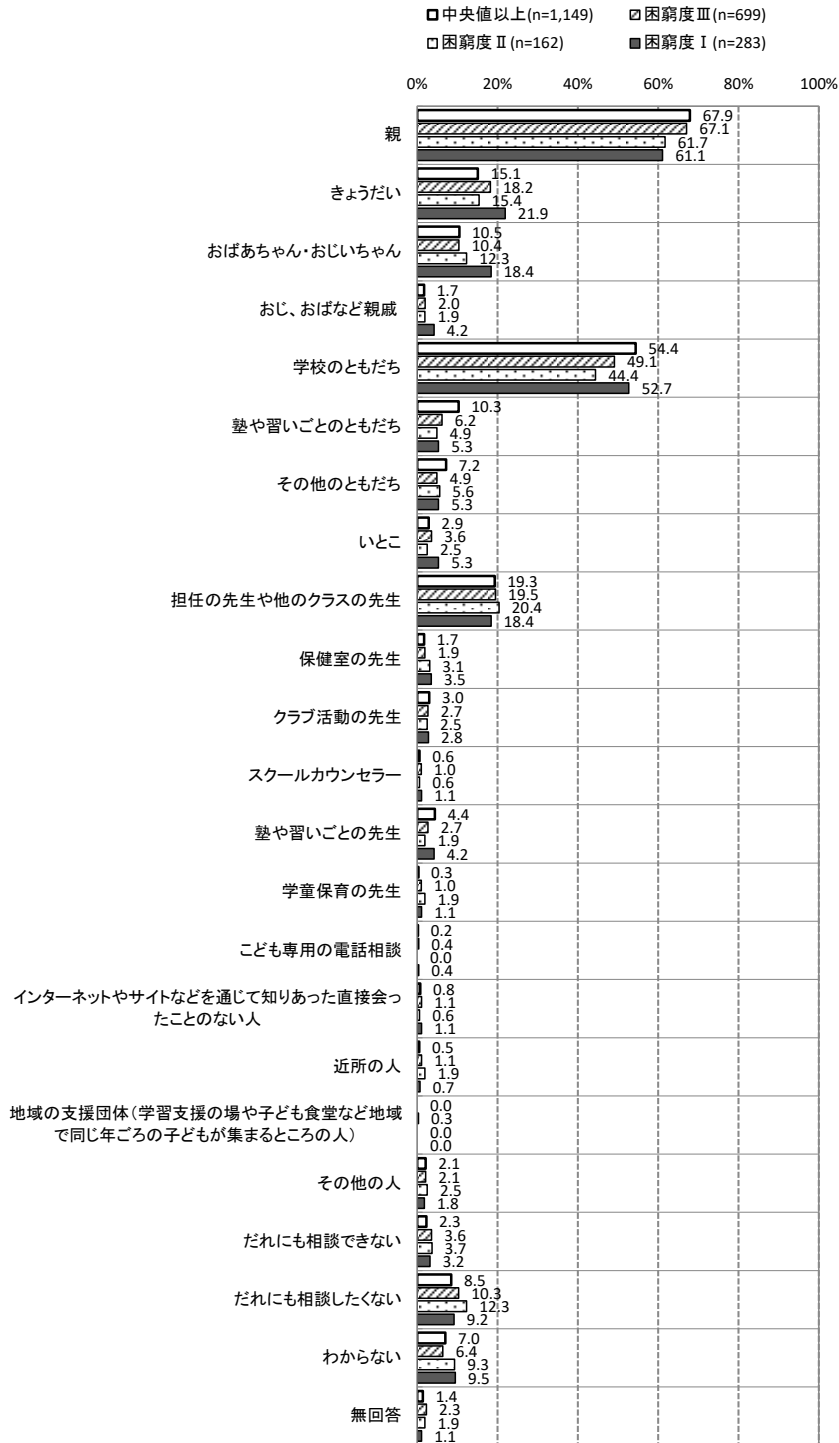
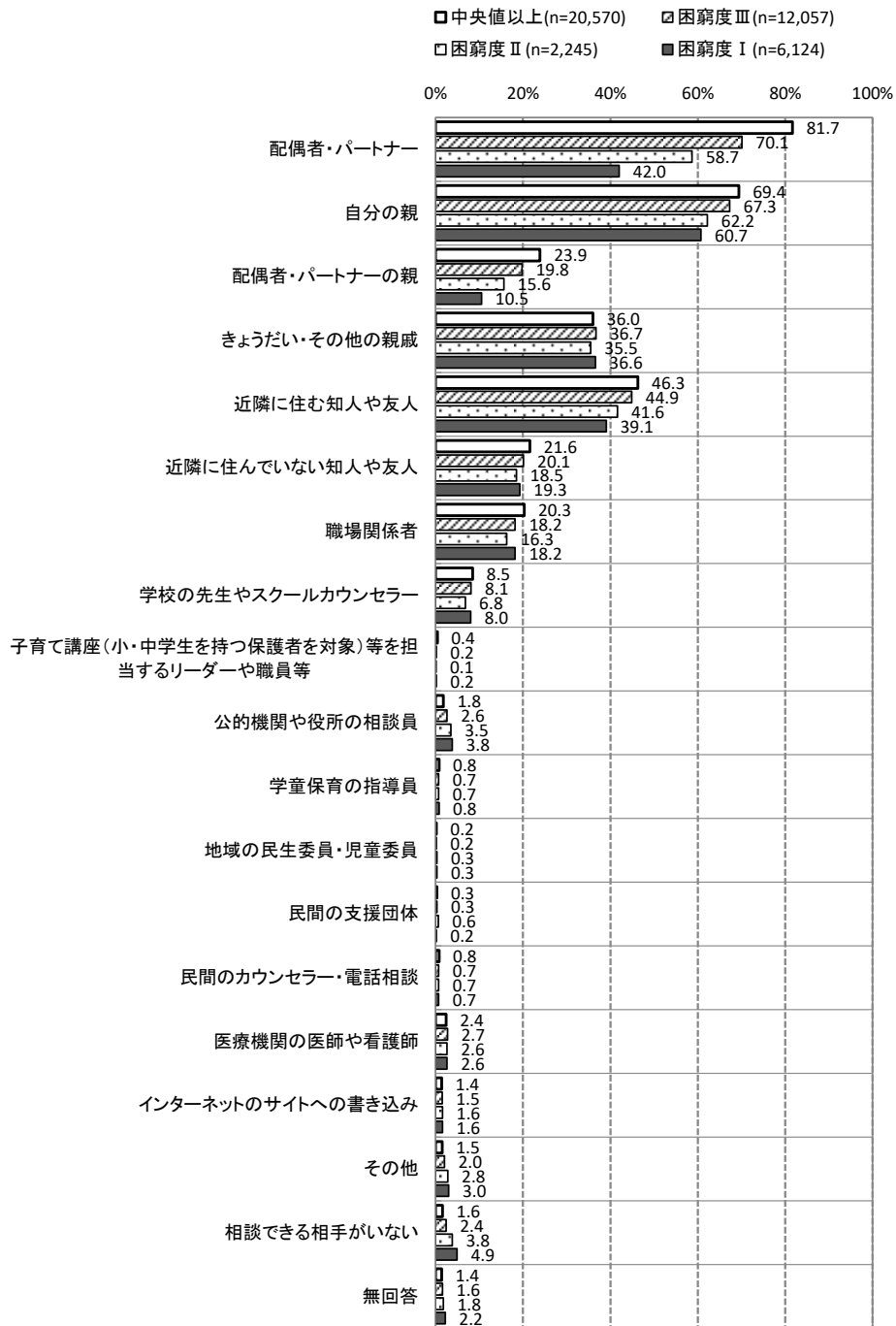


図 225. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「学童保育の先生」1.1%（中央値以上群に対して、3.0倍）、「おじ、おばなど親戚」4.2%（同じく2.4倍）、「保健室の先生」3.5%（同じく2.1倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。

困窮度別に見た、困ったときの相談先（保護者票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

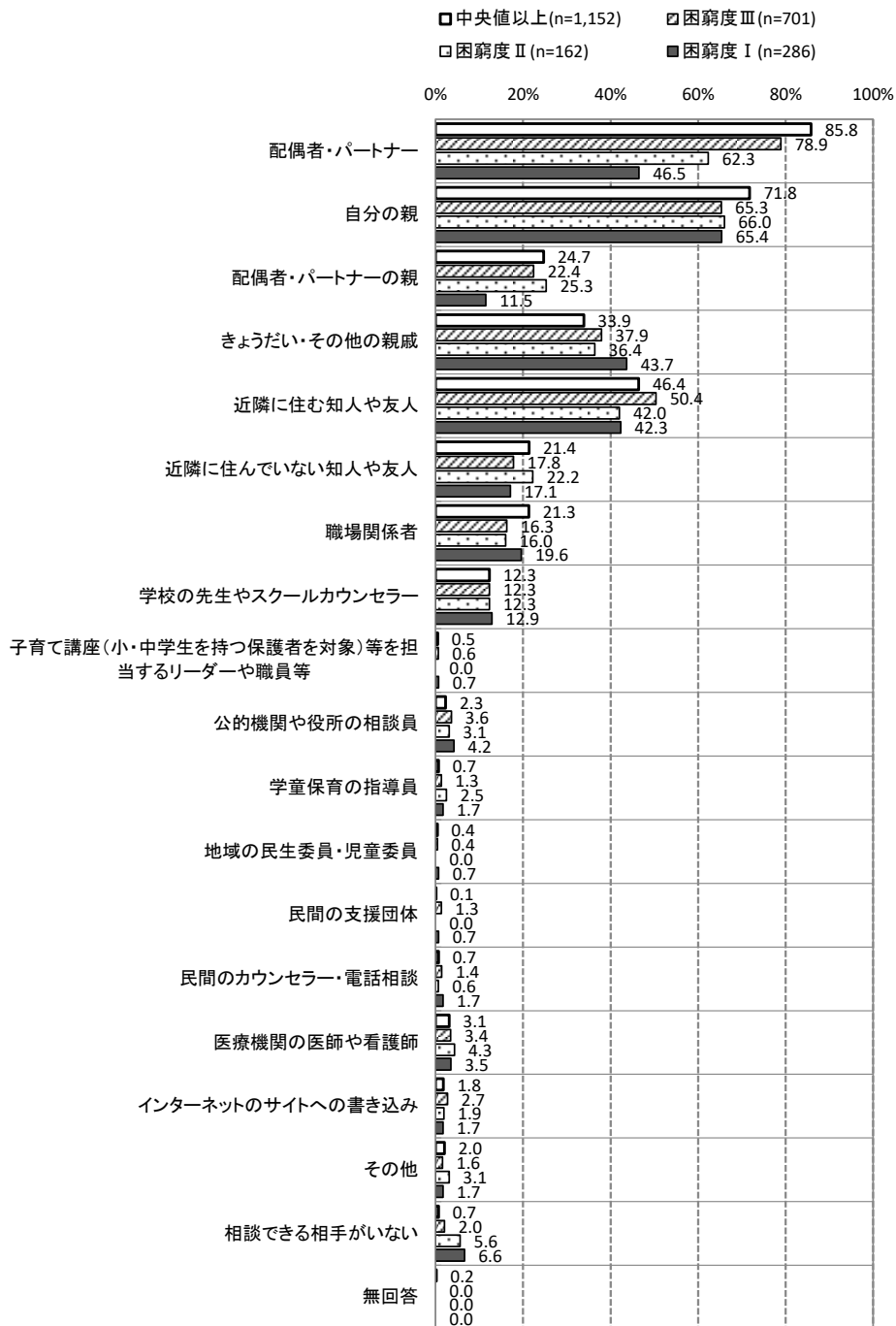
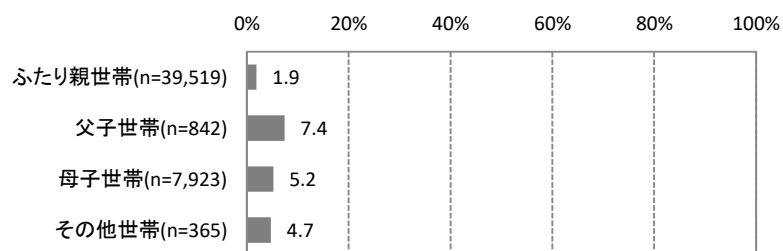


図 226. 困窮度別に見た、困ったときの相談先

困窮度別に保護者の困ったときの相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「相談できる相手がいない」6.6%（中央値以上群に対して9.6倍）、「民間の支援団体」0.7%（同じく8.1倍）、「学童保育の指導員」1.7%（同じく2.5倍）、「民間のカウンセラー・電話相談」1.7%（同じく2.5倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。さらに、中央値以上群と上記項目ほどの差はないものの、中央値以上群では「配偶者・パートナー」と回答した割合が85.8%だったのに対して、困窮度Ⅰ群では46.5%だった。

世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合（保護者票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

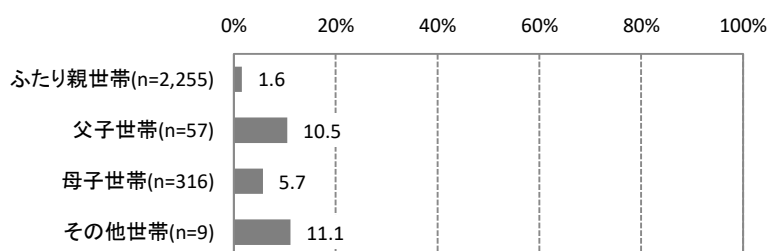


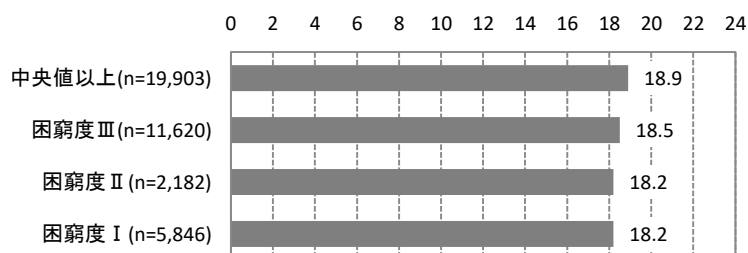
図 227. 世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合

世帯構成別に保護者の困ったときの相談先を見ると、「相談相手がいない」と回答した人は、父子世帯で10.5%、母子世帯で5.7%いる。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

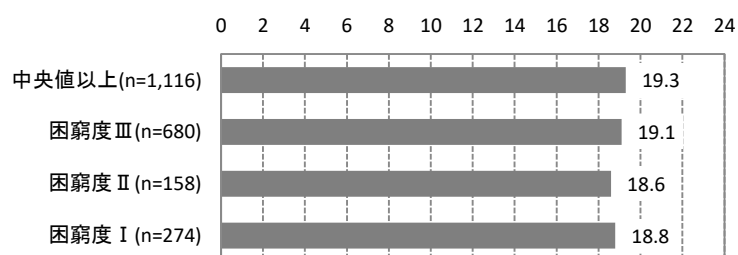


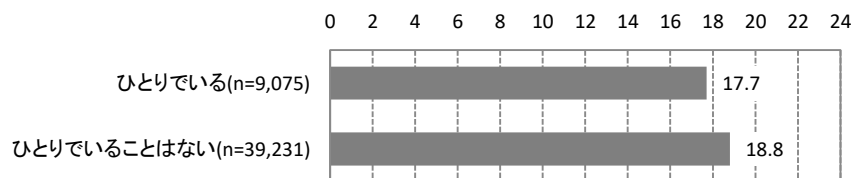
図 228. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度が高くなるにつれ、セルフ・エフィカシーが低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 12×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

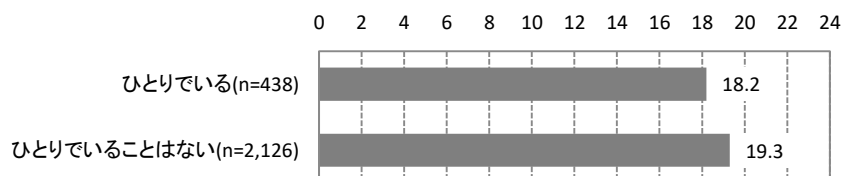


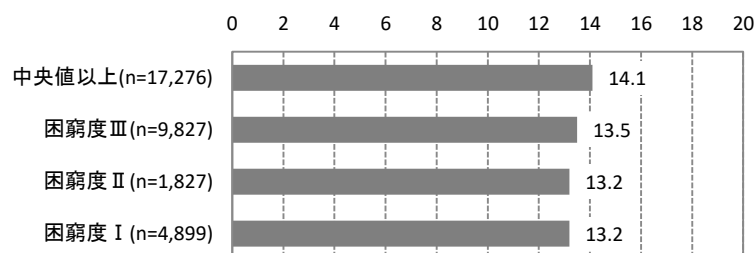
図 229. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー（保護者票問 26）

※保護者の自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 163 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

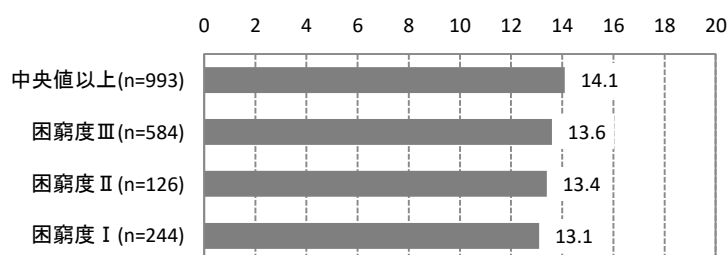


図 230. 困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー

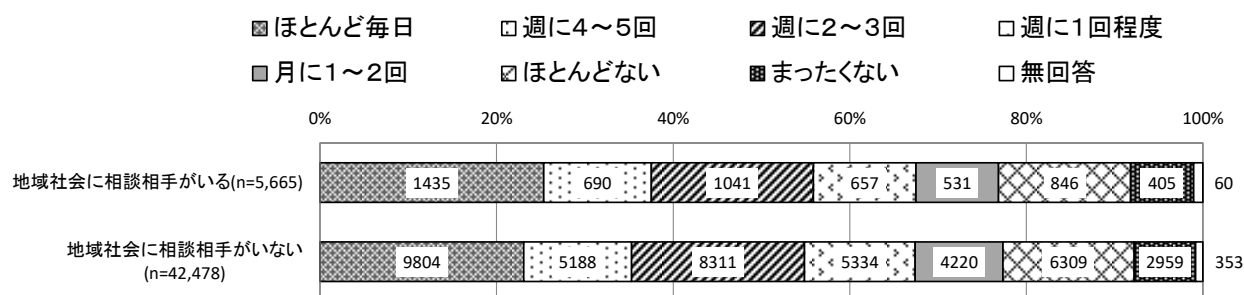
困窮度別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、困窮度が高くなるにつれ、保護者のセルフ・エフィカシーが低くなっている。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）

（保護者票問 21×子ども票問 10-4）

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー」「子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体」「民間のカウンセラー・電話相談」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

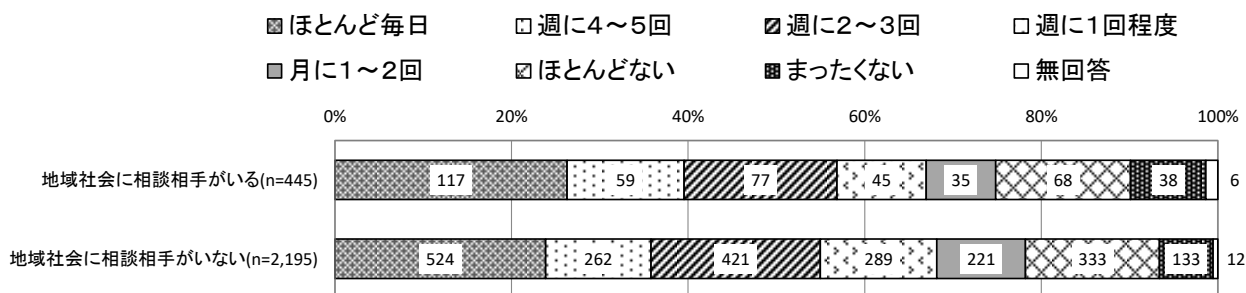


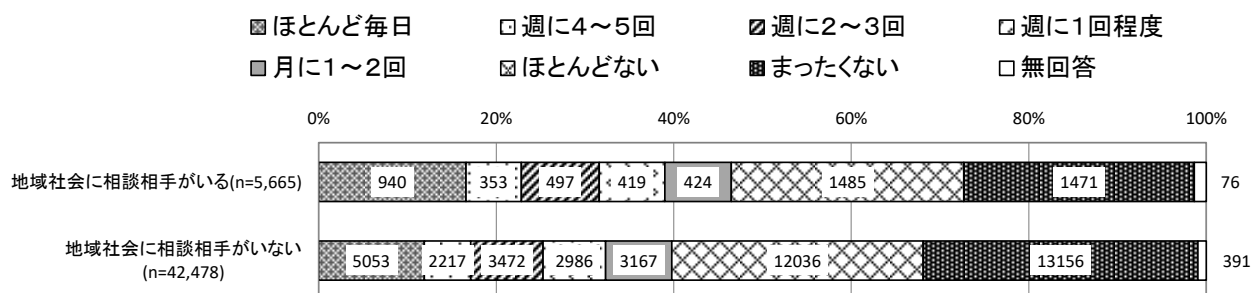
図 231. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもが「おうちの手伝いをするか」に「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）（保護者票問 21×子ども票問 10-5）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

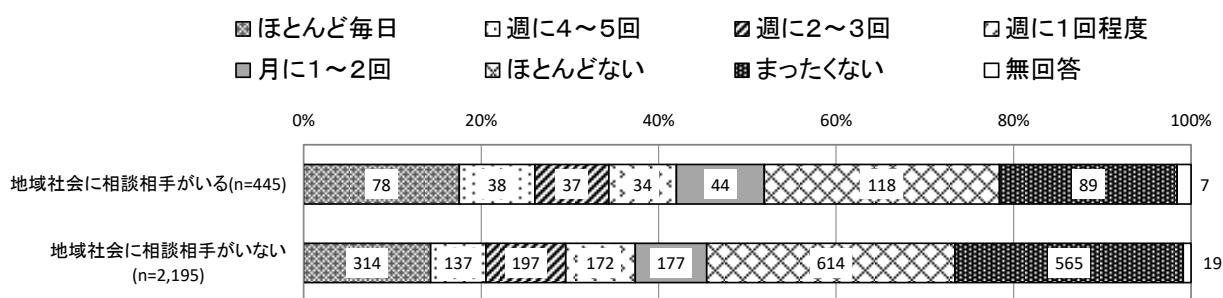


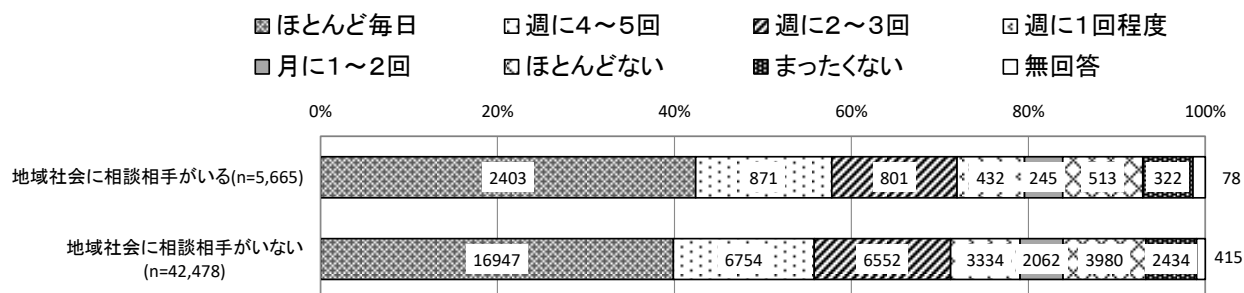
図 232. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、「おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっている」に「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）（保護者票問 21×子ども票問 10-6）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

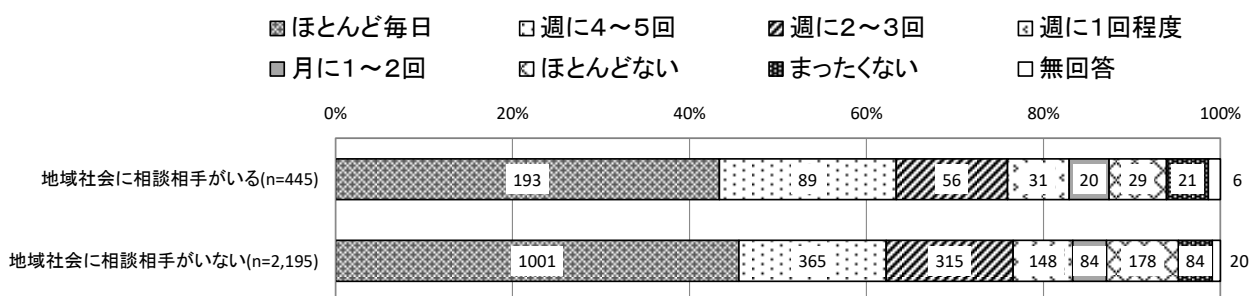


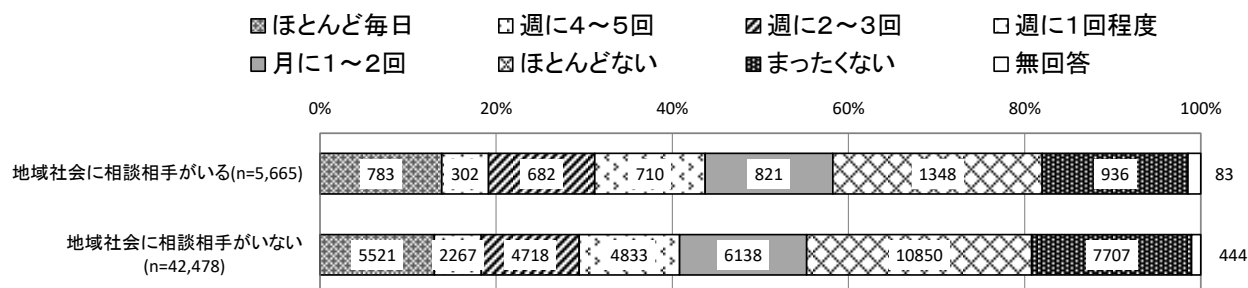
図 233. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と学校のできごとについて話す」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）（保護者票問 21×子ども票問 10-7）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

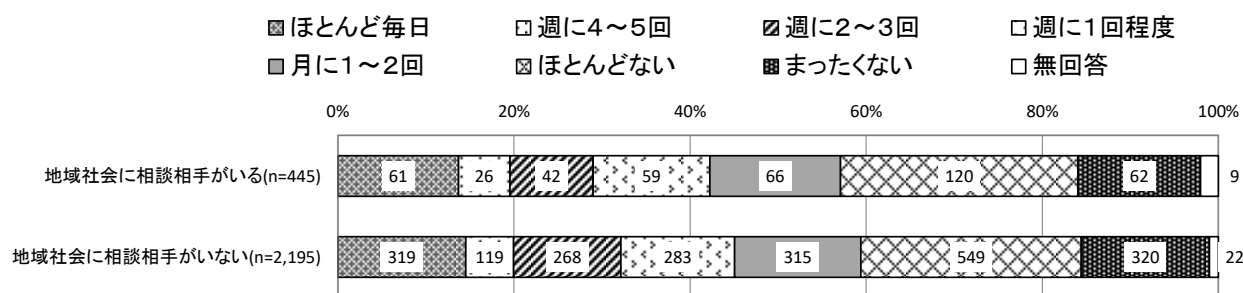


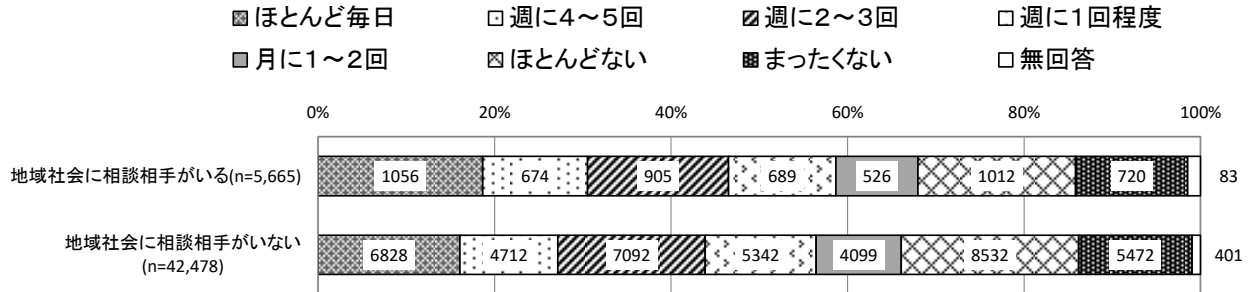
図 234. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）（保護者票問 21×子ども票問 10-8）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

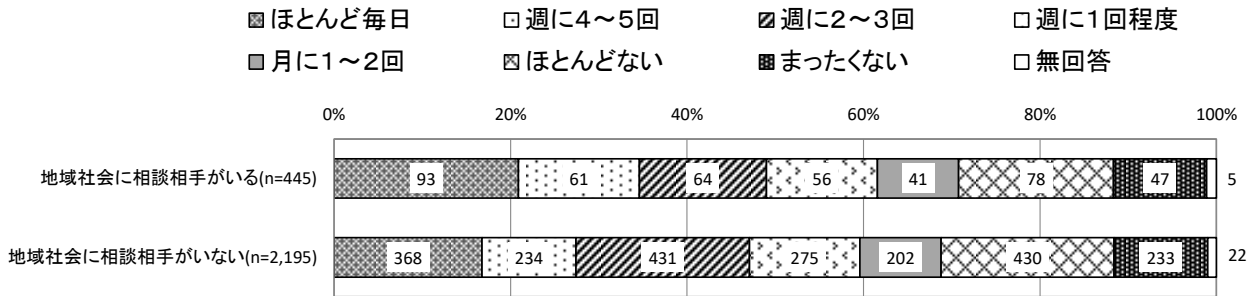


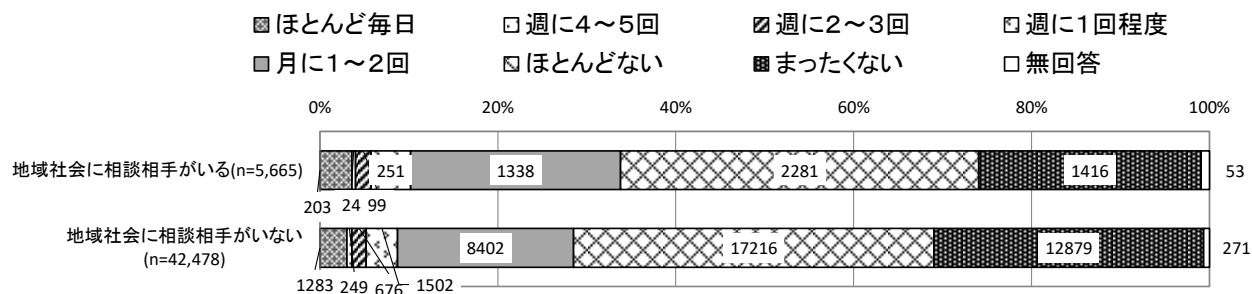
図 235. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもが「ニュースなど社会のできごとを話す」に「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）（保護者票問 21×子ども票問 10-9）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

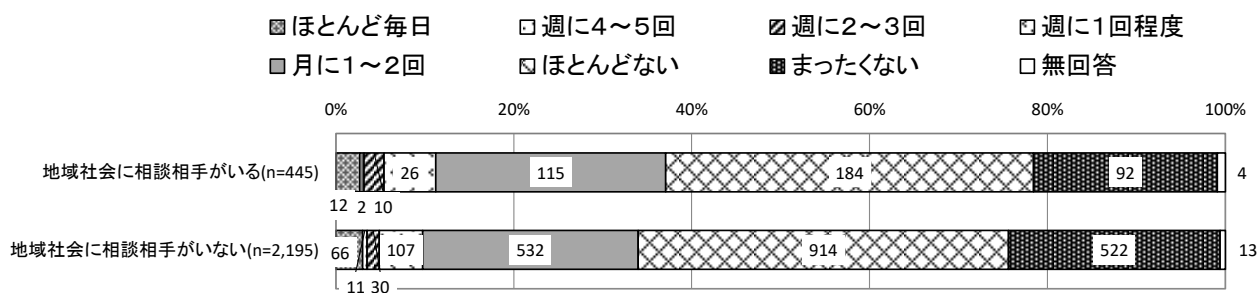


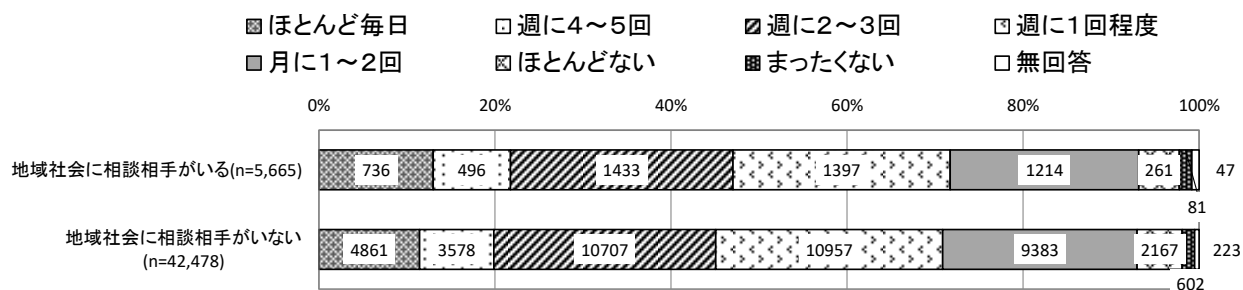
図 236. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、「おうちの大人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をする」に「ほとんど毎日」または「週に4~5回」、「週に2~3回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）（保護者票問 21×子ども票問 10-10）

※「地域社会に相談相手がいる」については、図 231 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪府 30 市町村>

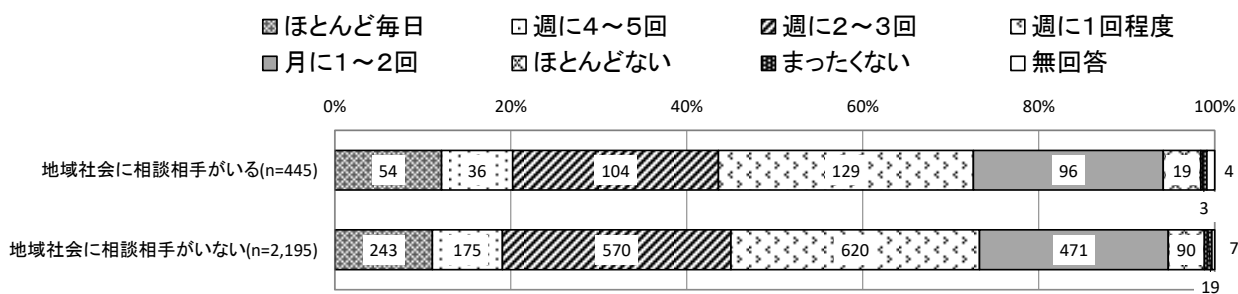


図 237. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、「おうちの大人の人と一緒に外出する」に差はなかった。

<対人関係に関する考察>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果である。困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所では、困窮度Ⅰ群では、「ゲームセンター」2.1%（中央値以上群に対して、1.90倍）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」12.7%（同じく1.87倍）、「コンビニエンスストア」3.5%（同じく1.84倍）となり、中央値以上群では「塾」33.0%（困窮度Ⅰ群に対して、1.83倍）や「習いごと」39.6%（同じく1.49倍）が高かった。困窮度別に子どもが放課後に一緒に過ごしている人物では、差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「ひとりである」20.1%（中央値以上群に対して、1.18倍）が高く、中央値以上群では「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」24.8%（困窮度Ⅰ群に対して、1.38倍）や「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」13.0%（同じく1.31倍）が高かった。困窮度別に保護者が放課後に子どもと一緒にいると回答した人物は、困窮度Ⅰ群では「近所の人」0.7%（中央値以上群に対して、2.33倍）、「おじ、おばなど親戚」1.4%（同じく2倍）、「おじいさん」11.2%（同じく1.78倍）や「おばあさん」22.4%（同じく1.75倍）となった。これらは、経済状況によって子どもの世界に違いが見える。家族や親類以外の様々な大人と接する機会を持っていない。

困窮度別に子どもが楽しいと思うことでは、同じく中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群では、「塾や習い事で過ごしているとき」31.2%（困窮度Ⅰ群に対して、1.38倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」22.3%（同じく1.24倍）、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」64.5%（同じく1.15倍）が高かった。しかし、中央値以上群は「特に楽しいと思うときはない」0.9%（同じく2.25倍）も高かった。子どもが悩んでいることでは、差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「おうちのこと」7.8%（中央値以上群に対して、1.59倍）が高く、中央値以上群では「進学・進路のこと」17.1%（困窮度Ⅰ群に対して、1.35倍）が高かった。これも自身のことよりも家庭を抱えていることが明確で深刻である。

困窮度別に保護者の相談相手は、中央値以上群では「配偶者・パートナー」と回答した割合が85.8%だったのに対して、困窮度Ⅰ群では46.5%だった。困窮度別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、困窮度が高くなるにつれ、保護者のセルフ・エフィカシーが低くなっている。困窮度が高いと安心して身近に話せる人が少なくなり、自己効力感も下がる。

保護者が、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、子どもがおうちの手伝いし、おうちの大人の人が宿題（勉強）を見ており、子どもがニュースなど社会のできごとを話す、おうちの大人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするなどが高かった。特に差がなかった項目に比べて保護者が地域で孤立しているとニュースや社会の出来事、文化活動など知的な活動になりにくい傾向が考えられる。

経済的に厳しいと地域で孤立しやすく、親の交流の状況が子どもの生活に通じ、子どもが多様な価値観を持って、知的好奇心を広げていくことに影響してしまう可能性がある。

Ⅲ 課題と方向性

本調査では、大阪府の30市町村の調査のみならず大阪府内43自治体を共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として大阪府30市町村の調査結果を裏付けるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものにもなった。本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。大阪府内全自治体は、実態として大阪府30市町村の回答より経済的状況はやや厳しい状況にあると読み取れたが、単純集計の範囲でありグラフに記載している。

本調査は、子どもの貧困対策につながる基礎調査である。まず、このデータが現状を表すものであるのかどうか、国が公表している生活保護に関する数値では、平成26年度の調査によると、大阪市が5.55%、大阪府府内全自治体が3.41%（厚生労働省「被保護者調査」）となっている。本調査では、学年別の差がほぼなく保護者全体で「受けている」と「受けたことがある」を合わせて、大阪市では4.4%、大阪府内全自治体では3.4%であった。これらから国調査の数値とのずれは1ポイントで本調査結果が信頼できることを示している。そして、本調査では、さらに生活実態を明らかにすることができたといえよう。

以下、当初設定した経済的資本の欠如、ヒューマンキャピタルの欠如、ソーシャルキャピタルの欠如の3つのキャピタルの欠如で見ていくこととする。その際に、新たに子どもの権利に関する条約の精神が明記された、2016年児童福祉法一部改正による理念と養育責任、子どもの貧困対策の推進に関する法律の条文を前提として確認する。

児童福祉法の抜粋

第一条 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

第二条 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

2 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。

3 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

子どもの貧困対策の推進に関する法律の抜粋

(目的)

第一条 この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない。

2 子どもの貧困対策は、国及び地方公共団体の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行われなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、子どもの貧困対策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、子どもの貧困対策に関し、国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(国民の責務)

第五条 国民は、国又は地方公共団体が実施する子どもの貧困対策に協力するよう努めなければならない。

(略)

(調査研究)

第十四条 国及び地方公共団体は、子どもの貧困対策を適正に策定し、及び実施するため、子どもの貧困に関する調査及び研究その他の必要な施策を講ずるものとする。

1) 経済的資本の欠如

<単純集計から>

まず経済的資本の欠如の問題から見ると、大阪府 30 市町村でも大阪府内全自治体でも、約 1/4 の世帯が赤字であった（大阪府 30 市町村：25.1%、大阪府内全自治体：26.0%）。特に、大阪府内全自治体の中 2 の世帯が 28.3%と高くなる。クラブや塾など小学生よりも中学生の方が家計を圧迫していることが想像できる。そして赤字の対処は、全体として、約 6 割が貯蓄を取り崩し（大阪府 30 市町村：66.3%、大阪府内全自治体：61.5%）、約 2 割が金融機関に借入れ（大阪府 30 市町村：16.6%、大阪府内全自治体：17.3%）、約 1 割が親や親族に頼る（大阪府 30 市町村：9.6%、大阪府内全自治体：9.0%）となっている。これは持ち家率が約 75%から 85%（大阪府 30 市町村 84.5%、大阪府内全自治体：74.5%）という高さに関連する可能性も考えられる。また、約 4 割（大阪府 30 市町村：35.6%、大阪府内全自治体：40.0%）が、子どものための貯蓄をしたいができない状態にあった。これは、これからの日本社会、大阪を担う子どもを養育する上で、その養育責任が保護者のみならず国や地方自治体にあることから考慮して、この状況は決して看過できない。

手当関係では、児童手当は特例もあるため義務教育の子どもを持つ全世帯が受けることができる権利があるが、それでも受けたことがない人が5%弱（大阪府30市町村：4.4%、大阪府内全自治体：4.2%）存在する。

<クロス集計から>

本調査では、「通常であれば可能な生活」を基準に、経済的理由で生じた具体的な生活上の困難の経験について質問項目を設定し、困窮度の群との関係を検証した。「どれにも当てはまらない」という回答は、日本において通常期待されるべき生活水準にあることを示すものである。中央値以上群で約4割（大阪府30市町村：39.8%、大阪府内全自治体：38.5%）が「どれにも当てはまらない」と回答しているのに対して、困窮度Ⅰ群では5%ほど（大阪府30市町村：5.2%、大阪府内全自治体：7.2%）にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にある。「電気・ガス・水道などが止められた」「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」「電話など通信料の支払いが滞ったことがある」といった困窮の状況を示す回答の割合は、中央値以上群と比較して、困窮度Ⅰ群は相当高くなっており、生活面で大きな格差が存在することが示されている。また、「国民年金が支払えなかった」という回答が、困窮度Ⅰ群で23.8%（大阪府内全自治体：23.3%）となるなど、保護者の老後の生活困窮が懸念される結果となった。こういう生活状況の下で保護者の不安感は大きく、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」という回答は、困窮度Ⅰ群では約5割を占めている（大阪府30市町村53.8%：大阪府内全自治体：43.9%）。

社会保障給付の受給割合について、とりわけ子どもに関連する社会保障給付に着目すると、「児童手当」、「児童扶養手当」、「就学援助制度」、「生活保護制度」それぞれ、困窮度が高まるにつれて、受給率が高くなる傾向が見られるのは当然のことではあるものの、しかし、困窮度Ⅰ群について各制度の現在の受給率に着目すると、「児童手当」97.2%、「就学援助制度」60.1%、「児童扶養手当」70.4%、「生活保護制度」4.9%と、児童手当以外の制度では、低い受給率にとどまっている（大阪府内全自治体：「児童手当」93.9%、「就学援助制度」63.2%、「生活保護制度」8.4%）。困窮度Ⅰ群であって「受けたことがない」に着目すると、就学援助では、約15%から20%ほど（大阪府30市町村：20.3%、大阪府内全自治体：14.6%）、ひとり親世帯のうち児童扶養手当が約10%（大阪府30市町村：13.4%、大阪府内全自治体：10.1%）、公的な社会保障給付ではないが、同じくひとり親世帯で養育費が約半数（大阪府30市町村54.2%、大阪府内全自治体46.9%）であった。受給率を高める施策が求められる。就学援助制度は自治体独自の適用基準を有するため単純には判断できないが、生活保護制度も含めて、制度の捕捉率を上げる施策が求められているといえる。

雇用について着目すると、雇用形態が、所得階層の分布に反映されていることが示されており、中央値以上群では、正規雇用が9割以上を占めるのに対して、困窮度Ⅰ群では、約4割にとどまっている（大阪府30市町村：中央値以上群91.3%、困窮度Ⅰ群40.8%、大阪府内全自治体：中央値以上群90.2%、困窮度Ⅰ群35.5%）。逆に困窮度Ⅰ群では、非正規群や無業群が33.2%（大阪府内全自治体：39.7%）と多くを占めるなど子どもの貧困を考える上で、保護者の雇用の問題は大きい。なお、正規雇用や非正規労働であるにもかかわらず困窮度Ⅰ群になるという点は、いわゆるワーキングプアの問題として注意する必要がある。

また、困窮度が高い群ほど学歴が低い傾向にある。母親の学歴を見ると、大阪府30市町村の結果では、中央値以上群では27.6%（大阪府内全自治体：22.9%）が大学卒であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、大学卒は7.7%である（大阪府内全自治体：6.1%）。父親の学歴を見ると、中央値以上群では46.8%

(大阪府内全自治体：42.9%)が大学卒であるのに対して、困窮度Ⅰ群では大学卒は10.5%(大阪府内全自治体：8.7%)、中卒、高校中退が11.9%(大阪府内全自治体：11.0%)となっている。学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高くなる。

世帯構成と就労状況の関係をみると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が高くなる(大阪府30市町村：29.0%、大阪府内全自治体：35.1%)。困窮度Ⅰ群では、主たる生計維持者が母親である割合が高く、5割弱(大阪府30市町村：45.5%、大阪府内全自治体：48.8%)となっている。基本的に、ひとり親世帯への重点支援を検討すべきである。

さらに、正規雇用の世帯の群の約4割(大阪府30市町村：44.5%、大阪府内全自治体：40.3%)では、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向にあるが、非正規の群では、約5割から6割(大阪府30市町村：58.8%、大阪府内全自治体：50.3%)が赤字となっている。

はじめて親となった年齢についてとりわけ10代、20～23歳の割合を困窮度別にみると、困窮度が高まるにつれて10代、および20～23歳の割合が高まる傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、10代、および20～23歳をあわせると4人に1人の割合(大阪府30市町村：23.8%、大阪府内全自治体：29.5%)となり、低年齢出産と生活困窮との関連性が示された。母親の最終学歴についてはじめて親となった年齢別にみると、10代出産の母親について中卒が約2割から3割(大阪府30市町村：28.6%、大阪府内全自治体：19.8%)と他の年齢群に比べ高い割合を示した。また、10代群の特徴として、就労状況において非正規の割合の高さ、保護者自身の心身の気になることの多さなどが挙げられる。出産以降の長期的なフォローの必要性が示されている。

家計を住居の所有状況別にみると、「府営・市営の住宅」において、家計が赤字の世帯の割合が半数を超え(大阪府30市町村：54.1%、大阪府内全自治体：42.8%)、子どものために「貯蓄したいが、できていない」割合が約7割(大阪府30市町村：70.5%、大阪府内全自治体：68.2%)と他の住居群に比べて家計の厳しさが示された。また、後述するが、子ども部屋があるか否かが学習時間に関連していることから、居住環境も子どもの養育環境に影響すると推測される。

<まとめと提案>

以上から、特に困窮度Ⅰ群への経済支援策を検討する必要がある。まずは、さまざまな現金給付の受給率や各種減免制度等の利用率を改善するための取り組みを行う必要がある。制度やサービスの利用が、当然の権利として認識されておらず、利用の拒否や認知度の低さなどから、制度やサービスが必要な人に届いていないといえる。児童手当の現況届を担当する部署や保育所申請する部署での気になる事例のキャッチの仕組みを徹底強化するなど、制度間の連携を進めることが重要である。

また、医療費の負担を軽減する施策として、子ども医療費助成制度の拡充や国民健康保険料および利用者負担の減免などの拡充が求められる。例えば、企業による子育て世帯への住宅手当の拡大や家賃の軽減など未来を担う子どもへの投資として、自治体が方向性や方針を形にしていくなど子育て世帯に対する住宅費の負担を軽減する施策も重要といえる。さらに、困窮度が高い群では、家計が赤字の割合が高いことから、国の施策ではあるが児童扶養手当など現金給付の水準の引き上げなども必要であり、国に対する地方自治体からの働きかけが求められている。

就労所得を増やすためには、安定した雇用の確保が不可欠であり、子育て世帯の就労について地域の企業等との連携が重要である。雇用については、賃金だけでなく、勤務時間など子育てに配慮した働き方の保障が求められている。

本調査では、住宅の状況と経済的苦しさとの関連が明らかになった。特定の住宅の所有形態が特定の

地域に集中することが多いことから、地域ごとの取り組みが求められている。特に、公営住宅や UR 賃貸住宅の集中する校区では、小学校や子育て広場、保育所、幼稚園などで教育的支援、社会的支援を重点的に実施することなどが必要である。

また、本調査では、10代で出産した親やひとり親世帯など優先して支援すべきグループが明確になった。特に、若年出産者に対する経済的支援策、保育所優先、若年の保護者に特化した就労支援などを一体的に実施する必要性が高い。また、ひとり親世帯については養育費の確保のための取り組みなどをそれぞれの家庭の実情に合わせて進めていくことが必要である。

さらに、ひとり親への就労支援や保護者同士をつなげる支援も強化すべきである。イギリスでは、保護者に対する就労支援（PC 教室や職業訓練など）を行きやすい学校の間で行うなど実施しているが、学校という場に他の支援者や事業が入って実施することも検討するなども考えられる。すでに実施しているところもあり、これらの見える化と実施の拡充を検討することも考えられる。子どもの近くで仕事への準備を始められる、母親が孤立せずに相談が気軽にできるというメリットとともに授業参観などにも容易に行きやすく、子どもへの関心が継続できる可能性がある。経済的支援・就労支援については、それぞれを独立して考えるのではなく、子どもへの監督や関心を高める支援と連動させて行うことを検討することも考えられよう。

2) ヒューマンキャピタルの欠如

<単純集計から> ※割合でなく「いる」ということが重要な箇所は大阪府内全自治体を中心にする。

大阪府内全自治体において、朝食を毎日食べない子どもが 915 人（1.8%）（大阪府 30 市町村：34 人 1.3%）存在し、毎日食べる子ども以外が 6,030 人（12.1%）（大阪府 30 市町村：212 人 8.1%）となっている。夕食は毎日食べない子どもが 30 人（0.1%）存在し、毎日食べる以外が 956 人（1.9%）となっている。

おうちの大人と朝食や夕食を一緒に取るかどうかという質問では、いずれも中学生の方が低くなる。朝食では、一緒にとっていない小学生は 6.0%（大阪府 30 市町村）や 8.9%（大阪府内全自治体）、中学生で 12.2%（大阪府 30 市町村）や 17.2%（大阪府内全自治体）と小学生の倍になる。「ほとんどない」も加えると、小学生で約 2 割（大阪府 30 市町村：17.1%、大阪府内全自治体：22.0%）、中学生で 3 割強（大阪府 30 市町村：29.1%、大阪府内全自治体：36.2%）の子どもたちがほとんど朝食を一緒に食べていない。このことは、文科省が示す、朝食を一緒に食べることと学力が関連することを鑑みると、ヒューマンキャピタルに影響してしまう。

またおうちの大人に宿題を見てもらっているかに関する設問について中学生では、大阪府 30 市町村では 34.7%、大阪府内全自治体では 44.6%と半数近くが見てもらおうことが全くない。この「まったくない」という回答が中学生において多くなる傾向は、ほかの項目、「おうちの大人と学校の話をするか（大阪府 30 市町村：5.0%、大阪府内全自治体：7.5%）」、「おうちの大人と一緒に遊んだり体を動かすか（大阪府 30 市町村：22.0%、大阪府内全自治体：27.9%）」、「おうちの大人と社会の出来事を話すか（大阪府 30 市町村：10.3%、大阪府内全自治体：14.6%）」、「おうちの大人と文化活動をするか（大阪府 30 市町村：31.6%、大阪府内全自治体：39.3%）」、「おうちの大人と一緒に外出をするか（大阪府 30 市町村：1.3%、大阪府内全自治体：2.4%）」においても同様の結果であった。子どもと関わる時間がない傾向がみられる。耳塚ほか（2013）は、経済的状況と子どもの学力との関連の調査において、学力に関連するのは家庭での読書、生活習慣への働きかけ、保護者と子ども間のコミュニケーション、文化活動であることを示している。本調査結果からも、読書以外は中 2（大阪府内全自治体）では低く、学力に影響してい

くことが推察される。

子ども自身の体や気持ちで気になることを問うと、小学生は約2割（大阪府30市町村：25.0%、大阪府内全自治体：24.3%）が「よいかゆくなる」、中学生は約3割（大阪府30市町村：28.4%、大阪府内全自治体：32.1%）が「やる気が起きない」状態で最も高かった。同じ質問では、保護者は約4割（大阪府30市町村：42.0%、大阪府内全自治体：43.3%）が肩こりを訴え、約3割（大阪府30市町村：34.8%、大阪府内全自治体：35.9%）がイライラを訴えている。このイライラや不安を子どもに向けてしまうという数値は、「よくある」「時々ある」を合わせて、約7割（大阪府30市町村：71.4%、大阪府内全自治体：69.6%）だった。保護者の健康診断の受診は、受けていない人が、小学生、中学生どちらも4割（小学生は大阪府30市町村：35.5%、大阪府内全自治体：41.1%、中学生は大阪府30市町村：34.2%、大阪府内全自治体：38.9%）は受けていなかった。さらに困窮度の高い方が受けていない割合が高い。

遅刻では、大阪府内全自治体の方で、遅刻の項目でみると、遅刻をしない以外が14.8%（大阪府30市町村：12.5%）しかなく、何らかの頻度で遅刻をしていることになる。小5で1,359人（5.1%）（大阪府30市町村：62人4.4%）の子どもたち、中2で793人（3.4%）（大阪府30市町村：48人3.8%）がほぼ毎日遅刻している。この事実だけでも大きい。いずれも小5の方が多く、保護者の生活が影響する年代である。

30日以上欠席では、何日か詳細がわからないという回答を含めて大阪府内全自治体の小5で200人（0.7%）（大阪府30市町村：13人1.0%）、中2で396人（1.7%）（大阪府30市町村：22人1.7%）となる。この数は、上記のほぼ毎日遅刻の数の小学生6分の1、中学生で半数になる。ここに早期対応していくことの必要性がわかる。

<クロス集計から>

本調査から、所得がヒューマンキャピタルに明らかに影響していくことがわかった。学習面、健康面に関して述べる。

本調査では、所得の差が学習面での機会の差となって現れることが示されている。中央値以上群と困窮度Ⅰ群で比較して、「子どもを習い事に通わすことができない」「子どもを学習塾に通わすことができない」「子どもの進路を変更した」それぞれ10倍近い差（大阪府30市町村：「子どもを習い事に通わすことができない」7.0倍、「子どもを学習塾に通わすことができない」9.4倍、「子どもの進路を変更した」9.9倍／大阪府内全自治体：「子どもを習い事に通わすことができない」5.8倍、「子どもを学習塾に通わすことができない」8倍、「子どもの進路を変更した」6.3倍）となっている。学力などヒューマンキャピタルの面で子どもの将来に影響を与えることが予想される。

困窮度が高まるにつれ、おうちの大人の人と一緒に朝食を取る頻度や読書時間、さらに学習理解度が低くなり、困窮度Ⅰ群ではこれらの状態にある子どもが約2割から3割を占める。そして、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長いという結果を考えると、勉強時間が経済的環境に影響されることが十分考えられる。

生活習慣が確立していない子どものほうが勉強や読書を「まったくしない」傾向があり、生活習慣は、困窮度が高くなると確立していない傾向がみられた。

困窮度別の学習時間と学習理解度との関係を見ると、困窮度が高まるにつれ、学習理解度が低くなり、大阪府内全自治体の中央値以上群ではきれいに勉強時間と理解度が比例するが、困窮度Ⅰ群ではあまり明確でない。つまり、中央値以上群では努力が成果につながるが、経済的に厳しいほど努力だけではない結果が見える。このことは全国学力テストから示された先行研究（耳塚ほか2013）を裏付けるもので

あった。

子どもの将来に関して、困窮度が高まるにつれ、「あまり期待していない」「期待していない」が増え、困窮度Ⅰ群では、「あまり期待していない」「期待していない」を合計すると、大阪府30市町村18.5%、大阪府内全自治体19.5%である。子ども自身の希望では、困窮度が高まるにつれ、「中学校」「高校」と回答した子どもが増え、困窮度Ⅰ群では、大阪府30市町村24.0%、大阪府内全自治体24.1%となり、保護者の進学予測が「中学校」「高校」が大阪府30市町村30.0%、大阪府内全自治体31.7%となる。つまり、子ども自身が希望は高卒までと考えているわけではないが、保護者がそこまで思っているズレがみられる。保護者の方も困窮度が高まるにつれ、子どもの進学達成をあきらめており、困窮度Ⅰ群では大阪府30市町村7.7%、大阪府内全自治体8.0%、その理由が経済的理由である割合が大阪府30市町村81.8%、大阪府内全自治体64.2%と高くなる。

耳塚ほか(2013)が示した子どもの学力に影響するものの第4番目に挙げた文化活動では、今回明らかに困窮度が高くなるにつれて文化活動をおうちの大人の人と行う低さが見られた。文化活動とともに、学校外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、本調査結果では、所得階群によって体験に格差があることが示された。たとえば、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」という回答は、中央値以上群で約1割弱(大阪府30市町村:7.8%、大阪府内全自治体:8.3%)に対して、困窮度Ⅰ群では約45%(大阪府30市町村:46.2%、大阪府内全自治体:41.0%)に達している。

その一方、経験できなかったことがないという回答が、中央値以上群では約7割(大阪府30市町村:74.7%、大阪府内全自治体:70.2%)に達している。子どもに対して困難なく資源や機会が提供できている世帯も多数いるという点にも留意する必要があるだろう。

次に健康面では、困窮度が深刻化するほど、朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。朝食および休日の昼食の頻度が高いグループのほうが子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高い結果が示された。

子どもの心身の状況についてみると、困窮度によって子どもの心身の状況に影響が出ているといえる。特に、「歯がいたい」、「よく頭がいたくなる」、「不安な気持ちになる」、「ねむれない」の項目は、中央値以上群に対し困窮度Ⅰ群において高い割合を示した。身体的な症状だけではなく、困窮度が高くなると、「ねむれない」、「不安な気持ちになる」、「やる気が起きない」、「イライラする」といった心理的・精神的状況に関する項目も高くなり、これら心身の状況の問題が学習状況にも影響を与えていることが予測される。

保護者の心身の状況についても困窮度が深刻化するにつれ保護者の心身の状況が悪化していることが明らかとなった。中央値以上群と困窮度Ⅰ群との差は、子ども以上に大きく開いている。両者の格差が大きい項目は、「ねむれない」「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」等である。特に、困窮度Ⅰ群では、心理・精神的状況にも深刻な影響を与えていることが明らかである。

非正規や無業など、保護者の就労状況が不安定化するにつれ、心身の気になることの項目数が増え、定期的に健康診断を受診している割合が低くなっている。健康診断を容易に受診できる雇用状況、時間的余裕などが受診率の差に現れていると想定される。

困窮度が深刻化するにつれ、幸福感が低くなり、保護者自身の生活の不安感、幸福度の低さなどが子どもにも何らかの影響を与えていると推測される。

<まとめと提案>

本調査結果から、起床や朝食習慣は、経済的理由との関連があり、遅刻には保護者の健康面の課題を抱え心配している子どもの姿も見える。しかし、就寝は保護者の帰宅時間で遅くなるというよりは、経済的に厳しくない家庭の子どもの就寝時間の方が遅く、学習面からも保護者が監督することで子どもの学習習慣が身につけていることが考えられる。この監督ができ、バックアップできる保護者の力には健康面も含まれるといえる。中2という学年は、まだ何らかの保護者の監督やバックアップのもとに学習を習慣づけることが必要であり、保護者の健康上の心配など子どもへの負担をできるだけ軽減する必要がある。

つまり、保護者の健康診断を誰でもが受診できるように労働部門と連携し企業側に必須化する、非正規雇用の場合の策を検討すること、そしてチェックのあった保護者に家事援助などのヘルパーや傷病手当金など、あるいはもっと保健・看護部門との連携により、気軽に利用ができる健康相談や訪問看護のような仕組みの創設など考えられる。健康上の不安が解消され支援情報が回るような仕組みを作る必要がある。

本調査の結果、食習慣に取り組むことや家族で社会的なできごとを会話したり、図書館や博物館などに出向くなど文化的な活動に取り組むことは、結果的には、子どもの社会的関心を引き出し、学校へ向かう気持ちをもたらし、学習へのモチベーションになると考えられる。さらに、先行研究においてすでに指摘があるように（山野・三沢 2014）、保護者と子どもとの間で将来の見通しや期待を共有していることは、子どものヒューマンキャピタルに影響をもたらす。

施策としては、義務教育年齢以下の子どもがいる世帯に対して、雇用の拡大と賃金のベースラインを上げるなど安定した生活を送れるような労働と教育の協働施策が必須である。そして基本的生活習慣の大切さに関連する家庭教育支援に力を入れるべきであり、経済的に厳しい状況にある家庭に、生活習慣や子どもとの会話の意義を届ける方策が必要である。例えば、乳幼児期は健診ですでに周知されていると思われるので、就学後として、多くの親が出向くであろう入学式において、必ず子どもの発達と生活習慣など家庭教育の重要性などのワンポイントレクチャーを入れるなど、周知徹底を義務化するような方策が考えられる。さらに、見えにくい保護者の健康面などをキャッチアップし、子どもが心配しなくてもいいように支援につながる仕組みを検討し早急に対応すべきであろう。

食に関しても、食べる・食べないだけでなく、そこで生じる親子の会話など親子関係を間接的にも支援していくことが重要である。子ども食堂のようにNPOのある場所に立ち上げるだけではなく、厳しい地域の学校（学校を場として特化するのには、義務教育という誰もが通う場であること、保護者の意識に左右されずそのまま躊躇なく授業終了からその場に移動できること、小学校であれば校区外に出ることが禁止されていること、などから）にNPOの子ども食堂が入ることで保護者への信頼も得て、有料の人も含めて広く活用できるようにすることが考えられる。内容も、保護者にとって親子のクッキング教室のようにする、他の親とおしゃべりする場にする、他の親子や子どもを見る機会にする、など子どもだけではなく保護者支援含む親子への支援を行うことが重要である。

本調査で大阪は、経済的に厳しい状況にある家庭がかなり高い割合にあり、保護者のストレスが高いことから、ストレスマネジメントを学校の間で行う、学びの場にするなど保護者支援や社会教育含む生涯学習として学校の間で実施する（教師が行うということではない）ことも検討すべきであろう。例えば、保育所に子育て支援センターを附置したように、学校にも保育現場ですでに実践経験と効果も把握している保護者支援の取り組み（親支援プログラムなど）を附置していくなどである。

学習面では、根本的にはこの数値の高さから、国として教員養成科目に貧困などの理解をもたらすた

めに福祉科目を入れるべきと考えるが、都道府県レベルでまずは教職員への研修や理解をもたらすように働きかけることも重要である。たとえば学力主義的な教育に偏らないよう、社会教育主事を学校人材に多く投入する、現任教員に社会教育主事資格を奨励するなど、子どもや家庭に基本的な生活習慣や文化活動の重要性、教師がその方向で導くことができるような工夫が必要である。

文部科学省において多職種で検討するようなチーム学校の方向が出されたように、大阪においてもすべての子どもが集まる場としての学校に様々な事業や職種を入れて子どもの最善の利益を保障していくような取り組みが必要である。さまざまな視点があることで、学校であるからこそ、すべての子どもたちにチャンスをもたらすことができる。校外で何か支援策を提示すると、必ず保護者も含めて出向く問題意識の有無、時間的・心理的余裕の有無が影響する。本調査で明らかになった多さと実態から、学習支援においてもその場所の工夫は必須であり、内容も単に勉強ではなく、読書、ニュースの話、社会体験、モデル提示など様々な要素を併せ持った学習支援の必要がある。経済状況が教育の機会均等を妨げないように、経済的に厳しい家庭の子どもたちが希望を持てるような各所での工夫、学習支援を、新たな発想で進めていくことが可能になりうるのではないかと考える。

3) ソーシャルキャピタルの欠如

すでに経済的資本やヒューマンキャピタルと重複し、述べてきた部分も多いため、本調査では対人関係、相談関係に焦点化して述べる。

<単純集計から>

「悩んだときの対処を教えてください」と答えた小学生が 2.5% (大阪府 30 市町村)、3.0% (大阪府内全自治体)、中学生が 3.1% (大阪府 30 市町村)、3.8% (大阪府内全自治体) である。

<クロス集計から>

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果である。困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所では、困窮度が高まるにつれ、「塾」「習いごと」に行くことができていないことが明らかになった。また、子どもが放課後に一緒に過ごしている人物においても、「ひとりである」回答がやや高くなっている。中央値以上群では「おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)」大阪府 30 市町村：24.8%、大阪府内全自治体：23.2%、や「学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)」大阪府 30 市町村：13.0%、大阪府内全自治体：11.4%、項目がやや差があり、経済状況によって子どもの世界に違いが見える。家族や親類以外の様々な大人と接する機会を持っていない。さまざまな経験の格差にもなっている。

困窮度別に子どもが楽しいと思うことも明確に違いが見え、中央値以上群では、「塾や習い事で過ごしているとき」「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が高かった。セルフ・エフィカシーにもつながると推測できる。子どもが悩んでいることにも、差がみられ、困窮度Ⅰ群では、「おうちのこと」が高く、中央値以上群では「進学・進路のこと」が高かった。これも自身のことよりも家庭を抱えていることが明確で深刻である。

困窮度別に保護者の相談相手は、中央値以上群では「配偶者・パートナー」と回答した割合が大阪府 30 市町村：85.8%、大阪府内全自治体：81.7%だったのに対して、困窮度Ⅰ群では大阪府 30 市町村：46.5%、大阪府内全自治体：42.0%だった。困窮度別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、困窮度が高くなるにつれ、保護者のセルフ・エフィカシーが低くなっている。困窮度が高いと安心して身近に話せる人が少なくなり、セルフ・エフィカシーも下がる。

保護者が、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、子どもがおうちの手伝いを行い、おうちの大人の人が宿題（勉強）を見ており、子どもがニュースなど社会のできごとを話し、おうちの大人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするなどが高かった。

経済的に厳しいと地域で孤立しやすく、保護者の交流世界が子どもの世界にも影響を与え、子どもが視野を広げ、知的好奇心を広げにくくなる可能性がある。

<まとめと提案>

児童相談所など問題にあたる機関ではなく、もっと身近に保護者に様々な情報を提供し、保護者を勇気づけ、親身に話を聞いていく支援が必要である。乳幼児の全戸訪問から当たり前にすべての保護者に親支援プログラムや情報につなぐ家庭教育支援などが提供され、継続してフォローされる仕組みが必要である。

例えば、保健部門からのアプローチとして、健康診断などからのフォローがすでに実施されている。赤ちゃんプログラムのような、生まれてすぐに全数支援して情報やつながりを提供するような施策が必要である。しかし、それだけでは必ずしも十分でなく、当事者にとって魅力ではなかった可能性がある。出産後の希望の持てるときに、保護者同士のつながりができる、保護者にとって有益な情報を得ることができる、といった提供プログラムは有効であろう。それを小学校に向けて、つながるように制度設計することや小学校の場で行うなどの工夫が必要である。

子どもの実態から、ヒューマンキャピタルのところで述べたように学校を一旦離れてしまうと支援の場に誘導するのが難しく、いくら居場所や学習支援の施策を出しても現状のようにひとりで過ごしたり、あるいは狭い世界で過ごすことになる子どもが生まれるのではないかという懸念がぬぐえない。様々な選択肢を用意することは重要であるが、対象となる子どもを広く確実に拾い出し（スクリーニング機能）、支援できる仕組みを作ることが喫緊の課題である。さらにそこから、より必要な人が拾い出され、学校や支援機関につながっていくような仕組みが必要である。

保育所や幼稚園は、必ずしもその地域の子どもが利用するとは限らない。そういう意味でも確実に必要な家庭に届くよう、イギリスが実施している学校という場で支援につないだり実施したりする機能を附置させることが重要である。国の貧困対策で示した学校プラットフォームの実際を作るなど考えられる。そして地域で目標を一致させ、先述した保健部門も合わせて、子育て広場や子育て支援センター、保育所と協働してつないでいく必要がある。

アメリカの大学生が起こした大改革「ティーチ・フォー・アメリカ」（ウェンディ・コック 2009）のように、例えば大学生のプロポーザルを求めて予算投入するというような発想の転換が必要であろう。あるいは、優秀な学生を厳しい地域に送り込む、また教員免許取得を考えている学生を送り込む、というような学校への支援人材の大導入、またある自治体で行っているようにすべての学校での放課後支援の導入、など事業目標を明確化し実施者にも周知徹底し計画的に実施することが考えられる。学習支援のなかには、単に勉強を教えるだけではない効果（山野・三沢 2014 ほか）もたくさん指摘されている。何を目標に何をすべきか、大枠をしっかりとガイドラインとして提示し、学習支援や子ども食堂立ち上げに必須条件にしていくことで重要な視点を支援者にも広めることが重要である。そのなかには、保護者が子どもに向き合っていくことができこそ、子どもも学習に向かい、社会に向かっていくことができること、保護者が子どもに向き合っていくような支援の重要性を記載していく必要がある。

4) まとめ

以上、子どもの貧困は、経済的資本、ヒューマンキャピタル、ソーシャルキャピタルの欠如が複合的に絡んだ生活問題・社会的格差問題である。個々の子どもを取り巻く生活全体を見据え、その多様な側面に着目し、社会的な支援を行っていくことが求められている。

今後求められる施策としては、まずは雇用や所得保障制度の構築・拡大である。これは自治体の守備範囲を超えるものであり国の役割が重要である。しかし、労働施策への働きかけは必須であり、困窮度Ⅰ群に対して、経済的安定をどう図るかは喫緊の課題である。企業団体側も協力を申し出ている現状では、うまくマッチングをしていくことや自治体から企業に表彰や補助などインセンティブを設けて、ひとり親家庭の雇用や正職化を促すなど、行政の役割として担える部分があると思われる。

貧困問題の根幹には経済的困窮があることから、現金給付や各種のサービスの自己負担の減免制度の拡大、確実に子どもに渡る現物給付（医療の現物給付を始めた自治体もある）、確実に必要な人に届く親の就労を支援する施策など直接的な取り組みであるが、確実に必要な子どもに保障できる居場所づくりや学習支援などの生活支援も重要である。これらの多くがすでに実施されているが、必要な子どもや家族に「確実に届ける」ことが課題である。既存の施策や事業にこだわらず、仕組みを作成することが重要である。また、柔軟に組み合わせていくことが求められている。また、その実施については、地方自治体を中心となって、地域住民や学校、NPOなどと連携して、きめの細かい対応を進めていく必要がある。

「確実に届ける」課題には大きな仕組みを作る必要がある。貧困対策のための支援のポイントの提示と徹底、取りこぼさずに流れていくような仕組みの法制化（要項、規定や通知レベルなど）と徹底は大阪府として取り組むべきであろう。児童扶養手当や就学援助制度でさえ、必要な対象家庭が受給していないことやほぼ毎日遅刻している一定数が不登校につながる可能性から、学校の「チーム学校」の機能を生かして、例えば、欠席、遅刻何日以上、週何回以上、また2か月諸費滞納（学校にはなじみにくい経済的チェック項目を入れる）などの基準を設け、拾い上げ支援につなぐ仕組みをつくっていくことである（スクリーニング会議）。そこで検討され支援が必要になった子どもたちを、選別的ではなく自然な流れで、子ども食堂や学習支援などにつなぐには、学校に地域資源として入っていれば、教師のみが抱えるのではなく、確実にリファーできる。多忙で、かつ丸抱えざるを得ない、何をどうしていいかわからない教師にとってこういった仕組みが確立することは将来的には有益であろう。スクールソーシャルワーカーの常勤化を政府が掲げているが、キーになる人材を投入して、スクリーニング機能を生かし、必要な制度、サービスに確実につなぐ可能性が生じる。つなぐという仕組みを全数把握できる学校場で作っていくことである。乳幼児は、保健センターなどの健診とその後のフォロー検討会がすでに存在するので、そこに経済的課題も基準に入れておく必要があるであろう。

そして様々なところで支援する支援者が共通の指標を持つことができることは極めて重要である。この指標の例示は必要であろう。子どもの貧困対策のために、目標、ターゲット、支援内容、効果、これを明確に示し、評価を今後も重ねていく必要があり、そのことを各自治体に周知徹底し連携することが重要である。国、他の都道府県、府内市町村との連携、協働は今後も期待したい。

最後に、実態調査に関する調査課題として今後に向けて3点あげて結びにしたい。

1 点目は、今回の大規模調査について、他の自治体に例のない大規模調査を府内複数自治体と共同実施するという方法をとったことは評価すべき点である。これだけの大規模調査において実態をつかむには、調査としては、複数年かけて初年度様々な角度から全体像をつかむ、次年度さらに分析を深めて構造を明らかにするなどの方法も検討すべきであろう。はく奪指標を先行研究から引用したが、市民の声

の普通の暮らしからピックアップするなど方法として考えられる。

2点目は、今後、3年や5年に1度など、定点観測も検討すべきであろう。国においても何年かごとの観測は指摘されている。その際、例えば、コーホートで同じ学年を追うことでサービスの効果など測り、評価を入れることなども考えられる。

3点目に、調査として機関調査や施設退所者の実態調査の実施も並行したが、当事者の声を直接聴く取り組みも今後検討が必要であろう。

引用文献

耳塚寛明 (2013) 『平成25年度全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究』文部科学省委託研究国立大学法人お茶の水女子大学、88.

文部科学省 (2017) 「児童生徒の教育相談の充実について」(スクールソーシャルワーカーのガイドライン含む) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/066/gaiyou/1381049.htm

所道彦 (2015) 「9章イギリス」埋橋孝文・矢野裕俊編著『子どもの貧困／不利／困難を考える』ミネルヴァ書房、189-203.

山野則子・三沢徳枝 (2015) 「学習支援プログラム参加者の状況を視野に入れた支援の可能性ーアセスメントシートの分析からー」社会問題研究第64号(通算第143号)、大阪府立大学人間社会学部社会問題研究会、47-57.

ウェンディ・コック/訳東方雅美 (2009) 『いつか、すべての子どもたちにー「ティーチ・フォー・アメリカ」とそこで私が学んだことー』英治出版.

図表目次

図 1. 学年.....	6
図 2. 子どもの性別.....	7
図 3. 回答者の続柄.....	8
図 4. 世帯収入額.....	10
図 5. 困窮度の分類と基準.....	11
図 6 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布.....	12
図 7. 経済的な理由による経験.....	14
図 8. 子どもへの経済的な理由による経験.....	16
図 9. 持っているもの、使うことができるもの.....	17
図 10. 家計状況.....	18
図 11. 赤字の場合の対処.....	19
図 12. 子どもの貯蓄.....	20
図 13. 児童手当.....	21
図 14. 就学援助費.....	22
図 15. 児童扶養手当.....	23

図 16.	児童扶養手当（ひとり親世帯）	24
図 17.	児童扶養手当（母子世帯）	25
図 18.	児童扶養手当（父子世帯）	26
図 19.	障がいや難病の手当	27
図 20.	生活保護	28
図 21.	公的年金（老齢年金）	29
図 22.	公的年金（遺族年金、障がい年金）	30
図 23.	雇用保険（失業保険）	31
図 24.	養育費	32
図 25.	養育費（ひとり親世帯）	33
図 26.	養育費（母子世帯）	34
図 27.	養育費（父子世帯）	35
図 28.	親・親族からの仕送り	36
図 29.	退職金	37
図 30.	その他、株式配当などの副収入	38
図 31.	世帯員の人数	40
図 32.	介護または介助の必要な方	41
図 33.	子どもの人数	42
図 34.	小学校入学前の子どもの人数	43
図 35.	小学校1年生から18歳未満の子どもの人数	44
図 36.	18歳以上の子どもの人数	45
図 37.	世帯員の構成	46
図 38.	世帯構成まとめ	47
図 39.	住居	48
図 40.	保護者の在宅時間	49
図 41.	子どもと過ごす時間が長い人	50
図 42.	子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有	51
図 43.	子どもへの信頼度	52
図 44.	子どもとの会話	53
図 45.	子どもと一緒にいる時間（平日）	54
図 46.	子どもと一緒にいる時間（休日）	55
図 47.	子どもの将来への期待	56
図 48.	初めて親となった年齢	57
図 49.	起床時間の規則性	58
図 50.	就寝時間	59
図 51.	睡眠時間	60
図 52.	朝食の頻度	61
図 53.	朝食を食べない理由	62
図 54.	夕食の頻度	63
図 55.	夕食を食べない理由	64

図 56.	学校への遅刻.....	65
図 57.	おうちの大人と朝食を食べるか.....	66
図 58.	おうちの大人と夕食を食べるか.....	67
図 59.	おうちの大人に朝、起こされるか.....	68
図 60.	家の手伝いをするか.....	69
図 61.	おうちの大人に宿題をみてもらうか.....	70
図 62.	おうちの大人と学校の話をするか.....	71
図 63.	おうちの大人と遊んだり、体を動かすか.....	72
図 64.	おうちの大人と社会のできごとを話すか.....	73
図 65.	おうちの大人と文化活動をするか.....	74
図 66.	おうちの大人と一緒に外出するか.....	75
図 67.	毎日の生活で楽しいこと.....	76
図 68.	放課後一緒に過ごす人.....	77
図 69.	自分の体や気持ちで気になること.....	78
図 70.	自分の体や気持ちで気になること.....	79
図 71.	不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと.....	80
図 72.	定期的な健康診断の受診.....	81
図 73.	自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある.....	82
図 74.	はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける.....	83
図 75.	人の集まりの中では、うまくふるまえない.....	84
図 76.	私は自分から友だちを作るのがうまい.....	85
図 77.	人生で起きる問題の多くは自分では解決できない.....	86
図 78.	自分に自信がある.....	87
図 79.	考えを相手に伝えることができる.....	88
図 80.	大人は信用できる.....	89
図 81.	将来の夢や目標を持っている.....	90
図 82.	将来のためにも、今、頑張りたい.....	91
図 83.	将来、働きたい.....	92
図 84.	自家用車の所有.....	93
図 85.	母親の最終学歴.....	94
図 86.	父親の最終学歴.....	95
図 87.	授業以外の勉強時間.....	96
図 88.	学校の勉強で気持ちに近いもの.....	97
図 89.	授業以外の読書時間.....	98
図 90.	希望する進学先.....	99
図 91.	心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人.....	100
図 92.	あなたの気持ちを察して思いやってくれる人.....	101
図 93.	趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人.....	102
図 94.	子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人.....	103
図 95.	子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）.....	104

図 96.	子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	105
図 97.	留守を頼める人	106
図 98.	困ったときの相談先	107
図 99.	嫌なことや悩んでいるときの相談相手	109
図 100.	失敗したときに助けてくれる人	110
図 101.	頑張ったときにほめてくれる人	111
図 102.	一人でできないときに手伝ってくれる人	112
図 103.	あなたの気持ちをわかってくれる人	113
図 104.	あなたのことを信じてくれる人	114
図 105.	悩んだときの対処を教えてくれる人	115
図 106.	良いところ、良くないところをわかってくれる人	116
図 107.	あなたのことを大切にしてくれる人	117
図 108.	困窮度別に見た、経済的な理由による経験	122
図 109.	困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験	124
図 110.	困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの	126
図 111.	困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均	127
図 112.	困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均	128
図 113.	困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均	129
図 114.	困窮度別に見た、世帯員の構成	130
図 115.	世帯構成別に見た家計状況	131
図 116.	困窮度別に見た、介護または介助の必要な方	132
図 117.	困窮度別に見た、子どもの人数	133
図 118.	困窮度別に見た住居	134
図 119.	困窮度別に見た、自家用車の所有	135
図 120.	困窮度別に見た家計状況	136
図 121.	困窮度別に見た、子どものための貯蓄	137
図 122.	困窮度別に見た、おこづかいの金額分布	139
図 123.	困窮度別に見た、おこづかいの使い方	141
図 124.	困窮度別に見た児童手当	143
図 125.	困窮度別に見た就学援助費	144
図 126.	困窮度別に見た児童扶養手当	145
図 127.	困窮度別に見た生活保護	146
図 128.	困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）	147
図 129.	困窮度別に見た養育費	148
図 130.	困窮度別に見た、初めて親となった年齢	149
図 131.	困窮度別に見た、初めて親となった年齢	150
図 132.	初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴	151
図 133.	初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴	152
図 134.	初めて親となった年齢別に見た就労状況	153
図 135.	初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること	154

図 136. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと	155
図 137. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること	156
図 138. 住居別に見た家計状況.....	157
図 139. 住居別に見た、子どものための貯蓄	158
図 140. 困窮度別に見た就労状況	160
図 141. 困窮度別に見た、母親の最終学歴.....	161
図 142. 困窮度別に見た、父親の最終学歴.....	162
図 143. 母親の最終学歴別に見た就労状況	163
図 144. 父親の最終学歴別に見た就労状況	164
図 145. 世帯構成別に見た就労状況	165
図 146. 困窮度別に見た、生計の支えとなる人.....	166
図 147. 就労状況別に見た家計状況	167
図 148. 困窮度別に見た、朝食の頻度	169
図 149. 就労状況別に見た、朝食の頻度.....	170
図 150. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）	171
図 151. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）	172
図 152. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））	173
図 153. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））	174
図 154. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）	175
図 155. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）	176
図 156. 昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	177
図 157. 困窮度別に見た入浴頻度	178
図 158. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	180
図 159. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	182
図 160. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	184
図 161. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	186
図 162. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	187
図 163. 就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー	188
図 164. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	189
図 165. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	190
図 166. 困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）	191
図 167. 困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）	192
図 168. 困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）	193
図 169. 困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと	194
図 170. 困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診	195
図 171. 定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値	196
図 172. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）	198
図 173. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）	199
図 174. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか） .	200

図 175.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）	201
図 176.	困窮度別に見た、授業以外の勉強時間	202
図 177.	困窮度別に見た、授業以外の読書時間	203
図 178.	困窮度別に見た、学習理解度	204
図 179.	子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値	205
図 180.	起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間	206
図 181.	朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間	207
図 182.	起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間	208
図 183.	朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間	209
図 184.	困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連	210
図 185.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）	211
図 186.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）	212
図 187.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））	213
図 188.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））	214
図 189.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）	215
図 190.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの将来への期待）	216
図 191.	困窮度別に見た、希望する進学先	217
図 192.	困窮度別に見た、子どもの進学予測	218
図 193.	困窮度別に見た、子どもの進学達成予測	219
図 194.	困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由	220
図 195.	困窮度別に見た、学校への遅刻	221
図 196.	困窮度別に見た、子どもの通学状況	222
図 197.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）	223
図 198.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）	224
図 199.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）	225
図 200.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）	226
図 201.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）	227
図 202.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）	228
図 203.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）	229
図 204.	学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）	230
図 205.	学校への遅刻別に見た、悩んでいること	231
図 206.	学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	232

図 207.	学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	233
図 208.	学校への遅刻別に見た、希望する進学先	234
図 209.	学校への遅刻別に見た、学習理解度	235
図 210.	登校状況別に見た、悩んでいること	237
図 211.	登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合	238
図 212.	登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数	239
図 213.	登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	240
図 214.	登校状況別に見た、希望する進学先	241
図 215.	困窮度別に見た、保護者の在宅時間	242
図 216.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）	243
図 217.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）	244
図 218.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））	245
図 219.	困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））	246
図 220.	困窮度別、放課後に過ごす場所	250
図 221.	困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人	252
図 222.	困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人	254
図 223.	困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと	255
図 224.	困窮度別に見た、悩んでいること	256
図 225.	困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手	258
図 226.	困窮度別に見た、困ったときの相談先	260
図 227.	世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合	261
図 228.	困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	262
図 229.	子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	263
図 230.	困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー	264
図 231.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）	265
図 232.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）	266
図 233.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）	267
図 234.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）	268
図 235.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）	269
図 236.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）	270
図 237.	地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）	271

裏

IV 資料編

裏

おおさかふ こ せいかつ かん じったいちようさ
大阪府 子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがくせいむ ちようさ ちようさひよう
小学生・中学生向け調査 調査票

- ちようさ おおさか しょうがくせい ちゅうがくせい がっこう いえ せいかつ
◆この調査は、大阪の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の
ようす しょうらい かんが きぼう
様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ちようさ しょうがくせい ちゅうがくせい じぶん か
◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で書いてください。
- なまえ か ひつよう てすと おも
◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおり
こた
に答えてください。
- こた しつもん こた ひつよう
◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- こた まよ ぼあい きも かんが ちか えら
◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選
ぶようにしてください。
- か お しょうがくせい ちゅうがくせいよう か ふうとう い
◆書き終えたら「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、のりづ
せろ はんてーぶ と
けやセロハンテープで閉じてください。
- か ないよう ひと せんせい み ひつよう
◆あなたが書いた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- おおさかふ ちようさけっか さんこう こ なに かんが
◆大阪府はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考
きょうりよく ねが
えていきますので、ご協力をお願いします。

ちようさ といあわ さき
この調査の問合せ先

- ちようさ かいとう
◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

おおさかふふくしぶ こ しつこそだ しえんか すいしんぐるーぶ
大阪府福祉部子ども室子育て支援課 推進グループ

でんわ ちよくつう
電話 06-6944-7108 (直通)

(9:30~18:00 げつようび きんようび
月曜日~金曜日)

ふあくしみり
ファクシミリ 06-6944-3052

じゅうしょ おおさかしちゅうおうくおおてまえ ちようめ おおさかふちようべつかん かい
住所 大阪府中央区大手前3丁目2-12大阪府庁別館7階

なお、この調査に関するご質問への回答はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodateshien/kodomo/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしてください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生
--------	--------

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。(就寝時間)

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時間くらい寝ていますか。

(睡眠時間) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 5時間59分より短い	4. 8時間～8時間59分	7. きまっていない
2. 6時間～6時間59分	5. 9時間～9時間59分	
3. 7時間～7時間59分	6. 10時間より長い	

問5 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べる人が多い	4. 食べない	

問8 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 入らない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 遅刻はしない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

問10 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(①～⑩について教えてください。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人の人と文化活動(図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど)をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか。(散歩する・買い物に出かける・外食をする など)	1	2	3	4	5	6	7

問11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と一緒に過ごしているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動に参加しているとき
4. ひとりで過ごしているとき
5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
6. 塾や習い事で過ごしているとき
7. 特に楽しいと思うときはない
8. その他

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの大人のひと(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)
4. 学校のともだち
5. クラブ活動の仲間
6. 学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)
7. ひとりである
8. その他の人

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の家 2. おばあちゃん・おじいちゃんの家 3. ともだちの家 4. 塾 5. 習いごと 6. 学校(クラブ活動など) 7. 公園・広場 8. スーパーやショッピングモール | <ol style="list-style-type: none"> 9. コンビニエンスストア 10. ゲームセンター 11. 図書館や公民館など公共の施設 12. 地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所) 13. 学童保育(※) 14. その他 |
|--|--|

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含まれます。

あと半分だよ。
がんばってね!

問14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

問15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

問16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

問17 おこづかいについておたずねします。

(1) あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。

(時々もらう場合は、1か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。ただしお年玉はのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 500円より少ない	6. 2500～2999円	11. 5000円以上
2. 500～999円	7. 3000～3499円	12. もらっていない(→問18にすすんでください)
3. 1000～1499円	8. 3500～3999円	13. わからない
4. 1500～1999円	9. 4000～4499円	
5. 2000～2499円	10. 4500～4999円	

(2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 十分たりている	3. ややたりない	5. わからない
2. どちらかと言えば、たりている	4. まったく、たりない	

(3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ともだちとの遊び	6. ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)
2. 学校で使う必要なもの	7. 貯金
3. 本	8. 音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)
4. マンガ	9. その他
5. 食べ物や飲み物	10. わからない

問18 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちのこと	6. 好きな人のこと
2. 学校や勉強のこと	7. 進学・進路のこと
3. クラブ活動のこと	8. その他のこと
4. 自分のこと(外見や体型など)	9. いやなことや悩んでいることはない
5. ともだちのこと	10. わからない

問19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか

(だれに話しますか。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 親	14. 学童保育の先生(※)
2. きょうだい	15. こども専用の電話相談
3. おばあちゃん・おじいちゃん	16. インターネットやサイトなどを通じて知りあつた直接会つたことのない人
4. おじ、おばなど親戚	17. 近所の人
5. 学校のともだち	18. 地域の支援団体 (学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)
6. 塾や習いごとのともだち	19. その他の人
7. その他のともだち	20. だれにも相談できない
8. いとこ	21. だれにも相談したくない
9. 担任の先生や他のクラスの先生	22. わからない
10. 保健室の先生	
11. クラブ活動の先生	
12. スクールカウンセラー	
13. 塾や習いごとの先生	

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含まれます。

もう少しだよ！
よくがんばったね。

問20 あなたに①～⑧のことをしてくれる人はだれですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	お母さん かあ	お父さん とう	おばあさん おばあさん	おじいさん おじいさん	きょうだい	ともだち	その他の人 た　ひと	誰もいない だれ	わからない
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	

問21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	9. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	10. まわりが気になる
3. 歯がいたい	11. やる気が起きない
4. 不安な気持ちになる	12. イライラする
5. ものを見づらい	13. とくに気になるところはない
6. 聞こえにくい	14. その他
7. よくおなかがいたくなる	15. わからない
8. よくかぜをひく	

問22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	10. スマートフォン・タブレット機器 (通話
2. マンガ・雑誌	等アプリ (ライン) やツイッター、
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだい	フェイスブックなどできるもの)
といっしょに使っている部屋など)	11. 化粧品・アクセサリー
4. インターネットにつながるパソコン	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	13. 自分で選んだ服
6. ゲーム機	14. キャラクターグッズ
7. 自転車	15. その他
8. テレビ	16. あてはまるものはない
9. けいたい電話	

あなたが、ふだん考えていることについておたずねします。

問23 あなたがふだん考えていることについて、次の(1)～(6)について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというもない
2. どちらかというところ	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというできない
2. どちらかというところ	4. できない

(3) 大人は信用できる

1. そう思う	3. どちらかというそう思わない
2. どちらかというところ	4. そう思わない

(4) 自分じぶんの将来しょうらいの夢ゆめや目標もくひょうを持もっている

1. 持 <small>も</small> っている	3. どちらかという <small>も</small> と持 <small>も</small> っていない
2. どちらかという <small>も</small> と持 <small>も</small> っている	4. 持 <small>も</small> っていない

(5) 将来しょうらいのためにも、今いま、頑張がんばりたいと思おもう

1. そう思 <small>おも</small> う	3. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> わない
2. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> う	4. そう思 <small>おも</small> わない

(6) 将来しょうらい、働はたらきたいと思おもう

1. そう思 <small>おも</small> う	3. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> わない
2. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> う	4. そう思 <small>おも</small> わない

問24 あなたは、将来しょうらいどの学校がっこうまで行いきたいと思おもいますか。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつまるけてください)

1. 中 <small>ちゅう</small> 学 <small>がっこう</small> 校	6. 専 <small>せん</small> 門 <small>もん</small> 学 <small>がっこう</small> 校 (美 <small>び</small> 容 <small>よう</small> 師 <small>し</small> や調 <small>ちょう</small> 理 <small>り</small> 師 <small>し</small> など仕 <small>し</small> 事 <small>ごと</small> の 仕 <small>しか</small> 方 <small>た</small> や技 <small>ぎ</small> 術 <small>じゆつ</small> を学 <small>まな</small> ぶた <small>まな</small> め <small>まな</small> の学 <small>がっこう</small> 校 <small>など</small>)
2. 高 <small>こう</small> 校	7. 考 <small>かん</small> えたこ <small>か</small> と <small>こ</small> が <small>が</small> ない
3. 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small> ・短 <small>たん</small> 期 <small>き</small> 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small>	8. わか <small>わ</small> ら <small>ら</small> ない
4. 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small> 院 <small>いん</small>	
5. 留 <small>りゅう</small> 学 <small>がく</small>	

あなたのことについて、おたずねします。

問25 あなたあなたの性せい別べつをえらえんでくくだださい。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつまるけてください)

1. 男 <small>だん</small> 子 <small>し</small>	3. そ <small>そ</small> の <small>た</small> 他 <small>た</small>
2. 女 <small>じょ</small> 子 <small>し</small>	4. 答 <small>こた</small> え <small>え</small> た <small>た</small> く <small>く</small> ない

と^い げんざい^い 現在のあなたの身長と体重について、近いものをそれぞれ選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

しんちょう^い
(身長)

1. 124.9 c m 以下	8. 155 c m ~ 159.9 c m
2. 125 c m ~ 129.9 c m	9. 160 c m ~ 164.9 c m
3. 130 c m ~ 134.9 c m	10. 165 c m ~ 169.9 c m
4. 135 c m ~ 139.9 c m	11. 170 c m ~ 174.9 c m
5. 140 c m ~ 144.9 c m	12. 175 c m ~ 179.9 c m
6. 145 c m ~ 149.9 c m	13. 180 c m 以上
7. 150 c m ~ 154.9 c m	14. わからない

たいじゅう^い
(体重)

1. 24.9 kg 以下	8. 55 kg ~ 59.9 kg
2. 25 kg ~ 29.9 kg	9. 60 kg ~ 64.9 kg
3. 30 kg ~ 34.9 kg	10. 65 kg ~ 69.9 kg
4. 35 kg ~ 39.9 kg	11. 70 kg ~ 74.9 kg
5. 40 kg ~ 44.9 kg	12. 75 kg ~ 79.9 kg
6. 45 kg ~ 49.9 kg	13. 80 kg 以上
7. 50 kg ~ 54.9 kg	14. わからない

と^い まいにち^い せいかつ^い かん^い 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

しつもん^い お^い ちようさ^い きようりよく^い
質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

しょうがくせい^い ちゅうがくせいよう^い か^い ふうとう^い せろはんていぶ^い と
「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じて、
ほごしゃ^い かた^い わた^い
て、保護者の方に渡してください。

＜ 調査への協力のお願い ＞

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

◆ 調査票をお送りする方の選び方

・大阪府内の小学5年生と中学2年生から無作為抽出で8,000人を選びました。

◆ プライバシーへの配慮

・お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

◆ 回答にあたってお願い

- ・答えたくない質問には、回答しなくて結構です。
- ・この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
- ・ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙に回答してください。
- ・調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。なお、お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。

◆ 調査票の返信方法

・調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、提出期限までに返信してください。切手は不要です。

提出期限 平成28年7月19日（火曜日）

この調査の問合せ先

◆ 調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。

大阪府福祉部子ども室子育て支援課 推進グループ

電話 06-6944-7108 (直通) ※9:30~18:00 月曜日~金曜日

ファクシミリ 06-6944-3052

住所 大阪府大阪市中央区大手前3丁目2-12 大阪府庁別館7階

なお、この調査に関するご質問への回答はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodateshien/kodomo/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな花はなんですか。

1. さくら	3. バラ
2. チューリップ	4. その他の花

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 あなたが日常生活でよく使う言葉はどれですか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 日本語	2. 日本語以外
--------	----------

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、平成28年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含まれます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯(世帯員)についておたずねします。

<p>① 世帯員の人数は何人ですか。(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上</p>		
<p>② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)</p> <p>1. いる 2. いない</p>		
<p>③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子どもの人数をすべてお答えください。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人 8. 8人 9. 9人 10. 10人以上</p>		
<p>④ 世帯員の子どものうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		
<p>⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上</p>		
<p>⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		

(2) 世帯員をすべて選んでください。(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. この調査票を受け取った お子さん本人</p>	<p>4. 兄・姉 弟・妹</p>	<p>7. おじいさん おじ・おばなど親戚</p>
<p>2. お母さん</p>	<p>6. おばあさん</p>	<p>9. その他の人</p>
<p>3. お父さん</p>		

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問5 あなた(世帯の方を含む)は自家用車を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

(1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

(2) 問6(1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合ほどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯金、預金のとりくずし	3. 金融機関等からの借入
2. 親や親族などからの仕送り	4. その他

(3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 食費を切りつめた。</p> <p>2. 電気・ガス・水道などが止められた。</p> <p>3. 医療機関を受診できなかった。</p> <p>4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。</p> <p>6. 金融機関などに借金をしたことがある。</p> <p>7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。</p> <p>8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。</p> <p>9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。</p> <p>10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。</p> <p>11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。</p> <p>12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。</p>	<p>13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。</p> <p>14. 電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。</p> <p>16. 趣味やレジャーの出費を減らした。</p> <p>17. 冷暖房の使用を控えた。</p> <p>18. 友人・知人との外食を控えた。</p> <p>19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。</p> <p>20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。</p> <p>21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。</p> <p>22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
---	---

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)(現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください。)

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。(複数)

か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 勤め(常勤・正規職員)</p> <p>2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)</p> <p>3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)</p> <p>4. 自営業・家業</p> <p>5. その他の就業形態</p> <p>6. 仕事を探している</p>	<p>7. 仕事をさがしていない</p> <p>①家事や育児に専念</p> <p>②学生</p> <p>③おうちの人の介護や介助</p> <p>④病気療養</p> <p>⑤年金など</p> <p>⑥家賃収入、株式運用など</p> <p>⑦その他</p>
--	--

お父さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 勤め(常勤・正規職員)</p> <p>2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)</p> <p>3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)</p> <p>4. 自営業・家業</p> <p>5. その他の就業形態</p> <p>6. 仕事を探している</p>	<p>7. 仕事をさがしていない</p> <p>①家事や育児に専念</p> <p>②学生</p> <p>③おうちの人の介護や介助</p> <p>④病気療養</p> <p>⑤年金など</p> <p>⑥家賃収入、株式運用など</p> <p>⑦その他</p>
--	--

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方
 (おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 勤め (常勤・正規職員)
2. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)
3. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)
4. 自営業・家業
5. その他の就業形態
6. 仕事を探している | 7. 仕事をさがしていない
①家事や育児に専念
②学生
③おうちの人の介護や介助
④病気療養
⑤年金など
⑥家賃収入、株式運用など
⑦その他 |
|--|---|

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚などを含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

- | | |
|---|--|
| 1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる
2. お子さんの夕食時間には家にいる
3. お子さんの寝る時間には家にいる | 4. お子さんが寝た後に帰ってくる
5. 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
6. その他 |
|---|--|

問11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|----------|--------------|---------------------|
| 1. お母さん | 5. 兄・姉 | 9. 学童保育の指導員 (※) |
| 2. お父さん | 6. 弟・妹 | 10. ファミリーサポートセンター会員 |
| 3. おばあさん | 7. おじ、おばなど親戚 | 11. お子さんがひとりである |
| 4. おじいさん | 8. 近所の人 | 12. その他の人 |

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含まれます。

お子さんのことについておたずねします。

問12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。</p> <p>2. 子どもの進路を変更した。</p> <p>3. 子どものための本や絵本が買えなかった。</p> <p>4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。</p> <p>5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。</p> <p>6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。</p> <p>7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。</p> <p>8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。</p>	<p>9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。</p> <p>10. 子どもの誕生日を祝えなかった。</p> <p>11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。</p> <p>12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。</p> <p>13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。</p> <p>14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった。</p> <p>15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
--	---

問14 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15分未満	1. 2時間未満
2. 15分～30分未満	2. 2時間～4時間未満
3. 30分～1時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 10時間以上
7. 4時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

問15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 中学校	5. 留学
2. 高校	6. 専門学校・高等専門学校
3. 大学・短期大学	7. 考えたことがない
4. 大学院	8. わからない

問16 あなたは、お子さんが問15の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 思う	2. 思わない	3. わからない
-------	---------	----------

問17 問16で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お子さんの希望と異なるから
2. お子さんの学力から考えて
3. 経済的な余裕がないから
4. その他
5. 特に理由はない

問18 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

あなたのことについておたずねします。

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問20 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 配偶者・パートナー	10. 公的機関や役所の相談員
2. 自分の親	11. 学童保育の指導員(※)
3. 配偶者・パートナーの親	12. 地域の民生委員・児童委員
4. きょうだい・その他の親戚	13. 民間の支援団体
5. 近隣に住む知人や友人	14. 民間のカウンセラー・電話相談
6. 近隣に住んでいない知人や友人	15. 医療機関の医師や看護師
7. 職場関係者	16. インターネットのサイトへの書き込み
8. 学校の先生やスクールカウンセラー	17. その他
9. 子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	18. 相談できる相手がない

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含まれます。

問22 あなたの心の状態についておたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 生活を楽しんでいますか(仕事や家事、育児など)。

1. とても楽しんでいる	3. あまり楽しんでいない	5. わからない
2. 楽しんでいる	4. 楽しんでいない	

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

1. 希望が持てる	3. 希望が持てない
2. 希望が持てるときもあれば、持てないときもある	4. わからない

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思えますか。

1. とても幸せだと思う	4. 幸せだと思わない
2. 幸せだと思う	5. わからない
3. あまり幸せだと思わない	

問23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが気になる
2. よく頭がいたくなる	11. やる気が起きない
3. 歯がいたい	12. イライラする
4. 不安な気持ちになる	13. よく肩がこる
5. ものを見づらい	14. よく腰がいたくなる
6. 聞こえにくい	15. とくに気になるところはない
7. よくおなかをいたくなる	16. その他
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

問24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある	4. ない
2. 時々ある	5. わからない
3. ほとんどない	

問25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問26 次の①～⑤について、おたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう 思う	まあそ う思う	あまり 思わな い	おも 思わな い	わか らな い
① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5
② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	1	2	3	4	5
③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない	1	2	3	4	5
④ 私は自分から友だちを作るのがうまい	1	2	3	4	5
⑤ 人生で起きる問題の多くは自分で解決できない	1	2	3	4	5

世帯の経済状況についておたずねします。

問27 あなたの家族の経済状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。

(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. お母さん	4. 兄・姉
2. お父さん	5. おじ・おばなど親戚
3. おじいさん、おばあさん	6. その他の人

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

(①～⑫の項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	う 受けている	う 受けたこと がある	う 受けたこと はない
① 児童手当	1	2	3
② 就学援助費※1	1	2	3
③ 児童扶養手当※2	1	2	3
④ 障がいや難病の手当※3	1	2	3
⑤ 生活保護	1	2	3
⑥ 公的年金 (老齢年金)	1	2	3
⑦ 公的年金 (遺族年金、障がい年金)	1	2	3
⑧ 雇用保険 (失業保険)	1	2	3
⑨ 養育費	1	2	3
⑩ 親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪ 退職金	1	2	3
⑫ その他、株式配当などの副収入	1	2	3

※1 「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童)を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度障がい者介護手当などがあります。

(4) ^{ぜんねん}前年(2015年)の^{あなた}あなたの^{せたい}世帯の^{しゅうにゆう}収入の^{ごうけい}合計額は、およそいくらでしたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※^{しゅうにゆう}収入には、^{はたら}働いて^え得た^{きゅうりょう}給料だけでなく、^{かぶしきはいとう}株式^{ふくしゅうにゆう}配当や^{ふく}副^{ごうけい}収入を含めて合計してください。税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※^{こうてき}また、^{えんじよてあて}公的な^{よういくひ}援助^{しおく}手当や^{ふく}養育^{がく}費・^{こた}仕送りを含んだ額でお答えください。

1. ^{まんえんみまん} 50万円未満	12. ^{まんえんみまん} 550～600万円未満	23. ^{まんえんみまん} 1,200～1,300万円未満
2. ^{まんえんみまん} 50～100万円未満	13. ^{まんえんみまん} 600～650万円未満	24. ^{まんえんみまん} 1,300～1,400万円未満
3. ^{まんえんみまん} 100～150万円未満	14. ^{まんえんみまん} 650～700万円未満	25. ^{まんえんみまん} 1,400～1,500万円未満
4. ^{まんえんみまん} 150～200万円未満	15. ^{まんえんみまん} 700～750万円未満	26. ^{まんえんみまん} 1,500～1,750万円未満
5. ^{まんえんみまん} 200～250万円未満	16. ^{まんえんみまん} 750～800万円未満	27. ^{まんえんみまん} 1,750～2,000万円未満
6. ^{まんえんみまん} 250～300万円未満	17. ^{まんえんみまん} 800～850万円未満	28. ^{まんえんみまん} 2,000～2,250万円未満
7. ^{まんえんみまん} 300～350万円未満	18. ^{まんえんみまん} 850～900万円未満	29. ^{まんえんみまん} 2,250～2,500万円未満
8. ^{まんえんみまん} 350～400万円未満	19. ^{まんえんみまん} 900～950万円未満	30. ^{まんえんみまん} 2,500～2,750万円未満
9. ^{まんえんみまん} 400～450万円未満	20. ^{まんえんみまん} 950～1,000万円未満	31. ^{まんえんみまん} 2,750～3,000万円未満
10. ^{まんえんみまん} 450～500万円未満	21. ^{まんえんみまん} 1,000～1,100万円未満	32. ^{まんえんいじょう} 3,000万円以上
11. ^{まんえんみまん} 500～550万円未満	22. ^{まんえんみまん} 1,100～1,200万円未満	33. わからない

問28 ^{とい}毎^{まいにち}日の^{せいかつ}生活で^{かん}感じていることを^{じゆう}自由に^か書いてください。

^{しつもん}質問は以上です。^{ちようさ}調査にご^{きようりよく}協力いただきありがとうございました。

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
小学生	1400	52.8	1400	100.0	-	-
中学生	1251	47.2	-	-	1251	100.0
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
26540	53.0	26540	100.0	-	-
23558	47.0	-	-	23558	100.0
8	0.0	-	-	-	-

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
起きている	1801	67.9	942	67.3	859	68.7
どちらかといえば、起きている	642	24.2	347	24.8	295	23.6
あまり、起きていない	147	5.5	74	5.3	73	5.8
起きていない	32	1.2	18	1.3	14	1.1
無回答	29	1.1	19	1.4	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
31475	62.8	16248	61.2	15226	64.6
13636	27.2	7451	28.1	6185	26.3
3149	6.3	1806	6.8	1343	5.7
968	1.9	513	1.9	455	1.9
878	1.8	522	2.0	349	1.5

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか(就寝時間)。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
午後9時より前	50	1.9	47	3.4	3	0.2
午後9時台	513	19.4	466	33.3	47	3.8
午後10時台	896	33.8	584	41.7	312	24.9
午後11時台	637	24.0	159	11.4	478	38.2
午前0時台	215	8.1	21	1.5	194	15.5
午前1時より後	42	1.6	6	0.4	36	2.9
きまっていない	271	10.2	99	7.1	172	13.7
無回答	27	1.0	18	1.3	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
986	2.0	875	3.3	110	0.5
7698	15.4	6986	26.3	712	3.0
15978	31.9	11200	42.2	4777	20.3
12723	25.4	3780	14.2	8943	38.0
4538	9.1	506	1.9	4032	17.1
1074	2.1	107	0.4	967	4.1
6257	12.5	2578	9.7	3679	15.6
852	1.7	508	1.9	338	1.4

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時間くらい寝ていますか(睡眠時間)。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
5時間59分より短い	35	1.3	4	0.3	31	2.5
6時間～6時間59分	288	10.9	64	4.6	224	17.9
7時間～7時間59分	672	25.3	184	13.1	488	39.0
8時間～8時間59分	878	33.1	555	39.6	323	25.8
9時間～9時間59分	542	20.4	469	33.5	73	5.8
10時間より長い	55	2.1	49	3.5	6	0.5
きまっていない	153	5.8	57	4.1	96	7.7
無回答	28	1.1	18	1.3	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
1000	2.0	194	0.7	806	3.4
5460	10.9	1069	4.0	4391	18.6
12360	24.7	3773	14.2	8587	36.5
15981	31.9	10180	38.4	5800	24.6
9467	18.9	8298	31.3	1168	5.0
1076	2.1	934	3.5	142	0.6
3891	7.8	1558	5.9	2333	9.9
871	1.7	534	2.0	331	1.4

問5 (1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
毎日またはほとんど毎日	2439	92.0	1316	94.0	1123	89.8
週に4～5回	88	3.3	39	2.8	49	3.9
週に2～3回	66	2.5	26	1.9	40	3.2
週に1回程度	20	0.8	8	0.6	12	1.0
食べない	34	1.3	9	0.6	25	2.0
無回答	4	0.2	2	0.1	2	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
44076	88.0	23880	90.0	20190	85.7
2435	4.9	1185	4.5	1250	5.3
1737	3.5	774	2.9	963	4.1
690	1.4	277	1.0	413	1.8
915	1.8	287	1.1	628	2.7
253	0.5	137	0.5	114	0.5

問5 (2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	208	100.0	82	100.0	126	100.0
時間がない	71	34.1	28	34.1	43	34.1
おなかがすいていない	78	37.5	31	37.8	47	37.3
用意されていない	10	4.8	3	3.7	7	5.6
食べる習慣がない	12	5.8	6	7.3	6	4.8
わからない	16	7.7	5	6.1	11	8.7
無回答	22	10.6	9	11.0	13	10.3

人数	%	人数	%	人数	%
5777	100.0	2523	100.0	3254	100.0
2030	35.1	854	33.8	1176	36.1
2226	38.5	1031	40.9	1195	36.7
246	4.3	93	3.7	153	4.7
274	4.7	91	3.6	183	5.6
355	6.1	149	5.9	206	6.3
647	11.2	305	12.1	342	10.5

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問6 (1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
毎日またはほとんど毎日	2627	99.1	1388	99.1	1239	99.0
週に4～5回	13	0.5	6	0.4	7	0.6
週に2～3回	1	0.0	-	-	1	0.1
週に1回程度	1	0.0	1	0.1	-	-
食べない	1	0.0	1	0.1	-	-
無回答	8	0.3	4	0.3	4	0.3

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
49102	98.0	26044	98.1	23052	97.9
512	1.0	239	0.9	273	1.2
105	0.2	42	0.2	63	0.3
22	0.0	14	0.1	8	0.0
36	0.1	20	0.1	16	0.1
329	0.7	181	0.7	146	0.6

問6 (2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	16	100.0	8	100.0	8	100.0
時間がない	-	-	-	-	-	-
おながやすいでない	6	37.5	3	37.5	3	37.5
用意されていない	2	12.5	1	12.5	1	12.5
食べる習慣がない	1	6.3	-	-	1	12.5
わからない	2	12.5	-	-	2	25.0
無回答	5	31.3	4	50.0	1	12.5

人数	%	人数	%	人数	%
675	100.0	315	100.0	360	100.0
72	10.7	35	11.1	37	10.3
246	36.4	100	31.7	146	40.6
48	7.1	18	5.7	30	8.3
18	2.7	9	2.9	9	2.5
86	12.7	32	10.2	54	15.0
205	30.4	121	38.4	84	23.3

問7 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
必ず食べる	2309	87.1	1263	90.2	1046	83.6
食べることが多い	293	11.1	117	8.4	176	14.1
食べないことが多い	32	1.2	11	0.8	21	1.7
食べない	4	0.2	3	0.2	1	0.1
わからない	8	0.3	3	0.2	5	0.4
無回答	5	0.2	3	0.2	2	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
40726	81.3	22456	84.6	18265	77.5
7499	15.0	3327	12.5	4171	17.7
1147	2.3	447	1.7	700	3.0
148	0.3	58	0.2	90	0.4
312	0.6	114	0.4	198	0.8
274	0.5	138	0.5	134	0.6

問8 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
毎日またはほとんど毎日	2527	95.3	1331	95.1	1196	95.6
週に4～5回	73	2.8	41	2.9	32	2.6
週に2～3回	37	1.4	20	1.4	17	1.4
週に1回程度	7	0.3	4	0.3	3	0.2
入らない	2	0.1	2	0.1	-	-
無回答	5	0.2	2	0.1	3	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
47331	94.5	24820	93.5	22507	95.5
1752	3.5	1122	4.2	628	2.7
581	1.2	356	1.3	225	1.0
87	0.2	61	0.2	26	0.1
21	0.0	9	0.0	12	0.1
334	0.7	172	0.6	160	0.7

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
毎日またはほとんど毎日	110	4.1	62	4.4	48	3.8
週に4～5回	13	0.5	6	0.4	7	0.6
週に2～3回	39	1.5	22	1.6	17	1.4
週に1回程度	86	3.2	44	3.1	42	3.4
遅刻はしない	2317	87.4	1230	87.9	1087	86.9
無回答	86	3.2	36	2.6	50	4.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
2152	4.3	1359	5.1	793	3.4
347	0.7	228	0.9	119	0.5
978	2.0	615	2.3	363	1.5
2080	4.2	1124	4.2	955	4.1
42736	85.3	22297	84.0	20435	86.7
1813	3.6	917	3.5	893	3.8

問10 ① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	1413	53.3	839	59.9	574	45.9
週に4～5回	163	6.1	74	5.3	89	7.1
週に2～3回	249	9.4	137	9.8	112	9.0
週に1回程度	151	5.7	76	5.4	75	6.0
月に1～2回	54	2.0	25	1.8	29	2.3
ほとんどない	366	13.8	155	11.1	211	16.9
まったくない	237	8.9	84	6.0	153	12.2
無回答	18	0.7	10	0.7	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
23956	47.8	14468	54.5	9482	40.2
3200	6.4	1698	6.4	1502	6.4
4617	9.2	2604	9.8	2013	8.5
2425	4.8	1192	4.5	1233	5.2
1216	2.4	551	2.1	665	2.8
7960	15.9	3477	13.1	4483	19.0
6408	12.8	2354	8.9	4054	17.2
324	0.6	196	0.7	126	0.5

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問10 ② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	2173	82.0	1217	86.9	956	76.4
週に4~5回	204	7.7	71	5.1	133	10.6
週に2~3回	144	5.4	63	4.5	81	6.5
週に1回程度	39	1.5	13	0.9	26	2.1
月に1~2回	9	0.3	3	0.2	6	0.5
ほとんどない	49	1.8	17	1.2	32	2.6
まったくない	19	0.7	8	0.6	11	0.9
無回答	14	0.5	8	0.6	6	0.5

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
39445	78.7	22564	85.0	16875	71.6
4418	8.8	1635	6.2	2783	11.8
3166	6.3	1149	4.3	2017	8.6
795	1.6	280	1.1	515	2.2
313	0.6	122	0.5	191	0.8
1112	2.2	404	1.5	708	3.0
581	1.2	205	0.8	376	1.6
276	0.6	181	0.7	93	0.4

問10 ③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	1238	46.7	655	46.8	583	46.6
週に4~5回	286	10.8	152	10.9	134	10.7
週に2~3回	280	10.6	146	10.4	134	10.7
週に1回程度	115	4.3	64	4.6	51	4.1
月に1~2回	85	3.2	43	3.1	42	3.4
ほとんどない	355	13.4	185	13.2	170	13.6
まったくない	279	10.5	147	10.5	132	10.6
無回答	13	0.5	8	0.6	5	0.4

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
21621	43.2	11927	44.9	9690	41.1
5909	11.8	3214	12.1	2695	11.4
4812	9.6	2505	9.4	2305	9.8
2459	4.9	1249	4.7	1210	5.1
1575	3.1	794	3.0	781	3.3
6990	14.0	3461	13.0	3529	15.0
6327	12.6	3122	11.8	3205	13.6
413	0.8	268	1.0	143	0.6

問10 ④ おうちの手伝いをしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	641	24.2	369	26.4	272	21.7
週に4~5回	323	12.2	176	12.6	147	11.8
週に2~3回	502	18.9	289	20.6	213	17.0
週に1回程度	336	12.7	184	13.1	152	12.2
月に1~2回	258	9.7	136	9.7	122	9.8
ほとんどない	401	15.1	177	12.6	224	17.9
まったくない	171	6.5	58	4.1	113	9.0
無回答	19	0.7	11	0.8	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
11734	23.4	6931	26.1	4800	20.4
6104	12.2	3580	13.5	2523	10.7
9717	19.4	5564	21.0	4153	17.6
6200	12.4	3162	11.9	3038	12.9
4949	9.9	2497	9.4	2452	10.4
7424	14.8	3262	12.3	4161	17.7
3523	7.0	1270	4.8	2252	9.6
455	0.9	274	1.0	179	0.8

問10 ⑤ おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	395	14.9	328	23.4	67	5.4
週に4~5回	177	6.7	142	10.1	35	2.8
週に2~3回	235	8.9	171	12.2	64	5.1
週に1回程度	208	7.8	117	8.4	91	7.3
月に1~2回	221	8.3	71	5.1	150	12.0
ほとんどない	733	27.6	331	23.6	402	32.1
まったくない	655	24.7	221	15.8	434	34.7
無回答	27	1.0	19	1.4	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
6223	12.4	5337	20.1	885	3.8
2648	5.3	2166	8.2	482	2.0
4121	8.2	3119	11.8	1001	4.2
3510	7.0	2277	8.6	1233	5.2
3699	7.4	1797	6.8	1902	8.1
14025	28.0	6640	25.0	7384	31.3
15375	30.7	4871	18.4	10502	44.6
505	1.0	333	1.3	169	0.7

問10 ⑥ おうちの大人の人と学校のできごとについて話しますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ほとんど毎日	1197	45.2	714	51.0	483	38.6
週に4~5回	456	17.2	224	16.0	232	18.5
週に2~3回	373	14.1	184	13.1	189	15.1
週に1回程度	181	6.8	70	5.0	111	8.9
月に1~2回	104	3.9	49	3.5	55	4.4
ほとんどない	208	7.8	98	7.0	110	8.8
まったくない	105	4.0	43	3.1	62	5.0
無回答	27	1.0	18	1.3	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
20001	39.9	12049	45.4	7949	33.7
7893	15.8	4212	15.9	3680	15.6
7655	15.3	3771	14.2	3884	16.5
3919	7.8	1641	6.2	2278	9.7
2406	4.8	1058	4.0	1348	5.7
4729	9.4	2263	8.5	2466	10.5
2974	5.9	1209	4.6	1763	7.5
529	1.1	337	1.3	190	0.8

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問10 ⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	383	14.4	272	19.4	111	8.9	6586	13.1	4654	17.5	1930	8.2
週に4~5回	148	5.6	105	7.5	43	3.4	2668	5.3	1996	7.5	671	2.8
週に2~3回	310	11.7	227	16.2	83	6.6	5587	11.2	4214	15.9	1371	5.8
週に1回程度	343	12.9	232	16.6	111	8.9	5729	11.4	3929	14.8	1800	7.6
月に1~2回	382	14.4	191	13.6	191	15.3	7201	14.4	3772	14.2	3428	14.6
ほとんどない	671	25.3	244	17.4	427	34.1	12654	25.3	5072	19.1	7582	32.2
まったくない	382	14.4	107	7.6	275	22.0	9107	18.2	2528	9.5	6579	27.9
無回答	32	1.2	22	1.6	10	0.8	574	1.1	375	1.4	197	0.8

問10 ⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	462	17.4	264	18.9	198	15.8	8145	16.3	4762	17.9	3382	14.4
週に4~5回	295	11.1	149	10.6	146	11.7	5570	11.1	3084	11.6	2485	10.5
週に2~3回	498	18.8	248	17.7	250	20.0	8289	16.5	4415	16.6	3874	16.4
週に1回程度	333	12.6	172	12.3	161	12.9	6240	12.5	3185	12.0	3055	13.0
月に1~2回	243	9.2	125	8.9	118	9.4	4795	9.6	2363	8.9	2432	10.3
ほとんどない	510	19.2	269	19.2	241	19.3	9976	19.9	5285	19.9	4691	19.9
まったくない	282	10.6	153	10.9	129	10.3	6562	13.1	3111	11.7	3448	14.6
無回答	28	1.1	20	1.4	8	0.6	529	1.1	335	1.3	191	0.8

問10 ⑨ おうちの大人の人と文化活動(図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど)をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	80	3.0	51	3.6	29	2.3	1546	3.1	966	3.6	580	2.5
週に4~5回	13	0.5	8	0.6	5	0.4	285	0.6	179	0.7	106	0.4
週に2~3回	40	1.5	30	2.1	10	0.8	815	1.6	595	2.2	220	0.9
週に1回程度	133	5.0	103	7.4	30	2.4	1803	3.6	1389	5.2	414	1.8
月に1~2回	647	24.4	416	29.7	231	18.5	10031	20.0	6745	25.4	3285	13.9
ほとんどない	1100	41.5	559	39.9	541	43.2	20227	40.4	10665	40.2	9560	40.6
まったくない	619	23.3	224	16.0	395	31.6	15040	30.0	5779	21.8	9259	39.3
無回答	19	0.7	9	0.6	10	0.8	359	0.7	222	0.8	134	0.6

問10 ⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか(散歩する・買い物に出かける・外食をするなど)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	298	11.2	196	14.0	102	8.2	5886	11.7	4033	15.2	1852	7.9
週に4~5回	211	8.0	151	10.8	60	4.8	4234	8.5	3126	11.8	1108	4.7
週に2~3回	675	25.5	453	32.4	222	17.7	12539	25.0	8471	31.9	4067	17.3
週に1回程度	751	28.3	392	28.0	359	28.7	12804	25.6	6285	23.7	6516	27.7
月に1~2回	572	21.6	161	11.5	411	32.9	11032	22.0	3468	13.1	7563	32.1
ほとんどない	110	4.1	33	2.4	77	6.2	2585	5.2	816	3.1	1769	7.5
まったくない	22	0.8	6	0.4	16	1.3	729	1.5	152	0.6	577	2.4
無回答	12	0.5	8	0.6	4	0.3	297	0.6	189	0.7	106	0.4

問11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
おうちの人と一緒に過ごしているとき	1733	65.4	1082	77.3	651	52.0	30902	61.7	19384	73.0	11514	48.9
ともだちと一緒に過ごしているとき	2225	83.9	1183	84.5	1042	83.3	41429	82.7	22170	83.5	19256	81.7
学校生活やクラブ活動に参加しているとき	1636	61.7	846	60.4	790	63.1	28671	57.2	15112	56.9	13557	57.5
ひとりで過ごしているとき	964	36.4	377	26.9	587	46.9	18597	37.1	7567	28.5	11028	46.8
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	573	21.6	415	29.6	158	12.6	9390	18.7	6666	25.1	2724	11.6
塾や習い事で過ごしているとき	756	28.5	539	38.5	217	17.3	13922	27.8	9647	36.3	4275	18.1
特に楽しいと思うときはない	17	0.6	4	0.3	13	1.0	604	1.2	212	0.8	392	1.7
その他	392	14.8	198	14.1	194	15.5	7085	14.1	3685	13.9	3400	14.4
無回答	19	0.7	12	0.9	7	0.6	386	0.8	239	0.9	144	0.6

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	1698	64.1	991	70.8	707	56.5	30087	60.0	17359	65.4
きょうだい	1278	48.2	793	56.6	485	38.8	22725	45.4	13384	50.4
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	564	21.3	357	25.5	207	16.5	9699	19.4	5810	21.9
学校のともだち	1486	56.1	958	68.4	528	42.2	27090	54.1	18009	67.9
クラブ活動の仲間	950	35.8	93	6.6	857	68.5	18236	36.4	1947	7.3
学校以外のともだち （地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	292	11.0	189	13.5	103	8.2	5025	10.0	2955	11.1
ひとりでいる	445	16.8	232	16.6	213	17.0	9347	18.7	4861	18.3
その他の人	72	2.7	51	3.6	21	1.7	1367	2.7	895	3.4
無回答	12	0.5	8	0.6	4	0.3	329	0.7	203	0.8

問13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0
自分の家	2190	82.6	1230	87.9	960	76.7	40385	80.6	22570	85.0
おばあちゃん・おじいちゃんの家	198	7.5	142	10.1	56	4.5	3751	7.5	2577	9.7
ともだちの家	658	24.8	539	38.5	119	9.5	11163	22.3	8894	33.5
塾	692	26.1	284	20.3	408	32.6	13137	26.2	5162	19.4
習いごと	930	35.1	686	49.0	244	19.5	16344	32.6	11918	44.9
学校（クラブ活動など）	1050	39.6	196	14.0	854	68.3	19681	39.3	4375	16.5
公園・広場	639	24.1	545	38.9	94	7.5	12536	25.0	10659	40.2
スーパーやショッピングモール	130	4.9	60	4.3	70	5.6	2512	5.0	1139	4.3
コンビニエンスストア	71	2.7	35	2.5	36	2.9	1553	3.1	728	2.7
ゲームセンター	48	1.8	16	1.1	32	2.6	958	1.9	308	1.2
図書館や公民館など公共の施設	127	4.8	97	6.9	30	2.4	1752	3.5	1406	5.3
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）	18	0.7	11	0.8	7	0.6	395	0.8	281	1.1
学童保育	90	3.4	86	6.1	4	0.3	1517	3.0	1428	5.4
その他	96	3.6	64	4.6	32	2.6	1821	3.6	1160	4.4
無回答	12	0.5	8	0.6	4	0.3	315	0.6	196	0.7

問14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0
まったくしない	165	6.2	43	3.1	122	9.8	4322	8.6	1488	5.6
30分より少ない	333	12.6	160	11.4	173	13.8	7330	14.6	3712	14.0
30分以上、1時間より少ない	703	26.5	458	32.7	245	19.6	11757	23.5	7585	28.6
1時間以上、2時間より少ない	748	28.2	408	29.1	340	27.2	13091	26.1	7220	27.2
2時間以上、3時間より少ない	336	12.7	134	9.6	202	16.1	6304	12.6	2548	9.6
3時間以上	211	8.0	112	8.0	99	7.9	3424	6.8	1991	7.5
わからない	140	5.3	75	5.4	65	5.2	3435	6.9	1708	6.4
無回答	15	0.6	10	0.7	5	0.4	443	0.9	288	1.1

問15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0
よくわかる	739	27.9	512	36.6	227	18.1	11899	23.7	8715	32.8
だいたいわかる	1472	55.5	725	51.8	747	59.7	28390	56.7	14637	55.2
あまりわからない	271	10.2	96	6.9	175	14.0	6267	12.5	1979	7.5
ほとんどわからない	77	2.9	21	1.5	56	4.5	1510	3.0	377	1.4
わからない	60	2.3	24	1.7	36	2.9	1400	2.8	424	1.6
無回答	32	1.2	22	1.6	10	0.8	640	1.3	408	1.5

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をするか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
まったくしない	727	27.4	309	22.1	418	33.4
30分より少ない	953	35.9	533	38.1	420	33.6
30分以上、1時間より少ない	513	19.4	323	23.1	190	15.2
1時間以上、2時間より少ない	191	7.2	102	7.3	89	7.1
2時間以上、3時間より少ない	55	2.1	29	2.1	26	2.1
3時間以上	53	2.0	23	1.6	30	2.4
わからない	133	5.0	64	4.6	69	5.5
無回答	26	1.0	17	1.2	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
16166	32.3	6556	24.7	9606	40.8
16493	32.9	9775	36.8	6717	28.5
8054	16.1	5139	19.4	2915	12.4
3340	6.7	1991	7.5	1349	5.7
1092	2.2	620	2.3	472	2.0
862	1.7	476	1.8	386	1.6
3620	7.2	1671	6.3	1949	8.3
479	1.0	312	1.2	164	0.7

問17 (1) あなたは、毎月、いくらかおこづかいをもらっていますか。(時々もらう場合は、1か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。ただしお年玉はのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
500円より少ない	253	9.5	223	15.9	30	2.4
500～999円	443	16.7	369	26.4	74	5.9
1000～1499円	368	13.9	141	10.1	227	18.1
1500～1999円	144	5.4	35	2.5	109	8.7
2000～2499円	230	8.7	26	1.9	204	16.3
2500～2999円	40	1.5	3	0.2	37	3.0
3000～3499円	151	5.7	15	1.1	136	10.9
3500～3999円	14	0.5	5	0.4	9	0.7
4000～4499円	27	1.0	2	0.1	25	2.0
4500～4999円	10	0.4	-	-	10	0.8
5000円以上	41	1.5	6	0.4	35	2.8
もらっていない(→問18にすすんでください)	788	29.7	507	36.2	281	22.5
わからない	115	4.3	54	3.9	61	4.9
無回答	27	1.0	14	1.0	13	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
4180	8.3	3728	14.0	452	1.9
7830	15.6	6682	25.2	1147	4.9
7680	15.3	3376	12.7	4304	18.3
2764	5.5	843	3.2	1919	8.1
4718	9.4	760	2.9	3958	16.8
1054	2.1	222	0.8	832	3.5
2969	5.9	449	1.7	2520	10.7
362	0.7	74	0.3	288	1.2
483	1.0	75	0.3	408	1.7
222	0.4	52	0.2	170	0.7
1137	2.3	232	0.9	905	3.8
13394	26.7	8459	31.9	4934	20.9
2811	5.6	1283	4.8	1527	6.5
502	1.0	305	1.1	194	0.8

問17 (2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1721	100.0	825	100.0	896	100.0
十分たりている	839	48.8	474	57.5	365	40.7
どちらかと言えば、たりている	399	23.2	172	20.8	227	25.3
ややたりない	278	16.2	86	10.4	192	21.4
まったく、たりない	139	8.1	52	6.3	87	9.7
わからない	44	2.6	28	3.4	16	1.8
無回答	22	1.3	13	1.6	9	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
33399	100.0	16493	100.0	16903	100.0
16805	50.3	9644	58.5	7159	42.4
7387	22.1	3260	19.8	4127	24.4
5148	15.4	1746	10.6	3402	20.1
2416	7.2	853	5.2	1562	9.2
1130	3.4	670	4.1	460	2.7
513	1.5	320	1.9	193	1.1

問17 (3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1721	100.0	825	100.0	896	100.0
ともだちとの遊び	883	51.3	260	31.5	623	69.5
学校で使う必要なもの	216	12.6	68	8.2	148	16.5
本	330	19.2	140	17.0	190	21.2
マンガ	375	21.8	162	19.6	213	23.8
食べ物や飲み物	802	46.6	323	39.2	479	53.5
ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)	238	13.8	123	14.9	115	12.8
貯金	813	47.2	430	52.1	383	42.7
音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)	92	5.3	6	0.7	86	9.6
その他	287	16.7	154	18.7	133	14.8
わからない	47	2.7	32	3.9	15	1.7
無回答	3	0.2	2	0.2	1	0.1

人数	%	人数	%	人数	%
33399	100.0	16493	100.0	16903	100.0
17109	51.2	4794	29.1	12315	72.9
4961	14.9	1835	11.1	3126	18.5
6431	19.3	2678	16.2	3753	22.2
7680	23.0	3321	20.1	4359	25.8
16448	49.2	7137	43.3	9309	55.1
5013	15.0	2590	15.7	2423	14.3
16074	48.1	8783	53.3	7291	43.1
2247	6.7	254	1.5	1993	11.8
5476	16.4	2640	16.0	2835	16.8
757	2.3	476	2.9	280	1.7
134	0.4	94	0.6	40	0.2

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問18 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
おうちのこと	159	6.0	66	4.7	93	7.4
学校や勉強のこと	592	22.3	217	15.5	375	30.0
クラブ活動のこと	282	10.6	27	1.9	255	20.4
自分のこと(外見や体型など)	410	15.5	191	13.6	219	17.5
ともだちのこと	369	13.9	218	15.6	151	12.1
好きな人のこと	222	8.4	143	10.2	79	6.3
進学・進路のこと	406	15.3	91	6.5	315	25.2
その他のこと	140	5.3	73	5.2	67	5.4
いやなことや悩んでいることはない	1028	38.8	624	44.6	404	32.3
わからない	319	12.0	169	12.1	150	12.0
無回答	71	2.7	42	3.0	29	2.3

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
3866	7.7	1620	6.1	2246	9.5
11562	23.1	3864	14.6	7697	32.7
5604	11.2	557	2.1	5047	21.4
8850	17.7	4123	15.5	4727	20.1
7170	14.3	3868	14.6	3302	14.0
4698	9.4	2506	9.4	2192	9.3
8399	16.8	1853	7.0	6546	27.8
3155	6.3	1515	5.7	1640	7.0
17745	35.4	11204	42.2	6540	27.8
6402	12.8	3473	13.1	2927	12.4
1478	2.9	887	3.3	587	2.5

問19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか(だれに話しますか。)
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
親	1745	65.8	1027	73.4	718	57.4
きょうだい	444	16.7	247	17.6	197	15.7
おばあちゃん・おじいちゃん	302	11.4	212	15.1	90	7.2
おじ、おばなど親戚	55	2.1	35	2.5	20	1.6
学校のともだち	1358	51.2	653	46.6	705	56.4
塾や習いごとのともだち	207	7.8	95	6.8	112	9.0
その他のともだち	159	6.0	61	4.4	98	7.8
いとこ	86	3.2	54	3.9	32	2.6
担任の先生や他のクラスの先生	509	19.2	333	23.8	176	14.1
保健室の先生	51	1.9	29	2.1	22	1.8
クラブ活動の先生	70	2.6	13	0.9	57	4.6
スクールカウンセラー	20	0.8	10	0.7	10	0.8
塾や習いごとの先生	98	3.7	38	2.7	60	4.8
学童保育の先生	19	0.7	19	1.4	-	-
こども専用の電話相談	7	0.3	6	0.4	1	0.1
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	25	0.9	4	0.3	21	1.7
近所の人	21	0.8	17	1.2	4	0.3
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	2	0.1	1	0.1	1	0.1
その他の人	57	2.2	31	2.2	26	2.1
だれにも相談できない	87	3.3	50	3.6	37	3.0
だれにも相談したくない	254	9.6	106	7.6	148	11.8
わからない	195	7.4	83	5.9	112	9.0
無回答	50	1.9	22	1.6	28	2.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
29719	59.3	17649	66.5	12068	51.2
7619	15.2	4384	16.5	3235	13.7
4843	9.7	3258	12.3	1584	6.7
1051	2.1	613	2.3	438	1.9
23028	46.0	10593	39.9	12434	52.8
3211	6.4	1523	5.7	1688	7.2
2401	4.8	1039	3.9	1362	5.8
1767	3.5	1156	4.4	611	2.6
6537	13.0	3997	15.1	2540	10.8
768	1.5	399	1.5	369	1.6
1143	2.3	116	0.4	1027	4.4
286	0.6	116	0.4	170	0.7
1580	3.2	628	2.4	952	4.0
298	0.6	253	1.0	45	0.2
130	0.3	91	0.3	39	0.2
479	1.0	83	0.3	396	1.7
321	0.6	224	0.8	97	0.4
35	0.1	17	0.1	18	0.1
800	1.6	417	1.6	383	1.6
2025	4.0	1050	4.0	975	4.1
5699	11.4	2652	10.0	3047	12.9
4623	9.2	2015	7.6	2607	11.1
1300	2.6	811	3.1	485	2.1

問20 ① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
お母さん	2033	76.7	1150	82.1	883	70.6
お父さん	1448	54.6	836	59.7	612	48.9
おじいさん・おばあさん	855	32.3	480	34.3	375	30.0
きょうだい	810	30.6	454	32.4	356	28.5
ともだち	1760	66.4	895	63.9	865	69.1
その他の人	277	10.4	145	10.4	132	10.6
誰もいない	40	1.5	21	1.5	19	1.5
わからない	191	7.2	76	5.4	115	9.2
無回答	34	1.3	11	0.8	23	1.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
36329	72.5	20490	77.2	15835	67.2
24906	49.7	14406	54.3	10497	44.6
14221	28.4	8305	31.3	5915	25.1
13731	27.4	7757	29.2	5973	25.4
31157	62.2	15612	58.8	15545	66.0
4565	9.1	2346	8.8	2217	9.4
1139	2.3	566	2.1	573	2.4
4313	8.6	1689	6.4	2624	11.1
623	1.2	328	1.2	291	1.2

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	2173	82.0	1195	85.4	978	78.2	39296	78.4	22051	83.1	17242	73.2
お父さん	1705	64.3	969	69.2	736	58.8	30062	60.0	17318	65.3	12742	54.1
おじいさん・おばあさん	1307	49.3	745	53.2	562	44.9	21330	42.6	12372	46.6	8957	38.0
きょうだい	663	25.0	358	25.6	305	24.4	11144	22.2	6379	24.0	4765	20.2
ともだち	1262	47.6	608	43.4	654	52.3	20862	41.6	9993	37.7	10869	46.1
その他の人	456	17.2	241	17.2	215	17.2	7558	15.1	3801	14.3	3756	15.9
誰もいない	58	2.2	27	1.9	31	2.5	1570	3.1	693	2.6	877	3.7
わからない	131	4.9	44	3.1	87	7.0	3022	6.0	1033	3.9	1988	8.4
無回答	28	1.1	11	0.8	17	1.4	581	1.2	315	1.2	262	1.1

問20 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	1723	65.0	1003	71.6	720	57.6	30291	60.5	17968	67.7	12320	52.3
お父さん	1219	46.0	731	52.2	488	39.0	20676	41.3	12507	47.1	8167	34.7
おじいさん・おばあさん	795	30.0	465	33.2	330	26.4	13099	26.1	7856	29.6	5242	22.3
きょうだい	748	28.2	422	30.1	326	26.1	12861	25.7	7363	27.7	5498	23.3
ともだち	1726	65.1	889	63.5	837	66.9	30775	61.4	15125	57.0	15650	66.4
その他の人	253	9.5	132	9.4	121	9.7	4123	8.2	2129	8.0	1993	8.5
誰もいない	61	2.3	30	2.1	31	2.5	1465	2.9	728	2.7	737	3.1
わからない	224	8.4	86	6.1	138	11.0	4424	8.8	1687	6.4	2736	11.6
無回答	38	1.4	15	1.1	23	1.8	735	1.5	403	1.5	328	1.4

問20 ④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	1919	72.4	1124	80.3	795	63.5	34473	68.8	20309	76.5	14160	60.1
お父さん	1287	48.5	781	55.8	506	40.4	22304	44.5	13679	51.5	8623	36.6
おじいさん・おばあさん	885	33.4	539	38.5	346	27.7	14758	29.5	9134	34.4	5623	23.9
きょうだい	764	28.8	429	30.6	335	26.8	12975	25.9	7407	27.9	5567	23.6
ともだち	1323	49.9	644	46.0	679	54.3	22243	44.4	10663	40.2	11580	49.2
その他の人	211	8.0	117	8.4	94	7.5	3517	7.0	1912	7.2	1604	6.8
誰もいない	85	3.2	43	3.1	42	3.4	2097	4.2	904	3.4	1193	5.1
わからない	248	9.4	83	5.9	165	13.2	5328	10.6	1939	7.3	3389	14.4
無回答	38	1.4	17	1.2	21	1.7	754	1.5	414	1.6	336	1.4

問20 ⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	1947	73.4	1101	78.6	846	67.6	34859	69.6	19770	74.5	15087	64.0
お父さん	1534	57.9	875	62.5	659	52.7	26699	53.3	15340	57.8	11357	48.2
おじいさん・おばあさん	1173	44.2	687	49.1	486	38.8	19802	39.5	11581	43.6	8220	34.9
きょうだい	806	30.4	432	30.9	374	29.9	14179	28.3	7774	29.3	6405	27.2
ともだち	1273	48.0	657	46.9	616	49.2	21340	42.6	11085	41.8	10255	43.5
その他の人	255	9.6	145	10.4	110	8.8	4067	8.1	2293	8.6	1774	7.5
誰もいない	63	2.4	29	2.1	34	2.7	1558	3.1	732	2.8	826	3.5
わからない	311	11.7	116	8.3	195	15.6	6957	13.9	2623	9.9	4332	18.4
無回答	41	1.5	18	1.3	23	1.8	773	1.5	427	1.6	342	1.5

問20 ⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	1938	73.1	1116	79.7	822	65.7	34657	69.2	20262	76.3	14393	61.1
お父さん	1319	49.8	793	56.6	526	42.0	22269	44.4	13485	50.8	8783	37.3
おじいさん・おばあさん	790	29.8	474	33.9	316	25.3	13353	26.6	8228	31.0	5124	21.8
きょうだい	619	23.3	341	24.4	278	22.2	10262	20.5	5892	22.2	4370	18.5
ともだち	1307	49.3	639	45.6	668	53.4	22896	45.7	10967	41.3	11929	50.6
その他の人	291	11.0	157	11.2	134	10.7	4973	9.9	2579	9.7	2394	10.2
誰もいない	74	2.8	35	2.5	39	3.1	1699	3.4	800	3.0	899	3.8
わからない	248	9.4	95	6.8	153	12.2	5445	10.9	1985	7.5	3458	14.7
無回答	41	1.5	17	1.2	24	1.9	783	1.6	439	1.7	340	1.4

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	2149	81.1	1206	86.1	943	75.4	39495	78.8	22407	84.4	17085	72.5
お父さん	1658	62.5	948	67.7	710	56.8	28975	57.8	16737	63.1	12236	51.9
おじいさん・おばあさん	1054	39.8	613	43.8	441	35.3	17842	35.6	10395	39.2	7446	31.6
きょうだい	866	32.7	465	33.2	401	32.1	15596	31.1	8446	31.8	7149	30.3
ともだち	1285	48.5	604	43.1	681	54.4	21899	43.7	9963	37.5	11936	50.7
その他の人	271	10.2	149	10.6	122	9.8	4840	9.7	2649	10.0	2190	9.3
誰もいない	38	1.4	16	1.1	22	1.8	1038	2.1	438	1.7	600	2.5
わからない	217	8.2	72	5.1	145	11.6	4382	8.7	1510	5.7	2871	12.2
無回答	38	1.4	18	1.3	20	1.6	710	1.4	391	1.5	315	1.3

問20 ⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	2266	85.5	1269	90.6	997	79.7	41949	83.7	23654	89.1	18292	77.6
お父さん	1977	74.6	1129	80.6	848	67.8	35129	70.1	20139	75.9	14988	63.6
おじいさん・おばあさん	1643	62.0	950	67.9	693	55.4	29390	58.7	17191	64.8	12198	51.8
きょうだい	1164	43.9	657	46.9	507	40.5	21582	43.1	12217	46.0	9364	39.7
ともだち	1422	53.6	727	51.9	695	55.6	24571	49.0	12530	47.2	12041	51.1
その他の人	414	15.6	239	17.1	175	14.0	7129	14.2	4139	15.6	2989	12.7
誰もいない	20	0.8	5	0.4	15	1.2	658	1.3	231	0.9	427	1.8
わからない	197	7.4	55	3.9	142	11.4	4324	8.6	1280	4.8	3043	12.9
無回答	40	1.5	16	1.1	24	1.9	738	1.5	407	1.5	327	1.4

問21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ねむれない	247	9.3	141	10.1	106	8.5	5914	11.8	3331	12.6	2582	11.0
よく頭がいたくなる	349	13.2	144	10.3	205	16.4	7761	15.5	3298	12.4	4463	18.9
歯がいたい	62	2.3	35	2.5	27	2.2	1395	2.8	775	2.9	620	2.6
不安な気持ちになる	427	16.1	225	16.1	202	16.1	9535	19.0	4406	16.6	5129	21.8
ものを見づらい	223	8.4	103	7.4	120	9.6	4785	9.5	2029	7.6	2756	11.7
聞こえにくい	135	5.1	51	3.6	84	6.7	2850	5.7	1232	4.6	1618	6.9
よくおなかがいたくなる	456	17.2	212	15.1	244	19.5	9744	19.4	4430	16.7	5314	22.6
よくかぜをひく	82	3.1	31	2.2	51	4.1	2082	4.2	956	3.6	1126	4.8
よくかゆくなる	552	20.8	350	25.0	202	16.1	10205	20.4	6461	24.3	3743	15.9
まわりが気になる	401	15.1	190	13.6	211	16.9	9389	18.7	4432	16.7	4957	21.0
やる気が起きない	610	23.0	255	18.2	355	28.4	12339	24.6	4781	18.0	7557	32.1
イライラする	629	23.7	318	22.7	311	24.9	12541	25.0	6098	23.0	6443	27.3
とくに気になるところはない	766	28.9	439	31.4	327	26.1	12430	24.8	7202	27.1	5228	22.2
その他	165	6.2	77	5.5	88	7.0	3337	6.7	1771	6.7	1566	6.6
わからない	163	6.1	75	5.4	88	7.0	3554	7.1	1757	6.6	1796	7.6
無回答	77	2.9	39	2.8	38	3.0	1606	3.2	865	3.3	737	3.1

問22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
本(学校の教科書やマンガはのぞく)	2088	78.8	1124	80.3	964	77.1	36496	72.8	19604	73.9	16891	71.7
マンガ・雑誌	2044	77.1	1060	75.7	984	78.7	38031	75.9	19607	73.9	18423	78.2
子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)	2082	78.5	1044	74.6	1038	83.0	37007	73.9	18751	70.7	18253	77.5
インターネットにつながるパソコン	1107	41.8	468	33.4	639	51.1	19616	39.1	8326	31.4	11289	47.9
運動用具(ボール・ラケットなど)	2081	78.5	1120	80.0	961	76.8	37609	75.1	20215	76.2	17391	73.8
ゲーム機	2200	83.0	1195	85.4	1005	80.3	41208	82.2	22355	84.2	18851	80.0
自転車	2485	93.7	1318	94.1	1167	93.3	46247	92.3	24500	92.3	21745	92.3
テレビ	2042	77.0	1073	76.6	969	77.5	39032	77.9	20298	76.5	18732	79.5
けいたい電話	1329	50.1	706	50.4	623	49.8	26427	52.7	14188	53.5	12238	51.9
スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)	1480	55.8	557	39.8	923	73.8	29684	59.2	11445	43.1	18237	77.4
化粧品・アクセサリー	696	26.3	331	23.6	365	29.2	13233	26.4	5739	21.6	7492	31.8
習いごとなどの道具(ピアノなど)	1527	57.6	939	67.1	588	47.0	26767	53.4	16492	62.1	10275	43.6
自分で選んだ服	1877	70.8	985	70.4	892	71.3	34665	69.2	18050	68.0	16612	70.5
キャラクターグッズ	1616	61.0	900	64.3	716	57.2	29357	58.6	16416	61.9	12940	54.9
その他	507	19.1	280	20.0	227	18.1	9072	18.1	4695	17.7	4377	18.6
あてはまるものはない	5	0.2	3	0.2	2	0.2	105	0.2	50	0.2	54	0.2
無回答	21	0.8	10	0.7	11	0.9	602	1.2	337	1.3	262	1.1

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問23 (1) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
ある (4)	539	20.3	355	25.4	184	14.7
どちらかというところある (3)	1045	39.4	623	44.5	422	33.7
どちらかというところない (2)	694	26.2	274	19.6	420	33.6
ない (1)	331	12.5	129	9.2	202	16.1
無回答	42	1.6	19	1.4	23	1.8
加重平均値	2.7	2.7	2.9	2.9	2.5	2.5

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
8445	16.9	5841	22.0	2601	11.0
17772	35.5	11056	41.7	6716	28.5
14532	29.0	6272	23.6	8260	35.1
8454	16.9	2876	10.8	5577	23.7
903	1.8	495	1.9	404	1.7
2.5	2.5	2.8	2.8	2.3	2.3

問23 (2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
できる (4)	755	28.5	414	29.6	341	27.3
どちらかというところできる (3)	1017	38.4	549	39.2	468	37.4
どちらかというところできない (2)	656	24.7	319	22.8	337	26.9
できない (1)	195	7.4	105	7.5	90	7.2
無回答	28	1.1	13	0.9	15	1.2
加重平均値	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
11610	23.2	6173	23.3	5434	23.1
19202	38.3	10685	40.3	8517	36.2
14009	28.0	7157	27.0	6852	29.1
4503	9.0	2079	7.8	2423	10.3
782	1.6	446	1.7	332	1.4
2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7

問23 (3) 大人は信用できる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
そう思う (4)	808	30.5	574	41.0	234	18.7
どちらかというところそう思う (3)	1211	45.7	597	42.6	614	49.1
どちらかというところそう思わない (2)	402	15.2	155	11.1	247	19.7
そう思わない (1)	189	7.1	55	3.9	134	10.7
無回答	41	1.5	19	1.4	22	1.8
加重平均値	3.0	3.0	3.2	3.2	2.8	2.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
14505	28.9	10433	39.3	4070	17.3
21580	43.1	11302	42.6	10278	43.6
8291	16.5	3022	11.4	5269	22.4
4837	9.7	1286	4.8	3549	15.1
893	1.8	497	1.9	392	1.7
2.9	2.9	3.2	3.2	2.6	2.6

問23 (4) 自分の将来の夢や目標を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
持っている (4)	1461	55.1	935	66.8	526	42.0
どちらかというところ持っている (3)	578	21.8	239	17.1	339	27.1
どちらかというところ持っていない (2)	314	11.8	116	8.3	198	15.8
持っていない (1)	262	9.9	86	6.1	176	14.1
無回答	36	1.4	24	1.7	12	1.0
加重平均値	3.2	3.2	3.5	3.5	3.0	3.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
26738	53.4	17496	65.9	9240	39.2
10682	21.3	4800	18.1	5882	25.0
5998	12.0	2009	7.6	3989	16.9
5906	11.8	1799	6.8	4105	17.4
782	1.6	436	1.6	342	1.5
3.2	3.2	3.5	3.5	2.9	2.9

問23 (5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
そう思う (4)	1566	59.1	882	63.0	684	54.7
どちらかというところそう思う (3)	777	29.3	362	25.9	415	33.2
どちらかというところそう思わない (2)	161	6.1	82	5.9	79	6.3
そう思わない (1)	109	4.1	51	3.6	58	4.6
無回答	38	1.4	23	1.6	15	1.2
加重平均値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
28616	57.1	16196	61.0	12420	52.7
14347	28.6	6892	26.0	7454	31.6
3825	7.6	1897	7.1	1926	8.2
2457	4.9	1078	4.1	1378	5.8
861	1.7	477	1.8	380	1.6
3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.3

問23 (6) 将来、働きたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
そう思う (4)	2206	83.2	1148	82.0	1058	84.6
どちらかというところそう思う (3)	311	11.7	173	12.4	138	11.0
どちらかというところそう思わない (2)	49	1.8	30	2.1	19	1.5
そう思わない (1)	47	1.8	23	1.6	24	1.9
無回答	38	1.4	26	1.9	12	1.0
加重平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
41283	82.4	21343	80.4	19938	84.6
5997	12.0	3597	13.6	2400	10.2
1057	2.1	631	2.4	425	1.8
929	1.9	482	1.8	446	1.9
840	1.7	487	1.8	349	1.5
3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

小学生・中学生向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
中学校	22	0.8	14	1.0	8	0.6
高校	326	12.3	164	11.7	162	12.9
大学・短期大学	1202	45.3	583	41.6	619	49.5
大学院	125	4.7	60	4.3	65	5.2
留学	112	4.2	48	3.4	64	5.1
専門学校	361	13.6	217	15.5	144	11.5
考えたことがない	250	9.4	174	12.4	76	6.1
わからない	217	8.2	120	8.6	97	7.8
無回答	36	1.4	20	1.4	16	1.3

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
452	0.9	358	1.3	94	0.4
7298	14.6	3626	13.7	3671	15.6
19859	39.6	9798	36.9	10061	42.7
2485	5.0	1423	5.4	1062	4.5
2172	4.3	1067	4.0	1105	4.7
7970	15.9	4642	17.5	3328	14.1
5026	10.0	3268	12.3	1757	7.5
3998	8.0	1874	7.1	2122	9.0
846	1.7	484	1.8	358	1.5

問25 あなたの性別をえらんでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
男子	1228	46.3	622	44.4	606	48.4
女子	1369	51.6	745	53.2	624	49.9
その他	3	0.1	2	0.1	1	0.1
答えたくない	25	0.9	14	1.0	11	0.9
無回答	26	1.0	17	1.2	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
23615	47.1	12505	47.1	11106	47.1
24829	49.6	13184	49.7	11643	49.4
107	0.2	33	0.1	74	0.3
702	1.4	347	1.3	355	1.5
853	1.7	471	1.8	380	1.6

問26 現在のあなたの身長について、近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
124.9cm以下	10	0.4	9	0.6	1	0.1
125cm～129.9cm	57	2.2	56	4.0	1	0.1
130cm～134.9cm	226	8.5	226	16.1	-	-
135cm～139.9cm	323	12.2	313	22.4	10	0.8
140cm～144.9cm	403	15.2	366	26.1	37	3.0
145cm～149.9cm	328	12.4	230	16.4	98	7.8
150cm～154.9cm	404	15.2	128	9.1	276	22.1
155cm～159.9cm	319	12.0	27	1.9	292	23.3
160cm～164.9cm	275	10.4	1	0.1	274	21.9
165cm～169.9cm	143	5.4	-	-	143	11.4
170cm～174.9cm	83	3.1	-	-	83	6.6
175cm～179.9cm	12	0.5	-	-	12	1.0
180cm以上	1	0.0	-	-	1	0.1
わからない	33	1.2	23	1.6	10	0.8
無回答	34	1.3	21	1.5	13	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
233	0.5	218	0.8	15	0.1
959	1.9	945	3.6	14	0.1
3977	7.9	3951	14.9	25	0.1
6060	12.1	5954	22.4	105	0.4
7742	15.5	7111	26.8	630	2.7
6263	12.5	4403	16.6	1858	7.9
7337	14.6	2256	8.5	5080	21.6
6326	12.6	583	2.2	5742	24.4
5108	10.2	121	0.5	4987	21.2
2672	5.3	15	0.1	2657	11.3
1342	2.7	5	0.0	1337	5.7
362	0.7	3	0.0	359	1.5
78	0.2	5	0.0	73	0.3
1016	2.0	618	2.3	398	1.7
631	1.3	352	1.3	278	1.2

問26 現在のあなたの体重について、近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2651	100.0	1400	100.0	1251	100.0
24.9kg以下	47	1.8	46	3.3	1	0.1
25kg～29.9kg	343	12.9	338	24.1	5	0.4
30kg～34.9kg	510	19.2	472	33.7	38	3.0
35kg～39.9kg	436	16.4	294	21.0	142	11.4
40kg～44.9kg	453	17.1	128	9.1	325	26.0
45kg～49.9kg	327	12.3	45	3.2	282	22.5
50kg～54.9kg	233	8.8	19	1.4	214	17.1
55kg～59.9kg	117	4.4	6	0.4	111	8.9
60kg～64.9kg	55	2.1	3	0.2	52	4.2
65kg～69.9kg	17	0.6	-	-	17	1.4
70kg～74.9kg	6	0.2	-	-	6	0.5
75kg～79.9kg	2	0.1	1	0.1	1	0.1
80kg以上	6	0.2	-	-	6	0.5
わからない	49	1.8	22	1.6	27	2.2
無回答	51	1.9	26	1.9	25	2.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
888	1.8	846	3.2	42	0.2
6164	12.3	6068	22.9	95	0.4
9461	18.9	8699	32.8	762	3.2
7618	15.2	5031	19.0	2585	11.0
8614	17.2	2705	10.2	5908	25.1
6432	12.8	1064	4.0	5366	22.8
4331	8.6	491	1.9	3839	16.3
2072	4.1	203	0.8	1869	7.9
945	1.9	70	0.3	875	3.7
406	0.8	35	0.1	371	1.6
222	0.4	22	0.1	200	0.8
110	0.2	6	0.0	104	0.4
116	0.2	7	0.0	109	0.5
1726	3.4	803	3.0	923	3.9
1002	2.0	490	1.8	511	2.2

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
お母さん	2274	85.5	1202	85.6	1072	85.4
お父さん	283	10.6	146	10.4	137	10.9
おばあさん・おじいさん	9	0.3	5	0.4	4	0.3
おじ、おばなど親戚	-	-	-	-	-	-
施設職員・ファミリーホーム・里親	7	0.3	3	0.2	4	0.3
その他の人	2	0.1	2	0.1	-	-
無回答	85	3.2	46	3.3	39	3.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
42682	85.9	22840	86.7	19816	85.0
3034	6.1	1534	5.8	1498	6.4
270	0.5	122	0.5	147	0.6
31	0.1	15	0.1	16	0.1
141	0.3	65	0.2	73	0.3
59	0.1	23	0.1	36	0.2
3486	7.0	1743	6.6	1737	7.4

問2 あなたが日常生活でよく使う言葉はどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
日本語	2550	95.9	1348	96.0	1202	95.7
日本語以外	4	0.2	2	0.1	2	0.2
複数選択	1	0.0	1	0.1	-	-
無回答	105	3.9	53	3.8	52	4.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
45178	90.9	24043	91.3	21107	90.5
247	0.5	134	0.5	113	0.5
12	0.0	8	0.0	4	0.0
4266	8.6	2157	8.2	2099	9.0

問3 (1) ① 世帯員の人数は何人ですか(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
2人	53	2.0	27	1.9	26	2.1
3人	353	13.3	164	11.7	189	15.0
4人	1272	47.8	683	48.6	589	46.9
5人	652	24.5	357	25.4	295	23.5
6人	224	8.4	120	8.5	104	8.3
7人	73	2.7	33	2.4	40	3.2
8人	12	0.5	7	0.5	5	0.4
9人	6	0.2	3	0.2	3	0.2
10人以上	7	0.3	6	0.4	1	0.1
無回答	8	0.3	4	0.3	4	0.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1660	3.3	792	3.0	866	3.7
7753	15.6	3970	15.1	3771	16.2
22861	46.0	12286	46.6	10561	45.3
12153	24.5	6523	24.8	5626	24.1
3207	6.5	1707	6.5	1498	6.4
988	2.0	531	2.0	457	2.0
232	0.5	123	0.5	109	0.5
61	0.1	37	0.1	24	0.1
77	0.2	39	0.1	38	0.2
711	1.4	334	1.3	373	1.6

問3 (1) ② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	120	4.5	55	3.9	65	5.2
いない	2513	94.5	1336	95.2	1177	93.7
無回答	27	1.0	13	0.9	14	1.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1869	3.8	958	3.6	886	3.8
46902	94.4	24931	94.6	21962	94.2
932	1.9	453	1.7	475	2.0

問3 (1) ③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子供の人数をすべてお答えください。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
1人	371	13.9	176	12.5	195	15.5
2人	1409	53.0	752	53.6	657	52.3
3人	705	26.5	381	27.1	324	25.8
4人	124	4.7	67	4.8	57	4.5
5人	26	1.0	18	1.3	8	0.6
6人	7	0.3	1	0.1	6	0.5
7人	2	0.1	1	0.1	1	0.1
8人	3	0.1	2	0.1	1	0.1
9人	2	0.1	2	0.1	-	-
10人以上	2	0.1	1	0.1	1	0.1
無回答	9	0.3	3	0.2	6	0.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7521	15.1	3939	15.0	3568	15.3
25634	51.6	13597	51.6	12023	51.5
12709	25.6	6787	25.8	5919	25.4
2388	4.8	1287	4.9	1099	4.7
503	1.0	274	1.0	228	1.0
110	0.2	58	0.2	52	0.2
32	0.1	19	0.1	13	0.1
15	0.0	5	0.0	10	0.0
5	0.0	5	0.0	-	-
29	0.1	12	0.0	17	0.1
757	1.5	359	1.4	394	1.7

問3 (1) ④ 世帯員の子供のうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いない	2261	85.0	1107	78.8	1154	91.9
1人	333	12.5	251	17.9	82	6.5
2人	43	1.6	34	2.4	9	0.7
3人	8	0.3	7	0.5	1	0.1
4人	2	0.1	1	0.1	1	0.1
5人以上	1	0.0	1	0.1	-	-
無回答	12	0.5	3	0.2	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
41899	84.3	20849	79.1	21021	90.1
6173	12.4	4495	17.1	1673	7.2
766	1.5	569	2.2	197	0.8
68	0.1	47	0.2	21	0.1
14	0.0	10	0.0	4	0.0
17	0.0	9	0.0	8	0.0
766	1.5	363	1.4	399	1.7

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問3 (1) ⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子ども的人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
1人	618	23.2	300	21.4	318	25.3
2人	1513	56.9	832	59.3	681	54.2
3人	458	17.2	238	17.0	220	17.5
4人	50	1.9	24	1.7	26	2.1
5人以上	11	0.4	7	0.5	4	0.3
無回答	10	0.4	3	0.2	7	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
12155	24.5	6237	23.7	5901	25.3
27185	54.7	14746	56.0	12428	53.3
8412	16.9	4410	16.7	3998	17.1
1000	2.0	498	1.9	501	2.1
195	0.4	98	0.4	97	0.4
756	1.5	353	1.3	398	1.7

問3 (1) ⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子ども的人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いない	2322	87.3	1295	92.2	1027	81.8
1人	238	8.9	62	4.4	176	14.0
2人	68	2.6	29	2.1	39	3.1
3人	7	0.3	5	0.4	2	0.2
4人	2	0.1	2	0.1	-	-
5人以上	2	0.1	-	-	2	0.2
無回答	21	0.8	11	0.8	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
42997	86.5	23964	91.0	19004	81.5
4224	8.5	1303	4.9	2917	12.5
1260	2.5	462	1.8	798	3.4
161	0.3	68	0.3	93	0.4
45	0.1	24	0.1	21	0.1
15	0.0	10	0.0	5	0.0
1001	2.0	511	1.9	485	2.1

問3 (2) 世帯員をすべて選んでください。(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
この調査票を受け取ったお子さん本人	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
お母さん	2571	96.7	1365	97.2	1206	96.0
お父さん	2312	86.9	1235	88.0	1077	85.7
兄・姉	1243	46.7	631	44.9	612	48.7
弟・妹	1267	47.6	709	50.5	558	44.4
おばあさん	276	10.4	136	9.7	140	11.1
おじいさん	189	7.1	100	7.1	89	7.1
おじ・おばなど親戚	24	0.9	9	0.6	15	1.2
その他の人	14	0.5	6	0.4	8	0.6
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
47442	95.5	25271	95.9	22139	94.9
40361	81.2	21802	82.8	18532	79.5
22683	45.6	11965	45.4	10706	45.9
22590	45.4	12164	46.2	10419	44.7
3853	7.8	1946	7.4	1906	8.2
2251	4.5	1144	4.3	1107	4.7
518	1.0	288	1.1	230	1.0
232	0.5	124	0.5	108	0.5
-	-	-	-	-	-

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	2247	84.5	1183	84.3	1064	84.7
府営・市営の住宅	61	2.3	38	2.7	23	1.8
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	38	1.4	23	1.6	15	1.2
民間の賃貸住宅	259	9.7	131	9.3	128	10.2
官舎・社宅	31	1.2	16	1.1	15	1.2
その他	18	0.7	12	0.9	6	0.5
無回答	6	0.2	1	0.1	5	0.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
37027	74.5	19810	75.2	17193	73.7
2330	4.7	1101	4.2	1224	5.2
1048	2.1	552	2.1	496	2.1
7945	16.0	4148	15.7	3791	16.3
666	1.3	386	1.5	280	1.2
320	0.6	161	0.6	159	0.7
367	0.7	184	0.7	180	0.8

問5 あなた(世帯の方を含む)は自家用車を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
持っている	2429	91.3	1283	91.4	1146	91.2
持っていない	227	8.5	121	8.6	106	8.4
無回答	4	0.2	-	-	4	0.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
38340	77.1	20663	78.4	17655	75.7
11012	22.2	5499	20.9	5500	23.6
351	0.7	180	0.7	168	0.7

問6 (1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
貯蓄ができています	1069	40.2	573	40.8	496	39.5
赤字である	667	25.1	359	25.6	308	24.5
赤字でもなく黒字でもない	803	30.2	410	29.2	393	31.3
わからない	104	3.9	56	4.0	48	3.8
無回答	17	0.6	6	0.4	11	0.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
17143	34.5	9719	36.9	7418	31.8
12922	26.0	6306	23.9	6603	28.3
16168	32.5	8533	32.4	7621	32.7
2792	5.6	1446	5.5	1346	5.8
678	1.4	338	1.3	335	1.4

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問6 (2) 問6 (1)で「2.赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合はどのようにしていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	667	100.0	359	100.0	308	100.0
貯金、預金のとりぐずし	442	66.3	247	68.8	195	63.3
親や親族などからの仕送り	64	9.6	30	8.4	34	11.0
金融機関等からの借入	111	16.6	52	14.5	59	19.2
その他	50	7.5	30	8.4	20	6.5
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
12922	100.0	6306	100.0	6603	100.0
7951	61.5	3929	62.3	4013	60.8
1166	9.0	612	9.7	553	8.4
2239	17.3	1047	16.6	1190	18.0
1456	11.3	660	10.5	795	12.0
110	0.9	58	0.9	52	0.8

問6 (3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
貯蓄をしている	1684	63.3	902	64.2	782	62.3
貯蓄をしたいが、できていない	947	35.6	487	34.7	460	36.6
貯蓄をするつもりはない	11	0.4	8	0.6	3	0.2
無回答	18	0.7	7	0.5	11	0.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
28974	58.3	16159	61.3	12798	54.9
19893	40.0	9759	37.0	10117	43.4
144	0.3	77	0.3	67	0.3
692	1.4	347	1.3	341	1.5

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
食費を切りつめた	1032	38.8	548	39.0	484	38.5
電気・ガス・水道などが止められた	33	1.2	15	1.1	18	1.4
医療機関を受診できなかった	84	3.2	39	2.8	45	3.6
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	110	4.1	57	4.1	53	4.2
国民年金の支払いが滞ったことがある	178	6.7	91	6.5	87	6.9
金融機関などに借金をしたことがある	199	7.5	98	7.0	101	8.0
クレジットカードの利用が停止になったことがある	88	3.3	47	3.3	41	3.3
新しい衣服・靴を買うのを控えた	1173	44.1	624	44.4	549	43.7
新聞や雑誌を買うのを控えた	661	24.8	368	26.2	293	23.3
スマートフォンへの切替・利用を断念した	229	8.6	110	7.8	119	9.5
冠婚葬祭のつきあいを控えた	112	4.2	54	3.8	58	4.6
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	522	19.6	262	18.7	260	20.7
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	389	14.6	214	15.2	175	13.9
電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある	85	3.2	42	3.0	43	3.4
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	78	2.9	43	3.1	35	2.8
趣味やレジャーの出費を減らした	1272	47.8	661	47.1	611	48.6
冷暖房の使用を控えた	818	30.8	423	30.1	395	31.4
友人・知人との外食を控えた	734	27.6	379	27.0	355	28.3
敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	57	2.1	26	1.9	31	2.5
理髪店・美容院に行く回数を減らした	874	32.9	456	32.5	418	33.3
子ども部屋が欲しかったがつかれなかった	188	7.1	103	7.3	85	6.8
1～21の項目には、どれにもあてはまらない	698	26.2	369	26.3	329	26.2
無回答	85	3.2	51	3.6	34	2.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
19278	38.8	9845	37.4	9418	40.4
1074	2.2	539	2.0	535	2.3
1392	2.8	660	2.5	732	3.1
3132	6.3	1541	5.8	1587	6.8
3916	7.9	1962	7.4	1952	8.4
3734	7.5	1775	6.7	1956	8.4
1656	3.3	845	3.2	811	3.5
20550	41.3	10584	40.2	9948	42.7
12139	24.4	6313	24.0	5816	24.9
3560	7.2	1763	6.7	1793	7.7
1923	3.9	952	3.6	970	4.2
9541	19.2	4781	18.1	4747	20.4
7823	15.7	3946	15.0	3867	16.6
2171	4.4	1053	4.0	1118	4.8
1996	4.0	997	3.8	998	4.3
21678	43.6	11031	41.9	10630	45.6
13591	27.3	6913	26.2	6671	28.6
13602	27.4	6995	26.6	6593	28.3
1635	3.3	805	3.1	829	3.6
15167	30.5	7866	29.9	7291	31.3
4225	8.5	2149	8.2	2076	8.9
12707	25.6	7090	26.9	5608	24.0
2409	4.8	1283	4.9	1121	4.8

問8 お子さんのお母さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)
(現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
中学校卒業	43	1.6	20	1.4	23	1.8
高等学校中途退学	44	1.7	23	1.6	21	1.7
高等学校卒業	712	26.8	349	24.9	363	28.9
高専・短大・専門学校等卒業	1173	44.1	626	44.6	547	43.6
大学卒業	518	19.5	287	20.4	231	18.4
大学院修了	28	1.1	18	1.3	10	0.8
その他の教育機関卒業	15	0.6	9	0.6	6	0.5
答えたくない	8	0.3	7	0.5	1	0.1
無回答	119	4.5	65	4.6	54	4.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1156	2.3	592	2.2	563	2.4
1580	3.2	853	3.2	725	3.1
15413	31.0	7475	28.4	7925	34.0
20647	41.5	11068	42.0	9568	41.0
7741	15.6	4656	17.7	3081	13.2
409	0.8	272	1.0	136	0.6
168	0.3	85	0.3	83	0.4
354	0.7	179	0.7	175	0.8
2235	4.5	1162	4.4	1067	4.6

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問8 お子さんのお父さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
中学校卒業	63	2.4	32	2.3	31	2.5
高等学校中途退学	79	3.0	43	3.1	36	2.9
高等学校卒業	725	27.3	362	25.8	363	28.9
高専、短大、専門学校等卒業	396	14.9	214	15.2	182	14.5
大学卒業	913	34.3	497	35.4	416	33.1
大学院修了	134	5.0	70	5.0	64	5.1
その他の教育機関卒業	12	0.5	7	0.5	5	0.4
答えたくない	18	0.7	12	0.9	6	0.5
無回答	320	12.0	167	11.9	153	12.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1404	2.8	747	2.8	657	2.8
1656	3.3	866	3.3	789	3.4
14487	29.1	7337	27.9	7142	30.6
7233	14.6	3973	15.1	3254	14.0
14707	29.6	8211	31.2	6484	27.8
1648	3.3	1023	3.9	624	2.7
148	0.3	84	0.3	64	0.3
450	0.9	221	0.8	229	1.0
7970	16.0	3880	14.7	4080	17.5

問9 就業状況(母)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2501	94.0	1315	93.7	1186	94.4
いない	133	5.0	74	5.3	59	4.7
無回答	26	1.0	15	1.1	11	0.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
46466	93.5	24698	93.8	21737	93.2
2271	4.6	1189	4.5	1080	4.6
966	1.9	455	1.7	506	2.2

問9 就業形態(母) 「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2501	100.0	1315	100.0	1186	100.0
勤め(常勤・正規職員)	451	18.0	215	16.3	236	19.9
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	1144	45.7	593	45.1	551	46.5
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	90	3.6	44	3.3	46	3.9
自営業・家業	173	6.9	93	7.1	80	6.7
その他の就業形態	57	2.3	28	2.1	29	2.4
仕事を探している	167	6.7	91	6.9	76	6.4
仕事をさがしていない	452	18.1	266	20.2	186	15.7
無回答	14	0.6	8	0.6	6	0.5

人数	%	人数	%	人数	%
46466	100.0	24698	100.0	21737	100.0
8505	18.3	4449	18.0	4053	18.6
22634	48.7	11693	47.3	10927	50.3
2138	4.6	1060	4.3	1076	5.0
3162	6.8	1742	7.1	1419	6.5
861	1.9	446	1.8	414	1.9
2825	6.1	1479	6.0	1344	6.2
6870	14.8	4084	16.5	2778	12.8
220	0.5	116	0.5	104	0.5

問9 仕事をさがしていない理由(母) <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	452	100.0	266	100.0	186	100.0
家事や育児に専念	320	70.8	198	74.4	122	65.6
学生	3	0.7	2	0.8	1	0.5
おうちの人の介護や介助	26	5.8	15	5.6	11	5.9
病気療養	25	5.5	11	4.1	14	7.5
年金など	3	0.7	2	0.8	1	0.5
家賃収入、株式運用など	4	0.9	1	0.4	3	1.6
その他	19	4.2	9	3.4	10	5.4
無回答	87	19.2	46	17.3	41	22.0

人数	%	人数	%	人数	%
6870	100.0	4084	100.0	2778	100.0
5005	72.9	3105	76.0	1895	68.2
53	0.8	40	1.0	13	0.5
375	5.5	196	4.8	173	6.2
666	9.7	319	7.8	347	12.5
70	1.0	36	0.9	34	1.2
67	1.0	40	1.0	27	1.0
412	6.0	210	5.1	202	7.3
780	11.4	439	10.7	341	12.3

問9 就業状況(父)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2384	89.6	1273	90.7	1111	88.5
いない	225	8.5	106	7.5	119	9.5
無回答	51	1.9	25	1.8	26	2.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
41890	84.3	22633	85.9	19230	82.5
5201	10.5	2464	9.4	2731	11.7
2612	5.3	1245	4.7	1362	5.8

問9 就業形態(父) 「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2384	100.0	1273	100.0	1111	100.0
勤め(常勤・正規職員)	1966	82.5	1058	83.1	908	81.7
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	46	1.9	25	2.0	21	1.9
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	7	0.3	2	0.2	5	0.5
自営業・家業	343	14.4	179	14.1	164	14.8
その他の就業形態	10	0.4	4	0.3	6	0.5
仕事を探している	15	0.6	6	0.5	9	0.8
仕事をさがしていない	18	0.8	11	0.9	7	0.6
無回答	3	0.1	-	-	3	0.3

人数	%	人数	%	人数	%
41890	100.0	22633	100.0	19230	100.0
32731	78.1	17856	78.9	14852	77.2
1162	2.8	589	2.6	571	3.0
195	0.5	96	0.4	99	0.5
7077	16.9	3740	16.5	3334	17.3
327	0.8	159	0.7	168	0.9
303	0.7	156	0.7	147	0.8
347	0.8	177	0.8	170	0.9
139	0.3	65	0.3	74	0.4

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問9 仕事をさがしていない理由（父） <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	18	100.0	11	100.0	7	100.0
家事や育児に専念	2	11.1	1	9.1	1	14.3
学生	-	-	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助	1	5.6	-	-	1	14.3
病気療養	4	22.2	2	18.2	2	28.6
年金など	4	22.2	3	27.3	1	14.3
家賃収入、株式運用など	2	11.1	2	18.2	-	-
その他	3	16.7	3	27.3	-	-
無回答	3	16.7	-	-	3	42.9

人数	%	人数	%	人数	%
347	100.0	177	100.0	170	100.0
38	11.0	26	14.7	12	7.1
7	2.0	7	4.0	-	-
6	1.7	2	1.1	4	2.4
170	49.0	80	45.2	90	52.9
60	17.3	22	12.4	38	22.4
19	5.5	9	5.1	10	5.9
63	18.2	34	19.2	29	17.1
26	7.5	13	7.3	13	7.6

問9 就業状況（お母さん、お父さん以外）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	183	6.9	96	6.8	87	6.9
いない	2272	85.4	1202	85.6	1070	85.2
無回答	205	7.7	106	7.5	99	7.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2960	6.0	1509	5.7	1450	6.2
40170	80.8	21531	81.7	18612	79.8
6573	13.2	3302	12.5	3261	14.0

問9 就業形態（お母さん、お父さん以外）「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	183	100.0	96	100.0	87	100.0
勤め（常勤・正規職員）	26	14.2	17	17.7	9	10.3
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）	40	21.9	22	22.9	18	20.7
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務）	2	1.1	2	2.1	-	-
自営業・家業	45	24.6	25	26.0	20	23.0
その他の就業形態	4	2.2	2	2.1	2	2.3
仕事を探している	3	1.6	1	1.0	2	2.3
仕事をさがしていない	72	39.3	34	35.4	38	43.7
無回答	3	1.6	1	1.0	2	2.3

人数	%	人数	%	人数	%
2960	100.0	1509	100.0	1450	100.0
567	19.2	318	21.1	249	17.2
654	22.1	317	21.0	337	23.2
63	2.1	36	2.4	27	1.9
628	21.2	343	22.7	285	19.7
66	2.2	22	1.5	43	3.0
43	1.5	24	1.6	19	1.3
1036	35.0	502	33.3	534	36.8
49	1.7	25	1.7	24	1.7

問9 仕事をさがしていない理由（お母さん、お父さん以外） <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	72	100.0	34	100.0	38	100.0
家事や育児に専念	1	1.4	-	-	1	2.6
学生	-	-	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助	4	5.6	-	-	4	10.5
病気療養	2	2.8	1	2.9	1	2.6
年金など	43	59.7	18	52.9	25	65.8
家賃収入、株式運用など	3	4.2	3	8.8	-	-
その他	2	2.8	1	2.9	1	2.6
無回答	23	31.9	12	35.3	11	28.9

人数	%	人数	%	人数	%
1036	100.0	502	100.0	534	100.0
62	6.0	36	7.2	26	4.9
7	0.7	5	1.0	2	0.4
26	2.5	13	2.6	13	2.4
73	7.0	40	8.0	33	6.2
738	71.2	337	67.1	401	75.1
51	4.9	32	6.4	19	3.6
69	6.7	29	5.8	40	7.5
112	10.8	61	12.2	51	9.6

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
お子さんの学校からの帰宅時には家にいる	1596	60.0	874	62.3	722	57.5
お子さんの夕食時には家にいる	801	30.1	404	28.8	397	31.6
お子さんの寝る時には家にいる	158	5.9	72	5.1	86	6.8
お子さんが寝た後に帰ってくる	8	0.3	6	0.4	2	0.2
保護者の方の帰宅時間が決まっていない	59	2.2	29	2.1	30	2.4
その他	24	0.9	13	0.9	11	0.9
無回答	14	0.5	6	0.4	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
26824	54.0	14836	56.3	11962	51.3
17597	35.4	9189	34.9	8401	36.0
2537	5.1	1095	4.2	1442	6.2
236	0.5	112	0.4	124	0.5
1333	2.7	543	2.1	790	3.4
463	0.9	225	0.9	238	1.0
713	1.4	342	1.3	366	1.6

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
お母さん	2292	86.2	1212	86.3	1080	86.0	42306	85.1	22495	85.4	19781	84.8
お父さん	361	13.6	168	12.0	193	15.4	7360	14.8	3563	13.5	3792	16.3
おばあさん	359	13.5	196	14.0	163	13.0	5359	10.8	3159	12.0	2198	9.4
おじいさん	179	6.7	103	7.3	76	6.1	2359	4.7	1403	5.3	956	4.1
兄・姉	660	24.8	355	25.3	305	24.3	12557	25.3	6931	26.3	5623	24.1
弟・妹	862	32.4	500	35.6	362	28.8	15988	32.2	8796	33.4	7187	30.8
おじ、おばなど親戚	18	0.7	11	0.8	7	0.6	413	0.8	252	1.0	161	0.7
近所の人	11	0.4	9	0.6	2	0.2	178	0.4	147	0.6	31	0.1
学童保育の指導員	84	3.2	77	5.5	7	0.6	1238	2.5	1053	4.0	181	0.8
ファミリーサポートセンター会員	-	-	-	-	-	-	20	0.0	13	0.0	5	0.0
お子さんがひとりである	75	2.8	39	2.8	36	2.9	1322	2.7	712	2.7	610	2.6
その他の人	52	2.0	38	2.7	14	1.1	764	1.5	492	1.9	267	1.1
無回答	8	0.3	3	0.2	5	0.4	602	1.2	273	1.0	325	1.4

問12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
持っている	60	2.3	25	1.8	35	2.8	1327	2.7	653	2.5	641	2.7
持っていない	2588	97.3	1375	97.9	1213	96.6	47839	96.2	25423	96.5	22413	96.1
無回答	12	0.5	4	0.3	8	0.6	537	1.1	266	1.0	269	1.2

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
子どもを医療機関に受診させることができなかった	51	1.9	21	1.5	30	2.4	719	1.4	310	1.2	409	1.8
子どもの進路を変更した	56	2.1	21	1.5	35	2.8	935	1.9	418	1.6	517	2.2
子どものための本や絵本が買えなかった	115	4.3	62	4.4	53	4.2	2061	4.1	1195	4.5	863	3.7
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	235	8.8	110	7.8	125	10.0	4598	9.3	2086	7.9	2510	10.8
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	247	9.3	132	9.4	115	9.2	4895	9.8	2416	9.2	2474	10.6
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	6	0.2	2	0.1	4	0.3	66	0.1	28	0.1	37	0.2
子どもを習い事に通わすことができなかった	300	11.3	166	11.8	134	10.7	5689	11.4	2982	11.3	2704	11.6
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	11	0.4	4	0.3	7	0.6	299	0.6	137	0.5	162	0.7
子どもを学習塾に通わすことができなかった	319	12.0	162	11.5	157	12.5	5684	11.4	2821	10.7	2861	12.3
子どもの誕生日を祝えなかった	41	1.5	16	1.1	25	2.0	750	1.5	313	1.2	437	1.9
子どもにお年玉をあげることができなかった	114	4.3	56	4.0	58	4.6	2221	4.5	1027	3.9	1193	5.1
子どもの学校行事などに参加することができなかった	47	1.8	21	1.5	26	2.1	947	1.9	411	1.6	535	2.3
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	40	1.5	16	1.1	24	1.9	773	1.6	361	1.4	412	1.8
家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	520	19.5	265	18.9	255	20.3	9526	19.2	4559	17.3	4958	21.3
1～14の項目には、どれにもあてはまらない	1579	59.4	848	60.4	731	58.2	27652	55.6	15229	57.8	12400	53.2
無回答	288	10.8	154	11.0	134	10.7	7561	15.2	3978	15.1	3578	15.3

問14 (1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
とても信頼している	1356	51.0	757	53.9	599	47.7	24696	49.7	13438	51.0	11244	48.2
信頼している	1205	45.3	606	43.2	599	47.7	22685	45.6	11815	44.9	10852	46.5
あまり信頼していない	85	3.2	33	2.4	52	4.1	1861	3.7	886	3.4	972	4.2
信頼していない	5	0.2	3	0.2	2	0.2	90	0.2	39	0.1	51	0.2
無回答	9	0.3	5	0.4	4	0.3	371	0.7	164	0.6	204	0.9

問14 (2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
よくする	1786	67.1	986	70.2	800	63.7	32575	65.5	18214	69.1	14351	61.5
する	789	29.7	389	27.7	400	31.8	15390	31.0	7489	28.4	7883	33.8
あまりしない	74	2.8	22	1.6	52	4.1	1391	2.8	480	1.8	907	3.9
しない	3	0.1	3	0.2	-	-	50	0.1	19	0.1	28	0.1
無回答	8	0.3	4	0.3	4	0.3	297	0.6	140	0.5	154	0.7

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
 (平日について、あてはまる番号1つに○をつけてください) : 平日

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
0~15分未満	85	3.2	45	3.2	40	3.2	1413	2.8	631	2.4	781	3.3
15分~30分未満	220	8.3	102	7.3	118	9.4	3915	7.9	1801	6.8	2110	9.0
30分~1時間未満	478	18.0	241	17.2	237	18.9	8559	17.2	4157	15.8	4396	18.8
1時間~2時間未満	655	24.6	307	21.9	348	27.7	11617	23.4	5878	22.3	5733	24.6
2時間~3時間未満	467	17.6	245	17.5	222	17.7	9168	18.4	4866	18.5	4296	18.4
3時間~4時間未満	340	12.8	196	14.0	144	11.5	6233	12.5	3615	13.7	2616	11.2
4時間以上	332	12.5	218	15.5	114	9.1	6774	13.6	4324	16.4	2444	10.5
無回答	83	3.1	50	3.6	33	2.6	2024	4.1	1070	4.1	947	4.1

問14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
 (休日について、あてはまる番号1つに○をつけてください) : 休日

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2時間未満	313	11.8	113	8.0	200	15.9	5385	10.8	2107	8.0	3275	14.0
2時間~4時間未満	461	17.3	206	14.7	255	20.3	7933	16.0	3698	14.0	4230	18.1
4時間~6時間未満	391	14.7	208	14.8	183	14.6	7411	14.9	3970	15.1	3438	14.7
6時間~8時間未満	267	10.0	156	11.1	111	8.8	4982	10.0	2933	11.1	2046	8.8
8時間~10時間未満	180	6.8	118	8.4	62	4.9	3135	6.3	1984	7.5	1148	4.9
10時間以上	392	14.7	275	19.6	117	9.3	6952	14.0	4940	18.8	2002	8.6
無回答	656	24.7	328	23.4	328	26.1	13905	28.0	6710	25.5	7184	30.8

問14 (4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
とても期待している	609	22.9	336	23.9	273	21.7	10763	21.7	6056	23.0	4706	20.2
期待している	1689	63.5	904	64.4	785	62.5	31556	63.5	16723	63.5	14819	63.5
あまり期待していない	307	11.5	140	10.0	167	13.3	6137	12.3	2985	11.3	3142	13.5
期待していない	35	1.3	15	1.1	20	1.6	701	1.4	325	1.2	369	1.6
無回答	20	0.8	9	0.6	11	0.9	546	1.1	253	1.0	287	1.2

問15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
中学校	5	0.2	5	0.4	-	-	97	0.2	67	0.3	29	0.1
高校	341	12.8	171	12.2	170	13.5	7959	16.0	3629	13.8	4311	18.5
大学・短期大学	1754	65.9	922	65.7	832	66.2	31158	62.7	16722	63.5	14433	61.9
大学院	63	2.4	28	2.0	35	2.8	898	1.8	543	2.1	355	1.5
留学	69	2.6	33	2.4	36	2.9	1341	2.7	838	3.2	503	2.2
専門学校・高等専門学校	189	7.1	109	7.8	80	6.4	3578	7.2	1860	7.1	1717	7.4
考えたことがない	38	1.4	27	1.9	11	0.9	755	1.5	512	1.9	241	1.0
わからない	191	7.2	105	7.5	86	6.8	3656	7.4	2058	7.8	1589	6.8
無回答	10	0.4	4	0.3	6	0.5	261	0.5	113	0.4	145	0.6

問16 あなたは、お子さんが問15の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
思う	1469	55.2	742	52.8	727	57.9	25946	52.2	13381	50.8	12550	53.8
思わない	96	3.6	46	3.3	50	4.0	2295	4.6	1079	4.1	1211	5.2
わからない	1080	40.6	608	43.3	472	37.6	20377	41.0	11336	43.0	9027	38.7
無回答	15	0.6	8	0.6	7	0.6	1085	2.2	546	2.1	535	2.3

問17 問16で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	96	100.0	46	100.0	50	100.0	2295	100.0	1079	100.0	1211	100.0
お子さんの希望と異なるから	16	16.7	10	21.7	6	12.0	427	18.6	230	21.3	197	16.3
お子さんの学力から考えて	52	54.2	20	43.5	32	64.0	1269	55.3	481	44.6	785	64.8
経済的な余裕がないから	46	47.9	17	37.0	29	58.0	963	42.0	477	44.2	486	40.1
その他	12	12.5	6	13.0	6	12.0	198	8.6	105	9.7	91	7.5
特に理由はない	5	5.2	4	8.7	1	2.0	112	4.9	79	7.3	33	2.7
無回答	1	1.0	-	-	1	2.0	33	1.4	17	1.6	16	1.3

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問18 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
ほぼ毎日通っている	2560	96.2	1363	97.1	1197	95.3
欠席は年間30日未満である	57	2.1	25	1.8	32	2.5
欠席が年間30日以上、60日未満である	14	0.5	8	0.6	6	0.5
欠席が年間60日以上、1年未満である	9	0.3	1	0.1	8	0.6
欠席が1年以上続いている	11	0.4	3	0.2	8	0.6
わからない	1	0.0	1	0.1	-	-
無回答	8	0.3	3	0.2	5	0.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
46273	93.1	24270	92.1	21973	94.2
1298	2.6	603	2.3	694	3.0
247	0.5	91	0.3	155	0.7
176	0.4	50	0.2	124	0.5
57	0.1	13	0.0	44	0.2
120	0.2	46	0.2	73	0.3
1532	3.1	1269	4.8	260	1.1

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
10代	45	1.7	32	2.3	13	1.0
20～23歳	227	8.5	117	8.3	110	8.8
24～26歳	559	21.0	280	19.9	279	22.2
27～30歳	1009	37.9	511	36.4	498	39.6
31～34歳	546	20.5	300	21.4	246	19.6
35～39歳	180	6.8	110	7.8	70	5.6
40歳以上	83	3.1	46	3.3	37	2.9
無回答	11	0.4	8	0.6	3	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1406	2.8	771	2.9	633	2.7
6007	12.1	3045	11.6	2959	12.7
10361	20.8	5034	19.1	5324	22.8
17391	35.0	8983	34.1	8395	36.0
9603	19.3	5588	21.2	4008	17.2
3253	6.5	2019	7.7	1228	5.3
1236	2.5	696	2.6	539	2.3
446	0.9	206	0.8	237	1.0

問20 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2332	87.7	1232	87.7	1100	87.6
いない	170	6.4	87	6.2	83	6.6
わからない	141	5.3	75	5.3	66	5.3
無回答	17	0.6	10	0.7	7	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
43550	87.6	23349	88.6	20172	86.5
3031	6.1	1472	5.6	1557	6.7
2586	5.2	1279	4.9	1304	5.6
536	1.1	242	0.9	290	1.2

問20 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2148	80.8	1137	81.0	1011	80.5
いない	228	8.6	123	8.8	105	8.4
わからない	263	9.9	132	9.4	131	10.4
無回答	21	0.8	12	0.9	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
40199	80.9	21573	81.9	18600	79.7
4057	8.2	2020	7.7	2033	8.7
4846	9.7	2475	9.4	2367	10.1
601	1.2	274	1.0	323	1.4

問20 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2136	80.3	1126	80.2	1010	80.4
いない	297	11.2	152	10.8	145	11.5
わからない	204	7.7	111	7.9	93	7.4
無回答	23	0.9	15	1.1	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
40459	81.4	21666	82.2	18762	80.4
5063	10.2	2587	9.8	2475	10.6
3507	7.1	1782	6.8	1724	7.4
674	1.4	307	1.2	362	1.6

問20 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	2108	79.2	1131	80.6	977	77.8
いない	257	9.7	127	9.0	130	10.4
わからない	267	10.0	128	9.1	139	11.1
無回答	28	1.1	18	1.3	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
39358	79.2	21304	80.9	18032	77.3
4307	8.7	2079	7.9	2223	9.5
5338	10.7	2637	10.0	2695	11.6
700	1.4	322	1.2	373	1.6

問20 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	1865	70.1	1018	72.5	847	67.4
いない	377	14.2	175	12.5	202	16.1
わからない	392	14.7	196	14.0	196	15.6
無回答	26	1.0	15	1.1	11	0.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34361	69.1	18997	72.1	15346	65.8
6815	13.7	3255	12.4	3554	15.2
7815	15.7	3779	14.3	4027	17.3
712	1.4	311	1.2	396	1.7

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	1917	72.1	1014	72.2	903	71.9
いない	616	23.2	313	22.3	303	24.1
わからない	105	3.9	63	4.5	42	3.3
無回答	22	0.8	14	1.0	8	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34651	69.7	18616	70.7	16022	68.7
12019	24.2	6208	23.6	5793	24.8
2437	4.9	1260	4.8	1174	5.0
596	1.2	258	1.0	334	1.4

問20 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
いる	1803	67.8	974	69.4	829	66.0
いない	719	27.0	357	25.4	362	28.8
わからない	115	4.3	59	4.2	56	4.5
無回答	23	0.9	14	1.0	9	0.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
32799	66.0	17846	67.7	14939	64.1
13749	27.7	6953	26.4	6778	29.1
2558	5.1	1280	4.9	1276	5.5
597	1.2	263	1.0	330	1.4

問21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
配偶者・パートナー	2029	76.3	1085	77.3	944	75.2
自分の親	1827	68.7	993	70.7	834	66.4
配偶者・パートナーの親	599	22.5	340	24.2	259	20.6
きょうだい・その他の親戚	982	36.9	501	35.7	481	38.3
近隣に住む知人や友人	1226	46.1	659	46.9	567	45.1
近隣に住んでいない知人や友人	532	20.0	297	21.2	235	18.7
職場関係者	494	18.6	249	17.7	245	19.5
学校の先生やスクールカウンセラー	326	12.3	193	13.7	133	10.6
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	13	0.5	7	0.5	6	0.5
公的機関や役所の相談員	82	3.1	38	2.7	44	3.5
学童保育の指導員	28	1.1	22	1.6	6	0.5
地域の民生委員・児童委員	10	0.4	5	0.4	5	0.4
民間の支援団体	13	0.5	7	0.5	6	0.5
民間のカウンセラー・電話相談	29	1.1	17	1.2	12	1.0
医療機関の医師や看護師	90	3.4	46	3.3	44	3.5
インターネットのサイトへの書き込み	55	2.1	34	2.4	21	1.7
その他	52	2.0	25	1.8	27	2.1
相談できる相手がいない	62	2.3	33	2.4	29	2.3
無回答	11	0.4	7	0.5	4	0.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34711	69.8	19075	72.4	15612	66.9
32884	66.2	18092	68.7	14777	63.4
9808	19.7	5732	21.8	4074	17.5
17831	35.9	9630	36.6	8194	35.1
21691	43.6	11951	45.4	9732	41.7
10172	20.5	5632	21.4	4536	19.4
9052	18.2	4655	17.7	4395	18.8
3938	7.9	2327	8.8	1605	6.9
145	0.3	97	0.4	48	0.2
1227	2.5	657	2.5	563	2.4
360	0.7	273	1.0	87	0.4
105	0.2	59	0.2	46	0.2
145	0.3	79	0.3	64	0.3
360	0.7	195	0.7	165	0.7
1251	2.5	710	2.7	537	2.3
694	1.4	413	1.6	281	1.2
1029	2.1	493	1.9	534	2.3
1281	2.6	612	2.3	668	2.9
1176	2.4	519	2.0	653	2.8

問22 (1) 生活を楽しくしていますか（仕事や家事、育児など）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
とても楽しんでいる	415	15.6	237	16.9	178	14.2
楽しんでいる	1496	56.2	787	56.1	709	56.4
あまり楽しんでいない	430	16.2	213	15.2	217	17.3
楽しんでいない	95	3.6	46	3.3	49	3.9
わからない	200	7.5	108	7.7	92	7.3
無回答	24	0.9	13	0.9	11	0.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7997	16.1	4480	17.0	3516	15.1
26750	53.8	14454	54.9	12276	52.6
7707	15.5	3826	14.5	3872	16.6
1890	3.8	903	3.4	984	4.2
4195	8.4	2159	8.2	2035	8.7
1164	2.3	520	2.0	640	2.7

問22 (2) 将来に対して希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
希望が持てる	731	27.5	403	28.7	328	26.1
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	1492	56.1	792	56.4	700	55.7
希望が持てない	217	8.2	102	7.3	115	9.2
わからない	195	7.3	94	6.7	101	8.0
無回答	25	0.9	13	0.9	12	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
13442	27.0	7691	29.2	5750	24.7
27196	54.7	14232	54.0	12943	55.5
4020	8.1	1891	7.2	2122	9.1
3893	7.8	2006	7.6	1883	8.1
1152	2.3	522	2.0	625	2.7

問22 (3) ストレスを発散できるものがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
ある	1003	37.7	533	38.0	470	37.4
あるときもあれば、ないときもある	1309	49.2	691	49.2	618	49.2
ない	232	8.7	120	8.5	112	8.9
わからない	99	3.7	53	3.8	46	3.7
無回答	17	0.6	7	0.5	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
18799	37.8	10182	38.7	8607	36.9
23810	47.9	12588	47.8	11203	48.0
3975	8.0	2048	7.8	1925	8.3
2039	4.1	1038	3.9	998	4.3
1080	2.2	486	1.8	590	2.5

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問22 (4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
とても幸せだと思う	739	27.8	412	29.3	327	26.0
幸せだと思う	1470	55.3	776	55.3	694	55.3
あまり幸せだと思わない	179	6.7	78	5.6	101	8.0
幸せだと思わない	89	3.3	45	3.2	44	3.5
わからない	162	6.1	82	5.8	80	6.4
無回答	21	0.8	11	0.8	10	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
12819	25.8	7394	28.1	5421	23.2
26990	54.3	14221	54.0	12751	54.7
3733	7.5	1784	6.8	1944	8.3
1368	2.8	639	2.4	728	3.1
3628	7.3	1792	6.8	1831	7.9
1165	2.3	512	1.9	648	2.8

問23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
ねむれない	243	9.1	126	9.0	117	9.3
よく頭がいたくなる	586	22.0	320	22.8	266	21.2
歯がいたい	88	3.3	41	2.9	47	3.7
不安な気持ちになる	716	26.9	368	26.2	348	27.7
ものを見づらい	288	10.8	119	8.5	169	13.5
聞こえにくい	148	5.6	59	4.2	89	7.1
よくおなかがいたくなる	176	6.6	100	7.1	76	6.1
よくかぜをひく	67	2.5	37	2.6	30	2.4
よくかゆくなる	234	8.8	121	8.6	113	9.0
まわりが気になる	345	13.0	181	12.9	164	13.1
やる気が起きない	488	18.3	241	17.2	247	19.7
イライラする	925	34.8	507	36.1	418	33.3
よく肩がこる	1118	42.0	608	43.3	510	40.6
よく腰がいたくなる	720	27.1	364	25.9	356	28.3
とくに気になるところはない	380	14.3	211	15.0	169	13.5
その他	159	6.0	81	5.8	78	6.2
わからない	73	2.7	38	2.7	35	2.8
無回答	73	2.7	37	2.6	36	2.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4709	9.5	2414	9.2	2291	9.8
10689	21.5	5757	21.9	4924	21.1
1828	3.7	997	3.8	828	3.6
12658	25.5	6500	24.7	6145	26.3
5244	10.6	2396	9.1	2844	12.2
2591	5.2	1211	4.6	1379	5.9
3381	6.8	1785	6.8	1595	6.8
1191	2.4	706	2.7	484	2.1
4615	9.3	2406	9.1	2206	9.5
6376	12.8	3572	13.6	2798	12.0
8984	18.1	4605	17.5	4371	18.7
17865	35.9	10147	38.5	7703	33.0
21539	43.3	11501	43.7	10018	43.0
14089	28.3	7323	27.8	6752	28.9
6001	12.1	3188	12.1	2810	12.0
2457	4.9	1296	4.9	1160	5.0
1447	2.9	726	2.8	720	3.1
2623	5.3	1272	4.8	1344	5.8

問24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
よくある	231	8.7	144	10.3	87	6.9
時々ある	1668	62.7	915	65.2	753	60.0
ほとんどない	592	22.3	276	19.7	316	25.2
ない	107	4.0	45	3.2	62	4.9
わからない	40	1.5	14	1.0	26	2.1
無回答	22	0.8	10	0.7	12	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4356	8.8	2665	10.1	1687	7.2
30240	60.8	16775	63.7	13450	57.7
10342	20.8	4784	18.2	5549	23.8
2542	5.1	1125	4.3	1414	6.1
1023	2.1	449	1.7	573	2.5
1200	2.4	544	2.1	650	2.8

問25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
はい	1720	64.7	900	64.1	820	65.3
いいえ	927	34.8	498	35.5	429	34.2
無回答	13	0.5	6	0.4	7	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
28535	57.4	14958	56.8	13561	58.1
19920	40.1	10830	41.1	9072	38.9
1248	2.5	554	2.1	690	3.0

問26 ① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
そう思う (4)	206	7.7	114	8.1	92	7.3
まあそう思う (3)	1380	51.9	727	51.8	653	52.0
あまり思わない (2)	803	30.2	418	29.8	385	30.7
思わない (1)	167	6.3	91	6.5	76	6.1
わからない	85	3.2	44	3.1	41	3.3
無回答	19	0.7	10	0.7	9	0.7
加重平均値	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
3627	7.3	2021	7.7	1602	6.9
23759	47.8	12894	48.9	10855	46.5
15940	32.1	8298	31.5	7631	32.7
3314	6.7	1682	6.4	1627	7.0
1825	3.7	894	3.4	928	4.0
1238	2.5	553	2.1	680	2.9
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問26 ② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
そう思う (4)	392	14.7	214	15.2	178	14.2
まあそう思う (3)	1484	55.8	786	56.0	698	55.6
あまり思わない (2)	541	20.3	278	19.8	263	20.9
思わない (1)	119	4.5	62	4.4	57	4.5
わからない	101	3.8	51	3.6	50	4.0
無回答	23	0.9	13	0.9	10	0.8
加重平均値	2.7	2.7	2.8	2.8	2.7	2.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7017	14.1	3802	14.4	3214	13.8
26664	53.6	14277	54.2	12371	53.0
10235	20.6	5408	20.5	4818	20.7
2393	4.8	1266	4.8	1122	4.8
2107	4.2	1010	3.8	1095	4.7
1287	2.6	579	2.2	703	3.0
2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7

問26 ③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
そう思う (1)	237	8.9	123	8.8	114	9.1
まあそう思う (2)	567	21.3	302	21.5	265	21.1
あまり思わない (3)	1010	38.0	538	38.3	472	37.6
思わない (4)	730	27.4	372	26.5	358	28.5
わからない	93	3.5	58	4.1	35	2.8
無回答	23	0.9	11	0.8	12	1.0
加重平均値	2.8	2.8	2.7	2.7	2.8	2.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4689	9.4	2517	9.6	2169	9.3
9768	19.7	5239	19.9	4523	19.4
18504	37.2	9828	37.3	8666	37.2
13359	26.9	7093	26.9	6255	26.8
2069	4.2	1068	4.1	998	4.3
1314	2.6	597	2.3	712	3.1
2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

問26 ④ 私は自分から友だちを作るのがうまい (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
そう思う (4)	156	5.9	82	5.8	74	5.9
まあそう思う (3)	751	28.2	379	27.0	372	29.6
あまり思わない (2)	1076	40.5	577	41.1	499	39.7
思わない (1)	516	19.4	284	20.2	232	18.5
わからない	142	5.3	73	5.2	69	5.5
無回答	19	0.7	9	0.6	10	0.8
加重平均値	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
3050	6.1	1618	6.1	1431	6.1
13860	27.9	7351	27.9	6502	27.9
18883	38.0	10075	38.2	8794	37.7
9848	19.8	5327	20.2	4514	19.4
2790	5.6	1400	5.3	1386	5.9
1272	2.6	571	2.2	696	3.0
2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

問26 ⑤ 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
そう思う (1)	120	4.5	62	4.4	58	4.6
まあそう思う (2)	365	13.7	192	13.7	173	13.8
あまり思わない (3)	1145	43.0	619	44.1	526	41.9
思わない (4)	778	29.2	398	28.3	380	30.3
わからない	223	8.4	118	8.4	105	8.4
無回答	29	1.1	15	1.1	14	1.1
加重平均値	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2125	4.3	1103	4.2	1018	4.4
7197	14.5	3766	14.3	3427	14.7
20746	41.7	11042	41.9	9693	41.6
13640	27.4	7386	28.0	6247	26.8
4695	9.4	2464	9.4	2224	9.5
1300	2.6	581	2.2	714	3.1
2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7

問27 (1) あなたの世帯で収入のある方的人数を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
1人	890	33.5	504	35.9	386	30.7
2人	1544	58.0	800	57.0	744	59.2
3人	133	5.0	52	3.7	81	6.4
4人	46	1.7	21	1.5	25	2.0
5人以上	11	0.4	9	0.6	2	0.2
無回答	36	1.4	18	1.3	18	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
16417	33.0	9009	34.2	7393	31.7
28847	58.0	15361	58.3	13473	57.8
2030	4.1	831	3.2	1198	5.1
509	1.0	243	0.9	266	1.1
92	0.2	54	0.2	38	0.2
1808	3.6	844	3.2	955	4.1

問27 (2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか (お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
お母さん	295	11.1	139	9.9	156	12.4
お父さん	2176	81.8	1169	83.3	1007	80.2
おじいさん、おばあさん	22	0.8	13	0.9	9	0.7
兄・姉	2	0.1	2	0.1	-	-
おじ・おばなど親戚	2	0.1	2	0.1	-	-
その他の人	11	0.4	4	0.3	7	0.6
複数選択	115	4.3	55	3.9	60	4.8
無回答	37	1.4	20	1.4	17	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7621	15.3	3745	14.2	3873	16.6
37218	74.9	20199	76.7	16992	72.9
478	1.0	242	0.9	236	1.0
38	0.1	17	0.1	21	0.1
37	0.1	20	0.1	17	0.1
139	0.3	70	0.3	69	0.3
2393	4.8	1217	4.6	1176	5.0
1779	3.6	832	3.2	939	4.0

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問27 (3) ① 児童手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	2411	90.6	1285	91.5	1126	89.6
受けたことがある	57	2.1	25	1.8	32	2.5
受けたことはない	116	4.4	54	3.8	62	4.9
無回答	76	2.9	40	2.8	36	2.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
43500	87.5	23298	88.4	20170	86.5
1304	2.6	570	2.2	734	3.1
2077	4.2	1132	4.3	945	4.1
2822	5.7	1342	5.1	1474	6.3

問27 (3) ② 就学援助費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	353	13.3	171	12.2	182	14.5
受けたことがある	144	5.4	67	4.8	77	6.1
受けたことはない	1547	58.2	838	59.7	709	56.4
無回答	616	23.2	328	23.4	288	22.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
8792	17.7	4154	15.8	4628	19.8
3669	7.4	1724	6.5	1942	8.3
24429	49.1	13686	52.0	10733	46.0
12813	25.8	6778	25.7	6020	25.8

問27 (3) ③ 児童扶養手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	236	8.9	127	9.0	109	8.7
受けたことがある	51	1.9	22	1.6	29	2.3
受けたことはない	1694	63.7	898	64.0	796	63.4
無回答	679	25.5	357	25.4	322	25.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
5897	11.9	2969	11.3	2918	12.5
1023	2.1	479	1.8	544	2.3
28345	57.0	15411	58.5	12922	55.4
14438	29.0	7483	28.4	6939	29.8

問27 (3) ④ 障がいや難病の手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	84	3.2	45	3.2	39	3.1
受けたことがある	11	0.4	4	0.3	7	0.6
受けたことはない	1844	69.3	978	69.7	866	68.9
無回答	721	27.1	377	26.9	344	27.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1299	2.6	724	2.7	554	2.4
286	0.6	135	0.5	147	0.6
32057	64.5	17196	65.3	14858	63.7
16061	32.3	8287	31.5	7764	33.3

問27 (3) ⑤ 生活保護 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	30	1.1	14	1.0	16	1.3
受けたことがある	7	0.3	5	0.4	2	0.2
受けたことはない	1890	71.1	1001	71.3	889	70.8
無回答	733	27.6	384	27.4	349	27.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1274	2.6	622	2.4	650	2.8
422	0.8	211	0.8	211	0.9
32160	64.7	17286	65.6	14855	63.7
15847	31.9	8223	31.2	7607	32.6

問27 (3) ⑥ 公的年金 (老齢年金) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	96	3.6	47	3.3	49	3.9
受けたことがある	4	0.2	2	0.1	2	0.2
受けたことはない	1843	69.3	977	69.6	866	68.9
無回答	717	27.0	378	26.9	339	27.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1084	2.2	535	2.0	549	2.4
76	0.2	39	0.1	37	0.2
32386	65.2	17382	66.0	14984	64.2
16157	32.5	8386	31.8	7753	33.2

問27 (3) ⑦ 公的年金 (遺族年金、障がい年金) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	57	2.1	26	1.9	31	2.5
受けたことがある	5	0.2	1	0.1	4	0.3
受けたことはない	1857	69.8	986	70.2	871	69.3
無回答	741	27.9	391	27.8	350	27.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
864	1.7	391	1.5	473	2.0
138	0.3	71	0.3	67	0.3
32424	65.2	17430	66.2	14974	64.2
16277	32.7	8450	32.1	7809	33.5

問27 (3) ⑧ 雇用保険 (失業保険) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	29	1.1	10	0.7	19	1.5
受けたことがある	437	16.4	238	17.0	199	15.8
受けたことはない	1467	55.2	774	55.1	693	55.2
無回答	727	27.3	382	27.2	345	27.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
578	1.2	299	1.1	279	1.2
7152	14.4	3769	14.3	3376	14.5
25793	51.9	13910	52.8	11870	50.9
16180	32.6	8364	31.8	7798	33.4

保護者向け調査

大阪府30市町		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問27 (3) ⑨ 養育費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	57	2.1	28	2.0	29	2.3
受けたことがある	32	1.2	22	1.6	10	0.8
受けたことはない	1843	69.3	971	69.2	872	69.4
無回答	728	27.4	383	27.3	345	27.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1001	2.0	514	2.0	486	2.1
629	1.3	294	1.1	335	1.4
31874	64.1	17153	65.1	14702	63.0
16199	32.6	8381	31.8	7800	33.4

問27 (3) ⑩ 親・親族からの仕送り (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	57	2.1	26	1.9	31	2.5
受けたことがある	237	8.9	124	8.8	113	9.0
受けたことはない	1644	61.8	873	62.2	771	61.4
無回答	722	27.1	381	27.1	341	27.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
959	1.9	499	1.9	460	2.0
3966	8.0	2075	7.9	1889	8.1
28835	58.0	15515	58.9	13302	57.0
15943	32.1	8253	31.3	7672	32.9

問27 (3) ⑪ 退職金 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	11	0.4	6	0.4	5	0.4
受けたことがある	352	13.2	186	13.2	166	13.2
受けたことはない	1552	58.3	819	58.3	733	58.4
無回答	745	28.0	393	28.0	352	28.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
182	0.4	90	0.3	92	0.4
4971	10.0	2642	10.0	2324	10.0
28200	56.7	15150	57.5	13035	55.9
16350	32.9	8460	32.1	7872	33.8

問27 (3) ⑫ その他、株式配当などの副収入 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
受けている	148	5.6	90	6.4	58	4.6
受けたことがある	203	7.6	102	7.3	101	8.0
受けたことはない	1602	60.2	837	59.6	765	60.9
無回答	707	26.6	375	26.7	332	26.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1931	3.9	1101	4.2	829	3.6
2791	5.6	1532	5.8	1256	5.4
28937	58.2	15406	58.5	13515	57.9
16044	32.3	8303	31.5	7723	33.1

問27 (4) 前年(2015年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	2660	100.0	1404	100.0	1256	100.0
50万円未満	6	0.2	3	0.2	3	0.2
50～100万円未満	29	1.1	18	1.3	11	0.9
100～150万円未満	59	2.2	23	1.6	36	2.9
150～200万円未満	65	2.4	31	2.2	34	2.7
200～250万円未満	77	2.9	44	3.1	33	2.6
250～300万円未満	100	3.8	45	3.2	55	4.4
300～350万円未満	108	4.1	59	4.2	49	3.9
350～400万円未満	155	5.8	95	6.8	60	4.8
400～450万円未満	177	6.7	106	7.5	71	5.7
450～500万円未満	168	6.3	95	6.8	73	5.8
500～550万円未満	174	6.5	98	7.0	76	6.1
550～600万円未満	187	7.0	95	6.8	92	7.3
600～650万円未満	152	5.7	79	5.6	73	5.8
650～700万円未満	134	5.0	67	4.8	67	5.3
700～750万円未満	116	4.4	63	4.5	53	4.2
750～800万円未満	102	3.8	56	4.0	46	3.7
800～850万円未満	109	4.1	56	4.0	53	4.2
850～900万円未満	64	2.4	34	2.4	30	2.4
900～950万円未満	57	2.1	27	1.9	30	2.4
950～1,000万円未満	59	2.2	26	1.9	33	2.6
1,000～1,100万円未満	74	2.8	26	1.9	48	3.8
1,100～1,200万円未満	42	1.6	17	1.2	25	2.0
1,200～1,300万円未満	25	0.9	10	0.7	15	1.2
1,300～1,400万円未満	16	0.6	11	0.8	5	0.4
1,400～1,500万円未満	9	0.3	5	0.4	4	0.3
1,500～1,750万円未満	15	0.6	5	0.4	10	0.8
1,750～2,000万円未満	10	0.4	6	0.4	4	0.3
2,000～2,250万円未満	5	0.2	3	0.2	2	0.2
2,250～2,500万円未満	1	0.0	1	0.1	-	-
2,500～2,750万円未満	2	0.1	-	-	2	0.2
2,750～3,000万円未満	-	-	-	-	-	-
3,000万円以上	4	0.2	3	0.2	1	0.1
わからない	174	6.5	89	6.3	85	6.8
無回答	185	7.0	108	7.7	77	6.1

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
468	0.9	230	0.9	238	1.0
883	1.8	485	1.8	397	1.7
1375	2.8	623	2.4	751	3.2
1565	3.1	755	2.9	810	3.5
1956	3.9	999	3.8	955	4.1
2110	4.2	1034	3.9	1074	4.6
2492	5.0	1326	5.0	1165	5.0
2951	5.9	1572	6.0	1377	5.9
2929	5.9	1615	6.1	1309	5.6
3018	6.1	1652	6.3	1365	5.9
3142	6.3	1755	6.7	1387	5.9
3236	6.5	1752	6.7	1481	6.3
2636	5.3	1438	5.5	1197	5.1
2056	4.1	1078	4.1	977	4.2
1803	3.6	968	3.7	834	3.6
1549	3.1	796	3.0	752	3.2
1511	3.0	846	3.2	665	2.9
987	2.0	530	2.0	457	2.0
779	1.6	414	1.6	365	1.6
962	1.9	482	1.8	480	2.1
1087	2.2	590	2.2	497	2.1
592	1.2	301	1.1	291	1.2
373	0.8	209	0.8	164	0.7
172	0.3	105	0.4	67	0.3
171	0.3	93	0.4	78	0.3
225	0.5	133	0.5	92	0.4
139	0.3	83	0.3	56	0.2
85	0.2	57	0.2	28	0.1
36	0.1	20	0.1	16	0.1
23	0.0	17	0.1	6	0.0
21	0.0	14	0.1	7	0.0
88	0.2	55	0.2	33	0.1
4092	8.2	2230	8.5	1857	8.0
4191	8.4	2085	7.9	2095	9.0

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

大阪府子どもの生活に関する実態調査

平成 29 年 3 月

公立大学法人 大阪府立大学

裏

裏表紙内

裏表紙外